２０２１年度

専門科目教育要項

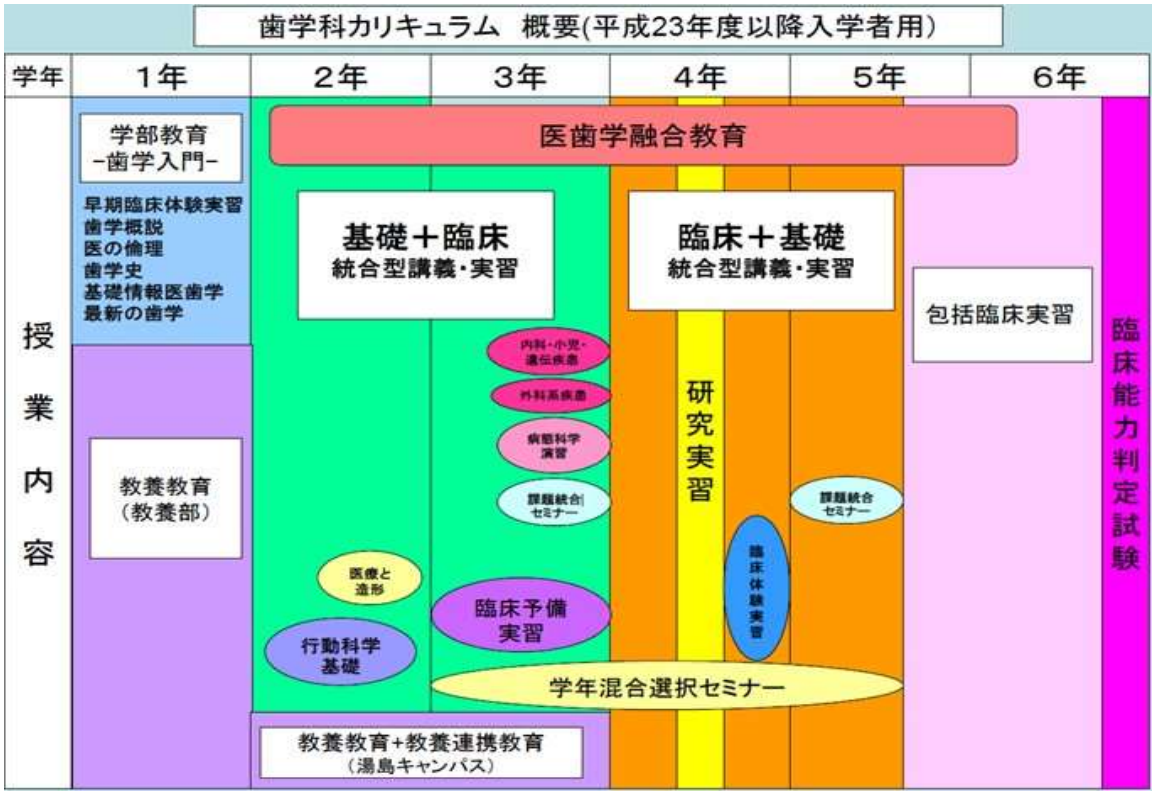
東京医科歯科大学歯学部歯学科

歯学部歯学科における教育の基本的理念

豊かな人間性を有し、使命感をもって全人的な歯科医療を実践し、国民の健康の維持・増進に寄与するとともに、国際的視野から歯科医学・歯科医療の向上に貢献できる指導者を育成する。（指導者：歯科界の発展のために、いかなる分野においても牽引力をもって指導的役割を果たすことのできる人材）

一般教育目標

１．　幅広い教養を身につけ、歯科医師としての豊かな人間性を培う。
２．　基本的な科学原理と概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
３．　科学的探究心をもち、自ら問題を発見し、解決する能力を身につける。
４．　全身の常態と病態を理解した上で、口腔・頭蓋・顎・顔面領域の疾患の予防、診断、治療に関する知識および基本的技術を修得する。
５．　社会における歯科医学・医療の役割とその重要性を理解する。



ディプロマ・ポリシー

歯学部歯学科では、全学共通科目の一部を除き全ての科目が必修であり、学年ごとに設定 された進級要件（東京医科歯科大学全学共通科目履修規則及び東京医科歯科大学専門科目履修規則）を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、診療参加型臨床実習の資格条件と しての共用試験の合格、臨床実習終了時の臨床能力判定試験の合格とともに、以下の要件を 満たしている者に学位を授与する。

1.幅広い教養と豊かな感性　自然科学、社会科学、人文科学の全学共通科目を履修し、幅広い教養と医療者としての豊かな人間性を涵養している。また、専門科目、医歯学融合教育科目、関連する医学教育科目 の履修を通じて、基本的な科学原理と概念を理解し、生命科学知識を修得している。

2.問題提起、解決能力　全教育課程で修得した知識・技能・態度とともに、研究実習を通じて、科学的探求心をもち、自ら問題を発見し、新たな課題を解決する力を涵養している。

3.国際性　科学英語や学年混合選択セミナー等を通じて、医歯学英語を修得するとともに、世界の歯科事情、国際貢献等の国際性を涵養している。本学は、以上の要件を満たした卒業生が、国民の健康の維持･増進のために、使命感を持って歯科医療を実践するとともに、国際的視野に立って歯科医学･歯科医療の進歩･発展に 貢献することを強く望む。

カリキュラムポリシー

東京医科歯科大学の教育理念、および歯学部歯学科の教育理念に基づき、豊かな人間性を有し、使命感をもって全人的な歯科医療を実践し、国民の健康の維持・増進に寄与するとともに、国際的視野から歯科医学・歯科医療の向上に貢献できる指導者を育成することを見据えたディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下の通り定める。

1. 医療系総合大学としての特色を活かした医歯学融合教育科目を6 年一貫教育の中で実施する。
2. 国際人としての素養を高める科学英語の修得を目指すとともに、1 年次から 3 年次まで教養教育(全学共通科目)を行いながらモジュールという大きな枠組みの構成単位で6 年間専門科目を履修する。
3. 自主的学習態度および論理的思考能力を養い、科学的な問題解決の方法を修得するために、テュートリアル少人数教育を行う。
4. 学年を超えて上級生が下級生を直接指導する屋根瓦方式によって指導能力を育成する。
5. 研究マインドを涵養するために研究室に長期間配属する研究実習を実施する。
6. 充実した専門教育と臨床患者実習により、良質な歯科医師となるための能力を修得する。

下記が実施済であることを実習要件とする （2017 年 6 月 27 日教育戦略会議にて決定）

・4 種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種が、規定回数終了している
・B 型肝炎抗体価が陽性または non-responder (計 6 回ワクチン接種をしても陽性とならない)である
・T スポット®. TB 検査を実施済である
・臨床実習に出る直近の学生定期健康診断を受診済である

＊ただし、以下の者はその証明をもってワクチン接種対象外とする

<4 種ワクチン接種>
・過去に同ワクチン接種でアナフィラキシーを呈したことがある者
・免疫機能に異常のある疾患を有する者及び免疫抑制をきたす治療を受けている者で主治医より接種禁とされた者
・妊娠していることが明らかな者
・その他、主治医により予防接種を行うことが不適当と判断された者

<B 型肝炎ワクチン接種>
・過去に同ワクチン接種でアナフィラキシーを呈したことがある者
・その他、主治医により予防接種を行うことが不適当と判断された者

保健管理センター
2017.9

保健管理センターでの検査、ワクチンの実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	4種抗体検査 （対象：全員）	学生定期健康診断 （毎年、全員）	4種ワクチン接種期間　（接種月はワクチン毎に決まっている） 対象：抗体価が陰性→同ワクチンを2回接種　抗体価が陽性(基準を満たない)→1回接種									
2年	B型肝炎抗原抗体検査 （対象：全員）		1回目	2回目	B型肝炎ワクチン接種期間　1クール目(全3回) 対象:抗体価が陰性だった者				3回目			
	T スポット®. TB検査 （対象：全員）											
3年	B型肝炎抗原抗体検査 （対象：2年でB肝ワクチン 1ｸｰﾙ目を接種した者）		1回目	2回目	B型肝炎ワクチン接種期間　2クール目(全3回) 対象:抗体価が陰性だった者				3回目			
4年	B型肝炎抗原抗体検査 （対象：3年でB肝ワクチン 2ｸｰﾙ目を接種した者）		B肝肝炎ワクチンを2クール計6回接種しても 抗体価が陰性の場合は、 「non-responder」となり、それ以上の接種は行わない									

ワクチン接種は、事前の申込みと入金が必要です。

対象学年で、検査やワクチン接種を受検し忘れた場合は、速やかに保健管理センターへ申し出てください。その後の対応について説明します。

目　次

まえがき
基本的理念
一般教育目標
歯学科ディプロマポリシー
歯学科カリキュラムポリシー
実習要件（抗体検査・ワクチン接種）について
２０２１年度歯学部歯学科専門科目授業計画表 1
学生周知事項等 2
歯科医師国家試験について 3
学生周知事項 4
災害関係連絡事項 8
学生・女性支援センター（５号館３階）について 10
保健管理センター（５号館２階）について 11
図書館（M&Dタワー３・４階）について 12
国立美術館キャンパスメンバーズについて 14
７号館の管理、使用について 15
ロッカーの使用について 16
歯学科コンピテンシー 17
東京医科歯科大学学部専門科目履修規則 20
東京医科歯科大学歯学部歯学科専門科目履修内規 37
東京医科歯科大学試験規則 39
東京医科歯科大学歯学部歯学科試験内規 42
ユニット試験（筆記試験）時の注意事項 43
歯学科第１学年２０２１年度火曜授業時間割 45
歯学科第２学年２０２１年度授業時間割 46
歯学科第３学年２０２１年度授業時間割 52
歯学科第４学年２０２１年度授業時間割 58
歯学科第５学年２０２１年度授業時間割 64
教養科目時間割 70

01歯学入門 73
02人体の構造と機能 82
03患者と医療者 125
04社会と環境 139
05生命の分子的基盤 146
06臨床歯学イントロダクション 157
07感染と生体防御 159
08臨床予備実習 172
09病理 179
10予防と健康管理 184
11生体と薬物 193
12歯科放射線基礎 207
13病態科学演習 212
14内科・小児・遺伝疾患 219
15外科系疾患 226
16課題統合セミナー 235
17学年混合選択セミナー 249
18歯科生体材料 269
19研究実習 276
20歯と根尖歯周組織の疾患 279
21咬合回復 298
22臨床体験実習 323
23歯周病 330
24咬合育成・発達 342
25顎口腔医療 355
26全身と歯科医療 360
27発展歯科臨床 369
28臨床情報処理 382
29包括臨床実習 388
デンタルエクスターンシップ 400
長寿口腔健康科学コース 403

医歯学融合教育・医歯学基盤教育 408
歯学系コンピテンシー 410
医歯学融合教育科目における成績評価判定について 412
臨床統計I 413
グローバル・コミュニケーションI 416
生命倫理I(2年) 420

生命倫理Ⅰ(3年) 422
臨床統計II 425
グローバル･コミュニケーションII 427
生命倫理II 432
臨床統計III 434
グローバル･コミュニケーションIII 436
頭頸部基礎 439
頭頸部臨床 446
総合診療・地域医療 452
包括医療統合教育 455
2021年度歯学科2年次学生連携教育(教養教育) 457
教養英語 458
情報科学演習 462
サイエンスPBL 463
生命科学(人体の生物学) 465
生命科学(生物物理化学) 467
人文社会科学総合講義 469

2021年度歯学部歯学科　専門科目授業計画表

※社会情勢等を考慮し変更する可能性がありますのでご了承ください。

第1学年

前期	学部専門科目「歯学入門」	2021.4.13（火）
後期		2021. 9.28（火）～2022. 2. 8（火） 毎週火曜日
	進級判定（専門科目のみ）	2022. 3. 16（水）予定

第2学年

区分		期間
前期	春季休業	2021. 4. 1（木）
	ガイダンス	2021. 4. 2（金）
	授業17W	2021. 4. 2（金）～2021. 7.30（金）
	夏季休業	2021.8.2（月）～2021.8.31（火）
	授業4W	2021.9.1（水）～2021.9.30（木）
	実験動物慰霊式	2021. 9.22（水）
後期	授業12W	2021.10.1（金）～2021.12.24（金）
	創立記念行事	2021.10.12（火）
	お茶の水祭	2021.10.16（土）～2021.10.17（日）予定
	解剖体追悼式	2021.10.28（木）
	冬季休業	2021.12.27（月）～2022. 1. 3（月）
	授業8W	2022. 1. 4（火）～2022. 2.18（金）
	再試及び進級判定期間	2022. 2.21（月） ～2022. 2.28（月）
	遺骨返還式	2022. 2.18（金）予定
	春季休業	2022. 3.1（火）～2022. 3.31（木）
	進級判定（専門科目のみ）	2022. 3. 16（水）予定

第3学年

区分		期間
前期	春季休業	2021. 4. 1（木）
	ガイダンス	2021. 4. 2（金）
	授業17W	2021. 4. 2（木）～2021. 7.30（金）
	夏季休業	2021.8.2（月）～2021.8.25（水）
	授業4W	2021.8.26（木）～2021.9.30（木）
後期	授業12W	2021.10.1（金）～2021.12.24（金）
	創立記念行事	2021.10.12（火）
	お茶の水祭	2021.10.16（土）～2021.10.17（日）予定
	冬季休業	2021.12.27（月）～2022.1.3（月）
	授業8W	2022. 1. 4（火）～2022. 2.18（金）
	再試及び進級判定期間	2022. 2.21（月）～2022. 2.28（月）
	春季休業	2022. 3.1（火）～2022. 3.31（木）
	進級判定（専門科目のみ）	2022. 3. 16（水）予定

第4学年

区分		期間
前期	ガイダンス	2021. 4. 2（金）
	授業28W	2021. 4. 1（木）～2021. 7.30（金）
	夏季休業	2021.8. 2（月）～2021.8. 27（金）
	授業5W	2021.8. 30（月）～2021.9. 30（木）
後期	授業12W	2021.10.1（金）～2021.12.24（金）
	創立記念行事	2021.10.12（火）
	お茶の水祭	2021.10.16（土）～2021.10.17（日）予定
	冬季休業	2021.12.27（月）～2022.1.3（月）
	授業8W	2022. 1. 4（火）～2022. 2.18（金）
	再試及び進級判定期間	2022. 2.21（月） ～2022. 2.25（金）
	春季休業	2022. 2.28（月）～2022. 3.31（木）
	進級判定	2022. 3. 16（水）予定

第5学年

区分		期間
前期	研究実習発表会	2021 4. 1（木）
	ガイダンス	2021. 4. 2（金）
	授業17W	2021. 4. 2（金）～2021. 7.21（水）
	共用試験（CBT･OSCE）説明会	2021. 6.28（月）
	再試期間	2021.7.14（水）～2021.7.16（金）
	CBT	2021. 7.20（火）
	夏季休業	2021. 8 .2（月）～2021.8.31（火）
	CBT（追・再試験）	2021. 8.19（木）
	OSCE	2021. 8.21（土）
	OSCE（追・再試験）	2021. 8. 31（火）
	補講期間	2021.9.1（水）～2021.9.3（金）
後期	登院式	2021.9.6（月）
	患者対応接遇セミナー	2021.9.7（火）
	研修	2021.9.9（木）
	授業・包括臨床実習5W	2021.9.13（月）～2021.10.13（水）
	お茶の水祭	2021.10.16（土）～2021.10.17（日）予定
	オーバーラップ3W	2021.10.14（木）～ 2021.11.2（火）
	授業・包括臨床実習7W	2021.11.4（木）～2021.12.17（金）
	冬季休業	2021.12.20（月 ）～2022. 1. 3（月）
	授業・包括臨床実習13W	2022.1.5（水）～2022.3.31（木）
	進級判定	2022. 3. 16（水）予定

第6学年

区分		期間
前期	包括臨床実習16W	2021. 4. 1（木）～2021. 7.16（金）
	夏季休業	2021. 7.19（月）～2021. 8.13（金）
	包括臨床実習7W	2021. 8.16（月）～2021.10.1（金）
後期	D6終了時技能到達度確認試験(PCC-CSX)	2021.10. 2（土）
	包括臨床実習5W	2021.10. 4（月）～2021.11. 4（木）
	オーバーラップ3W	2021.10.15（金）～2021.11. 2（火）
	器具返却	2021.11. 4（木）
	自己研修	2021.11. 5（金） ～2021.12.24 (金)
	冬季休業	2021.12.27（月）～2021.12. 31（金）
	自己研修	2022. 1. 3 (月) ～2022. 2.1 (火) 予定
	包括臨床実習※5W	2022. 2. 2（水）～2022. 3.9（水）予定
	卒業判定	2022. 3.10（木）予定
	卒業式	2022. 3.25（金） 予定

学生周知事項等

歯科医師国家試験について

歯科医師になろうとする者は、厚生労働大臣の行う歯科医師国家試験に合格し、歯科医師の免許を受けなければならない。

歯科医師国家試験は臨床上必要な歯科医学及び口腔衛生に関して歯科医師として具有すべき知識及び技能について毎年厚生労働大臣が行う。

〔受験資格及び受験手続について〕

（受　験　資　格） 歯科医師国家試験は、次の号のいずれかに該当する者でなければ、これを受けることができない。

(1) 学校教育法に基づく大学において、歯学の正規の課程を修めて卒業した者

(2) 歯科医師国家試験予備試験に合格した者で、合格した後 1 年以上の診療及び口腔衛生に関する実地修練を経たもの。

(3) 外国の歯科医学校を卒業し、又は外国で歯科医師免許を得た者であって、厚生労働大臣が（1）又は（2）に掲げる者と同等以上の学力及び技能を有し、かつ、適当と認定したもの。

（提出書類）

ア. 受験願書

イ. 写真

ウ. 受験手数料（収入印紙）　受験しようとする者は、上記に掲げられた書類を提出すること。

学生周知事項

1. 掲示について

学生への告知、通知、連絡はすべて掲示板に掲示する。掲示の見落としがないよう十分注意すると共に、1 日に 1 度は掲示を見て不利益をこうむらないように心がけること。

2 ～5 学年用の教務連絡用掲示板は 7 号館 1 階、6 学年用は歯科棟北 5 階に設置されている。全学的な掲示は 7 号館 1 階の「歯学部学生掲示版」に掲示を行うので、こちらも併せて確認すること。

また、e ラーニングシステム（WebClass）や電子メール（Web メール）によって連絡されることがあるので頻繁に確認すること。

2. 学生証について

（1）学生証は常に携帯すること。

（2）学生証を紛失または破損等したときは、学務企画課（1 号館西 1 階）に届け出て再交付の手続きをすること。再交付費用（1,500 円）は学生本人の負担とする。

（3）学生証は卒業、退学または除籍のときには直ちに学務企画課へ返納すること。返却できない場合は、費用を負担することとする。

3. 学生旅客運賃割引

（1）課外活動または帰省等で JR 線を利用し、乗車区間が片道 100km を超える場合、旅客運賃の割引（2 割）を受けることができる。

（2）学割証の不正使用（第三者への貸与等）は絶対にしないこと。

（3）年間使用限度枚数は 1 人 10 枚（1 回につき 2 枚まで）

（4）私鉄、バス等の利用において通学証明書を必要とする場合は、所定の用紙をもらい、学務企画課企画調査係（1 号館西 1 階）に問い合わせること。

（5）学割証が必要なときは 5 号館 4 階談話室にある証明書自動発行機を使用すること。

利用日時：月曜日～金曜日、8：30～21：00

問い合わせ先：学務企画課企画調査係（内線5075）

4. 証明書等

証明書等は、歯学系教務係および証明書自動発行機にて発行する。

http://www.tmd.ac.jp/campuslife/procedure/shigaku/index.html

（1）次に掲げるものは、歯学系教務係（歯科棟南 2 階）で発行するので歯学部証明書交付願を記入し提出すること（受付時間 8：30～17：15）

（①と②の交付は、原則として交付願を受理した日から 1 週間程度要する。）

①成績証明書

②調査書

③英文の在学証明書

（2）次に掲げるものは、5 号館 4 階談話室にある自動発行機で発行する。

（利用日時：月曜日～金曜日、8：30～21：00）

（問い合わせ先：学務企画課企画調査係（内線 5074））

①在学証明書

②卒業見込証明書（第 6 学年在学者のみ）

（3）次に掲げるものは、学務企画課企画調査係（1 号館西 1 階）で発行する。

①通学証明書（交通機関から請求された場合に限る）

通学証明書が必要な場合は、企画調査係に問い合わせること。

鉄道やバスの通学定期券を購入する場合は、住居の最寄り駅または大学の最寄り駅にて学生証を提示し、直接購入すること。

5. 住所・氏名等の変更について

本人または保証人の住所、氏名、電話、本籍等（電話番号を含む）に変更が生じたときには、速やかに歯学系教務係へ申し出て所定の手続きをすること。

6. 欠席、休学、復学、退学

（1）授業の欠席

病気その他の事由により欠席した場合は欠席届を歯学系教務係（歯科棟南 2 階）へ提出すること。（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付すること。）

（2）休学

病気その他の事由により、引き続き 3 か月以上休学する場合は、休学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付すること。）

休学を許可される期間は、通算して 2 年以内。（特別の事情があるときは、さらに 1 年以内の休学が許可されることがある。）

（3）復学

休学している学生が、休学許可期間の途中または満了時に復学を希望する場合は、復学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。（病気を理由に休学した場合は、復学可能である旨の医師の診断書を添付した上で、保健管理センターを受診する必要がある。）

（4）退学

病気その他の事由により、学業を継続することが困難となり、退学しようとする場合は、退学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。

なお、退学するにあたっては、事前に担任教員等と面談し、退学事由等について十分相談すること。

7. ネームプレート着用について

歯学部学生であることを明示するために、歯学部・同附属病院では必ずネームプレートを着用すること。

プレートは貸与とし、紛失または破損した場合は、再交付を受けるものとする。この場合は実費を負担すること。

学科専攻名と氏名の間のスペースに学年を表示するシール（例「D3」）を貼ること。シールは歯学系教務係で配布しているので、汚損したら適宜貼りかえること。

8. 授業中（大学行事、課外授業を含む）の事故等

入学時に加入した「学生教育研究災害傷害保険」および「医学生教育研究賠償責任保険」の対象となる。

問い合わせ先：学生支援事務室（5号館3階）メール（kousei.adm@ml.tmd.ac.jp）

http://www.tmd.ac.jp/campuslife/support/insurance-regime/index.html

9. 遺失物および拾得物

学内での遺失物に関する問い合わせまたは拾得物の届け出は、下記のとおりです。

（１）講義室、実習室、ロッカー室：歯学系教務係（歯科棟南 2 階：内線 5411）
学部防災センター（歯科棟北 1 階）

（２）上記（１）以外：歯学部総務課（歯科棟南 2 階：内線 5406）

10. 授業料の払込について

金融機関の預金口座振替により、授業料を引き落とす。

前期分授業料は ５月中に、後期分授業料は １１月中に納付すること。

11. 湯島キャンパスにおける講義に際しての注意事項

（１）平日の午前 8 時 30 分から午後 5 時まで歯学部附属病院玄関から出入りすることを原則禁止

（２）歯学部建物内へは、以下のように出入りすること。

１）聖門⇔1 号館、2 号館、7 号館

２）正門⇔1 号館、2 号館、7 号館

３）御茶ノ水門あるいは丸の内線出口⇔1 号館、2 号館、歯学部附属病院防災センター（歯学部時間外通用口）

（３）白衣または実習着を着用していない学生は、歯学部附属病院の聖橋側エレベーターを使用すること。

（４）臨床実習履修中の学生以外がやむを得ない理由で歯学部附属病院内を移動するときは、私語を慎むこと。

（５）白衣または実習着を着用したまま学外に出ないこと

12. 授業中のパーソナルコンピュータ、スマートフォンなどの機器使用の制限について

授業中におけるパーソナルコンピュータ、タブレット端末、スマートフォンなどの携帯電話等の使用に関して以下のように定めている。

（1）当該授業に関係のない機器を使用することを禁ずる。

（2）上記 1 の状況において、授業担当者あるいは授業補助者が、学生が当該授業を使用していると認めたときは、これを制限できる。この場合制限とは以下のことをいう。

1）当該機器の電源を強制的に OFF にする。

2）当該授業終了時まで授業担当者あるいは授業補助者が当該機器を保管することができる。

3）当該学生を退出させる。再入室にあたっては当該機器を持ち込んでいないことを条件とする。

13. カードリーダーの設置について

各講義室および実習室、リフレッシュルーム等には、カードリーダーが設置されている。各授業の出席については、原則的にこれらに学生証をタッチすることで登録を行うので、学生証を必ず忘れないようにすること。

なお、授業によりこの装置を使用しないことがある。その場合は、担当教員の指示に従うこと。また、**万が一、学生証を忘れた場合、歯学系教務係でその日に限りの貸し出しカードを一時的に貸与するので申し出ること。**

基本的にはカードリーダーへのタッチで出欠がカウントされる。

14. 学生用メールについて

学生各自に割り当てられたメールアドレス（学籍番号下6桁にds@tmd.ac.jp）宛に、掲示に準じた連絡や、個別の連絡を送信することがあるので、定期的にチェックしておくこと。

15. その他

（1）クラブ、サークル等宛の郵便物等は、5号館4階談話室内にあるメールボックスにて保管しているので、責任者は適宜確認すること。

なお、個人宛の郵便物等は、大学に配達されることがないようにすること。

（2）事務の窓口

教 務 事 務：歯学系教務係（歯科棟南 2 階、内線 5411）

授 業 料の納入：財務施設部財務管理課収入管理係（1 号館西 3 階、内線 5048）

奨 学 金、授業料免除：学生支援事務室（5 号館 3 階、kousei.adm@ml.tmd.ac.jp）

奨学金： http://www.tmd.ac.jp/campuslife/scholarship/index.html

授業料免除：http://www.tmd.ac.jp/campuslife/exemption/index.html

災害関係連絡事項

1. 台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業の休講、試験の延期の措置等を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学部・大学院」ニュース欄に掲載する。

URL: http://www.tmd.ac.jp/faculties/index.html

○台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

・午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。
・午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。
・夜間（午後 6 時以降）の授業を休講、夜間（午後 6 時以降）の試験を延期とする場合は、午後 4 時までに公示する。

○首都圏における交通機関（JR および大手私鉄・地下鉄など）が全面的に運転を休止している場合

・午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。
・午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。
・夜間（午後 6 時以降）の授業を休講、夜間（午後 6 時以降）の試験を延期とする場合は、午後 4 時までに公示する。

2. 授業中の大規模地震のときの避難場所について

学内で地震や火災などの非常事態が起こった場合、あわてずに教員の指示に従って行動すること。

大学全体としての避難場所は M&D タワー前スペースとなっている。

3. 大規模地震ポケットマニュアルについて

このマニュアルは、大規模地震（震度 5 強以上を想定）が発生した場合の初動対応を掲載している。常時携行し、大規模地震が発生した場合の安全確保や避難及び安否確認等に役立てること。

マニュアルが手元に届かない場合、あるいは破損・紛失した場合は、以下に問い合わせること。英語版のポケットマニュアルも作成しているので、必要な場合は以下に申し出ること。

問い合わせ先：歯学系教務係（歯科棟南 2 階）03－5803－5411

なお、このマニュアルは、ホームページからも確認できる。

（学内専用サイト → 学内専用教職員学生向け情報 → 危機管理に関する情報）

http://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html

4. 安否確認システムについて

このシステムは、大規模地震はもとより、風水害等による本学の学生及び教職員の安否確認のため、携帯電話・スマートフォン・パソコンから安否情報を入力するものである。

大規模地震や風水害の際には、「大規模地震ポケットマニュアル」の「安否確認システムによる報告」を確認し、安否確認システム（https://asp21.emc-call3rd.jp/tmdu/）にアクセスし、ID（学籍番号）とパスワード（初期値は ID と同じ）によりログインして自身の安否を入力すること。

今後、このシステムの実効性を高めるため、試行を重ねる予定であるので、その際はメール等により案内する。

なお、このシステムの操作方法等については、ホームページから確認すること。

（学内専用サイト　→　教職員学生向け情報サイト　→　危機管理に関する情報）

http://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html

学生支援・保健機構について
学生・女性支援センターについて

学生・女性支援センターは、生活、修学、就職、メンタルヘルスやハラスメント、キャリアパスや学業（仕事）と家庭との両立に関することなど、キャンパスライフ全般に渡り、学生支援活動の充実を図ることを目的として設置されています。また、以下のとおり学生生活全般及びキャリアに関する相談に応じています。各ホームページに個別相談予約状況や予約方法を記載していますので、何かあればお気軽にご利用ください。なお、本センターは男女問わずご利用頂けます。

・場所：5 号館 3 階　　・業務時間：月～金（平日）9：00～17：00

※個別相談時間

事前予約制です。相談内容により曜日が決まっています。詳細はホームページをご参照ください。

※HP：本学トップページ>研究所・図書館等>学生支援・保健管理機構>学生・女性支援センター

<table>
<tr><th>担当名</th><th>内容</th><th>連絡先</th><th>HP</th></tr>
<tr><td>学生支援室</td><td>生活支援、修学支援、就職支援、メンタル（保健管理センターと連携）に関する相談、ハラスメントに関する相談及びカウンセリングに関すること。</td><td rowspan="2">e-mail：
scenter.stc@tmd.ac.jp

個別に相談に応じています</td><td>上記＞学生支援室/障害学生支援室＞専用 Web サイト
(http://www.tmd.ac.jp/stdc/index.)</td></tr>
<tr><td>障害学生
支援室</td><td>障害によってハンディを被ることなく修学できる様、個々人のニーズに合わせた支援及びその相談。

学生生活における困りごと、差別解消に関する支援及びその相談。</td><td></td></tr>
<tr><td>男女協働
参画支援室</td><td>今後の進路や生き方に関する支援及びその相談、妊娠・出産・育児と学業・仕事との両立、保育園入園、介護に関する支援及びその相談。マタニティ白衣の貸出、キャリアに関する図書の貸出。</td><td rowspan="2">e-mail：
info.ang@tmd.ac.jp

個別に相談に応じています</td><td>上記＞男女協働参画支援室/保育支援室＞専用 Web サイト
(http://www.tmd.ac.jp/ang/index.)</td></tr>
<tr><td>保育支援室</td><td>病児保育、病後児保育、一時保育、お泊り保育の利用に関する支援及びその相談。授乳・搾乳室の設置。</td><td></td></tr>
<tr><td>ダイバーシティ・
ダイヤモンド(DD)ユニット</td><td>研究力強化の支援、リーダーシップ向上支援、育児・介護と研究の両立支援、産学連携の支援、若手研究者キャリアパス支援。</td><td>順天堂大学・株式会社ニッピと連携して女性研究者の研究力を強化する事業を実施しています</td><td>専用ＨＰ
http://www.tmd.ac.jp/cmn/ddu/index.</td></tr>
</table>

保健管理センターについて

健康状態の把握と、疾病の早期発見のため、定期あるいは臨時の健康診断及びワクチン接種等を行います。また、心身両面の健康障害や不安について、診察や相談を行っています。

○組織と業務

名称	場所	連絡先	業務内容
保健管理センター	湯島　5 号館 2 階	03-5803-5081	1. 健康相談 2. メンタルヘルス相談 3. 健康診断 4. 健康診断証明書の発行 5. 応急処置・診察・治療（軽い怪我・風邪など） 6. 各種抗体検査・ワクチン接種
保健管理センター分室	国府台　シャン･ドゥ・コーズリー1 階	047-300-7108	

○保健管理センターの利用について

1）メディカルスタッフへの相談を希望する方は、HP の健康相談予定表で確認の上、相談においでください。軽い怪我や風邪などについては治療を受けることもできます。また、必要に応じて医療機関への紹介状もお書きします。メンタルヘルスに関する相談も行っております。

2）月曜日～金曜日の開室時間内は、血圧測定や視力検査、身体計測など自己測定ができます。（以下は当面休止とさせていただきます。）その他、湯島では、エアロバイク・ジョーバなど健康機器やマッサージチェア・Nap 用ベッドも備えていますのでご利用ください。

開室時間	湯島地区	８時４５分～１７時００分
	国府台地区	９時４５分～１６時１５分 （木曜日のみ１５時４５分）

ホームページ：http://www.tmd.ac.jp/hsc/index.html

図書館について

1．場所：M&D タワー3 階（カウンター、閲覧席等）、4 階（閲覧席、情報検索室等）

2．利用可能時間：

開館時間	平日	8：30～22：00
	土日祝	10：00～18：30
（情報検索室）	平日	9：00～21：00
	土日祝	11：00～17：30
休館日		年末年始

3．利用方法：（詳細は「図書館ホームページを参照してください。）

- 図書館の利用には、利用証が必要です。IC カードタイプの学生証が利用証になります。入館ゲートにかざして入館してください。忘れた場合はカウンターに申し出て下さい。入館はできますが、貸出ができません。
- 探している資料があるか、配架場所等は図書館ホームページ蔵書検索（OPAC）でお調べください。
- 貸出を希望される資料と利用証を持って、カウンターへお越しください。自動貸出機もご利用いただけます。ただし、CD-ROM などの付属資料のあるものはカウンターでの貸出のみとなります。貸出可能冊数は図書・製本雑誌合わせて 5 冊まで、貸出期間は図書は 2 週間、製本雑誌は 1 週間です。
- 引き続き資料を利用したい場合、期限日内であり、次に予約が入っていない図書に関しては、1 回に限り貸出期間を延長することが出来ます。図書館ホームページの My Library もしくは自動貸出機、カウンターで延長手続きをしてください。
- 本館・分館間で不定期に、資料の取り寄せを行っています。カウンターで申込手続きを行ってください。（来館でのお申込みのみになります）
- 本館・分館の資料は、どちらの図書館でも返却できます。（返却日は厳守してください）
  開館時：カウンターに返却してください。
  閉館時：M&D タワー1 階、図書館入口のブックポストに返却してください。
- 製本雑誌は自動書庫に保管されています。あらかじめ OPAC から出庫予約をして 4 階出庫ステーションからご自身で取り出して、ご利用ください。
  出庫予約時の ID・パスワードは MyLibrary と同じ統合 ID とパスワードです。
- 電子ジャーナルは出版社との契約により、学内 LAN からの利用のみになります。
- 本学の資料を著作権の範囲内で複製することができます。コピーはセルフサービスです。図書館に設置されているコピー機をお使いください。現金またはプリペイドカードでお支払いください。両替はできません。料金：モノクロ 1 枚　10 円　カラー1 枚　30 円
- 情報検索室の PC が利用できます。（ただし、利用できない日もあります）ネットワークの利用には学内 LAN アカウントとパスワードが必要です。プリンターは情報検索室を出て左手奥に 1 台設置されており、モノクロとカラー印刷が可能で有料となります。

- 館内は無線 LAN 対応です。各自で持ち込まれるパソコンからインターネット、学内 LAN に接続する場合は、学内 LAN アカウントとパスワードが必要となります。学内 LAN アカウントとパスワードが必要ない印刷は USB メモリー印刷専用の PC が 3 階と 4 階に設置されていますので、USB メモリーに保存してあるものは印刷が可能です。印刷物はそれぞれ指定のプリンター（モノクロ、カラー・有料）から出力されます。
  3 階閲覧室に備付のパソコンがあります。インターネット、印刷利用の場合は、学内 LAN アカウントとパスワードが必要です。3 階閲覧室のプリンターはカウンター脇（モノクロ、カラー・有料）にあります。
- 利用したい資料が学内（講座・電子ジャーナル含む）になく、他大学や研究機関の図書館で所蔵している場合、複写を申し込む、または図書を他大学等から取り寄せることができます。複写と貸借は My Library からお申込みください。
- 他大学の図書館を利用する場合、身分証の他に紹介状が必要です。（紹介状は訪問希望日の 3 日前までにお申し込みください）訪問先で利用したい資料の所在を確認し、カウンターでお申込みください。なお、明治大学の図書館は本学の学生証で利用することができます。ただし、明治大学図書館の資料の館外貸出を希望される方は学生証の他に、住所のわかるものを持参していただき、明治大学のライブラリーカードを作る必要があります。（1 月、7 月は利用不可、3 月貸出停止）
  （注）Covid-19 感染拡大防止のため、他大学の図書館（明治大学図書館を含む）は学外者の利用を停止している場合があります。詳細は当該図書館の HP をご覧ください。
- 館内での飲食は原則禁止です。（本館では、3 階の図書館入口前に、飲食ラウンジがあります。）
- 所持品は各自責任を持って管理してください。貴重品は常に携帯してください。荷物を置いたままで長時間席を離れる席取り行為はやめてください。長時間席に居ない場合は、荷物を回収することもあります。

4．問い合わせ先：内線　5596　　e-mail: info-serve.lib@ml.tmd.ac.jp
ホームページ: https://www01s.ufinity.jp/tmdu/

国立美術館キャンパスメンバーズについて

「国立美術館キャンパスメンバーズ」とは、学校教育において美術館を有効に活用することと、学生や教職員の美術に親しむ機会をより豊かにすることを目的とした、大学等を対象とする制度です。本学でもこのキャンパスメンバーズに加入しています。

１．対象：本学の学部学生・大学院生・教職員

２．特典：所蔵作品展の「無料観覧」(所蔵作品を持たない国立新美術館を除く）

特別展・共催展の「割引観覧」（学生は大学生団体料金・教職員は一般団体料金）

３．利用方法：各館の券売所または改札で学生は学生証、教職員は身分証明書を提示し、キャンパスメンバーズの利用の旨を伝え、入館または観覧券を購入してください。学生証、身分 証明書を持参していない場合、特典を受けることはできません。なお、詳しい日程は、各館のホームページで確認してください。

４．利用機関：以下の3 館

国立西洋美術館、東京国立近代美術館、国立新美術館

５．ホームページ：http://www.tmd.ac.jp/campuslife/campus_members/index.html

http://www.campusmembers.jp/

7 号館の管理・使用について

1. 7 号館出入り口の施錠について

   7：00～18：00　※消防法の規定により、歯科棟北側は避難口のためせじょうしても建物内から外へはいつでも出られる。

2. 7 号館内各室の施錠について

   講義室：7：00～17：00　（使用する教室のみ）

   学生更衣室はテンキーロックを行っているので解除番号を忘れないこと。

3. 7 号館における講義室の目的外使用について

   講義室は実習室兼用のため、原則として目的外使用は許可しない。

4. 学生の更衣室について

   更衣室でサークルの集会をしたり、ゲーム等はしないこと。

5. その他

   - 講義室の机の上に腰をかけないこと。
   - ホワイトボードに連絡事項を書いたときはあとで学生自身が消すこと。
   - 7 階以上は実験施設なので感染予防等のため関係者以外の出入りを禁止する。
   - 病院内の通行に際しては、特に患者さんに配慮すること。
   - 病院内の患者待合場所での休憩は差し控えること。
   - 講義室・実習室・更衣室等においては、弁当・紙くず等は散らさないように必ずゴミ箱に捨てること。
   - 参考書・ノート等の私物は講義室の中に放置しないこと。放置された私物は予告なく処分することがある。
   - 室内は掲示物の貼付を禁ずる。
   - 講義室・実習室等においては、下駄履きは厳禁する。
   - 白衣を着たまま大学外を出ることを禁ずる。

ロッカーの使用について

1. ロッカーの鍵は必ず閉め、盗難に注意すること。
2. ロッカーの上に私物を置かないこと。置いた場合は教務係で撤去する。
3. ロッカーの内外部にシール・ポスター等をはらないこと。貼った場合は教務係で剥がします。
4. ロッカー室内は自主的に清掃すること。

学生用掲示板使用について

1. 掲示物の内容については関知しないが、良識を持って掲示すること。
2. 掲示期間を定め、期間をすぎる事のないよう自主的に撤去すること。
   （掲示板の設置場所・・・7 号館 1 階・2 階）

歯学科コンピテンシー
専門科目履修規則
履　修　内　規
試　験　規　則
試　験　内　規
単位取得及び進級判定基準

大領域	小領域	要点	細目(Level A)	細目(Level B)	細目(Level C)	細目(Level D)	01歯学入門	02人体の構造と機能	31頭頸部基礎ブロック	03患者と医療者	04社会と環境	05生命の分子的基盤	30医歯学基盤教育（生命倫理）	30医歯学基盤教育（臨床統計）	30医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーション）	06臨床歯学イントロダクション	07感染と生体防御	08臨床予備実習	09病理	10予防と健康管理	11生体と薬物	12歯科放射線基礎	13病態科学演習	14内科・小児・遺伝疾患	15外科系疾患	32頭頸部臨床ブロック	33老年医学ブロック	16課題統合セミナー	17学年混合選択セミナー	18歯科生体材料	19研究実習	20歯と根尖歯周組織の疾患	21咬合回復	22臨床体験実習	23歯周病	24咬合育成・発達	25顎口腔医療	26全身と歯科医療	27発展歯科臨床	28臨床情報処理	29包括臨床実習	包括医療統合教育ブロック
学年							1	2,3	2	2	2	2	2,3,4	2,3,4	2,3,4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3,5	3,4,5	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5,6	6
国際人としての基盤	国際感覚／国際的視点	国際感覚／国際的視点	世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて精通するよう情報収集する習慣を有し、議論できる	世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて議論できる	世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて説明できる		C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	C	B	B	B	B	B	B	A	A
	国際言語の運用力	国際言語（英語）の運用力	世界中から発信される医学/歯学における最新の情報につき常に自己アップデートする習慣を可能にする国際言語（英語）能力を有する	科学/医学/歯学の専門用語/表現の理解/表記/発音ができる	非専門用語/表現の理解/表記/発音ができる		C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	C	B	B	B	B	B	B	A	A
科学的探究心とEBD	情報収集・管理	情報技術を利用しての情報収集	情報技術を適切かつ効率よく利用し、必要な情報を取得する				A														A																			A		
		歯科医療情報の特性の理解	歯科医療情報を適切に処理・活用できる																																					A	A	A
		守秘義務	患者情報の守秘義務を果たすことができる	守秘義務の実行方法について理解する	患者情報の守秘義務に必要性を理解する		C		C			C	C					C																B						B	A	A
		情報のアップデート	常に新たな情報を探し求めることができる	必要な情報を新たに得る方法を習得する			B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A
	科学的探求への姿勢	問題発見・解決能力	臨床的あるいは科学的問題を認識し、その問題点を説明できる。	臨床的あるいは科学的問題を解決するための方法を理解する	臨床的あるいは科学的問題を知る		C	C	C			B	B	B	B	B	C	B	C		C	C	C	C	C	C	C	C	A	C	A	C	C	A	C	C	C	C	C		A	A
		研究活動の実践	指導教員のもとで研究を実践できる。	指導教員のもとで研究計画を立案できる。	研究の目的や手技を理解できる			C				C	B	B			C				C										A											
		研究発表	研究で明らかにした新知見を明確に説明できる	科学論文を読んで、その内容を理解し、紹介できる	科学論文を読んで、その内容を理解する										C						C								B		A											
		研究理論の理解	医学的発見の基礎となる理論と方法論を概説できる																		A										A											
		研究倫理の理解	研究倫理を理解して動物、ヒトもしくはヒト由来の標本を扱うことができる	実験動物、ヒトに関する研究の倫理的事項を概説できる			B			B			B								A										A											
プロフェッショナリズム	医療人としての姿勢・行動	対人関係	患者・家族に共感、敬意、思いやりをもって接することができる	医療における接遇の重要性を説明できる	コミュニケーションの重要性を理解している		C			B						B		A								A								A							A	A
		対人関係	歯科医療チーム、他の専門職に対して、敬意、共感、責任感、誠実さを持って協働できる	チーム医療の必要性を理解している			B			B						B		B								B,A	B,A														A	A
		品位	医療人として適切な服装、言葉遣い、立ち振る舞いを実践できる	医療人として適切な服装、言葉遣い、立ち振る舞いを説明できる	医療人としての立場を理解している		B			B								B								A															A	A
		リーダーシップ	歯科医療チームを管理する立場として行動できる	歯科医療チームを管理する立場を理解できる						B																	B														A	A
		勤労習慣	医療人としての基本的行動規範を順守できる				A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		自己管理	ストレス管理・健康管理の重要性および適切な対応方法を実践できる	ストレス管理・健康管理の重要性および適切な対応方法を説明できる							B													B															B		A	
	倫理	良識を伴った行動	常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる	物事の健全な考え方・正しい判断とは何かを身につける。			B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A
		患者中心医療の実践	患者中心の医療を理解し，行動することができる	模擬患者等に対して患者中心の医療に基いた対応ができる。	患者中心の医療に基づいた行動を具体的に説明できる。		C			C	C		C		C	C		C								BA						B	B	A	B	B	B	B	B		A	A
		プライバシー尊重	患者のプライバシーを尊重できる	患者のプライバシーの尊重について説明できる。	患者のプライバシーの尊重について学習する。		C			C			B					B								A								B							A	A
		患者権利の尊重	患者の権利を理解し、インフォームドコンセントを適切に取得することができる	模擬患者を使ってインフォームドコンセントを取得することができる。	インフォームドコンセントについてを説明できる。		C			C			C		C	C		C								C						C	C		C	C	C	C	C		B,A	A
		インシデントへの対応	医療事故やインシデントに関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる	:医療事故やインシデントに関する情報を共有、重要性を理解し、再発防止に役立てることができることを理解する						B					B	B		B														B	B	B	B	B	B	B	B		A	A
		著作権への対応	臨床記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる	臨床・研究に関する学術発表や論文記述などの際に必要な著作権に関して説明できる。			A	A	A	A	A	A	A	A	A		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		不正への対応	職務上の不正を認識し、倫理的に適切な対応を取る必要性を認識している	職務上の不正が社会に及ぼす影響を説明できる.			B			B	B				B			B																B							A	A
		自己能力の認識	自分の能力の限界を認識し、行動すること必要性があることを理解している	自己能力を認識した行動ができる。	自己能力を認識する。		B	A	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	A	B	B	B	B	B	B	A	A
	法令、機関内規、規範等	法令、機関内規、規範等の遵守	大学の学則等の所属機関の内規、法令、規範等を遵守できる				A																																			
	倫理	利益相反	利益相反が生じる可能性を認識し、適切に対処できる	利益相反および回避するための行動を説明できる									B		B																A											
		企業との倫理的な関係	企業と倫理的に適切な関係を保つことができる	企業と倫理的に適切な関係を保つ必要性を説明できる									B		B																A											
	職業人としての生涯学習	振り返りを通じた自己研鑽	自身の振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善のための学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる				A																																			
		生涯学習の必要性の理解	高度な歯科医療を提供するために、生涯にわたり研鑽を積むことの重要性を理解する																		A				A	A	A	A	A	A		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		生涯学習の制度の理解	卒後研修制度を理解する	卒直後臨床研修制度を理解する			A											B			A																				A	A
		生涯学習の制度の理解	各種学会専門医制度を理解する																A		A											A	A		A	A	A	A			A	
対人コミュニケーション	医師患者関係	医師患者関係	診療において、患者とのラポール構築のために必要な行動をとることができる	患者とのラポール構築のための知識を持っている			B			B						B		B								B	B												B		A	A
		医師患者関係	患者の心理状態や社会的背景に配慮できる	患者の心理状態や社会的背景を理解できる			B			B						B		B								B	B												B		A	A
	患者および家族とのコミュニケーションと情報共有	患者・家族の文化背景への対応	様々な背景や文化を持つ患者や患者家族と、効果的に意思疎通をとることができる	患者や患者家族の様々な背景や文化を認識することができる。						B						B		B								B	B												B		A	A
		患者中心の診療	患者の要望や懸念を認識し、診療計画策定を行い、診療することができる	患者の要望や懸念を認識することができる。						B						B		B								B	B												B		A	A
		患者との情報共有	患者や患者家族に、口頭および書面にて、臨床所見/情報およびその後の計画を提示することができる	患者や患者家族にしめすための、口頭および書面にて、臨床所見/情報およびその後の計画を作成しまとめることができる。						B						B										B	B												B		A	A
	医療チームにおける意思疎通	医療チームにおける情報共有	歯科医療チームおよび他医療者に対して、口頭および書面にて、患者に関する全ての臨床情報を、わかりやすく提供することができる	歯科医療チームおよび他医療者に対して提示する患者に関する全ての臨床情報を、わかりやすくまとめることができる。						B															B	B	B												B		A	A
		医療チームにおける情報共有	歯科医療における処方箋、依頼書、報告書、紹介状、照会状などの文書を適切に記述できる							A											A																		B		A	A
		医療チームにおける情報共有	診療の引き継ぎに際して、引き継ぐ担当者に、臨床情報を効果的に提供することができる							A																													B		A	A
		多職種連携への基礎	多職種チームのすべてのメンバーと敬意を払いつつ効果的な議論ができる							A																A	A														A	A
		教育現場におけるコミュニケーション	指導教員、上級生、同級生、下級生と、良好な意思疎通を図ることができる							A								A								A	A							A							A	A
知識とその応用	基礎歯学（人体の構造・機能と病態科学）	頭頸部臨床	頭頸部領域の基礎医学および臨床医学知識を、頭頸部領域の診療に適用できる	頭頸部領域の基礎医学および臨床医学知識を持っている				B	B							B								B	B	B										B	B		B		A	
		解剖、生理、生化学	歯科医学に関連する解剖、生理、生化学の知識を歯科臨床における現象の理解に適用できる	歯科医学に関連する解剖、生理、生化学の知識を持っている	人体の構造と機能および生命現象を司る物質的基盤を理解する			C	B			B				B	A		A	A	B	A	A	A	A	A	A	A				A	A		A	A	A	A	A		A	
		病態科学	口腔病変の病因と病理学的発生過程に関する知識を病態の理解に適用できる	口腔病変の病因と病理学的発生過程に関する知識を持っている	口腔・頭蓋・顎顔面領域の正常構造を理解する			C	B			B				B	A		A	A		A	A	A		B	A	A				A	A		A	A	A	A	A		A	
		感染と生体防御	感染とその予防・治療に関する基礎的知識を歯科臨床において適用できる	感染とその予防・治療に関する基礎的知識を持っている								B				B	B				B		A	A	A	A	A					A			A	A	A	A	A		A	
		薬理	歯科臨床に関連する薬とその使用方法に関する知識を歯科臨床に適用できる	歯科臨床に関連する薬とその使用方法に関する知識を持っている								B				B					B		A	A	A		A					A			A	A	A	A	A		A	
	臨床医学（口腔病態と全身病態）	老年医学:臨床の基礎	老年医学の知識を、高齢者の診療/歯科診療に適用できる	老年医学の知識を持っている	身体の構造と機能の加齢変化（常態）を理解する）			C								B					B		B	B	B		B										A	A	B		A	A
		内科・外科	薬とその使用方法に関する知識を歯科臨床に適用できる	薬とその使用方法に関する知識を持っている												B							B	B	B		B										A	A	B		A	A
		口腔病態と全身病態の関連	全身/口腔疾患の関連についての知識を、歯科医療に適用できる	全身/口腔疾患の関連についての知識を持っている												B							B	B	B		B									B	A	A	B		A	A

大領域	小領域	要点	細目(Level A)	細目(Level B)	細目(Level C)	細目(Level D)	01歯学入門	02人体の構造と機能	31頭頸部基礎ブロック	03患者と医療者	04社会と環境	05生命の分子的基盤	30医歯学基盤教育（生命倫理）	30医歯学基盤教育（臨床統計）	30医歯学基盤教育（グローバルコミュニケーション）	06臨床歯学イントロダクション	07感染と生体防御	08臨床予備実習	09病理	10予防と健康管理	11生体と薬物	12歯科放射線基礎	13病態科学演習	14内科・小児・遺伝疾患	15外科系疾患	32頭頸部臨床ブロック	33老年医学ブロック	16課題統合セミナー	17学年混合選択セミナー	18歯科生体材料	19研究実習	20歯と根尖歯周組織の疾患	21咬合回復	22臨床体験実習	23歯周病	24咬合育成・発達	25顎口腔医療	26全身と歯科医療	27発展歯科臨床	28臨床情報処理	29包括臨床実習	包括医療統合教育ブロック
						学年	1	2,3	2	2	2	2	2,3,4	2,3,4	2,3,4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3,5	3,4,5	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5,6	6
診療の実践	臨床歯学（高度専門知識の応用）	歯冠修復・歯冠補綴	審美的修復などの高度な歯冠修復、補綴治療に関する専門的知識を、個々の症例に適用し、適切に説明できる	審美的修復などの高度な歯冠修復、補綴治療に関する専門的知識を持っている	歯の形態と歯列咬合に関する知識を身につける			C								B												C		C		B	B			B			B		A	
		歯周病	高度な歯周治療に関する専門的知識を、個々の症例に適用し、適切に説明できる	歯周外科の高度な歯周治療に関する専門的知識を有している	歯周組織の構造と発生の仕組み、加齢変化を理解する			C								B																			B	B			B		A	
		歯髄疾患と根尖歯周組織疾患	外科的歯内治療等の高度な歯内治療に関する専門的知識を、個々の症例に適用し、適切に説明できる	外科的歯内治療等の高度な歯内治療に関する専門的知識を有する	外科的歯内治療等の高度な歯内治療に関連する歯髄、根尖歯周組織疾患の概略を理解する			C								B						B								B		B				B	B		B		A	
		口腔外科・矯正歯科	外科的治療・矯正歯科治療を要する口腔顎顔面領域に生じる疾患に関する専門的知識を、個々の症例に適用し、適切に説明できる	外科的治療・矯正歯科治療を要する口腔顎顔面領域に生じる疾患に関する専門的知識を有する	外科的治療・矯正歯科治療を要する口腔顎顔面領域に生じる疾患の概略を知っている	口腔・頭蓋・顎顔面領域の諸構造とそれらの解剖学的相互関係を理解する		D	D			C				A	C		B		B	B	B	B				B								B	B		B		A	
		放射線治療	人体に対する放射線の影響を基礎としながら、放射線治療による治療効果や正常組織障害を適切に説明できる	人体に対する放射線の影響ならびに放射線治療による治療効果や正常組織障害に関する専門的知識を有する。												B						B				B											B		B		A	
診療の実践	科学的根拠に基づいた医療の展開	科学的根拠に基づいた医療の展開	臨床上の疑問を定義し、これらの疑問を解決するために適切な情報源にアクセスし、得られた知見を診療に適用できる	臨床上の疑問を定義し、これらの疑問を解決するために適切な情報源にアクセスし、情報を得ることができる	臨床上の疑問を定義できる									C		C										B	B												B	B	A	A
		科学的根拠に基づいた医療の展開	臨床判断に際し、関連する質の高いエビデンスを、十分吟味した上で適用できる	質の高いエビデンスを、十分吟味できる	エビデンスに関する知識を身につける									C		C																							B	B	A	A
		科学的根拠に基づいた医療の展開	患者の疾患可能性にもとづく診断的検査の意義について、適切な疫学用語と疾病パターンの知識を適用し、検討できる	患者の疾患可能性にもとづく診断的検査の意義について、適切な疫学用語と疾病パターンの知識を身につける												B				B			B			B	B	B		B		B	B		B	B	B	B	B	A	A	A
		診療ガイドラインの利用	必要な診療ガイドラインを入手し内容を理解できる	診療ガイドラインに関する知識を身につける										B		B																					B		B	B	A	A
		研究デザインの理解	臨床研究の吟味において、研究デザインや統計的手法についての知識を適用できる																																					A		
		研究デザインの理解	適切な疫学用語を用いて、医学的介入の利点と欠点を説明できる																																					A		
診療の実践	診査診断と治療計画	病歴聴取	病歴を系統立てて聴取できる	病歴聴取に関する知識を身につける						B						B																					B		B		A	A
		診査と検査	症例に応じた診査と検査ができる	症例に応じた診査法と検査法を列挙できる	診査と検査に関する知識を身につける											C									C	B	B							B			B		B		A	A
		画像診断	適切な画像検査法を選択し、結果を解釈できる	各種画像検査法の種類と適応を説明できる	放射線に関する知識を身につける	人体の正常解剖および病態に関する知識を身につける		D	D							C			D			B,C															B		B		A	A
		治療計画立案	適切な治療計画を立案できる	適切な診査診断法、治療方法が列挙できる	適切な診査診断が行える											C																B	B		B	B	B	B	B		A	A
	症例プレゼンテーション	症例プレゼンテーション	適切な診査診断，治療計画を含んだ症例プレゼンテーションができる																														A					B		A	A
	治療とその技能	標準予防策	感染に対する標準予防策（universal precaution）にしたがうことができる	感染に対する標準予防策（universal precaution）を説明できる												B	B	B																				B		A	
		歯冠修復・欠損補綴	基本的な歯冠修復・欠損補綴処置ができる	基本的な歯冠修復・欠損補綴処置を説明できる	基本的な歯冠修復・欠損補綴処置に関する知識を身につける	歯の形態と歯列、咬合に関する知識を身につける		D	D							C							B							C		C	B	B	C				B		A	
		歯周病	歯周病の基本的な治療ができる	歯周病の予防・診断および治療を説明できる	歯周病の病因・病態を理解できる	歯周組織の構造と発生の仕組み、加齢変化を理解する		D	D	B	C	D	D			C	D		C	C			C			D	D								B				B		A	
		歯髄疾患と根尖歯周組織疾患	歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の基本的な治療ができる	歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の予防・診断および治療を説明できる	歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の病因・病態を理解できる	歯髄と歯周組織の構造と相互関係を理解する		D	D							C	C		C		C	C								C		B	C		C	C		C	B		A	
		外科処置	基本的な外科処置ができ、粘膜疾患への適切な対応ができる	基本的な外科処置が説明でき，粘膜疾患を理解できる	口腔・頭蓋・顎顔面領域に関する基礎的な知識を身につける			C	C			C				C	C		C				B		B	B											B		B		A	
診療の実践		放射線	適切な画像検査を実施し、結果を解釈できる。	画像検査について説明できる	画像検査に関する知識を身につける	人体の正常解剖および病態に関する知識を身につける		D											D			B,C				D											B		B		A	
		歯科材料	歯科材料の利用根拠とその限界に関する知識をもとに、適当な歯科材料を選択できる	歯科材料の利用根拠とその限界に関する知識を身につける	歯科材料に関する基本的知識を身につける											C														C		B	B	B					B		A	
		小児歯科	小児の口腔領域の基本的な疾患について、治療計画を説明でき、簡単な治療ができる	小児の口腔領域の基本的な疾患について、治療計画を説明できる	小児の口腔領域の基本的な疾患を理解できる	小児の口腔領域に関する知識を身につける		D	D	B	C		D			C	C		C	B	C	C	B	C						C		C	B		C	B		B	B		A	
		矯正歯科	基本的な歯科矯正・外科的矯正治療について、治療計画を説明できる	基本的な歯科矯正・外科的矯正治療について理解できる	顎口腔領域の形態・機能及びそれらの成長変化に関する知識を身につける			C	C							C										B										B	B		B		A	
		顎関節症	顎関節症の基本的な治療計画を説明できる	顎関節症の予防・診断および治療を説明できる	顎関節症の病因・病態および付随する機能障害を理解できる	顎関節と咀嚼筋に関する知識を身につける		D	D							C			C			C,D				B		C									B		B		A	
		全身管理と麻酔	歯科治療に必要な全身管理方法の立案ができ、麻酔手技について説明できる	歯科治療に必要な全身管理について説明できる	歯科治療に必要な全身管理に関する知識を身につける			C				C				C			C		C			C	C		B											A	B		A	
		スペシャルケア	特別なケアを必要とする患者の全身状態の評価をし、治療計画について説明できる	特別なケアを必要とする患者の全身状態の評価法を説明できる	特別なケアを必要とする患者の全身状態に関する知識を身につける											C								C			B											B			A	A
		インプラント	インプラント治療の基礎的知識を治療計画立案に適用できる	インプラント治療の基礎的知識を身につける	口腔・頭蓋・顎顔面領域の諸構造とそれらの解剖学的相互関係を理解する			C	C							B	B						B	B		C		B		B			A						B		A	
		スポーツ歯科	スポーツ歯科に関する基本的知識に基づき，競技者やスポーツ愛好家の治療計画と安全対策を説明できる	スポーツにおける歯科的健康管理およびスポーツ歯科傷害の診断・治療・安全対策について説明できる	スポーツにおける歯科的健康管理およびスポーツ歯科傷害の診断治療や安全対策に関する基本的知識を身につける															C								B											B		A	
		歯科心身症	歯科心身症に関する知識を診療に適用できる	歯科心身症に関する知識を身につける																	B															B		B	A		A	
	予防と口腔衛生の維持	予防と健康管理	すべての年齢層での口腔疾患の予防と健康管理を実践できる	すべての年齢層での口腔疾患の予防と健康管理を説明できる	すべての年齢層での口腔疾患の予防と健康管理に関する知識を身につける		C			C	C		C	C		C				B			B			C	B	B				B	B		B	B	B	B	B	B	A	A
		食事指導	健康づくりの基本となる栄養・食生活と口腔の健康との関連を説明できる	健康づくりの基本となる栄養・食生活と口腔の健康に関する知識を身につける							B									A			A												A	B		A			A	A
社会における予防と健康増進	地域における個人・家族・集団の口腔保健増進	病院・診療所運営システムの理解と応用	学生、指導教員、多職種医療従事者により構成されるチーム医療に参加する際に、チーム医療を成立させる基盤システムを活用できる	学生、指導教員、多職種医療従事者により構成されるチーム医療に参加する際に、チーム医療を成立させる基盤システムを説明できる	学生、指導教員、多職種医療従事者により構成されるチーム医療に参加する際に、チーム医療を成立させる基盤システムに関する知識を身につける		C			B	B		B							B				B	B	B	B	B				B	B	A	B	B	B	B	B	B	A	A
		医療保険・費用等の知識	医療保険、コスト、医療の質、そして医療アクセスに関する知識を、個々の患者の診療に適用できる	医療保険、コスト、医療の質、そして医療アクセスに関する知識を身につける							B					B				B			B			B	B	B				B	B		B	B		B	B	B	A	A
		医療システムの理解と応用	地域・病院における医療展開およびそれに関わる組織（患者団体、病院、保険団体、行政機関、歯科材料会社等）について理解する	地域・病院における医療展開およびそれに関わる組織（患者団体、病院、保険団体、行政機関、歯科材料会社等）について関する知識を身につける			B			B	A									A							A														A	A
		医療政策との関わり	医療政策の立案過程、および歯科医師が医療政策立案に関われる機会について、説明できる	医療政策に関する知識を身につける							B									B							B												B		A	A
		社会・文化・環境要因と疾病との関連	健康・疾病に影響を与える社会的、文化的、環境的要因を説明できる	健康・疾病に影響を与える社会的、文化的、環境的要因に関する知識を身につける			B			B	A					B				A							B														A	A
		他医療の発展と口腔保健活動の関係の理解	各種医療サービスと口腔保健活動の関わりの重要性を理解し、歯科医療チームの基本的能力を向上する必要性を理解する	各種医療サービスと口腔保健活動の関する知識を身につける			B			B	B									B							B														A	A

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

平成２２年３月３０日
規　則　第　４　１　号

（趣旨）
第１条　東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成１６年規程第４号。以下「学則」という。）定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（専門科目の単位数及び履修学年）
第２条　専門科目の単位数及び履修学年については、別表１に定めるとおりとする。
２　前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

（授業）
第３条　専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

（授業時間）
第４条　学則第３６条に定める１単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。
(1) 講義及び演習については、１５時間から３０時間
(2) 実習については、３０時間から４５時間
２　前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。
(1) 学習目標を十分に満たすこと
(2) 履修時間及び自主的学修時間の確保
３　第１項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の１単位当たりの授業時間は２５時間とし、講義１０時間・実習１５時間の割合で構成する。

（編入学者、転入学者の単位認定）
第５条　学則第１２条から第１８条の２までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。
２　前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）において行うものとする。
３　在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

（再入学の単位認定）
第６条　学則第１９条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

（編入学者、転入学者、再入学者の在学年限）
第７条　学則第１２条から第１９条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第３２条第１項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

（試験及び単位）
第８条　履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。
２　前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。
３　実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

４　実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
５　学習の評価は、別表２のとおりとする。
６　単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
７　試験の方法に関しては別に定める。

（進級等要件）
第９条　学生は、別表３に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修又は単位を修得することができない。
２　医学部医学科並びに歯学部歯学科及び口腔保健学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は２年までとし、２年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第３３条第１項第１号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
３　前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
４　第２項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるものとする。

（卒業認定）
第１０条　学生の卒業認定は、学則第３９条により行うものとする。

（補足）
第１１条　この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附　則
１　この規則は、平成２２年４月１日から施行する。
２　東京医科歯科大学医学部履修規則（平成１６年規則第２０１号）は、廃止する。
３　東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成１６年規則第２１３号）は、廃止する。
４　平成２２年３月３１日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学するものについては，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
５　平成２２年３月３１日において現に歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学する者については，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附　則（平成２３年３月４日規則第１５号）
１　この規則は、平成２３年４月１日から施行する。
２　平成２３年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２４年２月３日規則第１９号）
１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。
２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２４年３月３０日規則第６０号）
１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。
２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２５年３月２９日規則第５６号）
１　この規則は、平成２５年４月１日から施行する。

２　平成２５年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２５年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表１（３）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２５年５月３０日規則第７３号）

この規則は、平成２５年５月３０日から施行し、平成２５年４月１７日から適用する。

附　則（平成２６年３月２５日規則第８号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２６年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　平成２５年１０月１日の在学者については、平成２５年度に医学部又は歯学部１年次に入学した者にのみ改正後の別表１（７）を適用する。

（平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）

３　前項の規定にかかわらず、平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表１（７）は、次のとおりとし、平成２５年１０月１日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論１	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論２	1		○				
	医療リーダーシップ特論３	1		○				
	医療リーダーシップ特論４	1			○	○（※２）		
	医療リーダーシップ特論５	1			○（※１）			
	国際教養特論１	1	○	○				
	国際教養特論２	1		○	○	○（※２）		
	国際教養特論３	1		○	○	○（※２）		
	計	8						

※１　医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※２　医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※３　医療リーダーシップ特論は、原則として、１を履修しなければ２を、２を履修しなければ３を、３を履修しなければ４を、４を履修しなければ５を履修することができない。

※４　国際教養特論は、原則として、１を履修しなければ２を、２を履修しなければ３を履修することができない。

附　則（平成２７年３月１０日規則第１６号）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２７年３月１０日規則第１７号）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２７年６月１日規則第１４０号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　前項の規定にかかわらず、平成２３年度から平成２６年度までに入学した者のうち、平成２６年１２月１日において、現に本学に在学する者（以下「平成２３年度以降に入学した在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に平成２３年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表１（４）の

「

包括臨床実習	41											○	○	○

」は、

「

包括臨床実習	43											○	○	○

」と、

「

長寿口腔健康科学コース	2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1～6												

」は、

「

長寿口腔健康科学コース		2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1～8												

」と読み替え、平成２６年１２月１日から適用する。

３　平成２２年度以前に入学した者のうち、平成２６年１２月１日において、現に本学に在学する者（以下「平成２２年度以前に入学した在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に平成２２年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成２６年１２月１日から適用する。

授業科目	３年		４年		５年		６年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人体の構造と機能	○	○						
生命の分子的基盤と細胞の機能	○							
病理		○						
感染と生体防御		○						
生体材料		○						
歯科放射線基礎		○						
歯科医療入門	○							
歯科医療基礎			○					
咬合育成・発達				○				
う蝕と歯髄疾患				○	○			
歯周病					○			
咬合回復				○	○			
顎口腔医療					○	○		
全身と歯科医療					○	○		
臨床体験実習	○	○		○				
学年混合選択セミナー	○		○		○			
課題統合セミナー		○		○	○			
総合課題演習	○	○						

研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○
デンタルエクスターンシップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、１プログラムにつき１単位を認定する。
但し、同一年次・年度に認定できる単位は、１単位を上限とする。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７０号）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

３　前項の規定にかかわらず、別表１（２）の「

Learning Medical English				○	○	○	

」は、平成２８年４月１日から適用する。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７１号）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７３号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（２）及び（３）のうち次に掲げる科目並びに（７）及び（８）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表１（２）　国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ

別表１（３）　アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English

３　平成２８年３月３１日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	Ａ＋
優	Ａ
良	Ｂ
可	Ｃ
不可	Ｄ

附則（平成２８年１１月７日規則第１５９号）

１　この規則は、平成２９ 年４月１日から施行する。

２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及　び平成２９年４月１日以降に　在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

３　前項の規定にかかわらず、別表１（２）の「

実践看護英語						○	

」は、平成２９年４月１日から適用する。

附　則（平成２９年３月３０日規則第５０号）

１　この規則は、平成２９ 年４月１日から施行する。
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に　在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 １ の（２）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
別表１（２）実践看護英語Ⅰ、実践看護英語Ⅱ及び実践看護英語Ⅲ

附　則（平成２９年３月３１日規則第５４号）

この規則は、平成２９年４月１日から施行する。

附　則（平成２９年６月１日規則第６８号）

（施行期日等）
１　この規則は、平成２９年６月１日から施行し、平成２９年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（１）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
別表１（１）　研究実践プログラムⅠ、研究実践プログラムⅡ、研究実践プログラムⅢ、
研究実践プログラムⅣ及び研究実践プログラムⅤ

附　則（平成２９年７月６日規則第１０１号）

（施行期日等）
１　この規則は、平成２９年７月６日から施行し、平成２９年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表３（１）医学科（７）及び注３を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２９年１２月２７日規則第１３７号）

この規則は、平成２９年１２月２７日から施行し、平成２９年４月１日から適用する

附　則（平成３０年５月８日規則第３２号）

１　この規則は、平成３０年５月８日から施行し、平成３０年４月１日から適用する。
２　平成３０年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成３０年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１（２）及び（３）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
別表１（２）　国際保健福祉Ａ、国際保健福祉Ｂ、国際保健福祉Ｃ、国際保健福祉Ｄ
別表１（３）　短期海外研修（Ａ）、短期海外研修（Ｂ）、短期海外研修（Ｃ）、短期海外研修（Ｄ）
生体医工学の科目については、平成２８年度入学者から適用する。

附　則（平成３０年１２月２０日規則第１１９号）

１　この規則は、平成３１年４月１日から施行する。
２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（令和元年５月８日規則第５５号）

（施行期日等）
１　この規則は、令和元年５月８日から施行し、平成３１年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　平成３１年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成３１年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（１）の次に掲げる科目及び別表３（１）医学科（８）及び注４を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
別表１（１）臨床実習Ⅰ、臨床実習Ⅱ

附　則（令和元年５月８日規則第５６号）

（施行期日等）
１　この規則は、令和元年５月８日から施行し、平成３１年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　平成３１年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成３１年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（１）

及び（４）並びに別表３（１）及び（３）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表１（１）　総合診療・地域医療
別表１（４）　総合診療・地域医療
別表３（１）　総合診療・地域医療
別表３（３）　総合診療・地域医療

附　則（令和２年３月１１日規則第４９号）

（施行期日等）

１　この規則は、令和２年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　令和２年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和２年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１（１）、（３）及び（４）の次に掲げる科目並びに別表３（１）の（５）、注１及び別表３（３）の（４）、注を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表１（１）　医歯学基盤教育（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ）、社会医学及び行動科学
別表１（３）　神経科学、心電図判読、Learning Medical English
別表１（４）　医歯学基盤教育（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ）

３　前項の規定にかかわらず、Learning Medical Englishについては、平成３１年４月１日に入学した者のみ改正後の別表１（３）を適用する。

附　則（令和３年１月１５日　規則第３号）

１　この規則は、令和３年１月１５日から施行し、令和２年４月１日から適用する。

２　令和２年３月３１日において、現に本学に在学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（令和３年　　月　　日　　規則第　　号）

この規則は、令和３年４月１日から施行する。ただし、第９条、別表１（４）及び別表３（１）は、令和２年４月１日から適用する。

（４）歯学科教育課程

授業科目	単位数		履修学年											
			１年		２年		３年		４年		５年		６年	
	必修	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
歯学入門	4			○										
人体の構造と機能	19				○	○	○							
患者と医療者	3				○	○								
医歯学基盤教育（生命倫理Ⅰ）	7				○		○	○						
医歯学基盤教育（臨床統計Ⅰ）					○	○								
医歯学基盤教育(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ)					○	○								
医歯学基盤教育（生命倫理Ⅱ）									○					
医歯学基盤教育（臨床統計Ⅱ）							○	○						
医歯学基盤教育(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ)							○	○						
医歯学基盤教育（臨床統計Ⅲ）									○					
頭頸部基礎	4				○									
社会と環境	1					○								
生命の分子的基盤	5					○								
臨床歯学ｲﾝﾄﾛﾀﾞｸｼｮﾝ	2						○							
感染と生体防御	4						○							
臨床予備実習	3						○	○						
病理	4						○							
予防と健康管理	3						○	○						
生体と薬物	3						○	○						
歯科放射線基礎	1							○						
病態科学演習	3							○						
内科・小児・遺伝疾患	3							○						
外科系疾患	2							○						
課題統合セミナー	3							○			○			
学年混合選択セミナー	1						○		○		○			
頭頸部臨床	4							○						
総合診療・地域医療	2							○						

歯科生体材料	3							○	○					
研究実習	4								○					
歯と根尖歯周組織の疾患	5								○	○				
咬合回復	12							○	○	○				
臨床体験実習	1									○				
歯周病	3									○				
咬合育成・発達	4										○			
顎口腔医療	3										○			
全身と歯科医療	3										○			
発展歯科臨床	4										○			
臨床情報処理	1										○			
包括臨床実習	41											○	○	○
包括医療統合教育	1												○	
デンタルエクスターンシップ※		2～6			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コース	2											○		
計	168	1～6												

※所定のプログラムを修了した学生に対し、１プログラムにつき１単位を認定する。
　但し、同一年次・年度に認定できる単位は、１単位を上限とする。

（５）口腔保健学科（口腔保健衛生学専攻）教育課程

区分	授業科目	単位数			履修学年							
					１年		２年		３年		４年	
		必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎分野	科学英語Ⅰ	1					○					
	科学英語Ⅱ			1				○				
	人体の構造と機能及び疾病	4				○	○	○				
	歯･口腔の構造と機能	6					○	○				
	疾病の成り立ちと回復過程の促進	6					○	○	○			
	公衆衛生学	1				○						
	社会保障Ⅰ	2				○						
	社会保障Ⅱ	2					○					
	保健医療サービス	2						○				
専門分野	口腔保健と専門職	1			○							
	歯科衛生学総論	1				○						
	臨床歯科医学	7					○	○	○	○		
	チーム医療の基礎	1								○		
	チーム医療の実践	1								○		
	口腔機能管理実習	1								○		
	高齢者歯科学	1								○		
	障害者歯科学	1								○		
	臨床医学	4						○	○			
	口腔疾患予防学	8					○	○	○	○		
	臨床口腔保健応用学	1									○	
	健康教育の基礎	2					○	○				
	メディア情報学	1				○						
	食生活教育	1					○	○				
	健康教育の企画と実践	3							○	○	○	○
	生体材料学	1					○					

	臨床検査	1						○				
	歯科診療補助論	5					○	○	○			
	臨床口腔保健衛生実習	2					○	○	○			
	歯科衛生臨床実習	13								○	○	○
	歯科衛生臨地実習	6									○	○
	臨床体験実習	1				○	○	○				
統合分野	歯科衛生過程	2						○	○			
	社会調査の基礎	2							○			
	卒業研究	4							○	○	○	○
	児童・家庭福祉Ⅰ		1				○					
	障害児・者福祉Ⅰ		1					○				
	地域福祉Ⅰ		1				○					
	高齢者福祉Ⅰ		1				○					
	介護福祉Ⅰ		1				○					
	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	1					○					
	相談援助演習Ⅰ		1					○				
	相談援助演習Ⅱ		1						○			
	口腔保健と国際協力	1							○	○		
	歯科衛生学演習	1									○	○
口腔保健衛生選択科目	歯科衛生臨床・臨地応用論			1							○	○
	歯科衛生研究			1						○	○	
	口腔保健衛生エクスターンシップ			1						○	○	○
	口腔保健マネジメント論			1							○	○
	保健行動科学			1							○	○
	地域口腔保健論			1							○	○
	在宅訪問・災害口腔保健医療			1							○	○
	先端歯科医療学			1							○	○
計		98	7	9								

※選択科目から 4 単位以上修得する。

（６）口腔保健学科（口腔保健工学専攻）教育課程

区　分		授業科目	単位数			履修学年							
						１年		２年		３年		４年	
			必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	口腔保健工学概論	1			○							
		科学英語Ⅰ	1					○					
		科学英語Ⅱ	1							○			
		ヘルスプロモーション	2					○					
		メディア情報学基礎	1				○						
		コミュニケーション学	1							○			
		造形美術概論実習	1				○						
		グローバル口腔保健工学実習	1						○				
専門基礎分野	歯科技工と歯科医療	歯科技工士と法律	1							○			
		感染予防	1					○					
		口腔保健工学管理学	1								○		
		早期臨床体験実習	1			○	○						
		口腔外科工学	1								○		
		う蝕と歯周病	1					○					
		高齢者歯科工学	2								○		
		口腔保健工学特論	1							○			
	歯・口腔の構造と機能	人体の構造と機能Ⅰ	2				○						
		人体の構造と機能Ⅱ	5					○	○				
		画像解析学		1								○	
		歯の形態実習	1					○					
		歯の形態修復演習	1						○				
		咬合学	1					○					
		臨床咬合学	1							○			
	歯科材料・歯科技工機器と加工技術	加工技術基礎	1				○						
		口腔機材開発工学	1				○						
		口腔保健理工学	2					○					

		口腔保健理工学実習	2					○					
		精密鋳造学演習	1					○					
		プロセスデバイス工学		2					○				
専門分野	有床義歯技工学	顎補綴工学	1								○		
		顎補綴工学実習	2								○		
		スポーツ歯科工学		1								○	
		オーラルアプライアンス工学		1								○	
		全部床義歯工学	2					○					
		全部床義歯工学実習	3					○					
		部分床義歯工学	2					○	○				
		部分床義歯工学実習Ⅰ	4						○				
		部分床義歯工学実習Ⅱ	1							○			
	歯冠修復技工学	歯冠修復工学基礎	2						○				
		歯冠修復工学基礎演習	1						○				
		歯冠修復工学基礎実習	4						○				
		歯冠修復工学応用	1							○			
		歯冠修復工学応用演習	1							○			
		歯冠修復工学応用実習	2							○			
		審美修復工学	1							○			
		審美修復工学実習	3							○			
		CAD/CAM システム工学実習	1									○	
		インプラント工学実習	1								○		
	小児歯科技工学	小児歯科工学	2								○		
		発育口腔工学	1								○		
	矯正歯科技工学	矯正歯科工学	3								○		
	歯科技工実習	再建工学包括臨床実習Ⅰ	4								○		
		再建工学包括臨床実習Ⅱ	10									○	○
統		医療倫理	1								○		
		卒業研究Ⅰ	2								○		

合分野	総合口腔保健工学	卒業研究Ⅱ	3									○	○
		卒業製作	3										○
		口腔保健工学エクスターンシップ			1						○	○	○
計			97	5	1								

※　選択科目から３単位以上修得する。

（７）全学科共通自由科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
	Introduction to Medical Anthropology	1	○	○	○	○	○	○
	Bio-social Research Methods	1	○	○	○	○	○	○
	Decision-making in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Problem-solving in the Health Sciences (※)	1	○	○	○	○	○	○
	Contemporary Japanese Society	1	○	○	○	○	○	○
	Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
	計	8						

※　医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

（８）医学科地域特別枠推薦入試入学者必修科目

授業科目	単位数	履修学年					
		１年	２年	３年	４年	５年	６年
地域医療学習プログラム	1	○	○	○	○	○	○

※地域特別枠推薦入試による入学者は、別表（１）の授業科目に加え、上記１科目を必修科目とする。

別表２

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	Ａ＋	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	Ａ	
当該科目の到達目標を概ね達成した	Ｂ	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	Ｃ	
当該科目の到達目標を達成していない	Ｄ	不合格
到達目標の達成度を評価できない	Ｆ	

別表３

（３）歯学科

（１）第１学年の末までに次の授業科目の単位を修得もしくは試験に合格しなければ、第２学年に進級することができない。 歯学入門
（２）第２学年の末までに次の授業科目の単位を修得もしくは試験に合格しなければ、第３学年に進級することができない。 患者と医療者、医歯学基盤教育（臨床統計Ⅰ）、社会と環境、生命の分子的基盤、頭頸部基礎、 （第２学年に開講される授業科目内のユニットを対象とする）人体の構造と機能、医歯学基盤教育（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ）
（３）第３学年の末までに次の授業科目の単位を修得もしくは試験に合格しなければ、第４学年に進級することができない。 人体の構造と機能、医歯学基盤教育（生命倫理Ⅰ）、医歯学基盤教育（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ）、医歯学基盤教育（臨床統計Ⅱ）、臨床歯学ｲﾝﾄﾛﾀﾞｸｼｮﾝ、感染と生体防御、臨床予備実習、病理、予防と健康管理、生体と薬物、歯科放射線基礎、病態科学演習、内科・小児・遺伝疾患、外科系疾患、頭頸部臨床、総合診療・地域医療、 （第３学年に開講される授業科目内のユニットを対象とする）課題統合セミナー、学年混合選択セミナー、歯科生体材料、咬合回復
（４）第４学年の末までに次の授業科目の単位を修得もしくは試験に合格しなければ、第５学年に進級することができない。 歯科生体材料、研究実習、歯と根尖歯周組織の疾患、咬合回復、臨床体験実習、歯周病、医歯学基盤教育（生命倫理Ⅱ）、医歯学基盤教育（臨床統計Ⅲ）、（第４学年に開講される授業科目内のユニットを対象とする）学年混合選択セミナー
（５）第５学年の前期末までに次の授業科目の単位を修得し、かつ、共用試験に合格しなければ、第５学年後期の授業科目を履修することができない。 課題統合セミナー、学年混合選択セミナー、咬合育成・発達、顎口腔医療、全身と歯科医療、発展歯科臨床、臨床情報処理、 （第５学年に開講される授業科目内のユニットを対象とする）共用試験（ＣＢＴ、ＯＳＣＥ）
（６）第５学年の末までに次の授業科目の単位を修得しなければ第６学年に進級することができない。 長寿口腔健康科学コース、 （第５学年に開講される授業科目内のユニットを対象とする）包括臨床実習

注　：　医歯学基盤教育はｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ、II、臨床統計Ⅰ、II、III、生命倫理Ⅰ、II から成り立っており、全ての授業科目に合格しなければ、単位を修得することができない。

（４）口腔保健学科（口腔保健衛生学専攻）

（１）第１学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第２学年に進級することができない。

公衆衛生学、社会保障Ⅰ、口腔保健と専門職、歯科衛生学総論、メディア情報学、（第１学年に実施される授業を対象とする）人体の構造と機能及び疾病、臨床体験実習

（２）第２学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第３学年に進級することができない。

科学英語Ⅰ、人体の構造と機能及び疾病、歯・口腔の構造と機能、社会保障Ⅱ、保健医療サービス、健康教育の基礎、食生活教育、生体材料学、臨床検査、臨床体験実習、相談援助の基盤と専門職Ⅰ、
（選択科目である）児童・家庭福祉Ⅰ、障害児・者福祉Ⅰ、地域福祉Ⅰ、高齢者福祉Ⅰ、介護福祉Ⅰ、相談援助演習Ⅰのうち少なくとも３単位
（第２学年に実施される授業を対象とする）疾病の成り立ちと回復過程の促進、臨床歯科医学、臨床医学、口腔疾患予防学、歯科診療補助論、臨床口腔保健衛生実習、歯科衛生過程

（３）第３学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第３学年後期以降の授業科目を履修することができない。

疾病の成り立ちと回復過程の促進、臨床医学、歯科診療補助論、臨床口腔保健衛生実習、歯科衛生過程、社会調査の基礎、口腔保健と国際協力
（選択科目の４単位目として選択した場合の）相談援助演習Ⅱ、
（第３学年前期に実施される授業を対象とする）臨床歯科医学、口腔疾患予防学、健康教育の企画と実践

（５）口腔保健学科（口腔保健工学専攻）

（１）第１学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第２学年に進級することができない。 口腔保健工学概論、メディア情報学基礎、造形美術概論実習、早期臨床体験実習、人体の構造と機能Ⅰ、加工技術基礎、口腔機材開発工学
（２）第２学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第３学年に進級することができない。 科学英語Ⅰ、ヘルスプロモーション、グローバル口腔保健工学実習、感染予防、う蝕と歯周病、人体の構造と機能Ⅱ、歯の形態学実習、歯の形態修復演習、咬合学、口腔保健理工学、口腔保健理工学実習、精密鋳造学演習、全部床義歯工学、全部床義歯工学実習、部分床義歯工学、部分床義歯工学実習Ⅰ、歯冠修復工学基礎、歯冠修復工学基礎演習、歯冠修復工学基礎実習
（３）第３学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第３学年後期以降の授業科目を履修することができない。 部分床義歯工学実習Ⅱ、歯冠修復工学応用演習、歯冠修復工学応用実習 審美修復工学実習
（４）第３学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第４学年に進級することができない。 科学英語Ⅱ、コミュニケーション学、歯科技工士と法律、口腔保健工学管理学、口腔外科工学、高齢者歯科工学、口腔保健工学特論、臨床咬合学、顎補綴工学、顎補綴工学実習、歯冠修復工学応用、審美修復工学、インプラント工学実習、小児歯科工学、発育口腔工学、矯正歯科工学、再建工学包括臨床実習Ⅰ、医療倫理、卒業研究Ⅰ

東京医科歯科大学歯学部歯学科専門科目履修内規

平成 23 年 2 月 2 日
歯 学 部 長 制 定

（趣旨）

第１条　この内規は、東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成２２年規則第４１号。以下「履修規則」という。）第１１条に基づき、歯学部歯学科における専門に関する教育科目の履修に関し、必要な事項を定めるものとする。

（学習の評価）

第２条　定期試験及び追試験の成績については、授業科目ごとに担当教員が１００点満点で採点し、履修規則別表２のとおり学習の評価を行う。

２　正当な理由がなく試験を受験しなかった場合の評価は、Ｆとする。

３　第１項及び前項の学習の評価に、平常の学習の成果を加味することができる。

４　学習の評価について異議がある学生は、所定の期日までに別に定める「成績評価異議申し立て書」を歯学系教務係に提出することができる。

（必修科目及び仮進級）

第３条　履修規則別表３⑶に掲げる科目は、必修科目とする。

２　必修科目に係る試験の不合格者については、仮進級を認めない。

（ＧＰ）

第４条　評価とＧＰとの対応は次のとおりとする。

評価	Ａ＋	Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｆ
GP	4.0	3.5	3.0	2.0	1.0	0.0

附　則

１　この内規は、平成２３年４月１日から施行する。

２　平成２２年３月３１日において現に歯学部歯学科に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２８年３月３１日制定）

１　この内規は、平成２８年４月１日から施行する。

２　平成２８年３月３１日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

附　則（平成２８年１０月１９日制定）

この内規は、平成２８年１０月１９日から施行する。

評価区分	評価
秀	Ａ＋
優	Ａ
良	Ｂ
可	Ｃ
不可	Ｄ

東京医科歯科大学試験規則

（平成２３年４月１日
規　則　第　１　号）

（趣旨）

第１条　この規則は、東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目及び専門に関する教育科目（以下「授業科目」という。）の試験に関して、東京医科歯科大学学則（平成１６年規程第４号。以下「学則」という。）、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成１６年規則第２１７号。）及び東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成２２年規則第４１号。）に定めるもののほか、必要な事項を定める。

（試験の種類）

第２条　試験は、本試験、追試験及び再試験とする。

（試験の方法）

第３条　試験は、筆答試験、コンピュータ活用試験、口答試験及び実地試験のいずれかによって行う。

（本試験）

第４条　本試験は、定期試験及び共用試験をいう。

２　共用試験は、医学部医学科及び歯学部歯学科において行う。

（定期試験）

第５条　定期試験とは、履修した授業科目について行う試験をいう。

２　定期試験の実施日時は、試験実施日の２週間前までに公示する。

３　定期試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。

(1) 講義及び演習　　当該授業科目の授業時間数の３分の２以上履修した者

(2) 実習　　当該授業科目の授業時間数の４分の３以上履修した者

４　定期試験の結果は、公示する。

５　第３項に定めるもののほか、定期試験の受験資格に関し必要な事項は、医学部、歯学部又は教養部（以下「部局」という。）において別に定めることができる。

（共用試験）

第６条　共用試験とは、知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験（ＣＢＴ）及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（ＯＳＣＥ）をいう。

２　共用試験の実施日時は、試験実施日の２週間前までに公示する。

３　共用試験を受験することのできる者は医学部医学科及び歯学部歯学科において

別に定める。
４　共用試験の結果は、公示する。

（追試験）
第７条　追試験とは、病気、その他止むを得ない理由により本試験を受験できなかった者に対して行う試験をいう。ただし、追試験は原則として１回限りとする。
２　追試験を受験しようとする者（以下「追試験申請者」という。）は、所定の受験申請書に医師の診断書等の証明書類を添えて、本試験終了後原則として５日以内に医学部長、歯学部長又は教養部長（以下「学部長等」という。）に願い出て、許可を受けなければならない。
３　学部長等は、前項の申請について、教育委員会又は教務委員会と協議のうえ、その可否を決定し、追試験申請者に通知するものとする。
４　追試験受験決定が否の場合は、本試験を不合格とする。
５　試験の結果は、公示する。
６　第２項に定めるもののほか、追試験の申請に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（再試験）
第８条　再試験とは、本試験又は追試験を受験し、不合格となった者に対し行う試験をいう。ただし、再試験は、原則として１回限りとする。
２　再試験の実施日時は、指定の期日までに公示する。
３　再試験は当該学部長等の判断により、受験を許可しないことがある。
４　再試験受験決定が否の場合は、当該授業科目を不合格とする。
５　試験の結果は、公示する。
６　第３項に定めるもののほか、再試験の許可に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（試験の成績）
第９条 本試験、追試験及び再試験による成績については、科目責任者が１００点満点で採点し、６０点以上を「当該科目の到達目標のうち最低限を達成した」ものとして合格とする。
２ 共用試験の成績については、前項の規定にかかわらず、医学部医学科及び歯学部歯学科において別に定める。

（成績の報告）
第１０条　科目責任者は、本試験、追試験及び再試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長等に報告しなければならない。
２　医学科教育委員会委員長又は歯学科教育委員会委員長は、共用試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長に報告しなければならない。

（罰則）

第１１条　試験において不正行為があったときは、学則第５８条の規定による懲戒の手続きをとるものとする。

（補則）

第１２条　この規則に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は別に定める。

附　則

１　この規則は、平成２３年４月１日から施行する。

２　東京医科歯科大学医学部試験規則（平成１６年規則２０２号）は廃止する。

３　東京医科歯科大学歯学部試験規則（平成１６年規則２１４号）は廃止する。

４ この規則は、平成23年3月31日において現に医学部または歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者が所属する学年に再入　学、転入学するものについては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の東京医科　歯科大学医学部試験規則または東京医科歯科大学歯学部試験規則の例による。

附　則（平成28年3月31日規則第74号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

東京医科歯科大学歯学部歯学科試験内規

（平成 23 年 2 月 2 日
歯 学 部 長 制 定）

（趣旨）
第１条　この内規は、東京医科歯科大学試験規則（平成２３年規則第１号。以下「試験規則」という。）第６条第３項及び第１２条に基づき、歯学部歯学科における専門に関する教育科目の試験に関し、必要な事項を定めるものとする。

（試験の種類）
第２条　試験規則第５条に規定する定期試験とは、ユニット試験及び臨床能力判定試験とする。

（ユニット試験）
第３条　ユニット試験とは、専門科目履修規則別表(4)において定める授業科目におけるユニット終了時に行う試験をいう。
２　ユニット試験の実施日時は、原則として各ユニットの最終日に行う。

（臨床能力判定試験）
第４条　臨床能力判定試験とは、歯学部歯学科の第６学年末に行う包括臨床実習終了時技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（ＯＳＣＥ）及び臨床推論能力試験（症例発表会）をいう。
２　臨床能力判定試験の合格基準は、別に定める。

（共用試験）
第５条　試験規則第６条第１項に規定する共用試験は、第５学年前期の授業終了後に実施する。
２　共用試験を受験できる者は、第５学年前期に開講される授業科目内のユニット試験の受験資格を有する者とする。
３　共用試験の合格基準は、別に定める。

（追試験）
第６条　ユニット試験に係る追試験の実施時期は、担当教員と追試験を受験しようとする者が相談して決めることが出来るものとする。

（再試験）
第７条　ユニット試験に係る再試験は、原則として学年末の再試験期間において実施する。
２　共用試験及び臨床能力判定試験の再試験合格基準は、別に定める。

（成績の報告）
第８条　ユニット成績提出用紙には、科目責任者の確認印を必要とする。
２　ユニット成績及び授業科目成績の最終責任者は、教授であるものとする。
３　ユニット責任者と科目責任者の両名が教授でない場合、第１項の用紙には、歯学科教育委員会が指定した教授の確認印を必要とする。

附　則
１　この内規は、平成２３年４月１日から施行する。
２　東京医科歯科大学歯学部歯学科に平成２３年３月３１日に在学し、引き続き本学科の在学者となった者（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者に係る試験については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

平成２９年４月１日

歯学科学生　各位

歯学部長
歯学科教育委員長

ユニット試験（筆記試験）時の注意事項

歯学科専門科目ユニット試験（筆記試験）時に下記事項を遵守しない場合には不正行為を行ったとみなす。

１．ユニット試験時の持ち物については下記のとおりとする。下記以外の物の持ち込みについては監督者に確認して、指示に従うこと。

1）机上には原則、筆記用具と学生証以外は置かないこと。
教科書や参考書、ノートやプリント、携帯電話、スマートフォン、小型パソコン、腕時計型情報端末などの電子機器を机上または机下の棚に置いている場合、あるいは身につけている場合は不正行為とみなす。これらはすべてカバンにしまうこと。

2）テイッシュペーパーの持ち込みが必要な場合は監督者の許可を得ること。ティシュペーパーは袋から出して、試験中は机上に置いておくこと。

２．遅刻は、ユニット試験開始 30 分以内は認める。但し試験時間の延長はしない。

３．ユニット試験開始 30 分経過後、試験終了者で希望する者の退室を認める。

４．持ち帰りが認められていない試験において、過失・故意にかかわらず試験問題、解答用紙を試験会場外へ持ち出した場合、またはそれらを複製（撮影を含む）した場合、当該試験は無効となる。

参考：「試験における不正行為」に対する懲戒は以下の通り。
（東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申し合わせ　別表懲戒の標準より抜粋）

（１）代理（替玉）受験を行った場合又は行わせた場合	退学
（２）許可されていないノート及び参考書等を参照した場合	停学
（３）答案を交換した場合	停学
（４）その他、試験において不正行為を行った場合	停学または訓告

専　門　科　目

歯学科第1学年　2021年度火曜授業時間割-歯学入門

前期

日時		8:50～10:50	11:00～12:05	13:30～14:35	14:40～16:00
4/13	火	カリキュラム提示（水口）／ 歯学概説－1 歯学部特別講堂（歯科棟南4階）	歯学概説（水口） （歯学部及び歯学部附属病院見学）	歯学概説（水口） （歯学部及び歯学部附属病院見学）	歯学概説（水口） （歯学部及び歯学部附属病院見学）

後期

日時		8:50～10:20	10:30～12:00	12:50～14:20	14:30～16:00
9/28	火	早期臨床体験実習（大槻） 早期臨床体験実習（歯学部附属病院各診療科長） 学生臨床実習見学 各診療科外来見学･病棟見学 ※10/12は創立記念日でお休み			
10/5	火				
10/12	火				
10/19	火				
10/26	火				
11/2	火				
11/9	火				
11/16	火	最新の歯学-1（水口） （遠隔）	歯学概説－2（礪波） （遠隔）	歯学史－1（鈴木） （遠隔）	歯学史－2（鈴木） （遠隔）
11/23	火	勤労感謝の日			
11/30	火	最新の歯学-2（水口） （遠隔）	最新の歯学-3（水口） （遠隔）	歯学概説－3（佐野）「歯科医師になるとどのような日々が待っているのか-歯科の基礎･学生時代の過ごし方」 （遠隔）	歯学史－3（鈴木） （遠隔）
12/7	火	最新の歯学-4（水口） （遠隔）	歯学概説－4（中島） （遠隔）	歯学概説－5（阪口） （遠隔）	歯学史－4（鈴木） （遠隔）
12/14	火	最新の歯学-5（水口） （遠隔）	医の倫理-1 （遠隔）	歯学概説－6（宮永） （遠隔）	歯学史－5（鈴木） （遠隔）
12/21	火	最新の歯学-6（水口） （遠隔）	医の倫理-2 （遠隔）	歯学概説－7（佐藤） （遠隔）	歯学史－6（鈴木） （遠隔）
冬期休業					
1/4	火	歯学概説－8（小野） （遠隔）	医の倫理-3 （遠隔）	最新の歯学7（水口） （遠隔）	最新の歯学-8（水口） （遠隔）
1/11	火	最新の歯学-9（水口） （遠隔）	医の倫理-4 （遠隔）	基礎情報医歯学－1 （木下 他）	（遠隔）
1/18	火	歯学概説－9(水口） （遠隔）	医の倫理-5 （遠隔）	基礎情報医歯学－2 （木下 他）	（遠隔）
1/25	火	最新の歯学-10（水口） （遠隔）	医の倫理-6 （遠隔）	基礎情報医歯学－3 （木下 他）	（遠隔）
2/1	火	歯学概説－10(若林） （遠隔）	医の倫理-7 （遠隔）	基礎情報医歯学－4 （木下 他）	（遠隔）
2/8	火		医の倫理-試験 歯学科第2講義室	基礎情報医歯学－試験 （木下 他）情報検索室	
2/15	火			基礎情報医歯学－追再試験 （木下 他）情報検索室	

2021年度D2カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）	12:00-12:50	12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16：50-17：40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4月1日	木	D2	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
4月2日	金	D2	D2ガイダンス		(歯科棟４階特別講堂)			人体の構造Ⅰ（解剖学総論）（非同期）	人体の構造Ⅰ（解剖学総論）	(同期Zoom)	
4月5日	月	D2	人体の構造Ⅰ（筋学1）		（遠隔）		人体の構造Ⅰ（筋学2）		（遠隔）		
4月6日	火	D2	【教養連携】生物物理化学（遠隔）／教養英語（遠隔）				【教養連携】人体の生物学		（遠隔）		
4月7日	水	D2	人体の構造Ⅰ（骨学実習１-A班）		（解剖実習室）		人体の構造Ⅰ（骨学実習１-B班）		（解剖実習室）		
4月8日	木	D2	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		【教養連携】人体の生物学		（遠隔）		
4月9日	金	D2	人体の構造Ⅰ（骨学実習２-B班）		（第1講義室）		人体の構造Ⅰ（骨学実習２-A班）		（第1講義室）		
4月12日	月	D2	人体の構造Ⅰ（骨学実習３-A班）		（第1講義室）		人体の構造Ⅰ（骨学実習３-B班）		（第1講義室）		
4月13日	火	D2	【教養連携】生物物理化学（遠隔）／教養英語（遠隔）				【教養連携】人体の生物学		（遠隔）		
4月14日	水	D2	B型肝炎抗体検査		（登校）			人体の構造Ⅰ（筋学3）		（遠隔）	
4月15日	木	D2	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		【教養連携】人体の生物学		（遠隔）		
4月16日	金	D2	人体の構造Ⅱ（末梢神経系1）		（遠隔・非同期）		人体解剖実習（1）		(解剖実習室)		
4月19日	月	D2	人体の構造Ⅱ（末梢神経系2）		（遠隔・非同期）		人体解剖実習（2）		(解剖実習室)		
4月20日	火	D2	【教養連携】生物物理化学（遠隔）／教養英語（遠隔）				【教養連携】人体の生物学		（遠隔）		
4月21日	水	D2	人体の構造Ⅱ（末梢神経系3）		（遠隔）		組織学総論１ 概論・細胞・上皮組織		（同期 zoom）		
4月22日	木	D2	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		【教養連携】人体の生物学		（遠隔）		
4月23日	金	D2	人体の構造Ⅱ（末梢神経系4）		（遠隔）			GPSアカデミック（入試課主導テスト）※移動可能（おそらく対面）			
4月26日	月	D2	組織学総論2 結合組織		（同期 zoom）			人体解剖実習（3）		（解剖実習室）	
4月27日	火	D2	【教養連携】生物物理化学（遠隔）／教養英語（遠隔）				【教養連携】人体の生物学		（遠隔）		
4月28日	水	D2	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
4月29日	木	D2	昭和の日								
4月30日	金	D2	人体解剖実習（4）		（解剖実習室）	お昼（第1・2講義室）	人体解剖実習（5）		（解剖実習室）		
5月3日	月	D2	憲法記念日								
5月4日	火	D2	みどりの日								
5月5日	水	D2	こどもの日								
5月6日	木	D2	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		【教養連携】人体の生物学（遠隔）		人体の構造Ⅱ（末梢神経系5）		（遠隔）
5月7日	金	D2	組織学総論3 特殊結合組織		（同期 zoom）		組織学総論4 神経・筋		（同期 zoom）		
5月10日	月	D2	人体解剖実習（6-1）		（解剖実習室）		人体解剖実習（6-2）		（解剖実習室）		
5月11日	火	D2	【教養連携】生物物理化学		（遠隔）		組織学総論5 上皮組織［実習］		（同期 zoom+vs）		
5月12日	水	D2	人体の構造Ⅱ（脈管系1）		（遠隔）		組織学総論6 結合組織［実習］		（同期 zoom+vs）		
5月13日	木	D2	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		組織学総論7 特殊結合組織［実習］		（同期 zoom+vs）		
5月14日	金	D2	行動科学基礎 （遠隔）		人体の構造Ⅱ（末梢神経系6）（遠隔）		組織学総論8 神経［実習］		（同期 zoom+vs）		
5月17日	月	D2	人体解剖実習（7-1）		（解剖実習室）		人体解剖実習（7-2）		（解剖実習室）		
5月18日	火	D2	【教養連携】生物物理化学		（遠隔）		組織学総論9 筋［実習］		（同期 zoom+vs）		
5月19日	水	D2	人体の発生1 （遠隔）		神経系の機能Ⅰ（同期 zoom）		神経系の機能Ⅰ（同期 zoom）	行動科学基礎	（遠隔）		
5月20日	木	D2	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		人体の構造Ⅱ（脈管系2）		（遠隔）		
5月21日	金	D2	組織学各論1 循環器とリンパ		（同期 zoom）		組織学各論2 腸管と肝胆膵		（同期 zoom）		
5月24日	月	D2	人体解剖実習（8-1）		（解剖実習室）		人体解剖実習（8-2）		（解剖実習室）		
5月25日	火	D2	【教養連携】生物物理化学		（遠隔）		組織学各論3 内分泌器		（同期 zoom）		
5月26日	水	D2	神経系の機能Ⅰ		（同期 zoom）		組織学各論4 泌尿器		（同期 zoom）		
5月27日	木	D2	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		人体の構造Ⅱ（脈管系3）		（遠隔）		
5月28日	金	D2	行動科学基礎 （遠隔）		人体の発生2（遠隔）		人体の発生2（遠隔）	神経系の機能Ⅰ	（同期 zoom）		
5月31日	月	D2	人体解剖実習（9-1）		（解剖実習室）		人体解剖実習（9-2）		（解剖実習室）		

2021年度D2カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）	12:00-12:50	12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16：50-17：40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6月1日	火	D2	【教養連携】生物物理化学		（遠隔）		人体の発生3 （遠隔）		自己研修（補講）		
6月2日	水	D2	組織学各論5 循環器とリンパ［実習］		（第1講義室）	お昼（第1･2講義室）	組織学各論6 腸管と肝胆膵［実習］		（第1講義室）		
6月3日	木	D2	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		人体の発生4 （遠隔）		自己研修（補講）		
6月4日	金	D2	神経系の機能Ⅰ		（同期 zoom）		組織学各論7 生殖器		（同期 zoom）		
6月7日	月	D2	人体解剖実習（10-1）		（解剖実習室）		人体解剖実習（10-2）		（解剖実習室）		
6月8日	火	D2	【教養連携】生物物理化学（遠隔）／教養英語（遠隔）				組織学各論8 呼吸器･皮膚･鼻		（同期 zoom）		
6月9日	水	D2	組織学各論9 内分泌器［実習］		（第1講義室）	お昼（第1･2講義室）	組織学各論10 泌尿器･生殖器［実習］		（第1講義室）		
6月10日	木	D2	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		人体の構造Ⅱ（脈管系4）		（遠隔）		
6月11日	金	D2	B型肝炎予防接種		（登校）	お昼（第1･2講義室）	**組織学総論　試験**		（第1講義室）		
6月14日	月	D2	人体解剖実習（11-1）		（解剖実習室）		人体解剖実習（11-2）		（解剖実習室）		
6月15日	火	D2	【教養連携】生物物理化学（遠隔）／教養英語（遠隔）				組織学各論11 中枢神経		（同期 zoom）		
6月16日	水	D2	人体の構造Ⅱ（器官系1） （遠隔）		人体の発生5（遠隔）		人体の発生5（遠隔）	人体の発生6（遠隔）			
6月17日	木	D2	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		人体の構造Ⅱ（器官系2）		（遠隔）		
6月18日	金	D2	行動科学基礎 （遠隔）		人体の発生7（遠隔）		人体の発生7（遠隔）	神経系の機能Ⅰ	（同期 zoom）		
6月21日	月	D2	人体解剖実習（12-1）		（解剖実習室）		人体解剖実習（12-2）		（解剖実習室）		
6月22日	火	D2	【教養連携】生物物理化学（遠隔）／教養英語（遠隔）				人体の構造Ⅱ（器官系3）		（遠隔）		
6月23日	水	D2	組織学各論12 呼吸器･皮膚･鼻［実習］		（第1講義室）	お昼（第1･2講義室）	組織学各論13 中枢神経［実習］		（第1講義室）		
6月24日	木	D2	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		人体の構造Ⅱ（器官系4）		（遠隔）		
6月25日	金	D2	人体の構造Ⅱ（器官系5） （遠隔）		人体の発生8（遠隔）		人体の発生8（遠隔）	人体の発生9	（遠隔）		
6月28日	月	D2	頭頸部･基礎（脳神経概論、中枢神経系神経概論）		（遠隔）		頭頸部･基礎（人体解剖学）		（遠隔）		
6月29日	火	D2	【教養連携】教養英語		（遠隔）		頭頸部･基礎（口腔の組織学）		（遠隔）		
6月30日	水	D2	頭頸部･基礎（人体解剖学）		（情報検索室･解剖実習室）		頭頸部･基礎（人体解剖学）		（解剖学実習室）		
7月1日	木	D2	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		頭頸部･基礎（集合セッション･運動器の生理）		（遠隔）		
7月2日	金	D2	頭頸部･基礎（人体解剖学）		（情報検索室･解剖実習室）		頭頸部･基礎（人体解剖学）		（解剖学実習室）		
7月5日	月	D2	頭頸部･基礎（人体解剖学）		（解剖学実習室）		頭頸部･基礎（人体解剖学）		（解剖学実習室）		
7月6日	火	D2	【教養連携】教養英語		（遠隔）		頭頸部･基礎（組織学･目）		（遠隔）		
7月7日	水	D2	頭頸部･基礎（人体解剖学）		（解剖学実習室）		頭頸部･基礎（人体解剖学）		（解剖学実習室）		
7月8日	木	D2	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		頭頸部･基礎（感覚器の生理）		（遠隔）		
7月9日	金	D2	頭頸部･基礎（人体解剖学･組織学実習）		（解剖学実習室）		頭頸部･基礎（人体解剖学･組織学実習）		（解剖学実習室）		
7月12日	月	D2	頭頸部･基礎（人体解剖学･組織学実習）		（解剖学実習室）		頭頸部･基礎（人体解剖学･組織学実習）		（解剖学実習室）		
7月13日	火	D2	【教養連携】教養英語		（遠隔）		頭頸部･基礎（組織学･耳）		（遠隔）		
7月14日	水	D2	頭頸部･基礎（人体解剖学）		（解剖学実習室）		頭頸部･基礎（人体解剖学）		（解剖学実習室）		
7月15日	木	D2	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		頭頸部･基礎（集合セッション･感覚器の生理）		（遠隔）		
7月16日	金	D2	B型肝炎予防接種		（登校）		頭頸部･基礎（人体解剖学）		（解剖学実習室）		
7月19日	月	D2	頭頸部･基礎（感覚器の生理）		（遠隔）		行動科学基礎		（遠隔）		
7月20日	火	D2	【教養連携】教養英語		（遠隔）		人体の発生10 （遠隔）				
7月21日	水	D2		**頭頸部･基礎（筆記試験）10：30-11：50**			自己研修（補講）				
7月22日	木	D2	海の日								
7月23日	金	D2	スポーツの日								
7月26日	月	D2	人体の構造I 演習（遠隔）	人体の構造 II演習（遠隔）	解剖学実習演習（遠隔）		自己研修（補講）				
7月27日	火	D2	人体解剖実習（頭頸部局所解剖）（遠隔）				**組織学各論　試験**		（第1講義室）		
7月28日	水	D2	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
7月29日	木	D2	オープンキャンパス				オープンキャンパス				
7月30日	金	D2	オープンキャンパス				オープンキャンパス				

2021年度D2カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）	12:00-12:50	12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16：50-17：40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
9月1日	水	D2	**神経系の機能Ⅰ　試験　（第1講義室）**		自己研修（補講）		神経系の機能Ⅱ		（同期 zoom）		
9月2日	木	D2	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		口腔組織・発生学1　概論、ヒトの発生～口腔の発生		（同期 zoom）		
9月3日	金	D2	自己研修（補講）				**人体解剖実習　試験　（第1講義室）**		自己研修（補講）		
9月6日	月	D2	自己研修（補講）				口腔組織・発生学2　歯の発生		（同期 zoom）		
9月7日	火	D2	**教養連携　試験**		**（第1講義室/特別講堂）**		自己研修（補講）				
9月8日	水	D2	神経系の機能Ⅱ		（同期 zoom）		口腔組織・発生学3　エナメル質形成		（同期 zoom）		
9月9日	木	D2	**教養/医歯学基盤教育　試験**		**（対面予定）**		**人体の構造Ⅰ　試験　（第1講義室）**				
9月10日	金	D2	行動科学基礎		（遠隔）			**人体の発生　試験**	**（第1講義室）**		
9月13日	月	D2	**人体の構造Ⅱ　試験　（第1講義室）**		自己研修（補講）		神経系の機能Ⅱ		（同期 zoom）		
9月14日	火	D2	生命維持のための生体機能		（同期 zoom）		口腔組織・発生学4　象牙質形成と歯髄		（同期 zoom）		
9月15日	水	D2	生命維持のための生体機能		（同期 zoom）		口腔組織・発生学5　セメント質形成と歯根膜		（同期 zoom）		
9月16日	木	D2	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		生命維持のための生体機能		（同期 zoom）		
9月17日	金	D2	生命維持のための生体機能		（同期 zoom）		口腔組織・発生学6　口腔粘膜と唾液腺		（同期 zoom）		
9月20日	月	D2	敬老の日								
9月21日	火	D2	生命維持のための生体機能		（同期 zoom）		口腔組織・発生学7　関節と顎関節		（同期 zoom）		
9月22日	水	D2	生命維持のための生体機能		（同期 zoom）		実験動物慰霊式(13:00-13:30)	自己研修（補講）			
9月23日	木	D2	秋分の日								
9月24日	金	D2	行動科学基礎		（遠隔）		生命維持のための生体機能		（同期 zoom）		
9月27日	月	D2	口腔組織・発生学8　口腔と歯の発生［実習］		（第1講義室）		口腔組織・発生学9　歯の硬組織［実習］		（第1講義室）		
9月28日	火	D2	【教養連携】教養英語（遠隔）／人文社会科学総合講義（遠隔）				【教養連携】サイエンスPBL		（対面予定）		
9月29日	水	D2	口腔組織・発生学10　口腔粘膜と唾液腺［実習］		（第1講義室）		口腔組織・発生学11　関節と顎関節［実習］		（第1講義室）		
9月30日	木	D2	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		口腔生理		（同期　zoom）		

2021年度D2カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）		12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16：50-17：40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10月1日	金	D2	後期ガイダンス（遠隔）	自己研修（補講）			医の倫理（遠隔）				
10月4日	月	D2	口腔生理（同期 zoom）					医療と造形（塑像）（2号館305号室）（第２講義室）／美術解剖学（遠隔）			
10月5日	火	D2	【教養連携】教養英語（遠隔）／人文社会科学総合講義（遠隔）				【教養連携】サイエンスPBL（対面予定）				
10月6日	水	D2	中枢神経系1（遠隔）				医の倫理（遠隔）				
10月7日	木	D2	教養/医歯学基盤教育（遠隔）				医の倫理（遠隔）				
10月8日	金	D2	口腔生理（同期 zoom）				インフォームドコンセント（遠隔）				
10月11日	月	D2	自己研修（補講）				自己研修（補講）	医療と造形（塑像）（2号館305号室）（第２講義室）／美術解剖学（遠隔）			
10月12日	火	D2	創立記念日								
10月13日	水	D2	口腔生理（遠隔）				歯の解剖1（遠隔）				
10月14日	木	D2	教養/医歯学基盤教育（遠隔）				自己研修（補講）				
10月15日	金	D2	自己研修（お茶ノ水祭準備）				自己研修（お茶ノ水祭準備）				
10月18日	月	D2	歯の解剖2（遠隔）					医療と造形（塑像）（2号館305号室）（第２講義室）／美術解剖学（遠隔）			
10月19日	火	D2	【教養連携】教養英語（遠隔）／人文社会科学総合講義（遠隔）				【教養連携】サイエンスPBL（対面予定）				
10月20日	水	D2	中枢神経系2（遠隔）				インフォームドコンセント（遠隔）				
10月21日	木	D2	教養/医歯学基盤教育（遠隔）					生理学実習（歯学部基礎実習室他）			
10月22日	金	D2	自己研修（補講）		**遺伝の分子的基盤（ガイダンス）（遠隔・非同期）**			インフォームドコンセント（遠隔）			
10月25日	月	D2	自己研修（補講）					医療と造形（塑像）（2号館305号室）（第２講義室）／美術解剖学（遠隔）			
10月26日	火	D2	【教養連携】教養英語（遠隔）／人文社会科学総合講義（遠隔）				【教養連携】サイエンスPBL（対面予定）	自己研修（補講）			
10月27日	水	D2	歯の解剖3（遠隔）				医療面接（遠隔）				
10月28日	木	D2	教養/医歯学基盤教育（遠隔）					解剖体追悼式（築地本願寺）			
10月29日	金	D2	歯の解剖4（遠隔）					生理学実習（歯学部基礎実習室他）			
11月1日	月	D2	遺伝の分子的基盤（遠隔）					**口腔組織・発生学　試験（第1講義室）**			
11月2日	火	D2	【教養連携】教養英語（遠隔）／人文社会科学総合講義（遠隔）				【教養連携】サイエンスPBL（対面予定）				
11月3日	水	D2	文化の日								
11月4日	木	D2	教養/医歯学基盤教育（遠隔）					生理学実習（歯学部基礎実習室他）			
11月5日	金	D2	中枢神経系3（遠隔）				医療面接（遠隔）				
11月8日	月	D2	環境・社会と健康（遠隔）					**生命維持のための生体機能　試験（第1講義室）**			
11月9日	火	D2	【教養連携】教養英語（遠隔）／人文社会科学総合講義（遠隔）				【教養連携】サイエンスPBL（対面予定）				
11月10日	水	D2	中枢神経系4（遠隔）		歯の解剖5（遠隔）			生理学実習（歯学部基礎実習室他）			
11月11日	木	D2	教養/医歯学基盤教育（遠隔）					生理学実習（歯学部基礎実習室他）			
11月12日	金	D2	遺伝の分子的基盤（遠隔）				医療面接（遠隔）				
11月15日	月	D2	中枢神経系（脳実習1）（解剖実習室）			お昼（第1･2講義室）	医療と造形（塑像）（2号館305号室）（第２講義室）				
11月16日	火	D2	【教養連携】教養英語（遠隔）／人文社会科学総合講義（遠隔）				【教養連携】サイエンスPBL（対面予定）				
11月17日	水	D2	環境・社会と健康（遠隔）					中枢神経系（脳実習2）（解剖実習室）			
11月18日	木	D2	教養教育(非同期)		医歯学基盤教育 試験(対面予定)			遺伝の分子的基盤（遠隔）			
11月19日	金	D2	生命を構成する分子とその代謝（遠隔）					生理学実習（歯学部基礎実習室他）			
11月22日	月	D2	自己研修（補講）					中枢神経系（脳実習3）（解剖実習室）			
11月23日	火	D2	勤労感謝の日								
11月24日	水	D2	環境・社会と健康（遠隔）				細胞機能の分子的基盤（遠隔）				
11月25日	木	D2	**教養/医歯学基盤教育**（遠隔）					【教養連携】情報科学演習（遠隔）			
11月26日	金	D2	生命を構成する分子とその代謝（遠隔）				環境・社会と健康（遠隔）				
11月29日	月	D2	生命を構成する分子とその代謝（遠隔）					医療と造形（塑像）（2号館305号室）			
11月30日	火	D2	【教養連携】教養英語（遠隔）／人文社会科学総合講義（遠隔）				【教養連携】サイエンスPBL（対面予定）				

2021年度D2カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）		12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16：50-17：40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
12月1日	水	D2	細胞機能の分子的基盤（遠隔）				遺伝の分子的基盤（遠隔）				
12月2日	木	D2	教養/医歯学基盤教育				【教養連携】情報科学演習（遠隔）				
12月3日	金	D2	**医の倫理　試験（第1講義室）**	**ｲﾝﾌｫｰﾑﾄﾞC試験（第1講義室）**	**医療面接試験（第1講義室）**			細胞機能の分子的基盤（遠隔）			
12月6日	月	D2	歯の解剖6（遠隔）				生命を構成する分子とその代謝（遠隔）				
12月7日	火	D2	【教養連携】教養英語（遠隔）／人文社会科学総合講義 (遠隔)				細胞機能の分子的基盤（遠隔）				
12月8日	水	D2	**神経系の機能Ⅱ　試験　（第1講義室）**				生命を構成する分子とその代謝（遠隔）				
12月9日	木	D2	教養/医歯学基盤教育（遠隔）					【教養連携】情報科学演習（遠隔）			
12月10日	金	D2	B型肝炎予防接種（登校）					医療と造形（歯と顔貌）（遠隔）			
12月13日	月	D2	硬組織生化学の分子的基盤（遠隔）					医療と造形（塑像）（2号館305号室）（第２講義室）／美術解剖学（遠隔）			
12月14日	火	D2	【教養連携】教養英語（遠隔）／人文社会科学総合講義 (遠隔)				遺伝の分子的基盤（遠隔）				
12月15日	水	D2	硬組織生化学の分子的基盤（遠隔）				医療安全と危機管理の基礎（遠隔）				
12月16日	木	D2	教養/医歯学基盤教育（遠隔）					【教養連携】情報科学演習（遠隔）			
12月17日	金	D2	食生活と健康（遠隔・非同期）					医療と造形（科学捜査と復顔）（共用講義室１）			
12月20日	月	D2	硬組織生化学の分子的基盤（遠隔）					医療と造形（塑像）（2号館305号室）（第２講義室）／美術解剖学（歯科棟南4階演習室）			
12月21日	火	D2	【教養連携】教養英語（遠隔）／人文社会科学総合講義 (遠隔)					**歯の解剖　試験　（第1講義室）**			
12月22日	水	D2	細胞機能の分子的基盤（遠隔）				生命を構成する分子とその代謝（遠隔）				
12月23日	木	D2	教養/医歯学基盤教育（遠隔）					【教養連携】情報科学演習（遠隔）			
12月24日	金	D2	自己研修（補講）				自己研修（補講）				

1月4日	火	D2	【教養連携】教養英語（遠隔）／人文社会科学総合講義 (遠隔)				生命を構成する分子とその代謝（遠隔）				
1月5日	水	D2	ライフスタイルと健康（遠隔）				医療安全と危機管理の基礎（遠隔）				
1月6日	木	D2	自己研修（補講）				チーム医療（遠隔）				
1月7日	金	D2	食生活と健康（遠隔・非同期）				生命の分子的基盤実習（遠隔）				
1月10日	月	D2	成人の日								
1月11日	火	D2	【教養連携】教養英語（遠隔）／人文社会科学総合講義 (遠隔)					生命の分子的基盤実習（歯学部基礎実習室）			
1月12日	水	D2	ライフスタイルと健康（遠隔）					生命の分子的基盤実習（歯学部基礎実習室）			
1月13日	木	D2	教養教育(非同期)	医歯学基盤教育予備	医歯学基盤教育 試験(対面予定)			【教養連携】情報科学演習（遠隔）			
1月14日	金	D2	食生活と健康（遠隔・非同期）				自己研修（補講）				
1月17日	月	D2	細胞機能の分子的基盤（遠隔）					医療と造形（塑像）（2号館305号室）（第２講義室）／美術解剖学（遠隔）			
1月18日	火	D2	【教養連携】教養英語（遠隔）／人文社会科学総合講義 (遠隔)				医療安全と危機管理の基礎（遠隔）				
1月19日	水	D2	ライフスタイルと健康（遠隔）				チーム医療（遠隔）				
1月20日	木	D2	**教養/医歯学基盤教育　（遠隔）**	医歯学基盤教育予備			【教養連携】情報科学演習（遠隔）				
1月21日	金	D2	硬組織生化学の分子的基盤（遠隔）				生命の分子的基盤実習（遠隔）				
1月24日	月	D2	細胞機能の分子的基盤（遠隔）					医療と造形（塑像）（2号館305号室）（第２講義室）／美術解剖学（遠隔）			
1月25日	火	D2	【教養連携】教養英語（遠隔）／人文社会科学総合講義 (遠隔)					生命の分子的基盤実習（歯学部基礎実習室）			
1月26日	水	D2	硬組織生化学の分子的基盤（遠隔）					生命の分子的基盤実習（歯学部基礎実習室）			
1月27日	木	D2	教養/医歯学基盤教育（遠隔）				チーム医療（遠隔）				
1月28日	金	D2	細胞機能の分子的基盤（遠隔）				硬組織生化学の分子的基盤（遠隔）				
1月31日	月	D2	自己研修（補講）				医療と造形（塑像）（2号館305号室）				

2021年度D2カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）		12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16：50-17：40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2月1日	火	D2	**教養連携　試験　（第1講義室）**				自己研修（補講）				
2月2日	水	D2	自己研修（補講）				ライフスタイルと健康　試験（第1講義室）	**チーム医療　試験（第1講義室）**			
2月3日	木	D2	教養教育予備	自己研修（補講）			硬組織生化学の分子的基盤　（遠隔）				
2月4日	金	D2	**食生活と健康　試験（第1講義室）**	**環境・社会と健康　試験（第1講義室）**	**遺伝の分子的基盤　試験（第1講義室）**		自己研修（補講）				
2月7日	月	D2	自己研修（補講）				医療と造形（塑像）（2号館305号室）（第２講義室）				
2月8日	火	D2	**教養連携　再試験　（第1講義室）**				自己研修（補講）				
2月9日	水	D2	自己研修（補講）	**口腔生理　試験　（第1講義室）**			自己研修（補講）				
2月10日	木	D2	**教養/医歯学基盤教育　試験　（対面予定）**				自己研修（補講）	ご遺骨返還式？？？　（鈴木記念講堂）			
2月11日	金	D2	建国記念日								
2月14日	月	D2	**中枢神経系　試験　（第1講義室）**		**生命を構成する分子とその代謝　試験（第1講義室）**		自己研修（補講）				
2月15日	火	D2	自己研修（補講）	**細胞機能の分子的基盤　試験（第1講義室）**	**硬組織生化学の分子的基盤　試験（第1講義室）**		自己研修（補講）				
2月16日	水	D2	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
2月17日	木	D2	**教養/医歯学基盤教育　試験　（対面予定）**				自己研修（補講）				
2月18日	金	D2	自己研修（補講）				自己研修（補講）	ご遺骨返還式？？？　（鈴木記念講堂）			
2月21日	月	D2	再試験期間および成績判定期間								
2月22日	火	D2	再試験期間および成績判定期間								
2月23日	水	D2	天皇誕生日								
2月24日	木	D2	**教養/医歯学基盤教育　試験　（対面予定）**			再試験期間および成績判定期間					
2月25日	金	D2	再試験期間および成績判定期間								
2月28日	月	D2	再試験期間および成績判定期間								

2021年度D3カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）	12:00-12:50	12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16：50-17：40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4月1日	木	D3	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
4月2日	金	D3	D3ガイダンス（遠隔）	臨床歯学イントロダクション	（遠隔）			臨床歯学イントロダクション	（遠隔）		
4月5日	月	D3	臨床歯学イントロダクション		（遠隔）			臨床歯学イントロダクション	（遠隔）		
4月6日	火	D3	臨床歯学イントロダクション		（遠隔）		臨床歯学イントロダクション		（遠隔）		
4月7日	水	D3		各診療科における診療補助Ⅰ	（遠隔）				臨床歯学イントロダクション （遠隔）		
4月8日	木	D3	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		臨床歯学イントロダクション	（遠隔）	学年混合選択セミナー（遠隔）		
4月9日	金	D3	**歯学科TOEFL ITP試験　（特別講堂）**					臨床歯学イントロダクション	（遠隔）		
4月12日	月	D3	臨床歯学イントロダクション		（遠隔）			臨床歯学イントロダクション	（遠隔）		
4月13日	火	D3	口腔疾患の予防		（遠隔）			口腔疾患の予防　実習		（歯学部基礎実習室）	
4月14日	水	D3	B型肝炎抗体検査		（登校）			感染と免疫概論		（遠隔）	
4月15日	木	D3	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		臨床歯学イントロダクション	（遠隔）	学年混合選択セミナー（遠隔）		
4月16日	金	D3	臨床歯学イントロダクション		（遠隔）			臨床歯学イントロダクション	（遠隔）		
4月19日	月	D3	感染と免疫概論		（遠隔）		病理学総論		（遠隔）		
4月20日	火	D3	感染と免疫概論		（遠隔）		病理学総論		（遠隔）		
4月21日	水	D3	各診療科における診療補助Ⅰ		（遠隔）			病理学総論		（遠隔）	
4月22日	木	D3	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		薬理学概説	（遠隔）	学年混合選択セミナー（遠隔）		
4月23日	金	D3	感染と免疫概論		（遠隔）		病理学総論		（遠隔）		
4月26日	月	D3	病原性細菌と感染症		（遠隔）			病理学総論		（遠隔）	
4月27日	火	D3	口腔疾患の予防		（遠隔）			口腔疾患の予防　実習	（口腔保健衛生学専攻臨床基礎実習室・相互実習室、**歯学部基礎実習室**）		
4月28日	水	D3	自己研修（補講）		**感染と免疫概論　試験（第2，3講義室）**			病理学総論	（遠隔・非同期）		
4月29日	木	D3	昭和の日								
4月30日	金	D3	薬理学概説	（遠隔）			病原性細菌と感染症			（遠隔）	
5月3日	月	D3	憲法記念日								
5月4日	火	D3	みどりの日								
5月5日	水	D3	こどもの日								
5月6日	木	D3	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		薬理学概説	（遠隔）	学年混合選択セミナー（遠隔）		
5月7日	金	D3	病原性細菌と感染症		（遠隔）		薬理学概説		（遠隔）		
5月10日	月	D3	病原性細菌と感染症		（遠隔）		病理学総論		（遠隔）		
5月11日	火	D3	口腔疾患の予防		（遠隔）			口腔疾患の予防　実習	（口腔保健衛生学専攻臨床基礎実習室・相互実習室、歯学部演習室1－11）		
5月12日	水	D3	各診療科における診療補助Ⅰ		（遠隔）		病原性細菌・ウイルスと感染症　実習		（歯学部基礎実習室）		
5月13日	木	D3	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		病原性細菌と感染症	（遠隔）	学年混合選択セミナー（遠隔）		
5月14日	金	D3	病原性細菌と感染症		（遠隔）			病原性細菌・ウイルスと感染症　実習		（歯学部基礎実習室）	
5月17日	月	D3	病原性細菌と感染症		（遠隔）		病理学総論		（遠隔）		
5月18日	火	D3	口腔疾患の予防		（遠隔）			口腔疾患の予防　実習	（歯学部基礎実習室、第2講義室,歯学部演習室1－11）		
5月19日	水	D3	各診療科における診療補助Ⅰ		（各診療科外来・第2講義室）		病原性細菌・ウイルスと感染症　実習		（歯学部基礎実習室）		
5月20日	木	D3	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		病原性細菌と感染症	（遠隔）	学年混合選択セミナー（遠隔）		
5月21日	金	D3	病理学総論		（遠隔）			病原性細菌・ウイルスと感染症　実習		（歯学部基礎実習室）	
5月24日	月	D3	自己研修（補講）		病原性細菌と感染症　試験（第2，3講義室）			病理学総論		（遠隔）	
5月25日	火	D3	口腔疾患の予防		（遠隔）			口腔疾患の予防　実習	（口腔保健衛生学専攻臨床基礎実習室・相互実習室、歯学部演習室1－11）		
5月26日	水	D3	各診療科における診療補助Ⅰ		（各診療科外来・第2講義室）			病原性ウイルスと感染症		（遠隔）	
5月27日	木	D3	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		薬理学概説	（遠隔）	学年混合選択セミナー（遠隔）		
5月28日	金	D3	病理学総論		（遠隔）		病理学総論		（遠隔）		
5月31日	月	D3	口腔疾患の予防		（遠隔）		病理学総論		（遠隔）		

2021年度D3カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）	12:00-12:50	12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16：50-17：40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6月1日	火	D3	口腔疾患の予防 （遠隔）					口腔疾患の予防 実習 （口腔保健衛生学専攻臨床基礎実習室・相互実習室、歯学部演習室1－11）			
6月2日	水	D3	各診療科における診療補助Ⅰ （各診療科外来・第2講義室）					病原性ウイルスと感染症 （遠隔）			
6月3日	木	D3	教養/医歯学基盤教育 （遠隔）				神経系と薬物 （遠隔）		学年混合選択セミナー（遠隔）		
6月4日	金	D3	病理学総論 （遠隔）				薬理学概説 （遠隔）				
6月7日	月	D3	病原性ウイルスと感染症（遠隔）	バイオインフォマティックス概論（遠隔）			病理学総論 （遠隔）				
6月8日	火	D3	口腔疾患の予防 実習 （第2・3講義室）					薬理学概説 （遠隔）			
6月9日	水	D3	各診療科における診療補助Ⅰ （各診療科外来・第2講義室）					病理学総論 （遠隔）			
6月10日	木	D3	教養/医歯学基盤教育 （遠隔）				神経系と薬物 （遠隔）		学年混合選択セミナー（遠隔）		
6月11日	金	D3	B型肝炎予防接種 （登校）					口腔疾患の予防 （遠隔）			
6月14日	月	D3	病原性ウイルスと感染症（遠隔）	バイオインフォマティックス概論（遠隔）				**病理学総論 試験 （第1講義室）**			
6月15日	火	D3	包括医療統合教育（チーム医療導入） （遠隔）					口腔疾患の予防 実習 （第2講義室・歯学部演習室・歯学部基礎実習室）			
6月16日	水	D3	各診療科における診療補助Ⅰ （遠隔）					神経系と薬物 （遠隔）			
6月17日	木	D3	医歯学基盤教育 試験(対面予定)	教養教育 （遠隔）			神経系と薬物 （遠隔）		学年混合選択セミナー（遠隔）		
6月18日	金	D3	歯型彫刻 （補綴実習室、補綴示説室）					生体免疫応答 （遠隔）			
6月21日	月	D3	生体免疫応答 （遠隔）				自己研修（補講）				
6月22日	火	D3	医歯学融合教育（新規導入授業：医師看護合同演習）（遠隔）				自己研修（補講）				
6月23日	水	D3	**口腔疾患の予防 試験 （第2・3講義室）**				口腔病理学 （遠隔）				
6月24日	木	D3	教養/医歯学基盤教育 （遠隔）					生体免疫応答 実習 あるいは遠隔講義（歯学部基礎実習室 および遠隔）			
6月25日	金	D3	歯型彫刻 （補綴実習室、補綴示説室）					口腔病理学 （遠隔）			
6月28日	月	D3	歯型彫刻 （補綴実習室、補綴示説室）					歯科医療と社会 （遠隔）			
6月29日	火	D3	口腔病理学 （遠隔）					生体免疫応答 実習 あるいは遠隔講義（歯学部基礎実習室 および遠隔）			
6月30日	水	D3	口腔病理学 （遠隔）				生体免疫応答 （遠隔）				
7月1日	木	D3	教養/医歯学基盤教育 （遠隔）					薬物と生体反応の実際 実習 （情報検索室・歯学部基礎実習室）			
7月2日	金	D3	歯型彫刻 （補綴実習室、補綴示説室）				薬物と生体反応の実際 実習 （歯学部基礎実習室）				
7月5日	月	D3	神経系と薬物 （遠隔）		研究実習海外コース説明（遠隔）		口腔病理学 （遠隔）				
7月6日	火	D3	口腔病理学 （遠隔・非同期）				歯科医療と社会 （遠隔）				
7月7日	水	D3	口腔病理学 （遠隔・非同期）				神経系と薬物 （遠隔）				
7月8日	木	D3	教養/医歯学基盤教育 （遠隔）					薬物と生体反応の実際 実習 （歯学部基礎実習室）			
7月9日	金	D3	歯型彫刻 （補綴実習室、補綴示説室）				薬物と生体反応の実際 実習 （歯学部基礎実習室）				
7月12日	月	D3	自己研修（補講）	病原性ウイルスと感染症 試験（第2, 3講義室）	自己研修（補講）		口腔病理学 （遠隔・非同期）				
7月13日	火	D3	**薬理学概説 試験（情報検索室）**	自己研修（補講）			口腔病理学 （遠隔・非同期）				
7月14日	水	D3	口腔病理学 （遠隔・非同期）				自己研修（補講）				
7月15日	木	D3	教養/医歯学基盤教育 （遠隔）				口腔病理学 （遠隔）				
7月16日	金	D3	B型肝炎予防接種 （登校）					生体免疫応答 （遠隔）			
7月19日	月	D3	自己研修（補講）		バイオインフォマティクス概論 試験（第2, 3講義室）			感染の予防および治療薬 （遠隔）			
7月20日	火	D3	口腔病理学 （遠隔）				生体免疫応答 演習 （遠隔）				
7月21日	水	D3	自己研修（補講）				口腔病理学 （遠隔）				
7月22日	木	D3	海の日								
7月23日	金	D3	スポーツの日								
7月26日	月	D3	自己研修（補講）				生体免疫応答 演習 （遠隔）				
7月27日	火	D3	**口腔病理学 試験 （第1講義室）**				自己研修（補講）				
7月28日	水	D3	**自己研修（補講）**	**生体免疫応答 試験（第2,3講義室）**	**自己研修（補講）**		自己研修（補講）				
7月29日	木	D3	自己研修（補講）				薬物と生体反応の実際 実習 （歯学部基礎実習室）				
7月30日	金	D3	歯型彫刻 （補綴実習室、補綴示説室）				薬物と生体反応の実際 実習 （歯学部基礎実習室）				

2021年度D3カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）	12:00-12:50	12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16：50-17：40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9

8月26日	木	D3	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		自己研修（補講）				
8月27日	金	D3	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
8月30日	月	D3	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
8月31日	火	D3	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
9月1日	水	D3	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
9月2日	木	D3	**教養/医歯学基盤教育**		**（遠隔）**		自己研修（補講）				
9月3日	金	D3	歯型彫刻		（補綴実習室、補綴示説室）		**神経系と薬物　試験（情報検索室）**	自己研修（補講）			
9月6日	月	D3	自己研修（補講）	消化器系・乳腺疾患	（遠隔）		自己研修（補講）				
9月7日	火	D3	放射線の性質と画像検査の基本		（遠隔）		歯科医療と社会		（遠隔）		
9月8日	水	D3	放射線の性質と画像検査の基本		（遠隔）		脳神経疾患		（遠隔）		
9月9日	木	D3	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		腎・泌尿器系疾患	（遠隔）	外科総論（遠隔）		
9月10日	金	D3	歯型彫刻		（補綴実習室、補綴示説室）			歯科医療と社会			（遠隔）
9月13日	月	D3		消化器系・乳腺疾患	（遠隔）			外科総論			（遠隔）
9月14日	火	D3	歯科法医学		（遠隔）		歯科医療と社会		（遠隔）		
9月15日	水	D3	歯科法医学		（遠隔）		感染の予防および治療薬		（遠隔）		
9月16日	木	D3	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		感染の予防および治療薬		（遠隔）		
9月17日	金	D3	歯型彫刻		（補綴実習室、補綴示説室）			歯科法医学			（遠隔）
9月20日	月	D3	敬老の日								
9月21日	火	D3	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
9月22日	水	D3	放射線の性質と画像検査の基本		（遠隔）		感染の予防および治療薬		（遠隔）		
9月23日	木	D3	秋分の日								
9月24日	金	D3	各診療科における診療補助Ⅱ		（各診療科外来・第2講義室）			感染の予防および治療薬			（遠隔）
9月27日	月	D3	**脳神経疾患　試験（第２講義室）**	**腎・泌尿器系疾患　試験（第２講義室）**	自己研修（補講）		自己研修（補講）				
9月28日	火	D3	自己研修（補講）	**歯科医療と社会　試験（第２講義室）**			歯科法医学		（遠隔）		
9月29日	水	D3	循環器疾患（遠隔）	消化器系疾患・乳腺疾患	（遠隔）		D4研究実習ガイダンス（遠隔）	循環器・呼吸器系疾患	（遠隔）		
9月30日	木	D3	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		自己研修（補講）				

2021年度D3カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）		12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16：50-17：40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10月1日	金	D3	後期ガイダンス（遠隔）	呼吸器疾患（遠隔）			自己研修（補講）				
10月4日	月	D3	自己研修（補講）	消化器系疾患・乳腺疾患（遠隔）			病態科学演習（心電 1）（遠隔）				
10月5日	火	D3	自己研修（補講）	循環器疾患（遠隔）			歯科法医学（遠隔）				
10月6日	水	D3	放射線の性質と画像検査の基本（遠隔）				外科総論（遠隔）	内分泌疾患（遠隔）			
10月7日	木	D3	教養/医歯学基盤教育（遠隔）				研究実習（発表会）（遠隔）				
10月8日	金	D3	各診療科における診療補助Ⅱ（各診療科外来・第2講義室）					放射線の性質と画像検査の基本（遠隔）			
10月12日	火	D3	創立記念日								
10月13日	水	D3	外科総論（遠隔）				循環器・呼吸器系疾患				
10月14日	木	D3	教養/医歯学基盤教育（遠隔）				病態科学演習（糖尿 2）（遠隔）				
10月15日	金	D3	自己研修（お茶ノ水祭準備）								
10月18日	月	D3		**循環器・呼吸器系疾患 試験（第2講義室）**	**外科総論 試験（第2講義室）**		**感染の予防および治療薬 試験（情報検索室）**				
10月19日	火	D3	放射線の性質と画像検査の基本（遠隔）				病態科学演習（糖尿 3）（遠隔）				
10月20日	水	D3	放射線の性質と画像検査の基本（遠隔）				皮膚疾患（遠隔）				
10月21日	木	D3	教養/医歯学基盤教育（遠隔）				病態科学演習（開口 4）（遠隔）				
10月22日	金	D3	各診療科における診療補助Ⅱ（各診療科外来・第2講義室）					病態科学演習（心電 5）（遠隔）			
10月25日	月	D3	病態科学演習（開口 6）（遠隔）				病態科学演習（循環器 7）（遠隔）				
10月26日	火	D3	病態科学演習（循環器 8）（遠隔）				骨のバイオロジー（遠隔）	消化器疾患（遠隔）			
10月27日	水	D3	放射線の性質と画像検査の基本 実習（遠隔）				皮膚疾患（遠隔）				
10月28日	木	D3	教養/医歯学基盤教育（遠隔）				病態科学演習 （遺伝子 9）（遠隔）				
10月29日	金	D3	各診療科における診療補助Ⅱ（各診療科外来・第2講義室）					病態科学演習（遺伝子 10）（遠隔）			
11月1日	月	D3	**消化器系疾患・乳腺疾患試験（第2講義室）**	**歯科法医学 試験（第2講義室）**			自己研修（補講）				
11月2日	火	D3	放射線の性質と画像検査の基本 実習（第2講義室、情報検索室）					病態科学演習 （疼痛 11）（遠隔）			
11月3日	水	D3	文化の日								
11月4日	木	D3	教養/医歯学基盤教育（遠隔）				骨のバイオロジー（遠隔）	膠原病（遠隔）	自己研修（補講）		
11月5日	金	D3	各診療科における診療補助Ⅱ（各診療科外来・第2講義室）					病態科学演習（疼痛 12）（遠隔）			
11月8日	月	D3	自己研修（補講）					病態科学演習（腫瘍 13）（遠隔）			
11月9日	火	D3	生殖器系疾患（遠隔）				骨のバイオロジー（遠隔）	血液疾患（遠隔）			
11月10日	水	D3	放射線の性質と画像検査の基本 実習（第2講義室、情報検索室）					病態科学演習（腫瘍 14）（遠隔）			
11月11日	木	D3	教養/医歯学基盤教育（遠隔）				骨のバイオロジー（遠隔）	小児疾患（遠隔）			
11月12日	金	D3	各診療科における診療補助Ⅱ（各診療科外来・第2講義室）				自己研修（補講）				
11月15日	月	D3	運動器疾患（遠隔）				病態科学演習（嗄下 15）（遠隔）				
11月16日	火	D3	骨のバイオロジー（遠隔）	腎尿路疾患（遠隔）			病態科学演習（嗄下 16）（遠隔）				
11月17日	水	D3	放射線の性質と画像検査の基本 実習（第2講義室、情報検索室）					小児疾患（遠隔）			
11月18日	木	D3	教養/医歯学基盤教育（遠隔）				自己研修（補講）				
11月19日	金	D3	各診療科における診療補助Ⅱ（各診療科外来・第2講義室）					病態科学演習（口腔 17）（遠隔）			
11月22日	月	D3	神経疾患（遠隔）		生殖器系疾患（遠隔）		骨のバイオロジー（遠隔）	自己研修（補講）			
11月23日	火	D3	勤労感謝の日								
11月24日	水	D3	放射線の性質と画像検査の基本 実習（第2講義室、情報検索室）					病態科学演習（口腔 18）（遠隔）			
11月25日	木	D3		医歯学基盤教育 試験(対面予定)	教養教育(非同期)		病態科学演習（感染 19）（遠隔）				
11月26日	金	D3	各診療科における診療補助Ⅱ（各診療科外来・第2講義室）				自己研修（補講）				
11月29日	月	D3	**循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患 試験（第2講義室）**		**皮膚疾患 試験（第2講義室）**		病態科学演習（感染 20）（遠隔）				
11月30日	火	D3	小児疾患（遠隔）				自己研修（補講）				

2021年度D3カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）		12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16：50-17：40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
12月1日	水	D3	**生殖器系疾患試験（第2講義室）**	**血液・内分泌・膠原病・腎尿路疾患・神経疾患　試験（第2講義室）**	**運動器疾患試験　試験（第2講義室）**		自己研修（補講）				
12月2日	木	D3	**教養/医歯学基盤教育**		**（遠隔）**		自己研修（補講）				
12月3日	金	D3	各診療科における診療補助Ⅱ		（各診療科外来・第2講義室）		研究実習（リサーチデイ）		（特別講堂）		
12月6日	月	D3	**小児疾患　試験**	**（第2講義室）**	**歯科放射線基礎　試験（第2講義室）**		自己研修（補講）				
12月7日	火	D3	遺伝病		（遠隔）		遺伝病	（遠隔）			
12月8日	水	D3	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
12月9日	木	D3	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		骨のバイオロジー（遠隔）	自己研修（補講）			
12月10日	金	D3	B型肝炎予防接種		**（登校）**		**病態科学演習　試験（第2講義室）**	**遺伝病　試験（第2講義室）**	自己研修（補講）		
12月13日	月	D3	歯科理工学基礎		（遠隔）		咬合回復基礎		（遠隔）		
12月14日	火	D3	歯科理工学基礎		（遠隔）		咬合回復基礎		（遠隔）		
12月15日	水	D3	歯科理工学基礎		（遠隔）		咬合回復基礎		（遠隔）		
12月16日	木	D3	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		咬合回復基礎	（遠隔）	D4研究実習ガイダンス（遠隔）		
12月17日	金	D3	各診療科における診療補助Ⅱ		（遠隔）			歯科理工学基礎 実習	（歯学部基礎実習室・歯学部基礎小実習室）		
12月20日	月	D3	歯科理工学基礎		（遠隔）		自己研修（補講）				
12月21日	火	D3	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
12月22日	水	D3	自己研修（補講）	**歯科理工学基礎　試験（第2講義室）**	**咬合回復基礎　試験（第2講義室）**		自己研修（補講）				
12月23日	木	D3	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		自己研修（補講）				
12月24日	金	D3	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
1月4日	火	D3	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
1月5日	水	D3	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
1月6日	木	D3	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
1月7日	金	D3	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
1月10日	月	D3	成人の日								
1月11日	火	D3	頭頸部臨床ブロック				頭頸部臨床ブロック				
1月12日	水	D3	頭頸部臨床ブロック				頭頸部臨床ブロック				
1月13日	木	D3	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		頭頸部臨床ブロック				
1月14日	金	D3	頭頸部臨床ブロック				頭頸部臨床ブロック				
1月17日	月	D3	頭頸部臨床ブロック				頭頸部臨床ブロック				
1月18日	火	D3	頭頸部臨床ブロック				頭頸部臨床ブロック				
1月19日	水	D3	頭頸部臨床ブロック				頭頸部臨床ブロック				
1月20日	木	D3	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		頭頸部臨床ブロック				
1月21日	金	D3	頭頸部臨床ブロック				頭頸部臨床ブロック				
1月24日	月	D3	頭頸部臨床ブロック				頭頸部臨床ブロック				
1月25日	火	D3	頭頸部臨床ブロック				頭頸部臨床ブロック				
1月26日	水	D3	頭頸部臨床ブロック				頭頸部臨床ブロック				
1月27日	木	D3	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		頭頸部臨床ブロック				
1月28日	金	D3	頭頸部臨床ブロック				頭頸部臨床ブロック				
1月31日	月	D3	頭頸部臨床ブロック				頭頸部臨床ブロック				

2021年度D3カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）		12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16：50-17：40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2月1日	火	D3	頭頸部臨床ブロック				頭頸部臨床ブロック				
2月2日	水	D3	頭頸部臨床ブロック				頭頸部臨床ブロック				
2月3日	木	D3	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		頭頸部臨床ブロック				
2月4日	金	D3	頭頸部臨床ブロック				頭頸部臨床ブロック				
2月7日	月	D3	総合診療・地域医療ブロック				総合診療・地域医療ブロック				
2月8日	火	D3	総合診療・地域医療ブロック				総合診療・地域医療ブロック				
2月9日	水	D3	総合診療・地域医療ブロック				総合診療・地域医療ブロック				
2月10日	木	D3	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		総合診療・地域医療ブロック				
2月11日	金	D3	建国記念日								
2月14日	月	D3	総合診療・地域医療ブロック				総合診療・地域医療ブロック				
2月15日	火	D3	総合診療・地域医療ブロック				総合診療・地域医療ブロック				
2月16日	水	D3	総合診療・地域医療ブロック				総合診療・地域医療ブロック				
2月17日	木	D3	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		総合診療・地域医療ブロック				
2月18日	金	D3	総合診療・地域医療ブロック				総合診療・地域医療ブロック				
2月21日	月	D3	再試験期間および成績判定期間								
2月22日	火	D3	再試験期間および成績判定期間								
2月23日	水	D3	天皇誕生日								
2月24日	木	D3	**教養/医歯学基盤教育 試験**		**（対面予定）**	再試験期間および成績判定期間					
2月25日	金	D3	再試験期間および成績判定期間								
2月28日	月	D2	再試験期間および成績判定期間								

2021年度D4カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）	12:00-12:50	12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16：50-17：40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4月1日	木	D4	全部床義歯補綴 講義	総論 予備印象	（遠隔）		研究実習 発表会見学		（遠隔）		
4月2日	金	D4	D4ガイダンス（遠隔）	歯科材料の科学	（遠隔）			歯科材料の科学		（歯学部基礎実習室）	
4月5日	月	D4	全部床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		全部床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		
4月6日	火	D4	歯科材料の科学		（遠隔）			保存修復治療の基礎		（ノイシュタットジャパンルーム）	
4月7日	水	D4	歯科材料の科学		（遠隔）			保存修復治療の基礎		（ノイシュタットジャパンルーム）	
4月8日	木	D4	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		歯科材料の科学 （遠隔）		学年混合選択セミナー（遠隔）		
4月9日	金	D4	全部床義歯補綴 講義	精密印象	（遠隔）		全部床義歯補綴 講義	咬合採得 咬合器 ゴシックアーチ	（遠隔）		
4月12日	月	D4	全部床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）			歯の硬組織疾患とその対応 概論		（遠隔）	
4月13日	火	D4	歯科材料の科学		（遠隔）			全部床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）	
4月14日	水	D4	B型肝炎抗体検査		（登校）		全部床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		
4月15日	木	D4	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		歯科材料の科学 （遠隔）		学年混合選択セミナー（遠隔）		
4月16日	金	D4	歯の硬組織疾患		（ノイシュタットジャパンルーム）			歯の硬組織疾患とその対応 概論		（遠隔）	
4月19日	月	D4	全部床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）			研究実習		（遠隔）	歯科材料の科学（遠隔）
4月20日	火	D4	歯科材料の成形技術と臨床		（遠隔）			歯科材料の成形技術と臨床		（歯学部基礎実習室）	
4月21日	水	D4	歯科材料の成形技術と臨床		（歯学部基礎実習室・鋳造室）			歯の硬組織疾患		（遠隔）	歯科材料の科学（遠隔）
4月22日	木	D4	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		歯科材料の科学 （遠隔）		学年混合選択セミナー（遠隔）		
4月23日	金	D4	全部床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）			歯科材料の科学（遠隔）	保存修復治療の基礎		（遠隔）
4月26日	月	D4	全部床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		歯科材料の成形技術と臨床		（歯学部基礎実習室）		
4月27日	火	D4	歯の硬組織疾患		（遠隔）			歯科材料の成形技術と臨床		（歯学部基礎実習室）	
4月28日	水	D4	歯科材料の成形技術と臨床（遠隔）				**歯科材料の科学 試験（第3講義室）**	全部床義歯補綴 実習	（補綴実習室、補綴示説室）		
4月29日	木	D4	昭和の日								
4月30日	金	D4	歯科材料の成形技術と臨床 （遠隔）				全部床義歯補綴 講義	人工歯排列	（遠隔）		
5月3日	月	D4	憲法記念日								
5月4日	火	D4	みどりの日								
5月5日	水	D4	こどもの日								
5月6日	木	D4	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		歯科材料の成形技術と臨床 （遠隔）		学年混合選択セミナー（遠隔）		
5月7日	金	D4	歯科材料の成形技術と臨床		（遠隔）			全部床義歯補綴 講義	試適 歯肉形成 重合	（補綴実習室、補綴示説室）	
5月10日	月	D4	**歯科材料の成形技術と臨床 試験（第3講義室）**	全部床義歯補綴 実習	（補綴実習室、補綴示説室）			歯科材料の成形技術と臨床		（遠隔）	
5月11日	火	D4	保存修復治療の基礎		（ノイシュタットジャパンルーム）			研究実習		（遠隔）	
5月12日	水	D4	全部床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		保存修復治療の基礎		（ノイシュタットジャパンルーム）		
5月13日	木	D4	教養/医歯学基盤教育		（遠隔）		研究実習 （遠隔）		学年混合選択セミナー（遠隔）		
5月14日	金	D4	全部床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）	お昼（第2・3講義室）	全部床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		
5月17日	月	D4	全部床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		全部床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		
5月18日	火	D4	歯の硬組織疾患		（遠隔）		全部床義歯補綴 講義	削合，装着，修理	（遠隔）		
5月19日	水	D4	保存修復治療の基礎		（ノイシュタットジャパンルーム）	お昼（第2・3講義室）	全部床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		
5月20日	木	D4	**教養/医歯学基盤教育 試験**		**（遠隔）**				学年混合選択セミナー（遠隔）		
5月21日	金	D4	保存修復治療の基礎		（ノイシュタットジャパンルーム）	お昼（第2・3講義室）	保存修復治療の基礎		（ノイシュタットジャパンルーム）		
5月24日	月	D4	歯の硬組織疾患		（遠隔）			保存修復治療の基礎	（ノイシュタットジャパンルーム）		
5月25日	火	D4	歯の硬組織疾患		（遠隔）			保存修復治療の基礎	（ノイシュタットジャパンルーム）		
5月26日	水	D4	保存修復治療の基礎		（ノイシュタットジャパンルーム、補綴実習室）	お昼（第2・3講義室）	**歯の硬組織疾患 試験**		**（ノイシュタットジャパンルーム）**		
5月27日	木	D4	全部床義歯補綴 実習		（歯学部基礎実習室・鋳造室）				学年混合選択セミナー（遠隔）		
5月28日	金	D4	**全部床義歯補綴 実習試験**	**（補綴実習室）**	全部床義歯補綴 実習	お昼（第2・3講義室）	全部床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		
5月31日	月	D4	全部床義歯補綴 実習 埋没		（歯学部基礎実習室・鋳造室）	お昼（第2・3講義室）	全部床義歯補綴 実習 埋没		（補綴実習室、補綴示説室）		

2021年度D4カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）	12:00-12:50	12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16：50-17：40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6月1日	火	D4	研究実習 講義		（遠隔）		研究実習 配属開始				
6月2日	水	D4	研究実習								
6月3日	木	D4	研究実習						学年混合選択セミナー（遠隔）		
6月4日	金	D4	研究実習								
6月7日	月	D4	研究実習								
6月8日	火	D4	研究実習								
6月9日	水	D4	研究実習								
6月10日	木	D4	研究実習						学年混合選択セミナー（遠隔）		
6月11日	金	D4	研究実習								
6月14日	月	D4	研究実習								
6月15日	火	D4	研究実習								
6月16日	水	D4	研究実習								
6月17日	木	D4	研究実習						学年混合選択セミナー（遠隔）		
6月18日	金	D4	研究実習								
6月21日	月	D4	研究実習								
6月22日	火	D4	研究実習								
6月23日	水	D4	研究実習								
6月24日	木	D4	研究実習								
6月25日	金	D4	研究実習								
6月28日	月	D4	研究実習								
6月29日	火	D4	研究実習								
6月30日	水	D4	研究実習								
7月1日	木	D4	研究実習								
7月2日	金	D4	研究実習								
7月5日	月	D4	研究実習								
7月6日	火	D4	研究実習								
7月7日	水	D4	研究実習								
7月8日	木	D4	研究実習								
7月9日	金	D4	研究実習								
7月12日	月	D4	研究実習								
7月13日	火	D4	研究実習								
7月14日	水	D4	研究実習								
7月15日	木	D4	研究実習								
7月16日	金	D4	研究実習								
7月19日	月	D4	研究実習								
7月20日	火	D4	研究実習								
7月21日	水	D4	研究実習								
7月22日	木	D4	海の日								
7月23日	金	D4	スポーツの日								
7月26日	月	D4	研究実習								
7月27日	火	D4	研究実習								
7月28日	水	D4	研究実習								
7月29日	木	D4	研究実習								
7月30日	金	D4	研究実習								

2021年度D4カレンダー

		9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）	12:00-12:50	12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16：50-17：40
2021年	学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9

8月30日	月	D4	全部床義歯補綴　実習　　流鋼　填入　＋PBL　（補綴実習室、補綴示説室）	お昼（第2・3講義室）	全部床義歯補綴　実習　　流鋼　填入　＋PBL　（補綴実習室、補綴示説室）				
8月31日	火	D4	全部床義歯補綴　中継講義　（遠隔）		全部床義歯補綴　講義　　IOD/デジタル義歯/義歯ケア　（遠隔）				
9月1日	水	D4	保存修復治療の最新の臨床　（遠隔）			保存修復治療の展開　（補綴実習室・ノイシュタットジャパンルーム）			
9月2日	木	D4	全部床義歯補綴　実習　（補綴実習室、補綴示説室）	お昼（第2・3講義室）	全部床義歯補綴　実習　（補綴実習室、補綴示説室）				
9月3日	金	D4	臨床体験実習　D6体験実習・シミュレーション実習　（第4講義室他）	お昼（第2・3講義室）	保存修復治療の展開　（補綴実習室・ノイシュタットジャパンルーム）				
9月6日	月	D4	全部床義歯補綴　実習 ＋PBL　（補綴実習室、補綴示説室）	お昼（第2・3講義室）	全部床義歯補綴　実習 ＋PBL　（補綴実習室、補綴示説室）				
9月7日	火	D4	保存修復治療の最新の臨床　（遠隔）			保存修復治療の展開　（ノイシュタットジャパンルーム）			
9月8日	水	D4	保存修復治療の展開　（補綴実習室・ノイシュタットジャパンルーム）	お昼（第2・3講義室）	保存修復治療の展開　（補綴実習室・ノイシュタットジャパンルーム）				
9月9日	木	D4	全部床義歯補綴　実習　（補綴実習室、補綴示説室）	お昼（第2・3講義室）	全部床義歯補綴　実習　（補綴実習室、補綴示説室）				
9月10日	金	D4	臨床体験実習　D6体験実習・シミュレーション実習　（第4講義室他）	お昼（第2・3講義室）	全部床義歯補綴　実習　（補綴実習室、補綴示説室）				
9月13日	月	D4	全部床義歯補綴　実習　（補綴実習室、補綴示説室）	お昼（第2・3講義室）	全部床義歯補綴　実習　（補綴実習室、補綴示説室）				
9月14日	火	D4	保存修復治療の最新の臨床　（遠隔）			保存修復治療の展開　（ノイシュタットジャパンルーム）			
9月15日	水	D4	クラウンブリッジ　講義　（遠隔）			歯内治療実習　（ノイシュタットジャパンルーム）			
9月16日	木	D4	自己研修（補講）		クラウンブリッジ　講義　（遠隔）				
9月17日	金	D4	臨床体験実習　D6体験実習・シミュレーション実習　（第4講義室他）	お昼（第2・3講義室）	**全部床義歯補綴　筆記試験＋PBL発表会　（第3講義室）**				
9月20日	月	D4	敬老の日						
9月21日	火	D4	部分床義歯補綴　講義　（遠隔）			部分床義歯補綴　実習　（補綴実習室、補綴示説室）			
9月22日	水	D4	クラウンブリッジ　講義　（遠隔）			クラウンブリッジ　実習　（補綴実習室、補綴示説室）			
9月23日	木	D4	秋分の日						
9月24日	金	D4	臨床体験実習　D6体験実習・シミュレーション実習　（第4講義室他）	お昼（第2・3講義室）	クラウンブリッジ　実習　（補綴実習室、補綴示説室）				
9月27日	月	D4	歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する　（遠隔）			歯内治療実習　（ノイシュタットジャパンルーム）			
9月28日	火	D4	保存修復治療の最新の臨床　（遠隔）			保存修復治療の展開　（ノイシュタットジャパンルーム）			
9月29日	水	D4	歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する　（遠隔）			歯内治療実習　（ノイシュタットジャパンルーム）			
9月30日	木	D4	部分床義歯補綴　講義　（遠隔）			部分床義歯補綴　実習　（補綴実習室、補綴示説室）			

2021年度D4カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）	12:00-12:50	12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16：50-17：40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10月1日	金	D4	後期ガイダンス（遠隔）	自己研修（補講）			自己研修（補講）				
10月4日	月	D4	歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する（遠隔）					歯内治療実習（ノイシュタットジャパンルーム）			
10月5日	火	D4	保存修復治療の最新の臨床（遠隔）					保存修復治療の展開（ノイシュタットジャパンルーム）			
10月6日	水	D4	クラウンブリッジ 実習（補綴実習室、補綴示説室）			お昼（第2・3講義室）	クラウンブリッジ 実習（補綴実習室、補綴示説室）				
10月7日	木	D4	研究実習（発表会）（遠隔）								
10月8日	金	D4	臨床体験実習 D6体験実習・シミュレーション実習（第4講義室他）			お昼（第2・3講義室）	クラウンブリッジ 実習（補綴実習室、補綴示説室）				
10月11日	月	D4	保存修復治療の展開（ノイシュタットジャパンルーム）					保存修復治療の展開（ノイシュタットジャパンルーム）			
10月12日	火	D4	創立記念日								
10月13日	水	D4	クラウンブリッジ 実習（補綴実習室、補綴示説室）			お昼（第2・3講義室）	クラウンブリッジ 実習（補綴実習室、補綴示説室）				
10月14日	木	D4	保存修復治療の最新の臨床 Webclassで試験（ノイシュタットジャパンルーム）					保存修復治療の展開 実習試験（ノイシュタットジャパンルーム）			
10月15日	金	D4	自己研修（お茶ノ水祭準備）								
10月18日	月	D4	自己研修（補講）				**歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する 試験（第３講義室）**	歯内治療実習（ノイシュタットジャパンルーム）			
10月19日	火	D4	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
10月20日	水	D4	クラウンブリッジ 講義（遠隔）				クラウンブリッジ 実習（補綴実習室、補綴示説室）				
10月21日	木	D4	部分床義歯補綴 講義（遠隔）					部分床義歯補綴 実習（補綴実習室、補綴示説室）			
10月22日	金	D4	臨床体験実習 D6体験実習・シミュレーション実習（第4講義室他）			お昼（第2・3講義室）	歯内治療実習（ノイシュタットジャパンルーム）				
10月25日	月	D4	歯内治療の展開（遠隔）					歯内治療実習（ノイシュタットジャパンルーム）			
10月26日	火	D4	歯内治療の展開（遠隔）					**歯内治療実習 試験１（ノイシュタットジャパンルーム）**			
10月27日	水	D4	クラウンブリッジ 実習（補綴実習室、補綴示説室）					骨のバイオロジー（遠隔）	血液疾患（遠隔）		
10月28日	木	D4	部分床義歯補綴 講義（遠隔）					部分床義歯補綴 実習（補綴実習室、補綴示説室）			
10月29日	金	D4	臨床体験実習 D6体験実習・シミュレーション実習（第4講義室他）				クラウンブリッジ 実習（補綴実習室、補綴示説室）				
11月1日	月	D4	歯周病基礎編（遠隔）				自己研修（補講）				
11月2日	火	D4	クラウンブリッジ 講義（遠隔）				自己研修（補講）				
11月3日	水	D4	文化の日								
11月4日	木	D4	部分床義歯補綴 講義（遠隔）					部分床義歯補綴 実習（補綴実習室、補綴示説室）			
11月5日	金	D4	臨床体験実習 D6体験実習・シミュレーション実習（第4講義室他）				自己研修（補講）	歯周病基礎編（遠隔）			
11月8日	月	D4	歯内治療の展開（遠隔）					歯内治療実習（ノイシュタットジャパンルーム）			
11月9日	火	D4	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
11月10日	水	D4	クラウンブリッジ 実習（補綴実習室、補綴示説室）			お昼（第2・3講義室）	クラウンブリッジ 実習（補綴実習室、補綴示説室）				
11月11日	木	D4	部分床義歯補綴 講義（遠隔）					部分床義歯補綴 実習（補綴実習室、補綴示説室）			
11月12日	金	D4	臨床体験実習 D6体験実習・シミュレーション実習（第4講義室他）			お昼（第2・3講義室）	歯内治療実習（ノイシュタットジャパンルーム）				
11月15日	月	D4	歯内治療の展開（遠隔）					歯内治療実習（ノイシュタットジャパンルーム）			
11月16日	火	D4	歯周病基礎編（遠隔）					歯周病・歯周治療実習（ノイシュタットジャパンルーム）			
11月17日	水	D4	クラウンブリッジ 実習（補綴実習室、補綴示説室）			お昼（第2・3講義室）	クラウンブリッジ 実習（補綴実習室、補綴示説室）				
11月18日	木	D4	部分床義歯補綴 講義（遠隔）					部分床義歯補綴 実習（補綴実習室、補綴示説室）			
11月19日	金	D4	臨床体験実習 D6体験実習・シミュレーション実習（第4講義室他）			お昼（第2・3講義室）	歯内治療実習（ノイシュタットジャパンルーム）				
11月22日	月	D4	自己研修（補講）				歯周病臨床編（遠隔）				
11月23日	火	D4	勤労感謝の日								
11月24日	水	D4	クラウンブリッジ 実習（補綴実習室、補綴示説室）			お昼（第2・3講義室）	クラウンブリッジ 実習（補綴実習室、補綴示説室）				
11月25日	木	D4	部分床義歯補綴 講義（遠隔）					歯内治療実習（ノイシュタットジャパンルーム）			
11月26日	金	D4	臨床体験実習 D6体験実習・シミュレーション実習（第4講義室他）			お昼（第2・3講義室）	クラウンブリッジ 実習（補綴実習室、補綴示説室）				
11月29日	月	D4	自己研修（補講）				**歯内治療の展開 筆記試験（第3講義室）**	**歯内治療実習 試験２（ノイシュタットジャパンルーム）**			
11月30日	火	D4	歯周病臨床編（遠隔）					歯周病・歯周治療実習（ノイシュタットジャパンルーム）			

2021年度D4カレンダー

			9:00-9:50 (教養連携は8:50-)	10:00-10:50	11:00-11:50 (教養連携、D5は-12:00)	12:00-12:50	12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 (教養連携は-16:00、D5は-16：30)	15:50-16:40	16：50-17：40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
12月1日	水	D4	クラウンブリッジ 実習		（補綴実習室、補綴示説室）	お昼（第2・3講義室）	クラウンブリッジ 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		
12月2日	木	D4	部分床義歯補綴 講義		（遠隔）			部分床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）	
12月3日	金	D4	臨床体験実習 D6体験実習・シミュレーション実習		（第4講義室他）		研究実習（リサーチデイ）		（特別講堂）		
12月6日	月	D4	自己研修（補講）	歯周病基礎編 筆記試験（第3講義室）	自己研修（補講）		自己研修（補講）	歯周病臨床編	（遠隔）		
12月7日	火	D4	歯周病臨床編		（遠隔）			歯周病・歯周治療実習		（ノイシュタットジャパンルーム）	
12月8日	水	D4	クラウンブリッジ 実習		（補綴実習室、補綴示説室）	お昼（第2・3講義室）	クラウンブリッジ 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		
12月9日	木	D4	部分床義歯補綴 講義		（遠隔）		部分床義歯補綴 講義		（遠隔）		
12月10日	金	D4	クラウンブリッジ 実習		（補綴実習室、補綴示説室）			歯周病臨床編		（遠隔）	
12月13日	月	D4	咬合回復統合 講義		（遠隔）		インプラント補綴		（遠隔）		
12月14日	火	D4	歯周病臨床編		（遠隔）			歯周病・歯周治療実習		（ノイシュタットジャパンルーム）	
12月15日	水	D4	クラウンブリッジ 実習		（補綴実習室、補綴示説室）	お昼（第2・3講義室）	クラウンブリッジ 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		
12月16日	木	D4	部分床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		自己研修（補講）				
12月17日	金	D4	臨床体験実習 D6体験実習・シミュレーション実習		（第4講義室他）	お昼（第2・3講義室）	クラウンブリッジ 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		
12月20日	月	D4	クラウンブリッジ 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		自己研修（補講）				
12月21日	火	D4	部分床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		自己研修（補講）				
12月22日	水	D4	クラウンブリッジ 実習		（補綴実習室、補綴示説室）	お昼（第2・3講義室）	クラウンブリッジ 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		
12月23日	木	D4	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
12月24日	金	D4	自己研修（補講）				クラウンブリッジ 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		
1月4日	火	D4	咬合回復統合 講義		（遠隔）		自己研修（補講）				
1月5日	水	D4	クラウンブリッジ 実習		（補綴実習室、補綴示説室）			インプラント補綴		（遠隔）	
1月6日	木	D4	部分床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）	お昼（第2・3講義室）	部分床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		
1月7日	金	D4	臨床体験実習 D6体験実習・シミュレーション実習		（第4講義室他）			歯周病臨床編		（遠隔）	
1月10日	月	D4	成人の日								
1月11日	火	D4	歯周病・歯周治療実習		（ノイシュタットジャパンルーム）	お昼（第2・3講義室）	歯周病・歯周治療実習		（ノイシュタットジャパンルーム）		
1月12日	水	D4	クラウンブリッジ 実習		（補綴実習室、補綴示説室）	お昼（第2・3講義室）	クラウンブリッジ 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		
1月13日	木	D4	部分床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）	お昼（第2・3講義室）	部分床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		
1月14日	金	D4	臨床体験実習 D6体験実習・シミュレーション実習		（第4講義室他）			インプラント補綴		（遠隔）	
1月17日	月	D4	咬合回復統合 講義		（遠隔）		自己研修（補講）				
1月18日	火	D4	歯周病のトピックス		（遠隔）			歯周病・歯周治療実習		（ノイシュタットジャパンルーム、補綴実習室）	
1月19日	水	D4	クラウンブリッジ 講義	（遠隔）			クラウンブリッジ 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		
1月20日	木	D4	部分床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）	お昼（第2・3講義室）	部分床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		
1月21日	金	D4	臨床体験実習 D6体験実習・シミュレーション実習		（第4講義室他）			インプラント補綴		（遠隔）	
1月24日	月	D4	咬合回復統合 講義		（遠隔）		自己研修（補講）				
1月25日	火	D4	歯周病のトピックス		（遠隔）			歯周病・歯周治療実習		（補綴実習室、補綴示説室）	
1月26日	水	D4	クラウンブリッジ 実習		（補綴実習室、補綴示説室）	お昼（第2・3講義室）	クラウンブリッジ 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		
1月27日	木	D4	部分床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）	お昼（第2・3講義室）	部分床義歯補綴 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		
1月28日	金	D4	咬合回復統合		（補綴実習室、補綴示説室）	お昼（第2・3講義室）	クラウンブリッジ 実習		（補綴実習室、補綴示説室）		
1月31日	月	D4	咬合回復統合 講義		（遠隔）			インプラント補綴		（補綴実習室、補綴示説室）	

2021年度D4カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）	12:00-12:50	12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16：50-17：40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2月1日	火	D4	自己研修（補講）				歯周病・歯周治療実習 （ノイシュタットジャパンルーム）				
2月2日	水	D4	クラウンブリッジ 実習 （補綴実習室、補綴示説室）			お昼（第2・3講義室）	クラウンブリッジ 実習 （補綴実習室、補綴示説室）				
2月3日	木	D4	部分床義歯補綴 実習 （補綴実習室、補綴示説室）			お昼（第2・3講義室）	**部分床義歯補綴 筆記試験（第3講義室）・実習試験（補綴実習室）**				
2月4日	金	D4	臨床体験実習 D6体験実習・シミュレーション実習 （第4講義室他）		臨床体験実習（ケース票提出）（ノイシュタットジャパンルーム）	お昼（第2・3講義室）	クラウンブリッジ 実習 （補綴実習室、補綴示説室）				
2月7日	月	D4	インプラント補綴 （補綴実習室、補綴示説室）			お昼（第2・3講義室）	インプラント補綴 （補綴実習室、補綴示説室）				
2月8日	火	D4	歯周病・歯周治療実習 （ノイシュタットジャパンルーム）			お昼（第2・3講義室）	歯周病・歯周治療実習 （ノイシュタットジャパンルーム）				
2月9日	水	D4	クラウンブリッジ 実習 （補綴実習室、補綴示説室）			お昼（第2・3講義室）	クラウンブリッジ 実習 （補綴実習室、補綴示説室）				
2月10日	金	D4	自己研修（補講）				咬合回復統合 実習 （補綴実習室、補綴示説室）				
2月11日	金	D4	建国記念日								
2月14日	月	D4	咬合回復統合 講義（遠隔）	歯周病のトピックス （遠隔）			自己研修（補講）				
2月15日	火	D4	歯周病のトピックス PBL発表 （遠隔）					**歯周病・歯周治療実習 試験 （ノイシュタットジャパンルーム、第3講義室）**			
2月16日	水	D4	クラウンブリッジ 実習 （補綴実習室、補綴示説室）			お昼（第2・3講義室）	クラウンブリッジ 実習 （補綴実習室、補綴示説室）				
2月17日	木	D4	**歯周病臨床編 筆記試験（第３講義室）**	咬合回復統合 実習 （補綴実習室、補綴示説室）			自己研修（補講）				
2月18日	金	D4	**クラウンブリッジ 筆記・実習試験（第3講義室、補綴実習室）**		自己研修（補講）		自己研修（補講）				
2月21日	月	D4	再試験期間および成績判定期間								
2月22日	水	D4	再試験期間および成績判定期間								
2月23日	水	D4	天皇誕生日								
2月24日	木	D4	再試験期間および成績判定期間								
2月25日	金	D4	再試験期間および成績判定期間								

2021年度D5カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）	12:00-12:50	12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16:50-17:40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4月1日	木	D5	研究実習発表会		（遠隔）		研究実習発表会		（遠隔）		
4月2日	金	D5	D5ガイダンス（遠隔）	障害と歯科医療	（遠隔）		歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断		（遠隔）		
4月5日	月	D5	小児の成長発育と咬合育成　講義		（遠隔）		小児の成長発育と咬合育成　講義		（遠隔）		
4月6日	火	D5	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断		（遠隔）		顔面・顎口腔疾患		（遠隔）		
4月7日	水	D5	顔面・顎口腔疾患		（遠隔）		障害と歯科医療		（遠隔）		
4月8日	木	D5	有病高齢者の歯科治療		（遠隔）		歯科と色	（遠隔）	学年混合選択セミナー（遠隔）		
4月9日	金	D5	**歯学科TOEFL ITP試験**		**（特別講堂）**			有病高齢者の歯科治療		（遠隔）	
4月12日	月	D5	小児の成長発育と咬合育成　講義		（遠隔）		小児の成長発育と咬合育成　講義		（遠隔）		
4月13日	火	D5	顔面・顎口腔疾患		（遠隔）			歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（D/OE合同）		（ノイシュタットジャパンルーム）	
4月14日	水	D5	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断		（遠隔）		障害と歯科医療		（遠隔）		
4月15日	木	D5	**有病高齢者の歯科治療 試験（第１講義室）**	自己研修（補講）			歯科と色	（遠隔）	学年混合選択セミナー（遠隔）		
4月16日	金	D5	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断		（遠隔）			歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（D/OE合同）（ノイシュタットジャパンルーム）			
4月19日	月	D5	小児の成長発育と咬合育成　講義		（遠隔）		小児の成長発育と咬合育成　講義		（遠隔）		
4月20日	火	D5	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断		（ノイシュタットジャパンルーム）			顔面・顎口腔疾患		（遠隔）	
4月21日	水	D5	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断		（ノイシュタットジャパンルーム）			歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断		（遠隔）	
4月22日	木	D5	障害と歯科医療　（遠隔）		歯科医療と麻酔（遠隔）		歯科と色	（遠隔）	学年混合選択セミナー（遠隔）		
4月23日	金	D5	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断		（ノイシュタットジャパンルーム）			顔面・顎口腔疾患		（遠隔）	
4月26日	月	D5	小児の成長発育と咬合育成　実習		（ノイシュタットジャパンルーム）			歯科医療と麻酔		（遠隔）	
4月27日	火	D5	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断		（ノイシュタットジャパンルーム）			ことばの世界		（遠隔）	
4月28日	水	D5	歯科医療と麻酔		（遠隔）		顔面・顎口腔疾患　（遠隔）				
4月29日	木	D5	昭和の日								
4月30日	金	D5	顔面・顎口腔疾患		（遠隔）			小児の成長発育と咬合育成　実習		（ノイシュタットジャパンルーム）	
5月3日	月	D5	憲法記念日								
5月4日	火	D5	みどりの日								
5月5日	水	D5	こどもの日								
5月6日	木	D5	歯科医療と麻酔		（遠隔）		歯科と色　（遠隔）		学年混合選択セミナー（遠隔）		
5月7日	金	D5	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断　（遠隔）	歯科矯正・顎顔面矯正の治療	（遠隔）		顔面・顎口腔疾患		（遠隔）		
5月10日	月	D5	歯科医療と麻酔（遠隔）	歯科矯正・顎顔面矯正の治療（遠隔）				小児の成長発育と咬合育成　実習		（ノイシュタットジャパンルーム）	
5月11日	火	D5	歯科医療と麻酔		（遠隔）		顔面・顎口腔疾患		（遠隔）		
5月12日	水	D5	小児の成長発育と咬合育成　実習		（ノイシュタットジャパンルーム）			歯科医療と麻酔		（遠隔）	
5月13日	木	D5	**ことばの世界　試験（第１講義室）**	**障害と歯科医療　試験（第１講義室）**	**歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断 試験（第１講義室）**			歯科医療と麻酔（遠隔）	学年混合選択セミナー（遠隔）	歯科医療と麻酔（遠隔）	
5月14日	金	D5	歯科矯正・顎顔面矯正の治療		（遠隔）			歯科矯正・顎顔面矯正の治療		（ノイシュタットジャパンルーム）	
5月17日	月	D5	歯科矯正・顎顔面矯正の治療		（ノイシュタットジャパンルーム）			歯科医療と麻酔		（遠隔）	
5月18日	火	D5	歯科矯正・顎顔面矯正の治療		（遠隔）		顔面・顎口腔疾患		（遠隔）		
5月19日	水	D5	顔面・顎口腔疾患		（遠隔）		歯科矯正・顎顔面矯正の治療		（遠隔）		
5月20日	木	D5	歯科医療と麻酔		（遠隔）		臨床歯科放射線診断　（遠隔）		学年混合選択セミナー（遠隔）		
5月21日	金	D5	歯科医療と麻酔　実習		（歯病7F歯科麻酔外来）		歯科医療と麻酔　実習		（歯病7F歯科麻酔外来）		
5月24日	月	D5	**歯科医療と麻酔　試験（特別講堂）**	歯科医療と内科診断学	（非同期）			顔面・顎口腔疾患		（遠隔）	
5月25日	火	D5	歯科矯正・顎顔面矯正の治療　（ノイシュタットジャパンルーム・補綴実習室）					顎機能障害		（遠隔）	
5月26日	水	D5	口唇口蓋裂		（遠隔）			歯科矯正・顎顔面矯正の治療		（歯学部基礎実習室・演習室1-4）	
5月27日	木	D5	臨床歯科放射線治療　（遠隔）		オクルージョン（遠隔）		臨床歯科放射線診断　（遠隔）		学年混合選択セミナー（遠隔）		
5月28日	金	D5	小児の成長発育と咬合育成　実習		（ノイシュタットジャパンルーム）			顔面・顎口腔疾患		（遠隔）	
5月31日	月	D5	歯科矯正・顎顔面矯正の治療　（ノイシュタットジャパンルーム、１号館６階演習室1-11）					歯科医療と救急医療		（遠隔）	

2021年度D5カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）	12:00-12:50	12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16:50-17:40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6月1日	火	D5	こころの病と歯科臨床		（遠隔）		顎機能障害		（遠隔）		
6月2日	水	D5	口唇口蓋裂		（遠隔）		顔面・顎口腔疾患		（遠隔）		
6月3日	木	D5	臨床歯科放射線治療 （遠隔）		オクルージョン（遠隔）		スポーツ歯科臨床 （遠隔）		学年混合選択セミナー（遠隔）		
6月4日	金	D5	顔面・顎口腔疾患		（遠隔）			小児の成長発育と咬合育成 実習	（ノイシュタットジャパンルーム）		
6月7日	月	D5	顎機能障害 （遠隔）		オクルージョン（遠隔）		歯科医療と内科診断学		（遠隔）		
6月8日	火	D5	咀嚼と嚥下のバイオロジー		（遠隔）		臨床歯科放射線診断 （遠隔）		顔面・顎口腔疾患（遠隔）		
6月9日	水	D5	口唇口蓋裂		（遠隔）			顔面・顎口腔疾患 実習	（歯学科演習室1～4）		
6月10日	木	D5	**小児の成長発育と咬合育成 試験（第１講義室）**	**顎機能障害 試験（第１講義室）**			臨床歯科放射線診断 （遠隔）		学年混合選択セミナー（遠隔）		
6月11日	金	D5	顔面・顎口腔疾患		（遠隔）		歯科矯正・顎顔面矯正の治療（遠隔）	臨床歯科放射線治療 （遠隔）			
6月14日	月	D5	咀嚼と嚥下のバイオロジー		（遠隔）			顔面・顎口腔疾患 実習	（歯学科演習室1～4）		
6月15日	火	D5	全人的総合診断		（遠隔）		全人的総合診断		（遠隔）		
6月16日	水	D5	全人的総合診断		（遠隔）			顔面・顎口腔疾患 実習	（歯学科演習室1～4）		
6月17日	木	D5	スポーツ歯科臨床 （遠隔）		オクルージョン（遠隔）		こころの病と歯科臨床 （遠隔）		学年混合選択セミナー（遠隔）		
6月18日	金	D5	歯科医療と救急医療		（遠隔）			全人的総合診断	（歯病１F歯科総合診療部、歯学科演習室1～4他）		
6月21日	月	D5	ケーススタディ		（遠隔）			全人的総合診断	（歯病１F歯科総合診療部、歯学科演習室1～4他）		
6月22日	火	D5	ケーススタディ		（遠隔）			全人的総合診断	（歯病１F歯科総合診療部、歯学科演習室1～4他）		
6月23日	水	D5	**放射線診断 試験（特別講堂）**	**放射線治療 試験(特別講堂)**	**歯科矯正・顎顔面矯正の治療 試験（特別講堂）**			根拠に基づく歯科医療	（遠隔）		
6月24日	木	D5	スポーツ歯科臨床 （遠隔）		オクルージョン（遠隔）		こころの病と歯科臨床		（遠隔）		
6月25日	金	D5	**救急医療 試験（第１講義室）**	GPSアカデミック（入試課主導テスト）※移動可能（おそらく対面）				ケーススタディ	（遠隔）		
6月28日	月	D5	口腔顔面痛 （遠隔）				顔面・顎口腔疾患 実習		（歯学科演習室1～4）	**共用試験説明会（16：00-17：30）情報検索室**	
6月29日	火	D5	根拠に基づく歯科医療		（遠隔）		こころの病と歯科臨床		（遠隔）		
6月30日	水	D5	歯科医療と内科診断学 実習 （第4講義室、歯学科演習室1-4）					ケーススタディ	（遠隔）		
7月1日	木	D5	咀嚼と嚥下のバイオロジー		（遠隔）		歯科医療情報システム		（遠隔）		
7月2日	金	D5	歯科医療と内科診断学 実習 （第4講義室、歯学科演習室1-4）				歯科医療と内科診断学 実習 （第4講義室、歯学科演習室1-4）				
7月5日	月	D5	顔面・顎口腔疾患		（遠隔）		ケーススタディ		（遠隔）		
7月6日	火	D5	歯科診療文書		（遠隔）		ケーススタディ		（遠隔）		
7月7日	水	D5	自己研修（補講）		**全人的総合診断 試験（特別講堂）**			自己研修（補講）			
7月8日	木	D5	自己研修（補講）				こころの病と歯科臨床		（遠隔）		
7月9日	金	D5	顔面・顎口腔疾患		（遠隔）		オクルージョン（遠隔）	口腔顔面痛	（遠隔）		
7月12日	月	D5	**スポーツ歯科臨床 試験（特別講堂）**	**オクルージョン 試験（特別講堂）**	**内科診断学 試験（特別講堂）**		**口腔顔面痛 試験（特別講堂）**	**こころの病と歯科臨床 試験（特別講堂）**	**臨床情報処理 試験（特別講堂）**		
7月13日	火	D5	**顔面・顎口腔疾患 試験**		**（特別講堂）**		自己研修（補講）				
7月14日	水	D5	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
7月15日	木	D5	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
7月16日	金	D5	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
7月19日	月	D5	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
7月20日	火	D5	**共用試験CBT本試験**								
7月21日	水	D5	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
7月22日	木	D5	海の日								
7月23日	金	D5	スポーツの日								
7月26日	月	D5	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
7月27日	火	D5	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
7月28日	水	D5	自己研修（補講）				自己研修（補講）				

2021年度D5カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）	12:00-12:50	12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16:50-17:40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9

8月19日	木	D5	**共用試験CBT追再試験**								
8月21日	土	D5	**共用試験OSCE**								
8月31日	火	D5	**共用試験OSCE追再試験**								

9月1日	水	D5	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
9月2日	木	D5	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
9月3日	金	D5	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
9月6日	月	D5	登院式（特別講堂）	包括臨床実習Phase Ⅰオリエンテーション（特別講堂）			包括臨床実習Phase Ⅰオリエンテーション（特別講堂）				
9月7日	火	D5	患者対応接遇セミナー　（第4講義室、第1･2･4ゼミ室、歯学科演習室1･2）				患者対応接遇セミナー　（第4講義室、第1･2･4ゼミ室、歯学科演習室1･2）				
9月8日	水	D5	頭頸部臨床解剖　講義　（遠隔）					頭頸部臨床解剖　実習　（解剖実習室）			
9月9日	木	D5	D5-教員合同研修　（遠隔）								
9月10日	金	D5	自己研修（補講）				自己研修（補講）				
9月13日	月	D5	包括臨床実習Phase Ⅰ								
9月14日	火	D5	包括臨床実習Phase Ⅰ								
9月15日	水	D5	包括臨床実習Phase Ⅰ								
9月16日	木	D5	包括臨床実習Phase Ⅰ								
9月17日	金	D5	頭頸部臨床解剖　講義　（遠隔）					頭頸部臨床解剖　実習　（解剖実習室）			
9月20日	月	D5	敬老の日								
9月21日	火	D5	包括臨床実習Phase Ⅰ								
9月22日	水	D5	包括臨床実習Phase Ⅰ								
9月23日	木	D5	秋分の日								
9月24日	金	D5	頭頸部臨床解剖　講義　（遠隔）					頭頸部臨床解剖　実習　（解剖実習室）			
9月27日	月	D5	包括臨床実習Phase Ⅰ								
9月28日	火	D5	包括臨床実習Phase Ⅰ								
9月29日	水	D5	包括臨床実習Phase Ⅰ								
9月30日	木	D5	包括臨床実習Phase Ⅰ								

2021年度D5カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）	12:00-12:50	12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16：50-17：40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10月1日	金	D5	頭頸部臨床解剖 講義		（遠隔）			頭頸部臨床解剖 実習		（解剖実習室）	
10月4日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅠ								
10月5日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅠ								
10月6日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅠ								
10月7日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅠ								
10月8日	金	D5	頭頸部臨床解剖 講義		（遠隔）			頭頸部臨床解剖 実習		（解剖実習室）	
10月11日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅠ								
10月12日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅠ								
10月13日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅠ								
10月14日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップオリエンテーション）								
10月15日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）								
10月18日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）								
10月19日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）								
10月20日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）								
10月21日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）								
10月22日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）								
10月25日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）								
10月26日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）								
10月27日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）								
10月28日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）								
10月29日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）								
11月1日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）								
11月2日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）								
11月3日	水	D5	文化の日								
11月4日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション								
11月5日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション								
11月8日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション								
11月9日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
11月10日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
11月11日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
11月12日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）						臨床セミナー	（遠隔）	
11月15日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
11月16日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
11月17日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
11月18日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
11月19日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）					14:30-17:20 長寿口腔健康科学コース			（遠隔）
11月22日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
11月23日	火	D5	勤労感謝の日								
11月24日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
11月25日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								

2021年度D5カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）	12:00-12:50	12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16：50-17：40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
11月26日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）					14:30-17:20 長寿口腔健康科学コース			（遠隔）
11月29日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
11月30日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
12月1日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
12月2日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
12月3日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）					14:30-17:20 長寿口腔健康科学コース			（遠隔）
12月6日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
12月7日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
12月8日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
12月9日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
12月10日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）					14:30-17:20 長寿口腔健康科学コース			（遠隔）
12月13日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
12月14日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
12月15日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
12月16日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
12月17日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）					14:30-17:20 長寿口腔健康科学コース			（遠隔）
1月4日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
1月5日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
1月6日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
1月7日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）					14:30-17:20 長寿口腔健康科学コース			（遠隔）
1月10日	月	D5	成人の日								
1月11日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
1月12日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
1月13日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
1月14日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）					14:30-17:20 長寿口腔健康科学コース			（遠隔）
1月17日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
1月18日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
1月19日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
1月20日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								

2021年度D5カレンダー

			9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	10:00-10:50	11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）	12:00-12:50	12:50-13:40	13:50-14:40	14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	15:50-16:40	16：50-17：40
2021年		学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1月21日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）					14:30-17:20 長寿口腔健康科学コース			（遠隔）
1月24日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
1月25日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
1月26日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
1月27日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
1月28日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）					14:30-17:20 長寿口腔健康科学コース			（遠隔）
1月31日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
2月1日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
2月2日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
2月3日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
2月4日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）					14:30-17:20 長寿口腔健康科学コース			（遠隔）
2月7日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
2月8日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
2月9日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
2月10日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
2月11日	金	D5	建国記念の日								
2月14日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
2月15日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
2月16日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
2月17日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
2月18日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）						15:30-16:20 長寿口腔健康科学コース（試験）		
2月21日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
2月22日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
2月23日	水	D5	天皇誕生日								
2月24日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
2月25日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）						臨床セミナー		（遠隔）
2月28日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
3月1日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
3月2日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
3月3日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
3月4日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）						臨床セミナー		（遠隔）
3月7日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
3月8日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
3月9日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
3月10日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
3月11日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）						臨床セミナー		（遠隔）
3月14日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
3月15日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
3月16日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
3月17日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
3月18日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）						臨床セミナー		（遠隔）
3月21日	月	D5	春分の日								
3月22日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
3月23日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
3月24日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
3月25日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）						臨床セミナー		（遠隔）
3月28日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
3月29日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
3月30日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								
3月31日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）								

2021年度　歯学科連携教育　※教室は未定です

2年次前期

回数	火曜日	1時限（8:50−10:20）	2時限（10:30−12:00）	3時限（12:50～14:20）	4時限（14:30～16:00）
1	4月6日	生命科学（生物物理化学） （奈良）第1講義室	教養英語 （畔柳・Corliss） 第4ゼミ室、病院演習室	生命科学（人体の生物学） （伊藤） 第1講義室	
2	4月13日				
3	4月20日				
4	4月27日				
5	5月11日				
6	5月18日				
7	5月25日				
8	6月1日	生命科学（生物物理化学） （宇尾）第1講義室			
9	6月8日	生命科学（生物物理化学） （奈良） 第1講義室			
10	6月15日				
11	6月22日				
12	6月29日	教養英語 （畔柳・Corliss） 第4ゼミ室、病院演習室			
13	7月6日				
14	7月13日				
15	7月20日				
	9月7日	教養試験（第1講義室）			

※病院演習室（歯科棟南4階）

回数	木曜日	3時限（12:50～14:20）	4時限（14:30～16:00）
1	4月8日	生命科学（人体の生物学） （伊藤） （第1講義室）	
2	4月15日		
3	4月22日		
4	5月6日		

2年次後期

回数	火曜日	1時限（8:50−10:20）	2時限（10:30−12:00）	3時限（12:50～14:20）	4時限（14:30～16:00）
1	9月28日	教養英語	人文社会科学総合講義	サイエンスPBL （伊藤・服部・奈良・中林・澤野・勝又・松本）	
2	10月5日				
	10月12日	創立記念日		創立記念日	
3	10月19日	教養英語 （猪熊・Corliss） 第1講義室 大学院講義室2	人文社会科学総合講義 （木谷他） 第1講義室	第1講義室：9/28,10/19,11/16,11/30	
4	10月26日				
5	11月2日				
6	11月9日				
7	11月16日			歯学科演習室（5～11）・第3ゼミナール室： 9/28（集合は第1講義室）， 10/5,10/12,10/26,11/9,11/30	
8	11月30日				
9	12月7日				
10	12月14日				
11	12月21日				
12	1月4日				
13	1月11日				
14	1月18日				
15	1月25日				
	2月1日	補講：教養試験（試験）第1講義室			
	2月8日	教養試験：再試験　第1講義室			

回数	木曜日	3時限（12:50～14:20）	4時限（14:30～16:00）
1	11月25日	情報科学演習 （中林） 図書館情報検索室	
2	12月2日		
3	12月9日		
4	12月16日		
5	12月23日		
6	1月13日		
7	1月20日		

●医学科・歯学科（3年生）：2021年度 主題別人文社会科学セミナー・講義スケジュール

			3時限（11:10～12:00）　※教室は未定です														
			文化			生命			言語			制度			時間		
月日	曜日		A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
4月8日	木	1	オリエンテーション（医学科講義室2）			オリエンテーション（大学院講義室2）			オリエンテーション（第4ゼミナール室）			オリエンテーション（大学院講義室3）			オリエンテーション（共用講義室2）		
4月15日	木	2	セミナー（共用セミナー⑪）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（共用講義室２）	セミナー（大学院講義室②）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（共用講義室２）	セミナー（共用セミナー⑦）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（共用講義室２）	セミナー（共用セミナー⑩）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（共用講義室２）	セミナー（共用セミナー⑫）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（共用講義室２）
4月22日	木	3															
5月6日	木	4															
5月13日	木	5															
5月20日	木	6															
5月27日	木	7															
6月3日	木	8															
6月10日	木	1	医療と社会（共用講義室２）	セミナー（共用セミナー⑪）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（共用講義室２）	セミナー（大学院講義室②）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（共用講義室２）	セミナー（共用セミナー⑦）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（共用講義室２）	セミナー（共用セミナー⑩）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（共用講義室２）	セミナー（共用セミナー⑫）	医療と法（大学院講義室③）
6月17日	木	2															
6月24日	木	3															
7月1日	木	4															
7月8日	木	5															
7月15日	木	6															
9月2日	木	7															
8月26日	木	予備	予備日（1限：9:00～9:50）														
9月30日	木	1	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（共用講義室２）	セミナー（共用セミナー⑪）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（共用講義室２）	セミナー（共用セミナー⑥）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（共用講義室２）	セミナー（共用セミナー⑦）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（共用講義室２）	セミナー（共用セミナー⑩）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（共用講義室２）	セミナー（共用セミナー⑫）
10月7日	木	2															
10月14日	木	3															
10月21日	木	／															
10月28日	木	4	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（共用講義室２）	セミナー（共用セミナー⑪）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（共用講義室２）	セミナー（共用セミナー⑥）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（共用講義室２）	セミナー（共用セミナー⑦）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（共用講義室２）	セミナー（共用セミナー⑩）	医療と法（大学院講義室③）	医療と社会（共用講義室２）	セミナー（共用セミナー⑫）
11月4日	木	5															
11月11日	木	6															
11月18日	木	7															
11月25日	木	1	総括セミナー（共用講義室1）			総括セミナー（大学院講義室2）			総括セミナー（第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室）			総括セミナー（アクティブラーニングルーム）			総括セミナー（共用講義室2）		
12月2日	木	2	合同総括セミナー（共用講義室1）			総括セミナー（大学院講義室2）			総括セミナー（第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室）			総括セミナー（大学院講義室3）			総括セミナー（共用講義室2）		
12月9日	木	3	総括セミナー（共用講義室1）			合同総括セミナー（大学院講義室2			総括セミナー（第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室）			総括セミナー（大学院講義室3）			総括セミナー（共用講義室2）		
12月16日	木	4	総括セミナー（共用講義室1）			総括セミナー（大学院講義室2）			合同総括セミナー（第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室）			総括セミナー（アクティブラーニングルーム）			総括セミナー（共用講義室2）		
12月23日	木	5	総括セミナー（共用講義室1）			総括セミナー（大学院講義室2）			総括セミナー（第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室）			合同総括セミナー（アクティブラーニングルーム）			総括セミナー（共用講義室2）		
1月13日	木	6	総括セミナー（共用講義室1）			総括セミナー（大学院講義室2）			総括セミナー（第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室）			総括セミナー（アクティブラーニングルーム）			合同総括セミナー（共用講義室2）		
1月20日	木	7	総括セミナー（共用講義室1）			総括セミナー（大学院講義室2）			総括セミナー（第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室）			総括セミナー（アクティブラーニングルーム）			総括セミナー（共用講義室2）		
1月27日	木	8	総括セミナー（共用講義室1）			総括セミナー（大学院講義室2）			総括セミナー（第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室）			総括セミナー（アクティブラーニングルーム）			総括セミナー（共用講義室2）		
2月3日	木	予備	予備日（共用講義室1）			予備日（大学院講義室2）			予備日（第4ｾﾞﾐﾅｰﾙ室）			予備日（アクティブラーニングルーム）			予備日（共用講義室2）		

2021年度医歯学融合教育（教養教育）

● 医学科・歯学科（2年生）

月日	曜日	回数	1時限（9:00～9:50）	2時限（10:05～10:55）	3時限(11:10～12:00)
4月8日	木	1	生命科学基礎（生物学） （医学科・歯学科2年生対象） （医学科講義室1 および共用講義室2）	主題別選択Ⅰ（前半） （医学科・歯学科2年生対象） （教養部教員） （講義室：次ページ参照）	
4月15日	木	2			
4月22日	木	3			
5月6日	木	4			
5月13日	木	5			
5月20日	木	6			
5月27日	木	7			
6月3日	木	8		主題別選択Ⅰ（後半） （医学科・歯学科2年生対象） （教養部教員） （講義室：次ページ参照）	
6月10日	木	9			
6月17日	木	10			
6月24日	木	11			
7月1日	木	12			
7月8日	木	13			
7月15日	木	14			
8月26日	木	／			
9月2日	木	15	生命科学基礎（生物学）	主題別選択Ⅰ（後半）	主題別選択Ⅰ（予備日）
9月9日	木	／	試験	試験	
9月16日	木	予備	生命科学基礎（生物・予備日）		
9月30日	木	1	生命科学基礎（化学） （医学科・歯学科2年生対象） （医学科講義室1 および共用講義室2）		
10月7日	木	2			
10月14日	木	3			
10月21日	木	4			
10月28日	木	／	※追悼式		
11月4日	木	5	生命科学基礎（化学） （医学科・歯学科2年生対象） （医学科講義室1 および共用講義室2）		
11月11日	木	6			
11月18日	木	7			
11月25日	木	8			
12月2日	木	9			
12月9日	木	10			
12月16日	木	11			
12月23日	木	12			
1月13日	木	13			
1月20日	木	14			
1月27日	木	15			
2月3日	木	予備	生命科学基礎（化学） （医学科・歯学科2年生対象） 予備日		
2月10日	木	／	試験	試験	
2月17日	木	／	試験	試験	試験

●医学科・歯学科（3年生）

月日	曜日	回数	1時限（9:00～9:50）	2時限（10:05～10:55）	3時限（11:10～12:00）
4月8日	木	1		主題別選択Ⅱ（前半） （医学科・歯学科3年生対象） （教養部教員） （講義室：次ページ参照）	主題別人文社会科学ｾﾐﾅｰ （前期：前半） （医学科・歯学科3年生対象） （教養部教員） （講義室：次ページ参照）
4月15日	木	2			
4月22日	木	3			
5月6日	木	4			
5月13日	木	5			
5月20日	木	6			
5月27日	木	7			
6月3日	木	8		主題別選択Ⅱ（後半） （医学科・歯学科3年生対象） （教養部教員） （講義室：次ページ参照）	
6月10日	木	9			主題別人文社会科学ｾﾐﾅｰ （前期：後半） （医学科・歯学科3年生対象） （教養部教員） （講義室：次ページ参照）
6月17日	木	10			
6月24日	木	11			
7月1日	木	12			
7月8日	木	13			
7月15日	木	14			
8月26日	木	予備			主題別人文社会科学セミナー （予備日）
9月2日	木	15	主題別人文社会科学セミナー	主題別選択Ⅱ（後半）	主題別選択Ⅱ（予備日）
9月9日	木	／			
9月30日	木	1			主題別人文社会科学ｾﾐﾅｰ （後期：前半） （医学科・歯学科3年生対象） （教養部教員） （講義室：次ページ参照）
10月7日	木	2			
10月14日	木	3			
10月21日	木	4			
10月28日	木	／			主題別人文社会科学ｾﾐﾅｰ （後期：前半） （医学科・歯学科3年生対象） （教養部教員） （講義室：次ページ参照）
11月4日	木	5			
11月11日	木	6			
11月18日	木	7			
11月25日	木	8			主題別人文社会科学ｾﾐﾅｰ （後期：後半） （医学科・歯学科3年生対象） （教養部教員） （講義室：次ページ参照）
12月2日	木	9			
12月9日	木	10			
12月16日	木	11			
12月23日	木	12			
1月13日	木	13			
1月20日	木	14			
1月27日	木	15			
2月3日	木	予備			主題別人文社会科学ｾﾐﾅｰ （医学科・歯学科3年生対象） 予備日

時間割番号	021001				
科目名	歯学入門			**科目ID**	DD-110100-L
担当教員	水口　俊介[MINAKUCHI SHIYUNSUKE]				
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	1	**単位数**	4
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業の目的、概要等

毎週火曜日に歯学に関する授業を受けることで、自分が将来歯科医師になる大学にいるという認識を強く意識してもらうことが目的である。また、2年次以降の学部専門科目の紹介を行い、今後の学習意欲の向上に役立てることも目的である。授業内容も、学部教育で行われる最先端のトピックスの紹介、歯学部附属病院見学、歯科の歴史への誘い、医の倫理の基本的な理解、コンピュータをどのように活用するかの実践などを経験する。

授業の到達目標

1）東京医科歯科大学の歴史と我が国の歯科界の様々な状況を理解する。
2）歯科の歴史に興味を持つ。
3）最新の歯学研究、歯科臨床がどこまで進んでいるかを理解する。
4）歯学部附属病院を知ると共に、グループ学習の基本作業を行う。
5）医の倫理の基本的な知識について理解する。
6）IT 機器を使いこなすための第一歩としての情報リテラシーを理解する。

準備学習等についての具体的な指示

2 年次以降の学部教育内容の紹介的な授業がほとんどなので、原則として準備学習の必要性はない。各回の授業テーマについて既に興味を持っている学生は、事前に 2 年次以降の当該科目のシラバス内容の確認、インターネットなどでの専門的内容の予習をしておくと、より授業内容を深く理解出来ると思われる。
なお、ユニットによっては準備学習についての別の記載があるので確認すること。

構成ユニット

01 歯学概説
02 歯学史
03 最新の歯学
04 早期臨床体験実習
05 医の倫理
06 基礎情報医歯学

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

備考

ユニットでは演習、課題発表、グループワーク、討論などによるアクティブラーニングを実施する。

連絡先（メールアドレス）

水口　俊介:s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水口　俊介:随時

時間割番号	021002				
科目名	歯学概説			**科目ID**	DD-110101-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:歯学入門

英語名:Introduction to Dentistry

コマ数:

授業形態:講義及び見学

ユニット番号:01

授業の目的、概要等

●授業の目的 (Primary goal) 歯学部に進学する学生の多くが抱いているこのような疑問に答え、全学共通科目履修の間、しっかり将来を見据えて、はっきりとした方向性と自覚を持って学習を組織し、教養部での生活を充実した有意義なものにすることを目的とする。

●授業の概要 (Outline of content and teaching method) 東京医科歯科大学歯学部とは一体どんなところだろうか、歯学部ではどんな先生からどんなことを学ぶのだろうか、歯科医師として社会からどんなことを期待されているのだろうか、歯科医学界の将来はどうなるのだろうか。この科目の教育項目は、次のように構成されている。 第一は、本学歯学部の教育課程に関する項目である。これに関連してまず、本学歯学部の建学の精神について学び、その後の発展の跡を辿り、諸君が本学歯学部の歴史の中でどのような位置を占めているかを理解する。さらに、本学歯学部における教育の理念、方針及び教科課程の構成を把握した上で、専門科目の履修および卒後の学習、研修、研究の場となる歯学部の研究室及び附属病院を見学して、歯学部の実際の教育・研究・診療の諸活動の一端を体験学習する。 第二は、職業人として社会から期待されている事柄を、歯科医療を取り巻く環境や職業倫理と関連させて把握することを目的とする項目である。ここでは、第一線の医療現場から講師を迎え、歯科医と患者の両方の立場から、歯科医療の諸問題を論じ、歯科医のあるべき姿について考える。また、歯科医療への美的感覚の必要性といった意外な側面にも触れて、歯科医に要求されることの多様性を理解する。 第三に、歯科医学の研究の最近の動向を紹介する。ここでは、多数の先輩が留学を経験しているアメリカの歯学研究の実態と、最新の研究技術を駆使して行われている本学歯学部の研究その他を紹介する。歯科医学における研究が、世界的な視野で様々な魅力的な主題について行われていることを理解する。 最後に我が国の歯科医学と歯科医療の現状に関する展望を知り、職業人としての諸君を取り巻く環境を把握する。

成績評価の方法

講義ごとにレポートを課し、担当教員が評価する。

準備学習等についての具体的な指示

教科書を活用して予習・復習に役立てること. また, e ラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し,指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン,資料のダウンロード,リンクサイトからの情報収集等)を行うこと.

教科書

その都度、必要に応じて提示する。

参考書

その都度、必要に応じて提示する。

時間割番号	021003				
科目名	歯学史			**科目ID**	DD-110102-L
担当教員	森尾　郁子[MORIO IKUKO]				
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業	該当する				

主な講義場所

第4講義室あるいは遠隔授業(非同期型)

授業の目的、概要等

医学、歯科医学の歴史的発達、進歩について知る。先人達の今日に至るまでの医学、歯科医学を築き上げるに至る努力、研鑽の跡を知ることは、歯科医師過剰時代に対して過ちの無い対応で乗り切り、医学、歯科学をさらに探究し、新しい知識 、技術を開拓する指針となりうる 。

授業の到達目標

⑴歯学史を学ぶ意義を理解する。
⑵基本的な医学および歯科医学の歴史を知る。
⑶義歯の誕生と改良、保存、矯正など歯科各科の進歩、発展について知る。
⑷木製義歯など日本固有の技術、歯科医療における先人の工夫の跡を知る。
⑸近代における歯学教育の発展と東京医科歯科大学の歴史を知る。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	11/16	12:50-14:20	歯学科第 4 講義室 遠隔授業(非同期型)	歯学史を学ぶ意義、基礎医学、臨床医学の発展	鈴木　聖一	
2	11/16	14:30-16:00	歯学科第 4 講義室 遠隔授業(非同期型)	医学の発展、歯科医学の誕生	鈴木　聖一	
3	11/30	14:30-16:00	歯学科第 4 講義室 遠隔授業(非同期型)	歯科医学の発展、歯科各科の誕生と発展	鈴木　聖一	
4	12/7	14:30-16:00	歯学科第 4 講義室 遠隔授業(非同期型)	木床義歯、木床義歯の誕生、江戸時代の歯科医術	鈴木　聖一	
5	12/14	14:30-16:00	歯学科第 4 講義室 遠隔授業(非同期型)	楊子と歯磨 楊子と歯磨の歴史、歯科医療の発展(江戸から明治)	鈴木　聖一	
6	12/21	14:30-16:00	歯学科第 4 講義室 遠隔授業(非同期型)	歯学教育 近代日本の歯学教育、東京医科歯科大学の歴史	鈴木　聖一	

成績評価の方法

講義への出席状況、レポートの内容等により総合的に評価する 。

準備学習等についての具体的な指示

モジュールの単位判定

全 6 回の講義のうち 4 回以上の出席が必要です。レポートの提出を求められた場合はレポートの提出が必要となります。

教科書

スタンダード歯科医学史／石井拓男:学建書院
歯科医学史の顔／中原泉:学建書院

連絡先(メールアドレス)

森尾　郁子:imorio.edev@tmd.ac.jp

オフィスアワー

森尾　郁子:木　PM 4:30- PM 7:00　M&D タワー7 階　歯学教育開発学分野教授室

時間割番号	021004				
科目名	最新の歯学			**科目ID**	DD-110103-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業	該当する				

主な講義場所

7 号館第 4 講義室(変更がある場合は事前に連絡する)

授業の目的、概要等

●授業の目的 (Primary goal) 歯科研究・歯科臨床の最新トピックスを理解する。科学研究のおもしろさや重要性を理解する。 歯科研究・歯科臨床が国民・社会にどこまで貢献しているかを理解する。

●授業の概要 (Outline of content and teaching method) 大学院医歯学総合研究科(歯学系)の分野長(基礎系および臨床系教授)が専門分野の最新トピックスについて説明する。基礎系は科学研究のおもしろさや重要性、臨床系は歯科臨床がどこまで国民あるいは社会に貢献しているかを分かりやすく説明し、将来学生諸君がこのような歯科研究者あるいは歯科臨床家になりたいという夢と希望を与える。講師は毎週異なり、各講師が一つのテーマについてそれぞれの立場から分かりやすく講義を行う。

授業の到達目標

最新の歯科研究・歯科臨床の内容を説明出来る。 学部専門科目内容の緒を掴む。

成績評価の方法

出席状況と全10回の講義終了後に出す課題レポートによる評価を行う。 なお出席については、講義終了後に毎回行う授業アンケートを提出することで確認する。

準備学習等についての具体的な指示

2 年次以降の学部教育内容の紹介的な授業なので、特に準備学習の必要性はない。各回の授業テーマについて既に興味を持っている学生は、事前に 2 年次以降の当該科目のシラバス内容の確認、インターネットなどでの専門的内容の予習をしておくと、より授業内容を深く理解出来ると思われる。

試験の受験資格

試験は行わない。

教科書

教科書は使用せず、レジュメ・資料等をその都度配布する。

参考書

参考図書・文献は講義の中で随時紹介する。

履修上の注意事項

全10回中2／3以上の出席が履修の条件である。 出席は毎回授業終了時に行う授業アンケートの提出の有無で決定する。授業アンケートを提出しなかった場合は、原則としていかなる理由があっても欠席扱いとする。

時間割番号	021005				
科目名	早期臨床体験実習			**科目ID**	DD-110104-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:歯学入門

英語名:Introduction to Clinical Dentistry

ユニット番号:04

主な講義場所

各診療科に関連した研究室等。

授業の目的、概要等

今後6年間にわたって歯科医学を学んでいくにあたり、今後の学習への強い動機を獲得するために、歯科医学 ならびに歯科医療の現状を認識するとともに、医の原則を理解し、医療人としての基本的態度を修得する。

授業の到達目標

1:歯科医療従事者に求められる基本的態度(挨拶、時間厳守、言葉づかい)を身につける。

2:歯科医療が人々の健康の維持・増進に果たす社会的役割を認識する。

3:1口腔単位として歯科疾患を理解する。

4:基礎医学、一般教養科目の重要性を説明できる。

5:自分自身の将来像を具体的に述べることができる。

6:自分の将来像を具現化するための具体的な目標設定ができる。

7:自分自身で問題を提起し、自ら解決する能力を養う習慣を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/28	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	オリエンテーション	オリエンテーション(ZOOM)	大槻 昌幸	詳細は WebClass にて連絡
2-3	9/28	10:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	外来見学	外来紹介(WebClass)	大槻 昌幸	
4	9/28	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	研究室見学	各研究室に配属、研究室紹介(ZOOM)	大槻 昌幸	
5-6	9/28	13:50-15:40	遠隔授業(同期型)	テーマ抽出・決定・発表準備(チューター)	配属された研究室で実習(ZOOM)	大槻 昌幸	
7-9	10/5	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	テーマ発表	テーマ発表(ZOOM)	大槻 昌幸	
10-12	10/5	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	テーマの再検討・演習(チューター)	配属された研究室で実習(ZOOM)	大槻 昌幸	
13-19	10/19	09:00-15:40	遠隔授業(同期型)	研究演習・中間発表の準備(チューター)	配属された研究室で実習(ZOOM)	大槻 昌幸	
20-22	10/26	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	中間報告	中間報告(ZOOM)	大槻 昌幸	
23-25	10/26	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	研究演習(チューター)	配属された研究室で実習(ZOOM)	大槻 昌幸	
26-32	11/2	09:00-15:40	遠隔授業(同期型)	研究演習・成果発表の準備(チューター)	配属された研究室で実習(ZOOM)	大槻 昌幸	

33-34	11/9	09:00-10:50	遠隔授業（非同期型）	成果発表	成果発表の動画を視聴（WebClass）	大槻　昌幸	
35-37	11/9	12:50-15:40	特別講堂	成果発表（ディスカッション）	成果発表のディスカッション・病院見学（予定）	大槻　昌幸	詳細は後日、お知らせします。内容を変更することがあります。

授業方法

1グループ2～3人で各臨床の診療科あるいは専攻分野に配属され、自ら研究テーマを設定し、実施する。必要に応じて助言するために、各グループには各診療科のチューターが配置されている。テーマ決定、中間発表会を経て最終的には研究成果発表会で発表する。

成績評価の方法

出席、遅刻の有無、受講態度、実習態度、中間発表会および成果発表会での発表内容、発表の態度等を総合的に評価する。

成績評価の基準

プレレポート、ポストレポートの提出。実習態度、中間発表会および成果発表会での発表内容、態度等の総合評価と学生同士の相互評価結果、報告書の内容を総合的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

本学の HP から「2016 年度大学案内」を通読し、6 年間の歯学部カリキュラムにおけるこのカリキュラムの位置づけについて理解しておくこと。

試験の受験資格

4分の3以上の出席

構成ユニット

2～3 名で 1 グループを構成し、各診療科に配属される。6 週間にわたり、毎週火曜日に9時～16時まで実習を行う。

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内のすべてのユニットに合格しなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出物の内容および平常学習態度等が評価に加味される。

教科書

歯科医療のおもしろさ：後輩たちへ贈る 28 のドラマ／橋本光二, 升谷滋行, 飯野文彦 編,：口腔保健協会, 2013

医の現在／高久　史麿 編,：岩波書店

歯の健康学／江藤　一洋 編,：岩波書店

必要に応じて、各研究分野の教員から適宜、提示される。

参考書

必要に応じて、各研究分野の教員から適宜、提示される。

参照ホームページ

WebClass に掲載予定。

時間割番号	021006				
科目名	医の倫理			**科目ID**	DD-110105-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:歯学入門

英語名:Medical Ethics and Bioethics

ユニット番号:05

授業の目的、概要等

●授業の目的 (Primary goal)

医療者にとって必須である「医の倫理」の入門編。

●授業の概要 (Outline of content and teaching method)

この講義では、歯学部歯学科の学生諸君が歯科医療・歯学研究の「専門家」として従うべき規範について理解を深めるとともに、「医歯学総合」という幅広い視座から現代医学の諸問題を把握し、分析するための基本的な能力を身につけることが目指されます。

ところで一口に「医の倫理」と言っても、その舞台となるのが現代の医歯学である以上、はるか昔の「ヒポクラテスの誓い」を引き合いに出すだけではもはや十分ではありません。実際、20 世紀の後半に「バイオエシックス(生命倫理)」が成立し、「患者の権利」が確立されてゆくきっかけとなったのは、第二次世界大戦後の医学・医療における人体実験の問題でした。そしてそれゆえに、現代の「医の倫理」にあっては、「倫理的な思考」と「法的な思考」とが分かつことのできない関係になっています。現代の医歯学はそれを「職業」とする人々に、従来の「医の心」や「医師の良心」にはとどまらない倫理規範と思考とを求めているのです。

そこでこの講義も、現代の医療や医歯学のあれこれの「約束事」についてただ解説するという形はとりません。むしろ、現代の「医の倫理」の由来を歴史のうちに探りながら、他方ではその意義と課題とを具体的な諸問題から検討する、という形で進めてゆきます。それゆえこの講義では、いわゆる「座学」による基本的な知識の提供だけでなく、さまざまな問題提起にもとづいた学生諸君によるプレゼンテーションとディスカッションの機会も設けられています。したがって学生諸君には、何よりもまず、自らの頭脳で思考することが求められます。講義への、そして、そこで提示される諸問題への積極的なコミットメントを期待します。

授業の到達目標

上記のテーマに関して、

① 基本的な理解を得ること。

② 基本的な文献を自分で読めるようになること。

③ さらなる問いを自分で立て、自分で考えられるようになること。

成績評価の方法

期末試験(論述)、プレゼンテーションとディスカッションへの参加、講義への出席等をもとに総合的に評価します。

準備学習等についての具体的な指示

2回目以降は毎回、論点の提示・解説⇒教材の視聴⇒それらにもとづく学生のプレゼンテーション⇒全員でのディスカッション、という流れになりますので、

(1)提示された論点について講義・教材をもとに自分で考えてから、プレゼンテーションとディスカッションに臨むこと、

(2)その成果をふまえ、あらためて自分の考えをまとめた上で、次の論点に臨むこと、

が求められます。

試験の受験資格

授業に3分の2以上出席していること。プレゼンテーション(作成・発表)に参加していること。

教科書

教科書は使用せず、レジュメ・資料等をそのつど配布します。

参考書

命は誰のものか／香川知晶 著:ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2009

生命倫理とは何か／市野川容孝 編,:平凡社, 2002

いのちの選択——今、考えたい脳死・臓器移植／小松美彦, 市野川容孝, 田中智彦 編:岩波書店, 2010

いのちを選ぶ社会——出生前診断のいま／坂井律子 著:NHK 出版, 2013

医学研究・臨床試験の倫理——わが国の事例に学ぶ／井上悠輔, 一家綱邦 編:日本評論社, 2018

時間割番号	021007				
科目名	基礎情報医歯学			科目ID	DD-110106-L
担当教員	木下 淳博, 青木 和広, 田畑 純, 須永 昌代[KINOSHITA ATSUHIRO, AOKI KAZUHIRO, TABATA MAKOTO, SUNAGA MASAYO]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:歯学入門

英語名:Medical and Dental Informatics

ユニット番号:06

授業の目的、概要等

●授業の目的 (Primary goal)

医学・歯学の研究・調査に必要な情報技術を理解し、その利用方法を習得する。ワープロ、メール、インターネットといった基本的な情報技術に加えて、研究・調査に実際に使用する情報技術について実習を行いながら学ぶ。ファイル操作など OS の基本的操作, e-learning の操作は習得済みであることを前提として講義・実習を行うので、事前に自身の知識を確認すること。

●授業の概要 (Outline of content and teaching method)

医歯学に関連する基礎的情報技術の知識・操作について講義および実習を行う。実習は図書館のパソコンを使用する。毎回、課題の提出を行う。また、全講義終了後に CBT 試験を行う。

授業の到達目標

1. 情報セキュリティー、著作権を理解して、歯学に必要な情報処理を実践できる。
2. 静止画像の編集ができる。
3. 生物医学画像の取り扱いと解析ができる。
4. 動画像の編集ができる。
5. オリジナル・ホームページを作ることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-2	1/11	12:50-16:00	遠隔授業(非同期型)	基礎情報医歯学概説、情報セキュリティー、著作権、 メディアコンテンツ作成 1(静止画像処理)	木下 淳博, 須永 昌代	協力:情報サービス係
3-4	1/18	12:50-16:00	遠隔授業(同期型)	オリジナル・ホームページの作成 (著作権遵守、画像、ファイル操作、HTML の基礎)	田畑 純	
5-6	1/25	12:50-16:00	遠隔授業(非同期型)	メディアコンテンツ作成2(動画像処理)	木下 淳博, 須永 昌代	
7-8	2/1	12:50-16:00	遠隔授業(非同期型)	研究における画像解析	青木 和広	
9	2/8	12:50-14:20	情報検索室	WebClass 上で試験	木下 淳博, 青木 和広, 田畑 純, 須永 昌代	

成績評価の方法

評価方法 (その他) 再評価(有)

各回の課題の達成度を約 7 割、最終回の WebClass による試験の成績を約 3 割の比率で評価する。

課題が提出されない場合は、当該課題は 0 点として評価するので注意すること。

準備学習等についての具体的な指示

e ラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。

教科書

講義資料を WebClass にアップロードし、必要に応じて印刷して配布する。

備考

実習では一人一台のコンピューターを使用する。

USB メモリーを持参すること.

動画像処理実習の際は、各自のステレオイヤホンを持参することが望ましい.

連絡先(メールアドレス)

木下 淳博:emdv@ml.tmd.ac.jp

青木 和広: kazu.hpha@tmd.ac.jp

須永 昌代:sunaga.emdv@tmd.ac.jp

田畑 純:tabatamj.bss@tmd.ac.jp

オフィスアワー

木下 淳博:金 16:00－17:00 3 号館 5 階 教育メディア開発学分野

青木 和広: 随時(必ず事前に連絡を入れること)2 号館 2 階 217 号室(口腔基礎工学分野)

須永 昌代:随時

田畑 純:随時 (メールでの事前連絡がのぞましいが必須ではない。なおメールでの質問等は受け付けない。)

時間割番号	021008				
科目名	人体の構造と機能			**科目ID**	DD-230200-Z
担当教員					
開講時期	2020 年度 1.5 通年	**対象年次**	2～3	**単位数**	19
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業形態:講義・実習

モジュール番号:02

授業の到達目標

人体を構成する組織、器官の構造と生理的機能および発生の仕組みを知るとともに、成長、発育・発達、加齢の過程でそれらがどの様に変化するかを理解する。

準備学習等についての具体的な指示

構成ユニット

01 人体の構造 Ⅰ（解剖学総論、運動系）
02 人体の構造 Ⅱ（脈管系、末梢神経系、器官系）
03 人体の発生
04 組織学総論(四大組織)
05 組織学各論(器官ごとの組織学)
06 神経系の機能Ⅰ(神経生理学総論、運動機能)
07 神経系の機能Ⅱ(知覚、情動、本能、睡眠、高次機能)
08 生命維持のための生体機能
09 人体解剖実習
10 中枢神経系
11 生理学実習
12 口腔生理
13 口腔組織・発生学
14 医療と造形
15 歯の解剖
16 歯型彫刻

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

時間割番号	021008				
科目名	人体の構造と機能			**科目ID**	DD-230200-Z
担当教員	上阪　直史[UESAKA Naofumi]				
開講時期	2021 年度 1.5 通年	**対象年次**	2～3	**単位数**	19
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール No. 2

授業の目的、概要等

1. 身体の部位と方向用語、組織・器官及び個体の発生と成長の過程を理解する。
2. 組織、器官及び個体の成熟期以降の加齢変化（老化）を理解する。
3. 人体諸器官の正常な構造及び生理的機能とその機序を理解する。

授業の到達目標

人体を構成する組織、器官の構造と生理的機能および発生の仕組みを知るとともに、成長、発育・発達、加齢の過程でそれらがどの様に変化するかを理解する。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

ユニットごとに設定する。

構成ユニット

01 人体の構造 Ⅰ（解剖学総論、運動系）
02 人体の構造 Ⅱ（脈管系、末梢神経系、器官系）
03 人体の発生
04 組織学総論（四大組織）
05 組織学各論（器官ごとの組織学）
06 神経系の機能Ⅰ（神経生理学総論、運動機能）
07 神経系の機能Ⅱ（知覚、情動、本能、睡眠、高次機能）
08 生命維持のための生体機能
09 人体解剖実習
10 中枢神経系
11 生理学実習
12 口腔生理
13 口腔組織・発生学
14 医療と造形
15 歯の解剖
16 歯型彫刻

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

備考

モジュール責任者　　9 時から18時
上阪直史　uesaka.cnb@tmd.ac.jp
井関祥子　s.iseki.emb@tmd.ac.jp

時間割番号	021009				
科目名	人体の構造Ⅰ（解剖学総論、運動系）			**科目ID**	DD-230201-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名：人体の構造と機能

ユニット名:人体の構造Ⅰ（解剖学総論、運動系）

ユニット責任者：柴田俊一

ユニット番号：01

開設時期：2年　前期

コマ数（授業コマ数＋試験コマ数）：30＋2（必要自習時間20時間）

授業形態：講義・実習

授業の目的、概要等

解剖学用語を正確に使える。

人体の正常構造が系統的にどのように構成されているかを3次元的に理解する。

人体を構成する骨・関節・筋の正常構造と機能を理解する。

授業の到達目標

1） 人体の基本構造について解剖学用語を用いて説明できる。

2） 系統を構成する臓器とそれらのつながりを説明できる。

3） 人体を構成する骨と関節を体系的に分類し、その特徴について説明できる。

4） 人体を構成する主要な筋の起始停止・走向・作用・神経支配を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/2	13:50-14:40	遠隔授業（非同期型）	解剖学総論（1）	実習室使用の説明。解剖学の区分、方向用語、骨学総論	柴田 俊一	非同期遠隔,webclass に動画アップ
2-3	4/2	14:50-16:40	遠隔授業（同期型）	解剖学総論(2) 骨学総論	骨学総論他	柴田 俊一	
4-6	4/5	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	筋学 1	頭部、頸部の筋(1)	柴田 俊一	非同期遠隔,webclass に動画アップ
7-9	4/5	12:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	筋学 2	頭部、頸部の筋(2)	柴田 俊一	非同期遠隔,webclass に動画アップ
10-12	4/7	09:00-11:50	解剖学実習室, 歯学科第 1 講義室	骨学 1-A 班	体幹、上肢、下肢の骨	柴田 俊一, 武智 正樹	歯学科第 1 講義室集合後、解剖実習室に移動
13-15	4/7	12:00-14:40	解剖学実習室, 歯学科第 1 講義室	骨学 1-B 班	体幹、上肢･下肢の骨	柴田 俊一, 武智 正樹	歯学科第 1 講義室集合後、解剖実習室に移動
16-18	4/9	09:00-11:50	歯学科第	骨学 2-B 班	頭蓋骨 1	柴田 俊一,	

			1 講義室			武智 正樹	
19-21	4/9	12:00-14:40	歯学科第 1 講義室	骨学 2-A 班	頭蓋骨 1	柴田 俊一, 武智 正樹	
22-24	4/12	09:00-11:50	歯学科第 1 講義室	骨学 3-A 班	頭蓋骨 2	柴田 俊一, 武智 正樹	
25-27	4/12	12:00-14:40	歯学科第 1 講義室	骨学 3-B 班	頭蓋骨 2	柴田 俊一, 武智 正樹	
28-30	4/14	13:50-16:40	歯学科第 1 講義室	筋学 3	体幹、上、下肢の筋	柴田 俊一	非同期遠 隔,webclass に動 画アップ
31	7/26	09:00-09:50	遠隔授業 （同期型）	人体の構造 1 演習	AL:頭蓋骨の構造他	柴田 俊一, 武智 正樹	課題発表と討論
32-33	9/9	12:50-14:40	歯学科第 1 講義室	人体の構造 1 試験		柴田 俊一	対面で実施

成績評価の方法

・適宜小テスト、課題発表・討論等を行い、形成的評価を行う。

・ユニット最終日に、筆記試験と実習試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

骨学は人体の構造を理解する上での基礎となります。解剖名を覚えるのではなく、その構造が身体にとってどのような役割を果たしているかを理解することが重要です。そのためには事前の予習が必須です。骨実習の時間が短いために、予習したことを実習で確認することで、効果的に実習を進めて、学習内容を理解してください。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

分担解剖学　1／森　於菟:金原出版, 1982

解剖学講義／伊藤隆 原著,:南山堂, 2012

グレイ解剖学／Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell 原著,塩田浩平, 瀬口春道, 大谷浩, 杉本哲夫 訳,:エルゼビア・ジャパン, 2011

ﾈｯﾀｰ解剖学ｱﾄﾗｽ 原書第 5 版／ネッター, フランク H. ,相磯貞和 訳,ﾈｯﾀｰ, ﾌﾗﾝ H.,ｱｲｿｻﾀﾞｶｽﾞ,:エルゼビア・ジャパン（南山堂 ）, 2011-12-15

口腔解剖学／井出吉信, 前田健康, 天野修 編,脇田稔, 山下靖雄 監修,:医歯薬出版, 2009

参考書

骨学実習の手びき／寺田春水, 藤田恒夫 著,:南山堂, 1992

履修上の注意事項

・解剖実習室内では, 専用の解剖実習衣、実習室専用の靴の使用が必要となります。

備考

柴田俊一 教授 随時（必ず事前に連絡のこと）sshibata.mfa@tmd.ac.jp

武智正樹 講師 随時（必ず事前に連絡のこと）takechi.emb@tmd.ac.jp

AL として試験前の最終授業時に課題発表・討論を行う。

時間割番号	021010				
科目名	人体の構造Ⅱ(脈管系、末梢神経系、器官系)			科目ID	DD-230202-Z
担当教員					
開講時期	2021年度前期	対象年次	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:人体の構造と機能

コマ数:42+2(必要自習時間40時間)

授業形態:講義・実習

ユニット番号:02

主な講義場所

第1講義室

授業の目的、概要等

人体を構成する各器官系(脈管系、末梢神経系、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系)の正常構造と機能を理解する。

授業の到達目標

1) 末梢神経系の構成と基本機能を説明できる。
2) 体性神経系と自律神経系の構造的、機能的相違を説明できる
3) 脊髄と脊髄神経の構成と機能を説明できる。
4) 脳神経の構成と機能を説明できる。
5) 大循環、肺循環、胎児循環を説明できる。
6) 三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。
7) 心臓の構造と機能を説明できる。
8) 主な動脈、静脈、リンパ管を説明できる。
9) 頭頸部の血管とリンパ管の走行および血流路、リンパ流路を説明できる。
10) 消化器系の構成を概説できる。
11) 気道と肺の構成と構造を説明できる。
12) 縦隔と胸膜を説明できる。
13) 泌尿器の構成、位置と形態を説明できる。
14) 生殖器の構成、位置と形態を説明できる。
15) 内分泌器官を列挙し、構造と機能を説明できる。
16) 口唇・口腔の基本構造が説明できる。
17) 唾液腺の種類、構造が説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/16	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	末梢神経系1	概説、脳神経1(三叉神経)	柴田 俊一	遠隔非同期 Webclassに動画アップ
4-6	4/19	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	末梢神経系2	脳神経2(顔面神経)	柴田 俊一	遠隔非同期 Webclassに動画アップ
7-9	4/21	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	末梢神経系3	脳神経3(舌咽、迷走、副、舌下神経)	柴田 俊一	遠隔非同期 Webclassに動画アップ
10-12	4/23	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	末梢神経系4	脳神経4(その他の脳神経)	柴田 俊一	遠隔非同期 Webclassに動画アップ
13-14	5/6	14:50-16:40	遠隔授業	末梢神経系5	脊髄神経、自律神経系	柴田 俊一	遠隔非同期

			（非同期型）				Webclass に動画アップ
15-17	5/12	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	脈管系 1	概説頭頸部の動脈	武智 正樹	遠隔非同期 Webclass に動画アップ
18-20	5/20	12:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	脈管系 2	頭頸部の静脈、リンパ系	武智 正樹	遠隔非同期 Webclass に動画アップ
21-23	5/27	12:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	脈管系 3	体幹、体肢の動脈	武智 正樹	遠隔非同期 Webclass に動画アップ
24-26	6/10	12:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	脈管系 4	心臓、胎児の循環	武智 正樹	遠隔非同期 Webclass に動画アップ
27-29	6/16	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	器官系 1	消化器系 1（口腔）	柴田 俊一	遠隔非同期 Webclass に動画アップ
30-32	6/17	12:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	器官系 2	消化器系 2（食道、胃）	柴田 俊一	遠隔非同期 Webclass に動画アップ
33-35	6/22	12:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	器官系 3	消化器系 3（小腸、大腸、肝臓、膵臓）	柴田 俊一	遠隔非同期 Webclass に動画アップ
36-38	6/24	12:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	器官系 4	呼吸器系	柴田 俊一	遠隔非同期 Webclass に動画アップ
39-41	6/25	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	器官系 5	尿生殖器系、内分泌系	柴田 俊一	遠隔非同期 Webclass に動画アップ
42	7/26	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	人体の構造 2 演習	AL: 頭頸部の脈管、神経他	柴田 俊一, 武智 正樹	課題発表と討論
43-44	9/13	09:00-10:50	歯学科第 1 講義室	人体の構造 2 試験		柴田 俊一	対面で実施

成績評価の方法

・適宜小テスト,課題発表、討論等を行い、形成的評価を行う。

・ユニット最終日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

末梢神経、循環器、器官系（内臓学）は人体の構造と機能を理解する上で必須のものです。解剖名を覚えるのではなく、その構造が身体にとってどのような役割を果たしているかを理解することが重要です。そのためには事前の予習が必須です。教科書中の講義範囲に相当する部分に眼を通しておいてください。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

分担解剖学 2／平沢 興他:金原出版, 1982

分担解剖学 3／平沢 興他:金原出版, 1992

口腔解剖学／井出吉信, 前田健康, 天野修 編脇田稔, 山下靖雄 監修,:医歯薬出版, 2009

解剖学講義／伊藤隆 原著,:南山堂, 2012

グレイ解剖学／Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell 原著,塩田浩平, 瀬口春道, 大谷浩, 杉本哲夫 訳,:エルゼビア・ジャパン, 2011

参考書

グレイ解剖学アトラス／Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell, Richard M.Tibbitts, Paul E.Richardson 原著,塩田浩平 訳,:エルゼビア・ジャパン, 2008

ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス／Neil S. Norton 著 ; 前田健康監訳,Norton, Neil Scott,前田, 健康,:医歯薬出版, 2012

ネッター解剖学アトラス／Frank H. Netter 著,相磯貞和 訳,:エルゼビア・ジャパン, 2011

備考

担当教員の Office Hour

柴田俊一 教授 随時(必ず事前に連絡の事)sshibata.mfa@tmd.ac.jp

武智正樹 講師 随時 (必ず事前に連絡のこと) takechi.emb@tmd.ac.jp

AL として試験前の最終授業時に課題発表・討論を行う。

時間割番号	021011			
科目名	人体の発生		科目ID	DD-230203-Z
担当教員	井関 祥子, 武智 正樹, 池田 正明, 太田 正人[ISEKI SACHIKO, TAKECHI MASAKI, IKEDA MASAAKI, Masato Ohta]			
開講時期	2021年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:人体の構造と機能

コマ数:20＋2 (必要自習時間 10時間)

授業形態:講義＋演習

ユニット番号:03

授業の目的、概要等

人体の発生とその基本的な仕組みについて、初期発生から器官形成の過程を理解する。また、頭頚部融合ブロック基礎の前に、口腔・頭蓋・顎顔面領域の形成について概要を把握する。

授業の到達目標

1) 人体における初期発生の仕組みを説明できる。
2) 減数分裂の過程を概説できる。
3) 生殖子(卵子・精子)形成および受精の過程を概説できる。
4) 三胚葉の形成過程と分子機構を説明できる。
5) 三胚葉から形成される器官の器官形成の概要を説明できる。
6) 各器官の器官形成に重要な分子を列挙し、分子機構を説明できる。
7) 胚性幹細胞と組織幹細胞を区別し、その特徴を説明できる。
8) 発生過程の異常と先天異常との関連を概説できる。
9) 口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。
10) 頭部神経堤細胞の役割について説明できる。
11) 一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。
12) 特殊感覚器と中枢神経系の発生を概説できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	5/19	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	人体の発生1 初期発生1	井関 祥子	関連SBOs:1, 2, 3
2	5/19	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	人体の発生2 初期発生2	井関 祥子	関連SBOs:1, 2, 3
3	5/28	11:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	人体の発生3 三胚葉形成 器官形成概要1	池田 正明	関連SBOs:4, 5, 6
4	5/28	12:50-13:40	遠隔授業(非同期型)	人体の発生4 三胚葉形成 器官形成概要2	池田 正明	関連SBOs:4, 5, 6
5	6/1	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	人体の発生5 幹細胞1	二宮 洋一郎	関連SBOs:7
6	6/1	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	人体の発生6 幹細胞2	二宮 洋一郎	関連SBOs:7
7	6/3	12:50-13:40	遠隔授業(非同期型)	人体の発生7 骨格・筋系1	武智 正樹	関連SBOs:5, 6, 8, 10
8	6/3	13:50-14:40	遠隔授業	人体の発生8 骨格・筋	武智 正樹	関連SBOs:5, 6, 8,

			（非同期型）	系 2		10
9	6/16	11:00–11:50	遠隔授業（非同期型）	人体の発生 9 神経系 1	武智 正樹	関連 SBOs:5, 6, 8, 10, 12
10	6/16	12:50–13:40	遠隔授業（非同期型）	人体の発生 10 神経系 2	武智 正樹	関連 SBOs:5, 6, 8, 10, 12
11	6/16	13:50–14:40	遠隔授業（非同期型）	人体の発生 11 感覚器系 1	太田 正人	関連 SBOs:5, 6, 8, 10 ,12
12	6/16	14:50–15:40	遠隔授業（非同期型）	人体の発生 12 感覚器系 2	太田 正人	関連 SBOs:5, 6, 8, 10, 12
13	6/18	11:00–11:50	遠隔授業（同期型）	人体の発生 13 尿生殖器系 1	平手 良和	関連 SBOs:5, 6, 8
14	6/18	12:50–13:40	遠隔授業（同期型）	人体の発生 14 尿生殖器系 2	平手 良和	関連 SBOs:5, 6, 8
15	6/25	11:00–11:50	遠隔授業（同期型）	人体の発生 15 形態形成と先天異常 頭頸部発生導入 1	井関 祥子	関連 SBOs:5, 6, 8, 9, 10, 11
16	6/25	12:50–13:40	遠隔授業（同期型）	人体の発生 16 形態形成と先天異常 頭頸部発生導入 2	井関 祥子	関連 SBOs:5, 6, 8, 9, 10, 11
17	6/25	13:50–14:40	遠隔授業（同期型）	人体の発生 17 心臓脈管系 1	竹内 純	関連 SBOs:5, 6, 8, 10
18	6/25	14:50–15:40	遠隔授業（同期型）	人体の発生 18 心臓脈管系 2	竹内 純	関連 SBOs:5, 6, 8, 10
19	7/20	12:50–13:40	遠隔授業（非同期型）	人体の発生 19 呼吸器・消化器系 1	池田 正明	関連 SBOs:5, 6, 8
20	7/20	13:50–14:40	遠隔授業（非同期型）	人体の発生 20 呼吸器・消化器系 2	池田 正明	関連 SBOs:5, 6, 8
21–22	9/10	13:50–15:40	歯学科第 1 講義室	筆記試験	井関 祥子, 武智 正樹	

成績評価の方法

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。

・ユニット最終日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

講義を受けるにあたり、予め参考書やその他関連する成書の該当箇所を通読し、不明な点を明確にしておく。講義資料は Webclass 上で PDF ファイルにて配布するので留意すること。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

モジュールの単位判定

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。

・小テスト、筆記試験結果、実習レポートをもとに包括的評価を行う。

参考書

・「ラングマン人体発生学」第 11 版 （訳：安田峯生、山田重人） メディカル・サイエンス・インターナショナル

・「ラーセン最新人体発生学」第2版 （監訳：相川英三・山下和雄・三木昭徳・大谷浩） 西村書店

・「ムーア人体発生学」第8版（訳：瀬口春道・小林俊博他）・医歯薬出版

備考

本講義の一部では口頭試問等のアクティブラーニングを行う。

担当教員の Office Hour

武智　正樹　随時（ただし必ず事前に連絡の事）takechi.emb@tmd.ac.jp

時間割番号	021012				
科目名	組織学総論(四大組織)			**科目ID**	DD-230204-Z
担当教員					
開講時期	2021年度前期	**対象年次**	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:人体の構造と機能

コマ数:27＋2(必要自習時間18時間)

授業形態:講義・実習

ユニット番号:04

授業の目的、概要等

解剖学と組織学は「からだ」の構造・名称・機能を学ぶ学問であり、組織学は総論と各論に分けられる。総論は「からだ」を構成する最小構成単位である細胞をまず学び、四大組織(上皮組織・結合組織・神経・筋)の特徴と機能を順に学ぶ。講義を先行し、実習でその実際を観察して、理解を深めるものとする。

授業の到達目標

●概論●

1)組織標本作製法、観察法を説明できる。顕微鏡を正しく操作できる。

2)細胞内小器官、細胞内骨格、細胞接着装置など細胞の微細構造を説明できる。

3)人体の器官系、器官、組織、細胞の階層を説明できる。

4)4大組織(上皮、結合組織、神経、筋)を列挙し、説明できる。

●上皮組織●

5)上皮組織を分類でき、それぞれの特徴を説明できる。また、切片を見て識別できる。

6)腺の概念と基本構造、種類を説明できる。また、切片を見て識別できる。

●結合組織●

7)結合組織を分類でき、それぞれの特徴を説明できる。また、切片を見て識別できる。

8)結合組織の細胞間を満たす有形・無形成分を説明できる。

9)骨の組織構造を説明でき、形成と改造の仕組みを説明できる。また、切片を見て識別できる。

10)軟骨を分類でき、それぞれの特徴を説明できる。また、切片を見て識別できる。

11)血液の構成を説明でき、血球の分類と造血過程を説明できる。また、塗沫標本を見て識別できる。

●神経組織●

12)中枢神経と末梢神経の構造の違いや細胞構成の違いを説明でき、マクロ的な構造と合わせて説明できる。

13)末梢神経の断面を見て、構造の階層を説明できる。また、切片を見て識別できる。

●筋組織●

14)骨格筋、心筋、平滑筋を区分でき、それぞれの組織学的な特徴と機能を説明できる。

15)骨格筋の横断面を見て、構造の階層を説明できる。また、切片を見て識別できる。

16)骨格筋の縦断面を見て、筋原線維や横紋の構造と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。

17)骨格筋、心筋、平滑筋を支配する神経とその支配様式の違いを説明できる。

18)錐内筋、ゴルジの腱器官の構造と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。

成績評価の方法

・毎回、実習前にミニテストを行う。

・組織実習の提出課題は、A～E で判定をする。D 以下の場合は、未提出扱いとする。

・ユニット最終日に筆記試験を行う。筆記試験の中に実習試験も含めて行う。

・最終判定は、ミニテスト、実習課題、筆記試験の点数を一定比で合計し、100 点満点の 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

1. 教科書は必ず購入し、予習・復習に活用すること。また、講義資料 PDF も講義の 1 週間以上前には配布を開始するので、予習しておくこと。
2. 実習は顕微鏡を使って組織切片を観察し、組織スケッチを描いて提出する。講義の復習をしておくことが実習の効率をぐっと高くする。また、実習は PBL 形式をとるので、自分で課題を解決できなければ、提出課題の合格は難しい。結局、時間を無駄に使うことになるので、事前の講義復習は必須のはずである。
3. 実習の際には、毎回、その日の課題内容に関するミニテストを行う。スケッチの評点とともに本試の点数と合わせ、最終評価に用いる。
4. 試験については、図説と記述を中心とする。いずれも単語などの丸覚えでは通用しない。また、いかに要説できるか、簡単な図を描けるかも重要である。加えて組織切片を用いたスライド試験を行い、実習の課題をきちんと学んでいるかを問う。

試験の受験資格

・全時間数のうち、講義は3分の2以上出席していなければならない。
・実習は全てに出席し、課題を全て提出していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

組織学／阿部和厚, 牛木辰男 著:南山堂, 2019
上記を購入して予習・復習に使うこと。試験には英語問題が含まれるが、すべてこれら教科書に記載の英単語に依る。また、毎回の実習前にはミニテストを行うが、この対策勉強には必要なはずである。

参考書

標準組織学総論 第5版／藤田尚男, 藤田恒夫 原著,:医学書院, 2015
標準組織学 各論 第 5 版／藤田尚男, 藤田恒夫 共著,:医学書院, 2017
標準細胞生物学 第2版／近藤尚武, 柴田洋三郎, 藤本豊士, 溝口明 編,石川春律 監修,:医学書院, 2009
カラーアトラス機能組織学 原著第2版／Jeffrey B.Kerr 原著,河田光博, 小路武彦 監訳,:エルゼビア・ジャパン, 2013
カラーアトラス組織・細胞学／岩永敏彦著,:医歯薬出版, 1990-10
Di Fiore 人体組織図譜 原著11版／Victor P.Eroschenko 著,相磯貞和 訳:南江堂, 2011
機能を中心とした図説組織学 第5版／B.Young, J.S.Lowe, A.Stevens, J.W.Heath [著],澤田元, 依藤宏, 大野伸一, 佐々木克典 訳.:医学書院, 2009
カラーアトラス組織学／P.R.Wheater[ほか]著,:西村書店, 1988-08
入門組織学／牛木辰男著,牛木, 辰男,:南江堂, 2013
最新カラー組織学／L P. ガートナー, J. L. ハイアット著 ; 井関尚一 [ほか] 訳,Gartner, Leslie P.,Hiatt, James L.,井関, 尚一,石村, 和敬,井上, 貴央,:西村書店, 2003
硬組織構造生物学分野のホームページ(URL は下記)に教科書・参考書などの解説を掲載している。

http://www.tmd.ac.jp/dent/oan2/index.htm

履修上の注意事項

＜実習の注意＞ ・組織標本の顕微鏡観察とスケッチを行うので、12 色程度の色鉛筆を必ず持参すること。色鉛筆を使用していないスケッチの提出は認められない。なお、A4 のスケッチ用紙は配布するが、ケント紙などを持参して使用してもよい。 ・実習は全てに出席し、全ての課題を提出することが必要。不足がある場合は、ユニット最終日の筆記試験の受験資格を得られない。 ・実習は最初の 10 分ほどで課題の説明や諸注意を行う。また、顕微鏡の準備やプレパラートの受取は授業前に行う。従って、実習日はその前に教室へ到着している必要がある。遅刻は厳禁。 ・実習は PBL 形式をとる。予習を少しでもしておくと効率がよい。また、教科書は必携、アトラスなども必要である。 ・スケッチに時間がかかる場合は、適宜、実習時間を延長する。未完成のスケッチを提出することは認められない。 ・組織のスケッチは評価して返却する。一定評価以下のものは提出と認めない。 ＜追試・再試について＞ ・追試は不測の事態で中間試験や最終試験を受験できなかった者に対して、所定の要件を満たす場合にのみ実施する。成績判定等は、本試験と同等とする。 ・再試は中間試験や最終試験で合格と認められなかった者に対して行う。実施の有無は当該学生と話し合って決めるものとする(必ず行うものではない)。 ・再試の試験結果は、規定に従い、100 点満点の 60 点以上を合格とするが、最終成績は 60 点以上の点は与えられない(満点でも 60 点が最終成績となる)。

備考

組織実習では、課題学習型(PBL)もとりいれたアクティブラーニングを実施する。

参照ホームページ

配布資料はすべて PDF で配布する。硬組織構造生物学分野のホームページ(URL は下記)からダウンロードし、印刷して授業に臨むこと。PDF を開く際のパスワードは kanyo2021 である。教科書・参考書についての解説もある。

http://www.tmd.ac.jp/dent/oan2/index.htm

時間割番号	021013				
科目名	組織学各論(器官ごとの組織学)			科目ID	DD-230205-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:組織学各論(器官ごとの組織学)

コマ数:45+3(必要自習時間30時間)

授業形態:講義・実習

ユニット番号:05

授業の目的、概要等

組織学各論は、組織学総論で学んだことを基本として、循環系、リンパ系、消化管系、内分泌系、呼吸器、泌尿器、生殖器、感覚器を順にとりあげ、それぞれの組織と機能を学習し、各器官ごとの特徴や役割を学ぶ。学習は講義を先行し、実習でその実際を観察して、理解を深めるものとする。

授業の到達目標

●脈管系・リンパ系●

1)動脈、静脈、毛細血管の組織と機能を説明できる。

2)血管の構造を説明でき、固有細胞である内皮細胞について説明できる。また、切片を見て識別できる。

3)リンパ管とリンパ節の組織構造を説明できる。また、切片を見て識別できる。

4)リンパ小節の構造と機能、活性化の有無による違いを説明できる。

5)脾臓のふたつの構造(赤脾髄と白脾髄)の特徴と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。

6)胸腺の組織構造の特徴と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。

7)腸管リンパや体の各部にあるリンパを説明できる。また、切片を見て識別できる。

●消化器系・口腔●

8)口腔、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸などの組織構造と機能の違いを説明できる。また、切片を見て識別できる。

9)消化管の付属腺の組織構造と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。

10)口腔粘膜を分類でき、それぞれの特徴と機能の違いを説明できる。また、切片を見て識別できる。

11)舌乳頭の組織分類と機能、および味蕾の配置を説明できる。また、切片を見て識別できる。

12)唾液腺の分類と配置、漿液性と粘液性の違い、組織構造などを説明できる。また、切片を見て識別できる。

●消化器系(腸管)●

13)絨毛と陰窩を識別でき、部位によって構成がどのように変化するかを説明できる。また、切片を見て識別できる。

14)粘膜筋板、乳糜管、腸腺、十二指腸腺などの構造を説明できる。また、切片を見て識別できる。

15)腸陰窩部の主細胞や副細胞などの特徴を説明できる。また、切片を見て識別できる。

●消化器系(肝胆膵)●

16)肝臓の組織構造と機能を説明できる。特に血液の流れと胆汁の流れの違いを説明できる。また、切片を見て識別できる。

17)胆嚢の組織構造の特徴を説明できる。

18)膵臓の外分泌腺と内分泌腺の違いを組織構造と機能で説明できる。また、切片を見て識別できる。

●呼吸器と皮膚●

19)鼻腔～気管～肺の組織構造の変化と違いを説明できる。また、切片を見て識別できる。

20)細気管支の分類ができ、呼吸細気管支から肺胞管にいたる構造変化を説明できる。また、切片を見て識別できる。

21)肺胞を構成する血管と肺胞上皮の特徴と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。

22)皮膚の組織構造(表皮、真皮、付属器官)の特徴と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。

23)毛や爪にある母細胞や組織構造、成分、機能を説明できる。

24)皮膚が持つ感覚器を列挙でき、それぞれの構造と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
25)皮膚にある色素細胞が作る色素胞の分配の仕組みを説明できる。

●内分泌器●
26)脳下垂体の前葉と後葉の組織構造の違い、由来の違いを説明できる。
27)脳下垂体の中の血管の走行を説明でき、前葉ホルモンと後葉ホルモンの形成様式の違いを説明できる。また、切片を見て識別できる。
28)脳下垂体と関係する視床下部の構造と機能を説明できる。
29)甲状腺と上皮小体の組織構造と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
30)副腎皮質(3 層)と髄質、それぞれの特徴と分泌物の違いを説明できる。また、切片を見て識別できる。
31)膵臓、消化器、生殖器などが持つ内分泌機能の説明ができる。また、切片を見て識別できる。

●泌尿器●
32)腎臓の皮質と髄質の違い、脈管と尿管の走行について、構造と特徴を説明できる。また、切片を見て識別できる。
33)腎単位を構成する腎小体と尿細管の構造と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
34)腎小体を構成する糸球体とボーマン嚢の構造と各部の機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
35)原尿から尿ができるまでの過程と尿量調整の仕組みを説明できる。
36)腎臓、尿管、膀胱、尿道などの組織構造の違いや特徴を説明できる。また、切片を見て識別できる。

●生殖器●
37)精巣の内部構造、とりわけ、曲精細管の構造と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
38)男性生殖器の付属腺、尿路、精路の構造や働きを説明できる。また、切片を見て識別できる。
39)卵巣の内部構造、とりわけ、卵胞の発生段階と構造変化を説明できる。また、切片を見て識別できる。
40)子宮壁の性周期に伴う構造変化と内分泌系の制御を説明できる。また、切片を見て識別できる。
41)男女の生殖器発生様式の違いを説明できる。
42)精子と卵の形成過程、受精のプロセスを説明できる。

●中枢神経●
43)大脳皮質の構造(6 層)と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
44)脳幹にある多数の神経核の構造と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
45)上衣細胞、脈絡叢細胞、脳脊髄液の形成プロセスなどを説明できる。また、切片を見て識別できる。
46)小脳のプルキンエ細胞や周囲組織の説明ができる。また、切片を見て識別できる。

成績評価の方法
・毎回、実習前にミニテストを行う。
・組織実習の提出課題は、A～E で判定をする。D 以下の場合は、未提出扱いとする。
・ユニット最終日に筆記試験を行う。筆記試験の中に実習試験も含めて行う。
・最終判定は、ミニテスト、実習課題、筆記試験の点数を一定比で合計し、100 点満点の 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示
1. 教科書は必ず購入し、予習・復習に活用すること。また、講義資料 PDF も講義の 1 週間以上前には配布を開始するので、予習しておくこと。
2. 実習は顕微鏡を使って組織切片を観察し、組織スケッチを描いて提出する。講義の復習をしておくことが実習の効率をぐっと高くする。また、実習は PBL 形式をとるので、自分で課題を解決できなければ、提出課題の合格は難しい。結局、時間を無駄に使うことになるので、事前の講義復習は必須のはずである。
3. 実習の際には、毎回、その日の課題内容に関するミニテストを行う。スケッチの評点とともに本試の点数と合わせ、最終評価に用いる。
4. 試験については、図説と記述を中心とする。いずれも単語などの丸覚えでは通用しない。また、いかに要説できるか、簡単な図を描けるかも重要である。加えて組織切片を用いたスライド試験を行い、実習の課題をきちんと学んでいるかを問う。

試験の受験資格

・全時間数のうち、講義は3分の2以上出席していなければならない。
・実習は全てに出席し、課題を全て提出していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

組織学／阿部和厚, 牛木辰男 著:南山堂, 2019
口腔の発生と組織 = Oral Embryology and Histology／田畑純 著,:南山堂, 2019
上記を購入して予習・復習に使うこと。試験には英語問題が含まれるが、すべてこれら教科書に記載の英単語に依る。また、毎回の実習前にはミニテストを行うが、この対策勉強には必要なはずである。

参考書

最新カラー組織学／L. P. ガートナー, J. L. ハイアット著 ; 井関尚一 [ほか] 訳,Gartner, Leslie P.,Hiatt, James L.,井関, 尚一,石村, 和敬,井上, 貴央,:西村書店, 2003
カラーアトラス組織・細胞学／岩永敏彦著,:医歯薬出版, 1990-10
Di Fiore 人体組織図譜 原著第11版／Victor P.Eroschenko 著,相磯貞和 訳,:南江堂, 2011
機能を中心とした図説組織学 第5版／B.Young, J.S.Lowe, A.Stevens, J.W.Heath [著],澤田元, 依藤宏, 大野伸一, 佐々木克典 訳,:医学書院, 2009
カラーアトラス組織学／P.R.Wheater[ほか]著,:西村書店, 1988-08
組織学 改訂 20 版／阿部和厚,牛木辰男:南山堂, 2019-02-08
口腔組織・発生学 : カラーエッセンシャル／ジェイムズ・K.エイヴリー 著,高野吉郎 監訳,佐々木崇寿, 矢嶋俊彦, 入江一元 訳,:西村書店, 2002
標準組織学 各論 第 4 版／藤田尚男, 藤田恒夫 共著,:医学書院, 2010
標準細胞生物学 第2版／近藤尚武, 柴田洋三郎, 藤本豊士, 溝口明 編,石川春律 監修,:医学書院, 2009
カラーアトラス機能組織学 原著第2版／Jeffrey B.Kerr 原著,河田光博, 小路武彦 監訳,:エルゼビア・ジャパン, 2013
硬組織構造生物学分野のホームページ(URL は下記)に教科書・参考書などの解説を掲載している。

http://www.tmd.ac.jp/dent/oan2/index.htm

履修上の注意事項

＜実習の注意＞ ・組織標本の顕微鏡観察とスケッチを行うので、12 色程度の色鉛筆を必ず持参すること。色鉛筆を使用していないスケッチの提出は認められない。なお、A4 のスケッチ用紙は配布するが、ケント紙などを持参して使用してもよい。 ・実習は全てに出席し、全ての課題を提出することが必要。不足がある場合は、ユニット最終日の筆記試験の受験資格を得られない。 ・実習は最初の 10 分ほどで課題の説明や諸注意を行う。また、顕微鏡の準備やプレパラートの受取は授業前に行う。従って、実習日はその前に教室へ到着している必要がある。遅刻は厳禁。 ・実習は PBL 形式をとる。予習を少しでもしておくと効率がよい。また、教科書は必携、アトラスなども必要である。 ・スケッチに時間がかかる場合は、適宜、実習時間を延長する。未完成のスケッチを提出することは認められない。 ・組織のスケッチは評価して返却する。一定評価以下のものは提出と認めない。 ＜追試・再試について＞ ・追試は不測の事態で中間試験や最終試験を受験できなかった者に対して、所定の要件を満たす場合にのみ実施する。成績判定等は、本試験と同等とする。 ・再試は中間試験や最終試験で合格と認められなかった者に対して行う。実施の有無は当該学生と話し合って決めるものとする(必ず行うものではない)。 ・再試の試験結果は、規定に従い、100 点満点の 60 点以上を合格とするが、最終成績は 60 点以上の点は与えられない(満点でも 60 点が最終成績となる)。

備考

組織実習では、課題学習型(PBL)もとりいれたアクティブラーニングを実施する。

参照ホームページ

配布資料はすべて PDF で配布する。硬組織構造生物学分野のホームページ(URL は下記)からダウンロードし、印刷して授業に臨むこと。PDF を開く際のパスワードは kanyo2021 である。教科書・参考書についての解説もある。

http://www.tmd.ac.jp/dent/oan2/index.htm

時間割番号	021014				
科目名	神経系の機能Ⅰ（神経生理学総論、運動機能）			科目ID	DD-230206-L
担当教員					
開講時期	2021年度前期	対象年次	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

主な講義場所

Zoomあるいはビデオ講義

授業の目的、概要等

神経系の基本の作動原理と運動制御の神経機構を修得する。

授業の到達目標

以下の項目について基本的な説明ができるようになることを目標とする。

・神経細胞の構造と、および静止膜電位と活動電位の発生機序について

・興奮の伝導の機序について

・シナプスの構造と興奮性・抑制性伝達の仕組みについて

・骨格筋の構造と収縮のメカニズムについて

・筋の伸張受容器の構造と機能について

・脊髄・脳幹における反射

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	5/19	11:00-12:50	遠隔授業（同期型）	神経系の基礎	ニューロンの形態と性質　静止(膜)電位　活動電位と興奮	上阪 直史, 田中 大介
3-5	5/26	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	興奮の伝導と伝達	興奮伝導とその法則　シナプス伝達とシナプス前抑制	上阪 直史, 田中 大介
6-7	5/28	13:50-15:40	遠隔授業（同期型）	末梢神経系	骨格筋の微細構造と筋収縮　脳の高次機能と疾患	上阪 直史, 田中 大介
8-10	6/4	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	興奮の伝導と伝達	興奮―収縮連関　筋紡錘の構造と機能　単シナプス反射と多シナプス反射	上阪 直史, 田中 大介
11-12	6/18	13:50-15:40	遠隔授業（同期型）	脳の高次機能	脳の高次機能と疾患	上阪 直史, 田中 大介
13-14	9/1	09:00-10:50	歯学科第1講義室	筆記試験	筆記試験	上阪 直史, 田中 大介

成績評価の方法

・ユニット終了後に筆記試験を行なう。筆記試験は、合計得点が60点以上を合格とする。

・不合格者には、1回の再試験の機会を与える。再試験も合計得点が60点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

参考書として挙げた書籍を利用して事前学習を行うとよい。

試験の受験資格

・全授業時間数（筆記試験を除く）のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

シンプル生理学　第7版／貴邑冨久子, 根来英雄 共著,貴邑, 富久子, 1939-,根来, 英雄, 1934-, : 南江堂, 2016

標準生理学　第8版／小澤瀞司, 福田康一郎 監修,本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫, 河合康明, 黒澤美枝子, 鯉淵典之, 伊佐正 編集,小澤, 瀞司,福田, 康一郎,本間, 研一, 1946-,大森, 治紀, 1950-,大橋, 俊夫, 1949-, : 医学書院, 2014

生理学テキスト 第8版／大地陸男 著,大地, 陸男, 1939-, : 文光堂, 2017

基礎歯科生理学 第 6 版／森本俊文, 山田好秋, 二ノ宮裕三, 岩田幸一 編,森本, 俊文, 1939-,山田, 好秋, 1949-,二ノ宮, 裕三, : 医歯薬出版, 2014

カンデル神経科学 第 5 版／Eric R. Kandel [ほか] 編,Kandel, Eric R.,Schwartz, James H. (James Harris), 1932-,Jessell, Thomas M.,Siegelbaum, Steven,Hudspeth, A. James,Mack, Sarah,金澤, 一郎(1941-),宮下, 保司,岡野, 栄之,和田, 圭司,加藤, 総夫(医学),入來, 篤史(1957-),藤田, 一郎(1956-),伊佐, 正,定藤, 規弘,大隅, 典子(1960-),笠 : メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2014-04

備考

連絡先

上阪直史 : uesaka.cnb@tmd.ac.jp

授業内容に関する質問は授業中、あるいは授業直後に聞くこと

時間割番号	021015			
科目名	神経系の機能Ⅱ（知覚、情動、本能、睡眠、高次機能）		科目ID	DD-230207-L
担当教員				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業	該当する			

主な講義場所

Zoom あるいはビデオ講義

授業の目的、概要等

・感覚（化学感覚、聴覚、前庭覚）、および脳の高次機能について学習する。

授業の到達目標

以下の項目について基本的な説明ができるようになることを目標とする。

・化学感覚（味覚、嗅覚）、視覚、聴覚、前庭覚について、刺激受容のしくみと基本的な伝導路、中枢における情報処理について理解する。

・記憶や学習といった高次脳機能や脳疾患を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	9/1	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	化学感覚	味覚・味細胞における変換機構 嗅覚・嗅細胞の機能　伝音、蝸牛、コルチ器官・聴覚伝導路	上阪 直史
4-6	9/8	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	特殊感覚	伝音、蝸牛、コルチ器官・聴覚伝導路　前庭感覚器官の構造と機能	上阪 直史
7-9	9/13	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	特殊感覚	視覚	田中 大介
10-11	12/8	09:00-10:50	歯学科第1講義室	筆記試験	筆記試験	上阪 直史

成績評価の方法

・ユニット終了後に筆記試験を行なう。筆記試験は、合計得点が 60 点以上を合格とする。

・不合格者には、1 回の再試験の機会を与える。再試験も合計得点が 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

参考書として挙げた書籍を利用して事前学習を行うとよい。

試験の受験資格

・全授業時間数（筆記試験を除く）のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

標準生理学 第 8 版／小澤瀞司, 福田康一郎 監修,本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫, 河合康明, 黒澤美枝子, 鯉淵典之, 伊佐正 編集,小澤, 瀞司,福田, 康一郎,本間, 研一, 1946-,大森, 治紀, 1950-,大橋, 俊夫, 1949-, : 医学書院, 2014

基礎歯科生理学 第 6 版／森本俊文, 山田好秋, 二ノ宮裕三, 岩田幸一 編,森本, 俊文, 1939-,山田, 好秋, 1949-,二ノ宮, 裕三, : 医歯薬出版, 2014

カンデル神経科学 第 5 版／Eric R. Kandel［ほか］編,Kandel, Eric R.,Schwartz, James H. (James Harris), 1932-,Jessell, Thomas M.,Siegelbaum, Steven,Hudspeth, A. James,Mack, Sarah,金澤, 一郎(1941-),宮下, 保司,岡野, 栄之,和田, 圭司,加藤, 総夫(医学),入來, 篤史(1957-),藤田, 一郎(1956-),伊佐, 正,定藤, 規弘,大隅, 典子(1960-),笠 : メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2014-04

神経科学テキスト : 脳と行動 第 4 版／カールソン／〔著〕,泰羅雅登／監訳,中村克樹／監訳,Carlson, Neil R. ,泰羅 || 雅登,中村 : 丸善出版, 2013

備考

連絡先

上阪直史 : uesaka.cnb@tmd.ac.jp

オフィスアワー

上阪直史:随時(メイルでの事前連絡後)

時間割番号	021016				
科目名	生命維持のための生体機能			科目ID	DD-230208-L
担当教員					
開講時期	2021年度後期	対象年次	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

主な講義場所

7号館 歯学科第1講義室

授業の目的、概要等

・循環、呼吸、消化・吸収など、おもに無意識下で行なわれ、個体の生命維持に関与する機能を植物性機能と呼ぶ。この植物性機能に関する基礎的な知識を修得する。

授業の到達目標

以下の項目について基本的な説明ができるようになることを目標とする。

・血液の成分とその機能について
・自律神経の構造とその機能について
・循環の機能について
・呼吸の機能について
・消化・吸収のしくみについて
・代謝と体温調節のしくみについて
・腎での排泄機能と体液調節のしくみについて
・内分泌の機能について
・生殖器官の構造と機能について

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	9/14	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	植物機能総論	内臓機能	上阪 直史, 田中 大介
4-6	9/15	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	自律神経系の構造と機能　生殖の機能	交感神経と副交感神経　生殖の機能	上阪 直史, 田中 大介
7-9	9/16	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	循環の機能	循環の機能	上阪 直史, 田中 大介
10-12	9/17	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	腎臓の機能	腎臓の機能	上阪 直史, 田中 大介
13-15	9/21	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	消化と吸収	消化と吸収	上阪 直史, 田中 大介
16-18	9/22	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	呼吸の機能	呼吸の機能	上阪 直史, 田中 大介
19-21	9/24	12:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	体温調節	体温調節	上阪 直史, 田中 大介
22-23	11/8	13:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	筆記試験	筆記試験	上阪 直史, 田中 大介

成績評価の方法

・ユニット終了後に筆記試験を行なう。筆記試験は、合計得点が60点以上を合格とする。
・不合格者には、1回の再試験の機会を与える。再試験も合計得点が60点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

参考書として挙げた書籍を利用して事前学習を行うとよい。

試験の受験資格

・全授業時間数(筆記試験を除く)のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

シンプル生理学 第 7 版／貴邑冨久子, 根来英雄 共著,貴邑, 富久子, 1939-,根来, 英雄, 1934-, : 南江堂, 2016

標準生理学 第 8 版／小澤瀞司, 福田康一郎 監修,本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫, 河合康明, 黒澤美枝子, 鯉淵典之, 伊佐正 編集,小澤, 瀞司,福田, 康一郎,本間, 研一, 1946-,大森, 治紀, 1950-,大橋, 俊夫, 1949-, : 医学書院, 2014

生理学テキスト 第 8 版／大地陸男 著,大地, 陸男, 1939-, : 文光堂, 2017

基礎歯科生理学 第 6 版／森本俊文, 山田好秋, 二ノ宮裕三, 岩田幸一 編,森本, 俊文, 1939-,山田, 好秋, 1949-,二ノ宮, 裕三, : 医歯薬出版, 2014

ギャノング生理学 第 25 版／Kim E.Barrett, Susan M.Barman, Scott Boitano, Heddwen L.Brooks [著],岡田泰伸 監修,佐久間康夫, 岡村康司監訳,Barrett, Kim E,Barman, Susan M,Boitano, Scott,岡田, 泰伸,佐久間, 康夫, 1946-,岡村, 康司, : 丸善出版, 2017

備考

連絡先

上阪直史 : uesaka.cnb@tmd.ac.jp

オフィスアワー

上阪直史 : 随時(メイルでの事前連絡後)

時間割番号	021017				
科目名	人体解剖実習			**科目ID**	DD-230209-Z
担当教員	柴田 俊一, 武智 正樹, 太田 正人[SHIBATA SHIYUNICHI, TAKECHI MASAKI, Masato Ohta]				
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:人体の構造と機能

コマ数:88+2(必要自習時間65時間)

授業形態:講義・実習

ユニット番号:09

授業の目的、概要等

修得した解剖学的、生理学的知識を、実際にご遺体に触れ、身体の内部構造を剖出する作業を通して、人体の正 常な構造を肉眼的なレベルで三次元的に観察することにより、人体の構造の形態学的特徴と機能的特性を有機的に修得する。

実習を通して生命の尊厳に触れ、将来の歯科医師を目指す歯学生としての自覚を促し、倫理観の養成につとめるとともに、献体の意義についても考える。

授業の到達目標

1) 人体の体表に現れる形態的特徴を認識し、それらに直接触れることで内部構造を類推することができる。

2) 人体解剖によって剖出される人体の基本構造の解剖学的名称と相互の位置関係を述べることができる。

3) 人体を構成する諸器官の位置・形態・機能・内部構造、 それらの神経、血管支配、相互のつながりについて、剖出結果をもとに述べることができる。

4) 主要な血管の枝・走行・支配領域について、剖出結果をもとに説明できる。

5) 主要な神経の枝・走行・神経叢・ 神経節・支配領域について、剖出結果をもとに説明できる。

6) 主要なリンパ管の枝・走行・支配領域、リンパ節の分布について、剖出結果をもとに説明できる。

7) 主要な筋の起始・停止・走行・支配神経について、剖出結果をもとに説明できる。

8) 主要な骨や関節の名称と機能について、剖出結果をもとに説明できる。

9) 基本的な解剖学的構造の変異を指摘することができる。

10) 実習中に出会う疑問点についてグループ内で自発的に調べ、説明することができ る。

11) 強い精神力と柔軟性を身に付けて心のバランス 保ち、人体解剖にグループの一員として協調的に参加し、規律ある倫理的態度を保って意欲的に実習を遂行できる。

12) 生命の尊厳について考え、その重要について 自分の意見を述べることができる。

13) 人体解剖実習が献体により支えられていることを実感し、感謝の念と使命感を抱き、態度を律することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/16	12:50-15:40	解剖学実習室	人体解剖実習 1	頸の皮下	柴田 俊一, 武智 正樹, 太田 正人	2 人で一体の解剖を対面で実施する。
4-6	4/19	12:50-15:40	解剖学実習室	人体解剖実習 2	頸の中層(1)	柴田 俊一, 武智 正樹, 太田 正人	2 人で一体の解剖を対面で実施する。
7-9	4/26	13:50-16:40	解剖学実習室	人体解剖実習 3	頸の中層(2)	柴田 俊一, 武智 正樹, 太田 正人	2 人で一体の解剖を対面で実施する。
10-12	4/30	09:00-11:50	解剖学実習室	人体解剖実習 4	頭切断の準備、脳硬膜	柴田 俊一, 武智 正樹, 太田 正人	2 人で一体の解剖を対面で実施する。
13-15	4/30	12:00-14:40	解剖学実習室	人体解剖実習 5	頸部のまとめ、頭部の切断	柴田 俊一, 武智 正樹,	2 人で一体の解剖を対面で実施す

						太田 正人	る。
16-18	5/10	09:00-11:50	解剖学実習室	人体解剖実習 6	胸の上肢筋、腹.上肢の皮下	柴田 俊一, 武智 正樹, 太田 正人	6人で一体の解剖を対面で行うが、実際には午前と午後に分けて3人ずつ作業を行う。
19-21	5/10	12:00-14:40	解剖学実習室	人体解剖実習 7	腹、頸から腋窩にかけて、腹壁の浅層、中層	柴田 俊一, 武智 正樹, 太田 正人	6人で一体の解剖を対面で行うが、実際には午前と午後に分けて3人ずつ作業を行う。
22-24	5/17	09:00-11:50	解剖学実習室	人体解剖実習 8	開胸、胸膜、心膜	柴田 俊一, 武智 正樹, 太田 正人	6人で一体の解剖を対面で行うが、実際には午前と午後に分けて3人ずつ作業を行う。
25-27	5/17	12:50-15:40	解剖学実習室	人体解剖実習 9	心臓、肺の解剖、腹壁深層	柴田 俊一, 武智 正樹, 太田 正人	6人で一体の解剖を対面で行うが、実際には午前と午後に分けて3人ずつ作業を行う。
28-30	5/24	09:00-11:50	解剖学実習室	人体解剖実習 10	腹腔、胃と腸の脈管と神経	柴田 俊一, 武智 正樹, 太田 正人	6人で一体の解剖を対面で行うが、実際には午前と午後に分けて3人ずつ作業を行う。
31-33	5/24	12:50-15:40	解剖学実習室	人体解剖実習 11	腹部内臓	柴田 俊一, 武智 正樹, 太田 正人	6人で一体の解剖を対面で行うが、実際には午前と午後に分けて3人ずつ作業を行う。
34-36	5/31	09:00-11:50	解剖学実習室	人体解剖実習 12	腹膜後器官、腹膜と胸膜の背側	柴田 俊一, 武智 正樹, 太田 正人	6人で一体の解剖を対面で行うが、実際には午前と午後に分けて3人ずつ作業を行う。
37-39	5/31	12:50-15:40	解剖学実習室	人体解剖実習 13	背の皮下、背の上肢筋、上肢の切断	柴田 俊一, 武智 正樹, 太田 正人	6人で一体の解剖を対面で行うが、実際には午前と午後に分けて3人ずつ作業を行う。

40–42	6/7	09:00–11:50	解剖学実習室	人体解剖実習 14	固有背筋、臀部と大腿の屈側	柴田 俊一, 武智 正樹, 太田 正人	6人で一体の解剖を対面で行うが、実際には午前と午後に分けて3人ずつ作業を行う。
43–45	6/7	12:50–15:40	解剖学実習室	人体解剖実習 15	脊柱と脊髄、大腿骨の切断	柴田 俊一, 武智 正樹, 太田 正人	6人で一体の解剖を対面で行うが、実際には午前と午後に分けて3人ずつ作業を行う。
46–48	6/14	09:00–11:50	解剖学実習室	人体解剖実習 16	男性、女性の外陰部	柴田 俊一, 武智 正樹, 太田 正人	6人で一体の解剖を対面で行うが、実際には午前と午後に分けて3人ずつ作業を行う。
49–51	6/14	12:50–15:40	解剖学実習室	人体解剖実習 17	骨盤腔、骨盤内臓	柴田 俊一, 武智 正樹, 太田 正人	6人で一体の解剖を対面で行うが、実際には午前と午後に分けて3人ずつ作業を行う。
52–54	6/21	09:00–11:50	解剖学実習室	人体解剖実習 18	骨盤内臓、上肢･下肢の解剖	柴田 俊一, 武智 正樹, 太田 正人	6人で一体の解剖を対面で行うが、実際には午前と午後に分けて3人ずつ作業を行う。
55–57	6/21	12:50–15:40	解剖学実習室	頭頸部局所解剖 1	上肢、下肢の解剖	柴田 俊一, 武智 正樹, 太田 正人	6人で一体の解剖を対面で行うが、実際には午前と午後に分けて3人ずつ作業を行う。
58	7/26	11:00–11:50	遠隔授業（同期型）	人体解剖学実習演習	AL: 口腔付近の筋、神経、血管他	柴田 俊一, 武智 正樹	課題発表と討論
59–60	7/27	09:00–10:50	遠隔授業（同期型）	頭頸部局所解剖	顎関節の構造他	柴田 俊一	
61–62	9/3	12:50–14:40	歯学科第1講義室	人体解剖学実習試験		柴田 俊一, 武智 正樹	対面で実施

成績評価の方法

・解剖実習は解剖実習態度（出席状況を含む）、随時行う口頭試問、課題発表と討論による形成的評価とともに、解剖実習終了時の筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

解剖学実習は人体の構造と機能を理解するために必須のものであると同時に、人の死に対する倫理観を育成する事になります。実習が献体に支えられている事を自覚し、事前に配布する資料、実習書に必ず目を通し、その日の実習の手順および観察する構造物をまとめておく事を強くお願いします。

試験の受験資格

・人体解剖実習の4分の3以上出席していなければならない。

・毎回の実習に先立ち、実習の進め方と重要事項に対する講義を聴取しなければ、実習に参加できない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

グレイ解剖学／Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell 原著,塩田浩平, 瀬口春道, 大谷浩, 杉本哲夫 訳：エルゼビア・ジャパン, 2011

実習人体解剖図譜／浦 良治：南江堂, 2008

プロメテウス解剖学アトラス ： 口腔・頭頸部／Eric W.Baker 著,坂井建雄, 天野修 監訳：医学書院, 2012

ネッター解剖学アトラス／Frank H. Netter 著,相磯貞和 訳：エルゼビア・ジャパン, 2011

グレイ解剖学アトラス／Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell, Richard M.Tibbitts, Paul E.Richardson 原著,塩田浩平 訳：エルゼビア・ジャパン, 2008

分担解剖学 （平沢 興他著） 第1巻・第２巻・第３巻 金原出版

解剖学講義 （伊藤隆・高野廣子著）南山堂

解剖実習の手引き （寺田春水・藤田恒夫著） 南山堂

人体解剖実習（浦 良治著） 南江堂

参考書

口腔解剖学／井出吉信, 前田健康, 天野修 編,脇田稔, 山下靖雄 監修,：医歯薬出版, 2009

ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス／Neil S. Norton 著,前田健康 監訳：医歯薬出版, 2012

プロメテウス解剖学アトラス／Anne M.Gilroy, Jonas Broman, Anna Josephson [編],Michael Schunke, Erik Schulte, Udo Schumacher [著],坂井建雄 監訳,市村浩一郎, 澤井直 訳：医学書院, 2011

備考

人体解剖実習用具ならびに実習着等が必要となる。

（詳細については担当教員から指示ある予定）

担当教員の Office Hour

柴田俊一 教授 随時（ただし必ず事前に連絡の事）sshibata.mfa@tmd.ac.jp

武智正樹 講師 随時（ただし必ず事前に連絡の事）takechi.emb@tmd.ac.jp

太田正人 非常勤講師 随時（ただし必ず事前に連絡の事）ootam@fc.jwu.ac.jp

AL として試験前の最終授業時に課題発表・討論を行う。

時間割番号	021018				
科目名	中枢神経系			科目ID	DD-230210-Z
担当教員	武智　正樹[TAKECHI MASAKI]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名：人体の構造と機能

ユニット名：中枢神経系

ユニット責任者：武智正樹

コマ数（授業コマ数＋試験コマ数）：20＋2（必要自習時間10時間）

授業形態：講義・実習

ユニット番号：10

授業の目的、概要等

中枢神経系

中枢神経系の構成を理解し、それらの構造と機能を修得する。

脳解剖実習

人体における脳の系統的観察法を修得し、これらの構造と機能について統合的に理解する。

授業の到達目標

中枢神経系

1） 中枢神経系の構成と基本機能を説明できる。

2） 脊髄の構造と機能を説明できる。

3） 脳幹の構造と機能を説明できる。

4） 脳と脳被膜の関係を説明できる。

5） 脳の外観と内部構造を、機能と関連づけて説明できる。

6） 脳の主な線維連絡と伝導路を説明できる。

7） 脳の血流と脳脊髄液の流れを説明できる。

脳解剖実習

1） 神経系の発生の知識を基に脳の区分を説明し、同定することができる。

2） 脳の基本構造を実際の脳において剖出・同定し、それらの解剖学的名称と相互の位置関係、機能について述べることができる。

3） 脳の主要な血管の走向とその支配領域を、剖出結果をもとに説明することができる。

4） 脳幹と脳神経を同定し、その構造と機能を説明することができる。

5） グループでの脳実習に協調的に参加することができる。

6） 脳と脊髄の内部構造を説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	10/6	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	中枢神経系 1	脊髄、脳幹	武智　正樹
4-6	10/20	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	中枢神経系 2	小脳、大脳	武智　正樹
7-9	11/5	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	中枢神経系 3	神経回路	武智　正樹
10-11	11/10	09:00-10:50	遠隔授業（非同期型）	中枢神経系 4	脳、脊髄の血管	武智　正樹

12-14	11/15	09:00-11:50	解剖学実習室	脳解剖実習 1	脊髄、脳幹の切断	武智 正樹	
15-17	11/17	13:50-16:40	解剖学実習室	脳解剖実習 2	脳幹、小脳の解剖	武智 正樹	
18-20	11/22	13:50-16:40	解剖学実習室	脳解剖実習 3	大脳の解剖	武智 正樹	
21-22	2/14	09:00-10:50	遠隔授業（非同期型）	中枢神経系試験		武智 正樹	

成績評価の方法

・ユニット最終日に筆記試験を行い、包括的評価を行う。但し、筆記試験の中に実習試験を含むものとする。

・脳解剖実習は口頭試問、レポート等で形成的評価をする。

準備学習等についての具体的な指示

中枢神経系（脳実習を含む）の講義実習は短時間で実施されるため、脳（中枢神経系を含む）に関する簡単な概説書を読んでおくことにより、中枢神経系の概要を理解しておくこと。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

分担解剖学 2／平沢 興他：金原出版, 1982

プロメテウス解剖学アトラス／Michael Schunke, Erik Schulte, Udo Schumacher [著],坂井建雄, 河田光博 監訳：医学書院, 2009

実習人体解剖図譜／浦良治：南江堂, 2008

解剖学講義／伊藤隆 原著,：南山堂, 2012

図説中枢神経系／Rudolf Nieuwenhuys [ほか]著,水野昇 [ほか]訳：医学書院, 1991

備考

本講義においては実習時にアクティブラーニングを行う。

担当教員の Office Hour

武智 正樹 随時 （ただし必ず事前に連絡のこと） takechi.emb@tmd.ac.jp

連絡先（メールアドレス）

武智 正樹:takechi.emb@tmd.ac.jp

オフィスアワー

武智 正樹:随時（事前に連絡すること）

時間割番号	021019				
科目名	生理学実習			科目ID	DD-230211-E
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

3班に分ける。班分けは Webclass にアップする実習書を参照ください。
マスクを必ず着用する。

主な講義場所

1 号館西 歯学部基礎実習室
1 号館西 歯学部基礎小実習室

授業の目的、概要等

・人体機能のうち、おもに感覚や運動に関する機能について、実験を通して実体験する。

授業の到達目標

・味覚に関する実験を行ない、味覚の諸特性に関するメカニズムを解釈・説明できる。
・咀嚼時の筋電や咬合力を観察・記録し、咀嚼機能について解釈・説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	10/21	13:50-16:40	遠隔授業（同期型）	説明とデモ	味覚、咬合力・咀嚼と筋電図記録	上阪 直史, 田中 大介	Zoom かビデオ
4-6	10/29	13:50-16:40	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室	実験・データ解析	味覚、咬合力・咀嚼と筋電図記録	上阪 直史, 田中 大介	
7-9	11/4	13:50-16:40	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室	実験・データ解析	味覚、咬合力・咀嚼と筋電図記録	上阪 直史, 田中 大介	
10-12	11/10	13:50-16:40	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室	実験・データ解析	味覚、咬合力・咀嚼と筋電図記録	上阪 直史, 田中 大介	
13-15	11/11	13:50-16:40	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室	実験・データ解析	味覚、咬合力・咀嚼と筋電図記録	上阪 直史, 田中 大介	
16-18	11/19	13:50-16:40	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室	説明、デモ、質問受付	味覚、咬合力・咀嚼と筋電図記録	上阪 直史, 田中 大介	

成績評価の方法

・項目ごとに個人レポート、またはグループレポートを作成する。

・実習期間中は、毎回の開始時と終了時に出席をとる。
・やむを得ない理由で欠席・遅刻する場合は、教務係に理由書、診断書、遅延証明等を提出するとともに、担当教員に連絡すること。
・全日出席は出席点を 1 とし、無断遅刻・早退の場合は 0.5 を減じる。
・全日程の出席で3分の2未満は単位認定されない。
・最終評価は、出席点、レポート点、および授業態度をもとに総合的に判断する。

準備学習等についての具体的な指示

・実習は、データをとること、被験者となること、データを解析すること、および結果を解釈してまとめること、等の作業を自ら参加して行なうことが重要なので、かならず出席しましょう。
・この実習前に行なわれる講義や実習（人体解剖実習、人体の構造 Ⅱ、神経系の機能 Ⅰ・Ⅱ など）と関連が深いので、これらの講義・実習の内容を復習しておきましょう。

教科書

・教科書は特に指定しない。
・適宜、資料を配布する。

履修上の注意事項

不要な私語は慎むこと。 密にならないよう一定の距離 （1m以上）を保つこと。 当日の朝に検温と体調管理を行い、webclass にアップすること。 白衣を着用する。

備考

連絡先
上阪直史：uesaka.cnb@tmd.ac.jp
田中大介: dhtanaka.mphm@tmd.ac.jp
竹内敦也: takeuchi.atsuya@gmail.com

オフィスアワー
メイルで日時を確認すること
授業内容に関する質問は授実習中、あるいは実習直後に聞くこと

時間割番号	021020			
科目名	口腔生理		科目ID	DD-230212-L
担当教員				
開講時期	2021年度後期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:人体の構造と機能

ユニット名:人体の構造Ⅰ（解剖学総論、運動系）

ユニット責任者:上阪直史

ユニット番号:

開設時期:2年 後期

コマ数(授業コマ数＋試験コマ数):12＋3(必要自習時間15時間)

授業形態:講義・実習

授業の目的、概要等

口腔領域の感覚と運動にかかわる神経機構を理解する

授業の到達目標

1） 口腔領域の体性感覚機能が説明できる。

2） 正常な咀嚼の神経制御機構について説明できる。

3） 正常な嚥下の神経制御機構について説明できる。

4） 唾液の分泌機構について説明できる。

5） 口腔領域の痛みについて説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	9/30	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	口腔生理1	口腔領域の体性感覚　咀嚼と嚥下の神経機構	上阪 直史
4-6	10/4	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	口腔生理2	口腔領域の体性感覚　咀嚼と嚥下の神経機構　小テスト	上阪 直史
7-9	10/8	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	口腔生理3	唾液分泌	上阪 直史
10-12	10/13	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	口腔生理4	唾液分泌	上阪 直史
13-14	2/9	10:00-11:50	歯学科第1講義室	口腔生理テスト	筆記試験	上阪 直史

成績評価の方法

ユニットの最終講義時間に筆記試験を行い包括的評価を行う。

尚、この試験の合計得点が6割に達したものを合格とする。

不合格者には、1回の再試験の機会を与える。

尚、再試験も合計得点が6割に達したものを合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・全授業時間数(筆記試験)のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

基礎歯科生理学／森本俊文, 山田好秋, 二ノ宮裕三, 岩田幸一 編.:医歯薬出版, 2014

ビジュアル口腔生理学／浅沼直和, 和泉博之, 稲永清敏, 杉谷博士, 外崎肇一, 西川泰央, 丸井隆之, 宗形芳英 執筆.:学建書院, 2008

参考書

・「標準生理学」医学書院（神経系に限らない一般的な生理学教科書）

・「生理学テキスト」文光堂 （生理学全般の教科書）
備考 質問等 上阪直史: uesaka.cnb@tmd.ac.jp

時間割番号	021021				
科目名	口腔組織・発生学			**科目ID**	DD-230213-Z
担当教員					
開講時期	2021年度後期	**対象年次**	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名：人体の構造と機能
コマ数：33＋3（必要自習時間12時間）
授業形態：講義・実習
ユニット番号：13

授業の目的、概要等

口腔組織・発生学では、組織学の総論と各論で学んだことを基本として、歯と歯周組織の組織構造およびそれらの発生の仕組みを学び、顎顔面の発達に伴う咀嚼器の発生と発達、経年的変化の過程を包括的に修得する。学習は講義を先行し、実習でその実際を観察して、理解を深めるものとする。

授業の到達目標

●口腔と歯の発生●

1）歯の定義と構成を説明できる。
2）ヒトの発生、とりわけ、頭頸部、顔面の発生を説明できる。
3）咽頭弓（鰓弓）の発生と上顎・下顎の形成様式を説明できる。
4）口腔の開通、一次口蓋、二次口蓋の説明ができる。また、切片を見て識別できる。
5）歯冠形成期（肥厚期、蕾状期、帽状期、鐘状期初期、鐘状期後期）の各段階での歯胚の構造を説明できる。また、切片を見て識別できる。
6）歯根形成期（形成開始期、伸長期、萌出期、咬合開始期、機能期）の分類と構造の違いを説明できる。また、切片を見て識別できる。
7）歯の萌出と交換の仕組みを説明できる。
8）ヘルトヴィッヒの上皮鞘とマラッセの上皮遺残について、構造と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。

●エナメル質形成と象牙質形成●

9）象牙質形成とエナメル質形成について、形成細胞、石灰化様式などと合わせて説明できる。また、切片を見て識別できる。
10）象牙質とエナメル質に見られるさまざまな成長線や構造について説明ができる。また、切片を見て識別できる。
11）歯髄の組織構造、特徴、役割、経年変化を説明できる。また、切片を見て識別できる。
12）歯髄の中の神経の走行と、歯の痛みについて説明できる。

●セメント質形成と歯周組織●

13）セメント質の部位による違い（有細胞と無細胞）を説明できる。また、切片を見て識別できる。
14）加齢変化を部位ごとに分けて列挙でき説明できる。また、切片を見て識別できる。
15）歯根膜とりわけ主線維とシャーピー線維の構造と機能、形成様式などを説明できる。
16）歯肉溝上皮や付着上皮の特徴と機能を説明できる。
17）歯肉線維について説明できる。

●口腔諸器官●

18）口腔粘膜を分類でき、それぞれの特徴と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
19）口唇や舌の組織構造を説明できる。また、切片を見て識別できる。
20）咽頭弓器官や舌の発生を説明できる。
21）唾液腺の組織構造と機能の違いを説明できる。また、切片を見て識別できる。

22)顎関節の構造と機能の特徴を説明できる。また、切片を見て識別できる。

成績評価の方法

・毎回、実習前にミニテストを行う。
・組織実習の提出課題は、A～E で判定をする。D 以下の場合は、未提出扱いとする。
・ユニット最終日に筆記試験を行う。筆記試験の中に実習試験も含めて行う。
・最終判定は、ミニテスト、実習課題、筆記試験の点数を一定比で合計し、100 点満点の 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

1. 教科書は必ず購入し、予習・復習に活用すること。また、講義資料 PDF も講義の 1 週間以上前には配布を開始するので、予習しておくこと。
2. 実習は顕微鏡を使って組織切片を観察し、組織スケッチを描いて提出する。講義の復習をしておくことが実習の効率をぐっと高くする。また、実習は PBL 形式をとるので、自分で課題を解決できなければ、提出課題の合格は難しい。結局、時間を無駄に使うことになるので、事前の講義復習は必須のはずである。
3. 実習の際には、毎回、その日の課題内容に関するミニテストを行う。スケッチの評点とともに本試の点数と合わせ、最終評価に用いる。
4. 試験については、図説と記述を中心とする。いずれも単語などの丸覚えでは通用しない。また、いかに要説できるか、簡単な図を描けるかも重要である。加えて組織切片を用いたスライド試験を行い、実習の課題をきちんと学んでいるかを問う。

試験の受験資格

・全時間数のうち、講義は3分の2以上出席していなければならない。
・実習は全てに出席し、課題を全て提出していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

口腔の発生と組織 第 4 版／田畑 純:南山堂, 2019
上記を購入して予習・復習に使うこと。試験には英語問題が含まれるが、すべてこれら教科書に記載の英単語に依る。また、毎回の実習前にはミニテストを行うが、この対策勉強には必要なはずである。

参考書

口腔組織・発生学 : カラーエッセンシャル／ジェイムズ・K.エイヴリー 著,高野吉郎 監訳,佐々木崇寿, 矢嶋俊彦, 入江一元 訳.:西村書店, 2002
口腔組織・発生学 第2版／脇田稔, 前田健康, 中村浩彰, 網塚憲生 編集.:医歯薬出版, 2015
ラーセン人体発生学 : カラー版 第4版／ラーセン [原著],G.C.シェーンウォルフ, S.B.ブライル, P.R.ブラウアー, P.H.フランシス-ウェスト 編著,仲村春和, 大谷浩 監訳.:西村書店東京出版編集部, 2013
人体発生学 : 分子から個体へ／カールソン／著,白井敏雄／監訳,熊木克治／ほか訳.:西村書店, 2002
ラングマン人体発生学 第10版／T.W.サドラー 著,安田峯生 訳.:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2010
ムーア人体発生学 原著第8版／Moore, Persaud 原著,瀬口春道, 小林俊博, Eva Garcia del Saz 訳.:医歯薬出版, 2011
イラストでわかる歯科医学の基礎 第 3 版／渕端孟、祖父江鎮雄、西村康、村上秀明監修:永末書店, 2016
硬組織構造生物学分野のホームページ(URL は下記)に教科書・参考書などの解説を掲載している。

http://www.tmd.ac.jp/dent/oan2/index.htm

履修上の注意事項

＜実習の注意＞ ・組織標本の顕微鏡観察とスケッチを行うので、12 色程度の色鉛筆を必ず持参すること。色鉛筆を使用していないスケッチの提出は認められない。なお、A4 のスケッチ用紙は配布するが、ケント紙などを持参して使用してもよい。 ・実習は全てに出席し、全ての課題を提出することが必要。不足がある場合は、ユニット最終日の筆記試験の受験資格を得られない。 ・実習は最初の 10 分ほどで課題の説明や諸注意を行う。また、顕微鏡の準備やプレパラートの受取は授業前に行う。従って、実習日はその前に教室へ到着している必要がある。遅刻は厳禁。 ・実習は PBL 形式をとる。予習を少しでもしておくと効率がよい。また、教科書は必携、アトラスなども必要である。 ・スケッチに時間がかかる場合は、適宜、実習時間を延長する。未完成のスケッチを提出することは認められない。 ・組織のスケッチは評価して返却する。一定評価以下のものは提出と認めない。 ＜追試・再試について＞ ・追試は不測の事態で中間試験や最終試験を受験できなかった者に対して、所定の要件を満たす場合にのみ実施する。成績判定等は、本試験と同等とする。 ・再試は中間試験や最終試験で合格と認められなかった者に対して行う。実施の有無は当該学生と話し合って決めるものとする(必ず行う

ものではない)。 ・再試の試験結果は、規定に従い、100 点満点の 60 点以上を合格とするが、最終成績は 60 点以上の点は与えられない(満点でも 60 点が最終成績となる)。

備考

組織実習では、課題学習型(PBL)もとりいれたアクティブラーニングを実施する。

参照ホームページ

配布資料はすべて PDF で配布する。硬組織構造生物学分野のホームページ(URL は下記)からダウンロードし、印刷して授業に臨むこと。PDF を開く際のパスワードは kanyo2021 である。教科書・参考書についての解説もある。

http://www.tmd.ac.jp/dent/oan2/index.htm

時間割番号	021022				
科目名	医療と造形			科目ID	DD-230214-Z
担当教員					
開講時期	2021年度後期	対象年次	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名：人体の構造と機能

コマ数：42＋0

授業形態：講義・実習

ユニット番号：14

主な講義場所

美術解剖学講義：Zoom

塑像製作実習：2号館305室，歯学科第2講義室（7号館2階）

授業の目的、概要等

人の頭部顔面を観察し、立体構造と特徴を理解し、審美医療を行うための基本的技法を修得する。

授業の到達目標

1）人モデルを観察し、塑像制作の基本的操作を理解し、行うことができる。

2）人体外部からの観察により、頭頚部の骨・筋肉の形態が理解できる。

3）歯科領域における美的感覚の重要性を説明できる。

4）人体解剖における芸術と医学の共通の時代背景を説明できる。

5）芸術的視点からの人体の観察法を理解する。

6）人体の頭部・顔面領域のサイズを計測し、分類・比較を行うことにより、人体の特徴を深く理解できる。

7）骨の特徴から性差を説明できる。

8）頭蓋骨から個人を特定する方法を説明できる。

9）警察の身元調査に歯科が重要な所見を与えることが理解できる。

10）歯の形態と人の顔貌の関連性を説明できる。

11）顔貌が人に与える心理的影響を説明できる。

12）歯の審美的な治療方法の概要を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	10/4	13:50-16:40	第3講義室, 305室 連携教育講義室, 歯学科第2講義室	塑像制作実習（課題説明、クロッキー）		藤原 彩人, 角田 優	実習:SBOs 1-3
4-6	10/4	13:50-16:40	遠隔授業（同期型）	美術解剖学（医療と造形の接点としての美術解剖学）	AL	宮永 美知代	講義:SBOs 4-6
7-9	10/11	13:50-16:40	第3講義室, 305室 連携教育講義室	塑像制作実習（心棒の制作、粘土練り、制作）		藤原 彩人, 角田 優	実習:SBOs 1-3
10-12	10/11	13:50-16:40	遠隔授業（同期型）	美術解剖学（顔をどう見るか）	AL	宮永 美知代	講義:SBOs 4-6
13-15	10/18	13:50-16:40	第3講義室, 305室 連携教育	塑像制作実習（制作）		藤原 彩人, 角田 優	実習:SBOs 1-3

			講義室				
16–18	10/18	13:50–16:40	遠隔授業（同期型）	美術解剖学（頭蓋と顔）	AL	宮永 美知代	講義:SBOs 4–6
19–21	10/25	13:50–16:40	第3講義室, 305 室連携教育講義室	塑像製作実習（制作）		藤原 彩人, 角田 優	実習:SBOs 1–3
22–24	10/25	13:50–16:40	遠隔授業（同期型）	美術解剖学（表情と顔）	AL	宮永 美知代	講義:SBOs 4–6
25–27	11/15	12:50–15:40	第3講義室, 305 室連携教育講義室	塑像製作実習（制作）		藤原 彩人, 角田 優	実習:SBOs 1–3
28–30	11/29	13:50–16:40	第3講義室, 305 室連携教育講義室, 歯学科第2講義室	塑像製作実習（仕上げ）		藤原 彩人, 角田 優	実習:SBOs 1–3
31–33	12/10	13:50–16:40	遠隔授業（同期型）	歯と顔貌（全体講義）			講義:SBOs 10–12
34–36	12/13	13:50–16:40	第3講義室, 305 室連携教育講義室	塑像制作実習（課題説明、クロッキー）		藤原 彩人, 角田 優	実習:SBOs 1–3
37–39	12/13	13:50–16:40	遠隔授業（同期型）	美術解剖学（医療と造形の接点としての美術解剖学）	AL	宮永 美知代	講義:SBOs 4–6
40–42	12/17	13:50–16:40	共用講義室1	科学捜査と復顔（全体講義）		宮坂 祥夫	講義:SBOs 7–9
43–45	12/20	13:50–16:40	第3講義室, 305 室連携教育講義室	塑像制作実習（心棒の制作、粘土練り、制作）		藤原 彩人, 角田 優	実習:SBOs 1–3
46–48	12/20	13:50–16:40	遠隔授業（同期型）	美術解剖学（顔をどう見るか）	AL	宮永 美知代	講義:SBOs 4–6
49–51	1/17	13:50–16:40	第3講義室, 305 室連携教育講義室	塑像制作実習（制作）		藤原 彩人, 角田 優	実習:SBOs 1–3
52–54	1/17	13:50–16:40	遠隔授業（同期型）	美術解剖学（頭蓋と顔）	AL	宮永 美知代	講義:SBOs 4–6
55–57	1/24	13:50–16:40	第3講義室, 305 室連携教育講義室	塑像製作実習（制作）		藤原 彩人, 角田 優	実習:SBOs 1–3
58–60	1/24	13:50–16:40	遠隔授業（同期型）	美術解剖学（表情と顔）	AL	宮永 美知代	講義:SBOs 4–6
61–63	1/31	13:50–16:40	第3講義	塑像制作実習（制作）		藤原 彩人,	実習:SBOs 1–3

			室, 305 室 連携教育 講義室			角田 優	
64-66	2/7	13:50-16:40	第3講義 室, 305 室 連携教育 講義室, 歯学科第 2 講義室	塑像製作実習（仕上げ）		藤原 彩人, 角田 優	実習:SBOs 1-3

成績評価の方法

・講義出席状況、レポート内容および適宜、実習態度の評価、作品の評価を行い、総括的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

実習前の講義の内容をよく理解して実習に臨むこと。

試験の受験資格

・4分の3以上出席を必要とする。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

備考

本ユニットにおいては一部アクティブラーニング（実習）を行う。

時間割番号	021023				
科目名	歯の解剖			科目ID	DD-230215-Z
担当教員	武智　正樹[TAKECHI MASAKI]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名：人体の構造と機能

コマ数：16＋3

授業形態：講義・実習

ユニット番号：15

授業の目的、概要等

ヒトの乳歯と永久歯の正常形態を学び、歯の形態の特徴と機能の関係を修得し、臨床科目との関連性を理解する。

歯の英語用語を理解するとともに、自己能力を認識し振り返りを通じた自己研鑽に務める。

授業の到達目標

1） 乳歯と永久歯の名称と、個々の歯の形態的特徴を説明できる。

2） 歯を正しく鑑別できる。

3） 歯列と咬合について説明できる。

4） 永久歯の形態異常を説明できる

5） 歯の英語用語を使用できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	10/13	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	永久歯の形態（1）	前歯、犬歯の形態と鑑別	武智　正樹	
4-6	10/18	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	永久歯の形態（2）	小臼歯の形態と鑑別	武智　正樹	
7-9	10/27	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	永久歯の形態（3）	大臼歯の形態と鑑別	武智　正樹	
10-12	10/29	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	乳歯の形態	乳前歯の形態と鑑別	武智　正樹	
13	11/10	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	乳歯の形態	乳犬歯、乳臼歯の形態と鑑別	武智　正樹	
14-16	12/6	09:00-11:50	歯学科第1講義室	歯の解剖実習	天然歯の観察	武智　正樹	対面実習
17-19	12/21	13:50-16:40	歯学科第1講義室	歯の解剖学試験		武智　正樹	

成績評価の方法

・歯のスケッチ、レポートで形成的評価をするとともに、筆記試験、実習試験の結果をもとに包括的評価をする。

準備学習等についての具体的な指示

講義で対象になった歯の鑑別を次の講義までに出来るようにしておくこと。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

歯の解剖学／藤田　恒太郎／原著,：金原出版, 1995

参考書

簡明歯の解剖学／三好作一郎 編著,:医歯薬出版, 1996

歯の解剖学入門／赤井三千男 編,:医歯薬出版, 1990

備考

本講義においては実習時にアクティブラーニングを行う。

担当教員の Office Hour

武智　正樹　随時(ただし必ず事前に連絡の事)takechi.emb@tmd.ac.jp

連絡先(メールアドレス)

武智　正樹:takechi.emb@tmd.ac.jp

オフィスアワー

武智　正樹:随時(事前に連絡すること)

時間割番号	021024				
科目名	歯型彫刻			**科目ID**	DD-330216-E
担当教員	大森　哲[OMORI SATOSHI]				
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名：人体の構造と機能

ユニットコマ数：27＋0

必要自習時間：5時間

授業形態：実習

ユニット番号：16

主な講義場所

補綴実習室、補綴示説室（7号館3階）

授業の目的、概要等

永久歯の歯冠の解剖学的形態を正確に理解し、歯冠形態を回復するための基本的技法を修得する。

授業の到達目標

1）ワックス棒を彫刻し、直線、曲線、点および面によって構成される種々の立体を造ることができる。

2）解剖学的歯冠形態を描画できる。

3）ワックス棒を彫刻し、解剖学的歯冠形態を造ることができる。

4）歯牙石膏半切模型にワックスを築盛し、歯冠形態を回復できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	6/18	09:00-11:50	補綴実習室, 3F示説室	上顎右側中切歯近心側ワックス修復	（AL）　実習・歯型彫刻	吉川　孝子	関連 SBOs 1,2,3,4
4-6	6/25	09:00-11:50	補綴実習室, 3F示説室	上顎右側第1大臼歯近心咬合面側ワックス修復	（AL）　実習・歯型彫刻	吉川　孝子	関連 SBOs 1,2,3,4
7-9	6/28	09:00-11:50	補綴実習室, 3F示説室	上顎右側第1小臼歯近心咬合面側ワックス修復	（AL）　実習・歯型彫刻	吉川　孝子	関連 SBOs 1,2,3,4
10-12	7/2	09:00-11:50	補綴実習室, 3F示説室	下顎右側第1大臼歯近心側ワックス修復	（AL）　実習・歯型彫刻	吉川　孝子	関連 SBOs 1,2,3,4
13-15	7/9	09:00-11:50	補綴実習室, 3F示説室	上顎左側第1大臼歯スケッチ, ワックス歯型彫刻	（AL）　実習・歯型彫刻	大森　哲, 吉田　隆義, 南　孝, 岡田　大蔵, 風間　龍之輔, 豊嶋　悠輔, 鈴木　啓之, 宮安　杏奈	関連 SBOs 1,2,3,4
16-18	7/30	09:00-11:50	補綴実習室, 3F示説室	上顎左側第1大臼歯ワックス歯型彫刻	（AL）　実習・歯型彫刻	大森　哲, 吉田　隆義, 南　孝, 岡田　大	関連 SBOs 1,2,3,4

						蔵, 風間 龍之輔, 豊嶋 悠輔, 鈴木 啓之, 宮安 杏奈	
19-21	9/3	09:00-11:50	補綴実習室, 3F 示説室	上顎左側第1大臼歯ワックス歯型彫刻	(AL)　実習・歯型彫刻	大森 哲, 吉田 隆義, 南 孝, 岡田 大蔵, 風間 龍之輔, 豊嶋 悠輔, 鈴木 啓之, 宮安 杏奈	関連 SBOs 1,2,3,4
22-24	9/10	09:00-11:50	補綴実習室, 3F 示説室	下顎左側第1大臼歯スケッチ, ワックス歯型彫刻	(AL)　実習・歯型彫刻	大森 哲, 吉田 隆義, 南 孝, 岡田 大蔵, 風間 龍之輔, 豊嶋 悠輔, 鈴木 啓之, 宮安 杏奈	関連 SBOs 1,2,3,4
25-27	9/17	09:00-11:50	補綴実習室, 3F 示説室	下顎左側第1大臼歯ワックス歯型彫刻	(AL)　実習・歯型彫刻	大森 哲, 吉田 隆義, 南 孝, 岡田 大蔵, 風間 龍之輔, 豊嶋 悠輔, 鈴木 啓之, 宮安 杏奈	関連 SBOs 1,2,3,4

成績評価の方法

実習への参加姿勢、提出された製作物による形成的評価を行い、別途行われる実技試験で包括的評価をする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に配布されるテキストを熟読の上、臨むこと。また歯の解剖学など、歯冠、歯根形態に関連する講義に関して十分復習を行い、知識を整理しておくこと。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

ユニット名：歯型彫刻

モジュールの単位判定

実習への参加姿勢、提出された製作物による形成的評価を行い、別途行われる実技試験で包括的評価をする。

参考書

・歯型彫刻実習は、実習の際にテキストが配布される。

履修上の注意事項

事前にテキストで予習して実習に臨むこと。

備考

本ユニットでは、アクティブラーニング（実習）を行う。

連絡先（メールアドレス）

大森　哲:s.omori.fpro@tmd.ac.jp

オフィスアワー

大森　哲:水・木・金　16:00-17:30　歯科棟 11 階 摂食機能保存学分野 第 6 研究室

時間割番号	021025				
科目名	患者と医療者			**科目ID**	DD-240300-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度通年	**対象年次**	2	**単位数**	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:62+5
授業形態:講義・実習
モジュール番号:3

授業の目的、概要等

歯科医師には、人体に関する生物学的な知識・技能だけでなく、医療人として適切に患者および社会に貢献するための人間性、いわゆるプロフェッショナリズムを備えていることが強く求められている。本授業では、将来プロフェッショナリズムに基づく歯科医療を実践するための基本的な知識、技能、態度を修得する。

授業の到達目標

ユニットごとに記載

成績評価の基準

ユニットごとに記載

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

ユニットごとに記載

構成ユニット

01 行動科学基礎
02 医の倫理
03 インフォームドコンセント
04 医療面接
05 チーム医療
06 医療安全と危機管理の基礎

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

教科書

歯科医療人間科学へのいざない／G.Kent, R.Croucher 著,新庄文明, 山崎久美子, 俣木志朗 監訳,:医歯薬出版, 2005

参考書

PMI ペリオドンタルモチベーショナルインタビューイング : 患者さんのやる気が変わる！ スタッフも楽しくなる！歯周治療を成功に導く世界標準のコミュニケーション技法／新田 浩 著・文・その他,新田 浩 監修,礪波健一 著・文・その他,礪波健一 監修,土岡弘明 著・文・その他,土岡弘明 監修,斎田寛之 著・文・その他,酒井和人 著・文・その他,関根 聡 著・文・その他,竹内祥吾 著・文・その他,武田浩平 著・文・その他,中村一寿 著・文・その他,奈良嘉峰 著・文・その他,福場駿介 著・文・その他,新田 浩,礪波健一,土岡弘明,斎田寛之,酒井和人,関根 聡,竹内祥吾,武田浩平,中村一寿,奈良嘉峰,福場駿介,:クインテッセンス出版, 2020-02-10

時間割番号	021026				
科目名	行動科学基礎			科目ID	DD-240301-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度通年	対象年次	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:患者と医療者

コマ数:17+0

授業形態:講義・演習・実習

ユニット番号:01

主な講義場所

講義・演習は 1 号館6階のゼミ室を使用する。

授業の目的、概要等

プロフェッショナリズムの実践に必要な知識・技能・態度を修得する。

授業の到達目標

1） プロフェッショナリズムの定義について説明する。

2） ノンテクニカルスキルについて説明する。

3） 自身の体験や考え、授業で提示された事例について医療プロフェッショナリズムの文脈で省察する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	5/14	09:00-10:50	遠隔授業（同期型）	オリエンテーション	講義	久田 登志子, 礪波 健一, 梅森 幸, 新田 浩	
3-4	5/19	13:50-15:40	遠隔授業（同期型）	障害者と社会	講義	久田 登志子, 礪波 健一, 梅森 幸, 長瀬 修	
5-6	5/28	09:00-10:50	遠隔授業（同期型）	地域医療と歯科医師	講義	礪波 健一, 梅森 幸, 久田 登志子, 渡邉 一成, 新田 浩	
7-8	6/18	09:00-10:50	遠隔授業（同期型）	訪問歯科の現場	講義	礪波 健一, 梅森 幸, 五島 朋幸, 久田 登志子, 新田 浩	
9-11	7/19	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	プロフェッショナリズムとノンテクニカルスキル	（AL） グループ演習	礪波 健一, 梅森 幸, 久田 登志子	
12-14	9/10	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	行動科学の理論	（AL） グループ演習	久田 登志子, 礪波 健一, 梅森 幸, 新田 浩	
15-17	9/24	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	行動科学の理論 総括	（AL） グループ演習	礪波 健一, 梅森 幸, 久田 登志子	

成績評価の方法

授業の参加状況、レポートの提出状況、レポートの内容を担当教員・指導者間で協議し、成績評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

「隻手の声」について知っておいてください。

試験の受験資格

本授業は試験は行わない。

モジュールの単位判定

全授業時間の3分の2以上の出席、レポートの遅滞ない提出を単位認定の必要条件とする。本年度は新型コロナウイルス感染予防のため、例年行われている学外施設での体験学習は行わないが、その代りとなるレポート課題を 8 月に行うこととする。本レポートの採点結果もモジュールの単位判定に用い、内容に不備があると判断された場合は再提出を課す。

参考書

歯科医療人間科学へのいざない／G.Kent, R.Croucher 著,新庄文明, 山崎久美子, 俣木志朗 監訳,：医歯薬出版, 2005

父滅の刃 ： 消えた父親はどこへ ： アニメ・映画の心理分析／樺沢紫苑著,樺沢, 紫苑,：みらいパブリッシング, 2020

基礎情報学 ： 生命から社会へ／西垣通 著,：NTT 出版, 2004

暗黙知の次元／マイケル・ポランニー 著,高橋勇夫 訳,：筑摩書房, 2003

現代思想 2017 年 11 月号 特集=エスノグラフィ ―質的調査の現在―／岸政彦：青土社, 2017

時間は存在しない／カルロ・ロヴェッリ 著,冨永星 訳,Rovelli, Carlo, 1956-,冨永, 星, 1955-,：NHK 出版, 2019

恐怖の表象 ： 映画/文学における〈竜殺し〉の文化史／西山智則 著,：彩流社, 2016

文化人類学の思考法／松村圭一郎, 中川理, 石井美保編,松村, 圭一郎,中川, 理,石井, 美保,：世界思想社, 2019

なぜ世界は存在しないのか／マルクス・ガブリエル 著,清水一浩 訳,Gabriel, Markus, 1980-,清水, 一浩, 1977-,：講談社, 2018

歯痛の文化史 ： 古代エジプトからハリウッドまで／ジェイムズ・ウィンブラント 著,忠平美幸 訳,Wynbrandt, James,忠平／美幸,：朝日新聞出版, 2017

履修上の注意事項

本授業で行うグループ演習はひとりひとりの積極的参加により、クラス全体としての学習効果があがるので、遅刻・欠席がないよう体調管理を心掛てください。体験学習は外部施設の仕事の現場に参加して行われます。社会人としての最低限のマナーが必要とされます。

備考

授業においては AL（小グループディスカッション、全体発表）を行う

時間割番号	021027				
科目名	医の倫理			科目ID	DD-240302-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:患者と医療者

コマ数:9＋1

授業形態:講義

ユニット番号:02

授業の目的、概要等

将来、適切な歯科医療あるいは歯学研究を実践、遂行するための、医療倫理に関する知識・技能を修得する。

授業の到達目標

1)医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。

2)ヒポクラテスの誓いを説明できる。

3)ジュネーブ宣言を説明できる。

4)生と死に関わる倫理的問題を説明できる。

5)シドニー宣言を説明できる。

6)患者の権利を説明できる。

7)リスボン宣言を説明できる。

8)患者の自己決定権を説明できる。

9)Jonsen の四分表について説明できる。

10)医療者の倫理的葛藤について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	10/1	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	医の倫理 歴史的経緯	講義	礪波 健一,梅森 幸	
4-6	10/6	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	医療者の遭遇する倫理的葛藤とその分析法について	(AL) 講義・グループ演習	礪波 健一,梅森 幸	
7-9	10/7	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	臨床倫理演習 まとめ	(AL) 講義・グループ演習	礪波 健一,梅森 幸	
10	12/3	09:00-09:50	歯学科第2講義室,歯学科第3講義室	試験	試験	礪波 健一	

成績評価の方法

・筆記試験と授業中の課題への取り組みにより評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

あなたは1日10人のペースで歯周病を完治することができる歯科医師だったとします。その評判を聞きつけて、あなたの歯科医院には1日100人の患者さんが訪れますが、とても治療がおいつきません。どのような対策を行うか考えておいてください。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

臨床倫理学 : 臨床医学における倫理的決定のための実践的なアプローチ／Albert R. Jonsen, Mark Siegler, William J. Winslade 著 ; [白浜雅司ほか訳],Jonsen, Albert R.,Siegler, Mark,Winslade, William J.,白浜, 雅司,赤林, 朗,蔵田, 伸雄,児玉, 聡,:新興医学出版社, 2006

参考書
医療の倫理／星野一正 著,星野一正,:岩波書店
備考
授業においては AL(小グループディスカッション、全体発表)を行う

時間割番号	021028				
科目名	インフォームドコンセント			科目ID	DD-240303-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:患者と医療者

コマ数:9＋1

授業形態:講義

ユニット番号:03

授業の目的、概要等

患者本位の歯科医療を実践するために、インフォームドコンセントに関する基礎的な知識、技能、態度を修得する。

授業の到達目標

1)インフォームドコンセントの定義と重要性を説明できる。

2)インフォームドコンセントの歴史的経過を説明できる。

3)インフォームドチョイスを説明できる。

4)ヘルシンキ宣言を説明できる。

5)インフォームドコンセントの問題点を説明できる。

6)患者の自己決定権を説明できる。

7)患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。

8)インフォームドコンセントについて、患者さんに解りやすい言葉で説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	10/8	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	インフォームドコンセントの歴史的背景	講義	礪波 健一, 梅森 幸	
4-6	10/20	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	インフォームドコンセントと判例	(AL) 講義・演習	礪波 健一, 梅森 幸, 伊藤 祐嗣	
7-9	10/22	13:50-16:40	遠隔授業(同期型)	インフォームドコンセントと value based medicine	講義	礪波 健一, 梅森 幸	
10	12/3	10:00-10:50	歯学科第2講義室, 歯学科第3講義室	試験		礪波 健一, 梅森 幸	

成績評価の方法

・筆記試験と授業出席状況により評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

自分自身が経験したインフォームド・コンセントについて説明できるようにしておいてください

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

インフォームド・コンセント : 医療現場における説明と同意／水野肇／著,:中央公論社, 1993

インフォームド・コンセント／森岡恭彦 著,:日本放送出版協会, 1994

医療現場の行動経済学 : すれ違う医者と患者／大竹文雄, 平井啓 編著,大竹, 文雄, 1961-,平井, 啓, 1972-,:東洋経済新報社, 2018

愛と怒りの行動経済学 : 賢い人は感情で決める／エヤル・ヴィンター著 ; 青木創訳,Winter, Eyal,青木, 創,:早川書房, 2017

価値に基づく診療 : VBP 実践のための 10 のプロセス／K.W.M.(ビル)フルフォード, エド ペイル, ハイディ キャロル 著,大西弘高, 尾藤誠司 監訳,Fulford, K. W. M,Peile, Ed,Carroll, Heidi,大西, 弘高,尾藤, 誠司,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016

参照ホームページ 授業においては AL（小グループディスカッション）を行う

時間割番号	021029				
科目名	医療面接			科目ID	DD-240304-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:患者と医療者

コマ数:9＋1

授業形態:講義

ユニット番号:04

授業の目的、概要等

患者との信頼関係を築くために、コミュニケーション、医療面接に関する基本的知識、技能、態度を修得する。

授業の到達目標

1)患者との信頼関係の構築に必要な要素を列挙できる。

2)信頼関係を確立するためのコミュニケーションについて説明できる。

3)コミュニケーションの目的と技法を概説できる。

4)医療面接の機能を説明できる。

5)患者の心理状態や社会的背景に配慮できる。

8)動機付けするためのコミュニケーション・スキルについて説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	10/27	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	医療面接の基礎知識	講義	礪波 健一,梅森 幸	
4-6	11/5	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	医療面接実習	(AL) 模擬患者実習	礪波 健一,梅森 幸	
7-9	11/12	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	動機付けのための面接スキル	講義	礪波 健一,梅森 幸	
10	12/3	12:00-12:50	歯学科第2講義室,歯学科第3講義室	試験		礪波 健一,梅森 幸	

成績評価の方法

・筆記試験とレポートにより評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

遠隔授業と直接の講義とでコミュニケーションでどのような違いが生じると思うか。自分の考えを説明できるようにしておいてください。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

メディカルインタビュー : 三つの機能モデルによるアプローチ／Steven A.Cole, Julian Bird [著],飯島克巳, 佐々木將人 訳:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2003

でんたるこみゅにけーしょん : 歯科医療面接総論／山田隆文 著,:学建書院, 2002

マイクロカウンセリング : "学ぶー使うー教える"技法の統合:その理論と実際／アレン・E. アイビイ 著,福原 真知子 訳編,椙山 喜代子訳編,國分 久子 訳編,楡木 満生 訳編,Ivey, Allen E. ,福原 真知子,椙山／喜代子,国分／久子,楡木／満生,:川島書店

精神の生態学／G.ベイトソン [著],Bateson, Gregory, 1904-1980,佐藤, 良明(1950-),:新思索社, 2000-02

ソシュールを読む／丸山圭三郎 [著],丸山, 圭三郎, 1933-1993,:講談社, 2012

文脈病 : ラカン/ベイトソン/マトゥラーナ／斎藤環 著,斎藤, 環, 1961-,:青土社, 2001

Social Construction　A READER／Mary Gergen, Kenneth J. Gergen：SAGE publications，2003

世界の医療界が変わった、MIの"問いかけ話法"／リン・カーライル 著,Carlisle, Lynn D,：オーラルケア，2019

動機づけ面接／ウイリアム・R・ミラー，ステファン・ロルニック 著,原井宏明 監訳,原井宏明，岡嶋美代，山田英治，黒澤麻美 訳,Miller, William Richard,Rollnick, Stephen, 1952−,原井，宏明,岡嶋，美代,山田，英治,：星和書店，2019

PMI ペリオドンタルモチベーショナルインタビューイング ： 患者さんのやる気が変わる！　スタッフも楽しくなる！歯周治療を成功に導く世界標準のコミュニケーション技法／新田 浩 著・文・その他,新田 浩 監修,礪波健一 著・文・その他,礪波健一 監修,土岡弘明 著・文・その他,土岡弘明 監修,斎田寛之 著・文・その他,酒井和人 著・文・その他,関根 聡 著・文・その他,竹内祥吾 著・文・その他,武田浩平 著・文・その他,中村一寿 著・文・その他,奈良嘉峰 著・文・その他,福場駿介 著・文・その他,新田 浩,礪波健一,土岡弘明,斎田寛之,酒井和人,関根 聡,竹内祥吾,武田浩平,中村一寿,奈良嘉峰,福場駿介,：クインテッセンス出版，2020−02−10

備考

授業においては AL（模擬患者実習）を行う

時間割番号	021030				
科目名	チーム医療			**科目ID**	DD-240305-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:患者と医療者

コマ数:9　試験1コマ

授業形態:講義・演習

ユニット番号:05

主な講義場所

遠隔授業(在宅学習)

授業の目的、概要等

将来、歯科医師として社会に貢献するために、社会における歯科医療とその重要性を理解し、歯科医療が組織として実践されることを学ぶことを目的とする。

授業の到達目標

授業の到達目標

1)チーム医療の必要性、成立に必要な基盤システムを説明する。

2)保健・医療・福祉の連携を理解し、歯科医師の役割を説明する。

3)医療チームや各構成員メンバー(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職)の役割と連携を説明する。

4)他の医療機関への紹介を行うための手続きを説明する。(処方箋、依頼書、報告書、紹介状、照会状など)

5)地域・病院における医療機関およびそれにかかわる組織(病院、保険団体、行政機関)を説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	1/6	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	チームとは何か	(AL)講義・演習　チームが必要となる目的やその形態、チームを運営する際に生じる課題などについて、講義・学生間の討論を通して学ぶ。	鶴田 潤, 則武 加奈子	ZoomID・PC は、後期に記載。
4-6	1/19	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	チームビルディングの基本	(AL)講義・演習　良いチームとは何か、また、そのチームを構成し、運営するために必要となる基本的事項について、講義・学生間の討論を通して学ぶ。	鶴田 潤, 則武 加奈子	ZoomID・PC は、後期に記載。
7-9	1/27	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	医療におけるチームとは	(AL)講義　チームの基本的事項を学んだ後、「医療」・「歯科医療」におけるチームの役割やその構成員について、講義・学生間の議論を通して学ぶ。	鶴田 潤, 則武 加奈子	ZoomID・PC は、後期に記載。
10	2/2	13:50-14:40	歯学科第1講義室	ユニット(05)試験	ユニット(05)試験	鶴田 潤, 則武 加奈子	第1講義室で対面試験として実施

授業方法

講義・討論(ペア・グループ)・演習

成績評価の方法

1)2022年2月2日(水)の多肢選択問題・論述問題による筆記試験(100点満点)

2)授業各回における平常点(最大8点)

3)出席状況(1コマ1点×9回+全出席1点:10点)

1）の筆記試験が60点に満たない者は、再試験とする。

以上について、

1）70%、2）100%、3）100%の得点を合計した評価として合わせ、モジュール「患者と医療者」の成績判定材料の一部となるユニットの最終成績付与を行う。

準備学習等についての具体的な指示

授業各回の講義・演習に際し、事前に20分程度の予習を行うことが必須となる。

試験の受験資格

（遠隔授業）授業履修者は、授業回数である9コマのうち、3分の2となる6回以上出席したものについて、ユニット受験資格を与える。

モジュールの単位判定

モジュール「患者と医療者」の単位判定に従う。

参考書

スタンダード社会歯科学 = STANDARD SOCIAL DENTISTRY／石井拓男, 尾﨑哲則, 平田創一郎, 平田幸夫 編集,石井, 拓男,尾崎, 哲則, 1956-,平田, 創一郎,：学建書院, 2018

歯科医療管理 = Dental Practice Management : 安全・安心・信頼の歯科医療を提供するために／日本歯科医療管理学会 編,日本歯科医療管理学会,：医歯薬出版, 2018

1. WHOドキュメント（和訳）専門職連携教育および連携医療のための行動の枠組み
（三重大学）
https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/70185/WHO_HRH_HPN_10.3_jpn.pdf

2. WHO　WHO 患者安全カリキュラムガイド多職種版について（東京医科大学）

有能なチームの一員であること

http://meded.tokyo-med.ac.jp/wp-content/themes/mededu/doc/news/who/WHO%20Patient%20Curriculum%20Guide_B_04.pdf

履修上の注意事項

＊　在宅受講が基本となるため、病気欠席の場合など、配慮が必要な場合の判断を行うことがあるので、欠席届については、教務係に必ず連絡すること。　＊＊　事前学習が必要な内容に関して、指示された学習を行なってこなかったことに起因する事象については配慮しない。　＊＊＊　遠隔授業受講に際しては、受信状況を整えての参加を行うこと。

備考

WebClass に必要情報を掲載する。

講義・討論（ペア・グループ）・演習　を行う。

時間割番号	021031				
科目名	医療安全と危機管理の基礎			科目ID	DD-240306-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:患者と医療者

コマ数:9　試験1コマ

授業形態:講義・演習

ユニット番号:06

主な講義場所

遠隔授業(在宅学習)

授業の目的、概要等

医療上の事故等(インシデント、医療過誤等を含む)は日常的に起こり得ることを認識し、将来安全で信頼される歯科医療を実践するために、歯科医療における安全性への配慮と危機管理に関する基本的な知識、考え方を学ぶ。

授業の到達目標

1)歯科医療における事故の特異性を説明できる。

2)医療事故はどのような状況で起こりやすいかを説明できる。

3)医療事故防止のためのリスク管理を説明できる。

4)基本的予防策(チェックリスト、フェイルセーフ等)の必要性を説明できる。

5)医療機関における安全管理体制を概説できる。

6)医療事故とニアミス、医療事故と医療過誤の違いを説明できる。

7)医療上の事故等(医療事故やニアミス等)の事例の原因を分析し、防止対策を説明できる。

8)医療上の事故等を防止するには、組織的なリスク管理が重要であることを説明できる。

9)医療上の事故等(医療事故やニアミス等)の可能性とその対応を説明できる。

10)医療安全に関連した法律・規則の基本的事項を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	12/15	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	医療安全　安全とは何か。 医療安全　安全を確保するために。	プレテスト　講義・演習 WebClass:　FDS20075 D2 患者と医療者	豊福 明, 樺沢 勇司, 木村 康之	
2	12/15	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	医療安全　安全とは何か。 医療安全　安全を確保するために。	(AL)　講義・演習　WebClass: FDS20075 D2 患者と医療者	豊福 明, 樺沢 勇司, 木村 康之	
3	12/15	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	医療安全　安全を確保するために。	(AL)　講義・演習　WebClass: FDS20075 D2 患者と医療者	豊福 明, 樺沢 勇司, 木村 康之	
4	1/5	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	危機管理　安全を脅かす要因	講義・演習　WebClass: FDS20075 D2 患者と医療者	豊福 明, 樺沢 勇司, 木村 康之	
5	1/5	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	危機管理　危機を回避するためには。	(AL)　講義・演習　WebClass: FDS20075 D2 患者と医療者	豊福 明, 樺沢 勇司, 木村 康之	
6	1/5	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	危機管理　危機はなぜ生じるのか。	(AL)　講義・演習　WebClass: FDS20075 D2 患者と医療者	豊福 明, 樺沢 勇司, 木村 康之	
7	1/17	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	医療安全　再び繰り返さないために。 分析の重要性	講義　WebClass:　FDS20075 D2 患者と医療者	豊福 明, 樺沢 勇司, 木村 康之	
8	1/17	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	医療安全　再び繰り返さないために。 分析の重要性	(AL)　講義・演習　WebClass: FDS20075 D2 患者と医療者	豊福 明, 樺沢 勇司, 木村 康之	

9	1/17	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	医療安全と危機管理の基礎　関連法規　復習	（AL）　講義　ポストテスト WebClass:　FDS20075 D2 患者と医療者	豊福 明, 樺沢 勇司, 木村 康之	

成績評価の方法

1ユニット試験受験要件:　なし。

出席の数え方:
WebClass にて、指定時間に、出席ボタンを押すこと。

ユニット試験:　100点満点　選択式・記述式の組み合わせ
60点以上の者を合格とする。
60点未満の者は、再試験とする。（再試験は、満点60点）

ユニット科目成績付与

・試験点素点より、減点分を減じた得点を成績得点とする。
・試験点素点と減点分の算出の結果、成績得点が90点以上の場合において、
最終記述問題の内容が優秀である場合にA＋を付与する。

減点要素（1コマ事）
（考慮すべき理由がある場合は、該当せず）
「無断早退」:　−2点　当日の小テストや点呼などで不在が明らかになった時点で判断。
「無断欠席」:　−5点

準備学習等についての具体的な指示

運輸業界における事故防止策・日常生活における家電などの事故防止策など、社会生活における事故防止策の具体例について、その目的や方法などの知識の獲得を予習とする。

試験の受験資格

（遠隔授業）授業履修者は、試験を受験する資格を有するものとする。

モジュールの単位判定

モジュール「患者と医療者」の単位判定に従う。

教科書

歯科医療管理 = Dental Practice Management : 安全・安心・信頼の歯科医療を提供するために／日本歯科医療管理学会 編,日本歯科医療管理学会,:医歯薬出版, 2018

スタンダード社会歯科学 = STANDARD SOCIAL DENTISTRY／石井拓男, 尾﨑哲則, 平田創一郎, 平田幸夫 編集,石井, 拓男,尾崎, 哲則, 1956−,平田, 創一郎,:学建書院, 2018

参考書

歯科衛生士のための歯科医療安全管理 = DENTAL SAFETY MANAGEMENT／尾﨑哲則, 白土清司, 藤井一維 編,尾崎, 哲則, 1956−,白土, 清司,藤井, 一維,:医歯薬出版, 2014

WHO Patient Safety Curriculum Guide: Multi-professional Edition 2011 ／ WHO : https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/44641/9789241501958_jpn.pdf;jsessionid=6D1178D2EF0442D566A57FE233AF5A5D?sequence=3, 2011

一から学ぶ歯科医療安全管理／海野雅浩, 小谷順一郎, 渋井尚武, 森崎市治郎 編,海野, 雅浩,小谷, 順一郎, 1948−,渋井, 尚武,:医歯薬出版, 2005

人は誰でも間違える : より安全な医療システムを目指して／Lコーン, J.コリガン, M.ドナルドソン 編,米国医療の質委員会, 医学研究所 著,医学ジャーナリスト協会 訳,Kohn, Linda T,Corrigan, Janet,Donaldson, Molla S,米国医学研究所,医学ジャーナリスト協会,:日本評論社, 2000

履修上の注意事項

＊　在宅受講が基本となるため、病気欠席の場合など、配慮が必要な場合の判断を行うことがあるので、欠席届については、教務係に必ず連絡すること。　＊＊　事前学習が必要な内容に関して、指示された学習を行なってこなかったことに起因する事象については配慮しない。　＊＊＊　遠隔授業受講に際しては、受信状況を整えての参加を行うこと。

備考

授業においては、講義のほか、演習・グループワークを行う。

参照ホームページ

公益財団法人日本医療機能評価機構　医療事故情報収集等事業. http://www.med-safe.jp/index.html

時間割番号	021032				
科目名	社会と環境			**科目ID**	DD-240400-L
担当教員	相田　潤[AIDA Junn]				
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	2	**単位数**	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

主な講義場所

各ユニットの講義場所を参照のこと。

授業の目的、概要等

各ユニットの目的、概要等を参照のこと。

授業の到達目標

各ユニットの到達目標を参照のこと。

成績評価の方法

各ユニットの成績評価の方法を参照のこと。

準備学習等についての具体的な指示

各ユニットの準備学習等についての具体的な指示を参照のこと。

試験の受験資格

各ユニットの受験資格を参照のこと。

構成ユニット

01　環境・社会と健康　　講義・演習
02　ライフスタイルと健康　講義
03　食生活と健康　　講義・演習

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

履修上の注意事項

各ユニットの履修上の注意事項を参照のこと。

時間割番号	021033				
科目名	環境･社会と健康			科目ID	DD-240401-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:社会と環境

コマ数:13(12+1)(必要自習時間 5 時間)

授業形態:講義・演習

ユニット番号:01

授業の目的、概要等

健康と社会制度や環境との関連を理解し、人々の健康の維持・増進を支援できる歯科医師となるために必要な知識、技能、態度を修得する。

授業の到達目標

1)公衆衛生の概念を説明できる。

2)環境による健康への影響を説明できる。

3)環境基準と環境汚染を説明できる。

4)主な保健医療統計を説明できる。

5)主な健康指標を説明できる。

6)調査方法と統計的分析法を説明できる。

7)疫学と EBM の概念を説明できる。

8)スクリーニング検査を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	11/8	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	衛生の主要指標　公衆衛生学総論	(AL)　講義・演習　WebClass: FDS*****　D2 社会と環境	佐々木 好幸	
2	11/8	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	人口統計　人口静態、人口動態	(AL)　講義・演習　WebClass: FDS*****　D2 社会と環境	佐々木 好幸	
3	11/8	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	人口問題　生命表	(AL)　講義・演習　WebClass: FDS*****　D2 社会と環境	佐々木 好幸	
4	11/17	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	疫学1　疫学総論、疫学史	(AL)　講義・演習　WebClass: FDS*****　D2 社会と環境	佐々木 好幸	
5	11/17	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	疫学2　疫学研究のデザインと分類	(AL)　講義・演習　WebClass: FDS*****　D2 社会と環境	佐々木 好幸	
6	11/17	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	疫学3　臨床疫学	(AL)　講義・演習　WebClass: FDS*****　D2 社会と環境	佐々木 好幸	
7	11/24	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	環境保健1　空気の成分、騒音	(AL)　講義・演習　WebClass: FDS*****　D2 社会と環境	佐々木 好幸	
8	11/24	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	環境保健2　温熱環境	(AL)　講義・演習　WebClass: FDS*****　D2 社会と環境	佐々木 好幸	
9	11/24	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	環境保健3　水質	(AL)　講義・演習　WebClass: FDS*****　D2 社会と環境	佐々木 好幸	
10	11/26	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	廃棄物処理	(AL)　講義・演習　WebClass: FDS*****　D2 社会と環境	佐々木 好幸	
11	11/26	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	食品衛生　HACCP、食中毒	(AL)　講義・演習　WebClass: FDS*****　D2 社会と環境	佐々木 好幸	
12	11/26	14:50-15:40	遠隔授業	感染対策　感受性対	(AL)　講義・演習　WebClass:	佐々木 好幸	

			（同期型）	策、感染源対策、感染経路対策	FDS***** D2 社会と環境		
13	2/4	10:00-10:50	歯学科第2講義室, 歯学科第3講義室	試験		佐々木 好幸	

成績評価の方法

・筆記試験を総括的評価とする。

・講義・演習中の形成的評価結果を加点する。

準備学習等についての具体的な指示

シラバスに沿った内容を参考書で予習しておくこと。

配布プリントの記載内容のすべてを講義できないため復習が必要である。

試験の受験資格

・3 分の 2 以上の出席を必要とする。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

衛生学・公衆衛生学. Principles of environmental and public health／宮武光吉, 渡邊達夫, 雫石聰, 川口陽子 編,:医歯薬出版, 2015

歯科国試 KEY WORDS TOPICS／DES 歯学教育スクール 編,:テコム出版事業本部, 2018

図説 国民衛生の動向 2020/2021:厚生労働統計協会, 2020

国民衛生の動向 2020/2021（第 67 巻第 9 号）、厚生労働統計協会

履修上の注意事項

・講義資料は前日夕方までに WebClass にアップロードするので各自ダウンロードすること。 ・Zoom を用いた同期型授業であり、各コマの開始時刻に出欠の判定を行う。 ・講義の途中で無断退出した者は欠席とする。講師からの呼びかけに応じない場合も欠席とする。 ・Zoom を用いた講義と併用して「Kahoot!」 https://kahoot.it/ を用いた演習を行い、成績上位者には定期試験の点数を加点する。

備考

講義中に随時、形成的評価のための演習を行う。

時間割番号	021034				
科目名	ライフスタイルと健康			科目ID	DD-240402-L
担当教員	相田 潤, 財津 崇[AIDA Junn, ZAITSU TAKASHI]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:社会と環境

コマ数:10(9+1)(必要自習時間5時間)

授業形態:講義

ユニット番号:02

主な講義場所

第1講義室

授業の目的、概要等

健康とライフスタイル・生活習慣との関連を理解し、人々の健康の維持・増進を支援できる歯科医師となるために必要な知識、技能、態度を習得する。

授業の到達目標

1) 健康、障害と疾病の概念を説明できる。
2) 口腔と全身の健康との関連を説明できる。
3) 地域における保健・医療・福祉・介護の連携(地域包括ケアシステム)を説明できる。
4) 疾病の自然史と第一次、第二次、第三次予防を説明できる。
5) プロフェッショナルケア、セルフケア、コミュニティケアを説明できる。
6) プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを説明できる。
7) 非感染性疾患の予防を説明できる。
8) 人の行動と心理および健康行動を説明できる。
9) 主な保健医療統計を説明できる。
10)主な健康指標を説明できる。
11)災害時の歯科保健医療の必要性を説明できる。
12)遠隔歯科医療・健康管理システムを説明できる。
13)国際歯科保健医療活動を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	1/5	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	健康の社会的決定要因	相田 潤, 大城 暁子, 財津 崇
4-6	1/12	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	ヘルスプロモーション	相田 潤, 大城 暁子, 財津 崇
7-9	1/19	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	国民の口腔保健状況、遠隔歯科診療	相田 潤, 大城 暁子, 財津 崇

成績評価の方法

・筆記試験(9 割)とレポート(1 割)を総括的評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

健康は社会制度、環境、生活習慣、栄養など多くの要因と密接に関連している。自然科学のみならず、社会科学や人文科学など他分野にわたる知識を得るための準備学習が必要である。

試験の受験資格

・3 分の 2 以上の出席を必要とする。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

新編衛生学・公衆衛生学／安井利一・尾崎哲則・埴岡隆・森田学・山下喜久・岸光男・嶋崎義浩 編:医歯薬出版, 2021
シンプル衛生公衆衛生学 2021／辻 一郎 編集,小山 洋 編集,辻 一郎,小山 洋,:南江堂, 2021-03-09

参考書

The Strategy of preventive medicine／GeoffreyRose,Geoffrey, Rose,：Oxford University Press, 1994

Oral Epidemiology: A Textbook on Oral Health Conditions, Research Topics and Methods／Marco A. Peres (編集), Jose Leopoldo Ferreira Antunes (編集), Richard G. Watt (編集)：Springer, 2020

履修上の注意事項

・基本的に出欠管理システムによって出欠の判定を行うが、授業の中で出欠を取る場合もある　・講義の途中で、無断退出した者は欠席とする。

連絡先（メールアドレス）

財津　崇:zaitsu.ohp@tmd.ac.jp

時間割番号	021035				
科目名	食生活と健康			科目ID	DD-240403-L
担当教員	品田　佳世子[SHINADA KAYOKO]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

タイトル：食生活と健康

モジュール名：社会と環境

ユニット番号：03

授業形態：講義

コマ数：9＋1（必要自習時間 2 時間）

主な講義場所

遠隔授業：主として非同期型で行い、WebClass 上のコースに授業をアップする。同期型で行う場合は、シラバスおよび WebClass の掲示板で連絡する。

授業の目的、概要等

健康づくりの基本となる栄養・食生活を理解し、口腔の健康との関連を説明できる。

授業の到達目標

1） 日本人の栄養・食生活の現状を説明できる。

2） 食育、食事摂取基準を説明できる。

3） 臨床栄養・栄養アセスメントについて説明できる。

4） 口腔の健康と栄養・食生活との関連を説明できる。

5） 栄養・食生活の改善方法を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	12/17	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	国民健康・栄養調査、健康日本 21（第 2 次）栄養・食生活、食事摂取基準、食生活指針	国民健康・栄養調査、健康日本 21（第 2 次）栄養・食生活、食事摂取基準、食生活指針	品田　佳世子	WebClass のコース（歯学科第 2 学年）内の「食生活と健康」に非同期授業をアップする。質問は掲示板またはユニット責任者へメールする。課題提示予定。
4-6	1/7	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	病態栄養、病院における栄養管理、食育基本法、食品衛生	病態栄養、病院における栄養管理、食育基本法、食品衛生	品田　佳世子, 豊島　瑞枝	WebClass の「食生活と健康」に非同期授業をアップ、前回授業の知識確認小テスト 1、演習（AL）と解説。課題に関する説明。
7-9	1/14	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	口腔保健とライフステージ別の食育、う蝕と糖質、代用甘味料、口腔疾患と栄養・食生活	口腔保健とライフステージ別の食育、う蝕と糖質、代用甘味料、口腔疾患と栄養・食生活	品田　佳世子	WebClass の「食生活と健康」に非同期授業をアップ、前回授業の知識確認小テスト 2、演習（AL）と解

							説。課題提出について。
10	2/4	09:00-09:50	歯学科第1講義室	授業内容に関する知識確認試験	授業内容に関する知識確認試験	品田 佳世子	対面による知識確認試験予定(場合によってはWebClass上の試験の場合あり)

授業方法

非同期授業が主であり、WebClass のコース上に授業がアップされる。ただし、一部、同期授業になる場合があるので、その際は、WebClass の掲示板にて連絡する。小テスト、演習を適宜行う。

授業内容

授業は到達目標が達成でき、知識を修得し、それに関して説明できるようにする。小テスト・解説を適宜行い、知識が確実に修得できるようにする。演習を行ったり、課題を課すことがあり、その際は、発表、ディスカッションを行う。

成績評価の方法

課題提出 10%、筆記試験(対面試験および WebClass 上の小テストの結果を勘案する)90%を総括的に評価とする。

成績評価の基準

授業に関する知識が修得されていること(筆記試験60 点以上)を合格とする。なお、B の基準は課題内容と筆記試験の合計が 70 点以上とし、A 以上の評価は総合的評価点が 80 点以上とする。

準備学習等についての具体的な指示

食事バランスガイドについて、1 年次(教養科目)の講義を復習しておく。適宜、知識確認の小テストを WebClass 上で行うので、前回の授業内容を復習し、小テストを事前に行ってから解説を参照すること。

試験の受験資格

・3 分の 2 以上の出席(遠隔授業の場合は視聴記録を確認する)を必要とする。
非同期型の遠隔授業は授業日程後も視聴可能であるので、試験前日までの視聴を確認する。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

八訂 食品成分表 2021／香川 明夫 監修,香川 明夫,:女子栄養大学出版部, 2021-02-28
日本人の食事摂取基準 : 厚生労働省「日本人の食事摂取基準」策定検討会報告書／伊藤貞嘉, 佐々木敏 監修,伊藤, 貞嘉, 1954-,佐々木, 敏, 1957-,:第一出版, 2020

備考

担当教員(3時間):豊島瑞枝 東京医科歯科大学歯学部附属病院 管理栄養士

参照ホームページ

厚生労働省ホームページ 国民健康・栄養調査結果の概要、食事摂取基準、健康日本 21(第 2 次)
農林水産省ホームページ 食育、食事バランスガイド等

連絡先(メールアドレス)

shinada.ohp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月曜日～金曜日 AM.10:00-PM.6:00 1 号館西 8 階品田教授室

時間割番号	021036				
科目名	生命の分子的基盤			**科目ID**	DD-230500-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	2	**単位数**	5
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:102+4

授業形態:講義・演習・実習

モジュール番号:05

主な講義場所

講義は原則オンライン、実習については基礎実習室とオンラインを利用

授業の目的、概要等

生命現象の物質的基盤を細胞という生命単位を中心に理解する。生命を構成する分子とその代謝を理解し、硬組織生化学の分子的基盤を理解する。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

ユニットごとの受験資格を参照すること。

構成ユニット

01 生命を構成する分子とその代謝

02 遺伝の分子的基盤

03 細胞機能の分子的基盤

04 硬組織生化学の分子的基盤

05 生命の分子的基盤実習

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

教科書

口腔生化学／畑隆一郎 [ほか]編著,早川太郎, 須田立雄, 木崎治俊 監修,:医歯薬出版, 2011

はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学 : 生物学を学んでいない人でもわかる目で見る教科書／前野正夫, 磯川桂太郎 著,:羊土社, 2008

ヒューマンバイオロジー : 人体と生命／シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳,:医学書院, 2005

参考書

生化学・分子生物学／William H. Elliott, Daphne C. Elliott [著],:東京化学同人, 2007-02

備考

モジュール責任者:渡部徹郎

オフィスアワー:随時。メールで連絡してください。

メールアドレス:t-watabe.bch@tmd.ac.jp

時間割番号	021037				
科目名	生命を構成する分子とその代謝			**科目ID**	DD-230501-L
担当教員	中濵 健一[NAKAHAMA KENICHI]				
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:生命の分子的基盤

コマ数:21＋1

必要自習時間 1時間/日

授業形態:講義・演習

ユニット番号:01

主な講義場所

第1講義室

授業の目的、概要等

生命を構成する分子とその代謝を理解する。

授業の到達目標

1） タンパク質の構造と生物学的機能の関係について理解し、説明できる。

2） 酵素の働きとその調節機構について理解し、説明できる。

3） 糖代謝とエネルギー生成の仕組みを説明できる。

4） 脂質代謝の仕組みを説明できる。

5） アミノ酸、核酸の代謝の仕組みを説明できる。

6） 物質代謝の制御による生体機能の調節について説明できる。

7） 代謝とその異常について理解し説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	11/1	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	ガイダンス	ガイダンス	中濵 健一	9:50-10:50 Zoom による講義
2-4	11/19	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	タンパク質	タンパク質の1次構造から 4 次構造	中濵 健一	Zoom による講義
5-7	11/26	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	酵素	代謝を担う酵素の種類・機能・酵素反応速度、酵素阻害剤	中濵 健一	Zoom による講義
8-10	11/29	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	糖代謝	解糖系・クエン酸回路・電子伝達系	中濵 健一	Zoom による講義
11-13	12/6	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	脂質代謝	脂質合成・分解	中濵 健一	Zoom による講義
14-16	12/8	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	アミノ酸・核酸代謝	窒素代謝	中濵 健一	Zoom による講義
17-19	12/22	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	代謝の統合	糖代謝・脂質代謝・アミノ酸/核酸代謝の関わり	中濵 健一	Zoom による講義
20-22	1/4	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	代謝・演習	(AL)生化学から理解する臨床症状	中濵 健一	Zoom による演習
23	2/14	11:00-11:50	歯学科第1講義室	試験		中濵 健一	対面による試験

成績評価の方法

・適宜小テスト等を行い（チャット形式にて解答）、形成的評価を行う。

・2 月 14 日に筆記試験を行い、総括的評価を行う

準備学習等についての具体的な指示

授業前に必ず予習を行い、積極的に授業に望むこと。具体的には、教科書指定されている図書を参照しながら、配布されたプリントの概略の理解に努める事。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

生化学・分子生物学／William H.Elliott, Daphne C.Elliott [著],清水孝雄, 工藤一郎 訳,:東京化学同人, 2007

はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学 : 生物学を学んでいない人でもわかる目で見る教科書／前野正夫, 磯川桂太郎 著,:羊土社, 2008

参考書

ストライヤー生化学／Jeremy M.Berg, John L.Tymoczko, Lubert Stryer 著,入村達郎, 岡山博人, 清水孝雄 監訳,:東京化学同人, 2004

生化学／キャンベル, ファーレル [著],川嵜敏祐 監訳,:廣川書店, 2004

カラー図解人体の正常構造と機能／坂井建雄, 河原克雅 総編集,:日本医事新報社, 2008

ハーパー生化学／Robert K.Murray [ほか著],:丸善, 2001-01

口腔生化学／畑隆一郎 [ほか]編著,早川太郎, 須田立雄, 木崎治俊 監修,:医歯薬出版, 2011

ヒューマンバイオロジー : 人体と生命／シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳,:医学書院, 2005

備考

1 月 4 日にブレイクアウトルームに少人数割り当て、課題を解き、プレゼンテーションをする（演習）。

連絡先（メールアドレス）

nakacell@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週 水・木曜日 17:00 以降 M&D タワー6階 分子細胞機能学准教授室 (N-609)

時間割番号	021038				
科目名	遺伝の分子的基盤			**科目ID**	DD-230502-L
担当教員	小林　美穂[KOBAYASHI Miho]				
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:生命の分子的基盤

コマ数:16＋1

授業形態:講義

ユニット番号:01

主な講義場所

ZOOM および Webclass

授業の目的、概要等

遺伝情報の物質的な基盤と遺伝子発現への流れについて説明できる。

授業の到達目標

1） 細胞構造と遺伝情報の流れについて相互の関係が説明できる。

2） DNA の構造とその複製機構が説明できる。

3） RNA の構造と転写の機構が説明できる。

4） タンパク質の合成とその分配機構が説明できる。

5） 遺伝子発現の制御機構が説明できる。

6） 塩基配列の変化を伴わない遺伝子機能の変化を説明できる。

7） ガンに関するゲノム情報について説明出来る

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/22	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	ガイダンス：生命の分子的基盤モジュール	ガイダンス：細胞機能の分子的基盤ユニット	横山　三紀	Webclass
2	11/1	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	ガイダンス：生命の分子的基盤モジュール	ガイダンス：遺伝の分子的基盤ユニット	小林　美穂	Zoom
3	11/1	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	ガイダンス：生命の分子的基盤モジュール	ガイダンス：生命を構成する分子とその代謝ユニット	中濵　健一	Zoom
4	11/1	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	ガイダンス：生命の分子的基盤モジュール	ガイダンス：硬組織生化学の分子的基盤ユニット	中島　友紀	Zoom
5	11/12	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	遺伝の分子的基盤	DNA の構造とその複製機構について	小林　美穂	Zoom
6	11/12	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	遺伝の分子的基盤	DNA の構造とその複製機構について	小林　美穂	Zoom
7	11/12	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	遺伝の分子的基盤	RNA の構造と転写機構について	小林　美穂	Zoom
8	11/18	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	遺伝の分子的基盤	RNA の構造と転写機構について	小林　美穂	Zoom
9	11/18	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	遺伝の分子的基盤	タンパク質の合成とその分配機構について	小林　美穂	Zoom
10	11/18	15:50-16:40	遠隔授業（同期型）	遺伝の分子的基盤	タンパク質の合成とその分配機構について	小林　美穂	Zoom
11	12/1	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	遺伝の分子的基盤	遺伝子発現の制御機構と、塩基配列の変化を伴わない遺伝子機能の変化について	小林　美穂	Zoom

12	12/1	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	遺伝の分子的基盤	遺伝子発現の制御機構と、塩基配列の変化を伴わない遺伝子機能の変化について	小林 美穂	Zoom
13	12/1	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	遺伝の分子的基盤	遺伝子発現の制御機構と、塩基配列の変化を伴わない遺伝子機能の変化について	小林 美穂	Zoom
14	12/14	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	遺伝の分子的基盤	ガンに関するゲノム情報について	渡部 徹郎	Webclass
15	12/14	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	遺伝の分子的基盤	ガンに関するゲノム情報について	渡部 徹郎	Webclass
16	12/14	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	遺伝の分子的基盤	ガンに関するゲノム情報について	渡部 徹郎	Webclass
17	2/4	11:00-11:50	歯学科第1講義室	遺伝の分子的基盤	ユニット試験	小林 美穂	対面試験

成績評価の方法

2022 年 2 月 4 日に対面による筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

高校の化学および生物の教科書に書かれている内容を充分に理解していることが前提で講義を行います。従って、高校の化学および生物の理解が不充分と思われる学生諸君は、しっかりと復習しておくこと。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

ユニット名：遺伝の分子的基盤

モジュールの単位判定

各ユニットごとに成績判定を行い、その上でモジュールの単位判定を行う。

教科書

はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学／前野正夫, 磯川桂太郎著,前野, 正夫,磯川, 桂太郎,：羊土社, 2008

エリオット生化学・分子生物学／Despo Papachristodoulou [ほか] 著 ; 村上誠, 原俊太郎, 中村元直訳,Papachristodoulou, Despo K.,Snape, Alison,Elliott, W. H.,Elliott, Daphne C.,村上, 誠,原, 俊太郎,中村, 元直,：東京化学同人, 2016

口腔生化学／畑隆一郎 [ほか]編著,早川太郎, 須田立雄, 木崎治俊 監修,畑, 隆一郎, 1944-,早川, 太郎, 1934-,須田, 立雄, 1935-,木崎, 治俊, 1941-,：医歯薬出版, 2011

, 2018

参考書

分子細胞生物学／H. Lodish [ほか著] ; 石浦章一 [ほか] 訳,Lodish, Harvey F.,Berk, Arnold,Kaiser, Chris,Krieger, Monty,Bretscher, Anthony,Ploegh, Hidde L.,Amon, Angelika,Scott, Matthew P.,石浦, 章一,榎森, 康文,堅田, 利明,須藤, 和夫,仁科, 博史,山本, 啓一,：東京化学同人, 2016

ストライヤー生化学／Jeremy M. Berg [ほか] 著,Berg, Jeremy M.,Tymoczko, John L.,Gatto, Gregory J. (Gregory Joseph), Jr,Stryer, Lubert,入村, 達郎,岡山, 博人,清水, 孝雄,仲野, 徹,：東京化学同人, 2018

細胞の分子生物学／Bruce Alberts [ほか] 著 ; 青山聖子 [ほか] 翻訳,Alberts, Bruce,Johnson, Alexander D.,Lewis, Julian,Morgan, David Owen,Raff, Martin C.,Roberts, K. (Keith),Walter, Peter,青山, 聖子,斉藤, 英裕,滋賀, 陽子,田口, マミ子,滝田, 郁子,中塚, 公子,羽田, 裕子,船田, 晶子,宮下, 悦子,中村, 桂子,松原, 謙一,：ニュートンプレス, 2017

時間割番号	021039				
科目名	細胞機能の分子的基盤			科目ID	DD-230503-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:生命の分子的基盤

コマ数:24+1

授業形態:講義

ユニット番号:03

主な講義場所

講義は遠隔非同期、期末試験のみ第1講義室

授業の目的、概要等

生命現象を理解するために生体膜の構造と機能を関連づける。

授業の到達目標

1） 生体膜の基本構造を説明できる。

2） 生体分子(低分子)が膜を横切って移動する仕組みを説明できる。

3） タンパク質が細胞内の異なったコンパートメントに局在化・移動する仕組みを説明できる。

4） 細胞骨格の構造と役割を説明できる。

5） 細胞外マトリックスの構造と役割を説明できる。

6） 細胞内情報伝達経路の仕組みを説明できる。

7） 細胞周期、細胞分裂、細胞死の仕組みを説明できる。

8） 唾液の生成の仕組みを説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	11/24	12:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	生体膜の基本構造　低分子の膜輸送	生体膜の機能　脂質分子による生体膜の形成　受動輸送に関わる分子　能動輸送に関わる分子	横山 三紀
4-6	12/1	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	細胞内小器官・細胞内輸送　細胞骨格	細胞内小器官の機能　細胞内小器官へのタンパク質局在化(翻訳中輸送、核輸送)　アクチンフィラメント、微小管、中間型フィラメントの構造と機能	横山 三紀
7-9	12/3	13:50-16:40	遠隔授業(非同期型)	シグナル伝達 1	能動輸送に関わる分子　エンドサイトーシスとエキソサイトーシス	横山 三紀
10-12	12/7	12:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	シグナル伝達 2	細胞内小器官の機能　細胞内小器官へのタンパク質局在化(翻訳中輸送、核輸送)	横山 三紀
13-15	12/22	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	細胞死　細胞周期	細胞死の役割　計画的細胞死の進行の分子機構	横山 三紀
16-18	1/17	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	細胞外マトリックス 1　学生実習の説明	コラーゲンの構造と機能	井上 カタジナアンナ
19-21	1/24	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	細胞外マトリックス 2	プロテオグリカンの構造と機能	井上 カタジナアンナ
22-24	1/28	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	唾液腺の生化学	(AL)　唾液腺の構造と機能	横山 三紀
25	2/15	10:00-10:50	第1講義室	試験		横山 三紀

成績評価の方法

2022 年 2 月 15 日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・遠隔非同期の講義を3分の2以上は閲覧していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

口腔生化学／畑隆一郎 [ほか]編著,早川太郎, 須田立雄, 木崎治俊 監修,:医歯薬出版, 2011

参考書

徹底レクチャー唾液・唾液腺／日本唾液腺学会 編,吉原俊雄 監修,:金原出版, 2016

・「エリオット 生化学・分子生物学、第 3 版」 エリオットら(東京化学同人)

・「カープ 分子細胞生物学」 カープら(東京化学同人)

・「ストライヤー 生化学」 L Stryer ら(東京化学同人)

・「唾液・唾液腺」日本唾液腺学会編 (金原出版)

備考

唾液腺に関する原著論文からのアクティブラーニングをおこなう。

時間割番号	021040				
科目名	硬組織生化学の分子的基盤			科目ID	DD-230504-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:生命の分子的基盤

コマ数:21＋1

授業形態:講義

ユニット番号:04

主な講義場所

第1講義室

授業の目的、概要等

歯や骨など硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤知識を養う。

授業の到達目標

1)骨芽細胞の機能を説明できる。

2)破骨細胞の機能を説明できる。

3)硬組織の病態を説明できる。

4)骨・軟骨代謝に関わる調節因子を理解できる。

5)カルシウム代謝と骨疾患の病態を理解できる。

6)歯および骨発生の分子メカニズムを説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	12/13	09:00-09:50	歯学科第 1 講義室	硬組織概論	中島 友紀
2	12/13	10:00-10:50	歯学科第 1 講義室	硬組織概論	中島 友紀
3	12/13	11:00-11:50	歯学科第 1 講義室	硬組織概論	中島 友紀
4	12/15	09:00-09:50	歯学科第 1 講義室	歯と骨の発生	小野 岳人
5	12/15	10:00-10:50	歯学科第 1 講義室	歯と骨の発生	小野 岳人
6	12/15	11:00-11:50	歯学科第 1 講義室	歯と骨の発生	小野 岳人
7	12/20	09:00-09:50	歯学科第 1 講義室	骨の形成	中島 友紀
8	12/20	10:00-10:50	歯学科第 1 講義室	骨の形成	中島 友紀
9	12/20	11:00-11:50	歯学科第 1 講義室	骨の形成	中島 友紀
10	1/21	09:00-09:50	歯学科第 1 講義室	骨の破壊	林 幹人
11	1/21	10:00-10:50	歯学科第 1 講義室	骨の破壊	林 幹人
12	1/21	11:00-11:50	歯学科第 1 講義室	骨の破壊	林 幹人
13	1/26	09:00-09:50	歯学科第 1 講義室	骨代謝とサイトカイン	林 幹人
14	1/26	10:00-10:50	歯学科第 1 講義室	骨代謝とサイトカイン	林 幹人
15	1/26	11:00-11:50	歯学科第 1 講義室	骨代謝とサイトカイン	林 幹人
16	1/28	12:50-13:40	歯学科第 1 講義室	カルシウム代謝とホルモン	中島 友紀
17	1/28	13:50-14:40	歯学科第 1 講義室	カルシウム代謝とホルモン	中島 友紀
18	1/28	14:50-15:40	歯学科第 1 講義室	カルシウム代謝とホルモン	中島 友紀
19	2/3	12:50-13:40	歯学科第 1 講義室	硬組織病態生化学	小林 美穂
20	2/3	13:50-14:40	歯学科第 1 講義室	硬組織病態生化学	小林 美穂
21	2/3	14:50-15:40	歯学科第 1 講義室	硬組織病態生化学	小林 美穂
22	2/15	11:00-11:50	歯学科第 1 講義室	試験	中島 友紀

成績評価の方法

試験による総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

授業前に予習を行い、授業および試験にのぞむこと。

試験の受験資格

全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

教科書

口腔生化学：医歯薬出版

はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学：羊土社

参考書

口腔生化学(医歯薬出版株式会社)

はじめの一歩の生化学・分子生物学(羊土社)

骨ペディア(羊土社)

生化学・分子生物学　エリオット（東京化学同人）

ヒューマンバイオロジー(医学書院)

骨研究がわかる（羊土社）

新 骨の科学 （医歯薬出版株式会社）

Osteoimmunology: Interactions of the Immune and Skeletal Systems, San Diego, CA:ELSEVIER, 2010

備考

担当教員の Office Hour：

小野岳人　助教（分子情報伝達学分野）月-金（事前メール連絡後）17：00 以降

ono.csi@tmd.ac.jp

林幹人　助教（分子情報伝達学分野）月-金（事前メール連絡後）17：00 以降

hayashi.csi@tmd.ac.jp

中島友紀　教授（分子情報伝達学分野）月-金（事前メール連絡後）17：00 以降　　naka.csi@tmd.ac.jp

渡部徹郎　教授（硬組織病態生化学分野）メールで連絡してください t-watabe.bch@tmd.ac.jp

小林美穂　助教（硬組織病態生化学分野）メールで連絡してください miho-k.bch@tmd.ac.jp

時間割番号	021041				
科目名	生命の分子的基盤実習			科目ID	DD-230505-E
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:生命の分子的基盤

コマ数:18+0

授業形態:講義・演習

ユニット番号:05

主な講義場所

基礎実習室

授業の目的、概要等

生命を構成する主要な分子(核酸、タンパク質)の性質について実習を通して理解する。

授業の到達目標

1)核酸の性質を理解し、核酸研究方法を習得する。

2)タンパク質の性質を知るための生化学的手法を学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	1/7	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	実習(分子生物学実験)	中島 友紀, 中濵 健一, 佐々木 純子, 長谷川 純矢, 小野 岳人, 林 幹人	遠隔
4-6	1/11	13:50-16:40	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	実習(分子生物学実験)	中島 友紀, 中濵 健一, 佐々木 純子, 長谷川 純矢, 小野 岳人, 林 幹人	
7-9	1/12	13:50-16:40	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	実習(分子生物学実験)	中島 友紀, 中濵 健一, 佐々木 純子, 長谷川 純矢, 小野 岳人, 林 幹人	
10-12	1/21	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	実習(生化学実験)	井上 カタジナアンナ, 渡部 徹郎, 横山 三紀, 中濵 健一, 小林 美穂	遠隔
13-15	1/25	13:50-16:40	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	実習(生化学実験)	井上 カタジナアンナ, 渡部 徹郎, 横山 三紀, 中	

						濵 健一, 小林 美穂	
16-18	1/26	13:50-16:40	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	実習(生化学実験)	井上 カタジナアンナ, 渡部 徹郎, 横山 三紀, 中濵 健一, 小林 美穂	

成績評価の方法

・レポート作成

準備学習等についての具体的な指示

実習前に必ず予習を行い、積極的に実習に望むこと。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・WebClass の教材を4分の3以上視聴していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

時間割番号	021049				
科目名	臨床歯学イントロダクション			科目ID	DD-350600-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

主な講義場所

Zoom によるリモート講義

授業の目的、概要等

主要な歯科疾患とそれに対する治療方法の特徴, および治療の流れを理解する。

授業の到達目標

1）臨床歯学の主要専門用語の理解/表記/発音ができる.
2）患者中心の医療とインフォームドコンセントについて説明できる.
3）患者の要望や懸念, 社会的背景を認識することができる.
4）歯科臨床科目の対象とする疾病の特徴を説明できる.
5）歯科臨床科目の治療の特徴を説明できる.
6）各歯科臨床科目のつながりと治療の流れを説明できる.
7）臨床上の疑問を定義でき, 治療のエビデンスを認識できる.
8）患者の全身状態と歯科診療との関連の強さを知る.
9）歯科臨床におけるチーム医療の重要性を知る.
10）医療の質と医療アクセスに関する知識を身につける.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/2	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	概論	新田 浩	
2	4/2	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	歯冠補綴の診療	野﨑 浩佑	
3	4/2	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	高齢者と有床義歯	佐藤 佑介	
4	4/2	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	歯の欠損と有床義歯の診療	和田 淳一郎	
5	4/5	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	高齢者に対する歯科治療	猪越 正直	
6	4/5	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	インプラントの診療	黒田 真司	
7	4/5	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	顎顔面補綴の診療	隅田 由香	
8-9	4/5	13:50-15:40	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	補綴系 TBL	黒田 真司, 和田 淳一郎, 野﨑 浩佑, 猪越 正直, 服部 麻里子	
10-11	4/6	09:00-10:50	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	歯内療法の診療	橋本 健太郎	
12-14	4/6	11:00-13:40	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	う蝕の治療	佐藤 隆明	
15-16	4/6	13:50-15:40	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	歯周病の治療	芝 多佳彦	
17-18	4/7	13:50-15:40	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	保存系 TBL	橋本 健太郎, 佐藤 隆明, 芝 多佳彦	

19–20	4/8	12:50–14:40	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	口腔外科の診療1	島本 裕彰	
21	4/9	13:50–14:40	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	障害者の歯科診療	楠本 康香	
22	4/9	14:50–15:40	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	口腔外科の診療2	儀武 啓幸	
23	4/12	09:00–09:50	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	歯科麻酔の診療	脇田 亮	
24–25	4/12	10:00–11:50	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	小児歯科の診療	大石 敦之	
26–27	4/12	13:50–15:40	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	外科系 TBL	儀武 啓幸, 楠本 康香, 島本 裕彰, 脇田 亮	
28–29	4/15	12:50–14:40	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	不正咬合の治療1	松本 芳郎	
30	4/16	09:00–09:50	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	顎関節症の治療	西山 暁	
31–32	4/16	10:00–11:50	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	不正咬合の治療2	東堀 紀尚	
33–34	4/16	13:50–15:40	遠隔授業（同期型）	臨床歯学イントロダクション	育成系 TBL	東堀 紀尚, 西山 暁, 松本 芳郎, 大石 敦之	

授業方法

Online: Zoom Meeting, WebClass

成績評価の方法

・ユニットの合格判定には，グループ学習の成績（個人テストおよびグループテスト）を基にして，出席日数及び平常学習態度等が評価に加味される.

準備学習等についての具体的な指示

事前学習として必要な資料がある場合は，授業 3 日前までに Web Class 上に掲示するので，必ず閲覧し，指示に従うこと.

試験の受験資格

・合格には3分の2以上の授業の出席を必要とする。

・合格判定を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

O1 臨床歯学イントロダクション

モジュールの単位判定

・合計4回実施されるグループ基盤学習（TBL）の成績及び平常学習態度で判定される.

・TBL の成績は，個人:グループが 5:5 で換算される.

教科書

歯科衛生士のための歯科臨床概論／松井恭平［ほか］編,松井，恭平,:医歯薬出版，2016

参考書

PMI ペリオドンタルモチベーショナルインタビューイング : 患者さんのやる気が変わる！ スタッフも楽しくなる！歯周治療を成功に導く世界標準のコミュニケーション技法／新田 浩 著・文・その他,新田 浩 監修,礪波健一 著・文・その他,礪波健一 監修,土岡弘明 著・文・その他,土岡弘明 監修,斎田寛之 著・文・その他,酒井和人 著・文・その他,関根 聡 著・文・その他,竹内祥吾 著・文・その他,武田浩平 著・文・その他,中村一寿 著・文・その他,奈良嘉峰 著・文・その他,福場駿介 著・文・その他,新田 浩,礪波健一,土岡弘明,斎田寛之,酒井和人,関根 聡,竹内祥吾,武田浩平,中村一寿,奈良嘉峰,福場駿介,:クインテッセンス出版，2020-02-10

備考

・第3学年学生を，ユニット責任者が決めた8つのグループに分け，同一のグループ編成で全てのグループ学習を行う.

時間割番号	021050				
科目名	感染と生体防御			**科目ID**	DD-330700-Z
担当教員					
開講時期	2021年度前期	**対象年次**	3	**単位数**	4
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:90+5

授業形態:講義(遠隔)・演習・実習(遠隔および対面)

モジュール番号:07　感染と生体防御

授業の目的、概要等

感染症の原因となる病原生物の性状および作用を学ぶとともに，生体防御機構を理解する．また今日の生命科学に必要不可欠なバイオインフォマティックスの基礎を理解する．

授業の到達目標

各ユニットを参考にすること．

成績評価の方法

ユニット毎に評価が変わるため，各ユニットに記載されている内容を確認すること．

準備学習等についての具体的な指示

授業の範囲をシラバスに記載しているため，当該授業の前に，相当する部位を予習しておくこと．また，授業では全範囲について説明することが時間的に難しいため，試験時には，それぞれの担当教員からあらかじめ範囲を指示することがある．

試験の受験資格

履修者全員が受験資格を有す．ただし，当該モジュール全ユニット終了時において，当該モジュール全ユニットの講義および実習総数のそれぞれ3分の2以上の出席を満たさなかった場合はモジュール未履修となり，次年度に当該モジュールを再履修しなければならない．

構成ユニット

01 感染と免疫概論

02 病原性細菌と感染症

03 病原性ウイルスと感染症

04 バイオインフォマティックス概論

05 生体免疫応答

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには，当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない．なお，ユニットの合格判定およびモジュール単位判定に際しては，出席日数，提出レポート内容，及び平常学習態度等が評価に加味される．また，当該モジュールの全ユニットにおける講義および実習総数のそれぞれ3分の2以上の出席が単位取得に必要である

また，各ユニットにおける再試験は1回のみしか行わない．

教科書

口腔微生物学 = ORAL MICROBIOLOGY : 感染と免疫／石原和幸，今井健一，小川知彦，落合邦康，落合智子，葛城啓彰，上西秀則，清浦有祐，古西清司，田中芳彦，中澤太，浜田信城，前田伸子 編集,高尾亞由子，玉井利代子，長環，宮川博史 執筆,石原，和幸，1960-,今井，健一,小川，知彦,高尾，亞由子,玉井，利代子,長，環,:学建書院，2018

口腔微生物学・免疫学／川端重忠，小松澤均，大原直也，寺尾豊，浜田茂幸 編集,川端，重忠,小松澤，均,大原，直也,:医歯薬出版，2016

履修上の注意事項

本モジュールでは，全ユニットを合格してモジュールを合格とする．そのため，1ユニットでも合格とならなかった場合は，モジュールとして不合格となるので，注意すること．

備考

モジュール責任者:鈴木敏彦

オフィスアワー:火曜日午後5時

連絡先:suzuki.bact@tmd.ac.jp

時間割番号	021051				
科目名	感染と免疫概論			**科目ID**	DD-330701-L
担当教員					
開講時期	2021年度前期	**対象年次**	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:感染と生体防御

コマ数:12＋1

授業形態:講義

ユニット番号:01

主な講義場所

全て遠隔授業

授業の目的、概要等

感染と生体防御の基礎的機構を理解する.

授業の到達目標

1） 感染症と人類の歴史について概説できる.

2） 微生物学の歴史を概説できる.

3） 微生物の多様性について説明できる.

4） 免疫学の歴史を概説できる微生物の多様性について説明できる.

5） リンパ球循環について説明できる.

6） サイトカイン・ケモカインについて説明できる.

7） 環境中の微生物分布や病原性微生物の侵入経路について説明できる.

8） 国際的に問題となっている寄生虫病について説明できる.

9） 血液の構成成分を列挙できる.

10） 血液・免疫系細胞の分化について説明できる.

11） 免疫担当細胞の種類が列挙でき, その機能が説明できる.

12） 抗原受容体の多様性獲得のしくみが説明できる.

13） Bリンパ球の分化と機能について説明できる.

14） 抗体の役割について説明できる.

15） Tリンパ球の分化と抗原認識について説明できる.

16） バイオセイフティの概念を説明できる.

17） 滅菌と消毒の意義と代表的な方法について原理を説明できる.

18） 抗原提示細胞について説明できる.

19） Tリンパ球の機能と特徴を説明できる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/14	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	感染症と微生物学の歴史	講義　WebClass: FDS21030	鈴木 敏彦	SBOs: 1, 2
2	4/14	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	微生物の多様性と構造	講義、小テスト　WebClass: FDS21030	鈴木 敏彦	SBOs: 3
3	4/14	15:50-16:40	遠隔授業（同期型）, 遠隔授業（非同期型）	免疫システム概論	講義およびリアクションペーパー WebClass: FDS21030	東 みゆき	SBOs: 1, 4
4	4/19	09:00-09:50	遠隔授業	リンパ組織とリンパ球循	講義およびリアクションペーパー	東 みゆき	SBOs: 5, 6

			（非同期型）	環	WebClass: FDS21030		
5	4/19	10:00–10:50	遠隔授業（非同期型）	寄生虫の生活環の分子基盤	講義　WebClass: FDS21030	岩永 史朗	SBOs: 7
6	4/19	11:00–11:50	遠隔授業（非同期型）	寄生虫の免疫回避機構	講義、小テスト　WebClass: FDS21030	岩永 史朗	SBOs: 8
7	4/20	09:00–09:50	遠隔授業（非同期型）	免疫担当細胞	講義およびリアクションペーパー WebClass: FDS21030	永井 重徳	SBOs: 9, 10, 11
8	4/20	10:00–10:50	遠隔授業（非同期型）	T, B リンパ球の分化と多様性の獲得	講義およびリアクションペーパー WebClass: FDS21030	永井 重徳	SBOs: 12, 13, 15
9	4/20	11:00–11:50	遠隔授業（非同期型）	抗体の役割	講義およびリアクションペーパー WebClass: FDS21030	張 晨陽	SBOs: 13, 14
10	4/23	09:00–09:50	遠隔授業（非同期型）	抗原提示細胞と MHC	講義およびリアクションペーパー WebClass: FDS21030	東 みゆき	SBOs: 18, 19
11	4/23	10:00–10:50	遠隔授業（非同期型）	バイオセイフティー	講義　WebClass: FDS21030	鈴木 敏彦	SBOs: 16
12	4/23	11:00–11:50	遠隔授業（非同期型）	滅菌と消毒	講義、小テスト　WebClass: FDS21030	鈴木 敏彦	SBOs: 17
13	4/28	11:00–11:50	歯学科第 2 講義室, 歯学科第 3 講義室	ユニット1試験		東 みゆき, 鈴木 敏彦, 永井 重徳, 芦田 浩, 鈴木 志穂, 張 晨陽	11:00 開始 11:50 終了

成績評価の方法

・リアクションペーパー（確認テスト、計 9 回の予定）により学修の程度を評価する.

・上記テスト (30%) および 2020 年 4 月 28 日（水）に筆記試験 (70%) を行い，総括的評価を行う.

準備学習等についての具体的な指示

当該授業の前に，指定された参考図書の相当する部位を予習しておくこと. また，授業では全範囲について説明することが時間的に難しいため，試験時には，それぞれ担当教員からあらかじめ範囲を指示することがある.

試験の受験資格

履修者全員が受験資格を有す. ただし，当該モジュール全ユニット終了時において，当該モジュール全ユニットの講義および実習総数のそれぞれ 3 分の 2 以上の出席を満たさなかった場合はモジュール未履修となり，次年度に当該モジュールを再履修しなければならない.

モジュールの単位判定

遠隔授業（zoom による同期型授業あるいは web class 上にアップロードしたビデオを視聴）に参加することにより出席とする。当該講義時間以降に公開するので確認すること。リアクションペーパー（確認テスト）も web class にアップロードするので、講義後 1 週間以内に直接入力して提出するか、あるいはメール添付にて担当教員まで提出すること。

備考

AL として、講義後のリアクション・ペーパーの提出を行う。

時間割番号	021052				
科目名	病原性細菌と感染症			科目ID	DD-330702-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:感染と生体防御

コマ数:32＋1

授業形態:講義・実習

ユニット番号:02

主な講義場所

実習を除き、全て遠隔授業

授業の目的、概要等

感染予防と治療の基礎を，微生物の特性に着眼して理解するとともに，その方法と限界について知る.

到達目標(SBOs): 授業明細を参照

授業の到達目標

1. 細菌の構造と機能の特徴について説明できる.
2. 細菌の増殖と代謝経路の特徴について説明できる.
3. 化学療法と薬剤耐性について概説できる.
4. 細菌の遺伝発現の制御機構について説明できる.
5. 細菌の遺伝子伝播の特徴とその機構と病原性との関わりについて説明できる.
6. 共生細菌とそれが関与する宿主免疫、慢性疾患について説明できる
7. 細菌の病原性について説明できる.
8. 細菌の感染・発症にかかわる病原体側の因子、宿主側の因子，感染経路を説明できる.
9. グラム陽性球菌について細菌学的特徴，感染症を説明できる.
10. グラム陽性桿菌について細菌学的特徴，感染症を説明できる.
11. グラム陰性球菌について細菌学的特徴，感染症を説明できる.
12. グラム陰性桿菌について細菌学的特徴，感染症を説明できる.
13. 細胞内寄生細菌について、細菌学的特徴，感染症を説明できる.
14. 真菌感染症について説明できる.
15. 口腔感染症について説明できる.
16. 口腔フローラの成立過程を説明できる.
17. 歯垢の成立過程を理解し，バイオフィルムとしての歯垢を説明できる.
18. う蝕および歯周疾患に関与する細菌についてその発症過程と病原性因子を説明できる.
19. 口腔細菌により起こる全身疾患について説明できる.
20. 細菌の基本的な染色を実施できる.
21. 細菌の分離培養とその細菌の鑑別ができる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/26	09:00-09:50	遠隔授業(非同期型)	細菌の構造と機能	講義 WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 敏彦	SBOs: 1
2	4/26	10:00-10:50	遠隔授業(非同期型)	細菌の増殖と生理	講義 WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 敏彦	SBOs: 1
3	4/26	11:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	化学療法と薬剤耐性	講義 WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 敏彦	SBOs: 2

4	4/30	12:50–13:40	遠隔授業（非同期型）	細菌の分子遺伝学（1）	講義　WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	芦田 浩	SBOs: 4
5	4/30	13:50–14:40	遠隔授業（非同期型）	細菌の分子遺伝学（2）	講義　WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	芦田 浩	SBOs: 5
6	4/30	14:50–15:40	遠隔授業（非同期型）	共生細菌が関与する宿主免疫、慢性疾患	講義　WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	芦田 浩	SBOs: 6
7	5/7	09:00–09:50	遠隔授業（非同期型）	細菌感染と発症	講義　WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 敏彦	SBOs: 7, 8
8	5/7	10:00–10:50	遠隔授業（非同期型）	細菌の病原性	講義　WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 敏彦	SBOs: 7, 8
9	5/7	11:00–11:50	遠隔授業（非同期型）	グラム陽性菌と感染症（1）	講義　WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 敏彦	SBOs: 9, 10
10	5/10	09:00–09:50	遠隔授業（非同期型）	グラム陽性菌と感染症（2）	講義　WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 敏彦	SBOs: 9, 10
11	5/10	10:00–10:50	遠隔授業（非同期型）	グラム陽性菌と感染症（3）	講義　WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 敏彦	SBOs: 9, 10
12	5/10	11:00–11:50	遠隔授業（非同期型）	グラム陰性菌と感染症（1）	講義　WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 志穂	SBOs: 11
13–15	5/12	12:50–15:40	歯学部基礎実習室	細菌学・ウイルス学実習（細菌の培養、消毒の実際、グラム染色、チール・ネルゼン染色、ウイルス抗体価測定等）	実習、グループワーク、討論、AL グループ 1 該当日	鈴木 敏彦, 芦田 浩, 鈴木 志穂	SBOs: 20, 21（細菌学）　SBOs:
16	5/13	12:50–13:40	遠隔授業（非同期型）	グラム陰性菌と感染症（2）	講義　WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 志穂	SBOs: 12
17	5/13	13:50–14:40	遠隔授業（非同期型）	グラム陰性菌と感染症（3）	講義　WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 志穂	SBOs: 12
18	5/14	09:00–09:50	遠隔授業（非同期型）	グラム陰性菌と感染症（4）	講義　WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	芦田 浩	SBOs: 12
19	5/14	10:00–10:50	遠隔授業（非同期型）	グラム陰性菌と感染症（5）	講義　WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	芦田 浩	SBOs: 12
20	5/14	11:00–11:50	遠隔授業（非同期型）	細胞内寄生菌と感染症	講義　WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 敏彦	SBOs: 13
21–23	5/14	13:50–16:40	歯学部基礎実習室	細菌学・ウイルス学実習（細菌の培養、消毒の実	実習、グループワーク、討論、AL グループ 1 該当日	鈴木 敏彦, 芦田 浩, 鈴	SBOs: 20, 21（細菌学）　SBOs:

				際、グラム染色、チール・ネルゼン染色、ウイルス抗体価測定等）		木 志穂	
24	5/17	09:00–09:50	遠隔授業（非同期型）	真菌と感染症	講義 WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 敏彦	SBOs: 14
25	5/17	10:00–10:50	遠隔授業（非同期型）	口腔内微生物とバイオフィルム	講義 WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 敏彦	SBOs: 15, 16, 17
26	5/17	11:00–11:50	遠隔授業（非同期型）	口腔内微生物と疾患	講義 WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 敏彦	SBOs: 18, 19
27–29	5/19	12:50–15:40	歯学部基礎実習室	細菌学・ウイルス学実習（細菌の培養、消毒の実際、グラム染色、チール・ネルゼン染色、ウイルス抗体価測定等）	実習、グループワーク、討論、AL グループ 2 該当日	鈴木 敏彦, 芦田 浩, 鈴木 志穂	SBOs: 20, 21（細菌学） SBOs:
30–32	5/21	13:50–16:40	歯学部基礎実習室	細菌学・ウイルス学実習（細菌の培養、消毒の実際、グラム染色、チール・ネルゼン染色、ウイルス抗体価測定等）	実習、グループワーク、討論、AL グループ 2 該当日	鈴木 敏彦, 芦田 浩, 鈴木 志穂	SBOs: 20, 21（細菌学） SBOs:
33	5/24	11:00–11:50	歯学科第 2 講義室, 歯学科第 3 講義室	ユニット 2 試験		鈴木 敏彦, 芦田 浩, 鈴木 志穂	試験時間 11:00–11:50

成績評価の方法

・実習レポート（提出締め切りは実習において提示）および 2021 年 5 月 24 日（月）に筆記試験を行い，総括的評価を行う.

・病原性細菌と感染症の実習は限られた日数で実習を実施するため、全日程の参加を求めます.

準備学習等についての具体的な指示

当該授業の前に，指定された参考図書の相当する部位を予習しておくこと. また，授業では全範囲について説明することが時間的に難しいため，試験時には担当の教員からあらかじめ範囲を指示することがある. 授業の資料を 3 日前までに Web class へアップロードするので、各自利用して下さい。実習については感染予防の観点から学年を 2 グループに分けてそれぞれ実施するので、事前に確認すること。

試験の受験資格

履修者全員が受験資格を有す. ただし，当該モジュール全ユニット終了時において，当該モジュール全ユニットの講義および実習総数のそれぞれ 3 分の 2 以上の出席を満たさなかった場合はモジュール未履修となり，次年度に当該モジュールを再履修しなければならない.

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには，当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない. なお，ユニットの合格判定およびモジュール単位判定に際しては，遠隔授業の出席日数，提出レポート内容，が評価に加味される.

参考書

標準微生物学 第 14 版／中込治，神谷茂，錫谷達夫 編集.：医学書院，2018

口腔微生物学・免疫学 第 4 版／川端重忠・小松澤均・大原直也・寺尾豊・浜田茂幸 編：医歯薬出版，2016

時間割番号	021053				
科目名	病原性ウイルスと感染症			科目ID	DD-330703-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:感染と生体防御

コマ数:20＋1

授業形態:講義･実習

ユニット番号:03

主な講義場所

実習を除き、全て遠隔授業

授業の目的、概要等

ウイルスの構造と性状を学び，ウイルス感染症の病態を理解する.

到達目標(SBOs): 授業明細を参照

授業の到達目標

1. ウイルスの増殖および感染の概略を説明できる.
2. ウイルスの形態，構造および分類について説明できる.
3. DNA ウイルスとその感染症および予防法について説明できる.
4. RNA ウイルスとその感染症および予防法について説明できる.
5. 肝炎ウイルスとその感染症と予防法について説明できる.
6. レトロウイルス(HIV，HTLV-I)とその感染症および予防法について説明できる.
7. ウイルス感染の予防と治療の基礎を説明できる.
8. ウイルス感染症の迅速診断の基礎を理解できる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	5/12	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	細菌学、ウイルス学実習(ウイルス抗体測定、迅速診断キット)), AL	グループ 1 該当日	鈴木 敏彦, 芦田 浩, 鈴木 志穂	SBOs: 7, 8 実習、グループワーク、討論
4-6	5/14	13:50-16:40	歯学部基礎実習室	細菌学、ウイルス学実習(ウイルス抗体測定、迅速診断キット)), AL	グループ 1 該当日	鈴木 敏彦, 芦田 浩, 鈴木 志穂	SBOs: 7, 8 実習、グループワーク、討論
7-9	5/19	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	細菌学、ウイルス学実習(ウイルス抗体測定、迅速診断キット)), AL	グループ 2 該当日	鈴木 敏彦, 芦田 浩, 鈴木 志穂	SBOs: 7, 8 実習、グループワーク、討論
10-12	5/21	13:50-16:40	歯学部基礎実習室	細菌学、ウイルス学実習(ウイルス抗体測定、迅速診断キット)), AL	グループ 2 該当日	鈴木 敏彦, 芦田 浩, 鈴木 志穂	SBOs: 7, 8 実習、グループワーク、討論
13	5/26	13:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	ウイルスの構造、増殖	講義 WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 敏彦	SBOs: 1, 2
14	5/26	14:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	DNA ウイルスと感染症(1)	講義 WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 敏彦	SBOs: 3
15	5/26	15:50-16:40	遠隔授業(非同期型)	DNA ウイルスと感染症(2)	講義 WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 敏彦	SBOs: 3
16	6/2	13:50-14:40	遠隔授業	DNA ウイルスと感染症	講義 WebClass: FDS21030	鈴木 敏彦	SBOs: 3, 5

			（非同期型）	（3）	D3 感染と生体防御		
17	6/2	14:50–15:40	遠隔授業（非同期型）	RNA ウイルスと感染症（1）	講義　WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 敏彦	SBOs: 4, 5
18	6/2	15:50–16:40	遠隔授業（非同期型）	RNA ウイルスと感染症（2）	講義　WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 敏彦	SBOs: 4
19	6/7	09:00–09:50	遠隔授業（非同期型）	RNA ウイルスと感染症（3）	講義　WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 敏彦	SBOs: 4
20	6/14	09:00–09:50	遠隔授業（非同期型）	RNA ウイルスと感染症（4）	講義　WebClass: FDS21030 D3 感染と生体防御	鈴木 敏彦	SBOs: 4, 6
21	7/12	10:00–10:50	歯学科第 2 講義室, 歯学科第 3 講義室	ユニット 3 試験		鈴木 敏彦, 芦田 浩, 鈴木 志穂	試験時間 10:00–10:50

成績評価の方法

・実習レポート（提出締め切りは実習において提示）および 2021 年 7 月 12 日（月）に筆記試験を行い，総括的評価を行う．

・病原性ウイルスと感染症の実習は限られた日数で実習を実施するため、全日程の参加を求めます．

準備学習等についての具体的な指示

当該授業の前に，指定された参考図書の相当する部位を予習しておくこと．また，授業では全範囲について説明することが時間的に難しいため，試験時には，担当教員からあらかじめ範囲を指示することがある．授業の資料を 3 日前までに Web class へアップロードするので、各自利用して下さい．

試験の受験資格

履修者全員が受験資格を有す．ただし，当該モジュール全ユニット終了時において，当該モジュール全ユニットの講義および実習総数のそれぞれ 3 分の 2 以上の出席を満たさなかった場合はモジュール未履修となり，次年度に当該モジュールを再履修しなければならない．

参考書

標準微生物学　第 14 版／中込治，神谷茂，錫谷達夫編：医学書院，2018

時間割番号	021054				
科目名	バイオインフォマティックス概論			科目ID	DD-330704-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:感染と生体防御

コマ数:4+1

授業形態:講義

ユニット番号:04

主な講義場所

全て遠隔授業

授業の目的、概要等

バイオインフォマティックスは計算科学、数学、統計学を用いた分子生物学で、時代とともに大きく発展を続けている学問分野です. 本授業では、生命科学、計算科学、データベースなどのバイオインフォマティックスの基本知識を習得することを目的とします.

授業の到達目標

1. 代表的な公共分子生物学データベースを利用することができる.
2. DNA やタンパク質の配列解析を説明できる.
3. ヒトゲノムの構造と遺伝的多型を理解できる.
4. ゲノム解析を用いた医学応用について理解できる.
5. よく使われるオーミクス解析の研究手法を理解できる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/7	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	バイオインフォマティックス概要	講義 WebClass: FDS21030 D3 バイオインフォマティックス概論	佐藤 憲子	SBOs: 1 zoomID: passcord:
2	6/7	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	DNA やタンパク質の配列解析	講義, AL WebClass: FDS21030 D3 バイオインフォマティックス概論	佐藤 憲子	SBOs: 2 zoomID: passcord:
3	6/14	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	ヒトゲノム解析と医学応用	講義 WebClass: FDS21030 D3 バイオインフォマティックス概論	佐藤 憲子	SBOs: 3, 4 zoomID: passcord:
4	6/14	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	オーミクス解析	講義, AL WebClass: FDS21030 D3 バイオインフォマティックス概論	佐藤 憲子	SBOs: 5 zoomID: passcord:
5	7/19	11:00-11:50	歯学科第2講義室, 歯学科第3講義室	ユニット4試験		鈴木 敏彦, 芦田 浩, 佐藤 憲子	試験時間 11:00-11:50

成績評価の方法

当該講義日の最後に確認テスト、2021 年 7 月 19 日(月曜日)に筆記試験を実施し評価する.

準備学習等についての具体的な指示

バイオインフォマティックスを理解するためには生物学、生化学、分子生物学の知識も必要である. 教科書「バイオインフォマティクス入門」の第1章「生命科学」を予習しておくことが望ましい. (また授業内容が広範囲に渡る場合、試験時に担当教員があらかじめ範囲を指示することがある.)

試験の受験資格

出席に関係なく履修者全員が受験資格を有す．ただし，当該モジュール全ユニット終了時において，当該モジュール全ユニットの講義および実習総数のそれぞれ 3 分の 2 以上の出席総数の 3 分の 2 以上の出席を満たさなかった場合はモジュール未履修となり，次年度に当該モジュールを再履修しなければならない

教科書

出版社：慶應義塾大学出版会(2015/8/22)

・ISBN-10: 4766422511

・ISBN-13: 978-4766422511

バイオインフォマティクス入門

日米バイオインフォマティクス学会編

参考書

出版社：メディカル・サイエンス・インターナショナル; 第 2 版(2005/12/15)

・ISBN-10: 4895924262

・ISBN-13: 978-4895924269

バイオインフォマティクス ゲノム配列から機能解析へ 第 2 版

マウント デービッド W.（著），岡崎 康司(著)，坊農 秀雄(著)

備考

連絡先：佐藤 憲子 nsato.epi@mri.tmd.ac.jp

時間割番号	021055				
科目名	生体免疫応答			科目ID	DD-330705-Z
担当教員					
開講時期	2021年度前期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:感染と生体防御

コマ数:22＋1

授業形態:講義・実習

ユニット番号:05

授業の目的、概要等

病原生物や様々な刺激に対して生体の免疫系がどのように応答するか，また免疫系により引き起こされる疾患を理解する.

授業の到達目標

1） 抗原提示細胞について説明できる.
2） Tリンパ球の機能と特徴を説明できる.
3） 抗原特異的な免疫応答の成立を説明できる.
4） 免疫寛容を説明できる.
5） 細胞性免疫と液性免疫が説明できる.
6） 免疫関連疾患とその発症機序を説明できる.
7） 移植片拒絶について説明できる.
8） アレルギーの分類とその内容が説明できる.
9） 粘膜免疫の特徴について説明できる.
10） 自然免疫と適応免疫が説明できる.
11） 細菌・ウイルスに対する免疫応答が説明できる.
12） 自己免疫疾患について説明できる.
13） 免疫不全について説明できる.
14） 癌に対する免疫応答について説明できる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/18	13:50-14:40	遠隔授業（非同期型）	Tリンパ球のエフェクター機能	講義およびリアクション・ペーパー WebClass:FDS21030	永井 重徳	SBOs: 2, 3
2	6/18	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	細胞性免疫と液性免疫	講義およびリアクション・ペーパー WebClass:FDS21030	永井 重徳	SBOs: 3, 5, 6
3	6/18	15:50-16:40	遠隔授業（非同期型）	免疫寛容	講義およびリアクション・ペーパー WebClass:FDS21030	東 みゆき	SBOs: 3, 4
4	6/21	09:00-09:50	遠隔授業（非同期型）	移植免疫	講義およびリアクション・ペーパー WebClass:FDS21030	東 みゆき	SBOs: 1, 3, 5, 7
5	6/21	10:00-10:50	遠隔授業（非同期型）	腫瘍免疫	講義およびリアクション・ペーパー WebClass:FDS21030	東 みゆき	SBOs: 6, 12
6	6/21	11:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	自己免疫疾患	講義およびリアクション・ペーパー WebClass:FDS21030	東 みゆき	SBOs: 6, 12, 13

7-9	6/24	13:50-16:40	歯学部基礎実習室, 遠隔授業(非同期型)	免疫学実習(1)	AL(アレルギーに関する実習) WebClass:FDS21030	東 みゆき, 永井 重徳, 張 晨陽, 伊東 大典, 上條 達央, 塗谷 達, 斉藤 潔, 櫻井 仁亨	SBOs: 5, 6, 8 (注意) 全体をA, Bの2班に分け、A班が6月24日(木)に実習を行う。 B班は6月29日(火)の6~8限「感染免疫(1)~(3)」を遠隔(非同期)で履修する。
10	6/29	13:50-14:40	歯学部基礎実習室, 遠隔授業(非同期型)	感染免疫(1)先天免疫	講義およびリアクション・ペーパー WebClass:FDS21030	東 みゆき	SBOs: 6, 10, 11 (注意) A班のみ履修。 B班は6月24日(木)にある免疫学実習(1)と同じ内容の実習を、1号館西歯学部基礎実習室で行う。
11	6/29	14:50-15:40	歯学部基礎実習室, 遠隔授業(非同期型)	感染免疫(2)適応免疫	講義およびリアクション・ペーパー WebClass:FDS21030	東 みゆき	SBOs: 5, 6, 10, 11 (注意) A班のみ履修。 B班は6月24日(木)にある免疫学実習(1)と同じ内容の実習を、1号館西歯学部基礎実習室で行う。
12	6/29	15:50-16:40	歯学部基礎実習室, 遠隔授業(非同期型)	感染免疫(3)ワクチン	講義およびリアクション・ペーパー WebClass:FDS21030	東 みゆき	SBOs: 6, 10, 11 (注意) A班のみ履修。 B班は6月24日(木)にある免疫学実習(1)と同じ内容の実習を、1号館西歯学部基礎実習室で行う。
13-14	6/30	12:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	アレルギー	講義およびリアクション・ペーパー WebClass:FDS21030	横関 博雄	SBOs: 6, 8
15-16	7/16	13:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	粘膜免疫	講義およびリアクション・ペーパー WebClass:FDS21030	清野 宏	SBOs: 6, 9
17-19	7/20	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	免疫学実習(2)	実習内容に関する演習および リアクション・ペーパー WebClass:FDS21030	東 みゆき, 永井 重徳, 張 晨陽	SBOs: 5, 6, 8
20-22	7/26	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	免疫学実習(3)	免疫学講義全般に関する演習 WebClass:FDS21030	東 みゆき, 永井 重徳, 張 晨陽	SBOs: 1 - 14

23	7/28	10:00–10:50	歯学科第2講義室, 歯学科第3講義室	ユニット5 試験		東 みゆき, 永井 重徳, 張 晨陽	

成績評価の方法

・各講義終了後にリアクション・ペーパーにより形成的評価を行う.

・リアクション・ペーパー (20%), レポート (20%) および 2021 年 7 月 28 日に筆記試験 (60%) を行い, 総括的評価を行う.

準備学習等についての具体的な指示

ユニット5開始前に, ユニット1で学習したことを復習しておくこと. また, 講義終了ごとに, 学習確認のためのリアクション・ペーパーを実施する. 講義資料およびプリントは, Web システムにアップロードされる.

試験の受験資格

・履修者全員が受験資格を有す. ただし, 当該モジュール全ユニット終了時において, 当該モジュール全ユニットの講義および実習総数のそれぞれ 3 分の 2 以上の出席を満たさなかった場合はモジュール未履修となり, 次年度に当該モジュールを再履修しなければならない.

参考書

・リッピンコット シリーズ イラストレイテッド免疫学 原書2版(丸善) 監訳:矢田 純一・高橋 秀実(原書 Lippincott's Illustrated Reviews Immunology, Lippincott Williams & Wilkins)

・免疫学イラストレイテッド 原書第7版(南江堂) 監訳:高津 聖志 ほか(原書 Immunology 7th Edition, Mosby Elsevier)

・分子細胞生物学 原書第7版(エルセビア出版) 監訳:松島 綱治・山田 幸宏(原書 Cellular and Molecular Immunology, 7th Edition, Saunders)

・エッセンシャル免疫学 第3版(メディカル・サイエンス・インターナショナル) 監訳:笹月 健彦(原書 THE IMMUNE SYSTEM, fourth edition, Garland Science)

備考

AL として、講義後のリアクション・ペーパーの提出、実習、演習を行う。

時間割番号	021056				
科目名	臨床予備実習			科目ID	DD-350800-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度通年	対象年次	3	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:54

授業形態:講義・実習・SGD・発表

モジュール番号:08

主な講義場所

各診療科診療室

授業の目的、概要等

将来の歯科医師としての自覚を 高めるために、歯科臨床の現場を体験することを通じて基礎科目と臨床科目の関連性を理解し、歯科医療に必要な基本的な態度、技能、知識を身につける。

授業の到達目標

1） 患者さんに自己紹介、挨拶をする。
2） 患者さんを安全に誘導する。
3） 患者さんの問題点に配慮する。
4） 指導教員、D6 学生および同級生と良好なコミュニケーションをとる。
5） 各診療室で基本的な診療補助をする。
6） 清潔・不潔に配慮した行動をする。
7） 安全に配慮した行動をする。
8） コデンタルスタッフの業務を補助あるいは体験する。
9） 基礎科目と臨床科目の関連性の例を挙げて説明する。
10）歯科臨床の現場を体験し、今後の学習の方向性を見出す。

成績評価の方法

1）毎回の指導教員・コデンタルスタッフによる観察記録(形成的評価)
2）毎回の実習記録(形成的評価)
3）レポート(形成的評価)

準備学習等についての具体的な指示

ガイダンスで配布説明した、病院の理念・こころざし、病院内のきまり、院内感染予防のルール、外来での注意事項を確認し、実習に臨むこと。
ガイダンスで配布した資料で各自実習見学を行う診療科の特徴について予習しておくこと。

構成ユニット

01 各診療科における診療の補助Ⅰ
02 各診療科における診療の補助Ⅱ

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出実習記録、レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

参考書

PMI ペリオドンタルモチベーショナルインタビューイング : 患者さんのやる気が変わる！ スタッフも楽しくなる！歯周治療を成功に導く世界標準のコミュニケーション技法／新田 浩 著・文・その他,新田 浩 監修,礪波健一 著・文・その他,礪波健一 監修,土岡弘明 著・文・その他,土岡弘明 監修,斎田寛之 著・文・その他,酒井和人 著・文・その他,関根 聡 著・文・その他,竹内祥吾 著・文・その他,武田浩平 著・文・その他,中村一寿 著・文・その他,奈良嘉峰 著・文・その他,福場駿介 著・文・その他,新田 浩,礪波健一,土岡弘明,斎田寛之,酒井和人,関根 聡,竹内祥吾,武田浩平,中村一寿,奈良嘉峰,福場駿介,:クインテッセンス出版, 2020-02-10

見逃しケースのなぜを解く！ 歯科診断スキルアップ実践ガイド : 落とし穴を回避して主訴の解決に導く手順とポイント／礪波健一 著・文・その他,礪波健一 編集,則武加奈子 著・文・その他,則武加奈子 編集,梅森 幸 著・文・その他,梅森 幸 編集,新田 浩 著・文・その他,新田 浩 編集,小田 茂 著・文・その他,小田 茂 編集,荒木孝二 著・文・その他,荒木孝二 編集,礪波健一,則武加奈子,梅森 幸,新田 浩,小田 茂,荒木孝二,:クインテッセンス出版, 2021-02-10

履修上の注意事項

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・SGD 後の課題(レポート)を提出していなければならない。 ・4分の3以上出席のない学生、レポートの提出のない学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

備考

※ 臨床体験実習の前段階として、各診療科、第1総合診療室、第2総合診療室で診療補助を中心とした実習を行う。D3 ではまだ臨床科目の知識が習得されていないため、患者接遇、診療補助を通して基本的態度を身につけるとともに、基礎科目と臨床科目の関連性を認識することが中心となる。

欠席する場合は各自で実習する診療科の指導責任者に連絡する。

時間割番号	021057				
科目名	各診療科における診療の補助Ⅰ			科目ID	DD-350801-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:臨床予備実習

コマ数:24

授業形態:講義・実習

ユニット番号:01

主な講義場所

各診療科診療室

授業の目的、概要等

将来の歯科医師としての自覚を高めるために、各診療科の現場を体験することを通じて基礎科目と臨床科目の関連性を理解し、歯科医療に必要な基本的な態度、技能、知識を身につける。

授業の到達目標

1） 患者さんに自己紹介、挨拶をする。
2） 患者さんを安全に誘導する。
3） 患者さんの問題点に配慮する。
4） 指導教員、D6 学生および同級生と良好なコミュニケーションをとる。
5） 各診療室で基本的な診療補助をする。
6） 清潔・不潔に配慮した行動をする。
7） 安全に配慮した行動をする。
8） コデンタルスタッフの業務を補助あるいは体験する。
9） 基礎科目と臨床科目の関連性の例を挙げて説明する。
10）歯科臨床の現場を体験し、今後の学習の方向性を見出す。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/7	10:00-11:50	遠隔授業(同期型)	オリエンテーション	オリエンテーション WebClass:D3 臨床予備実習 2021	新田 浩, 梅森 幸, 則武加奈子	講義(遠隔)
3-5	4/21	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	相互実習 / Group discussion(遠隔)	クラスを2班に分けて実施 WebClass:D3 臨床予備実習 2021	新田 浩, 則武 加奈子, 梅森 幸, 須永 昌代, 林 奨太, 丸山 起一, 竹内 祥吾	実習/グループワーク
6-8	5/12	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	相互実習 / Group discussion(遠隔)	クラスを2班に分けて実施 WebClass:D3 臨床予備実習 2021	新田 浩, 則武 加奈子, 梅森 幸, 須永 昌代, 鈴木 允文, 石原 直樹, 三間 裕子	実習/グループワーク

9–11	5/19	09:00–11:50	科目責任者へ要確認	各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	新田 浩, 梅森 幸, 則武加奈子	実習
12–14	5/26	09:00–11:50	科目責任者へ要確認	各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	新田 浩, 梅森 幸, 則武加奈子	実習
15–17	6/2	09:00–11:50	科目責任者へ要確認	各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	新田 浩, 梅森 幸, 則武加奈子	実習
18–20	6/9	09:00–11:50	科目責任者へ要確認	各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	新田 浩, 梅森 幸, 則武加奈子	実習
21–23	6/16	09:00–11:50	遠隔授業（同期型）	Group discussion	Group discussion	新田 浩, 梅森 幸, 則武加奈子	グループワーク（遠隔）

成績評価の方法

1）毎回の指導教員・コデンタルスタッフによる観察記録（形成的評価）

2）毎回の実習記録（形成的評価）

準備学習等についての具体的な指示

ガイダンスで配布説明した、病院の理念・こころざし、病院内のきまり、院内感染予防のルール、外来での注意事項を確認し、実習に臨むこと。

ガイダンスで配布した資料で各自実習見学を行う診療科の特徴について予習しておくこと。

試験の受験資格

・本ユニットでは試験を行わないが、全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・4分の3以上出席のない学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出実習記録、レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

参考書

PMI ペリオドンタルモチベーショナルインタビューイング : 患者さんのやる気が変わる！ スタッフも楽しくなる！歯周治療を成功に導く世界標準のコミュニケーション技法／新田 浩 著・文・その他,新田 浩 監修,礪波健一 著・文・その他,礪波健一 監修,土岡弘明 著・文・その他,土岡弘明 監修,斎田寛之 著・文・その他,酒井和人 著・文・その他,関根 聡 著・文・その他,竹内祥吾 著・文・その他,武田浩平 著・文・その他,中村一寿 著・文・その他,奈良嘉峰 著・文・その他,福場駿介 著・文・その他,新田 浩,礪波健一,土岡弘明,斎田寛之,酒井和人,関根 聡,竹内祥吾,武田浩平,中村一寿,奈良嘉峰,福場駿介,:クインテッセンス出版, 2020-02-10

見逃しケースのなぜを解く！ 歯科診断スキルアップ実践ガイド : 落とし穴を回避して主訴の解決に導く手順とポイント／礪波健一 著・文・その他,礪波健一 編集,則武加奈子 著・文・その他,則武加奈子 編集,梅森 幸 著・文・その他,梅森 幸 編集,新田 浩 著・文・その他,新田 浩 編集,小田 茂 著・文・その他,小田 茂 編集,荒木孝二 著・文・その他,荒木孝二 編集,礪波健一,則武加奈子,梅森 幸,新田 浩,小田 茂,荒木孝二,:クインテッセンス出版, 2021-02-10

履修上の注意事項

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・4分の3以上出席のない学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

備考

※ 臨床体験実習の前段階として、各診療科、第1総合診療室、第2総合診療室で診療補助を中心とした実習を行う。D3 ではまだ臨床科

目の知識が習得されていな いため、患者接遇、診療補助を通して基本的態度を身につけるとともに、基礎科目と臨床科目の関連性を認識することが中心となる。
欠席する場合は各自で実習する診療科の指導責任者に連絡する。

※ 統括責任者は歯科総合診療部の新田 浩教授が担当する。

時間割番号	021058				
科目名	各診療科における診療の補助Ⅱ			**科目ID**	DD-350802-E
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:臨床予備実習

コマ数:30

授業形態:実習・SGD・発表

ユニット番号:02

主な講義場所

各診療科診療室

Zoom

授業の目的、概要等

将来の歯科医師としての自覚を高めるために、各診療科の現場を体験することを通じて基礎科目と臨床科目の関連性を理解し、歯科医療に必要な基本的な態度、技能、知識を身につける。

授業の到達目標

1） 患者さんに自己紹介、挨拶をする。
2） 患者さんを安全に誘導する。
3） 患者さんの問題点に配慮する。
4） 指導教員、D6 学生および同級生と良好なコミュニケーションをとる。
5） 各診療室で基本的な診療補助をする。
6） 清潔・不潔に配慮した行動をする。
7） 安全に配慮した行動をする。
8） コデンタルスタッフの業務を補助あるいは体験する。
9） 基礎科目と臨床科目の関連性の例を挙げて説明する。
10）歯科臨床の現場を体験し、今後の学習の方向性を見出す。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	9/24	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	新田 浩, 梅森 幸, 則武 加奈子
4-6	10/8	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	新田 浩, 梅森 幸, 則武 加奈子
7-9	10/22	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	新田 浩, 梅森 幸, 則武 加奈子
10-12	10/29	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	新田 浩, 梅森 幸, 則武 加奈子
13-15	11/5	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	新田 浩, 梅森 幸, 則武 加奈子
16-18	11/12	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	新田 浩, 梅森 幸, 則武 加奈子
19-21	11/19	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	新田 浩, 梅森 幸, 則武 加奈子
22-24	11/26	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	新田 浩, 梅森 幸, 則武 加奈子
25-27	12/3	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	新田 浩, 梅森 幸, 則武 加奈子

28-30	12/17	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	各診療科での診療の補助	Small group discussion (SGD) WebClass:D3 臨床予備実習 2021	新田 浩, 梅森 幸, 則武 加奈子	

成績評価の方法

1)毎回の指導教員・コデンタルスタッフによる観察記録(形成的評価)

2)毎回の実習記録(形成的評価)

3)SGD 後の課題(レポート)(形成的評価)

準備学習等についての具体的な指示

ガイダンスで配布説明した、病院の理念・こころざし、病院内のきまり、院内感染予防のルール、外来での注意事項を確認し、実習に臨むこと。

ガイダンスで配布した資料で各自実習見学を行う診療科の特徴について予習しておくこと。

試験の受験資格

・本ユニットでは試験を行わないが、全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・SGD 後の課題(レポート)を提出しなければならない。

・4分の3以上出席のない学生、レポートの提出のない学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出実習記録、レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

参考書

PMI ペリオドンタルモチベーショナルインタビューイング : 患者さんのやる気が変わる! スタッフも楽しくなる!歯周治療を成功に導く世界標準のコミュニケーション技法/新田 浩 著・文・その他,新田 浩 監修,礪波健一 著・文・その他,礪波健一 監修,土岡弘明 著・文・その他,土岡弘明 監修,斎田寛之 著・文・その他,酒井和人 著・文・その他,関根 聡 著・文・その他,竹内祥吾 著・文・その他,武田浩平 著・文・その他,中村一寿 著・文・その他,奈良嘉峰 著・文・その他,福場駿介 著・文・その他,新田 浩,礪波健一,土岡弘明,斎田寛之,酒井和人,関根 聡,竹内祥吾,武田浩平,中村一寿,奈良嘉峰,福場駿介,:クインテッセンス出版, 2020-02-10

見逃しケースのなぜを解く! 歯科診断スキルアップ実践ガイド : 落とし穴を回避して主訴の解決に導く手順とポイント/礪波健一 著・文・その他,礪波健一 編集,則武加奈子 著・文・その他,則武加奈子 編集,梅森 幸 著・文・その他,梅森 幸 編集,新田 浩 著・文・その他,新田 浩 編集,小田 茂 著・文・その他,小田 茂 編集,荒木孝二 著・文・その他,荒木孝二 編集,礪波健一,則武加奈子,梅森 幸,新田 浩,小田 茂,荒木孝二,:クインテッセンス出版, 2021-02-10

履修上の注意事項

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・SGD 後の課題(レポート)を提出していなければならない。 ・4分の3以上出席のない学生、レポートの提出のない学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

備考

※ 臨床体験実習の前段階として、各診療科、第1総合診療室、第2総合診療室で診療補助を中心とした実習を行う。D3 ではまだ臨床科目の知識が習得されていないため、患者接遇、診療補助を通して基本的態度を身につけるとともに、基礎科目と臨床科目の関連性を認識することが中心となる。

欠席する場合は各自で実習する診療科の指導責任者に連絡する。

※ 統括責任者は歯科総合診療部の新田 浩教授が担当する。

時間割番号	021059				
科目名	病理			**科目ID**	DD-330900-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	3	**単位数**	4
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:85＋6

授業形態講義・実習

モジュール番号:9

授業の目的、概要等

疾病の原因、病態に関する基本的知識を体系的に修得する。

成績評価の方法

ユニット 1:病理学総論とユニット 2:口腔病理学の得点を合計して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

構成ユニット

01 病理学総論

02 口腔病理学

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等も考慮される。

時間割番号	021060				
科目名	病理学総論			科目ID	DD-330901-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

主な講義場所

授業は講義、実習ともにZoomまたはWebClassを用いた遠隔授業で実施します。但し、定期試験は大学の講義室で対面形式で行います。

授業の目的、概要等

疾患の成り立ちについて、総論的な知識を得るための授業を行います。

授業の到達目標

疾患の成り立ちについて、総論的な知識を全身疾患をモデルとして自ら考え、理解できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/19	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	細胞組織傷害	病理学序論、組織細胞傷害の原因と組織変化	池田 通	講義・実習
4-6	4/20	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	病因論 細胞死と全身死	疾病の原因と分類 壊死とアポトーシス 全身死概説	池田 通	講義・実習
7-8	4/21	13:50-15:40	遠隔授業（同期型）	代謝障害・内分泌障害	代謝障害の分類と組織変化 代表的な内分泌障害	池田 通	講義・実習
9-11	4/23	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	循環障害	循環障害の分類と原因	池田 通	講義・実習
12-14	4/26	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	循環障害・炎症	循環障害の分類と原因　炎症概論 炎症の分類と組織像	池田 通	講義・実習
15-16	4/28	13:50-15:40	遠隔授業（同期型）	炎症	炎症概論 炎症の分類と組織像	池田 通	講義・実習
17-19	5/10	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	循環障害	循環障害の分類と原因	池田 通	講義・実習
20-22	5/17	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	先天異常	東都医療大学勝部憲一教授特別講義 全身の先天異常	勝部 憲一	非常勤講師講義
23-25	5/21	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	自己免疫疾患	自己免疫疾患の分類と病態	栢森 高	講義
26	5/24	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	肺の病理学	医学部附属病院病理部明石巧准教授特別講義 肺の疾患と組織変化	明石 巧	講義・実習
27-28	5/24	14:50-16:40	遠隔授業（同期型）	組織修復と再生	昭和大学美島健二教授特別講義 組織修復と再生の基礎と再生医療の展望 唾液腺の再生	池田 通	非常勤講師講義
29-31	5/28	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	感染症	感染症の分類と病理組織像	栢森 高	講義
32-34	5/28	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	腫瘍	腫瘍概論 腫瘍の概念と組織分類	栢森 高	講義
35-37	5/31	12:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	腫瘍	腫瘍の病因論と組織学的変化	坂本 啓	講義・実習
38-40	6/4	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	腫瘍	腫瘍概論 腫瘍の概念と組織分類	栢森 高	講義

41-43	6/7	12:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	腫瘍	腫瘍の病因論と組織学的変化	坂本 啓	講義・実習
44-46	6/9	13:50-16:40	遠隔授業（非同期型）	腫瘍	腫瘍概論 腫瘍の概念と組織分類	坂本 啓	講義
47-49	6/14	13:50-16:40	歯学科第1講義室	病理学総論（病理 ユニット1)試験	定期試験	池田 通, 坂本 啓, 栢森 高	定期試験

授業方法

授業は講義、実習ともに Zoom または WebClass を用いた遠隔授業で実施します。病因論、細胞組織傷害、循環障害、炎症、先天異常、腫瘍について授業を行い、適宜小テストおよび課題に取り組ませることで、自ら学ぶ力も涵養します。

授業内容

病因論、細胞組織傷害、組織修復と再生、循環障害、炎症、先天異常、腫瘍について総合的な知識を身につけるために全身疾患をモデルとした授業を行います。

成績評価の方法

定期試験の得点に、小テストおよび課題に対するレポートの評価を加味して評価します。

成績評価の基準

基本的に 100 点満点換算し、60 点（歯学科生が進級するにあたり最低限必要不可欠な知識を身につけている）以上を合格とします。

準備学習等についての具体的な指示

全身の疾患を学ぶにあたり、全身の解剖の知識が必要です。特に全身臓器の解剖・組織学的な知識を可能な限り準備学習しておいてください。

参考書

ロビンス基礎病理学／Vinay Kumar, Abul K. Abbas, Jon C. Aster 原著,Kumar, Vinay,Abbas, Abul K.,Aster, Jon C.,Robbins, Stanley L. (Stanley Leonard),豊國, 伸哉,高橋, 雅英,：エルゼビア・ジャパン, 2018

カラールービン病理学 : 臨床医学への基盤／ラファエル・ルービン, デイヴィッド・S・ストレイヤー編 ; 鈴木利光 [ほか] 監訳,Rubin, Raphael,Strayer, David S. (David Sheldon),Rubin, Emanuel,鈴木, 利光,：西村書店, 2017

標準病理学／北川昌伸, 仁木利郎編集,北川, 昌伸,仁木, 利郎,：医学書院, 2019

時間割番号	021061				
科目名	口腔病理学			科目ID	DD-330902-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

主な講義場所

授業は講義、実習ともにすべて Zoom または WebClass を用いた遠隔授業で実施します。但し、定期試験は大学の講義室で対面形式で行います。

授業の目的、概要等

歯科医師になるために特に必要な顎口腔領域の病理学を理解してもらうために行う授業です。

授業の到達目標

顎口腔領域の疾患の成り立ちと形態学的な特徴について、病理学的に理解できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	6/23	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	歯の異常、う蝕、歯髄炎、根尖性歯周炎	中西正一先生特別講義 臨床の現場から見た歯の異常と組織変化	中西 正一	非常勤講師講義
4-6	6/25	13:50-16:40	遠隔授業（同期型）	歯周疾患、歯肉増殖症	歯周疾患の病因論と組織変化	池田 通	講義・実習
7-9	6/29	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	顎骨病変	代表的な顎骨病変および骨髄炎の病因論と組織変化	池田 通	講義・実習
10-12	6/30	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	口腔粘膜疾患	口腔粘膜疾患の分類と組織変化	栢森 高	講義
13-15	7/5	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	全身疾患に伴う口腔病変	東都医療大学・勝部憲一教授・特別講義 医科から見た全身疾患と口腔病変	勝部 憲一	非常勤講師講義
16-18	7/6	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	嚢胞	嚢胞の分類と組織像	坂本 啓	講義・実習
19-21	7/7	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	非歯原性腫瘍	非歯原性腫瘍の分類と組織像	坂本 啓	講義・実習
22-24	7/12	12:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	非歯原性腫瘍	非歯原性腫瘍の分類と組織像	坂本 啓	講義・実習
25-26	7/13	12:50-14:40	遠隔授業（非同期型）	歯原性腫瘍	歯原性腫瘍の分類と組織像	坂本 啓	講義・実習
27-29	7/14	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	歯原性腫瘍	歯原性腫瘍の分類と組織像	坂本 啓	講義・実習
30-32	7/15	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	非腫瘍性唾液腺疾患	非腫瘍性唾液腺疾患の分類と組織像	栢森 高	講義
33-35	7/20	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	唾液腺腫瘍	唾液腺腫瘍の分類と組織像	栢森 高	講義
36-38	7/21	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	唾液腺腫瘍	唾液腺腫瘍の分類と組織像	栢森 高	講義　小テスト実施予定
39-41	7/27	09:00-11:50	歯学科第	ユニット 2　口腔病理学	定期試験	池田 通, 坂	定期試験

			1講義室	試験		本 啓, 栢森高	

授業方法

授業はすべてZoomまたはWebClassを用いた遠隔授業で実施します。適宜小テストおよび課題を出すことで、学生が自ら学ぶ力も涵養します。

授業内容

う蝕と根尖性歯周炎、辺縁性歯周炎、顎骨の病変、嚢胞、先天異常、唾液腺疾患、軟膜疾患、口腔領域の腫瘍性病変について各論的な細かい点まで言及します。

成績評価の方法

定期試験の得点に、小テストおよび課題レポートの評価を加味して評価します。

成績評価の基準

100点満点に換算し、60点（歯学科生が進級するにあたり最低限必要不可欠な知識を身につけている）以上を合格とします。

準備学習等についての具体的な指示

頭頸部の解剖・組織学の知識が必要です。可能な限り順義学習しておいてください。

参考書

新口腔病理学／下野正基［ほか］編；田中昭男［ほか］執筆,下野, 正基,田中, 昭男,:医歯薬出版, 2018

口腔病理アトラス／高田隆, 豊澤悟編,高木, 實,高田, 隆,豊澤, 悟,:文光堂, 2018

時間割番号	021068				
科目名	予防と健康管理			**科目ID**	DD-341000-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度通年	**対象年次**	3	**単位数**	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:78＋4
授業形態:講義・実習
モジュール番号:10

主な講義場所
各ユニットの講義場所を参照のこと。

授業の目的、概要等
口腔疾患の予防と健康管理を行うために必要な基本的知識、技術、態度を身につけ、さらに我が国の歯科保健医療制度や歯科法医学に関する基本的知識を習得する。

授業の到達目標
各ユニットの到達目標を参照のこと。

成績評価の方法
各ユニットの成績評価の方法を参照のこと。

準備学習等についての具体的な指示
各ユニットの準備学習等についての具体的な指示を参照のこと。

試験の受験資格
各ユニットの受験資格を参照のこと。

構成ユニット
01 口腔疾患の予防 講義・演習
02 口腔疾患の予防 実習
03 歯科医療と社会 講義
04 歯科法医学 講義

モジュールの単位判定
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定並びにモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容および平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得および進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

履修上の注意事項
各ユニットの履修上の注意事項を参照のこと。

備考
モジュール責任者:櫻田 宏一
オフィスアワー:17:00～18:00
連絡先:sakurada.fde@tmd.ac.jp

時間割番号	021069				
科目名	口腔疾患の予防Ⅰ（講義）			科目ID	DD-341001-L
担当教員	財津 崇, 相田 潤[ZAITSU TAKASHI, AIDA Junn]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:24＋2

授業形態:講義

モジュール番号:10

主な講義場所

第2講義室

授業の目的、概要等

口腔疾患の予防と健康管理を実践していく歯科医師となるために必要な知識、技術、態度を習得する。

授業の到達目標

1） 日本の歯科保健医療制度を説明できる。
2） 日本と海外の歯科保健状況や歯科保健制度を国際比較して概説できる。
3） 口腔疾患の疫学と疫学的指標を説明できる。
4） 口腔の健康と環境・社会・経済的状況との関連を説明できる。
5） 口腔と全身の健康との関連を説明できる。
6） 口腔疾患の第一次予防、第二次予防、第三次予防を説明できる。
7） 口腔疾患のセルフケア、プロフェッショナルケア、コミュニティケアを説明できる。
8） ライフステージにおける口腔疾患の予防を説明できる。
9） 主な口腔疾患の予防を説明できる。
10） 個人レベルと集団レベルの口腔疾患の予防と健康管理を説明できる。
11） 災害時の歯科保健医療の必要性と歯科医師の役割を説明できる。
12） 国際歯科保健医療活動を説明できる。
13） 予防歯科学に関連した科学論文を読み、その内容を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	4/13	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	齲蝕の疫学・予防	相田 潤, 財津 崇, 大城 暁子
4-6	4/27	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	歯周病の疫学・予防	相田 潤, 財津 崇, 大城 暁子
7-9	5/11	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	地域保健や法律	相田 潤, 財津 崇, 大城 暁子
10-12	5/18	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	母子・学校・成人・高齢者の口腔保健	相田 潤, 財津 崇, 大城 暁子
13-15	5/25	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	疫学・口腔と全身	相田 潤, 財津 崇, 大城 暁子
16-18	5/31	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	国際歯科保健・災害歯科保健・障害児・者の口腔保健や法	相田 潤, 財津 崇, 大城 暁子
19-21	6/1	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	診療所での感染予防	相田 潤, 財津 崇, 大城 暁子
22-24	6/11	12:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	口臭・その他の歯科疾患	相田 潤, 財津 崇, 大城 暁子

成績評価の方法

・講義中および講義終了後の筆記試験を総括的評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

予防歯科学・口腔衛生学は、基礎科目、臨床科目と関連する箇所が多い。また、衛生学・公衆衛生学、衛生行政等とも関連があるので、関連の深い分野については、予防歯科学・口腔衛生学で学習した内容と、それぞれの科目で学習した内容とを自分でまとめて正しい知識として習得することが重要である。

試験の受験資格

・3 分の2以上の出席を必要とする。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

01：口腔疾患の予防　講義

02：口腔疾患の予防　実習

03：歯科医療と社会　講義

04：歯科法医学　　講義

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判 定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

教科書

口腔保健・予防歯科学 = Oral Health and Preventive Dentistry／安井利一, 宮崎秀夫, 鶴本明久, 川口陽子, 山下喜久, 廣瀬公治 編,安井, 利一, 1951-,宮崎, 秀夫, 1952-,鶴本, 明久, 1952-,：医歯薬出版, 2017

Oral Epidemiology: A Textbook on Oral Health Conditions, Research Topics and Methods (Textbooks in Contemporary Dentistry)／Marco A. Peres (編集), Jose Leopoldo Ferreira Antunes (編集), Richard G. Watt (編集), 2020

参考書

予防歯科実践ハンドブック／予防歯科臨床教育協議会 編,予防歯科臨床教育協議会,：医歯薬出版, 2004

オーラルヘルスプロモーション : 21 世紀の健康戦略／Lone Schou, Anthony S.Blinkhorn 著,川口陽子, 中村千賀子 監訳,Schou, Lone,Blinkhorn, A. S,川口, 陽子, 1955-,中村, 千賀子, 1945-,：口腔保健協会, 1994

連絡先（メールアドレス）

財津　崇:zaitsu.ohp@tmd.ac.jp

時間割番号	021070				
科目名	口腔疾患の予防Ⅱ(実習)			科目ID	DD-341002-E
担当教員	財津 崇[ZAITSU TAKASHI]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:予防と健康管理

コマ数:24(24+0)(必要自習時間 10時間)

授業形態:実習

ユニット番号:02

主な講義場所

口腔保健学科実習室、演習室、第2・3講義室、基礎実習室

授業の目的、概要等

口腔疾患の予防と健康管理を実践していく歯科医師となるために必要な知識、技術、態度を習得する。

授業の到達目標

1) 日本の歯科保健医療制度を説明できる。
2) 日本と海外の歯科保健状況や歯科保健制度を国際比較して概説できる。
3) 口腔疾患の疫学と疫学的指標を説明できる。
4) 口腔の健康と環境・社会・経済的状況との関連を説明できる。
5) 口腔と全身の健康との関連を説明できる。
6) 口腔疾患の第一次予防、第二次予防、第三次予防を説明できる。
7) 口腔疾患のセルフケア、プロフェッショナルケア、コミュニティケアを説明できる。
8) ライフステージにおける口腔疾患の予防を説明できる。
9) 主な口腔疾患の予防を説明できる。
10) 個人レベルと集団レベルの口腔疾患の予防と健康管理を説明できる。
11) 災害時の歯科保健医療の必要性と歯科医師の役割を説明できる。
12) 国際歯科保健医療活動を説明できる。
13) 予防歯科学に関連した科学論文を読み、その内容を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	4/13	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	齲蝕の疫学・予防	フッ化物応用についてのディスカッション	相田 潤, 財津 崇, 大城 暁子
4-6	4/27	12:50-15:40	口腔保健学科臨床基礎実習室, 口腔保健学科相互実習室	歯周病の疫学・予防	タバコ政策についてのディスカッション	相田 潤, 財津 崇, 古川 清香, 南郷 里奈, 大城 暁子
7-9	5/11	12:50-15:40	歯学部基礎実習室, 口腔保健学科基礎科学実習室	地域保健や法律	環境なども含めたディスカッション	財津 崇, 大城 暁子, 相田 潤
10-12	5/18	12:50-15:40	歯学科第2講義室, 歯学部基礎実習室, 歯学部演習室	母子・学校・成人・高齢者の口腔保健	社会的決定要因やナッジを利用した行動変容を考える	財津 崇, 大城 暁子, 相田 潤
13-15	5/25	12:50-15:40	口腔保健学科臨床基礎実習室, 口腔保健学科相互実習室, 歯学部演習室	疫学・口腔と全身	疫学の実習・二次データの利用	相田 潤, 財津 崇, 柳澤 智仁, 大貫 茉莉, 柳澤 道子, 安川 由里子, 南郷 里奈, 大城 暁子
16-18	6/1	12:50-15:40	口腔保健学科臨床基礎実習室, 口腔保健学科相互実習室, 歯学部演習室	診療所での感染予防	フッ化物洗口・塗布の実習・歯磨剤や歯ブラシの説明(FDIのも説明)	相田 潤, 財津 崇, 柳澤 智仁, 柳澤 道子, 安川 由里子, 南

						郷 里奈, 大城 暁子
19-21	6/8	09:00-11:50	歯学科第 2 講義室, 歯学科第 3 講義室	母子・学校・成人・高齢者の口腔保健	ライフコースにあった歯科保健指導と学校歯科健診	財津 崇, 大城 暁子, 相田 潤
22-24	6/15	12:50-15:40	歯学科第 2 講義室, 歯学部演習室, 歯学部基礎実習室	口臭・その他の歯科疾患	口臭測定の実習	財津 崇, 大城 暁子, 相田 潤

成績評価の方法

・ レポート(9 割)および実習態度(1 割)を総括的評価とする。なお、実習を休んだ場合は、担当教員に連絡をとり、指定されたレポートを提出すること。

準備学習等についての具体的な指示

口腔疾患の予防(講義)の内容を十分理解したうえで実習に臨むこと。

試験の受験資格

・4分の3以上の出席を必要とする。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

01:口腔疾患の予防 講義

02:口腔疾患の予防 実習

03:歯科医療と社会 講義

04:歯科法医学 講義

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判 定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

教科書

予防歯科実践ハンドブック／予防歯科臨床教育協議会 編,:医歯薬出版, 2004

口腔保健・予防歯科学 = Oral Health and Preventive Dentistry／安井利一, 宮崎秀夫, 鶴本明久, 川口陽子, 山下喜久, 廣瀬公治 編,安井, 利一, 1951-,宮崎, 秀夫, 1952-,鶴本, 明久, 1952-,:医歯薬出版, 2017

参考書

口腔保健・予防歯科学／安井利一, 宮崎秀夫, 鶴本明久, 川口陽子, 山下喜久, 廣瀬公治 編:医歯薬出版, 2017

予防歯科実践ハンドブック／予防歯科臨床教育協議会 編,:医歯薬出版, 2004

オーラルヘルスプロモーション : 21 世紀の健康戦略／Lone Schou, Anthony S.Blinkhorn 著,川口陽子, 中村千賀子 監訳,:口腔保健協会, 1994

履修上の注意事項

1. 実習書は、口腔疾患の予防(講義・実習)の際に毎回必ず持参する。 2. 班によって実施する内容、集合場所が異なる場合があるので、注意する。また、実習時間は延長することがある。 3. 実習では、きれいな白衣を着用し、爪、髪の毛を清潔に保ち、高いヒール・つま先を覆っていない靴の着用などは避ける。 4. 実習 3、8 では昼食後の口腔清掃を行う。 5. 実習 2、6、9 では昼食後の口腔清掃、飲食、喫煙をしない。 6. 実習 1 では、赤鉛筆、実習 2 では白衣、歯ブラシ、色鉛筆、実習 3 では白衣、歯ブラシ、実習4では白衣、歯ブラシ、実習 5 では白衣、歯ブラシ、飲み物、実習 6 では白衣、歯ブラシ、色鉛筆、ミラーセット(実習 2 で配布)、実習 8 では白衣、実習 9 では白衣、歯ブラシ、色鉛筆、ミラーセット(実習 2 で配布)、実習 10 では色鉛筆、マジック、はさみ、のり等の文具など教材つくりに必要なもの、実習 11 ではパソコンを持参する。 7. 実習終了後は、提出用紙に必要事項を記入し、切り取って提出する。記入内容、提出方法については、毎回指示を出す。レポート内容によっては再提出を指示されることがある。その際は、指定された期限までに、新規にレポートを作成し、再提出を指示されたレポートとあわせて提出する。 7. 本実習は、全ての提出用紙ならびにレポートを提出していることが必須条件である。実習を休んだ場合は、必ず担当者に連絡を取り、指示を仰ぐ。その際、再実習もしくは課題等の指示がある。

連絡先(メールアドレス)

財津 崇:zaitsu.ohp@tmd.ac.jp

時間割番号	021071				
科目名	歯科医療と社会			科目ID	DD-341003-L
担当教員	五十嵐　公[IGARASHI ISAO]				
開講時期	2021 年度通年	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:予防と健康管理

コマ数:16(15+1)

必要自習時間:1時間

授業形態:講義

ユニット番号:03

主な講義場所

遠隔授業

授業の目的、概要等

歯科医師法および関連法規、保健、医療、福祉、介護に関する社会制度、地域医療および社会環境を理解する。

授業の到達目標

1) 歯科医師法および関連法規等を概説できる。
2) 保健・医療・福祉・介護に関連する社会制度を概説できる。
3) 保健・医療・福祉・介護の連携を理解し、その必要性を説明できる。
4) 歯科医師需給、歯科医療関係者の資質向上等を説明できる。
5) 地域医療における歯科医師の役割を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/28	13:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	医事法制1(医療法など)	講義	五十嵐　公	WebClass: FDS21015 D3 歯科医療と社会 2021
2	6/28	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	医事法制1(医療法など)	講義	五十嵐　公	Zoom 情報は決定次第、掲載します。
3	6/28	15:50-16:40	遠隔授業(同期型)	医事法制1(医療法など)	講義	五十嵐　公	Zoom 情報は決定次第、掲載します。
4	7/6	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	歯科医療と社会保障	講義	宮原　勇治	Zoom 情報は決定次第、掲載します。
5	7/6	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	歯科医療と社会保障	講義	宮原　勇治	Zoom 情報は決定次第、掲載します。
6	7/6	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	歯科医療と社会保障	講義	宮原　勇治	Zoom 情報は決定次第、掲載します。
7	9/7	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	保健・医療・福祉・介護関連制度	(AL)　講義・演習	五十嵐　公	Zoom 情報は決定次第、掲載します。
8	9/7	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	保健・医療・福祉・介護関連制度	講義	五十嵐　公	Zoom 情報は決定次第、掲載しま

							す。
9	9/7	14:50–15:40	遠隔授業（同期型）	保健・医療・福祉・介護関連制度	講義	五十嵐 公	Zoom 情報は決定次第、掲載します。
10	9/10	13:50–14:40	遠隔授業（非同期型）	医事法制 2（歯科三法）	講義	五十嵐 公	WebClass: FDS21015 D3 歯科医療と社会 2021
11	9/10	14:50–15:40	遠隔授業（同期型）	医事法制 2（歯科三法）	講義	五十嵐 公	Zoom 情報は決定次第、掲載します。
12	9/10	15:50–16:40	遠隔授業（同期型）	医事法制 2（歯科三法）	講義	五十嵐 公	Zoom 情報は決定次第、掲載します。
13	9/14	12:50–13:40	遠隔授業（同期型）	歯科医療の需給と地域歯科医療	講義	五十嵐 公	Zoom 情報は決定次第、掲載します。
14	9/14	13:50–14:40	遠隔授業（同期型）	歯科医療の需給と地域歯科医療	講義	五十嵐 公	Zoom 情報は決定次第、掲載します。
15	9/14	14:50–15:40	遠隔授業（同期型）	歯科医療の需給と地域歯科医療	講義	五十嵐 公	Zoom 情報は決定次第、掲載します。
16	9/28	10:00–10:50	歯学科第 2 講義室	試験		五十嵐 公	

成績評価の方法

各講義での小テスト（3 割）、および授業日程第 16 回のユニット試験（7 割）をもって総括的評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

・日頃から新聞やテレビ等の報道に気を配り、保健、医療、福祉、介護に関する課題や制度改正の方向性等の情報を積極的につかむよう心がけること。

・毎回の講義内容を十分に復習し、次の講義に備えること。

試験の受験資格

・3分の2以上の出席を必要とする。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書

スタンダード社会歯科学 第 7 版／石井拓男, 尾﨑哲則, 平田創一郎, 平田幸夫 編集:学建書院, 2018

履修上の注意事項

参考書等はできる限り最新のものを選び参照すること。

備考

・法改正や制度変更など、歯科を取り巻く社会環境は絶えず変化しているので、丸暗記ではなく、社会の仕組みや成り立ちを大づかみに学ぶことが大切である。授業で触れる法や社会制度に特有の用語や考え方は、将来の実社会で有用となる。

・授業時間中の一部に、学生が自ら考えるための簡単なAL（演習）を行う。

連絡先（メールアドレス）

五十嵐 公:igarashi.hce@tmd.ac.jp

オフィスアワー

五十嵐 公:オフィスアワーは特に定めないが、事前にメール連絡のこと。

時間割番号	021072			
科目名	歯科法医学		科目ID	DD-341004-L
担当教員				
開講時期	2021 年度通年	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:予防と健康管理

コマ数:16(15+1)

授業形態:講義

ユニット番号:04

主な講義場所

Zoom による遠隔講義。

授業の目的、概要等

歯科法医学の知識および一般社会との関連を学び、法医学的視点に立って問題解決できる能力を修得する。

授業の到達目標

1)歯科法医学が扱う学問領域を理解し、その社会的意義を説明できる。

2)死因究明制度を理解し、歯科医師との関連を説明できる。

3)個人識別の種類と原理について理解する。

4)法医学における死体現象および死因の特定について理解する。

5)歯科所見を用いた個人識別の有用性について説明できる。

6)骨形態および顔画像解析による個人識別法について理解する。

7)大規模災害時での歯科医師による身元確認作業の重要性について説明できる。

8)歯科医師と虐待あるいは医療訴訟との関連について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/14	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	歯科法医学総論	歯科法医学の学問領域およびその社会的役割について解説する。	櫻田 宏一	
2	9/14	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	歯科医師と死因究明制度	死の定義、歯科医師と法律との関連について解説する。	櫻田 宏一	上記 Zoom ID
3	9/14	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	個人識別の種類と原理(1)	指紋および血液型を中心にその種類と原理を解説する。	櫻田 宏一	上記 Zoom ID
4	9/15	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	法医学概論	法医学の概要を解説する。	上村 公一	
5	9/15	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	死後変化の原理・特徴と死因の種類・特定	死後変化の原理・特徴および死因の種類・特定について解説する。	上村 公一	上記 Zoom ID
6	9/15	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	個人識別の種類と原理(2)	DNA 型および歯からの個人識別法について解説する。	櫻田 宏一	上記 Zoom ID
7	9/17	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	法医学からみた死後画像検査	法医学からみた死後画像検査について解説する。	岩瀬 博太郎	
8	9/17	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	医療事故と医事紛争	医療事故と医事紛争について解説する。	櫻田 宏一	上記 Zoom ID
9	9/17	15:50-16:40	遠隔授業(同期型)	感染症と法医学のかかわり	感染症と法医学のかかわりについて解説する。	池谷 博	上記 Zoom ID
10	9/28	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	歯科所見による身元確認	歯科所見を用いた身元確認方法について解説する。	峰岸 沙希	
11	9/28	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	骨形態による個人識別	(AL) 骨形態による個人識別法について解説する。	宇都野 創	討論 上記 Zoom ID

12	9/28	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	顔画像分析による個人識別	顔画像分析による個人識別法について解説する。	宇都野 創	上記 Zoom ID
13	10/5	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	大規模災害における身元確認（1）	国内で発生した大災害における身元確認作業について解説する。	櫻田 宏一	
14	10/5	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	大規模災害における身元確認（2）	海外で発生した大災害における身元確認作業について解説する。	宇都野 創	上記 Zoom ID
15	10/5	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	虐待の発見と防止	虐待の発見と防止について解説する。	佐藤 慶太	上記 Zoom ID
16	11/1	10:00-10:50	歯学科第2講義室	試験	歯科法医学の試験。	櫻田 宏一	出席番号の前半は第2講義室、後半は第3講義室で試験。

成績評価の方法

・11 月 1 日の筆答試験を総括的評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

配布資料を事前にチェックし、次の講義に備えること。

試験の受験資格

・全講義時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

法歯科医学 : 基礎知識から臨床・災害時の対応まで／髙橋雅典 監修,都築民幸, 山田良広, 櫻田宏一 編:永末書店, 2017

あたらしい検案・解剖マニュアル = The New Textbook for Forensic Death Investigations and Autopsies／池谷博, 櫻田宏一 著:金芳堂, 2018

NEW エッセンシャル法医学 = New Essentials of Forensic Medicine／髙取健彦 監修,長尾正崇, 中園一郎, 山内春夫 編:医歯薬出版, 2012

備考

骨形態による個人識別授業の中で、討論によるアクティブラーニングを実施する。

時間割番号	021073				
科目名	生体と薬物			科目ID	DD-331100-Z
担当教員	田村　幸彦[TAMURA YUKIHIKO]				
開講時期	2021 年度通年	対象年次	3	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール総コマ数:63＋3

モジュール番号:11

授業形態:講義・実習

主な講義場所

Zoom 講義・WebClass

授業の目的、概要等

生体における薬物作用に関する知識と、歯科治療における薬物使用に関する基本的な知識を修得する。

授業方法

講義はすべて遠隔授業となる。

実習は原則的に対面授業となる。

成績評価の方法

原則的に各講義後の小テスト(1 割)とユニットごとのCBT形式テストによる評価(9 割)を基本とし、授業態度などを最終的に加味した総合評価を行う。実習(ユニット名:薬物と生体反応の実際(薬理Ⅳ))においてはレポートと実習態度、実習試験で判定する。

なお、CBT 形式のユニットテストにおいて、6 割の正解率が得られない者は再試験となる。

再試験でも 6 割に正解率が満たない場合は、小テストが満点でも不合格となる。

成績評価の基準

・小テストを平常点の評価基準とする。

・A+の評価は、CBT 形式のテストで深い理解を試す問題に対する正解を一つの評価基準とする。

実習においては、深い理解の上に考察がなされているレポートに対して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

・事前に資料配付、e-learning(Web Class)へのアップロード等があった場合は、必ず目を通し必要な場合は印刷して講義に臨むこと。

・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。

試験の受験資格

3 分の 2 の出席。Zoom 講義で授業終了時に小テストを実施した場合は、このテストを講義出欠とする。なお同期授業 1 コマ 50 分のうち、30 分以上参加記録が残らない場合は、欠席扱いとする。やむを得ない事情で欠席をする場合は、前もってユニット責任者に連絡すること。

連絡が無く欠席した場合や、連絡はするが正当な理由と認められない場合は、出席に関しては考慮しない。連絡があり、正当な理由が認められた場合は、出席に足るレポート提出をもって出席とする。

構成ユニット

01 薬理学概説(薬理Ⅰ)

02 神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物(薬理Ⅱ)

03 感染の予防および治療薬、内科的疾患とその治療薬(薬理Ⅲ)

04 薬物と生体反応の実際(薬理Ⅳ)

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判 定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

参考書

薬理書 : 薬物治療の基礎と臨床／グッドマン／〔原編〕,ギルマン／〔原編〕,高折修二／監訳,橋本敬太郎／監訳,赤池昭紀／監訳,石井邦雄／監訳,Goodman, Louis, S,Gilman, Alfred,高折 || 修二,橋本 || 敬太郎,赤池 || 昭紀,石井:廣川書店, 2013

薬理書 : 薬物治療の基礎と臨床／グッドマン／〔原編〕,ギルマン／〔原編〕,高折修二／監訳,橋本敬太郎／監訳,赤池昭紀／監訳,石井邦雄

／監訳,Goodman, Louis, S,Gilman, Alfred,高折 || 修二,橋本 || 敬太郎,赤池 || 昭紀,石井:廣川書店, 2013
NEW 薬理学／田中千賀子, 加藤隆一, 成宮周 編集,田中, 千賀子, 1931-,加藤, 隆一, 1930-,成宮, 周,:南江堂, 2017
現代歯科薬理学／鈴木邦明, 戸苅彰史, 青木和広, 兼松隆, 筑波隆幸 編,大谷啓一 監:医歯薬出版, 2018
今日の治療薬 : 解説と便覧／浦部/晶夫 || 編集,島田/和幸 || 編集,川合/眞一 || 編集,伊豆津/宏二 || 編集,舘田/一博 || [ほか]執筆,浦部/晶夫 || 編集,島田/和幸 || 編集,川合/眞一 || 編集,伊豆津/宏二 || 編集,舘田/一博:南江堂, 2021
ラング・デール薬理学／H.P.Rang, J.M.Ritter, R.J.Flower, G.Henderson 原著,渡邊直樹 監訳,Rang, H. P,Ritter, J. M,Flower, Rod J,渡邊, 直樹, pub. 2018,:エルゼビア・ジャパン, 2018

履修上の注意事項

・アクティブラーニング型講義中に各自の学内無線LANにつながるスマートフォン、PCあるいはタブレット端末を用いて回答を求める場合がある。

備考

演習及び実習によるアクティブラーニングの実施

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先
田村幸彦 tamu.hpha@tmd.ac.jp （メールにて面談の日程を調整すること）

参照ホームページ

e-learning システムを利用します。
歯学部 WebClass:https://lib02.tmd.ac.jp/
「FDS21031 D3 薬理Ⅰ～Ⅳ 2021」

連絡先(メールアドレス)

田村 幸彦:tamu.hpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

田村 幸彦:MD タワー7 階北 研究室(N713)
オフィスアワーは特に定めないが事前にメールなどで御連絡下さい。

時間割番号	021074				
科目名	薬理学概説(薬理 I)			科目 ID	DD-331101-L
担当教員	田村　幸彦, 小林　英文[TAMURA YUKIHIKO, KOBAYASHI HIDEFUMI]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:生体と薬物

コマ数:17+1

必要自習時間数:17

授業形態:講義

ユニット番号:1

主な講義場所

WebClass, Zoom

授業の目的、概要等

生体における薬物作用に関する知識と、歯科治療における薬物使用に関する基本的な知識を修得する。

授業の到達目標

1) 薬理作用の基本形式と分類を説明できる。
2) 薬物受容体と細胞内情報伝達系について説明できる。
3) 薬物の構造活性相関について説明できる。
4) 薬物の適用方法の種類とその特徴について説明できる。
5) 薬物の生体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)について説明できる。
6) 薬物を安全に使用するための基本的考え方を修得する。
7) 薬理作用を規定する要因(用量と反応、感受性)について説明できる。
8) 新薬の開発とその臨床応用について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/22	12:50-14:40	遠隔授業(同期型)	薬理学概論・作用様式 薬物受容体	AL(演習)・講義　薬理学および薬力学概論、薬物作用様式、薬物受容体の種類と特徴	田村　幸彦	
3-4	4/30	09:00-10:50	遠隔授業(同期型)	薬物の化学構造と薬理作用　薬物の適応方法	AL(演習)・講義　薬物の化学構造の特徴、薬物の適用方法と特徴	田村　幸彦	
5-6	5/6	12:50-14:40	遠隔授業(同期型)	薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)①②	AL(演習)・講義　薬物代謝における吸収過程および分布と代謝過程の分類とその特徴	田村　幸彦	
7-9	5/7	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)③　薬物の併用・相互作用①②	AL(演習)・講義　薬物代謝における排泄過程に種類とその特徴、薬物併用時における相加作用と相乗作用	田村　幸彦	
10-11	5/27	12:50-14:40	遠隔授業(同期型)	薬物の反復投与・規定要因　生物学的検定法、用量反応曲線	AL(演習)・講義　薬物反復投与時における特徴とその規定要因、薬物の生物学的検定法の特徴と用量反応曲線	田村　幸彦	
12-14	6/4	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	小児・高齢者の薬用量 薬物の毒性と有害作用	AL(演習)・講義　ライフステージと薬物、小児および高齢者の薬物代謝の特徴、薬物の有害作用の特徴と歴史	田村　幸彦	

15-17	6/8	13:50-16:40	遠隔授業（同期型）	薬事関連法規および薬物の取り扱い　新薬の開発と臨床応用①②	AL(演習)・講義　薬機法などの薬事関連法規と薬物の保管と取り扱い、新薬の開発と臨床応用の現状	小林 英文	
18	7/13	09:00-09:50	情報検索室	試験		田村 幸彦, 小林 英文	

成績評価の方法

原則的に各講義後の小テスト（1 割）とユニットごとのCBT形式テストによる評価（9 割）を基本とし、授業態度などを最終的に加味した総合評価を行う。実習（ユニット名：薬物と生体反応の実際（薬理Ⅳ））においてはレポートと実習態度、実習試験で判定する。

なお、CBT 形式のユニットテストにおいて、6 割の正解率が得られない者は再試験となる。

再試験でも 6 割に正解率が満たない場合は、小テストが満点でも不合格となる。

成績評価の基準

・小テストを平常点の評価基準とする。

・A+の評価は、CBT 形式のテストで深い理解を試す問題に対する正解を一つの評価基準とする。

実習においては、深い理解の上に考察がなされているレポートに対して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

・事前に資料配付、e-learning(Web Class)へのアップロード等があった場合は、必ず目を通し必要な場合は印刷して講義に臨むこと。

・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。

試験の受験資格

3 分の 2 の出席。Zoom 講義で授業終了時に小テストを実施した場合は、このテストを講義出欠とする。なお同期授業 1 コマ 50 分のうち、30 分以上参加記録が残らない場合は、欠席扱いとする。やむを得ない事情で欠席をする場合は、前もってユニット責任者に連絡すること。

連絡が無く欠席した場合や、連絡はするが正当な理由と認められない場合は、出席に関しては考慮しない。連絡があり、正当な理由が認められた場合は、出席に足るレポート提出をもって出席とする。

構成ユニット

1 薬理学概説（薬理Ⅰ）

2 神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物（薬理Ⅱ）

3 感染の予防および治療薬、内科的疾患とその治療薬（薬理Ⅲ）

4 薬物と生体反応の実際（薬理Ⅳ）

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、平常学習態度等が評価におよび加味される。また歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

参考書

薬理書 : 薬物治療の基礎と臨床／グッドマン／〔原編〕,ギルマン／〔原編〕,高折修二／監訳,橋本敬太郎／監訳,赤池昭紀／監訳,石井邦雄／監訳,Goodman, Louis, S,Gilman, Alfred,高折 || 修二,橋本 || 敬太郎,赤池 || 昭紀,石井:廣川書店, 2013

薬理書 : 薬物治療の基礎と臨床／グッドマン／〔原編〕,ギルマン／〔原編〕,高折修二／監訳,橋本敬太郎／監訳,赤池昭紀／監訳,石井邦雄／監訳,Goodman, Louis, S,Gilman, Alfred,高折 || 修二,橋本 || 敬太郎,赤池 || 昭紀,石井:廣川書店, 2013

NEW 薬理学／田中千賀子, 加藤隆一, 成宮周 編集,田中, 千賀子, 1931-,加藤, 隆一, 1930-,成宮, 周,:南江堂, 2017

現代歯科薬理学／鈴木邦明, 戸苅彰史, 青木和広, 兼松隆, 筑波隆幸 編,大谷啓一 監:医歯薬出版, 2018

今日の治療薬 2021 : 解説と便覧／浦部 晶夫 編集,島田 和幸 編集,川合 眞一 編集,伊豆津 宏二 編集,浦部 晶夫,島田 和幸,川合 眞一,伊豆津 宏二,:南江堂, 2021-01-09

ラング・デール薬理学／H.P.Rang, J.M.Ritter, R.J.Flower, G.Henderson 原著,渡邊直樹 監訳,Rang, H. P,Ritter, J. M,Flower, Rod J,渡邊, 直樹, pub. 2018,:エルゼビア・ジャパン, 2018

履修上の注意事項

・アクティブラーニング型講義中に各自の学内無線LANにつながるスマートフォン、PC あるいはタブレット端末を用いて回答を求める場合がある。

備考

演習によるアクティブラーニングの実施

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

田村幸彦　tamu.hpha@tmd.ac.jp（メールにて面談の日程を調整すること）

参照ホームページ

e-learning システムを利用します。

歯学部 WebClass：https://lib02.tmd.ac.jp/

「FDS21031 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2021」

連絡先（メールアドレス）

田村　幸彦:tamu.hpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

田村　幸彦:MD タワー7 階北　研究室(N713)

オフィスアワーは特に定めないが事前にメールなどで御連絡下さい。

時間割番号	021075				
科目名	神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物(薬理Ⅱ)			**科目ID**	DD-331102-L
担当教員	田村　幸彦, 江面　陽一[TAMURA YUKIHIKO, EZURA YOICHI]				
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:生体と薬物

コマ数:14＋1(必要自習時間 14 時間)

授業形態:講義

ユニット番号:02

主な講義場所

Zoom 講義・WebClass

授業の目的、概要等

中枢神経系および末梢神経系に作用する代表的な薬物と麻酔薬、鎮痛薬、抗炎症薬などを理解する。

授業の到達目標

1) 中枢神経系に作用する薬物について説明できる。
2) 自律神経系に作用する薬物について説明できる
3) 運動神経系に作用する薬物について説明できる。
4) 全身麻酔薬、局所的麻酔薬について説明できる。
5) 抗炎症薬、鎮痛薬について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	6/3	12:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	末梢神経系作用薬総論	AL(演習)・講義　末梢神経系作用薬の分類とその特徴および作用機序	江面　陽一	WebClass FDS21031 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2021
3-4	6/10	12:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	自律神経系に作用する薬物(アドレナリン作動性関連薬、コリン作動性関連薬)	AL(演習)・講義　自律神経系作用薬(交感神経作動薬・副交感神経作動薬)の種類と特徴	江面　陽一	WebClass FDS21031 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2021
5-7	6/16	13:50-16:40	遠隔授業(非同期型)	体性神経系に作用する薬物、運動神経系に作用する薬物	AL(演習)・講義　自律神経拮抗薬、筋弛緩薬などの運動神経系作用薬の種類と特徴	江面　陽一	WebClass FDS21031 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2021
8-9	6/17	12:50-14:40	遠隔授業(同期型)	中枢神経系作用薬①	AL(演習)・講義　全身麻酔薬、睡眠薬、向精神薬、抗不安薬の種類と特徴	田村　幸彦	
10-11	7/5	09:00-10:50	遠隔授業(同期型)	中枢神経系作用薬②	AL(演習)・講義　中枢神経興奮薬、抗てんかん薬、パーキンソン病治療薬、アルツハイマー病治療薬の種類と特徴	田村　幸彦	
12-14	7/7	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	中枢神経系作用薬③	AL(演習)・講義　麻薬性鎮痛薬、局所麻酔薬、鎮痛薬(NSAIDs)、抗炎症薬の種類とその特徴	田村　幸彦	
15	9/3	12:50-13:40	情報検索室	試験		田村　幸彦, 江面　陽一	

成績評価の方法

・原則的に各講義後の小テスト(1 割)とユニットごとのテストによる評価(9 割)を基本とし、授業態度や授業参加状況などを最終的に加味し

た総合評価を行う。
・ユニットテストで 6 割の正答率が得られない者は、再試験となる。
・再試験でも 6 割の正答率が得られない場合は、不合格となる。

成績評価の基準

・小テストを平常点の評価基準とする。
・A+の評価は、期末テストで深い理解を試す問題に対する正解を一つの評価基準とする。

準備学習等についての具体的な指示

・事前に資料配付、e-learning(Web Class)へのアップロード等があった場合は、必ず目を通し必要な場合は印刷してから講義に臨むこと。
・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。

試験の受験資格

3 分の 2 の出席。Zoom 講義で授業終了時に小テストを実施した場合は、このテストを講義出欠とする。なお同期授業 1 コマ 50 分のうち、30 分以上参加記録が残らない場合は、欠席扱いとする。やむを得ない事情で欠席をする場合は、前もってユニット責任者に連絡すること。
連絡が無く欠席した場合や、連絡はするが正当な理由と認められない場合は、出席に関しては考慮しない。連絡があり、正当な理由が認められた場合は、出席に足るレポート提出をもって出席とする。

構成ユニット

1 薬理学概説(薬理Ⅰ)
2 神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物(薬理Ⅱ)
3 感染の予防および治療薬、内科的疾患とその治療薬(薬理Ⅲ)
4 薬物と生体反応の実際(薬理Ⅳ)

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、平常学習態度等が評価におよび加味される。また歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

参考書

グッドマン・ギルマン薬理書 : 薬物治療の基礎と臨床／グッドマン, ギルマン [著],LAURENCE BRUNTON, BRUCE CHABNER, BJÖRN KNOLLMAN [編],高折修二, 橋本敬太郎, 赤池昭紀, 石井邦雄 監訳.:廣川書店, 2013
薬理書 : 薬物治療の基礎と臨床／グッドマン／〔原編〕,ギルマン／〔原編〕,高折修二／監訳,橋本敬太郎／監訳,赤池昭紀／監訳,石井邦雄／監訳.:廣川書店, 2013
NEW 薬理学／田中千賀子, 加藤隆一, 成宮周 編集.:南江堂, 2017
現代歯科薬理学／鈴木邦明, 戸苅彰史,青木和広他編, 大谷啓一監修:医歯薬出版, 2018
ラング・デール薬理学／H.P.Rang, J.M.Ritter, R.J.Flower, G.Henderson 原著,渡邊直樹 監訳,Rang, H. P,Ritter, J. M,Flower, Rod J,渡邊, 直樹, pub. 2018,:エルゼビア・ジャパン, 2018
今日の治療薬 2021 : 解説と便覧／浦部 晶夫 編集,島田 和幸 編集,川合 眞一 編集,伊豆津 宏二 編集,浦部 晶夫,島田 和幸,川合 眞一,伊豆津 宏二,:南江堂, 2021-01-09

履修上の注意事項

・アクティブラーニング型講義中に各自の学内無線 LAN につながるスマートフォン、PC あるいはタブレット端末をクリッカー代わりに用いて回答を求める場合がある。

備考

演習によるアクティブラーニングの実施

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先
田村幸彦 tamu.hpha@tmd.ac.jp
メールにて面談の日程を調整すること

参照ホームページ

e-learning システムを利用します。
歯学部 WebClass:https://lib02.tmd.ac.jp/
「FDS21031 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2021」

連絡先(メールアドレス)

田村 幸彦:tamu.hpha@tmd.ac.jp

江面　陽一:ezura.mph@mri.tmd.ac.jp
オフィスアワー
田村　幸彦:MD タワー7 階北　研究室(N713)
オフィスアワーは特に定めないが事前にメールなどで御連絡下さい。
江面　陽一:水　　16:00－18:00

時間割番号	021076				
科目名	感染の予防および治療薬、内科的疾患とその治療薬(薬理Ⅲ)			科目ID	DD-331103-L
担当教員	田村 幸彦, 古川 哲史, 渡部 徹郎, 芦田 浩[TAMURA YUKIHIKO, FURUKAWA TETSUSHI, WATABE TETSURO, ASHIDA Hiroshi]				
開講時期	2021 年度通年	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:生体と薬物

コマ数:14+1(必要自習時間 14 時間)

授業形態:講義

ユニット番号:03

主な講義場所

Zoom 講義・WebClass

授業の目的、概要等

消毒薬、感染症治療薬、悪性腫瘍治療薬、循環器系、呼吸器系、消化器系、血液に作用する代表的な薬物、解毒薬、内分泌系、口腔疾患への漢方薬物療法、唾液分泌に関連する薬物について理解する。

授業の到達目標

1) 代表的な消毒薬について説明できる。
2) 代表的な感染症治療薬について説明できる。
3) 代表的な悪性腫瘍治療薬について説明できる。
4) 循環器系疾患の代表的な治療薬を説明できる。
5) 呼吸器系疾患の代表的な治療薬を説明できる。
6) 消化器系疾患の代表的な治療薬を説明できる。
7) 血液に作用する薬物を説明できる。
8) 代表的な重金属拮抗薬を説明できる。
9) 内分泌系に作用する薬物を説明できる。
10)漢方薬による生体反応を説明できる。
11)唾液腺に作用する薬物について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	7/19	13:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	悪性腫瘍治療薬	AL(演習)・講義 悪性腫瘍の特徴とその治療薬	渡部 徹郎	WebClass FDS21031 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2021
2	7/19	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	呼吸器系作用薬	AL(演習)・講義 気管支喘息治療薬、鎮咳薬、去痰薬	田村 幸彦	
3	9/15	12:50-13:40	遠隔授業(非同期型)	消毒薬	AL(演習)・講義 消毒薬の作用機序と分類、主な消毒薬と歯科で汎用される消毒薬について	高橋 悦子	WebClass FDS21031 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2021
4-5	9/15	13:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	感染症治療薬①②	AL(演習)・講義 感染症と抗感染症薬、感染症治療薬の作用と有害作用、主な抗感染症治療薬について	芦田 浩	WebClass FDS21031 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2021
6-8	9/16	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	消化器系作用薬、内分泌系作用薬物、唾液腺に作用する薬物	AL(演習)・講義 消化性潰瘍治療薬、ホルモン作用薬、唾液分泌に作用する薬物について	田村 幸彦	
9-11	9/22	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	漢方薬物療法、歯科における漢方薬、毒物と解毒薬	AL(演習)・講義 東洋医学と漢方薬、歯科で汎用される漢方薬、毒物とその解毒薬(重金属拮抗薬な	田村 幸彦	

					ど)		
12-14	9/24	13:50-16:40	遠隔授業（非同期型）	循環器系に作用する薬物①② 血液に作用する薬物	AL(演習)・講義 高血圧治療薬、不整脈治療薬、心不全治療薬、狭心症治療薬、止血薬、抗血栓薬	古川 哲史	WebClass FDS21031 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2021
15	10/18	12:50-13:40	情報検索室	試験		田村 幸彦, 芦田 浩	

成績評価の方法

・原則的に各講義後の小テスト（1割）とユニットごとのテストによる評価（9割）を基本とし、授業態度や授業参加状況などを最終的に加味した総合評価を行う。

・ユニットテストで6割の正答率が得られない者は、再試験となる。

・再試験でも6割の正答率が得られない場合は、不合格となる。

成績評価の基準

・小テストを平常点の評価基準とする。

・A+の評価は、期末テストで深い理解を試す問題に対する正解を一つの評価基準とする。

準備学習等についての具体的な指示

・事前に資料配付、e-learning(Web Class)へのアップロード等があった場合は、必ず目を通し必要な場合は印刷してから講義に臨むこと。

・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。

試験の受験資格

3分の2の出席。Zoom講義で授業終了時に小テストを実施した場合は、このテストを講義出欠とする。なお同期授業1コマ50分のうち、30分以上参加記録が残らない場合は、欠席扱いとする。やむを得ない事情で欠席をする場合は、前もってユニット責任者に連絡すること。

連絡が無く欠席した場合や、連絡はするが正当な理由と認められない場合は、出席に関しては考慮しない。連絡があり、正当な理由が認められた場合は、出席に足るレポート提出をもって出席とする。

構成ユニット

1 薬理学概説（薬理Ⅰ）

2 神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物（薬理Ⅱ）

3 感染の予防および治療薬、内科的疾患とその治療薬（薬理Ⅲ）

4 薬物と生体反応の実際（薬理Ⅳ）

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、平常学習態度等が評価におよび加味される。また歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

参考書

グッドマン・ギルマン薬理書 : 薬物治療の基礎と臨床／グッドマン, ギルマン [著],LAURENCE BRUNTON, BRUCE CHABNER, BJÖRN KNOLLMAN [編],高折修二, 橋本敬太郎, 赤池昭紀, 石井邦雄 監訳.:廣川書店, 2013

薬理書 : 薬物治療の基礎と臨床／グッドマン／〔原編〕,ギルマン／〔原編〕,高折修二／監訳,橋本敬太郎／監訳,赤池昭紀／監訳,石井邦雄／監訳.:廣川書店, 2013

病態生理の基礎知識から学べる循環器治療薬パーフェクトガイド／古川哲史 著,:総合医学社, 2016

NEW薬理学／田中千賀子, 加藤隆一, 成宮周 編集,:南江堂, 2017

現代歯科薬理学／鈴木邦明, 戸苅彰史,青木和広他編, 大谷啓一監:医歯薬出版, 2018

ラング・デール薬理学／H.P.Rang, J.M.Ritter, R.J.Flower, G.Henderson 原著,渡邊直樹 監訳,Rang, H. P,Ritter, J. M,Flower, Rod J,渡邊, 直樹, pub. 2018,:エルゼビア・ジャパン, 2018

今日の治療薬 2021 : 解説と便覧／浦部 晶夫 編集,島田 和幸 編集,川合 眞一 編集,伊豆津 宏二 編集,浦部 晶夫,島田 和幸,川合 眞一,伊豆津 宏二,:南江堂, 2021-01-09

備考

演習によるアクティブラーニングの実施

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

田村幸彦 tamu.hpha@tmd.ac.jp （メールにて面談の日程を調整すること）

参照ホームページ

e-learning システムを利用します。

歯学部 WebClass：https://lib02.tmd.ac.jp/

「FDS21031 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2021」

連絡先（メールアドレス）

田村 幸彦:tamu.hpha@tmd.ac.jp

渡部 徹郎:t-watabe.bch@tmd.ac.jp

古川 哲史:t_furukawa.bip@mri.tmd.ac.jp Ｍ＆Ｄ・19F

オフィスアワー

田村 幸彦:MD タワー7 階北 研究室(N713)

オフィスアワーは特に定めないが事前にメールなどで御連絡下さい。

渡部 徹郎:月~金 AM 10:00-PM5:00

M&D タワー 7 階 N706

時間割番号	021077				
科目名	薬物と生体反応の実際(薬理Ⅳ)			科目ID	DD-331104-E
担当教員	田村　幸彦[TAMURA YUKIHIKO]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:生体と薬物

コマ数:18＋0(必要自習時間 6 時間)

授業形態:実習

ユニット番号:04

主な講義場所

1 号館 6 階歯学部基礎実習室・WebClass

授業の目的、概要等

薬物によりおこる生体反応を観察して薬理作用について理解する。小グループに分かれて実習を行うため実習書のとおりに行う。

授業の到達目標

1) 生物学的検定法を説明できる。
2) 競合的拮抗作用を説明できる。
3) 中枢神経系に作用する薬物による生体反応を説明できる。
4) 自律神経系に作用する薬物による生体反応を説明できる。
5) 体性神経系に作用する薬物による生体反応を説明できる。
6) 局所麻酔薬、抗炎症薬による生体反応を説明できる。
7) 全身麻酔薬、鎮痛薬による生体反応を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	7/1	13:50-16:40	歯学部基礎実習室	薬理実習1	AL(実習)　全身麻酔薬① ED50①	古川 哲史, 江面 陽一, 田村 幸彦, 佐藤 文枝, 佐藤 俊三, 青木 和広	WebClass FDS21028 D3 薬理学実習(薬理Ⅳ) 2021
4-6	7/2	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	薬理実習2	AL(実習)　全身麻酔薬② ED50②	江面 陽一, 田村 幸彦, 佐藤 文枝, 瀬戸 浩行, 脇 能広, 青木 和広	WebClass FDS21028 D3 薬理学実習(薬理Ⅳ) 2021
7-9	7/8	13:50-16:40	歯学部基礎実習室	薬理実習3	AL(実習)　局所麻酔薬①　抗炎症薬①	江面 陽一, 佐藤 憲子, 田村 幸彦, 佐藤 文枝, 佐藤 俊三, 青木 和広	WebClass FDS21028 D3 薬理学実習(薬理Ⅳ) 2021
10-12	7/9	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	薬理実習4	AL(実習)　局所麻酔薬②　抗炎症薬②	江面 陽一, 田村 幸彦, 佐藤 文枝, 加藤 玄樹, 瀬戸 浩行, 脇 能広, 青	WebClass FDS21028 D3 薬理学実習(薬理Ⅳ) 2021

						木 和広	
13-15	7/29	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	薬理実習5	AL(実習)　自律神経作用薬①	江面 陽一, 田村 幸彦, 佐藤 文枝, 佐藤 俊三	WebClass FDS21028 D3 薬理学実習(薬理Ⅳ) 2021
16-18	7/30	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	薬理実習6	AL(実習)　自律神経作用薬②	江面 陽一, 田村 幸彦, 佐藤 文枝, 加藤 玄樹, 瀬戸 浩行	WebClass FDS21028 D3 薬理学実習(薬理Ⅳ) 2021

成績評価の方法

・実習レポートと実習態度、実習試験による総括的評価とする。

成績評価の基準

・A+の評価は深い理解の上に考察がなされているレポートに対して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

・必ず実習書を目を通してから実習に臨むこと。

・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。

試験の受験資格

3 分の 2 の出席。なお同期授業 1 コマ 50 分のうち、30 分以上参加記録が残らない場合は、欠席扱いとする。やむを得ない事情で欠席をする場合は、前もってユニット責任者に連絡すること。

連絡が無く欠席した場合や、連絡はするが正当な理由と認められない場合は、出席に関しては考慮しない。連絡があり、正当な理由が認められた場合は、出席に足るレポート提出をもって出席とする。

構成ユニット

1 薬理学概説(薬理Ⅰ)

2 神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物(薬理Ⅱ)

3 感染の予防および治療薬、内科的疾患とその治療薬(薬理Ⅲ)

4 薬物と生体反応の実際(薬理Ⅳ)

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、平常学習態度等が評価におよび加味される。また歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

参考書

グッドマン・ギルマン薬理書 : 薬物治療の基礎と臨床／グッドマン, ギルマン [著],LAURENCE BRUNTON, BRUCE CHABNER, BJÖRN KNOLLMAN [編],高折修二, 橋本敬太郎, 赤池昭紀, 石井邦雄 監訳.:廣川書店, 2013

薬理書 : 薬物治療の基礎と臨床／グッドマン／〔原編〕,ギルマン／〔原編〕,高折修二／監訳,橋本敬太郎／監訳,赤池昭紀／監訳,石井邦雄／監訳.:廣川書店, 2013

NEW 薬理学／田中千賀子, 加藤隆一, 成宮周 編集.:南江堂, 2017

現代歯科薬理学／鈴木邦明, 戸苅彰史,青木和広他編, 大谷啓一監:医歯薬出版, 2018

今日の治療薬 2021 : 解説と便覧／浦部 晶夫 編集,島田 和幸 編集,川合 眞一 編集,伊豆津 宏二 編集,浦部 晶夫,島田 和幸,川合 眞一,伊豆津 宏二,:南江堂, 2021-01-09

ラング・デール薬理学／H.P.Rang, J.M.Ritter, R.J.Flower, G.Henderson 原著,渡邊直樹 監訳,Rang, H. P,Ritter, J. M,Flower, Rod J,渡邊, 直樹, pub. 2018,:エルゼビア・ジャパン, 2018

備考

実習によるアクティブラーニングを実施する。

昨年度の実習終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

田村幸彦 tamu.hpha@tmd.ac.jp （メールにて面談の日程を調整すること）

参照ホームページ
e-learning システムを利用します。
歯学部 WebClass：https://lib02.tmd.ac.jp/
「FDS21031 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2021」
連絡先（メールアドレス）
田村　幸彦:tamu.hpha@tmd.ac.jp
オフィスアワー
田村　幸彦:MD タワー7 階北　研究室(N713)
オフィスアワーは特に定めないが事前にメールなどで御連絡下さい。

時間割番号	021078				
科目名	歯科放射線基礎			**科目ID**	DD-341200-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	3	**単位数**	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:36(1)

授業形態:講義・実習

モジュール番号:12

授業の目的、概要等

歯科医療において放射線を安全かつ有効に利用するために、放射線の性質や人体に対する影響、各種画像検査法の特徴および適応を理解する。

準備学習等についての具体的な指示

構成ユニット

01 放射線の性質と画像検査の基本

02 放射線の性質と画像検査の基本　実習

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判 定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

備考

倉林亨

kura.orad@tmd.ac.jp (メールはいつでも可)

時間割番号	021079				
科目名	放射線の性質と画像検査の基本			**科目ID**	DD-341201-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:歯科放射線基礎

コマ数:21＋1(必要自習時間 8 時間)

授業形態:講義

ユニット番号:01

授業の目的、概要等

放射線の性質や、口腔顎顔面領域で利用される画像検査法の種類、特徴および適応を理解する。

授業の到達目標

1) 放射線の種類、性質、測定法、単位を説明できる。
2) エックス線画像の形成原理を説明できる。
3) エックス線フィルム および増感紙の構造と性質を説明できる。
4) エックス線写真処理 の原理と方法を説明できる。
5) エックス線投影の原則を説明できる。
6) ディジタルエックス線撮影の原理および特徴を説明で きる。
7) 口内法エックス線撮影の種類を列挙し、それぞれの方法および適応を説明できる。
8) パノラマエックス線撮影の原理、方法および適応を説明できる。
9) 頭部エックス線撮影の種類を列挙し、それぞれの方法 および適応を説明できる。
10) 造影エックス線撮影の種類と適応を説明できる。
11) CT, MRI, US, 核医学検査の原理と口腔顎顔面領域における適応を説明できる。
12) 各種画像に見られる顎口腔領域の正常像について説明できる。
13) 各種画像に見られる顎口腔領域の異常所見を指摘できる。
14) 放射線の細胞致死効果を説明できる。
15) 腫瘍に対する放射線の作用について説明できる
16) 放射線の人体に対する影響を説明できる。
17) 放射線防護の基本概念を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	9/7	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	放射線とX線の性質	渡邊 裕	
4-6	9/8	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	放射線とX線の性質	渡邊 裕	
7-9	9/22	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	放射線診断学総論	倉林 亨	
10-12	10/6	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	放射線診断学総論	倉林 亨	
13-15	10/8	13:50-16:40	遠隔授業(同期型)	放射線生物学	三浦 雅彦	
16-18	10/19	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	放射線生物学	三浦 雅彦	AL 討論を含む
19-21	10/20	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	放射線管理学	渡邊 裕	
22	12/6	11:00-11:50	歯学科第2講義室	試験	倉林 亨	

成績評価の方法

・12月6日の筆記試験を総括的評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・3分の2以上の出席を必要とする。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

歯科放射線学／岡野友宏, 小林馨, 有地榮一郎 編集,岡野, 友宏, 1947-,小林, 馨, 1955-,有地, 榮一郎,:医歯薬出版, 2018

Oral Radiology: Principles and Interpretation 7th ed／White SC, Pharoah MJ:Mosby, 2014

第 4 版 歯科放射線診断 teaching file／金田隆, 倉林亨, 佐野司 編著,金田, 隆, 1959-,倉林, 亨, 1957-,佐野, 司,:砂書房, 2015

歯科臨床における画像診断アトラス 第2版／日本歯科放射線学会 編.:医歯薬出版, 2020

Radiobiology for the Radiologist 7th ed／Eric J Hall and Amato J Giaccia eds:Lippincott Williams & Wilkins

放射線医科学 : 生体と放射線・電磁波・超音波／大西武雄 監修,松本英樹 副監修,近藤隆, 島田義也, 田内広, 平岡真寛, 三浦雅彦, 宮川清, 宮越順二 編集,:医療科学社, 2016

備考

10/19 の授業は討論を含む。

時間割番号	021080				
科目名	放射線の性質と画像検査の基本 実習			科目ID	DD-341202-E
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:歯科放射線基礎

コマ数:15+0(必要自習時間 10 時間)

授業形態:実習

ユニット番号:02

主な講義場所

7 号館第 3 講義室

歯科棟北 4 階第一総合診療室エックス線室

図書館 情報検索室

あるいは、WebClass 上。

授業の目的、概要等

放射線の性質や、口腔顎顔面領域で利用される画像検査法の種類、特徴および適応を実習を通じて理解する。

授業の到達目標

1) デジタルエックス線画像の取得方法を説明し、実施できる。
2) 放射線の物理学的性質を説明できる。
3) Phantom を用いた口内法エックス線撮影の方法を説明し、実施できる。
4) パノラマエックス線撮影の方法を説明できる。
5) 頭部エックス線撮影の種類を列挙し、それぞれの方法および適応を説明できる。
6) CT, MRI の口腔顎顔面領域における適応を説明できる。
7) 各種画像に見られる顎口腔領域の正常像について説明できる。
8) 各種画像に見られる顎口腔領域の異常所見を指摘できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	10/27	09:00-11:50	第 1 総合診療室, 遠隔授業(非同期型)	放射線の性質と画像検査の基本 実習	放射線の性質や、口腔顎顔面領域で利用される画像検査法の種類、特徴および適応を実習を通じて理解する。	倉林 亨, 渡邊 裕, 大林 尚人, 坂本 潤一郎, 栗林 亜実, 中村 伸	実習 3 は歯科棟北4階エックス線室で行う。 実習 1、2、4、5は、遠隔授業(非同期型)で行う。
4-6	11/2	09:00-11:50	第 1 総合診療室, 遠隔授業(非同期型)	放射線の性質と画像検査の基本 実習	放射線の性質や、口腔顎顔面領域で利用される画像検査法の種類、特徴および適応を実習を通じて理解する。	倉林 亨, 渡邊 裕, 大林 尚人, 坂本 潤一郎, 栗林 亜実, 中村 伸	実習 3 は歯科棟北4階エックス線室で行う。 実習 1、2、4、5は、遠隔授業(非同期型)で行う。
7-9	11/10	09:00-11:50	第 1 総合診療室, 遠隔授業(非同期型)	放射線の性質と画像検査の基本 実習	放射線の性質や、口腔顎顔面領域で利用される画像検査法の種類、特徴および適応を実習を通じて理解する。	倉林 亨, 渡邊 裕, 大林 尚人, 坂本 潤一郎, 栗林 亜実, 中村 伸	実習 3 は歯科棟北4階エックス線室で行う。 実習 1、2、4、5は、遠隔授業(非同期型)で行う。

10-12	11/17	09:00-11:50	第1総合診療室, 遠隔授業(非同期型)	放射線の性質と画像検査の基本 実習	放射線の性質や、口腔顎顔面領域で利用される画像検査法の種類、特徴および適応を実習を通じて理解する。	倉林 亨, 渡邊 裕, 大林 尚人, 坂本 潤一郎, 栗林 亜実, 中村 伸	実習3は歯科棟北4階エックス線室で行う。 実習1、2、4、5は、遠隔授業(非同期型)で行う。
13-15	11/24	09:00-11:50	第1総合診療室, 遠隔授業(非同期型)	放射線の性質と画像検査の基本 実習	放射線の性質や、口腔顎顔面領域で利用される画像検査法の種類、特徴および適応を実習を通じて理解する。	倉林 亨, 渡邊 裕, 大林 尚人, 坂本 潤一郎, 栗林 亜実, 中村 伸	実習3は歯科棟北4階エックス線室で行う。 実習1、2、4、5は、遠隔授業(非同期型)で行う。

成績評価の方法

・レポートを総括的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

本ユニットは、実習および演習となるので、事前に実習テキストを読み、実習内容を大まかに理解しておくこと。

試験の受験資格

・4分の3以上の出席を必要とする。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

放射線の性質と画像検査の基本 実習

モジュールの単位判定

モジュールの実習項目ごとに提出するレポートの点数で判定を行う。

60%以上の得点が得られた場合を合格とする。

欠席した実習においてはレポートは0点となるので、原則として休まないこと。

参考書

歯科放射線学／岡野友宏, 小林馨, 有地榮一郎 編集,岡野, 友宏, 1947-,小林, 馨, 1955-,有地, 榮一郎,:医歯薬出版, 2018

White and Pharoah's Oral Radiology: Principles and Interpretation, 8e／Sanjay Mallya, Ernest Lam:Mosby, 2018

標準ディジタル X 線画像計測／市川勝弘, 石田隆行 共編,市川, 勝弘,石田, 隆行,日本放射線技術学会,:オーム社, 2010

歯科放射線診断 teaching file／金田隆, 倉林亨, 佐野司 編著,金田, 隆, 1959-,倉林, 亨, 1957-,佐野, 司,:砂書房, 2015

歯科臨床における画像診断アトラス／日本歯科放射線学会 編,日本歯科放射線学会,:医歯薬出版, 2008

参考書はユニット 01 と同様である。

備考

モジュール責任者

渡邊裕

オフィスアワー 月～金 9:00-17:00

連絡先:hiro.orad@tmd.ac.jp

時間割番号	021081				
科目名	病態科学演習			科目ID	DD-341300-Z
担当教員	池田 通, 水口 俊介, 坂本 啓, 濵 洋平, 山口 浩平[IKEDA Tooru, MINAKUCHI SHIYUNSUKE, SAKAMOTO KEI, HAMA YOHEI, YAMAGUCHI KOHEI]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:61(0)(必要自習時間30時間)

授業形態:講義・実習

モジュール番号:13　　ユニット番号:01

主な講義場所

Zoom、WebClass を利用した遠隔授業。

試験は第2講義室で実施する予定。

授業の目的、概要等

授業の目的

解剖学、生理学、生化学、病理学、細菌学、免疫学、薬理学などの知識を、臨床歯科学における疾病の病態の解釈と理解に統合する。また、全身疾患を有する患者の歯科治療に関する基礎知識を養う。

授業概要

全身および口腔領域における疾病について、講義、ケースシナリオ、演習を組み合わせた授業を通して統合的な学習を進める。

授業の到達目標

・臨床症例の病態を、症状や検査データを元に推論し、基礎医学的知識を用いて論理的に説明できるスキルを身につける。

・全身疾患を有する患者に歯科治療を適切に施せる基礎的知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	10/4	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	心電図1	AL　高血圧・低血圧・虚血性心疾患・不整脈・感染性心内膜炎・心不全について病態生理学的に説明／12 誘導心電図について電気生理学的に説明(心電図演習)／12誘導心電図の基礎的な解析ができる(心電図演習)／重要な不整脈について心電図学的に解析(心電図演習)	池田 通, 水口 俊介, 坂本 啓, 濵 洋平, 山口 浩平, 笹野 哲郎	WebClass: FDS21034 D3 病態科学演習 2021 Zoom:
4-6	10/14	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	糖尿病1	AL　糖尿病について病態生理学的に説明／糖尿病の疫学／糖尿病の治療法／糖尿病の重要な合併症／糖尿病と口腔領域疾患との関連／糖尿病患者の歯科治療におけるリスク管理方法	池田 通, 水口 俊介, 坂本 啓, 濵 洋平, 山口 浩平, 片桐 さやか, 赤座 実穂	WebClass: FDS21034 D3 病態科学演習 2021 Zoom:
7-9	10/19	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	開口障害1	AL　顎口腔系の解剖／下顎運動に関連する筋, 神経系の機能／顎機能異常／全身疾患に伴う開口障害	池田 通, 水口 俊介, 坂本 啓, 濵 洋平, 山口 浩平, 上阪 直史, 西山 暁	WebClass: FDS21034 D3 病態科学演習 2021 Zoom:
10-12	10/21	12:50-15:40	遠隔授業	糖尿病2	AL　糖尿病について病態生理学	池田 通, 水	WebClass:

			(同期型)		的に説明／糖尿病の疫学／糖尿病の治療法／糖尿病の重要な合併症／糖尿病と口腔領域疾患との関連／糖尿病患者の歯科治療におけるリスク管理方法	口 俊介, 坂本 啓, 濵 洋平, 山口 浩平, 片桐 さやか, 赤座 実穂	FDS21034 D3 病態科学演習 2021 Zoom:
13-15	10/22	13:50-16:40	遠隔授業(同期型)	開口障害2	AL　顎口腔系の解剖／下顎運動に関連する筋, 神経系の機能／顎機能異常／全身疾患に伴う開口障害	池田 通, 水口 俊介, 坂本 啓, 濵 洋平, 山口 浩平, 上阪 直史, 西山 暁	WebClass: FDS21034 D3 病態科学演習 2021 Zoom:
16-18	10/25	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	心電図2	AL　高血圧・低血圧・虚血性心疾患・不整脈・感染性心内膜炎・心不全について病態生理学的に説明／12 誘導心電図について電気生理学的に説明(心電図演習)／12誘導心電図の基礎的な解析ができる(心電図演習)／重要な不整脈について心電図学的に解析(心電図演習)	池田 通, 水口 俊介, 坂本 啓, 濵 洋平, 山口 浩平, 笹野 哲郎	WebClass: FDS21034 D3 病態科学演習 2021 Zoom:
19-21	10/25	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	疼痛1	AL　神経系を構成する細胞の種類、構造的特徴と機能 ／シナプスの構造と興奮伝達の仕組み／鎮痛の機序／顔面領域に生じる慢性疼痛／口腔内に疼痛を生じる疾病・疾患	池田 通, 水口 俊介, 坂本 啓, 濵 洋平, 山口 浩平, 山﨑 陽子	WebClass: FDS21034 D3 病態科学演習 2021 Zoom:
22-24	10/26	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	遺伝子疾患1	AL　遺伝子診断法の基礎/顎・顔面領域に変異を生じる主な遺伝子疾患の臨床的特徴とその原因/上記遺伝子疾患の主な治療法	池田 通, 水口 俊介, 坂本 啓, 濵 洋平, 山口 浩平, 井関 祥子, 小林 起穂	WebClass: FDS21034 D3 病態科学演習 2021 Zoom:
25-27	10/28	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	疼痛2	AL　神経系を構成する細胞の種類、構造的特徴と機能 ／シナプスの構造と興奮伝達の仕組み／鎮痛の機序／顔面領域に生じる慢性疼痛／口腔内に疼痛を生じる疾病・疾患	池田 通, 水口 俊介, 坂本 啓, 濵 洋平, 山口 浩平, 山﨑 陽子	WebClass: FDS21034 D3 病態科学演習 2021 Zoom:
28-30	10/29	13:50-16:40	遠隔授業(同期型)	遺伝子疾患2	AL　遺伝子診断法の基礎/顎・顔面領域に変異を生じる主な遺伝子疾患の臨床的特徴とその原因/上記遺伝子疾患の主な治療法	池田 通, 水口 俊介, 坂本 啓, 濵 洋平, 山口 浩平, 井関 祥子, 小林 起穂	WebClass: FDS21034 D3 病態科学演習 2021 Zoom:
31-33	11/2	13:50-16:40	遠隔授業(同期型)	口腔粘膜疾患1	AL　口腔粘膜に症状を呈する自己免疫疾患／口腔粘膜に異常が生じる機序／自己免疫疾患の免	池田 通, 水口 俊介, 坂本 啓, 濵 洋	WebClass: FDS21034 D3 病態科学演習 2021

					疫学的検査の意味	平, 山口 浩 平, 東 みゆき, 津島 文彦	Zoom:
34-36	11/5	13:50-16:40	遠隔授業（同期型）	口腔粘膜疾患2	AL　口腔粘膜に症状を呈する自己免疫疾患／口腔粘膜に異常が生じる機序／自己免疫疾患の免疫学的検査の意味	池田 通, 水口 俊介, 坂本 啓, 濵 洋平, 山口 浩 平, 東 みゆき, 津島 文彦	WebClass: FDS21034 D3 病態科学演習 2021 Zoom:
37-39	11/8	13:50-16:40	遠隔授業（同期型）	循環器疾患を持つ患者の歯科治療1	AL　循環器疾患と口腔領域疾患の関連／循環器疾患患者の歯科治療におけるリスク管理方法／循環器疾患患者に処方されている薬剤と相互作用する歯科用薬剤	池田 通, 水口 俊介, 坂本 啓, 濵 洋平, 山口 浩 平, 笹野 哲郎, 脇田 亮	WebClass: FDS21034 D3 病態科学演習 2021 Zoom:
40-42	11/10	13:50-16:40	遠隔授業（同期型）	循環器疾患を持つ患者の歯科治療2	AL　循環器疾患と口腔領域疾患の関連／循環器疾患患者の歯科治療におけるリスク管理方法／循環器疾患患者に処方されている薬剤と相互作用する歯科用薬剤	池田 通, 水口 俊介, 坂本 啓, 濵 洋平, 山口 浩 平, 笹野 哲郎, 脇田 亮	WebClass: FDS21034 D3 病態科学演習 2021 Zoom:
43-45	11/15	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	嚥下障害1	AL　嚥下に関わる中枢神経の役割／嚥下障害の病因／嚥下障害の治療法、リハビリテーション／嚥下障害を伴う全身疾患の病因、機序、治療法	池田 通, 水口 俊介, 坂本 啓, 濵 洋平, 山口 浩 平, 上阪 直史, 戸原 玄	WebClass: FDS21034 D3 病態科学演習 2021 Zoom:
46-48	11/16	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	嚥下障害2	AL　嚥下に関わる中枢神経の役割／嚥下障害の病因／嚥下障害の治療法、リハビリテーション／嚥下障害を伴う全身疾患の病因、機序、治療法	池田 通, 水口 俊介, 坂本 啓, 濵 洋平, 山口 浩 平, 上阪 直史, 戸原 玄	WebClass: FDS21034 D3 病態科学演習 2021 Zoom:
49-51	11/19	13:50-16:40	遠隔授業（同期型）	腫瘍1	AL　増殖と腫瘍の関係／腫瘍の発生の原因／癌の診断、進展、予後／口腔領域腫瘍の病因と病理像／全身疾患に伴う口腔病変の臨床像と病理像	池田 通, 水口 俊介, 坂本 啓, 濵 洋平, 山口 浩 平, 島本 裕彰, 栢森 高	WebClass: FDS21034 D3 病態科学演習 2021 Zoom:
52-54	11/24	13:50-16:40	遠隔授業（同期型）	腫瘍2	AL　増殖と腫瘍の関係／腫瘍の発生の原因／癌の診断、進展、予後／口腔領域腫瘍の病因と病理像／全身疾患に伴う口腔病変の臨床像と病理像	水口 俊介, 坂本 啓, 島本 裕彰, 濵 洋平, 栢森 高, 山口 浩 平	WebClass: FDS21034 D3 病態科学演習 2021 Zoom:
55-57	11/25	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	感染症1	AL　炎症の形態学的変化を生化学的、分子生物学的変化／炎症による組織学的変化、炎症性細胞の種類、機能、免疫学的特徴／口内炎についての病因・臨床病態およ	池田 通, 水口 俊介, 坂本 啓, 濵 洋平, 山口 浩 平, 鈴木 敏	WebClass: FDS21034 D3 病態科学演習 2021 Zoom:

					び治療法	彦, 道 泰之	
58-60	11/29	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	感染症2	AL 炎症の形態学的変化を生化学的、分子生物学的変化／炎症による組織学的変化、炎症性細胞の種類、機能、免疫学的特徴／口内炎についての病因・臨床病態および治療法	池田 通, 水口 俊介, 坂本 啓, 濵 洋平, 山口 浩平, 鈴木 敏彦, 道 泰之	WebClass: FDS21034 D3 病態科学演習 2021 Zoom:
61	12/10	12:50-13:40	歯学科第2講義室	試験		池田 通, 水口 俊介, 坂本 啓, 濵 洋平, 山口 浩平	

授業方法

授業については、各学習項目に対して 6～7 コマの学習時間とし、ミニレクチャー、グループディスカッション、ミドルセッション、グループ発表、ラップアップセッションの組み合わせによって行う。具体的にはおおよそ以下の流れに沿って授業を進める。

1日目

・プレテスト（WebClass）

ケースシナリオで期待される学習目標に関わる多肢選択テストを行う。

・ミニレクチャー（臨床症例：臨床系教員、講義形式）（ZOOM）

臨床系教員により、ケースに関わる臨床症例を提示し、簡単な導入を行う。

・グループディスカッション（学習目標設定：タスクフォースが平常学習態度を評価する、PBL 形式）（ZOOM）

ミニレクチャーの内容と学生自らの持っている基礎的知識あるいはネット検索により、ケースシナリオの病因、病態を解釈し、2 回目のセッション班の学習目標を設定する時間とする。

・ミドルセッション（病態科学：基礎系教員、講義形式）（ZOOM）

グループディスカッションの後、基礎系教員により、ケースシナリオで期待される学習目標に関連する講義を受ける。ネット検索事項の確認にもつながる。

・グループディスカッション（ZOOM）

ミドルセッションの内容をもとに、さらに討論をすすめ、2 日目のグループ討論報告の準備をはじめ、個人の学習目標を設定する時間とする。（個人の目標と班における討議内容を WebClass で提出）

2日目

・グループディスカッション（学習報告）（ZOOM）

各自学習してきた内容を報告し、班の発表内容としてまとめる。個人においては、2日目のはじまる前に学習内容のレジュメを WebClass にレポートとして提出する。

・グループ討議報告（教員による評価）（ZOOM）

グループとしてまとめた討議内容を WebClass 上に提出する。担当教員が選んだ班がプレゼンテーションを行う。質疑応答の時間を設ける。提出された討議内容を教員が評価する。

・ラップアップセッション（基礎系あるいは臨床系教員）（ZOOM）

必要に応じて、ケースシナリオで期待された学習内容について簡略に解説し、グループ討議報告において不確実であった知識について教員からコメントを加える。

・ポストテスト（WebClass）

ケースシナリオで期待される学習目標に関わる多肢選択問題を解く。その後テストの解説を教員が行う。

授業内容

個別学習項目

〇糖尿病

・糖尿病について病態生理学的に説明できる。
・糖尿病の疫学について説明できる。
・糖尿病の治療法について説明できる。
・糖尿病の重要な合併症について説明できる。
・糖尿病と口腔領域疾患との関連について説明できる。
・糖尿病患者の歯科治療におけるリスク管理方法を立案できる。

〇開口障害

・顎口腔系の解剖について説明できる。
・下顎運動に関連する筋，神経系の機能を説明できる。
・顎機能異常について概説できる。
・全身疾患に伴う開口障害について説明できる。

〇循環器疾患を持つ患者の歯科治療(心電図演習を含む)

・高血圧･低血圧について病態生理学的に説明できる。
・虚血性心疾患について病態生理学的に説明できる。
・不整脈について病態生理学的に説明できる。
・感染性心内膜炎について病態生理学的に説明できる。
・心不全について病態生理学的に説明できる。
・12 誘導心電図について電気生理学的に説明できる(心電図演習)。
・12 誘導心電図の基礎的な解析ができる(心電図演習)。
・重要な不整脈について心電図学的に解析できる(心電図演習)。
・循環器疾患と口腔領域疾患の関連について説明できる。

〇遺伝子疾患

・遺伝子診断法を説明できる。
・顎･顔面領域に変異を生じる主な遺伝子疾患の臨床的特徴とその原因を説明できる。
・シナリオで扱う遺伝子疾患の主な治療法について概説できる。

〇疼痛

・神経系を構成する細胞の種類、構造的特徴と機能を説明できる。
・シナプスの構造と興奮伝達の仕組みを説明できる。
・鎮痛の機序を説明できる。
・顔面領域に生じる慢性疼痛について説明できる。
・口腔内に疼痛を生じる疾病、疾患を列挙できる。
・循環器疾患患者の歯科治療におけるリスク管理方法を概説できる。
・循環器疾患患者に処方されている薬剤と相互作用する歯科用薬剤について概説できる。

〇腫瘍

・増殖と腫瘍の関係について述べることができる。
・腫瘍の発生の原因を説明できる。
・癌の診断、進展、予後について概説できる。
・口腔領域の腫瘍について、その病因と病理像を説明できる。
・全身疾患に伴う口腔病変について、その臨床像と病理像を説明できる。

〇嚥下障害

・嚥下に関わる中枢神経の役割を説明できる。
・嚥下障害の病因を説明できる。
・嚥下障害の治療法、リハビリテーションについて説明できる。
・嚥下障害を伴う全身疾患について、病因、機序、治療法を説明できる。

〇口腔粘膜疾患
・口腔粘膜に症状を呈する自己免疫疾患について概説できる。
・口腔粘膜に異常が生じる機序を説明できる。
・自己免疫疾患の免疫学的検査の意味について説明できる。

〇感染症
・炎症の形態学的変化を生化学的、分子生物学的変化について説明できる。
・炎症による組織学的変化を理解し、炎症性細胞の種類、機能、免疫学的特徴を説明できる。
・口内炎についての病因・臨床病態および治療法について説明できる。

成績評価の方法

プレテスト、学習内容のレジュメ、グループ別の討議報告内容、ポストテスト、ユニット試験および授業態度の総合成績により評価する。

成績評価の基準

おおよそ、内申点（70%）ユニットテスト（30%）で評価する。内申点の算出は、おおよそ、以下の割合で加点される。プレテスト（5%）、学習内容のレジュメ（15%）、グループ別の討議報告内容（20%）、ポストテスト（30%）、授業態度（30%）

授業態度の点数に関して：

100点満点で評価する。学習内容のレジュメを未提出のままグループ討議に参加した場合は、そのセッションの討議報告内容評価の加点はなくなるとともに、1回のレジュメ未提出により、授業態度の点数は25%づつ下がるものとする（4回未提出で0点）。また、逐次出席を確認するが、最後まで講義に参加しなかったことが明らかな場合は、そのセッションの内申点は半分となる。逆に前向きに取り組む姿勢が明らかな場合は、授業態度の点数を1．5倍までの範囲で適宜加点する。この判断はモジュールコーディネーター2人以上の合意により決定する。

欠席した場合の点数は零点として扱うが、特別な理由がある場合には成績判定の際に考慮する。

準備学習等についての具体的な指示

・学習項目ごとに必要な準備学習を行うこと。特に、各学習項目 2 日目の討議前に提出する個人の学習項目に準じたレジュメ作成に注力すること。
・すでに終了している授業および同時期に行われているモジュール授業の内容を復習すること。
・参考図書についても、その内容に準ずる。

試験の受験資格

・本モジュールにおいて、全授業時間数の4分の3以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

01 病態科学演習ユニット

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、原則的には全ての学習項目において学習到達目標に達していなければならない。なお、モジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、プレテスト、ポストテスト、ユニット試験だけでなく、平常学習態度等が評価に加味され最終判定される。

参考書

Chou's Electrocardiography in Clinical Practice: Adult and Pediatric, 6e／Borys Surawicz and Timothy K. Knilans：Saunders, 2008
ハリソン内科学／ダン L ロンゴ ほか 編,福井次矢, 黒川清 日本語版監修,：メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2013
全身的偶発症とリスクマネジメント ： 高齢者歯科診療のストラテジー／大渡凡人 著,：医歯薬出版, 2012
新臨床内科学／貫和敏博 [ほか]編,高久史麿, 尾形悦郎, 黒川清, 矢崎義雄 監修,：医学書院, 2009
ブラウンワルド心臓病学レビュー&アセスメント／Leonard S.Lilly [著],小室一成 監訳,宮内秀行 責任編集,：メディカルレビュー社, 2011
Goldman-Cecil medicine／Lee Goldman, Andrew I. Schafer,：Elsevier/Saunders, 2016
病態生理の基礎知識から学べる循環器治療薬パーフェクトガイド／古川哲史 著,：総合医学社, 2016

他科目との関連

・基礎医学講義だけでなく、内科系・外科系講義の内容も関連する

備考

・ 欠席の際は、理由書を、教務掛へ提出すること。

・ 交通機関等の乱れによる遅刻の際は、証明書を提出すること。

・ 学習時、自学自習を基本とし、安易に質問しないこと。

・ その他、質問を行うにあたってのマナーもわきまえること。

・ 必要に応じ、モジュールコーディネーターによる面談を行うことがある。

・ 本授業では Zoom を利用してグループディスカッションや発表を行う。ディスカッションの際は Zoom と同時にインターネット検索などもできる環境にあることが望ましい。

モジュールコーディネーター

池田 通

torumpa@tmd.ac.jp

オフィスアワー：メールで問い合わせ

時間割番号	021082				
科目名	内科・小児・遺伝疾患			科目ID	DD-351400-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:32＋12

授業形態:講義

モジュール番号:14

授業の目的、概要等

1. 内科疾患の原因、病態、治療に関する知識を修得する
2. 小児科疾患についてその原因、病態、治療に関する知識を修得する
3. 遺伝性疾患について原因、病態、治療に関する知識を修得する

成績評価の方法

最終日に筆記試験を行う。出席も評価の際に考慮することがある。

準備学習等についての具体的な指示

本モジュール受講にあたり、特に準備等は必要ではないが、これまで学習した基礎医学の知識を再確認しておくこと。

構成ユニット

O1 1.循環器疾患・2.呼吸器疾患・3.消化器疾患

O2 4.血液疾患・5.内分泌疾患・6.膠原病・7.腎尿路疾患・8.神経疾患

O3 9.小児疾患

O4 10.遺伝病

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

時間割番号	021083				
科目名	循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患			科目ID	DD-351401-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:内科・小児・遺伝疾患

コマ数:9＋3

授業形態:講義

ユニット番号:01

授業の目的、概要等

循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患についてその病態、検査法、治療法について理解する

授業の到達目標

1)代表的な循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患の成因と要因について理解する

2)臨床的に遭遇する可能性の高い代表的循環器・呼吸器・消化器疾患の症候、病態像、病理像、診断、治療、臨床像、予後、予防の基本的な知識を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/29	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	虚血性心疾患	講義	米津 太志	zoomID 等は後日通知
2-3	10/1	10:00-11:50	遠隔授業(同期型)	呼吸器疾患	講義	玉岡 明洋	zoomID 等は後日通知
4	10/5	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	不整脈	講義	合屋 雅彦	zoomID 等は後日通知
5	10/5	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	高血圧・動脈硬化・弁疾患	講義	前嶋 康浩	zoomID 等は後日通知
6	10/26	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	消化器疾患	講義	齊藤 詠子,新田 沙由梨	zoomID 等は後日通知
7	10/26	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	消化器疾患	講義	齊藤 詠子,新田 沙由梨	zoomID 等は後日通知
8-9	11/29	09:00-10:50	歯学科第2講義室	試験	試験	船山 拓也	試験

成績評価の方法

・ユニット最終日に、筆記試験を行い、形成的評価を行う。

・適宜レポートによる形成的評価を行う。

・再試験は 12 月末に行う予定です。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

・レポート提出により受験資格を認めることがある。

モジュールの単位判定

筆記試験を行う。出欠も評価に加える。場合によってはレポート提出が求められることもある。

時間割番号	021084				
科目名	血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経疾患			科目ID	DD-351402-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:内科・小児・遺伝疾患

コマ数:9＋5

授業形態:講義

ユニット番号:02

授業の目的、概要等

血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経内科疾患についてその病態、検査法、治療法について理解する

授業の到達目標

1)代表的な血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経内科疾患の成因と要因について理解する

2)臨床的に遭遇する可能性の高い代表的血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経内科疾患の症候、病態像、病理像、診断、治療、臨床像、予後、予防の基本的な知識を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/6	13:50-15:40	遠隔授業(同期型)	内分泌疾患	講義	小宮 力	zoomIDは後日連絡
3	11/4	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	膠原病	講義	細矢 匡	zoomIDは後日連絡
4-5	11/9	13:50-15:40	遠隔授業(同期型)	血液疾患	講義	坂下 千瑞子	zoomIDは後日連絡
6-7	11/16	10:00-11:50	遠隔授業(同期型)	腎尿路疾患	講義	安藤 史顕	zoomIDは後日連絡
8-9	11/22	09:00-10:50	遠隔授業(同期型)	神経内科疾患	講義	西田 陽一郎	zoomIDは後日連絡
10	12/1	10:00-10:50	歯学科第2講義室	試験	試験	船山 拓也	試験

成績評価の方法

・原則的にユニット最終日に、筆記試験を行い、形成的評価を行う。

・適宜レポートによる形成的評価を行う。

・再試験は 12 月末に行う予定です。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

・レポート提出により受験資格を認めることがある。

時間割番号	021085				
科目名	小児疾患			科目ID	DD-351403-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

【モジュール名】内科・小児・遺伝疾患

8 コマ

授業形態:講義

主な講義場所

ZOOM 予定

授業の目的、概要等

小児疾患についてその病態、検査法、治療法について理解する。

授業の到達目標

1)代表的な小児疾患の成因と要因について理解する

2)臨床的に遭遇する可能性の高い代表的小児疾患(口腔を含む)の症候、病態像、病理像、診断、治療、臨床像、予後、予防の基本的な知識を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	11/11	13:50-14:40	歯学科第2講義室	小児のアレルギー疾患	講義	遠藤 明史	遠隔授業(同期型) zoom ID・パスワードは後日通知
2	11/11	14:50-15:40	歯学科第2講義室	小児の血液疾患	講義	磯田 健志	遠隔授業(同期型) zoom ID・パスワードは後日通知
3	11/17	13:50-14:40	歯学科第2講義室	小児の消化器疾患と腎尿路疾患	講義	金兼 弘和	遠隔授業(同期型) zoom ID・パスワードは後日通知
4	11/17	14:50-15:40	歯学科第2講義室	小児の感染症1	講義	今井 耕輔	遠隔授業(同期型) zoom ID・パスワードは後日通知
5	11/17	15:50-16:40	歯学科第2講義室	小児の内分泌・代謝疾患	講義	石井 卓	遠隔授業(同期型) zoom ID・パスワードは後日通知
6	11/30	09:00-09:50	歯学科第2講義室	小児の呼吸器・循環器疾患	講義	宇田川 智宏	遠隔授業(同期型) zoom ID・パスワードは後日通知
7	11/30	10:00-10:50	歯学科第2講義室	小児の呼吸器・循環器疾患	講義	宇田川 智宏	遠隔授業(同期型) zoom ID・パスワードは後日

							通知
8	11/30	11:00-11:50	歯学科第2講義室	小児の感染症2	講義	鹿島田 健一	遠隔授業(同期型) zoom ID・パスワードは後日通知
9-10	12/6	09:00-10:50	歯学科第2講義室	試験		馬場 有希子	

成績評価の方法

・講義終了後に筆記試験を行う。

・適宜レポートによる評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

モジュールの単位判定

筆記試験を行う。出欠も評価の対象となる。場合によってはレポート提出が求められることもある。

時間割番号	021086				
科目名	遺伝病			**科目ID**	DD-351404-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

【モジュール名】内科・小児・遺伝疾患

5 コマ

授業形態:講義

主な講義場所

ZOOM 予定

授業の目的、概要等

遺伝性疾患についてその病態、検査法、治療法について理解する

授業の到達目標

1)代表的な遺伝性疾患の成因と要因について理解する

2)臨床的に遭遇する可能性の高い代表的な遺伝性疾患の症候、病態像、病理像、診断、治療、臨床像、予後、予防の基本的な知識を習得する

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	12/7	09:00-09:50	歯学科第2講義室	遺伝性疾患の診断と治療	講義	木村 彰方	遠隔授業(同期型) zoom ID・パスワードは後日通知
2	12/7	10:00-10:50	歯学科第2講義室	遺伝性疾患の診断と治療	講義	木村 彰方	遠隔授業(同期型) zoom ID・パスワードは後日通知
3	12/7	11:00-11:50	歯学科第2講義室	遺伝性疾患の診断と治療	講義	木村 彰方	遠隔授業(同期型) zoom ID・パスワードは後日通知
4	12/7	12:50-13:40	歯学科第2講義室	染色体異常症候群	講義	稲澤 譲治	遠隔授業(同期型) zoom ID・パスワードは後日通知
5	12/7	13:50-14:40	歯学科第2講義室	染色体異常症候群	講義	稲澤 譲治	遠隔授業(同期型) zoom ID・パスワードは後日通知
6	12/10	13:50-14:40	歯学科第2講義室	試験		馬場 有希子	

成績評価の方法

・講義終了後に筆記試験を行い、総括的評価を行う。

・適宜レポートによる評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

モジュールの単位判定

筆記試験を行う。出欠も評価の対象となる。場合によってはレポート提出が求められることもある。

時間割番号	021087				
科目名	外科系疾患			**科目ID**	DD-351500-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	3	**単位数**	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:48(8)

授業形態:講義

モジュール番号:15

主な講義場所

遠隔

授業の目的、概要等

全身の外科的治療を要する疾患の病因・病態を理解し，その予防，診断および治療のための知識を修得し、全人的観点より患者を診察する能力を養う。

準備学習等についての具体的な指示

準備学習として、各ユニットにおいて参考図書における該当箇所を熟読しておくことが望ましい。

構成ユニット

01 外科総論

02 皮膚疾患

03 消化器系・乳腺疾患

04 循環器・呼吸器系疾患(外科系)

05 腎・泌尿器系疾患

06 生殖器系疾患

07 脳神経疾患

08 運動器系疾患

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、新歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

時間割番号	021088			
科目名	外科総論		**科目ID**	DD-351501-L
担当教員				
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:外科系疾患
コマ数:8＋1
授業形態:講義
ユニット番号:01

主な講義場所

遠隔

授業の目的、概要等

全身の外科的治療を要する疾患の病因・病態を理解し，その予防，診断および治療のための知識を修得し、全人的観点より患者を診察する能力を養う。

授業の到達目標

1)基本的検査とカルテ記載ができる。
2)基本的な外科処置ができる。
3)血液疾患の病態、診断、治療と予後が説明できる。
4)炎症の病態、診断、治療と予後が説明できる。
5)良性腫瘍の病態、診断、治療と予後が説明できる。
6)悪性腫瘍の病態、診断、治療と予後が説明できる。

成績評価の方法

・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

準備学習として、参考図書における当該箇所を熟読しておくが望ましい。

試験の受験資格

・全授業の時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

外科研修マニュアル／京都大学大学院医学研究科外科学講座編集,京都大学大学院医学研究科外科学講座,:南江堂, 2009
標準外科学／坂井義治, 田邉稔, 池田徳彦編集,北野, 正剛,田邉, 稔(外科学),池田, 徳彦,坂井, 義治,:医学書院, 2019

時間割番号	021089				
科目名	皮膚疾患			科目ID	DD-351502-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:外科系疾患

コマ数:6＋1

授業形態:講義

ユニット番号:02

主な講義場所

遠隔

授業の目的、概要等

皮膚の構造と機能を理解し，主な皮膚疾患の原因，症候，病態，診断と治療を学ぶ。

授業の到達目標

1） 皮膚の構造と機能を説明できる。

2） 湿疹・皮膚炎を概説できる。

3） 蕁麻疹を概説できる。

4） 薬疹・水疱症・膿疱症を概説できる。

5） 皮膚悪性腫瘍を概説できる。

6） 皮膚感染症を概説できる。

成績評価の方法

・受講態度，筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

皮膚疾患についての講義を理解するための予復習を行う意欲を持つこと。事前に参考図書の当該箇所を熟読しておくことが望ましい。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

今日の皮膚疾患治療指針／塩原哲夫［ほか］編集,塩原，哲夫,:医学書院，2012

時間割番号	021090				
科目名	消化器系・乳腺疾患			**科目ID**	DD-351503-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:外科系疾患

コマ数:8＋1

授業形態:講義

ユニット番号:03

主な講義場所

遠隔

授業の目的、概要等

消化器系および乳腺の構造と機能を理解し，主な消化器疾患、乳腺疾患の原因，症候，病態，診断と治療を学ぶ。

授業の到達目標

1） 消化器系の構造と機能を説明できる。

2） 主な食道疾患を列挙できる。

3） 主な胃・十二指腸疾患を列挙できる。

4） 主な胆・肝・膵疾患を列挙できる。

5） 主な小腸疾患を列挙できる。

6） 主な大腸疾患を列挙できる。

7） 乳腺の構造と機能、乳腺疾患を説明できる。

成績評価の方法

・受講態度，筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

受講前に参考図書の関連領域の部分に一通り目を通しておくことが望ましい。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

消化器疾患最新の治療 2021-2022／小池　和彦 編集,山本　博徳 編集,瀬戸　泰之 編集,小池　和彦,山本　博徳,瀬戸　泰之,:南江堂，2021

乳腺疾患／泉雄勝，妹尾亘明編,泉雄，勝,妹尾，亘明,:金原出版，1993

外科研修マニュアル／京都大学大学院医学研究科外科学講座編集,京都大学大学院医学研究科外科学講座,:南江堂，2009

時間割番号	021091			
科目名	循環器・呼吸器系疾患		**科目ID**	DD-351504-L
担当教員				
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:外科系疾患

コマ数:5＋1

授業形態:講義

ユニット番号:04

主な講義場所

遠隔

授業の目的、概要等

循環器・呼吸器系の構造と機能を理解し，主な循環器・呼吸器系疾患（外科系）の原因，症候，病態，診断と治療を学ぶ。

授業の到達目標

1） 循環器系の構造と機能を説明できる。

2） 主な心像・大動脈疾患を列挙できる。

3） 主な動脈・静脈疾患を列挙できる。

4） 原発性肺癌と転移性肺腫瘍を概説できる。

5） 胸膜・縦隔疾患を列挙できる。

成績評価の方法

・受講態度，筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

胸部を中心とした循環器・呼吸器の解剖・生理機能を復習して講義に出席するとより講義内容を理解することができる。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

今日の内科学／宮本昭正[ほか]/編,宮本昭正[ほか]/編,:医歯薬出版，1995

外科学／鈴木時雄，吉野肇一編集,鈴木，時雄,吉野，肇一,:医学書院，1996

時間割番号	021092				
科目名	腎・泌尿器系疾患			**科目ID**	DD-351505-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:外科系疾患

コマ数:2＋1

授業形態:講義

ユニット番号:05

主な講義場所

遠隔

授業の目的、概要等

腎・泌尿器系の構造と機能を理解し，主な腎・泌尿器系疾患(外科系)の原因，症候，病態，診断と治療を学ぶ。

授業の到達目標

1） 腎・泌尿器系の構造と機能を説明できる。

2） 尿路系結石を概説できる。

3） 腎嚢胞・腫瘍を概説できる。

4） 主な膀胱疾患を列挙できる。

5） 前立腺・精巣疾患を概説できる。

成績評価の方法

・受講態度，筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

「今日の内科学」宮本昭正:医歯薬出版、1993

「泌尿・生殖器系疾患」奥山明彦:(看護のための最新医学講座第 22 巻)、中山書店、2001

時間割番号	021093			
科目名	生殖器系疾患		**科目ID**	DD-351506-L
担当教員				
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:外科系疾患

コマ数:4＋1

授業形態:講義

ユニット番号:06

主な講義場所

遠隔

授業の目的、概要等

生殖器系の構造と機能を理解し，主な生殖器系疾患の原因，症候，病態，診断と治療を学ぶ

授業の到達目標

1） 女性の生殖器系の構造と機能を説明できる。

2） 妊娠・不妊を概説できる。

3） 外陰・膣疾患を列挙できる。

4） 子宮疾患を列挙できる。

5） 卵巣疾患を列挙できる。

6） 妊婦の歯科治療時の注意点を説明できる。

成績評価の方法

・受講態度，筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

生殖器系疾患についての講義を理解するための予復習を行う意欲を持つこと。事前に参考図書の当該箇所を熟読しておくことが望ましい。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

「泌尿・生殖器系疾患」(看護のための最新医学講座第 22 巻)奥山明彦:中山書店、2001

時間割番号	021094			
科目名	脳神経疾患		**科目ID**	DD-351507-L
担当教員				
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:外科系疾患

コマ数:3＋1

授業形態:講義

ユニット番号:07

主な講義場所

遠隔

授業の目的、概要等

脳神経系の構造と機能を理解し，主な脳神経疾患の原因，症候，病態，診断と治療を学ぶ。

授業の到達目標

1） 脳の血管支配と血液・脳関門を説明できる。

2） 頭蓋内圧亢進を概説できる。

3） 脳血管障害(脳梗塞，脳内出血，くも膜下出血)を概説できる。

4） 頭部外傷を概説できる。

5） 頭蓋内血腫を列挙できる。

成績評価の方法

・受講態度，筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

受講前に参考図書の関連領域の部分に一通り目を通しておく事が望ましい。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

よくわかる脳神経外科学／平塚秀雄，大野喜久郎，岡田洽大共著,平塚，秀雄,大野，喜久郎,岡田，洽大,:金原出版，1996

脳神経外科学／太田富雄総編集 ; 川原信隆 [ほか] 編集,太田，富雄,川原，信隆,野崎，和彦,吉峰，俊樹,若林，俊彦,:金芳堂，2016

時間割番号	021095			
科目名	運動器系疾患		**科目ID**	DD-351508-L
担当教員				
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:外科系疾患

コマ数:3＋1

授業形態:講義

ユニット番号:08

主な講義場所

遠隔

授業の目的、概要等

運動器の構造と機能を理解し，主な運動器疾患の原因，症候，病態，診断と治療を学ぶ。

授業の到達目標

1） 骨・軟骨・関節・靭帯の構造と機能を説明できる。

2） 骨粗鬆症を概説できる。

3） 関節疾患を列挙できる。

4） 骨肉腫，ユーイング肉腫を概説できる。

5） 椎間板ヘルニアを概説できる。

6） 脊髄損傷を概説できる。

成績評価の方法

・受講態度，筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

標準整形外科学／井樋栄二［ほか］編集,井樋，栄二,吉川，秀樹,津村，弘,田中，栄(整形外科学),高木，理彰,:医学書院，2020

TUREK'S ORTHOPAEDICS: PRINCIPLES AND THEIR APPLICATION.／Weinstein, Stuart L.:LIPPINCOTT WILLIAMS & WILKINS，2005

時間割番号	021096				
科目名	課題統合セミナー			**科目ID**	DD-351600-L
担当教員					
開講時期	2021 年度2年通年 (秋)	**対象年次**	3～5	**単位数**	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

課題統合セミナーではーつのテーマに沿ってさまざまな側面からの知識の整理を行い、より深い理解を行う。
全ユニットで，各々合格していなければ，自動的にモジュールの合格を失う．すなわち全てのユニットを合格しなくてはモジュール合格に到らないことに留意する．

主な講義場所

第 4 講義室

授業の目的、概要等

一つのテーマに沿ってさまざまな側面からの知識の整理を行い、より深い理解を行う。

授業の到達目標

各ユニットの到達目標を参考のこと

成績評価の方法

各ユニットにより異なる

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

ユニットにより異なるが，筆記試験の場合，ユニット試験の受験資格は，・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

構成ユニット

01 咀嚼と嚥下のバイオロジー
02 骨のバイオロジー
03 ことばの世界
04 オクルージョン
05 歯科と色
06 口唇裂口蓋裂
07 全人的総合診断

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

時間割番号	021097				
科目名	骨のバイオロジー			科目ID	DD-351601-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業の目的、概要等

骨のバイオロジーに関する知識を統合整理し、歯科医療における位置付けを確認する。

授業の到達目標

1)骨芽細胞の機能を説明できる。

2)破骨細胞の機能を説明できる。

3)骨モデリング、リモデリングを説明できる。

4)骨・軟骨代謝に関わる生物学的調節因子とその連携を理解できる。

5)骨疾患の病態とその治療方法を理解できる。

6)骨発生の分子メカニズムを説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/26	12:50-13:40	歯学科第2講義室	概論	中島 友紀
2	11/4	12:50-13:40	歯学科第2講義室	軟骨細胞	小野 岳人
3	11/9	12:50-13:40	歯学科第2講義室	骨芽細胞	小野 岳人
4	11/11	12:50-13:40	歯学科第2講義室	骨細胞	中島 友紀
5	11/16	09:00-09:50	歯学科第2講義室	破骨細胞	林 幹人
6	11/22	12:50-13:40	歯学科第2講義室	顎口腔疾患	小野 岳人
7	12/9	12:50-13:40	歯学科第2講義室	骨制御因子と薬物治療	中島 友紀

成績評価の方法

試験と課題レポートによる総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

授業前に必ず予習し、試験および授業にのぞむこと。

試験の受験資格

全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

教科書

口腔生化学:医歯薬出版

参考書

口腔生化学(医歯薬出版株式会社)

はじめの一歩の生化学・分子生物学(羊土社)

骨ペディア(羊土社)

Osteoimmunology: Interactions of the Immune and Skeletal Systems, San Diego, CA:ELSEVIER, 2010

骨研究がわかる(羊土社)

新 骨の科学 (医歯薬出版株式会社)

Developmental Biology　Scott F Gilbert (Sinauer Associates Inc)
備考 林幹人助教(分子情報伝達学分野)月-金(事前メール連絡後)17:00 以降 hayashi.csi@tmd.ac.jp 小野岳人助教(分子情報伝達学分野)月-金(事前メール連絡後)17:00 以降 ono.csi@tmd.ac.jp 中島友紀教授(分子情報伝達学分野)月-金(事前メール連絡後)17:00 以降　　naka.csi@tmd.ac.jp

時間割番号	021570				
科目名	咀嚼と嚥下のバイオロジー			科目ID	DD-551602-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:課題統合セミナー

コマ数:9+0(必要自習時間 5 時間)

授業形態:遠隔授業(同期型)

ユニット番号:02

主な講義場所

遠隔授業

授業の目的、概要等

咀嚼・嚥下に関する知識を統合理解し、歯科医療における位置付けを確認する。

授業の到達目標

1)咀嚼・嚥下に関わる構造を説明できる。

2)咀嚼・嚥下の機能を説明できる。

3)咀嚼・嚥下の神経制御機構を説明できる。

4)摂食嚥下に関わる器官の発生過程を理解する。

5)摂食・嚥下障害の病態を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/8	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	頭蓋顔面発生	摂食嚥下に関わる頭蓋及び顔面の発生について (手作りの模型を使って実際に動かしながら解剖を学ぶ)	里田 隆博	
2	6/8	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	摂食嚥下機能	摂食嚥下に関わる筋とそれぞれの動き方について (手作りの模型を使って実際に動かしながら解剖を学ぶ)	里田 隆博	
3	6/8	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	摂食嚥下障害総論	摂食嚥下障害を持つ患者の診察の仕方について (学生に質問し考えさせながら授業を行う)	中根 綾子	
4	6/14	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	機能低下を起こしやすい疾患(脳卒中)	歯科医師が知っておくべきフレイルについて (学生に質問し考えさせながら授業を行う)	稲次 基希	
5	6/14	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	機能低下を起こしやすい疾患(フレイル)	歯科医師が知っておくべきフレイルについて (学生に質問し考えさせながら授業を行う)	阿部 庸子	
6	6/14	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	咀嚼と嚥下のバイオロジー 義歯と嚥下	咀嚼と嚥下の関連 特に高齢者に多い義歯と咀嚼・嚥下機能との関連について概説する (学生に質問し考えさせながら授業を行う)	阿部 庸子	
7	7/1	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	嚥下障害各論	急性期で対応した症例の紹介 (学生に質問し考えさせながら授業を行う)	中川 量晴	
8	7/1	10:00-10:50	遠隔授業	嚥下障害各論	在宅で対応した症例の紹介	山口 浩平	

			（同期型）		（学生に質問し考えさせながら授業を行う）		
9	7/1	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	咀嚼と嚥下のバイオロジー まとめ	試験はWebclassで行い、講義で扱った範囲から出題　最終授業で行う試験結果を用いて、総合的に判断する。	戸原 玄, 吉見 佳那子	

成績評価の方法

・試験は Webclass で行い、講義で扱った範囲から出題。

・最終授業で行う試験結果を用いて、総合的に判断する。

準備学習等についての具体的な指示

参考書を参照の上学習を準備する。

試験の受験資格

全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

参考書

摂食・嚥下のメカニズム, 解剖, 生理編（CD-ROM）／里田隆博・戸原玄：医歯薬出版, 2013

咀嚼する脳 ： 咀嚼運動をコントロールする脳・神経の仕組み／中村嘉男 著,：医歯薬出版, 2005

備考

戸原玄：h.tohara.swal@tmd.ac.jp

参照ホームページ

http://www.swallowing.link/

時間割番号	021568			
科目名	ことばの世界		**科目ID**	DD-551603-L
担当教員				
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

課題統合セミナーは一つのテーマに沿ってさまざまな側面からの知識の整理を行い，より深く理解することを目的とする．全てのユニットで合格しなくてはモジュールが合格にならない点に留意する．

モジュール名：課題統合セミナー

ユニットコマ数：3＋1

必要自習時間：3

授業形態：遠隔(同期型)

ユニット番号：03

主な講義場所

Zoom による遠隔講義にて実施する．

Zoom ID: 934 4193 0689・パスコード: 838519

試験は対面にて行う

授業の目的、概要等

ことばの世界では，臨床で必要とされる「ことばに関する訴え」に対する解決策を探ります．

これまで解剖学や生理学で学んできた知識を臨床に応用することを想定し，基礎知識の確認，音響学，そして臨床での解決までを学んでいきます．

授業の到達目標

1.ことばに関わる形態解剖や生理学的の知識を整理し，発声・発語機能を理解する．

2.ことばに関する音響学を学び，人間の発声・発語のメカニズムを理解する．

3.臨床で必須となる[発声・発語]の評価法を学び，ことばの問題に対処できるようにする．

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/27	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	ことばに関する基礎的事項	AL(グループワーク)を含む　ことばの生成に 関わる解剖生理学的知識の整理を行う．	服部 麻里子	
2	4/27	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	ことばと音響学	AL(演習)を含む　ことばの生成を音響学的に理解をする．	荒井 隆行	
3	4/27	15:50-16:40	遠隔授業（同期型）	ことばと補綴治療/言語治療	AL(演習)を含む　ことばの障害に対する治療法を理解する．	隅田 由香，正木 啓太	
4	5/13	09:00-09:50	歯学科第1講義室	筆記試験		隅田 由香，服部 麻里子	到達目標 1，2，3

成績評価の方法

事前学習の実施状況，講義でのグループワークへの取り組みと演習への取り組み，筆記試験の結果を総合的に評価する．

筆記試験については，授業出席が 2/3 以上あるもののみが，受験資格を持つ．

準備学習等についての具体的な指示

講義内での理解を深めるために，WebClass にアップロードされた配布資料に必ず目を通したうえで，講義に臨んでください．

2 時間目の講義に先立ち特に http://www.splab.net/の閲覧もおすすめします．

顎顔面補綴全般については分野 HP を参考にしてください。

http://www.tmd.ac.jp/mfp/index.html

試験の受験資格

ユニットにより異なるが，筆記試験の場合，ユニット試験の受験資格は全授業時間数のうち3分の2以上出席したものに受験資格がある．

3 コマの授業なので 2 コマを遅刻早退なく出席していなくては受験資格を失う．

健康に留意して臨むこと．

構成ユニット

01 咀嚼と嚥下のバイオロジー
02 骨のバイオロジー
03 ことばの世界
04 オクルージョン
05 歯科と色
06 口唇裂口蓋裂
07 全人的総合診断

モジュールの単位判定

本モジュールは，複数学年にまたがるモジュールなので，歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない．

モジュールの単位を取得するためには，当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない．なお，ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては，出席日数，提出レポート内容，及び平常学習態度等が評価に加味される．

教科書

顎顔面補綴の臨床 : 咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために／大山喬史，谷口尚 編,大山，喬史,1939-,谷口，尚,1952-,:医学情報社，2006
声と言葉のしくみ／亀田和夫著,亀田，和夫,:口腔保健協会，1986
イラスト顎顔面解剖学／松村譲児，島田和幸編著,松村，譲児,島田，和幸,:中外医学社，2012
口腔・中咽頭がんのリハビリテーション : 構音障害,摂食・嚥下障害／溝尻源太郎 編著,熊倉勇美 編著,溝尻源太郎,熊倉勇美,:医歯薬出版，2004
音声の音響分析／レイ・D・ケント，チャールズ・リード著,Kent, Raymond D.,Read, Charles,荒井，隆行,菅原，勉,:海文堂出版，1996

参考書

Maxilofacial rehabilitation／John Beumer:quintessenve
図解言語聴覚療法技術ガイド／深浦順一 編集主幹,長谷川賢一，立石雅子，佐竹恒夫 編集委員,:文光堂，2014
言語聴覚士に必要な歯科の知識／植松宏 監修,谷口尚，片倉伸郎，大野友久，隅田由香 著,:インテルナ出版，2007
口腔顎顔面領域の異常と言語障害 : 器質性構音障害治療のポイント／伊東節子 編著,:医歯薬出版，2001
口腔・中咽頭がんのリハビリテーション : 構音障害,摂食・嚥下障害／溝尻源太郎 編著,熊倉勇美 編著,:医歯薬出版，2004
口唇裂口蓋裂の補綴治療／大山喬史 編著,:医歯薬出版，1997
口蓋帆・咽頭閉鎖不全 : その病理・診断・治療／舘村卓著,舘村，卓,:医歯薬出版，2012
国試合格力養成!補綴歯科学の要点と解説／下山和弘，羽村章 編著,:医歯薬出版，2020
プロソドンティックス／末永書店:2020

履修上の注意事項

本年度の本ユニットは3時間です． 受験資格を失わないよう，体調に留意し，遅刻，欠席をしないでください． 事前資料をWebクラスにアップしますので，必ず目を通して講義に臨んでください． 講義内ではアクティブラーニングを実施いたします．

備考

1.ことばに関わる形態解剖や生理学的の知識を整理し，発声・発語機能を理解する．
AL（グループワークを行う）
2.ことばに関する音響学を学び，人間の発声・発語のメカニズムを理解する．
AL（演習を行う）
3.臨床で必須となる[発声・発語]の評価法を学び，ことばの問題に対処できるようにする
．AL（演習を行う）

参照ホームページ

上智大学荒井教授のHPには，音響学を理解するうえで有効なツールが多数掲載されています．
講義前後の閲覧は，講義内容の理解をさらに深めます．
http://www.splab.net/
顎顔面補綴学については以下をご覧ください．
http://www.tmd.ac.jp/mfp/index.html
https://jamfp.sakura.ne.jp/

時間割番号	021569				
科目名	オクルージョン			**科目ID**	DD-551604-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:6＋1(必要自習時間3時間)

授業形態:講義

ユニット番号:04

主な講義場所

1回目～6回目:遠隔授業(Zoom 講義)

7回目:筆記試験(7号館　第4講義室)

授業の目的、概要等

咬合に関する知識を整理し、人の一生とともに俯瞰的に理解する。

授業の到達目標

1)乳歯の正常な萌出ならびに異常とそれに関与する因子を説明できる。

2)乳歯列から混合歯列への正常な移行とその阻害因子を説明できる。

3)混合歯列から永久歯列への正常な移行とその阻害因子を説明できる

4)咬合の維持ならびに崩壊に関与する因子を説明できる。

5)咬合と全身機能との関係を説明できる。

6)咬合と顎機能異常との関連を説明できる。

7)咬合治療におけるチームアプローチの重要性を具体的に述べることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/27	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	歯列弓の形態と正常咬合	AL　講義・リアクションペーパー	柴田 俊一	
2	6/3	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	乳歯列の咬合	AL　講義・リアクションペーパー	岩本 勉	
3	6/7	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	混合歯列から永久歯列へ	AL　講義・リアクションペーパー	松本 芳郎	
4	6/17	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	顎関節症と咬合	AL　講義・リアクションペーパー	西山 暁	
5	6/24	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	高齢者の咬合回復	AL　講義・リアクションペーパー	水口 俊介	
6	7/9	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	顎欠損・舌欠損患者のオクルージョン	AL　講義・リアクションペーパー	隅田 由香	
7	7/12	10:00-10:50	特別講堂	筆記試験		小野 卓史	

成績評価の方法

授業におけるリアクションペーパー、ユニット最終回の筆記試験(2021年7月12日)により総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

準備学習として、指定教科書を熟読すること。

試験の受験資格

全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

構成ユニット

04 オクルージョン

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

教科書

・咀嚼運動の生理学(中村嘉男、医歯薬出版、1998)
・テキストブック　オクルージョン(Mohl/Zarb/Carlsson/Rugh 共著、藍稔訳、クインテッセンス、1993)
・入門咬合学(古谷野潔ほか、補綴臨床 Practice Selection、医歯薬出版)
・新編咬合学辞典(保母須美也、クインテッセンス出版)
・全図解　顎関節症とかみ合わせの悩みが解決する本(健康ライブラリー図解シリーズ、講談社、2011)
・歯科技工別冊・図解咬合の基礎知識(五十嵐孝義・田村勝美、医歯薬出版)
・オクルージョン・咬合治療の理論と臨床(覚道幸男・三谷春保・碑田豊治、医歯薬出版)
・スポーツ歯学の臨床(大山喬史、医学情報社)
・顎顔面補綴の臨床(大山喬史・谷口尚、医学情報社)
・スポーツ歯科臨床マニュアル(日本スポーツ歯科医学会編、医学情報社)
・Clinical Management of Head, Neck and TMJ Pain and Dysfunction(Gelb H, WB Saunders, 1985)
・New Concepts in Craniomandibular and Chronic Pain Management(Gelb H, Mosby-Wolfe, 1994)

備考

授業においては、AL(リアクションペーパー作成・提出)を実施します。試験の受験資格を喪失しないように、体調管理に十分留意するとともに、出欠には余裕をもって各講義に臨んで下さい。

時間割番号	021519				
科目名	歯科と色			**科目ID**	DD-551605-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

主な講義場所

講義室

授業の目的、概要等

歯科診療における色の効果について理解する。

色についての基本的な知識を習得するとともに、歯科保存治療、補綴歯科治療、口腔外科治療等における色の関りについて理解する。

授業の到達目標

学習目標(GIO):

歯科診療における色の効果について理解する。

到達目標(SBOs):

1)色の基本的性質について説明できる。

2)口腔および顎顔面の色の特徴について説明できる。

3)口腔および顎顔面の治療における色の果たす役割を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/8	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	色の基本	服部 麻里子
2	4/8	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	保存修復における色 1	中島 正俊
3	4/15	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	口腔粘膜と色	山城 正司
4	4/15	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	保存修復における色 2	大槻 昌幸
5	4/22	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	歯内治療と歯の変色 1	興地 隆史
6	4/22	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	歯内治療と歯の変色 2	興地 隆史
7	5/6	12:50-13:40	遠隔授業(非同期型)	間接法歯冠修復における色 1	岡田 大蔵
8	5/6	13:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	間接法歯冠修復における色 2	岡田 大蔵

成績評価の方法

・小テストを適宜実施し、客観的評価を行う。

・課題に対するレポートを提出し評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

レポート作成のために必要な文献等は各自で検索し、収集すること。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

歯の色の話／日本歯科色彩学会 編著,:クインテッセンス出版, 1999

Fundamentals of color Shade matching and communication in esthetic dentistry 2nd ed／S.J.Chu, A 他:Quintessence, 2010

これで納得!デンタルホワイトニング :Dental Whitening 101／加藤純二, 金子潤, 大槻昌幸, 守矢佳世子 編著,:医歯薬出版, 2012

ホワイトニング&プリベンション :「白い歯」からはじまるカリエスフリー時代の臨床アドバイス 10／椿智之 著,:クインテッセンス出版, 2011

歯科審美学 = Esthetic dentistry／日本歯科審美学会 編,日本歯科審美学会,:永末書店, 2019

参照ホームページ

WebClass から配信予定

時間割番号	021520				
科目名	口唇口蓋裂			科目ID	DD-551606-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:課題統合セミナー

コマ数:9＋0

授業形態:講義

ユニット番号:06

授業の目的、概要等

口唇口蓋裂の病態ならびに治療法を理解する。

授業の到達目標

1） 口唇口蓋裂の発生と成因を説明できる。

2） 口唇口蓋裂患者の言語の問題を述べることができる。

3） 各時期における外科治療について述べることができる。

4） 顎発育障害および咬合不全に対する治療体系を説明できる。

5） 口唇口蓋裂のチームアプローチの重要性を述べることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/26	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	口唇口蓋裂の発生と成因	講義 WebClass:FDS21033 D5 課題統合セミナー 口唇口蓋裂 2021	井関 祥子	
2	5/26	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	口唇口蓋裂児が出生した時に	講義 WebClass:FDS21033 D5 課題統合セミナー 口唇口蓋裂 2021	落合 聡	
3	5/26	11:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	口唇口蓋裂の外科治療1(出生直後から口唇・口蓋形成術まで)	講義 WebClass:FDS21033 D5 課題統合セミナー 口唇口蓋裂 2021	森田 圭一	
4	6/2	09:00-09:50	遠隔授業(非同期型)	口唇口蓋裂の言語治療	講義 WebClass:FDS21033 D5 課題統合セミナー 口唇口蓋裂 2021	正木 啓太	
5	6/2	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	口唇口蓋裂の矯正治療1(幼児期・学童期まで)	講義 WebClass:FDS21033 D5 課題統合セミナー 口唇口蓋裂 2021	米満 郁男	
6	6/2	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	口唇口蓋裂の矯正治療2(青少年期から成人まで)	講義 WebClass:FDS21033 D5 課題統合セミナー 口唇口蓋裂 2021	小川 卓也	
7	6/9	09:00-09:50	遠隔授業(非同期型)	口唇口蓋裂の外科治療2(幼児期から成人期まで)	講義 WebClass:FDS21033 D5 課題統合セミナー 口唇口蓋裂 2021	森田 圭一	
8	6/9	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	口唇口蓋裂の補綴治療	AL, 講義・演習 WebClass:FDS21033 D5 課題統合セミナー 口唇口蓋裂 2021	隅田 由香	演習
9	6/9	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	口唇口蓋裂のチーム医療	AL, 講義・演習 WebClass:FDS21033 D5 課題統合セミナー 口唇口蓋裂 2021	小川 卓也	演習

成績評価の方法

・レポートによる総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

口唇口蓋裂についての講義を理解するために、事前に参考図書の関連領域を熟読しておくことが望ましい。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

参考書

口唇裂・口蓋裂の基礎と臨床／高橋庄二郎 著,:日本歯科評論社, 1996

アトラス顎顔面矯正 : 顎変形症と口唇口蓋裂の矯正治療／黒田敬之 監修,大山紀美栄, 本橋信義, 鈴木聖一 編,黒田, 敬之, 1936-,大山, 紀美栄, 1940-,本橋, 信義, 1948-,鈴木, 聖一, 1954-,:医歯薬出版, 2002

時間割番号	021521				
科目名	全人的総合診断			科目ID	DD-551607-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

主な講義場所

7号館4階第4講義室、1号館西6階演習室、病院1階歯科総合診療部

授業の目的、概要等

＜講義＞口腔内診査の基本を理解するとともに、与えられた患者医療情報を全人的・総合的に分析することにより、正しい診断、治療法の選択、治療計画の立案について理解する。

＜グループローテーション演習・実習＞口腔内検査相互実習、医療面接演習、治療計画の立案演習を通して、包括臨床実習に繋がる全人的総合診断の態度と技能の基本を修得する。

授業の到達目標

1） 患者医療情報を正しく収集できる。

2） 口腔内診査の基本が正しく実施できる

3） 患者医療情報を分類する。

4） 患者医療情報から正しい診断を行う。

5） 診断から治療法が選択できる。

6） 患者中心の治療計画が立案できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	6/15	09:00-09:50	歯学科第４講義室	診断の基本	荒木 孝二	プレテスト
2	6/15	10:00-10:50	歯学科第４講義室	基本的診断法	梅森 幸	
3	6/15	11:00-11:50	歯学科第４講義室	医療面接と患者の心理	礪波 健一	ポストテスト
4	6/15	12:00-12:50	歯学科第４講義室	歯周疾患と歯内疾患	荒木 孝二, 新田 浩	プレテスト
5	6/15	12:50-13:40	歯学科第４講義室	粘膜疾患	大山 篤	
6	6/15	13:50-14:40	歯学科第４講義室	欠損部と補綴	秀島 雅之, 則武 加奈子	ポストテスト
7	6/16	09:00-09:50	歯学科第４講義室	う蝕と審美	荒木 孝二	プレテスト
8	6/16	10:00-10:50	歯学科第４講義室	全身疾患と口腔症状	新田 浩	
9	6/16	11:00-11:50	歯学科第４講義室	治療方針・治療計画	新田 浩	ポストテスト
10-12	6/18	12:00-14:40	歯学部演習室, 歯科総合診療部	ローテーション実習	荒木 孝二, 礪波 健一, 梅森 幸, 津覇 雄三, 大出 貴資, 佐々木 直樹, 小田 茂, 則武 加奈子	実習、演習、グループワーク、討論、プレテスト、ポストテスト
13-15	6/21	12:00-14:40	歯学部演習室, 歯科総合診療部	ローテーション実習	新田 浩, 則武 加奈子, 梅森 幸, 佐野 和信, 松成 淳一, 高橋 一輝, 木村 康之, 岩城 麻衣子	実習、演習、グループワーク、討論、プレテスト、ポストテスト
16-18	6/22	12:00-14:40	歯学部演習室, 歯科総合診療部	ローテーション実習	礪波 健一, 則武 加奈子, 梅森 幸, 渡辺 大郎, 石田 智洋, 飯田 知里, 新田 浩	実習、演習、グループワーク、討論、プレテスト、ポストテスト
19	7/7	11:00-11:50	特別講堂	ユニット試験	梅森 幸, 木村 康之	

成績評価の方法

・原則として各授業のはじめと終わりにミニテストによる形成的評価を行う。
・授業・演習・実習中の平常点、およびユニット最後の筆記試験（令和２年７月８日）により総括的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

必要実習時間9時間：5年前期までに履修した臨床系科目のまとめ的な授業であるので、歯科的疾患に関する知識（疾患名、病態、鑑別診断、検査法、治療法など）と歯科疾患に関係している全身疾患に関する知識（疾患名、病態、歯科との関連など）についての再確認をしておくこと。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

見逃しケースのなぜを解く！ 歯科診断スキルアップ実践ガイド : 落とし穴を回避して主訴の解決に導く手順とポイント／礪波健一 著・文・その他,礪波健一 編集,則武加奈子 著・文・その他,則武加奈子 編集,梅森 幸 著・文・その他,梅森 幸 編集,新田 浩 著・文・その他,新田 浩 編集,小田 茂 著・文・その他,小田 茂 編集,荒木孝二 著・文・その他,荒木孝二 編集,礪波健一,則武加奈子,梅森 幸,新田 浩,小田 茂,荒木孝二,：クインテッセンス出版, 2021-02-10

参考書

人間学入門 : 医療のプロをめざすあなたに／日本医学教育学会倫理・行動科学小委員会/準備教育小委員会 編,：南山堂, 2009
学生のための医療概論／千代豪昭, 黒田研二 編,：医学書院, 2010
歯科医療のおもしろさ : 後輩たちへ贈る 28 のドラマ／橋本光二, 升谷滋行, 飯野文彦 編,：口腔保健協会, 2013
歯科臨床イヤーノート = Year note of dental practice／住友雅人, 木下淳博, 沼部幸博, 松村英雄 編,：クインテッセンス出版, 2013
知りたいことがすぐわかる高齢者歯科医療 : 歯科医療につながる医学知識／小谷順一郎, 田中義弘 編集主幹,足立了平, 河合峰雄, 佐久間泰司, 民田浩一 編,：永末書店, 2008
口腔科学 = Stomatology／戸塚靖則, 高戸毅 監修,飯田順一郎, 伊藤公一, 岡野友宏, 木村博人, 小谷順一郎, 齊藤力, 佐々木啓一, 白砂兼光, 須田英明, 丹沢秀樹, 前田健康, 山根源之, 山本浩嗣 編集,：朝倉書店, 2013
医療者の心を贈るコミュニケーション : 患者さんと一緒に歩きたい／日下隼人著,日下, 隼人,：医歯薬出版, 2016
日常診療の中で学ぶプロフェッショナリズム／WENDY LEVINSON, SHIPHRA GINSBURG, FREDERIC W.HAFFERTY, CATHERINE R.LUCEY [著],宮田靖志, 小泉俊三 監訳,Levinson, Wendy S,Ginsburg, Shiphra,Hafferty, Frederic W., 1947-,宮田, 靖志,小泉, 俊三, 1946-,：カイ書林, 2018
実践!クリティカル・シンキングのすすめ : 探究・臨床力をアップする EBM の学び方と活用ポイント／八重垣健 監著,八重垣, 健,：クインテッセンス出版, 2009

履修上の注意事項

グループローテーション演習・実習を休んだ場合は補習を必要とする。補習を受けなかった場合は総括評価を保留とする。

備考

本ユニットの出席確認の方法は初回授業時に詳細を説明する。
演習・実習・グループワークによるアクティブラーニングを実施する。

参照ホームページ

必要実習時間9時間：5年前期までに履修してきた臨床系科目のまとめ的な授業であるので、歯科的疾患に関する知識（疾患名、病態、鑑別診断、検査法、治療法など）と歯科疾患に関係している全身疾患に関する知識（疾患名、病態、歯科との関連など）についての再確認をしておくこと。

時間割番号	021098				
科目名	学年混合選択セミナー			科目ID	DD-331700-L
担当教員					
開講時期	2021 年度 2.5 通年	対象年次	3～5	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:10
授業形態:講義・演習
モジュール番号:17

主な講義場所
各ユニットのシラバスを参照のこと

授業の目的、概要等
興味を抱く医歯学領域のテーマを自ら選び、理解を深める。

授業の到達目標
各ユニットのシラバスを参照のこと

成績評価の方法
各ユニットのシラバスを参照のこと

準備学習等についての具体的な指示
各ユニットのシラバスを参照のこと

試験の受験資格
各ユニットのシラバスを参照のこと

構成ユニット
01 選択コース 1-A, B, C, D, E, F, G, H (いずれか一つを選択する)
02 選択コース 2-A, B, C, D, E, G, H (いずれか一つを選択する)

モジュールの単位判定
モジュールの単位を取得するためには、すべてのユニット (=2 ユニット)に合格しなければならない。
各ユニット共に、授業回数の 2/3 以上 (5 回中 4 回以上)に出席しなければならない。ユニットの合格判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。

参考書
各ユニットのシラバスを参照のこと

履修上の注意事項
各ユニットのシラバスを参照のこと

備考
倉林亨
kura.orad@tmd.ac.jp (メールはいつでも可)

時間割番号	021591				
科目名	選択コース１－A:海外留学と海外協力			**科目ID**	DD-331700-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	3～5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:学年混合選択セミナー

コマ数:５＋０

授業形態:講義

ユニット番号:０１

授業の目的、概要等

歯科医学領域における海外留学の意義を理解すると共に、 海外協力に関する知識を修得する。

授業の到達目標

1） 海外留学することの成果について説明できる。

2） 世界各国における歯科研究の特徴について説明できる。

3） 歯科領域における海外協力の実際について説明できる。

4） 世界各国における歯科研究の特徴について説明できる。

5） 歯科領域における海外協力の実際について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/8	14:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	海外留学の奨め1(臨床編)	開業医の先生による講義	西村 賢市
2	4/15	14:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	海外留学の奨め2(研究編)	学内の先生による講義	片桐 さやか
3	4/22	14:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	歯科医師の海外協力	開業医の先生による講義	高田 恒彦
4	5/6	14:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	自衛隊による海外歯科医療支援活動	自衛隊に勤務する先生による講義	山田 毅
5	5/13	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	東南アジアの歯科事情	AL 外国人留学生による講義、受講生とのディスカッションを含む予定。	

成績評価の方法

・レポートおよび出席状況による総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

履修上の注意事項

・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。

時間割番号	021592				
科目名	選択コース1－B:研究論文作成・特許取得			**科目ID**	DD-331701-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	3～5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:学年混合選択セミナー

コマ数:5

授業形態:講義

ユニット番号:01

授業の目的、概要等

学会発表や論文発表においてすぐれた評価を受けた研究を知り、受賞や特許取得の意義を討論し，理解する。

授業の到達目標

1）研究発表における受賞の意義を説明できる。

2）独創的研究、先端医療技術について説明できる。

3）特許取得制度とその出願方法について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/8	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	特許取得の意義と制度	遠隔授業（非同期型）	石田 智樹	FDS21038 D3D4D5 選択コース 1-B: 研究論文作成・特許取得 2021
2	4/15	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	独創的研究・先端医療技術	遠隔授業（非同期型）	石田 智樹	FDS21038 D3D4D5 選択コース 1-B: 研究論文作成・特許取得 2021
3	4/22	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	独創的研究・先端医療技術	遠隔授業（非同期型）	青木 章	FDS21038 D3D4D5 選択コース 1-B: 研究論文作成・特許取得 2021
4	5/6	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	独創的研究・先端医療技術	遠隔授業（非同期型）	渡邊 裕	FDS21038 D3D4D5 選択コース 1-B: 研究論文作成・特許取得 2021
5	5/13	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	独創的研究・先端医療技術	AL スモールグループディスカッション	金澤 学	

成績評価の方法

・レポートによる総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

・歯科領域で利用されている器材で、すでに特許となっている新技術について調べておく。

・自分が将来どのような発明（研究）をしたら、歯科臨床に役立つのか創案する。

試験の受験資格

・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

履修上の注意事項

・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。

時間割番号	021593				
科目名	選択コース1－C:明るい開業の道しるべ			科目ID	DD-331702-L
担当教員	東堀　紀尚[HIGASHIHORI NORIHISA]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3～5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:学年混合選択セミナー

コマ数:5＋0

授業形態:同期型遠隔授業

ユニット番号:01

主な講義場所

同期型遠隔授業

授業の目的、概要等

歯科医院の開設に必要な会計、経営および法的事項の基礎について理解する。

授業の到達目標

1）歯科医院の開設に必要な事項について簡単に説明できる。

2）開業医の資質について考え、そのためにどのような学習、修練が必要か洞察できる。

3）自らが理想とする開業形態について計画し、その概要について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/8	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	開業の手順	開業の手順についての解説	小島　龍哉	
2	4/15	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	歯科医院の収支	歯科医院の収支についての解説	宮田　威夫	
3	4/22	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	歯科医師会とは	歯科医師会の役割や意義についての解説	熊谷　宏	
4	5/6	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	医療訴訟	医療訴訟についての解説	中島　孝至	
5	5/13	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	開業医の現実	開業医から見た現実について実例をともに解説	辻　隆次	レポート課題配布予定

成績評価の方法

レポートによる総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

参考資料を熟読し、理解を深める。

試験の受験資格

・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

選択コース1－C:明るい開業の道しるべ

履修上の注意事項

以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。

時間割番号	021594				
科目名	選択コース1－D:プロフェッショナルとしての歯科医師			**科目ID**	DD-331703-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	3～5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

主な講義場所

遠隔授業

授業の目的、概要等

変化し続ける社会における歯科医師の職責を理解し、今後の自らの成長の道筋を見出す姿勢を習得する。

授業の到達目標

1）プロフェッションのあり方を説明できる。

2）歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる

3）歯科医師に課された責任を説明できる。

4）現在の自分の資質を認識できる。

5）将来へ向け、自分の成長過程を描ける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	備考
1	4/8	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	プロフェッションとは。	(AL)講義・演習　プロフェッションとは何であるのか、今まで持ちうるイメージと、社会に求められる本来の姿について、講義・演習を通して学ぶ。	
2	4/15	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	プロフェオショナルとして求められるもの	(AL)講義・演習　プロフェッショナルとして、個々の歯科医師が果たすべき役割、その責任はなんであるのか、講義・演習を通して学ぶ。	
3	4/22	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	歯科チームでの責任	講義　歯科医療において、歯科医師がはたす役割、その責任について、講義を通して学ぶ。	WebClass
4	5/6	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	歯科医師への道のり	(AL)講義・演習　歯学生として、今、何をすべきか、プロフェッション・プロフェッショナルとしての歯科医師として、何を学ぶべきか、講義・演習を通して検討する。	
5	5/13	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	成長過程を描く	(AL)演習　各学生が計画した将来への道筋を共有し、互いの学びについて検討する。	

授業内容

4 月　8 日:　プロフェッションとは。

4 月 15 日:　プロフェオショナルとして求められるもの

4 月 22 日:　歯科チームでの責任

5 月　6 日:　歯科医師への道のり

5 月 13 日:　成長過程を描く

成績評価の方法

受講生は、5 月 6 日授業終了後提出課題(締め切り 5 月 13 日 11:00)の提出状況、および、出席状況により成績評価を行う。(レポートは WebClass で入力する形式)

本ユニットの受講に際しては、グループワークを前提とするため、5回授業、原則全出席を求める。

欠席の場合は正当な理由がない限り、1回欠席につき、原則10 点の減点(成績点 100 点満点)とする。

準備学習等についての具体的な指示

参考書や歯学教育モデル・コア・カリキュラム などを読み、プロフェッションのあり方について、自分自身での考えをもって参加すること。

試験の受験資格

・5 回 授業 うち 4 回以上出席することで、成績評価対象とする。

・受験資格を得られなかった学生ユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

手仕事の医療 : 評伝石原寿郎／秋元秀俊 著,:生活の医療, 2017

マンガ 西洋歯科医の始祖 小幡英之助／常盛 千恵、大分県中津市:梓書院, 2011

履修上の注意事項

授業内容および講師の変更がある場合は、事前に連絡を行う。 「人の命と生活に深く関わり健康を守るという歯科医師の職責を十分に自覚し、患者中 心の歯科医療を実践しながら、歯科医師としての道(みち)を究めていく。」 歯学教育モデル・コア・カリキュラムの中でも、歯科医師として求められる基本的な資質・能力として、第一に扱われているのが、このプロフェッショナリズムである。ともすれば、学ぶことで習得できる資質であると考えられることもあるが、人の生活、すなわち人生に直接的に関わる歯科医師として成長は、単に学ぶことだけでは終わるものではなく、常に意識をもち、研鑽を継続する中で、自ずとその身となるものである。本ユニットでは、歯科医師を目指す歯学科生として、社会の歯科医師に対してのその期待・責務にどのように応えることができるか、非常勤講師の先生(弁護士・元裁判官)の講演やグループ討議を通して、皆で考える時間とする。

備考

講義・討論(ペア)・グループディスカッション を行う。

参照ホームページ

参考論文:

1)鶴田潤、補綴歯科専門医研修プログラムはどうあるべきか ― 専門継続研修, 専門医制度のあり方―

http://www.hotetsu.com/s/doc/irai2017_1_03.pdf

2)鶴田 潤. 内の目外の目(第 192 回) 歯科医療人材育成と歯科医療の管理(その 2) 日本歯科医師会雑誌. 2018.11; 71 (8): 646-647.

3)鶴田 潤. 内の目外の目(第 191 回) 歯科医療人材育成と歯科医療の管理(その 1) 日本歯科医師会雑誌. 2018.10; 71 (7): 556-557.

4)鶴田 潤. 将来の歯科医療を考える ～専門職集団としての将来～ 日本歯科医師会雑誌. 2015.02; 67 (11): 6-16.

時間割番号	021595				
科目名	選択コース1－E:英語で日本を紹介する(1)			**科目ID**	DD-331704-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	3～5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

主な講義場所

Zoom による同期型遠隔授業

授業の目的、概要等

外国人が興味を持つ日本のことがらについて知ろうとし、英語で適切な説明をするために求められる知識や英語力について理解する。

授業の到達目標

1) 外国人が興味を持つ日本の社会、文化等について関心を示す。

2) 外国人が興味を持つ日本の社会、文化等について日本語で説明することができる。

3) 外国人が興味を持つ日本の社会、文化等について英語で適切に説明するために必要な語彙や表現を学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/8	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	日本に関する質問(1)	日本の文化・事象に関する短いテキストを読み、外国人留学生とディスカッションする。	森尾 郁子	討論
2	4/15	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	日本に関する質問(2)	日本の文化・事象に関する短いテキストを読み、外国人留学生とディスカッションする。	森尾 郁子	討論
3	4/22	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	日本に関する質問(3)	日本の文化・事象に関する短いテキストを読み、外国人留学生とディスカッションする。	森尾 郁子	討論
4	5/6	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	日本に関する質問(4)	日本の文化・事象に関する短いテキストを読み、外国人留学生とディスカッションする。	森尾 郁子	討論
5	5/13	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	日本に関する質問(5)	日本の文化・事象に関するテーマで、短い英語発表を行う。	森尾 郁子	討論

成績評価の方法

・授業の参加度と第 5 回目に行うプレゼンテーション評価による。

準備学習等についての具体的な指示

身近な日本的事象を簡単な英語にしてクラスで発表できるように準備する。

試験の受験資格

・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

日本に関する質問(1)－(5)

参考書

英語で日本紹介ハンドブック = An Introductory Handbook to Japan and Its People／松本美江 著,:アルク, 2014

時間割番号	021596				
科目名	選択コース1－F:診療室の英語(初級)			**科目ID**	DD-331705-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	3～5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:学年混合選択セミナー

コマ数:5＋0

授業形態:演習

ユニット番号:01

主な講義場所

遠隔授業(同期型)

授業の目的、概要等

英語を用いて歯科診療をおこなうために、必要な語学力(初級)を修得する。

授業の到達目標

1） 診療室での会話で英語を使用する。

2） 歯科診療について英語で説明する。

3） 発音に注意して会話する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/8	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	英会話―医療面接	AL	關 奈央子	
2	4/15	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	英会話―医療面接	AL	關 奈央子	同上
3	4/22	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	英会話―治療説明一般	AL	關 奈央子	同上
4	5/6	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	英会話―治療説明一般	AL	關 奈央子	同上
5	5/13	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	英会話―治療説明一般	AL	關 奈央子	同上

成績評価の方法

・受講態度による。

準備学習等についての具体的な指示

授業初日に提示する予定表により、各回で取り上げるテーマを再確認し、事前に当該テーマについて十分に予習した上で授業に参加すること。

試験の受験資格

・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

丸ごと覚える歯科臨床英会話フレーズ集 : 治療内容別フレーズ 670 と基本用語 280／川口陽子 監修・著,鶴田潤 [ほか]著,:クインテッセンス出版, 1997

TMDU 臨床トレーニングシリーズ 英語医療面接教材:56yo Female jaw pain. 他 9 本／ 關奈央子, 須永昌代, 福井雄二, ジャネル・モロス, 樺沢勇司, 木下淳博 著: 東京大学出版会 , 2014

備考

授業は演習やグループワークを中心に行われる。

受講学生は 12 名以内とします。

時間割番号	021597				
科目名	選択コース1－G：Presentations in English（Basic）			**科目ID**	DD-331706-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	3～5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

英語で発表するのに必要な基本的な事項について学びます。優しいネイティブの先生ですから、安心して受講してください。

主な講義場所

Zoom による同期型遠隔授業

授業の目的、概要等

This course takes an introductory approach to making presentations in English. In this class we learn the essential elements to creating an effective presentation—such as the rhetorical situation, research topic, research questions, argumentation, planning and drafting, editing, and revision—as well as how to deliver presentations using effective voice control, body language, eye contact, and gesture. We will create an "elevator speech" and also address how to handle Question and Answer (Q&A) sessions. At the end of the term students will be required to give a practice performance.

授業の到達目標

1) Be able to establish your identity as a speaker; identify your target audience; hone your presentation message; and deliver the message in a clear and persuasive manner

2) Be prepared to expertly handle questions and comments in a Q&A session

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/8	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	Presentation in English(1)	効果的な英語発表の基本や質疑の仕方を演習を通して学ぶ。	CANNELL DAVID	演習
2	4/15	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	Presentation in English(2)	効果的な英語発表の基本や質疑の仕方を演習を通して学ぶ。	CANNELL DAVID	演習
3	4/22	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	Presentation in English(3)	効果的な英語発表の基本や質疑の仕方を演習を通して学ぶ。	CANNELL DAVID	演習
4	5/6	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	Presentation in English(4)	効果的な英語発表の基本や質疑の仕方を演習を通して学ぶ。	CANNELL DAVID	演習
5	5/13	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	Presentation in English(5)	学んだことを生かして、短い英語発表を行う。	CANNELL DAVID	英語発表

成績評価の方法

Grading Policy

40% Weekly assignments

60% Presentation practice & performance

＊ Participation

*Participation

1. There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is quite critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation.

2. Attendance. One unexcused absence will lower your overall course grade by 10%. Two unexcused absences will result in a failing course grade. Excused absences will be handled on a case-by-case basis.

準備学習等についての具体的な指示

講師から提示される課題について準備してくること

試験の受験資格

・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

Making Presentations in English (Basic)(1)–(5)

履修上の注意事項

必要な資料は授業の際に配布します。

時間割番号	021598			
科目名	選択コース１－H: 自分らしいキャリアを創るには ～男女で考えるキャリアデザイン①～		**科目ID**	DD-331707-L
担当教員				
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	3～5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:学年混合選択セミナー

コマ数:５＋０

授業形態:講義及び演習

授業の目的、概要等

自分自身のキャリアの希望や方向性を引き出し、将来の実現に近づけるための方法を学ぶ。 医療従事者・一人の人間として、今後の具体的なキャリアプランの道筋を立てられるようにする。 男女共に多様なキャリアの方向性があることを知り、男女共同参画の視点を培う。

授業の到達目標

1）キャリアを理論的に考え、自分らしいキャリアデザインのポイントを学ぶ。

2）演習やワークを行い、自分の価値観や、「現在の自分の人生で優先したいこと」「キャリアの節目の乗り越え方」を理解する。

3）これまでのキャリアと現在のキャリアを振り返り、将来のキャリアをデザインする。

4）将来、仕事と家庭との両立方法など、男女共に多様なキャリアの選択肢をシミュレーションする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/8	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	キャリアとは		有馬 牧子	
2	4/15	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	自分の価値観を知ろう	AL 演習形式で行う	有馬 牧子	
3	4/22	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	過去・現在のキャリア	AL 演習形式で行う	有馬 牧子	
4	5/6	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	仕事とプライベートの両立	AL 演習形式で行う	有馬 牧子	
5	5/13	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	将来のキャリアを考えよう	AL 演習形式で行う	有馬 牧子	

成績評価の方法

・受講態度などを基に総合的に評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

医療従事者になるキャリアを希望した理由について、事前に考えておく。

試験の受験資格

・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

時間割番号	021599				
科目名	選択コース2－A:ロボットの世界			科目ID	DD-331708-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3～5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:学年混合選択セミナー

コマ数:5＋0

授業形態:講義および演習

ユニット番号:02

主な講義場所

zoom による遠隔講義

授業の目的、概要等

ロボットに何ができ、 またどのように使用されているのか認識する。

最新のロボットについての情報を共有し、その意義について討論する。

ロボットを用いた演習を行い、理解を深める。

授業の到達目標

1） 現在のロボットにどのようなことができるか説明できる。

2） ロボットを使用することの意義について意見を述べられる。

3） ロボットが活躍できる場を考え、その有用性について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	5/20	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	二足歩行ロボットを動かす	近藤 博信	演習あり
2	5/27	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	バイオデザインから見るロボット開発	見崎 大悟	演習あり
3	6/3	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	咀嚼とロボット	高信 英明	演習あり
4	6/10	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	コミュニケーションロボット	鈴木 純二	演習あり
5	6/17	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	次世代ロボットの紹介	先川原 正浩	演習あり

成績評価の方法

・レポートによる総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

ロボットに何ができ、 またどのように使用されているのかを特に医療応用への可能性を念頭に置きマスメディアや成書を興味の赴くままに閲覧しておき、専門家に質問できるように情報の吟味をしておく。

試験の受験資格

・ユニットごとに5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

選択コース 2-A:ロボットの世界

モジュールの単位判定

レポートによる総括的評価を行う。

履修上の注意事項

・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。

時間割番号	021600				
科目名	選択コース2－B:歯科医師の進路			**科目ID**	DD-331709-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	3～5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:学年混合選択セミナー

コマ数:5＋0

授業形態:講義

ユニット番号:02

授業の目的、概要等

歯科医師として、将来の活躍の場に多様な選択肢のあることを認識する。

授業の到達目標

1） 歯科医師の活動とその社会的意義を説明できる。

2） 進路を選択する上で、自らに必要な課題を抽出できる。

3） 進路を選択する上で、自らの適性について評価できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/20	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	歯学部卒業から開業まで	開業医の先生による講義	清水 義一
2	5/27	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	歯科医師の行政職	行政職の先生による講義	柳澤 智仁
3	6/3	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	基礎研究者として	学内の先生による講義	栢森 高
4	6/10	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	インプラント専門医として	開業医の先生による講義	菅井 敏郎
5	6/17	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	総合病院の歯科医師として	総合病院勤務医の先生による講義	上丸 英

成績評価の方法

・レポートによる総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

履修上の注意事項

・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。

時間割番号	021601				
科目名	選択コース２－C:製品開発への途			科目ID	DD-331710-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3～5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/20	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	製品開発について　GC		立野 敦史	FDS21037 D3D4D5 選択コース 2-C:製品開発への途 2021
2	5/27	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	製品開発について　トクヤマデンタル		平田 広一郎	FDS21037 D3D4D5 選択コース 2-C:製品開発への途 2021
3	6/3	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	製品開発について　日本歯科薬品	1 回目のレポート:授業内容に関する課題	横田 兼欣	FDS21037 D3D4D5 選択コース 2-C:製品開発への途 2021
4	6/10	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	製品開発について　モリタ		岡上 吉秀	FDS21037 D3D4D5 選択コース 2-C:製品開発への途 2021
5	6/17	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	製品開発について　ヨシダ	AL　2 回目のレポート:他の学生のレポートを分析し，考察を行う課題	友江 剛	FDS21037 D3D4D5 選択コース 2-C:製品開発への途 2021

準備学習等についての具体的な指示

時間割番号	021602				
科目名	選択コース２－D:他職種との連携・協働 -歯科医師に求めること-			科目ID	DD-331711-L
担当教員	吉田　直美[YOSHIDA Naomi]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3～5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:学年混合セミナー

ユニットコマ数:5

必要自習時間:1 コマにつき 1 時間

授業形態:講義・演習

ユニット番号:2

主な講義場所

遠隔授業

授業の目的、概要等

歯科医師として他職種と協働するために、歯科保健・医療・福祉の場における専門職の種類、役割、業務内容を理解する。

授業の到達目標

1） 歯科保健・医療・福祉における歯科医療従事者の活動を概説する。

2） 地域における住民のネットワークづくり支援について概説する。

3） 歯科診療所における歯科衛生士・歯科医師の役割を説明する。

4） 病院における看護師・歯科衛生士の役割を説明する。

5） 高齢者支援のあり方と専門職種間の連携を説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/20	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	歯科保健・医療・福祉における歯科医療従事者の活動	歯科医療従事者の現況　歯科衛生士の歴史的背景、キャリアパス、活動	吉田　直美
2	5/27	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	病院における専門職種間の連携	病院における歯科衛生士と歯科医師などの連携	足達　淑子
3	6/3	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	人びとの生活の質を向上するための活動とその意義	人びとの生活の質向上のための歯科医療従事者の活動	足達　淑子
4	6/10	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	高齢者への口腔健康管理と　多職種連携の実際	口腔健康管理　多職種連携の実際	鈴木　瞳
5	6/17	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	地域の歯科医療における歯科医師と歯科衛生士の協働	地域の歯科医療における歯科医師と歯科衛生士の協働	渡邉　麻理

成績評価の方法

・視聴状況、課題への取り組みならびに提出による総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

・事前に資料の配付等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

備考

演習を一部取り入れる。

webclass に動画並びに課題を UP する。

時間割番号	021603				
科目名	選択コース2－E:英語で日本を紹介する(2)			**科目ID**	DD-331712-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	3～5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

主な講義場所

Zoom による同期型遠隔授業

授業の目的、概要等

外国人が興味を持つ日本のことがらについて知ろうとし、英語で適切な説明をするために求められる知識や英語力について理解する。

授業の到達目標

1) 外国人が興味を持つ日本の社会、文化等について関心を示す。

2) 外国人が興味を持つ日本の社会、文化等について日本語で説明することができる。

3) 外国人が興味を持つ日本の社会、文化等について英語で適切に説明するために必要な語彙や表現を学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/20	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	日本に関する質問(6)	日本の文化・事象に関する短いテキストを読み、外国人留学生とディスカッションする。	森尾 郁子	討論
2	5/27	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	日本に関する質問(7)	日本の文化・事象に関する短いテキストを読み、外国人留学生とディスカッションする。	森尾 郁子	討論
3	6/3	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	日本に関する質問(8)	日本の文化・事象に関する短いテキストを読み、外国人留学生とディスカッションする。	森尾 郁子	討論
4	6/10	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	日本に関する質問(9)	日本の文化・事象に関する短いテキストを読み、外国人留学生とディスカッションする。	森尾 郁子	討論
5	6/17	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	日本に関する質問(10)	日本の文化・事象に関するテーマで短い英語発表を行う。	森尾 郁子	討論

成績評価の方法

・第5回目に行う小テストによる。

準備学習等についての具体的な指示

身近な日本的事象について簡単な英語にしてクラスで発表できるように準備する。

試験の受験資格

・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

日本に関する質問(6)－(10)

参考書

英語で日本紹介ハンドブック = An Introductory Handbook to Japan and Its People／松本美江 著,:アルク, 2014

時間割番号	021604				
科目名	選択コース2－F:診療室の英語(中級)			**科目ID**	DD-331713-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	3～5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:学年混合選択セミナー

コマ数:5＋0

授業形態:演習

ユニット番号:02

主な講義場所

遠隔授業(同期型)

授業の目的、概要等

英語を用いて歯科診療をおこなうために、必要な語学力(中級)を修得する。

授業の到達目標

1) 診療室での会話で英語を使用する。

2) 歯科診療について英語で説明する。

3) 発音に注意して会話する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/20	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	英会話―医療面接	AL	關 奈央子	
2	5/27	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	英会話―医療面接	AL	關 奈央子	同上
3	6/3	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	英会話―治療説明一般	AL	關 奈央子	同上
4	6/10	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	英会話―治療説明一般	AL	關 奈央子	同上
5	6/17	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	英会話―治療説明一般	AL	關 奈央子	同上

成績評価の方法

・受講態度による。

準備学習等についての具体的な指示

授業初日に提示する予定表により、各回で取り上げるテーマを再確認し、事前に当該テーマについて十分に予習した上で授業に参加すること。

試験の受験資格

・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

丸ごと覚える歯科臨床英会話フレーズ集 : 治療内容別フレーズ 670 と基本用語 280／川口陽子 監修・著,鶴田潤 [ほか]著,:クインテッセンス出版, 1997

TMDU 臨床トレーニングシリーズ 英語医療面接教材:56yo Female jaw pain. 他 9 本／ 關奈央子, 須永昌代, 福井雄二, ジャネル・モロス, 樺沢勇司, 木下淳博 著: 東京大学出版会 , 2014

備考

・選択コース1―G(初級)ユニットを受講した学生も選択可能である。

・授業は演習やグループワークを中心に行われる。

・受講学生は 12 名以内とします。

時間割番号	021605				
科目名	選択コース２－G：Presentations in English (Advanced)			**科目ID**	DD-331714-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	3～5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

研究実習をこれから行う 4 年生、既に研究実習を行って、今後海外で研究発表を計画している 5 年生にお勧めです。

主な講義場所

Zoom による同期型遠隔授業

授業の目的、概要等

This is an advanced course geared toward students who have finished or are very close to finishing their research and are preparing to give a presentation at a conference or in some other academic venue. Or perhaps the student wants to polish a previous presentation and brush up his or her presentation skills through practice. In the class will we of course review the essential elements to creating an effective presentation—such as the rhetorical situation, research topic, research questions, argumentation, planning and drafting, editing, and revision—as well as how to deliver presentations using effective voice control, body language, eye contact, and gesture. Moreover, we will address how to handle Question and Answer (Q&A) sessions. At the end of the term students will be required to give a practice performance of their presentation.

授業の到達目標

1) Be able to establish your identity as a speaker; identify your target audience; hone your presentation message; and deliver the message in a clear and persuasive manner

2) Be prepared to expertly handle questions and comments in a Q&A session

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/20	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	Presentation in English(6)	既に英語による研究発表などを行なった、あるいは行う予定のある学生を対象に、さらに効果的な発表方法について学ぶ。	CANNELL DAVID	演習
2	5/27	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	Presentation in English(7)	既に英語による研究発表などを行なった、あるいは行う予定のある学生を対象に、さらに効果的な発表方法について学ぶ。	CANNELL DAVID	演習
3	6/3	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	Presentation in English(8)	既に英語による研究発表などを行なった、あるいは行う予定のある学生を対象に、さらに効果的な発表方法について学ぶ。	CANNELL DAVID	演習
4	6/10	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	Presentation in English(9)	既に英語による研究発表などを行なった、あるいは行う予定のある学生を対象に、さらに効果的な発表方法について学ぶ。	CANNELL DAVID	演習
5	6/17	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	Presentation in English(10)	既に行なった（あるいは準備した）発表をブラッシュアップして、発表する。	CANNELL DAVID	発表

成績評価の方法

Grading Policy

40% Weekly assignments

60% Presentation practice & performance

＊Participation

*Participation

1. There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is quite critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation.

2. Attendance. One unexcused absence will lower your overall course grade by 10%. Two unexcused absences will result in a failing course grade. Excused absences will be handled on a case-by-case basis.

準備学習等についての具体的な指示

講師から出される課題を事前に準備してくること。

試験の受験資格

・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

Making Presentations in English (Advanced)(6)-(10)

履修上の注意事項

All texts will be made available as class handouts.　必要なテキストは授業の際に配布します。

時間割番号	021606			
科目名	選択コース2－H: キャリア up のためのコミュニケーション ～男女で考えるキャリアデザイン②～		**科目ID**	DD-331715-L
担当教員				
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	3～5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:学年混合選択セミナー

コマ数:５＋０

授業形態:講義及び演習

授業の目的、概要等

キャリアを築いて行く上で必要な「コミュニケーション力」を身につけ、今後のキャリアアップや人間関係に役立てる。

自分のコミュニケーションパターンを知り、対人関係の改善に役立てる。

自分の要求の伝え方や、人の話を聴くポイントを具体的に身につける。患者さんとのコミュニケーションの取り方に生かせるヒントを学ぶ。

授業の到達目標

1）自分の物の見方や価値観、コミュニケーションのパターンを理解する。

2）職場や家庭など、周囲とより良い人間関係を築くためのコミュニケーションスキルを学ぶ。

3）自分のコミュニケーションスキルとモチベーションを上げる方法を学ぶ。

4）患者さんとのコミュニケーションの取り方について考える。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/20	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	コミュニケーションとは？		有馬 牧子	
2	5/27	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	自分のコミュニケーションパターンを知ろう	AL 演習形式で行う	有馬 牧子	
3	6/3	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	聴く・話す・伝える・要求する	AL 演習形式で行う	有馬 牧子	
4	6/10	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	多様性を活かすコミュニケーション①	AL 演習形式で行う	有馬 牧子	
5	6/17	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	多様性を活かすコミュニケーション②	AL 演習形式で行う	有馬 牧子	

成績評価の方法

・受講態度などを基に総合的に評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

自分の普段のコミュニケーションにおいて、変えたいところがあるか、あるとすればどのように変えたいかを考えておく。

試験の受験資格

・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

備考

演習形式で行う

時間割番号	021115				
科目名	歯科生体材料			科目ID	DD-451800-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度通年(秋)	対象年次	3～4	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:71(2)(実用自習時間19時間)
授業形態:講義・実習
モジュール番号:18

主な講義場所

第 2 講義室(ユニット 1)、第 3 講義室(ユニット 2,3)
基礎実習室、補綴実習室

授業の目的、概要等

歯科医療で使用される材料の物理化学的特性および生体や環境への影響, および成型法を理解する。

授業の到達目標

歯科医療で使用される金属、有機、無機、複合材料の物理化学的特性および生体や環境への影響, それら材料の使用方法および成型方法を理解し説明できる。

成績評価の方法

ユニット試験成績に出席状況、小テスト、レポートなどを加味して算出する。

準備学習等についての具体的な指示

講義に関しては教科書および Web にアップロードされている該当項目の資料を事前に読んでおくこと。
実習に関しては事前に配布する実習書の該当項目を読み、当日の実習内容を理解しておくこと。特に実習については実習開始時の説明が非常に重要なので、開始時間に遅れないこと。

試験の受験資格

・出席に関係なく履修者全員に受験資格を有する。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義総コマ数の3分の2以上、実習総コマ数の4分の3以上出席を満たさなかった場合はモジュール未履修とし、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。

構成ユニット

01 生体材料の科学
02 歯科生体材料の性質
03 歯科材料の成型技術と臨床

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、当該モジュールの全ユニットにおける講義総数の3分の2, 実習総数の4分の3以上の出席が単位取得に必要である。

教科書

スタンダード歯科理工学 第 7 版:学建書院, 2016
基礎歯科理工学:医歯薬出版, 2019

参考書

歯科理工学教育用語集 第 3 版／日本歯科理工学会 編,日本歯科理工学会,:医歯薬出版, 2018

時間割番号	021116				
科目名	歯科理工学基礎			科目ID	DD-351801-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:歯科生体材料

コマ数:16(必要自習時間5時間)

授業形態:講義・実習

ユニット番号:01

主な講義場所

第 2 講義室、基礎実習室

授業の目的、概要等

歯科材料を含む生体材料を理解するための基礎として、材料科学の基本知識を修得する。

授業の到達目標

1) 材料の分類と特性について説明できる。
2) 材料の力学的性質および試験法について説明できる。
3) 金属材料の構造と基本的性質を説明できる。
4) セラミック材料の構造と基本的性質を説明できる。
5) 高分子材料の構造と基本的性質を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	12/13	09:00-11:50		歯科理工学概論　材料の物性評価の基礎	歯科理工学概論　材料の物性評価の基礎	宇尾 基弘	ZOOM 講義および WebClass 視聴
4-6	12/14	09:00-11:50		金属材料の基礎	金属材料の基礎	宇尾 基弘	WebClass 視聴
7-9	12/15	09:00-11:50		無機材料の基礎	無機材料の基礎	宇尾 基弘	WebClass 視聴
10-12	12/17	13:50-16:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	成形修復と歯科用レジン		宇尾 基弘 和田 敬広	
13-15	12/20	09:00-11:50		有機・複合材料の基礎	有機・複合材料の基礎	宇尾 基弘	WebClass 視聴
16	12/22	10:00-10:50	歯学科第 2 講義室	ユニット試験		宇尾 基弘 和田 敬広	

成績評価の方法

ユニット試験成績に出席状況、小テスト、レポートなどを加味して算出する。

準備学習等についての具体的な指示

講義に関しては教科書および Web にアップロードされている該当項目の資料を事前に読んでおくこと。

実習に関しては事前に配布する実習書の該当項目を読み、当日の実習内容を理解しておくこと。特に実習については実習開始時の説明が非常に重要なので、開始時間に遅れないこと。

試験の受験資格

・出席に関係なく履修者全員に受験資格を有する。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義総コマ数の3分の2以上、実習総コマ数の4分の3以上出席を満たさなかった場合はモジュール未履修とし、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。

教科書

スタンダード歯科理工学 第 7 版:学建書院, 2016

基礎歯科理工学:医歯薬出版, 2019

参考書

歯科理工学教育用語集 第 3 版／日本歯科理工学会 編,:医歯薬出版, 2018

備考

・当該ユニットの試験に不合格の者は次年度に当該ユニットを履修しなければならない。

時間割番号	021139				
科目名	歯科材料の科学			科目ID	DD-451802-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:歯科生体材料

コマ数:24(必要自習時間 6 時間)

授業形態:講義・実習

ユニット番号:02

授業の目的、概要等

各用途に使用される歯科生体材料の性質について、必要とされる特性との関連に基づき理解する。

授業の到達目標

1) 成形修復材料と接着について説明でき、適切に準備できる。
2) 合着材、接着材の種類と性質を説明できる。
3) コンポジットと硬質レジンについて説明できる。
4) 印象材と模型材の種類と性質を説明でき、適切に準備できる。
5) 歯科用陶材について説明できる。
6) 歯科用合金について説明できる。
7) インプラント材料、歯周治療用材料、その他の歯科治療用材料について説明できる。
8) 歯質の機械的性質について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/2	10:00-11:50		歯科材料・歯質の物性	歯科材料・歯質の物性	宇尾 基弘	WebClass 視聴
3-5	4/2	13:50-16:40	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室	実習(印象材・模型材)	実習(印象材・模型材)	宇尾 基弘 和田 敬広	
6-8	4/6	09:00-11:50		印象材・模型材	印象材・模型材	宇尾 基弘	WebClass 視聴
9-11	4/7	09:00-11:50		状態図	状態図	宇尾 基弘	WebClass 視聴
12-13	4/8	12:50-14:40		歯科用合金	歯科用合金	宇尾 基弘	WebClass 視聴
14-16	4/13	09:00-11:50		陶材・歯科用セラミックス	陶材・歯科用セラミックス	宇尾 基弘	WebClass 視聴
17-18	4/15	12:50-14:40		歯科用レジン	歯科用レジン	宇尾 基弘	WebClass 視聴
19	4/19	17:00-17:50		成形修復材料	成形修復材料	宇尾 基弘	WebClass 視聴
20	4/21	17:00-17:50		成形修復材料	成形修復材料	宇尾 基弘	WebClass 視聴
21-22	4/22	12:50-14:40		合着材	合着材	宇尾 基弘	WebClass 視聴
23	4/23	13:50-14:40		合着材	合着材	宇尾 基弘	WebClass 視聴
24	4/28	12:50-13:40	歯学科第3講義室	ユニット試験	ユニット試験	宇尾 基弘 和田 敬広	

成績評価の方法

ユニット試験成績に出席状況、小テスト、レポートなどを加味して算出する。

準備学習等についての具体的な指示

講義に関しては教科書および Web にアップロードされている該当項目の資料を事前に読んでおくこと。

実習に関しては事前に配布する実習書の該当項目を読み、当日の実習内容を理解しておくこと。特に実習については実習開始時の説明が非常に重要なので、開始時間に遅れないこと。

試験の受験資格

・出席に関係なく履修者全員に受験資格を有する。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義総コマ数の3分の2以上、実習総コマ数の4分の3以上出席を満たさなかった場合はモジュール未履修とし、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。

教科書

スタンダード歯科理工学 第 6 版:学建書院, 2016

基礎歯科理工学:医歯薬出版, 2019

参考書

歯科理工学教育用語集／日本歯科理工学会 編,:医歯薬出版, 2011

備考

・当該ユニット試験に不合格の者は次年度に当該全ユニットを履修しなければならない。

時間割番号	021140				
科目名	歯科材料の成形技術と臨床			科目ID	DD-451803-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:歯科生体材料

コマ数:28(必要自習時間 8 時間)

授業形態:講義・実習

ユニット番号:03

授業の目的、概要等

歯科材料の成型加工技術を理解し、操作できるとともに、種々の臨床場面において適切な歯科材料を選択するために、組成・特性についての基礎知識を修得する。

授業の到達目標

1) 歯科で用いられている成形加工技術を説明でき
2) 歯科鋳造に用いる材料を説明でき, 鋳造体を作製できる。
3) 義歯床用材料の性質を説明でき, 重合体を作製できる。
4) 切削・研磨用器具について説明でき、研磨ができる。
5) 歯科用陶材・セラミックスの特性と加工法について説明できる。
6) 歯科用合金の熱処理と腐食挙動について説明できる。
7) 歯科器材のクラス分類と認証・承認、生体材料の生体安全性について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/20	09:00-11:50		歯科用ワックス	歯科用ワックス	宇尾 基弘	WebClass 視聴
4-6	4/20	13:50-16:40	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室	実習(床用レジン 1)	実習(床用レジン 1)	宇尾 基弘 和田 敬広	
7-9	4/21	09:00-11:50	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室	実習(床用レジン 2)	実習(床用レジン 2)	宇尾 基弘 和田 敬広	
10-12	4/26	12:50-15:40	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室	実習(歯科精密鋳造 1)	実習(歯科精密鋳造 1)	宇尾 基弘 和田 敬広	
13-15	4/27	13:50-16:40	補綴実習室	実習(歯科精密鋳造 2)	実習(歯科精密鋳造 2)	宇尾 基弘 和田 敬広	
16-17	4/28	09:00-10:50		埋没材と精密鋳造	埋没材と精密鋳造	宇尾 基弘	WebClass 視聴
18-19	4/30	09:00-10:50		切削・研削・研磨	切削・研削・研磨	宇尾 基弘	WebClass 視聴
20-21	5/6	12:50-14:40		合金の熱処理と腐食・接合	合金の熱処理と腐食・接合	宇尾 基弘	WebClass 視聴
22-24	5/7	09:00-11:50		インプラント材料学	インプラント材料学	宇尾 基弘	WebClass 視聴

25	5/10	09:00-09:50	歯学科第3講義室	ユニット試験		宇尾 基弘 和田 敬広	
26-28	5/10	13:50-16:40		光と色	光と色	宇尾 基弘	WebClass 視聴

成績評価の方法

ユニット試験成績に出席状況、小テスト、レポートなどを加味して算出する。

準備学習等についての具体的な指示

講義に関しては教科書および Web にアップロードされている該当項目の資料を事前に読んでおくこと。

実習に関しては事前に配布する実習書の該当項目を読み、当日の実習内容を理解しておくこと。特に実習については実習開始時の説明が非常に重要なので、開始時間に遅れないこと。

試験の受験資格

・出席に関係なく履修者全員に受験資格を有する. ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義総コマ数の3分の2以上、実習総コマ数の4分の3以上出席を満たさなかった場合はモジュール未履修とし、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。

教科書

スタンダード歯科理工学 第 6 版:学建書院, 2016

基礎歯科理工学:医歯薬出版, 2019

参考書

歯科理工学教育用語集／日本歯科理工学会 編,:医歯薬出版, 2011

備考

・当該ユニット試験に不合格の者は次年度に当該全ユニットを履修しなければならない。

時間割番号	021141				
科目名	研究実習			科目ID	DD-461900-Z
担当教員	井関 祥子, 小野 卓史, 笛木 賢治[SEKI SACHIKO, ONO TAKASHI, FUEKI KENJI]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4	単位数	4
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:244(0)(必要自習時間 70 時間)

授業形態:講義・実習

モジュール番号:13

ユニット番号:01

主な講義場所

6 月 1 日 3 コマ、6 月 2 日～7 月 30 日(6 月 3、10、17 日は、学年混合選択セミナーのため 5 コマ、それ以外は 1 日 6 コマとする)
夏期休暇中への延長は、学生が希望し、配属先が承諾した場合のみ

授業の目的、概要等

医療の進歩に不可欠な医歯学研究を自主的に実践することで、問題解決の方法を習得するとともに科学的検証の重要性を理解し、歯学研究に貢献できる歯科医師としての技能と意識を涵養する。

授業の到達目標

1) 自ら関心を持つ問題について、配属先教員と相談し研究課題を設定することができる。
2) 研究課題を科学的研究として遂行するための計画を立て、自ら説明することができる。
3) 研究活動に必要な具体的な知識、技能、適切な態度を習得することができる。
4) 研究結果を科学的に検証して評価することができる。
5) 研究活動について報告書を作成し、発表することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	2/22	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	研究の実際1	井関 祥子	関連 SBO:1,3
2-3	2/22	13:50-15:40	遠隔授業(同期型)	イントロダクション	井関 祥子	関連 SBO:2,3
4-7	4/1	12:50-16:40	遠隔授業(同期型)	D5 研究実習発表会見学	笛木 賢治	関連 SBO:4 関連 SBOs:4
8	4/19	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	統計の復習1	穐山 雅子	関連 SBOs:3
9	4/19	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	バイオセーフティー		関連 SBOs:3
10	4/19	15:50-16:40	遠隔授業(同期型)	安全な実験について	宇尾 基弘	関連 SBO:3
11	5/11	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	統計の復習2	穐山 雅子	関連 SBOs:3
12	5/11	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	動物実験	金井 正美	関連 SBO:3
13	5/11	15:50-16:40	遠隔授業(同期型)	研究の実際2(配属決定)	武智 正樹	関連 SBOs:3
14	5/13	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	ポスター作成について	笛木 賢治	関連 SBOs:4,5
15	5/13	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	基礎研究 ID 取得	井関 祥子	関連 SBOs:3
16	6/1	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	開始前注意	井関 祥子	関連 SBOs:1,2,3
17	6/1	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	報告書作成/発表準備	小野 卓史	関連 SBOs:1,2,3,4,5
18	6/1	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	実習準備		関連 SBOs:1,2,3,4,5
19-25	10/7	09:00-15:40	歯学部演習室	研究実習発表会(ポスター発表)/懇親会	笛木 賢治, 小野 卓史, 井関 祥子	関連 SBOs:4,5
26-28	12/3	12:50-15:40	特別講堂	研究実習発表会(口頭発表)	井関 祥子, 笛木 賢治, 小野 卓史	関連 SBOs:4,5

成績評価の方法

・学生は自ら活動記録を付け、活動記録を定期的に配属先教員に提出し、形成的評価を受ける。

・学生は、研究実習発表会(全員必須)において研究活動を発表し、形成的評価を受ける。
・モジュール終了時には、配属先教員による評価シート、研究活動報告書の評価を合わせ、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

・配属先教員と相談すること

試験の受験資格

・全授業時間数の講義2／3出席、実習期間3／4以上活動。
・活動(出席)状況は、配属先教員が記録する。

構成ユニット

O1 研究実習

モジュールの単位判定

本モジュールの単位を取得するためには、O1ユニットに合格していなければならない。なお、モジュールの合格および単位判定に際しては、出席日数、研究活動報告書内容、研究成果発表及び配属先教員による学習態度の評価シートを判断材料とする。また、複数学年にまたがるモジュールであり、歯学科カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

履修上の注意事項

・講義時間数の2／3以上出席(ただし、配属先の実習の内容によっては、欠席するとその実習ができなくなる講義がある)　・全実習時間数の3／4以上活動(活動状況は配属先教員が記録する)　・10 月 7 日の発表会への出席、発表、審査・研究活動報告書の提出　・12 月 3 日午後の口腔病学会への参加　以上の要件を満たした学生をユニット合格とし、これらの内容によって成績判定が行われる。

備考

＜備考＞:詳細については、講義の中で説明する。
コース設定:
Aコース:大学内研究室(医／歯／難治研／生材研他)へ配属するコース
Bコース:学外研究機関へ配属するコース(2121 年度は設定なし)
B コースについては、基本的には希望者自身で先方との交渉一切を行う。また、関連する交通費、滞在費、保険料(保険に加入することが義務づけられるため)などは個人で負担すること。
B コース海外派遣については、英語能力に一定のレベルを持っていることが前提条件となる。
A, B コースとも 1 分野(研究室)1 人。希望者が複数の場合は1分野1人になるように希望者間で調整する。例外は認めない。

実習期間について:
8 月 2 日～8 月 27 日までの夏季休暇における実習の延長については、学生本人が希望した上で、配属先分野が了承した場合のみ可とする。

学生発表会事前抄録について:
9 月 6 日(月)17:00 までに、PDF 形式で、メールに添付し教務掛まで提出すること。期限を守らなかった場合は、履修しなかったこととする。(件名とファイル名いずれも『事前抄録 2020(事務処理番号／氏名)』とすること。) Times New Roman12 ポイントにて、目的、研究方法、結果、考察について、A4 サイズ 1 ページに収めること。図表の使用も可だが、白黒印刷される点に注意すること。

学生発表会(発表方法)について:
10 月 7 日に学生全員がポスター発表と質疑応答を行い、教員による審査を受ける。ポスター作成様式については、講義中に説明する。この際の優秀発表者が 12 月 3 日の口腔病学会にて口演発表を行う。

研究活動報告書について:
11 月 1 日(月)17:00 までに、PDF 形式で、メールに添付し教務掛まで提出すること。(件名およびファイル名ともに『研究活動報告書 2021(事務処理番号／氏名)』とすること。) 期限を守らなかった場合は、履修しなかったこととする。
① タイトルページに、タイトル、配属先分野、配属先分野分野長、配属先分野指導担当教員、学籍番号および氏名を明記する。
② 要旨、背景、目的、方法、結果、考察、結論、参考文献、図表、展望、感想の項目を設け、A4 でタイトルページを除き 8 ページ以内に収めること。
③ 研究実習報告書チェックリストを添付すること。
④報告書の体裁をなしていないものは再提出となる(パワーポイントファイルの集合体、エクセルデータの直接貼り付けなど)。

研究活動報告書作成の際には配属先教員と充分に議論すること。

その他:

実習期間中は、連絡事項は e-learning 学習管理システムに掲示されるので、随時、学生各人が確認すること。

研究室配属が基本となるので、通常の講義、実習とは異なり、仕事場の一員となることを強く自覚し、社会人としてふさわしい行動をとること。

研究実習は、配属先研究室で「教えてもらう」時間ではなく、「学ぶ」時間を得ていることを、きちんと認識し、能動的に実習を行うこと。

実習期間中、相談等がある場合は、下記、オフィスアワーに研究室を訪問(要事前連絡)するか、e-mail を用いて早めに連絡をとること。

オフィスアワー

井関 祥子:随時(必ず事前に面談の日程を調整すること) M&D タワー6 階 N-605

笛木 賢治:火, 水, 金 17:00-18:00 (メールにて面談の日程を調整すること) 歯科棟北 11 階部分床義歯補綴学分野第1研究室

小野 卓史:月・水 16:30-18:00 (メールにて面談の日程を調整すること) 歯科棟南 12 階 教授室

連絡先

井関 祥子: s.iseki.emb@tmd.ac.jp

笛木 賢治: kunfu.rpro@tmd.ac.jp

小野 卓史: t.ono.orts@tmd.ac.jp

参照ホームページ

- 日本学術会議 HP:http://www.scj.go.jp/index.html
- 日本学術会議 科学者の行動規範について
  HP:http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-20-s3.pdf
- 日本学術振興会 HP:http://www.jsps.go.jp/

時間割番号	021142				
科目名	歯と根尖歯周組織の疾患			科目ID	DD-452000-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度通年	対象年次	4	単位数	5
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業形態:講義、実習、演習

モジュール総コマ数:165＋14

モジュール番号:20

主な講義場所

講義:遠隔授業(同期型または非同期型)

実習:保存矯正実習室

授業の目的、概要等

歯と根尖歯周組織に生ずる疾患の病因・病態を理解し、その予防・診断および治療に関する知識と基本的技能を修得する。

成績評価の方法

・各ユニットで指定された日時に試験を実施し、総括的評価を行う。

・出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。

準備学習等についての具体的な指示

・各ユニットで指定された教科書、参考書、資料などを用いて予習を行う。

・Web 教材での準備学習が指示された場合は、その指示に従う。

試験の受験資格

・ユニット03、05、08では全授業時間数のうち4分の3以上、その他のユニットでは全授業時間数のうち3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

01 歯の硬組織疾患とその対応 概論

02 歯の硬組織疾患

03 保存修復治療の基礎

04 保存修復治療の最新の臨床

05 保存修復治療の展開

06 歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する

07 歯内治療の展開

08 歯内治療実習

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。

備考

モジュール責任者

興地隆史(歯髄生物学分野)t.okiji.endo@

時間割番号	021143				
科目名	歯の硬組織疾患とその対応 概論			科目ID	DD-452001-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:歯と根尖歯周組織の疾患

ユニット名:歯の硬組織疾患とその対応 概論

コマ数:5+0(第 2 ユニットで実施)

授業形態:講義

ユニット番号:O1

主な講義場所

第 3 講義室

授業の目的、概要等

歯の硬組織疾患とその治療の概要を理解し、臨床に必要な基礎知識を身につける。

授業の到達目標

1) 保存修復治療の概要を説明できる。

2) 歯内治療の概要を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/12	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	保存修復学概論	大槻 昌幸	
2-3	4/12	14:50-16:40	遠隔授業(同期型)	歯内療法学概論	興地 隆史	
4	4/16	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	歯の正常と異常1	大槻 昌幸	
5-6	4/16	14:50-16:40	遠隔授業(同期型)	う蝕の診断と修復治療の準備	大槻 昌幸	

成績評価の方法

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。

・筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

参考書の中で, 以下,

・保存修復学21(P1-20)、永末書店

・改訂版エンドドンティックス21、永末書店

に目を通しておくこと

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

保存修復学 21／田上順次, 千田彰, 奈良陽一郎, 桃井保子 監修,:永末書店, 2011

エンドドンティクス = Textbook of endodontics／興地隆史, 須田英明, 中村洋 編集主幹,阿南壽, 五十嵐勝, 石井信之, 勝海一郎, 林美加子, 松島潔 編,:永末書店, 2015

参考書

接着歯学 = Adhesive dentistry／日本接着歯学会 編,:医歯薬出版, 2015

う蝕治療ガイドライン／日本歯科保存学会 編,:永末書店, 2015

う蝕学 : チェアサイドの予防と回復のプログラム／田上順次, 花田信弘, 桃井保子 編,:永末書店, 2008

失敗しない歯髄保存療法 : 抜髄する前にもう一度歯髄診断をしよう／須田英明, 興地隆史, 中村洋, 吉山昌宏 編著,:クインテッセンス出

版, 2006
バイオロジーに基づいた実践歯内療法学／Gunnar Bergenholtz, Preben Horsted-Bindslev, Claes Reit 編著,須田英明 総監訳,赤峰昭文, 興地隆史, 恵比須繁之, 林善彦 監訳：クインテッセンス出版, 2007
・Art and science of operative dentistry, Mosby.
・Pathway of the Pulp 8th ed, Mosby
・Seltzer and Bender’s The Dental Pulp, 2nd ed, Quintessence
・Essential Endodontology, 2 nd ed, Blackwell Publishing

時間割番号	021144				
科目名	歯の硬組織疾患			**科目ID**	DD-452002-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:歯と根尖歯周組織の疾患

ユニット名:歯の硬組織疾患

コマ数:22+3

授業形態:講義

ユニット番号:02

主な講義場所

第3講義室

授業の目的、概要等

歯の常態を理解し、う蝕ならびにその他の歯質欠損の病態と治療の進め方を理解する。

歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義と方法を理解する。

修復材料の特性、成分及び構造を把握し、適切な材料の選択ならびに取り扱い方を理解する。

授業の到達目標

1) 歯の硬組織の構造と機能を説明できる。

2) う蝕の病因と病態を説明できる。

3) う蝕の症状・診断・治療法を説明できる。

4) 歯冠欠損に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。

5) 窩洞の意義と窩洞形成の方法を説明できる。

6) 切削・研磨用材料と使用機器の特徴と使い方を説明できる。

7) 歯冠修復に用いる材料の構造と物性を理解する。

8) 歯冠修復法の種類と特徴及びその適応を説明できる。

9) 接着性修復材料をもちいた修復の概要と特性を説明できる。

10) 修復に必要な前処理の目的と意義を説明できる。

11) 歯髄保護の種類を述べ、その重要性を説明できる。

12) う蝕の予防法を理解し、う蝕リスクの診断法を説明できる。

13) 間接法修復の進め方と使用する材料の種類と性質を説明できる。

14) 仮封ならびに暫間装置の意義、種類及び特徴を説明できる。

15) 歯の変色の原因、種類及び処置を説明できる。

16) 歯科用レーザーの保存修復治療への応用法の術式と特徴を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/16	09:00-11:50	ノイシュタットジャパンルーム	う蝕の除去(抜去歯)	抜去歯を用いて実際のう蝕除去を行う	井上 剛, 米倉 和秀, 高橋 基	
4-6	4/21	13:50-16:40	遠隔授業(同期型)	う蝕の処置と窩洞		中島 正俊	
7-9	4/27	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	カリオロジー最前線		花田 信弘 井上 剛	
10	5/18	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	カリエスリスク診断		平石 典子	
11-12	5/18	10:00-11:50	遠隔授業(同期型)	接着のメカニズム		平石 典子	

13	5/24	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	象牙質知覚過敏		高橋 礼奈	
14-15	5/24	10:00-11:50	遠隔授業（同期型）	間接法修復		二階堂 徹, 井上 剛	
16	5/25	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	接着の歴史		杉崎 順平, 井上 剛	
17-18	5/25	10:00-11:50	遠隔授業（同期型）	歯以外への接着、補修		高垣 智博, 井上 剛	
19-21	5/26	12:50-15:40	ノイシュタットジャパンルーム	中間筆記試験		井上 剛	

成績評価の方法

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。

・筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

・保存修復学 21（永末書店）（P23-273）を予習すること

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

保存修復学 21／田上順次, 奈良陽一郎, 山本一世, 斎藤隆史 監修,：永末書店, 2017

参考書

接着歯学 = Adhesive dentistry／日本接着歯学会 編,：医歯薬出版, 2015

・う蝕学、永末書店

・う蝕治療ガイドライン、日本歯科保存学会編、永末書店

・Art and science of operative dentistry, Mosby.

時間割番号	021145				
科目名	保存修復治療の基礎			**科目ID**	DD-452003-E
担当教員	井上 剛[INOUE GO]				
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:歯と根尖歯周組織の疾患

ユニット名:保存修復治療の基礎 33 コマ

授業形態:実習

ユニット番号:03

主な講義場所

保存矯正実習室

授業の目的、概要等

う蝕の診察、検査、診断、治療及び予防を行うために必要な、基本的な技能及び態度を身につける。

う蝕ならびにその他の歯質欠損に対する歯冠修復の進め方を習得する。

授業の到達目標

1) 診察、検査、診断及び治療に必要な器材を準備できる。

2) 切削・研磨用材料と機器を使用できる。

3) う蝕の除去ならびに窩洞形成ができる。

4) 歯の欠損の病態に対応した処置方針を選択し、説明できる。

5) 直接法接着修復の基本操作を行うことができる。

6) 修復に必要な前処理の基本的操作ができる。

7) 間接法修復に関する模型上での基本的操作を理解し、行うことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/6	13:50-16:40	ノイシュタットジャパンルーム	抜去歯の観察と診療器材の取扱い	実習器材の準備	井上 剛, 内山 沙紀, 林 明賢, 田端 倫子	
4-6	4/7	13:50-16:40	ノイシュタットジャパンルーム	抜去歯の観察	実習に必要な抜去歯の確認	井上 剛, 石川 芽生, 馬場 雄大, 高橋 基	
7	4/23	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	コンポジットレジン①材料学		稲井 紀通	
8-9	4/23	15:50-17:50	遠隔授業(同期型)	コンポジットレジン②臨床		井上 剛	
10-12	5/11	09:00-11:50	ノイシュタットジャパンルーム	う蝕の除去及び 1 級CR(抜去歯)	抜去歯にて、う蝕の除去及び 1 級 CR 修復	井上 剛, 日下 輝雄, 松井 七生子, 田端 倫子, 米倉 和秀	
13-15	5/12	12:50-15:40	ノイシュタットジャパンルーム	5 級 CR(#24)／WSD(#34)	5 級 CR、WSD(#34)修復	井上 剛, 高田 恒彦, 高橋 基	

16–18	5/19	09:00–11:50	ノイシュタットジャパンルーム	2 級 CR(#16,#24)	2 級 CR 修復	井上 剛, 堀口 尚司, 吉峰 斉昭, 田端 倫子	
19–21	5/21	09:00–11:50	ノイシュタットジャパンルーム	3,4 級 CR(#21, #23)	3 級、4 級 CR 修復	佐藤 隆明, 津田 優香, 米倉 和秀	
22–24	5/21	12:50–15:40	ノイシュタットジャパンルーム	レジンインレー形成とレジンコーティング(#36)	レジンインレー形成とレジンコーティング法習得	佐藤 隆明, 内沼 茂樹, 永野 大樹, 米倉 和秀	
25–27	5/24	13:50–16:40	補綴実習室, ノイシュタットジャパンルーム	印象採得・模型作製(#36)	印象採得・模型作製	井上 剛, 佐藤 健人, 大林 翔, 高橋 基, 米倉 和秀	
28–30	5/25	13:50–16:40	補綴実習室, ノイシュタットジャパンルーム	印象採得・模型作製(#36)	印象採得・模型作製	井上 剛, 濱田 具之, 品川 淳一, 田端 倫子	
31–33	5/26	09:00–11:50	ノイシュタットジャパンルーム	作製と装着(デモ)	作製と装着(デモ)	井上 剛, 桐原 大, 関 由一, 田端 倫子	

成績評価の方法

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。

・適宜、実習態度の評価、作品の評価を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

アップロードしてある実習項目の動画を事前に視聴し, Webclass を用いてアクティブラーニングを行うこと.

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

保存修復学 21／田上順次, 千田彰, 奈良陽一郎, 桃井保子 監修.:永末書店, 2011

参考書

う蝕学 : チェアサイドの予防と回復のプログラム／田上順次, 花田信弘, 桃井保子 編.:永末書店, 2008

接着歯学 = Adhesive dentistry／日本接着歯学会 編.:医歯薬出版, 2015

う蝕治療ガイドライン : MI(Minimal Intervention)を理念としたエビデンス(根拠)とコンセンサス(合意)に基づく／日本歯科保存学会／編.:永末書店, 2009

・Sturdevant's Art and Science of Operative Dentistry

時間割番号	021146				
科目名	保存修復治療の最新の臨床			科目ID	DD-452004-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:歯と根尖歯周組織の疾患

ユニット名:保存修復治療の最新の臨床

コマ数:15+3

授業形態:講義

ユニット番号:04

主な講義場所

第3講義室

授業の目的、概要等

審美的な歯科治療に関する知識を習得し、その治療方法を理解する。

歯質保存的な歯冠修復の意義を理解する。

授業の到達目標

1) 審美的な歯科治療の意義を説明できる。

2) 審美的な歯科治療法を列挙し、その基本的な術式と特徴を説明できる。

3) MIの意義を説明できる。

4) 修復後の術後管理の目的と方法を説明できる。

5) 歯科修復物への接着/補修方法を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	9/1	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	失活歯の修復	佐藤 隆明	
2	9/1	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	セメント・アマルガム修復	井上 剛	
3	9/1	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	レーザーとう蝕治療	中根 晶, 井上 剛	
4-6	9/7	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	歯のホワイトニングとその他の色調回復法	大槻 昌幸	
7-8	9/14	09:00-10:50	遠隔授業(同期型)	審美修復	保坂 啓一, 井上剛	
9	9/14	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	デジタルデンティストリー	高橋 礼奈	
10	9/28	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	開業医の CR 充填	高橋 真広, 井上剛	
11-12	9/28	10:00-11:50	遠隔授業(同期型)	CR の適応拡大と新しい概念	田代 浩史, 井上剛	
13	10/5	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	Tooth wear	北迫 勇一, 井上剛	
14	10/5	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	MI 審美修復	岸川 隆蔵, 井上剛	
15	10/5	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	ライブ講義	岸川 隆蔵, 井上剛	
16-18	10/14	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	WebClass で試験	井上 剛	

成績評価の方法

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。

・筆記試験を行い、総括的評価を行う

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

保存修復学 21／田上順次, 奈良陽一郎, 山本一世, 斎藤隆史 監修,田上, 順次, 1955-,奈良, 陽一郎,山本, 一世,:永末書店, 2017

参考書

:医歯薬出版

:医歯薬出版

コンポジットレジン修復の発想転換／田代浩史 著,:医歯薬出版, 2015

接着歯学 = Adhesive dentistry／日本接着歯学会 編,:医歯薬出版, 2015

・Art and science of operative dentistry, Mosby.

時間割番号	021147				
科目名	保存修復治療の展開			科目ID	DD-452005-E
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:歯と根尖歯周組織の疾患

ユニット名:保存修復治療の基礎 33コマ

授業形態:実習

ユニット番号:03

主な講義場所

保存矯正実習室

授業の目的、概要等

う蝕の診察、検査、診断、治療及び予防を行うために必要な、基本的な技能及び態度を身につける。

う蝕ならびにその他の歯質欠損に対する歯冠修復の進め方を習得する。

授業の到達目標

1) 診察、検査、診断及び治療に必要な器材を準備できる。

2) 切削・研磨用材料と機器を使用できる。

3) う蝕の除去ならびに窩洞形成ができる。

4) 歯の欠損の病態に対応した処置方針を選択し、説明できる。

5) 直接法接着修復の基本操作を行うことができる。

6) 修復に必要な前処理の基本的操作ができる。

7) 間接法修復に関する模型上での基本的操作を理解し、行うことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	9/1	13:50-16:40	補綴実習室, 保存矯正実習室	抜去歯植立		井上 剛, 中根 晶, 馬場 雄大
4-6	9/3	12:50-15:40	ノイシュタットジャパンルーム	1 級WSD(#35, #36)・歯根面(#14)	1 級・歯根面 CR 修復	井上 剛, 中沖 靖子, 長谷川 真夕
7-9	9/7	13:50-16:40	ノイシュタットジャパンルーム	3 級(#21), 4 級(#23)修復	3 級・4 級 CR 修復	井上 剛, 浦部 功
10-12	9/8	09:00-11:50	ノイシュタットジャパンルーム	2 級修復(#15, 16)	2 級 CR 修復	井上 剛, 東高士, 荒牧音
13-15	9/8	12:50-15:40	ノイシュタットジャパンルーム	MOD と隣在歯の CR(#44, #45)	MOD と隣在歯の CR 修復	井上 剛, 荒岡 大輔, 中田 琢也
16-18	9/14	13:50-16:40	ノイシュ	咬頭被覆 2 級(#46)	咬頭被覆 2 級 CR 修復	井上 剛, 岩

			タットジャパンルーム			本 奈々子, 久野 裕介
19-21	9/28	13:50-16:40	ノイシュタットジャパンルーム	破折歯のCRと補修(#22)	破折歯の CR 補修	井上 剛, 田代 浩史, 高橋 真広
22-24	10/5	13:50-16:40	ノイシュタットジャパンルーム	ベニア CR 修復(#21), 5級(#23)	ベニア・5 級 CR 修復	岸川 隆蔵, 井上 剛, 清水 美透
25-27	10/11	09:00-11:50	ノイシュタットジャパンルーム	根充後の CR(#14)	根充後の CR	井上 剛, 趙 永哲, 西村 耕三
28-30	10/11	13:50-16:40	ノイシュタットジャパンルーム	作品提出		井上 剛
31-33	10/14	13:50-16:40	ノイシュタットジャパンルーム	実習試験		井上 剛

成績評価の方法

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。

・適宜、実習態度の評価、作品の評価を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

アップロードしてある実習項目の動画を事前に視聴し, Webclass を用いてアクティブラーニングを行うこと.

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

保存修復学 21／田上順次, 千田彰, 奈良陽一郎, 桃井保子 監修,:永末書店, 2011

参考書

う蝕学 : チェアサイドの予防と回復のプログラム／田上順次, 花田信弘, 桃井保子 編,:永末書店, 2008

接着歯学 = Adhesive dentistry／日本接着歯学会 編,:医歯薬出版, 2015

う蝕治療ガイドライン : MI(Minimal Intervention)を理念としたエビデンス(根拠)とコンセンサス(合意)に基づく／日本歯科保存学会／編,:永末書店, 2009

・Sturdevant's Art and Science of Operative Dentistry

時間割番号	021148				
科目名	歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する			**科目ID**	DD-452006-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名：歯と根尖歯周組織の疾患

コマ数：9＋1

必要自習時間：各回1時間以上

授業形態：講義、演習（遠隔授業）

ユニット番号：06

主な講義場所

遠隔授業（Zoom, WebClass）

授業の目的、概要等

歯髄疾患と根尖性歯周疾患に適切に対処するために、これらの疾患の診断と治療の進め方に関する基礎的知識を修得する。

授業の到達目標

1）歯内治療の目的、対象疾患と治療の流れを概説できる。

2）歯髄疾患の病因と病態を説明できる。

3）根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。

4）根管の機械的拡大・形成の目的と方法を説明できる。

5）根管の化学的清掃と消毒の目的と方法を説明できる。

6）根管充填の目的、時期および方法を説明できる。

7）歯髄疾患と根尖性歯周疾患の診断法を説明できる。

8）歯髄保存療法の分類、適応症および術式を説明できる。

9）歯髄除去療法の分類、適応症および術式を説明できる。

10）感染根管治療およびその補助療法を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/27	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因・病態と治療概論	到達目標 1-3	興地 隆史	
2	9/27	10:00-10:50	遠隔授業（非同期型）	根管の処置 1 根管の拡大形成	到達目標 4	興地 隆史	WebClass
3	9/27	11:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	根管の処置 2 根管清掃・消毒	到達目標 5	興地 隆史	WebClass
4	9/29	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の診断	到達目標 7	興地 隆史	
5	9/29	10:00-10:50	遠隔授業（非同期型）	根管充填	到達目標 6	興地 隆史	WebClass
6	9/29	11:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	歯髄除去療法	到達目標 9	興地 隆史	WebClass
7	10/4	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	歯髄保存療法	到達目標 8	興地 隆史	

8	10/4	10:00-10:50	遠隔授業（非同期型）	感染根管の治療法	到達目標 10	興地 隆史	WebClass
9	10/4	11:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	ケース演習	アクティブラーニング　到達目標 1-10	興地 隆史	WebClass
10	10/18	12:50-13:40	歯学科第3講義室, 保存矯正実習室	筆記試験	到達目標 1-10	興地 隆史	

成績評価の方法

・2021 年 10 月 18 日に、筆記試験を行う。

・出席日数、提出レポート内容、小テスト等が評価に加味される。

準備学習等についての具体的な指示

・講義資料、Web 教材および指定された参考書を用いて予習・復習を行う。

・課題や Web 教材の予習が課された場合は、その指示に従う。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・出席確認は視聴記録および課題提出により行う。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、小テスト及び平常学習態度等が評価に加味される。

参考書

エンドドンティクス 第 5 版／興地隆史, 石井信之, 小木曽文内 編集主幹：永末書店, 2018

歯内治療学 第 5 版／勝海一郎, 興地隆史、石井信之、中田和彦 編,：医歯薬出版, 2018

履修上の注意事項

・遠隔授業（非同期型）では、教材を視聴後、指示に従い課題を提出する。

備考

・AL（ケース演習）では、指示に従いプロダクトを作成する。

時間割番号	021150				
科目名	歯内治療の展開			科目ID	DD-452008-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名：歯と根尖歯周組織の疾患

コマ数：12＋1

必要自習時間：各回1時間以上

授業形態：講義及びグループ演習

ユニット番号：08

主な講義場所

遠隔授業（Zoom, WebClass）

授業の目的、概要等

さまざまな歯内治療の症例に適切に対処するために、患者や患歯の状態に応じた治療の進め方を理解する。

授業の到達目標

1）再根管治療の適応症と術式を説明できる。

2）外科的歯内治療を列挙し、適応症および術式を説明できる。

3）歯内治療時の偶発症について、種類、処置及び予防を説明できる。

4）歯内治療における緊急処置の種類と方法を説明できる。

5）歯の外傷を分類し、診断と治療における歯内治療との関連を概説できる。

6）歯根吸収を分類し、診断と治療における歯内治療との関連を概説できる。

7）歯内-歯周疾患を分類し、診断と治療法を説明できる。

8）歯内治療に関する知識を総合的に結びつけ、診査、診断、治療法を説明できる。

9）高齢者、有病者の歯内治療を説明できる。

10）歯内治療における先端的な器材・術式を概説できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/25	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	再根管治療/外科的歯内治療	到達目標 1, 2	興地 隆史	
2	10/25	10:00-10:50	遠隔授業（非同期型）	偶発症の原因と対処法	到達目標 3	興地 隆史	Web Class
3	10/25	11:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	緊急処置	到達目標 4	興地 隆史	Web Class
4	10/26	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	歯の外傷と歯内治療	到達目標 5	興地 隆史	
5	10/26	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	歯根吸収と歯内治療	到達目標 6	興地 隆史	Web Class
6	10/26	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	歯内ー歯周疾患	到達目標 7	興地 隆史	Web Class
7-8	11/8	09:00-10:50	遠隔授業（同期型）	歯内治療実践チュートリアル 1	アクティブラーニング（グループ討議） 到達目標 1-8	興地 隆史, 奈良 圭介, 飯野 由子, 橋本 健太郎, 吉岡 俊彦,	

						萩谷 洋子, 和達 礼子, 菊地 和泉, 鷲見 生和子, 野田 園子	
9	11/8	11:00–11:50	遠隔授業 (同期型)	高齢者の歯内治療	到達目標 9	興地 隆史	Web Class
10–11	11/15	09:00–10:50	遠隔授業 (同期型)	歯内治療実践チュートリアル 2	アクティブラーニング(グループ発表)　到達目標 1–8	興地 隆史, 奈良 圭介, 飯野 由子, 橋本 健太郎, 吉岡 俊彦, 萩谷 洋子, 和達 礼子, 菊地 和泉, 鷲見 生和子, 野田 園子	
12	11/15	11:00–11:50	遠隔授業 (同期型)	歯髄疾患/根尖性歯周疾患への先端的対応	到達目標 10	澤田 則宏	
13	11/29	12:50–13:40	歯学科第 3 講義室, 保存矯正実習室	筆記試験	到達目標 1–10	興地 隆史	

授業方法

成績評価の方法

・2021 年 11 月 29 日に、筆記試験を行う。

・出席日数、提出レポート内容、小テスト等が評価に加味される。

準備学習等についての具体的な指示

・講義資料、Web 教材および指定された参考書を用いて予習・復習を行う。

・課題や Web 教材の予習が課された場合は、その指示に従う。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

歯内治療の展開

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取 得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、小テスト及び平常学習態度等が評価に加味される。

参考書

エンドドンティクス 第 4 版／興地隆史, 石井信之, 小木曽文内 編集主幹:永末書店, 2018

歯内治療学 第5版／勝海一郎, 興地隆史, 石井信之, 中田和彦 編:医歯薬出版, 2018

歯内療法のケースアセスメントと臨床 : 根管形態からみる・ストラテジーを選ぶ／興地隆史 著,:医歯薬出版, 2013

履修上の注意事項

・遠隔授業(非同期型)では、教材を視聴後、指示に従い課題を提出する。

備考

・AL(歯内治療実践チュートリアル)では、グループ討議後、指示に従いプロダクト作成とグループ発表を行う。

時間割番号	021151				
科目名	歯内治療実習			科目ID	DD-452009-E
担当教員	橋本 健太郎[HASHIMOTO Kenntarou]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:歯と根尖歯周組織の疾患

コマ数:42

必要自習時間:40 時間

授業形態:実習

ユニット番号:08

歯内治療学は、歯の硬組織、歯髄および根尖部歯周組織などの疾病に対する予防と治療を考究する臨床歯学の一分野である。本科目では、実習により歯内治療の基本的術式を学ぶ。

主な講義場所

7号館 5F 示説室、示説室

授業の目的、概要等

歯髄疾患ならびに根尖性歯周疾患に適切に対応するために、これらの疾患に対する基本的治療技術を習得する。

授業の到達目標

1)歯内治療に必要な器材を準備・説明できる

2)髄腔開拡の説明・基本操作ができる

3)根管形成の説明・基本操作ができる

4)根管充填の説明・基本操作ができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	9/15	13:50-16:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	実習概要説明、天然歯植立模型作成	実習概要説明。器具配布・貸与および抜去歯検査後、天然歯植立模型作成法を学ぶ	川島 伸之, 奈良 圭介, 飯野 由子, 橋本 健太郎, 渡邉 聡, 海老原 新, 和達 礼子, 竹田 淳志, 野田 園子	
4-6	9/27	13:50-16:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	髄腔開拡 (人工歯11, 24, 46)	歯内治療に用いる器具・器械を理解する。人工歯を手に持った状態で髄腔開拡の基本操作を学ぶ。	川島 伸之, 奈良 圭介, 飯野 由子, 橋本 健太郎, 渡邉 聡, 海老原 新, 和達 礼子, 竹田 淳志, 野田 園子	
7-9	9/29	13:50-16:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	根管形成 (人工歯 24, 26)	歯内治療に用いる器具・器械を理解する。人工歯を手に持った状態で根管形成、根管貼薬、仮封の基本操作を学ぶ。	川島 伸之, 奈良 圭介, 飯野 由子, 橋本 健太郎, 渡邉 聡, 海	

						老原 新, 和達 礼子, 竹田 淳志, 野田 園子, 八尾 加奈子	
10-12	10/4	13:50-16:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	根管充填 (人工歯 24, 26)	歯内治療に用いる器具・器械を理解する。人工歯を手に持った状態で根管形成、根管充填の基本操作を学ぶ。	川島 伸之, 奈良 圭介, 飯野 由子, 橋本 健太郎, 渡邉 聡, 海老原 新, 和達 礼子, 竹田 淳志, 野田 園子, 植田 美紀	
13-15	10/18	13:50-16:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	天然歯単独植立模型実習 (髄腔開拡・根管形成)(上顎前歯)	X 線写真の読影。天然歯を手に持った状態で髄腔開拡、電気的根管長測定、根管形成の基本操作を学ぶ。	川島 伸之, 奈良 圭介, 飯野 由子, 橋本 健太郎, 渡邉 聡, 海老原 新, 和達 礼子, 竹田 淳志, 野田 園子, 山本 弥生子	
16-18	10/22	12:50-15:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	天然歯単独植立模型実習 (根管充填)(上顎前歯)、天然歯単独植立模型実習 (髄腔開拡・根管形成)(小臼歯)	① 天然歯を手に持った状態で根管充填の基本操作を学ぶ。 ②X 線写真の読影。天然歯を手に持った状態で髄腔開拡、電気的根管長測定、根管形成、根管貼薬、仮封の基本操作を学ぶ。	川島 伸之, 奈良 圭介, 飯野 由子, 橋本 健太郎, 渡邉 聡, 海老原 新, 菊地 和泉, 福元 康恵, 高橋 里美, 野田 園子	
19-21	10/25	13:50-16:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	天然歯単独植立模型実習 (根管形成・根管充填)(小臼歯)	天然歯を手に持った状態で根管充填の基本操作を学ぶ。	海老原 新, 渡邉 聡, 橋本 健太郎, 奈良 圭介, 川島 伸之, 飯野 由子, 菊地 和泉, 小澤 雅彦, 野田 園子	
22-24	10/26	13:50-16:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	実習試験(単独植立模型: 髄腔開拡・根管形成・根管充填)(上顎前歯)	天然歯(上顎前歯)を手に持った状態で実技試験を行う。髄腔開拡、根管形成、根管充填)	海老原 新, 渡邉 聡, 橋本 健太郎, 奈良 圭介, 川島 伸之, 飯野 由子,	実技試験により『学習の到達目標』を評価する。毎回の実習態度、出席も考慮する。 チュートリ

						河西 裕美, 吉川 剛正, 野田 園子	アル課題提示
25-27	11/8	13:50-16:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	天然歯顎模型実習 (髄腔開拡・根管形成)(下大臼歯)	X 線写真の読影。マネキンに固定した顎模型に天然歯植立模型を固定し、臼歯のラバーダム防湿、髄腔開拡、根管形成、根管貼薬・根管充填、仮封の基本操作を学ぶ。	海老原 新, 渡邉 聡, 橋本 健太郎, 奈良 圭介, 川島 伸之, 飯野 由子, 和達 礼子, 金子 実弘, 野田 園子	
28-30	11/12	12:50-15:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	天然歯顎模型実習 (根管形成・根管充填)(下大臼歯)	X 線写真の読影。マネキンに固定した顎模型に天然歯植立模型を固定し、大臼歯のラバーダム防湿、根管形成、根管充填、仮封の基本操作を学ぶ。	海老原 新, 渡邉 聡, 橋本 健太郎, 奈良 圭介, 川島 伸之, 飯野 由子, 萩谷 洋子, 東 春生, 野田 園子	
31-33	11/15	13:50-16:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	天然歯顎模型実習 (髄腔開拡)(上顎大臼歯)、NiTi 実習、GP 除去	① X 線写真の読影。マネキンに固定した顎模型に天然歯植立模型を固定し、上顎大臼歯の髄腔開拡、仮封の基本操作を学ぶ。 ② NiTi による根管形成の基本操作を学ぶ。 ③GP 除去の基本操作を学ぶ。	海老原 新, 渡邉 聡, 橋本 健太郎, 奈良 圭介, 川島 伸之, 飯野 由子, 辺見 浩一, 花田 隆周, 野田 園子	
34-36	11/19	12:50-15:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	天然歯顎模型実習(髄腔開拡・根管形成)(上顎大臼歯)、NiTi 実習、GP 除去、顕微鏡実習	① X 線写真の読影。マネキンに固定した顎模型に天然歯植立模型を固定し、上顎大臼歯の髄腔開拡、根管形成、根管貼薬、仮封の基本操作を学ぶ。 ② NiTi による根管形成の基本操作を学ぶ。 ③GP 除去の基本操作を学ぶ。 ④顕微鏡の基本操作を学ぶ。	海老原 新, 渡邉 聡, 橋本 健太郎, 奈良 圭介, 川島 伸之, 飯野 由子, 安生 智郎, 鷲見 生和子, 野田 園子	
37-39	11/25	13:50-16:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	天然歯顎模型実習(根管形成・根管充填)(上顎大臼歯)、GP 除去、顕微鏡実習	① X 線写真の読影。マネキンに固定した顎模型に天然歯植立模型を固定し、上顎大臼歯の根管形成、根管充填の基本操作を学ぶ。 ②GP 除去の基本操作を学ぶ。 ③顕微鏡の基本操作を学ぶ。	海老原 新, 渡邉 聡, 橋本 健太郎, 奈良 圭介, 川島 伸之, 飯野 由子, 吉岡 俊彦, 野田 園子	
40-42	11/29	13:50-16:40	5F 示説室, 保存矯正実習	実習試験(天然歯顎模型: 髄腔開拡・根管形成・根管充填)(小臼歯)	マネキンに固定した顎模型に天然歯植立模型(上顎小臼歯)を固定し、実技試験を行う。髄腔開拡、根	川島 伸之, 奈良 圭介, 飯野 由子,	実技試験により『学習の到達目標』を評価する。

			室		管形成、根管充填)	橋本 健太郎, 渡邉 聡, 海老原 新, 河村 千鶴子, 鷲見 生和子, 野田 園子	毎回の実習態度、出席も考慮する。

成績評価の方法

実技試験(2021 年 10 月 26 日、11 月 29 日)を行い、総括的な評価を行う。
実習態度、出席も考慮する。

準備学習等についての具体的な指示

デモ、実習を基本とする。講義内容(「歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する」)、教科書、オリジナルプリント、WebClass を予習、復習するとともに、関連する講義(特に歯の形態)についての知識を参照する必要がある。
実習での使用テキスト:オリジナルプリント(各自 WebClass からダウンロードすること)

試験の受験資格

全授業時間数(14 回)のうち、4分の3以上出席していなければならない。

モジュールの単位判定

実技試験(2021 年 10 月 26 日及び 11 月 29 日)を行い、総括的な評価を行う。
実習態度、出席も考慮する。

教科書

実習での使用テキスト:オリジナルプリント(各自 WebClass からダウンロードすること)

参考書

エンドドンティクス 第 5 版／興地隆史・石井信之・小木曽文内 編集主幹:末永書店, 2018
歯内治療学 第 5 版／勝海一郎、興地隆史、石井信之、中田和彦 編著:医歯薬出版, 2018

履修上の注意事項

実習はすべての回に出席することを前提に構成されています。体調不良の場合は、実習前にメールで連絡してください。

備考

非常勤講師:竹田淳志, 澤田則宏, 和達礼子, 小澤雅彦, 河西裕美, 福元康恵, 吉川剛正, 安生智郎, 菊地和泉, 金子実弘, 高橋里美, 林洋介, 萩谷洋子, 鷲見生和子, 花田隆周, 東春生, 辺見浩一, 河村千鶴子, 吉岡俊彦, 佐竹和久, 山本弥生子, 植田美紀, 八尾香奈子が実習指導を行う。

時間割番号	021117				
科目名	咬合回復			**科目ID**	DD-451900-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度 1.5 通年 (秋)	**対象年次**	3～4	**単位数**	12
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業形態:講義・実習

モジュール番号:21

授業の目的、概要等

歯の欠損による顎口腔系の形態および機能の異常を理解し，その診断・治療に必要な基本的知識と技能を修得する。

準備学習等についての具体的な指示

構成ユニット

01 咬合回復基礎　(3年　後期)
02 全部床義歯補綴(4年　前期)
03 部分床義歯補綴(4年　後期)
04 クラウンブリッジ(4年　後期)
05 インプラント補綴(4年　後期)
06 咬合回復統合(4年　後期)

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには，当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては，出席日数，提出レポート内容，及び平常学習態度等が評価に加味される。また，複数学年にまたがるモジュールについては，歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

時間割番号	021118				
科目名	咬合回復基礎			科目ID	DD-351901-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:咬合回復

コマ数:12+1(必要自習時間4時間)

授業形態:講義

ユニット番号:01

授業の目的、概要等

咬合回復治療に関連する基礎的な知識を修得する.

授業の到達目標

1) 咬合回復の臨床的意義を説明できる.

2) 咬合に関連する形態および機能の常態を説明できる.

3) 咬合に関連する形態および機能の異常を説明できる.

4) 咬合に関連する形態および機能の回復を説明できる.

5) 顎機能異常について説明できる.

成績評価の方法

・客観試験により総括的に評価する.

準備学習等についての具体的な指示

WebClass 等のハンドアウトを確認し、適切に予習、復習を行うこと。

試験の受験資格

ユニット授業コマ数のうち, 3分の2以上出席していなければならない.

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし, 次年度に当該ユニットを再履修しなければならない.

参考書

・「咀嚼運動の生理学」 中村嘉男著, 医歯薬出版, 東京, 1998

・「テキストブック オクルージョン」 Norman D Mohl, George A Zarb, Gunnar E Carlsson, John D Rugh 著／藍 稔訳, クインテッセンス, 東京, 1993

・「Management of Temporomandibular Disorders and Occlusion」 3rd Edition. Jeffrey P Okeson 著, Mosby, St Louis, 1992

・「Illustrated Anatomy of the Head and Neck」Margaret J Fehrenback, Susan W Herring 著, W.B.Saunders Company, 1996

・「ケルバーの補綴学Ⅰ, Ⅱ」 Korber,K,H 著, 田端, 河野, 福島訳, クインテッセンス, 東京, 1986

時間割番号	021152				
科目名	全部床義歯補綴			科目ID	DD-451902-Z
担当教員	水口 俊介[MINAKUCHI SHIYUNSUKE]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:咬合回復

ユニットコマ数:40.3

必要自習時間:30 時間

授業形態:ユニット番号 02

授業の目的、概要等

可撤性義歯を用いた咬合回復治療に必要な知識と基本的技能を修得する.

授業の到達目標

1） 全部床義歯の目的と意義を説明できる.
2） 全部床義歯の種類と適応症を説明できる.
3） 無歯顎患者の診査および診断を説明できる.
4） 全部床義歯の構成要素を説明できる.
5） 全部床義歯の設計原則を説明できる.
6） 全部床義歯の前処置の意義と方法を説明できる.
7） 全部床義歯の印象採得法を説明できる.
8） 全部床義歯の顎間関係記録法を説明できる.
9） 全部床義歯の咬合を説明できる.
10） 全部床義歯の人工歯の種類および排列法を説明できる.
11） 全部床義歯の研磨面形態を説明できる.
12） 蝋義歯の埋没および重合操作を説明できる.
13） 全部床義歯の装着時に必要な基本的事項を説明できる.
14） 全部床義歯のメインテナンスを説明できる.
15） 即時義歯および治療義歯の目的と意義を説明できる.
16） 全部床義歯製作のための技工操作を修得する.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/1	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	講義1	総論、予備印象　Webclass 第1回	水口 俊介	授業時間の最後に質疑応答の時間を設けようと思っていたのですが、急な会議でできません。月曜からの実習の時間に受けますので宜しくお願い致します。
4-6	4/5	09:00-11:50	補綴実習室	実習1	器械検査、個人トレー	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
7-9	4/5	12:50-15:40	補綴実習室	実習2	個人トレー	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ,	

						宮安 杏奈	
10-12	4/9	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	講義2	精密印象　Webclass 第2回	佐藤 佑介	
13-15	4/9	12:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	講義3	咬合採得、咬合器、ゴシックアーチ　Webclass 第3回	金澤 学	
16-18	4/12	09:00-11:50	補綴実習室	実習3	個人トレー	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
19-21	4/13	13:50-16:40	補綴実習室	実習4	咬合床	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
22-24	4/14	12:50-15:40	補綴実習室	実習5	咬合床	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
25-27	4/19	09:00-11:50	補綴実習室	実習6	咬合床	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
28-30	4/23	09:00-11:50	補綴実習室	実習7	咬合採得、咬合器装着	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
31-33	4/26	09:00-11:50	補綴実習室	実習8	咬合器装着、ゴシックアーチ描記装置	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
34-35	4/28	13:50-15:40	補綴実習室	実習9	ゴシックアーチ描記装置	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
36-38	4/30	12:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	講義4	人工歯排列　Webclass 第4回	鈴木 啓之	
39-41	5/7	12:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	講義5	試適、歯肉形成、重合 Webclass 第5回	濵 洋平	
42-43	5/10	10:00-11:50	3F 示説室, 補綴実習室	実習10	デジタル排列実習	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
44-46	5/12	09:00-11:50	補綴実習室	実習11	前歯部排列	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	

47-49	5/14	09:00-11:50	補綴実習室	実習12	前歯部排列	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
50-52	5/14	12:50-15:40	補綴実習室	実習13	前歯部排列	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
53-55	5/17	09:00-11:50	補綴実習室	実習14	臼歯部排列	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
56-58	5/17	12:50-15:40	補綴実習室	実習15	臼歯部排列	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
59-61	5/18	12:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	講義6	削合、装着、修理　Webclass 第6回	駒ヶ嶺 友梨子	
62-64	5/19	12:50-15:40	補綴実習室	実習16	臼歯部排列	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
65-67	5/27	09:00-11:50	補綴実習室	実習17	歯肉形成	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
68-70	5/28	09:00-11:50	補綴実習室	実習試験	前歯部排列試験	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
71-73	5/28	12:50-15:40	補綴実習室	実習18	歯肉形成	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
74-76	5/31	09:00-11:50	補綴実習室	実習19	歯肉形成、埋没	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
77-79	5/31	12:50-15:40	補綴実習室	実習20	埋没	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
80-82	8/30	09:00-11:50	歯学部演習室, 補綴実習室	実習21	流蝋、填入／PBL	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈, 平野 滋三, 安藤 一夫,	PBL

						渡辺 一騎, 長田 英治	
83-85	8/30	12:50-15:40	歯学部演習室, 補綴実習室	実習22	PBL／流蝋、填入	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈, 平野 滋三, 安藤 一夫, 渡辺 一騎, 長田 英治	PBL
86-88	8/31	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	講義7	中継講義	水口 俊介	
89-91	8/31	12:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	講義8	IOD　デジタル義歯　義歯ケア Webclass 第7回	金澤 学, 佐藤 佑介	
92-94	9/2	09:00-11:50	補綴実習室	実習23	辺縁形成実習	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
95-97	9/2	12:50-15:40	補綴実習室	実習24	削合	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
98-100	9/6	09:00-11:50	歯学部演習室, 補綴実習室	実習25	削合／PBL	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	PBL
101-103	9/6	12:50-15:40	歯学部演習室, 補綴実習室	実習26	PBL／削合	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	PBL
104-106	9/9	09:00-11:50	補綴実習室	実習27	削合	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
107-109	9/9	12:50-15:40	補綴実習室	実習28	削合、割り出し、形態修正	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
110-112	9/10	12:50-15:40	補綴実習室	実習29	研磨	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
113-115	9/13	09:00-11:50	補綴実習室	実習30	研磨	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
116-118	9/13	12:50-15:40	補綴実習室	実習31	研磨	水口 俊介, 鈴木 啓之,	

						添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
119	9/17	12:50-13:40	歯学科第 3講義室	ユニット試験	筆記試験	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	
120-121	9/17	13:50-15:40	歯学科第 3講義室	実習32	PBL発表会	水口 俊介, 鈴木 啓之, 添田 ひとみ, 宮安 杏奈	PBL

成績評価の方法

・製作物の客観評価，インストラクターによる評価，小テスト，実習試験，筆記客観試験により総括的に評価する.

準備学習等についての具体的な指示

教科書および WebClass 上にアップロードされる資料等を活用して予習・復習に役立てること.

実習の際には該当箇所のデモ動画を事前に視聴したうえで臨むこと.

試験の受験資格

・ユニットコマ数のうち，4分の3以上出席していなければならない.

・受験資格を得られなった学生はユニット未履修とし，次年度に当該ユニットを再履修しなければならない.

教科書

無歯顎補綴治療学／市川哲雄［ほか］編,市川，哲雄,大川，周治,平井，敏博,細井，紀雄,：医歯薬出版，2016

コンプリートデンチャーテクニック／細井紀雄［ほか］編,細井，紀雄,平井，敏博,長岡，英一,赤川，安正,鈴木，哲也(歯科学),大川，周治,：医歯薬出版，2011

Prosthodontic treatment for edentulous patients : complete dentures and implant-supported prostheses／editors, George A. Zarb ... [et al.] ; associate editors, Aaron H. Fenton ... [et al.],Zarb, George A. (George Albert),Fenton, Aaron H.,：Mosby，2013

参考書

写真でマスターするきちんと確実にできる全部床義歯の印象／水口俊介，飼馬祥頼 著,水口，俊介,飼馬，祥頼,：ヒョーロン・パブリッシャーズ，2011

写真でマスターするきちんと確実にできる全部床義歯の咬合採得／水口俊介，飼馬祥頼著,水口，俊介,飼馬，祥頼,：ヒョーロン・パブリッシャーズ，2013

写真でマスターするきちんと確実にできる全部床義歯の試適・装着／水口俊介，飼馬祥頼，菊池圭介 著,水口，俊介,飼馬，祥頼,菊池，圭介,：ヒョーロン・パブリッシャーズ，2014

総義歯臨床の押さえどころ／小林賢一著,小林，賢一,：医歯薬出版，2001

よい義歯だめな義歯 : 鈴木哲也のコンプリートデンチャー17 のルール／鈴木哲也著,鈴木，哲也(歯科学),：クインテッセンス出版，2011

コンプリートデンチャーの理論と臨床 : 総義歯をイメージする／早川巌著,早川，巌,：クインテッセンス出版，1995

備考

実習では、PBL(Probrem Based Learning)によるアクティブラーニングを行う.

時間割番号	021153				
科目名	部分床義歯補綴			**科目ID**	DD-451903-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

タイトル：部分床義歯補綴

モジュール：咬合回復Ⅰ

英語科目名：Removable Partial Prosthodontics

モジュールコマ数

ユニットコマ数（授業コマ数+試験コマ数）:93

授業形態：講義，実習

モジュール番号：17

ユニット番号：03

主な講義場所

第3講義室，補綴示説室，補綴実習室，遠隔授業

授業の目的、概要等

部分床義歯を用いた咬合回復の治療に必要な知識と基本的技能を修得する．

授業の到達目標

1）部分床義歯の目的と意義を説明できる．

2）部分床義歯の種類と適応症を説明できる．

3）歯の欠損の診査および診断を説明できる．

4）部分床義歯の構成要素を説明できる．

5）部分床義歯の設計原則を説明できる．

6）部分床義歯の前処置の意義と方法を説明できる．

7）部分床義歯の印象採得法を説明できる．

8）部分床義歯の顎間関係記録法を説明できる．

9）部分床義歯の咬合を説明できる．

10）部分床義歯の人工歯の種類および排列法を説明できる．

11）部分床義歯の研磨面形態を説明できる．

12）蝋義歯の埋没および重合操作を説明できる．

13）部分床義歯の装着時に必要な基本的事項を説明できる．

14）部分床義歯のメインテナンスを説明できる．

15）即時義歯および治療義歯の目的と意義を説明できる．

16）部分床義歯製作の材料について説明できる．

17） 部分床義歯製作のための技工操作を修得する．

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	9/21	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	部分床義歯補綴学講義 1ー3	歯の欠損と治療の意義，欠損の分類，支持	髙市 敦士	
4-6	9/21	13:50-16:40	補綴実習室，遠隔授業（非同期型）	部分床義歯補綴学実習 1ー3	サベイング・設計線記入　設計実習1　紙上設計	稲用 友佳，高草木 謙介，笛木 賢治	
7-9	9/30	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	部分床義歯補綴学講義 4ー6	把持と維持，サベイング，隣接面板，クラスプ	和田 淳一郎	
10-12	9/30	13:50-16:40	補綴実習	部分床義歯補綴学実習	AL 設計実習1 グループワーク・	稲用 友佳，	PBL

			室, 遠隔授業(同期型)	4－6	設計線記入	髙草木 謙介	
13-15	10/21	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学講義 7－9	クラスプ以外の維持, オーバーデンチャー, 人工歯, 義歯床, 大連結子	上野 剛史	
16-18	10/21	13:50-16:40	補綴実習室, 遠隔授業(非同期型)	部分床義歯補綴学実習 7－9	咬合床製作　設計実習2 紙上設計	髙草木 謙介	
19-21	10/28	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学講義 10－12	初診時の診査, 概形印象, 診断, 支持組織の解剖	村上 奈津子	
22-24	10/28	13:50-16:40	補綴実習室, 遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学実習 10－12	AL 設計実習2 グループワーク 咬合床製作	髙草木 謙介	PBL
25-27	11/4	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学講義 13－15	印象, 設計, フレームワーク	笛木 賢治	
28-30	11/4	13:50-16:40	補綴実習室, 遠隔授業(非同期型)	部分床義歯補綴学実習 13－15	咬合採得 設計実習2 設計線記入　設計実習3 紙上設計	髙草木 謙介	
31-33	11/11	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学講義 16－18	咬合採得, 咬合診査, 咬合器装着, 人工歯排列	上野 剛史	
34-36	11/11	13:50-16:40	補綴実習室, 遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学実習 16－18	AL 設計実習3 グループワーク 咬合器装着	笛木 賢治	PBL
37-39	11/18	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学講義 19－21	重合完成, 床用材料, レジン床義歯(補強線), 装着	笛木 賢治	
40-42	11/18	13:50-16:40	補綴実習室, 遠隔授業(非同期型)	部分床義歯補綴学実習 19－21	咬合器装着 設計実習3 設計線記入　設計実習4 紙上設計	笛木 賢治	
43-45	11/25	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学講義 22－24	メインテナンス(リコール, 指導, 口腔の変化, 義歯の修理前半)	稲用 友佳	
46-48	12/2	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学講義 25－27	様々な対応(義歯の修理後半, 即時義歯, 治療用義歯, ノンメタルクラスプ)	若林 則幸	
49-51	12/2	13:50-16:40	補綴実習室, 遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学実習 22－24	AL 設計実習4 グループワーク・設計線記入　フレーム調整 人工歯排列	笛木 賢治	PBL
52-54	12/9	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学講義 28－30	高齢者に対する義歯治療, パーシャルで英語	笛木 賢治	
55-57	12/9	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学講義 31－33	AL 部分床義歯 TBL	稲用 友佳	TBL
58-60	12/16	09:00-11:50	補綴実習室, 遠隔	部分床義歯補綴学実習 25－27	人工歯排列　設計実習5 紙上設計	笛木 賢治	

			授業(非同期型)				
61-63	12/21	09:00-11:50	補綴実習室, 遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学実習 28－30	AL 設計実習5 グループワーク・設計線記入　人工歯排列	山﨑 俊輝	PBL
64-66	1/6	09:00-11:50	補綴実習室, 遠隔授業(非同期型)	部分床義歯補綴学実習 31－33	歯肉形成　設計実習6 紙上設計	山﨑 俊輝	
67-69	1/6	12:50-15:40	補綴実習室, 遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学実習 34－36	AL 設計実習6 グループワーク・設計線記入　歯肉形成	山﨑 俊輝	PBL
70-72	1/13	09:00-11:50	補綴実習室, 遠隔授業(非同期型)	部分床義歯補綴学実習 37－39	ワイヤークラスプ	山﨑 俊輝	
73-75	1/13	12:50-15:40	補綴実習室, 遠隔授業(非同期型)	部分床義歯補綴学実習 40－42	ワイヤークラスプ　前処置実習	山﨑 俊輝	
76-78	1/20	09:00-11:50	補綴実習室, 遠隔授業(非同期型)	部分床義歯補綴学実習 43－45	ワイヤークラスプ	山﨑 俊輝	
79-81	1/20	12:50-15:40	補綴実習室, 遠隔授業(非同期型)	部分床義歯補綴学実習 46－48	ワイヤークラスプ　前処置実習	山﨑 俊輝	
82-84	1/27	09:00-11:50	補綴実習室, 遠隔授業(非同期型)	部分床義歯補綴学実習 49－51	ワイヤークラスプ	山﨑 俊輝	
85-87	1/27	12:50-15:40	補綴実習室, 遠隔授業(非同期型)	部分床義歯補綴学実習 52－54	ワイヤークラスプ　前処置実習	山﨑 俊輝	
88-90	2/3	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	部分床義歯補綴学実習 55－57	予備(自主学習)	笛木 賢治	
91-93	2/3	12:50-15:40	3F 示説室, 補綴実習室	部分床義歯補綴学試験	講義・実習試験	笛木 賢治, 稲用 友佳	

成績評価の方法

筆記試験の成績, グループ学習(TBL)の成績,

実習における製作物の客観評価, インストラクターによる評価, 実習試験により総合的に評価する.

準備学習等についての具体的な指示

すべての講義, 実習では, 学習内容を網羅したテキストと教材ビデオを授業 3 日前までに Web Class 上に配信するので, 事前に必ず閲覧

すること.
とくに講義では，ビデオと重複する内容の説明は行わず，問題演習と授業テーマに関する討議を行う.

試験の受験資格

・ユニットコマ数のうち，4分の3以上出席していなければならない.
・受験資格を得られなった学生はユニット未履修とし，次年度に当該ユニットを再履修しなければならない.

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには，当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては，出席日数，提出レポート内容，及び平常学習態度等が評価に加味される。また，複数学年にまたがるモジュールについては，歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

教科書

スタンダードパーシャルデンチャー補綴学／藍稔，五十嵐順正 編集・執筆,:学建書院，2016
小部分床義歯学／藍稔 著,:学建書院，1994
パーシャルデンチャー活用力 = Partial Denture Decision Making : ライフコースに沿った基本から使いこなしまで／和田淳一郎，高市敦士，若林則幸 著,:医歯薬出版，2016

参考書

，2016
・Stewart's Clinical Removable Partial Prosthodontics 4th Edition (Rodney D. Phoenix)
・McCracken's Removable Partial Prosthodontics (Alan Carr, David Brown)

履修上の注意事項

部分床義歯のユニットの合格判定は，筆記試験，実技試験，TBL の成績，授業中の発言回数を元に判定される.

備考

テーマごとにグループワーク，討論を行う.
授業最終回に TBL を行う.

参照ホームページ

http://www.tmd.ac.jp/pro/education/dental-student/dental-student.html

時間割番号	021154				
科目名	クラウンブリッジ			科目ID	DD-451904-Z
担当教員	駒田 亘[KOMADA WATARU]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:咬合回復

ユニットコマ数:142+2(必要自習時間 50時間)

授業形態:講義、実習

ユニット番号:04

主な講義場所

遠隔授業(Zoom)、歯学部第3講義室(7号館2階)

補綴実習室、補綴示説室(7号館3階)

授業の目的、概要等

クラウンによる修復について理解する。

授業の到達目標

1) クラウンによる修復の特徴を説明できる。
2) クラウンによる修復の種類を列挙できる。
3) 支台歯形成の目的と意義が説明できる。
4) 支台築造の意義を説明できる。
5) 支台築造の術式を説明できる。
6) 支台築造を模型歯で行うことができる。
7) 模型歯で支台歯形成を行うことができる。
8) 全部鋳造冠修復の意義と特徴を説明できる。
9) 全部鋳造冠修復の術式を説明できる。
10)模型歯で全部鋳造冠修復を行うことができる。
11)審美的なクラウン修復を列挙し、その特徴を説明できる。
12)模型歯でレジン前装冠修復を行うことができる。
13)高速切削の意義と方法を説明できる。
14)高速切削器具を用いて模型歯で支台歯形成を行うことができる。
15)固定性義歯の目的と意義を説明できる。
16)固定性義歯の種類と適応症を説明できる。
17)歯の欠損の診査および診断を説明できる。
18)模型歯でブリッジ製作を行うことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	9/15	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	クラウン総論(クラウン修復の種類, 要件, 治療計画) クラウン各論Ⅰ(支台歯形成, 仮封冠)	講義 Zoom ID: 985 6274 9094 PC: 525034	駒田 亘	関連 SBOs 1,2
4-6	9/16	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	クラウン各論Ⅰ(支台歯形成, 仮封冠)	講義 Zoom ID: 932 2250 0064 PC: 480821	駒田 亘	関連 SBOs 3
7-9	9/22	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	クラウン各論Ⅱ(支台築造, 印象採得, 咬合採得)	講義 Zoom ID: 998 1987 5059 PC: 875066	駒田 亘	関連 SBOs 4,5
10-12	9/22	13:50-16:40	補綴実習室, 3F 示説室	全部被覆冠支台歯形成Ⅰ	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤	関連 SBOs 3

						美穂, 瀧田美奈, 武井規子, 戸田聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣	
13–15	9/24	12:50–15:40	補綴実習室, 3F 示説室	メタルコア窩洞形成	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 古木 譲, 武井 秀典, 南 孝, 古木 紀子, 岡田 大蔵, 山崎 有子	関連 SBOs 4,5,6
16–18	10/6	09:00–11:50	補綴実習室, 3F 示説室	メタルコア印象	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣	関連 SBOs 4,5,6
19–21	10/6	12:50–15:40	補綴実習室, 3F 示説室	メタルコア模型作成 メタルコア wax up	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣	関連 SBOs 4,5,6
22–24	10/8	12:50–15:40	補綴実習室, 3F 示説室	メタルコア埋没, 鋳造, 調整	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 古木 譲, 武井 秀典, 南 孝, 古木 紀子, 岡田 大蔵, 山崎 有子	関連 SBOs 4,5,6
25–27	10/13	09:00–11:50	補綴実習室, 3F 示説室	レジン築造(直接法) 全部鋳造冠支台歯形成 Ⅱ	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 鶴田 潤, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴	関連 SBOs 3,4,5,6,7

						臣	
28-30	10/13	12:50-15:40	補綴実習室, 3F 示説室	全部鋳造冠印象採得(含個歯トレー)	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 鶴田 潤, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣	関連 SBOs 8,9,10
31-32	10/20	09:00-10:50	遠隔授業(同期型)	クラウン各論Ⅲ(模型作製, ワックスアップ, 埋没, 鋳造, 調整, 研磨, 仮着, 合着)	講義 Zoom ID: 988 6577 6311 PC: 059154	駒田 亘	関連 SBOs 8,9
33-35	10/20	12:50-15:40	補綴実習室, 3F 示説室	全部鋳造冠印象採得(含個歯トレー)	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 野崎 裕子	関連 SBOs 8,9,10
36-38	10/27	09:00-11:50	補綴実習室, 3F 示説室	模型作製	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 松川 茉莉子	関連 SBOs 8,9,10
39-41	10/29	12:50-15:40	補綴実習室, 3F 示説室	咬合器装着 全部鋳造冠 wax up	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 古木 譲, 武井 秀典, 南 孝, 古木 紀子, 岡田 大蔵, 山崎 有子	関連 SBOs 8,9,10
42-44	11/2	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	クラウン各論Ⅳ(前装冠, ジャケット冠, オールセラミッククラウン, 部分被覆冠)	講義 Zoom ID: 956 6679 6530 PC: 699121	駒田 亘	関連 SBOs 11
45-47	11/10	09:00-11:50	補綴実習室, 3F 示説室	全部鋳造冠 wax up	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤	関連 SBOs 8,9,10

						美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 松川 茉莉子	
48-50	11/10	12:50-15:40	補綴実習室, 3F示説室	全部鋳造冠(埋没, 鋳造, 研磨)	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 松川 茉莉子	関連SBOs 8,9,10
51-53	11/17	09:00-11:50	補綴実習室, 3F示説室	全部鋳造冠(埋没, 鋳造, 研磨) 前装冠 支台歯形成、築造窩洞形成	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣	関連SBOs 8,9,10,11,12
54-56	11/17	12:50-15:40	補綴実習室, 3F示説室	前装冠 支台歯形成、築造窩洞形成 仮封冠	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣	関連SBOs 11,12
57-59	11/24	09:00-11:50	補綴実習室, 3F示説室	仮封冠 前装冠 レジン築造(直接法)	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 森川 理, 宮坂 宗永, 藤田 和久	関連SBOs 11,12
60-62	11/24	12:50-15:40	補綴実習室, 3F示説室	前装冠 レジン築造(直接法) 前装冠 印象採得	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田	関連SBOs 11,12

						美奈, 武井規子, 戸田聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 森川 理, 宮坂 宗永, 藤田 和久	
63-65	11/26	12:50-15:40	補綴実習室, 3F 示説室	前装冠 模型作製	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 古木 譲, 武井秀典, 南 孝, 古木 紀子, 岡田 大蔵, 山崎 有子	関連 SBOs 11,12
66-68	12/1	09:00-11:50	補綴実習室, 3F 示説室	前装冠 模型作製 前装冠 wax up	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井規子, 戸田聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 森川 理, 宮坂 宗永, 藤田 和久	関連 SBOs 11,12
69-71	12/1	12:50-15:40	補綴実習室, 3F 示説室	前装冠 wax up 前装冠 埋没, 鋳造, 研磨	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井規子, 戸田聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 森川 理, 宮坂 宗永, 藤田 和久	関連 SBOs 11,12
72-74	12/8	09:00-11:50	補綴実習室, 3F 示説室	前装冠 埋没, 鋳造, 研磨	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井規子, 戸田聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 岡安 晴生, 山田 理沙	関連 SBOs 11,12
75-77	12/8	12:50-15:40	補綴実習	前装冠 レジン前装	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大	関連 SBOs 11,12

			室, 3F 示説室			竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 岡安 晴生, 山田 理沙	
78-80	12/10	09:00-11:50	補綴実習室, 3F 示説室	前装冠 レジン前装	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 古木 譲, 武井 秀典, 南 孝, 古木 紀子, 岡田 大蔵, 山崎 有子	関連 SBOs 11,12
81-83	12/15	09:00-11:50	補綴実習室, 3F 示説室	前装冠 調整、研磨	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 岡安 晴生, 山田 理沙	関連 SBOs 11,12
84-86	12/15	12:50-15:40	補綴実習室, 3F 示説室	前装冠 調整、研磨	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 岡安 晴生, 山田 理沙	関連 SBOs 11,12
87-89	12/17	12:50-15:40	補綴実習室, 3F 示説室	高速切削	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 古木 譲, 武井 秀典, 南 孝, 古木 紀子, 岡田 大蔵, 山崎 有子	関連 SBOs 13,14

90-92	12/22	09:00-11:50	補綴実習室, 3F示説室	高速切削	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 野崎 裕子, 小椋 麗子, 佐々木 夏子	関連 SBOs 13,14
93-95	12/22	12:50-15:40	補綴実習室, 3F示説室	高速切削	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 野崎 裕子, 小椋 麗子, 佐々木 夏子	関連 SBOs 13,14
96-98	12/24	12:50-15:40	補綴実習室, 3F示説室	高速切削	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 古木 譲, 武井 秀典, 南 孝, 古木 紀子, 岡田 大蔵, 山崎 有子	関連 SBOs 13,14
99-101	1/5	09:00-11:50	補綴実習室, 3F示説室	高速切削	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 野崎 裕子, 小椋 麗子, 佐々木 夏子	関連 SBOs 13,14
102-104	1/12	09:00-11:50	補綴実習室, 3F示説室	高速切削	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井	関連 SBOs 13,14

						規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 野崎 裕子, 小椋 麗子, 佐々木 夏子	
105–107	1/12	12:50–15:40	補綴実習室, 3F 示説室	高速切削	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 野崎 裕子, 小椋 麗子, 佐々木 夏子	関連 SBOs 13,14
108–109	1/19	09:00–10:50	遠隔授業(同期型)	ブリッジ(含 接着ブリッジ)	講義 Zoom ID: 931 0441 3987 PC: 907415	駒田 亘	関連 SBOs 15,16,17
110–112	1/19	12:50–15:40	補綴実習室, 3F 示説室	ブリッジ 作業用模型作製	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 植田 洋二, 石川 陽子	関連 SBOs 18
113–115	1/26	09:00–11:50	補綴実習室, 3F 示説室	ブリッジ 作業用模型作製	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 稲垣 祐久, 石川 陽子	関連 SBOs 18
116–118	1/26	12:50–15:40	補綴実習室, 3F 示説室	ブリッジ 作業用模型作製	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄	関連 SBOs 18

						二, 阿部 晴臣, 稲垣 祐久, 石川 陽子	
119-121	1/28	12:50-15:40	補綴実習室, 3F 示説室	ブリッジ ワックスアップ	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 古木 譲, 武井 秀典, 南 孝, 古木 紀子, 岡田 大蔵, 山崎 有子	関連 SBOs 18
122-124	2/2	09:00-11:50	補綴実習室, 3F 示説室	ブリッジ ワックスアップ	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 川和 篤史, 山本 将弘, 石川 陽子	関連 SBOs 18
125-127	2/2	12:50-15:40	補綴実習室, 3F 示説室	ブリッジ ワックスアップ	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 川和 篤史, 山本 将弘, 石川 陽子	関連 SBOs 18
128-130	2/4	12:50-15:40	補綴実習室, 3F 示説室	ブリッジ ワックスアップ	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 古木 譲, 武井 秀典, 南 孝, 古木 紀子, 岡田 大蔵, 山崎 有子	関連 SBOs 18
131-133	2/9	09:00-11:50	補綴実習室, 3F 示説室	ブリッジ 埋没, 鋳造, 調整, 研磨	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田	関連 SBOs 18

						美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 山本 将弘, 稲垣 祐久	
134-136	2/9	12:50-15:40	補綴実習室, 3F 示説室	ブリッジ 埋没, 鋳造, 調整, 研磨	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 山本 将弘, 稲垣 祐久	関連 SBOs 18
137-139	2/16	09:00-11:50	補綴実習室, 3F 示説室	ブリッジ 埋没, 鋳造, 調整, 研磨	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 山本 将弘, 稲垣 祐久	関連 SBOs 18
140-142	2/16	12:50-15:40	補綴実習室, 3F 示説室	咬合面コア	(AL) 模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 鶴田 潤, 佐藤 美穂, 瀧田 美奈, 武井 規子, 戸田 聡, 福井 雄二, 阿部 晴臣, 山本 将弘, 稲垣 祐久	関連 SBOs 18
143-144	2/18	09:00-10:50	歯学科第3講義室, 補綴実習室	クラウンブリッジ筆記試験・実習試験		駒田 亘, 大竹 志保	

成績評価の方法

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。

・実習が完了した後、実習における製作物の評価を行う。また、筆記、実習試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

講義は指定された参考書、実習書を熟読の上、臨むこと。また実習は、当日までに実習内容に該当するデモビデオを閲覧、理解をしておくとともに、実習内容に対応する講義も十分復習して臨むこと。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

10 クラウン修復

11 支台築造

12 全部鋳造冠修復

13 前装冠修復

14 高速切削

教科書

:医歯薬出版

参考書

クラウンブリッジ補綴学 第4版:医歯薬出版, 2009

クラウンブリッジテクニック:医歯薬出版, 2008

Contemporary Fixed Prosthodontics 4th Edition:Mosby, 2006

履修上の注意事項

講義は、指定された参考書、実習書を熟読の上で臨むこと。 実習は、当日までに実習内容に該当するデモビデオを閲覧、理解をしておくとともに、実習内容に対応する講義も十分復習して臨むこと。

備考

本ユニットでは、一部アクティブラーニング(AL)(実習)を採用している。

連絡先(メールアドレス)

駒田 亘:w.komada.fpro@tmd.ac.jp

オフィスアワー

駒田 亘:随時

時間割番号	021155				
科目名	インプラント補綴			科目ID	DD-451905-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:咬合回復(モジュール番号21)
コマ数:24(必要自習時間 4 時間)
授業形態:講義、実習
ユニット番号:05

主な講義場所

7 号館第 3 講義室
7 号館補綴実習室
遠隔授業(同期型): Zoom 授業

授業の目的、概要等

インプラント義歯を用いた咬合回復治療に必要な基礎的知識を修得する。

授業の到達目標

1) インプラント治療の利点と欠点を説明できる。
2) インプラント治療に必要な診査および診断を説明できる。
3) インプラント治療の外科術式を説明できる。
4) インプラント治療の補綴術式を説明できる。
5) インプラン治療におけるメインテナンスを説明できる。
6) インプラント治療における問題点を説明できる。

成績評価の方法

・小テストの合計により総括的に評価する。
・実習態度・積極性を総括的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

歯を失った場合日々の生活においてどのような点で困るか、歯を失った患者さんに対して、どのような歯科治療が可能であるかについて調べる。
自宅から大学までの通学路(交通機関を使用する区間は含まない)に何件歯科医院が存在し、その歯科医院の中でインプラント治療をおこなうことを標榜している歯科医院が何件あるかについて調べる。
一般国民がもつインプラント治療のイメージおよび内容を調べる。

試験の受験資格

・全ユニットコマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

モジュールの単位判定

毎回 Zoom 講義終了後におこなう筆記試験(小テスト)および実習態度・積極性を総合的に評価する。

教科書

よくわかる口腔インプラント学　赤川安正・松浦正朗・矢谷博文・渡邉文彦　編
医歯薬出版

参考書

・Clinical Periodontology and Implant Dentistry. Lindhe Jan /Wiley-Blackwell
・Dental Implant Prosthetics. Misch Carl E. /Publisher:Elsevier MOSBY

備考

実習ではグループワークを行い、課題発表とそれに対して討論を行う(active learning: PBL, TBL)。

時間割番号	021156				
科目名	咬合回復統合			科目ID	DD-451906-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

ユニット名:咬合回復統合

コマ数:24+0(必要自習時間 3 時間)

授業形態:講義・実習

主な講義場所

歯学部第3講義室(7号館2階)

補綴実習室、補綴示説室(7号館3階)

授業の目的、概要等

咬合回復治療に関連する知識を統合的に修得する。

授業の到達目標

1) 補綴装置に付与する咬合様式について説明できる。
2) 回復した咬合を維持するために必要な知識を身につける。
3) 各種咬合器の特徴が説明できる。
4) フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明することができる。
5) 調節性咬合器の基本操作ができる。
6) 咬合回復に必要な器具および材料について説明できる。
7) 補綴後の咀嚼回復状態のための必要な知識を身につける。
8) 特殊義歯の特徴が説明できる。
9) 咬合回復後のメインテナンスの方法が説明できる。
10)新しい歯冠補綴装置の製作法を理解するための必要な知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	12/13	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	天然歯列の咬合、歯冠補綴物に付与する咬合		岡田 大蔵	
2	12/13	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	総義歯に付与する咬合		水口 俊介	
3	12/13	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	部分床義歯に付与する咬合		和田 淳一郎	
4	1/4	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	咬合回復に関連する歯科材料		駒田 亘	
5	1/4	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	咬合回復に関連する歯科材料		山下 仁大	
6	1/4	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	咬合回復に関連する歯科材料		宇尾 基弘	
7-9	1/17	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	特殊な義歯(即時義歯, 治療用義歯, 顎義歯)		隅田 由香	
10	1/24	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	各種咬合器の特徴と臨床応用		野﨑 浩佑	
11-12	1/24	10:00-11:50	遠隔授業(同期型)	Digital Dentistry		末瀬 一彦	
13-15	1/28	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	調節性咬合器の調整、フェースボウトランスフ	AL	野﨑 浩佑, 進 千春, 山	関連 SBOs 4,5

				ァーとチェックバイト法		崎 有子, 田中 義浩, 武井 秀典, 吉田 隆義, 古木 譲, 岡田 大蔵	
16	1/31	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	咬合回復治療後のメインテナンス 1		岩田 隆紀	
17	1/31	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	咬合回復治療後のメインテナンス 2		野﨑 浩佑	
18	1/31	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	顎機能異常		駒田 亘	
19-21	2/10	12:50-15:40	3F 示説室, 補綴実習室	調節性咬合器の調整、フェースボウトランスファーとチェックバイト法	AL	野﨑 浩佑, 進 千春, 山崎 有子, 田中 義浩, 武井 秀典, 吉田 隆義, 古木 譲, 岡田 大蔵	
22	2/14	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	補綴後の咀嚼様相		加藤 均	
23-24	2/17	10:00-11:50	3F 示説室, 補綴実習室	調節性咬合器の調整、フェースボウトランスファーとチェックバイト法	AL	野﨑 浩佑, 進 千春, 山崎 有子, 田中 義浩, 武井 秀典, 吉田 隆義, 古木 譲, 岡田 大蔵	

成績評価の方法

・レポート内容により総括的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に配布される資料などを熟読の上、臨むこと。また調節性咬合器実習は、当日までに各種咬合器の特徴と臨床応用の講義を復習しておくとともに、事前に配布される実習書を熟読して臨むこと。

試験の受験資格

・講義はユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。また、実習は全ユニット実習コマ数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

ユニット名：咬合回復統合

モジュールの単位判定

・レポート内容により総括的に評価する。

備考

本ユニットにおいては一部アクティブラーニング（実習）を行う。

時間割番号	021157				
科目名	臨床体験実習			科目ID	DD-452200-E
担当教員	木下 淳博, 秀島 雅之, 大槻 昌幸, 飯野 由子, 稲川 英明, 稲用 友佳, 井上 剛, 大坪 岳史, 釘本 琢磨, 佐藤 美穂, 鈴木 千裕, 須永 昌代, 竹内 康雄, 則武 加奈子, 濵 洋平, 日比 志郎, 平澤 正洋, 三好 智絵, 村上 奈津子, 山﨑 俊輝, 吉岡 隆知, 儀武 啓幸, 和田 淳一郎, 和達 重郎[KINOSHITA ATSUHIRO, HIDESHIMA MASAYUKI, OTSUKI MASAYUKI, IINO Yoshiko, INAGAWA Hideaki, INAMOCHI Yuka, INOUE GO, OHTSUBO Takashi, KUGIMOTO Takuma, SATO MIHO, SUZUKI Chihiro, SUNAGA MASAYO, TAKEUCHI YASUO, NORITAKE KANAKO, HAMA YOHEI, HIBI Shiroh, HIRASAWA Masahiro, Tomoe Miyoshi, MURAKAMI NATSUKO, YAMAZAKI Toshiki, Yoshioka Takatomo, YOSHITAKE HIROYUKI, WADA JUNICHIRO, WADACHI Juurou]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:51(0)

授業形態:実習

モジュール番号:22

授業の目的、概要等

医療現場を体験することにより、将来の歯科医師としての自覚を高め、歯科臨床に必要な基本的態度と知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	9/3	09:00-11:50	シミュレーション実習室, 歯学科第4講義室, 5F示説室, 保存矯正実習室	オリエンテーション(全体) D6体験実習(グループ2) シミュレーション実習(グループ1)	濵 洋平, 釘本 琢磨, 飯野 由子, 秀島 雅之, 和達 重郎, 村上 奈津子, 鈴木 千裕, 須永 昌代, 木下 淳博
4-6	9/10	09:00-11:50	シミュレーション実習室, 歯学科第4講義室, 5F示説室, 保存矯正実習室	D6体験実習(グループ1) シミュレーション実習(グループ2)	竹内 康雄, 則武 加奈子, 佐藤 美穂, 大槻 昌幸, 井上 剛, 儀武 啓幸, 須永 昌代, 木下 淳博
7-9	9/17	09:00-11:50	シミュレーション実習室, 歯学科第4講義室, 5F示説室, 保存矯正実習室	D6体験実習(グループ2) シミュレーション実習(グループ1)	濵 洋平, 釘本 琢磨, 飯野 由子, 秀島 雅之, 和達 重郎, 稲川 英明, 鈴木 千裕, 須永 昌代, 木下 淳博
10-12	9/24	09:00-11:50	シミュレーション実習室, 歯学科第4講義室, 5F示説室, 保存矯正実習室	D6体験実習(グループ1) シミュレーション実習(グループ2)	竹内 康雄, 則武 加奈子, 佐藤 美穂, 大槻 昌幸, 井上 剛, 儀武 啓幸, 須永 昌代, 三好 智絵, 木下 淳博
13-15	10/8	09:00-11:50	シミュレーション実習室, 歯学科第4講義室, 5F示説室, 保存矯正実習室	D6体験実習(グループ2) シミュレーション実習(グループ1)	竹内 康雄, 釘本 琢磨, 飯野 由子, 秀島 雅之, 和達 重郎, 平澤 正洋, 鈴木 千裕, 須永 昌代, 吉岡 隆知, 木下 淳博
16-18	10/22	09:00-11:50	シミュレーション実習室, 歯学科第4講義室, 5F示説室, 保存矯正実習室	D6体験実習(グループ1) シミュレーション実習(グループ2)	濵 洋平, 則武 加奈子, 佐藤 美穂, 大槻 昌幸, 井上 剛, 儀武 啓幸, 須永 昌代, 三好 智絵, 木下 淳博
19-21	10/29	09:00-11:50	シミュレーション実習室, 歯学科第4講義室, 5F示説室, 保存矯正実習室	D6体験実習(グループ2) シミュレーション実習(グループ1)	竹内 康雄, 釘本 琢磨, 飯野 由子, 秀島 雅之, 和達 重郎, 日比 志郎, 鈴木 千裕, 須永 昌代, 吉岡 隆知, 木下 淳博
22-24	11/5	09:00-11:50	シミュレーション実習室, 歯学科第4講義室, 5F示説	シミュレーション実習(グループ1, 2)	大槻 昌幸, 井上 剛, 儀武 啓幸, 須永 昌代, 木下 淳博

			室, 保存矯正実習室		
25-27	11/12	09:00-11:50	シミュレーション実習室, 歯学科第4講義室, 5F 示説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1)　シミュレーション実習(グループ2)	濵 洋平, 則武 加奈子, 佐藤 美穂, 秀島 雅之, 和達 重郎, 和田 淳一郎, 須永 昌代, 三好 智絵, 木下 淳博
28-30	11/19	09:00-11:50	シミュレーション実習室, 歯学科第4講義室, 5F 示説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2)　シミュレーション実習(グループ1)	竹内 康雄, 釘本 琢磨, 飯野 由子, 大槻 昌幸, 井上 剛, 須永 昌代, 吉岡 隆知, 木下 淳博
31-33	11/26	09:00-11:50	シミュレーション実習室, 歯学科第4講義室, 5F 示説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1)　シミュレーション実習(グループ2)	濵 洋平, 則武 加奈子, 佐藤 美穂, 秀島 雅之, 和達 重郎, 大坪 岳史, 儀武 啓幸, 須永 昌代, 三好 智絵, 木下 淳博
34-36	12/3	09:00-11:50	シミュレーション実習室, 歯学科第4講義室, 5F 示説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2)　シミュレーション実習(グループ1)	竹内 康雄, 釘本 琢磨, 飯野 由子, 大槻 昌幸, 井上 剛, 鈴木 千裕, 須永 昌代, 吉岡 隆知, 木下 淳博
37-39	12/17	09:00-11:50	シミュレーション実習室, 歯学科第4講義室, 5F 示説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1)　シミュレーション実習(グループ2)　ケース票提出(中間評価)	濵 洋平, 則武 加奈子, 佐藤 美穂, 秀島 雅之, 和達 重郎, 山﨑 俊輝, 儀武 啓幸, 須永 昌代, 三好 智絵, 木下 淳博
40-42	1/7	09:00-11:50	シミュレーション実習室, 歯学科第4講義室, 5F 示説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2)　シミュレーション実習(グループ1)	竹内 康雄, 釘本 琢磨, 飯野 由子, 大槻 昌幸, 井上 剛, 秀島 雅之, 和達 重郎, 稲用 友佳, 鈴木 千裕, 須永 昌代, 吉岡 隆知, 木下 淳博
43-45	1/14	09:00-11:50	シミュレーション実習室, 歯学科第4講義室, 5F 示説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1)　シミュレーション実習(グループ2)	濵 洋平, 則武 加奈子, 佐藤 美穂, 儀武 啓幸, 須永 昌代, 木下 淳博
46-48	1/21	09:00-11:50	シミュレーション実習室, 歯学科第4講義室, 5F 示説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2)　シミュレーション実習(グループ1)	竹内 康雄, 釘本 琢磨, 飯野 由子, 鈴木 千裕, 須永 昌代, 木下 淳博
49-50	2/4	09:00-10:50	シミュレーション実習室, 歯学科第4講義室, 5F 示説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1)　シミュレーション実習(グループ2)	濵 洋平, 則武 加奈子, 佐藤 美穂, 儀武 啓幸, 須永 昌代, 木下 淳博
51	2/4	11:00-11:50	保存矯正実習室	シミュレーション実習(グループ1, 2)ケース票提出、授業評価	秀島 雅之, 須永 昌代, 木下 淳博

成績評価の方法

D6体験実習、コンピュータシミュレーション実習の各ユニットの素点を1:1で按分して成績を付与する

成績評価の基準

両ユニットの到達目標をすべて達成した場合はA評価(80点)以上とする。

準備学習等についての具体的な指示

eラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClassへのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。

試験の受験資格

モジュール全体として、4分の3以上出席していること。

構成ユニット

01 D6体験実習

02 コンピュータシミュレーション実習

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

連絡先(メールアドレス)

木下　淳博:emdv@ml.tmd.ac.jp
大槻　昌幸:otsuki.ope@tmd.ac.jp
秀島　雅之:m.hideshima.rpro@tmd.ac.jp
儀武　啓幸:h-yoshitake.mfs@tmd.ac.jp
井上　剛:inoue.ope@tmd.ac.jp
須永　昌代:sunaga.emdv@tmd.ac.jp
竹内　康雄:takeuchi.peri@tmd.ac.jp
則武　加奈子:noritake.irm@tmd.ac.jp
和田　淳一郎:wadajun.rpro@tmd.ac.jp
村上　奈津子:n.murakami.rpro@tmd.ac.jp
濵　洋平:y.hama.gerd@tmd.ac.jp

オフィスアワー

木下　淳博:金　16:00－17:00　3 号館 5 階　教育メディア開発学分野
大槻　昌幸:月・火・水・木・金　17:00 以降
歯科棟 10 階 う蝕制御 S1006-B
秀島　雅之:水　17:00－18:00
儀武　啓幸:月・水　16:30－17:30
井上　剛:毎週月～水・金　AM 9:00-PM 17:00　歯科棟北 10 階う蝕制御学分野講師室
須永　昌代:随時
竹内　康雄:PM.5:00-PM.6:30　10 号館 7 階第 3 研究室
則武　加奈子:歯科臨床研修センター
時間帯:不定期。事前にメールにてお問い合わせください。

和田　淳一郎:毎週月・木・金曜日　AM.8:30-AM.9:00, 毎週月・水曜日　PM.5:00-PM.5:30　　歯科棟北 11 階第4研究室
村上　奈津子:毎週月～水曜日　AM.8:30-AM.9:00, PM.5:00-PM.5:30 (メールにて面談の日程を調整すること)歯科棟北 11 階第 7 研究室
濵　洋平:月、火、木、金　18 時以降
一号館東2F　全部床義歯補綴学分野 第6研究室
(メールで連絡ください)

時間割番号	021158			
科目名	D6体験実習		**科目ID**	DD-452201-E
担当教員	木下 淳博, 飯野 由子, 釘本 琢磨, 佐藤 美穂, 須永 昌代, 竹内 康雄, 則武 加奈子, 濵 洋平, 三好 智絵, 吉岡 隆知[KINOSHITA ATSUHIRO, Yoshiko Iino, KUGIMOTO Takuma, SATO MIHO, SUNAGA MASAYO, TAKEUCHI YASUO, NORITAKE KANAKO, HAMA YOHEI, Tomoe Miyoshi, Yoshioka Takatomo]			
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:臨床体験実習

コマ数:24+0

授業形態:実習

ユニット番号:01

授業の目的、概要等

包括臨床実習現場を体験することにより、将来の歯科医師としての自覚を高め、歯科臨床に必要な基本的態度と知識を身につける。

歯科における治療計画立案の重要性を理解し、症例分析能力・治療計画立案能力を修得する。

包括臨床実習現場において、実際の患者さんに医療面接を行い、将来の歯科医師としての自覚を高め、医療面接に必要な基本的態度と知識を身につける。

授業の到達目標

1) 感染予防の概念を理解し、適切に実践できる。

2) 歯科臨床に必要な基本的態度(守秘義務、言動、服装等)を実践できる。

3) 診療室への患者の誘導を適切にできる。

4) 歯科診療の診査・検査結果を記録できる。

5) 歯科治療のアシストができる。

6) 歯科治療の準備ができる。

7) 口腔内状態の記録ができる。

8) 一口腔内で保存治療および 補綴治療を行った(行う必要のある)ひとりの患者について, 過去の治療経過および今後の治療方針を理解し, その内容をプレゼンテーションできる.

9) 他の学生による上記プレゼンテーションの内容を理解し、討論ができる。

10) 患者に挨拶して自己紹介できる。

11) 診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。

12) 患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。

13) 初診時の主訴、初診時の現症、初診時までの病歴(初診時の現病歴)、既往歴、 現在の状態に関する医療面接が実施でき、適切に記録できる。

14) 主訴をよく聞き取るとともに、患者の病気に対する考えや治療に対する希望を把握できる。

15) 患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。

16) 的確な病歴聴取(現病歴、既往歴、家族歴、薬歴等)を行い、必要な部分を抽出できる。

成績評価の方法

・適宜実習記録、ケース履修票等を確認し、形成的評価を行う。

・各回の討論において, 形成的評価を行う。

・実習記録、ケース票による総括的評価を行う。

成績評価の基準

到達目標をすべて達成した場合はA評価(80点)以上とする。

準備学習等についての具体的な指示

eラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClassへのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。

試験の受験資格

・モジュール全体として、4分の3以上出席していること。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

医療面接法 : よりよい医師-患者関係のために／C.Knight Aldrich [著],田口博國 訳.:医学書院, 2000

備考

・第4学年学生を、グループ1、2に分け、基本的に隔週で交代しながら、本ユニットとコンピュータシミュレーション実習ユニットを交互に履修する。

・本ユニット内では、各グループを10名程度の3班に分け、各班学生を臨床系分野教員 1 名が担当する。

連絡先（メールアドレス）

木下　淳博:emdv@ml.tmd.ac.jp

須永　昌代:sunaga.emdv@tmd.ac.jp

竹内　康雄:takeuchi.peri@tmd.ac.jp

則武　加奈子:noritake.irm@tmd.ac.jp

濵　洋平:y.hama.gerd@tmd.ac.jp

オフィスアワー

木下　淳博:金　16:00－17:00　3 号館 5 階　教育メディア開発学分野

須永　昌代:随時

竹内　康雄:PM.5:00-PM.6:30　10 号館 7 階第 3 研究室

則武　加奈子:歯科臨床研修センター

時間帯:不定期。事前にメールにてお問い合わせください。

濵　洋平:月、火、木、金　18 時以降

一号館東2F　全部床義歯補綴学分野 第6研究室

（メールで連絡ください）

時間割番号	021159			
科目名	コンピュータシミュレーション実習		科目ID	DD-452202-E
担当教員	秀島 雅之, 木下 淳博, 大槻 昌幸, 稲川 英明, 稲用 友佳, 井上 剛, 大坪 岳史, 鈴木 千裕, 須永 昌代, 日比 志郎, 平澤 正洋, 村上 奈津子, 山﨑 俊輝, 儀武 啓幸, 和田 淳一郎, 和達 重郎[HIDESHIMA MASAYUKI, KINOSHITA ATSUHIRO, OTSUKI MASAYUKI, INAGAWA Hideaki, INAMOCHI Yuka, INOUE GO, OHTSUBO Takashi, SUZUKI Chihiro, SUNAGA MASAYO, HIBI Shiroh, HIRASAWA Masahiro, MURAKAMI NATSUKO, YAMAZAKI Toshiki, YOSHITAKE HIROYUKI, WADA JUNICHIRO, WADACHI Juurou]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:臨床体験実習

コマ数:27＋0

授業形態:実習

ユニット番号:02

授業の目的、概要等

コンピュータを用いて歯科臨床のシミュレーションを行うことにより、歯科臨床の知識, 技能を自己学習する能力を身につける。

授業の到達目標

1) シミュレーション実習室の学生用システムを適切に操作できる。

2) マネキンを患者さんとして扱い、歯科の処置を繰り返し練習して、手本を模倣することができる。(支台歯形成、レジン充填、スケーリング、ルートプレーニング、歯肉切除、歯肉整形、髄腔開拡、根管形成等)

3) コンピュータ画面上で、医療面接、診査、検査、処置、準備、診断、治療方針立案等を繰り返し行い、歯科における典型的な症例、および稀にしか遭遇できない症例をひと通り体験する。

4) マネキンまたは学生相互で概形印象採得ができる。

成績評価の方法

・適宜実習記録、ケース履修票等を確認し、形成的評価を行う。

・実習記録、ケース票による総括的評価を行う。

成績評価の基準

到達目標をすべて達成した場合はA評価(80点)以上とする。

準備学習等についての具体的な指示

eラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClassへのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。

試験の受験資格

・モジュール全体として、4分の3以上出席していること。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

備考

・第4学年学生を、グループ1, 2に分け、基本的に隔週で交代しながら、本ユニットとD6体験実習ユニットを交互に履修する。

・本ユニット内では、各グループを約 15 名の2班に分け、シミュレーション実習室(ハードシム実習)と保存矯正実習室(ソフトシム実習)に交替で分かれて実習を行う。

・包括臨床実習の日程により、グループ1、グループ2の合同実習とする日がある。

連絡先(メールアドレス)

秀島 雅之:m.hideshima.rpro@tmd.ac.jp

大槻　昌幸:otsuki.ope@tmd.ac.jp
木下　淳博:emdv@ml.tmd.ac.jp
儀武　啓幸:h-yoshitake.mfs@tmd.ac.jp
井上　剛:inoue.ope@tmd.ac.jp
須永　昌代:sunaga.emdv@tmd.ac.jp
和田　淳一郎:wadajun.rpro@tmd.ac.jp
村上　奈津子:n.murakami.rpro@tmd.ac.jp

オフィスアワー

秀島　雅之:水　17:00－18:00
大槻　昌幸:月・火・水・木・金　17:00 以降
歯科棟 10 階 う蝕制御 S1006-B
木下　淳博:金　16:00－17:00　3 号館 5 階　教育メディア開発学分野
儀武　啓幸:月・水　16:30－17:30
井上　剛:毎週月～水・金　AM 9:00-PM 17:00　歯科棟北 10 階う蝕制御学分野講師室
須永　昌代:随時
和田　淳一郎:毎週月・木・金曜日　AM.8:30-AM.9:00, 毎週月・水曜日　PM.5:00-PM.5:30　　歯科棟北 11 階第4研究室
村上　奈津子:毎週月～水曜日　AM.8:30-AM.9:00, PM.5:00-PM.5:30 (メールにて面談の日程を調整すること)歯科棟北 11 階第 7 研究室

時間割番号	021160				
科目名	歯周病			**科目ID**	DD-452300-Z
担当教員	岩田 隆紀, 青木 章, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 水谷 幸嗣, 片桐 さやか, 池田 裕一, 芝 多佳彦[IWATA Takanori, AOKI AKIRA, KATAGIRI SAYAKA, TAKEUCHI YASUO, MIZUTANI KOJI, KATAGIRI SAYAKA, IKEDA Yuuichi, SHIBA Takahiko]				
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	4	**単位数**	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:歯周病
授業形態:講義、実習、演習
モジュール番号:23
モジュール総コマ数:77

主な講義場所

講義:オンライン(Zoom, Webclass)
実習:5階保存矯正実習室

授業の目的、概要等

歯周病の病因・病態を理解し、その予防、診断および治療のための知識と基本的技能を習得する。

授業の到達目標

1)歯周病の病因・病態について説明できる。
2)歯周病の予防について説明できる。
3)歯周病の診断について説明できる。
4)歯周治療の意義について説明できる。
5)歯周治療の流れについて説明できる。
6)歯周治療に必要な器具操作ができる。

成績評価の方法

適宜、形成的評価(小テストや提出物)および試験を行う。

準備学習等についての具体的な指示

講義では小テストを行う予定なので、予習をしたうえでの受講が望ましい。

試験の受験資格

・講義は全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
・実習は全実習時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

構成ユニット

01 歯周病基礎編
02 歯周病臨床編
03 歯周病・歯周治療実習
04 歯周病のトピックス

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、小テスト、定期試験、提出物、及び平常学習態度等が評価に加味される。

教科書

ザ・ペリオドントロジー/沼部幸博、梅田誠、齋藤淳、山本松男:永末書店, 2019
臨床歯周病学第3版/村上伸也, 申 基喆, 齋藤 淳, 山田 聡編:医歯薬出版, 2020
Lindhe 臨床歯周病学とインプラント/Jan Lindhe, Thorkild Karring, Niklaus P.Lang 編著,岡本浩 監訳:クインテッセンス出版, 2005
Carranza's クリニカルペリオドントロジー/M. G. Newman, H. H. Takei, F. A. Carranza 編著,申基哲, 河津寛, 嶋田淳, 安井利一, 上村恭弘 監訳:クインテッセンス出版, 2005

参考書

カラーアトラス歯周病学／Herbert F. Wolf, Edith M. Rateitschak, Klaus H. Rateitschak 著 ; 日本臨床歯周病学会 翻訳・監修：永末書店, 2008

Clinical Periodontology and Implant Dentistry, 2 Volume Set, 6th Edition／Niklaus P. Lang, Jan Lindhe：Wiley-Blackwell, 2015

Newman and Carranza's Clinical Periodontology,13th Edition／Michael G. Newman, Henry Takei, Perry R. Klokkevold, Fermin A. Carranza：Saunders, 2019

Periodontology／Herbert F. Wolf, Edith M Klaus H. Rateitschak：Thieme, 2004

インプラント周囲炎／ステファン・レンバート, ジャン・ルイ・ジョバンノーリ 著；山本松男, 弘岡秀明, 和泉雄一 監訳：クインテッセンス出版, 2013

Peri-Implantitis／Stefan Renvert, Jean-Louis Giovannoli：Quintessence, 2012

備考

責任教員：

MC 岩田隆紀 主任教授 iwata.peri@tmd.ac.jp

副 MC 青木 章 担当教授 aoperi@tmd.ac.jp

オフィスアワー：月～木 17:00-18:00 10 号館 7 階歯周病学分野

時間割番号	021161				
科目名	歯周病基礎編			**科目ID**	DD-452301-L
担当教員	岩田　隆紀, 片桐　さやか[IWATA Takanori, KATAGIRI SAYAKA]				
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:歯周病

コマ数:8＋1(必要自習時間4時間)

授業形態:講義

ユニット番号:01

主な講義場所

7号館 歯学科第 3 講義室

授業の目的、概要等

生涯にわたって健全な歯列と咬合を維持することの重要性を理解し、歯周組織の常態および歯周病の成因を理解する。

授業の到達目標

1)歯周病・歯周治療について説明できる。

2)歯周組織の機能および構造について説明できる。

3)歯周病の病態・症状・分類について説明できる。

4)歯周病の病因(細菌, 宿主(免疫, 炎症)、環境)について説明できる。

5)歯周組織の再生について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	11/1	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	歯周病・歯周治療とは	歯周病の種類とその症状、歯周病の原因因子・リスクファクター、歯周治療の流れを概説する。	岩田　隆紀	
2	11/1	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	歯周病の病因:プラークとバイオフィルム	歯周病の初発因子であるプラークとその病原性について学ぶ。	荒川　真一	
3	11/5	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	歯周病の病因:プラークとバイオフィルム	歯周病の初発因子であるプラークとその病原性について学ぶ。	荒川　真一	
4-5	11/5	14:50-16:40	遠隔授業(同期型)	歯周病の病因:宿主(炎症・免疫応答)、環境	AL 歯周病の発症に関わりの深い細菌感染に対する生体防御と免疫応答について学ぶ。	小林　宏明	グループワークを行う
6	11/16	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	歯周組織の病理変化	正常歯周組織の構造と、炎症に伴う歯周組織の病理変化を学ぶ。	Walter H. Meinzer Ⅱ	英語での講義
7	11/16	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	歯周病の病態・症状・分類	歯肉炎と歯周炎の病態と症状の違いについて理解し、歯周病の分類の変遷について学ぶ。	片桐　さやか	
8	11/16	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	歯周組織再生:ティッシュエンジニアリング	最近の歯周研究の進歩、特に歯周組織の再生について解説する。	岩田　隆紀	
9	12/6	10:00-10:50	歯学科第 3 講義室	筆記試験	講義内容について総括的評価を行う。	片桐　さやか	

成績評価の方法

・小テストにより形成的評価を行う。

・ユニットの最終講義時間に筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

基礎科目(組織学、病理学、生理学、細菌学等)を復習し、①正常歯周組織の構造と機能、②炎症の機序、③炎症に伴う歯周組織の病理

的変化、④細菌の分類とその病原因子、⑤免疫担当細胞とその機能、⑥骨の代謝、について理解しておくこと。

試験の受験資格

・本ユニット授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・出席はカードリーダーと各授業時間毎の小テストで確認を行う。カードリーダーへの読み込みは毎時間行うこと。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

歯周病

モジュールの単位判定

・適宜、形成的評価(小テスト)を行う。

・授業の最後に総括的評価(筆記試験)を行う。

教科書

ザ・ペリオドントロジー = The Periodontology／沼部幸博, 梅田誠, 齋藤淳, 山本松男 編集主幹. 小方賴昌, 五味一博, 澁谷俊昭, 高柴正悟, 高橋慶壮, 中島啓介, 西村英紀, 古市保志, 三谷章雄, 三辺正人, 山田聡 編集委員.:永末書店, 2014

臨床歯周病学 第3版／村上伸也, 申基喆,齋藤 淳, 山田 聡 編.:医歯薬出版, 2020

Carranza's クリニカルペリオドントロジー／M.G.Newman, H.H.Takei, F.A.Carranza 編著. 申基哲, 河津寛, 嶋田淳, 安井利一, 上村恭弘 監訳.:クインテッセンス出版, 2005

Lindhe 臨床歯周病学とインプラント／Jan Lindhe, Thorkild Karring, Niklaus P.Lang 編著. 岡本浩 監訳.:クインテッセンス出版, 2005

参考書

非外科的歯周治療 : 歯科衛生士の力でここまでできる／Marisa Roncati 著. 和泉雄一, 浦野智 監訳.:クインテッセンス出版, 2018

非外科治療による歯周病コントロール : 歯科医師・歯科衛生士のための Clinical Handbook／Paul A.Levi,Jr., Robert J.Rudy, Y.Natalie Jeong, Daniel K.Coleman 著. 和泉雄一, 木下淳博, 長澤敏行, 青木章 監訳.:医歯薬出版, 2018

ペリオのための重要 16 キーワードベスト 320 論文 : 世界のインパクトファクターを決めるトムソン・ロイター社が選出／和泉雄一, 伊藤公一, 佐藤秀一 監修. 岩野義弘, 武田朋子, 松浦孝典, 水谷幸嗣 著.:クインテッセンス出版, 2015

歯科衛生士のためのペリオ・インプラント重要 12 キーワードベスト 240 論文 : Q&A で深める歯科衛生士臨床 : 世界のインパクトファクターを決めるトムソン・ロイター社が選出／和泉雄一, 佐藤秀一 監修. 岩野義弘, 髙山忠裕, 武田朋子, 松浦孝典, 水谷幸嗣, 村上惠子著.:クインテッセンス出版, 2017

Newman and Carranza's Clinical Periodontology, 13th Edition／Michael G. Newman, Henry Takei, Perry R. Klokkevold, Fermin A. Carranza.: Saunders, 2019

Clinical Periodontology and Implant Tentistry, 6th Edition／Jan Lindhe, Niklaus P. Lang, Thorkild Karring.:Wiley-Blackwell, 2015

Color Atlas of Dental Medicine: Periodontology／Herbert F.Wolf, Edith M Klaus H.Rateitschak.:Thieme, 2004

ラタイチャークカラーアトラス歯周病学 第 3 版／Herbert F.Wolf, Edith M Klaus H.Rateitschak 著:永末書店, 2008

Peri-Implantitis／Stefan Renvert, Jean-Louis Giovannoli:Quintessence publishing, 2012

インプラント周囲炎／Stefan Renvert, Jean-Louis Giovannoli 著. 山本松男, 弘岡秀明, 和泉雄一 監訳.:クインテッセンス出版, 2013

備考

責任教員:
片桐 さやか 講師
オフィスアワー9:00-17:00
連絡先:kataigri.peri@tmd.ac.jp

時間割番号	021162			
科目名	歯周病臨床編		**科目ID**	DD-452302-L
担当教員	岩田 隆紀, 青木 章, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 水谷 幸嗣, 池田 裕一, 芝 多佳彦[IWATA Takanori, AOKI AKIRA, KATAGIRI SAYAKA, TAKEUCHI YASUO, MIZUTANI KOJI, IKEDA Yuuichi, SHIBA Takahiko]			
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:歯周病、ユニットコマ数:21(講義20+試験1)、必要自習時間 、授業形態:遠隔、ユニット番号:2

主な講義場所

遠隔授業:在宅学習 (Zoom, Webclass)

授業の目的、概要等

歯周病の検査・診断、その予防、ならびに歯周治療に必要な基本的な知識を理解する。

授業の到達目標

1) 歯周病の検査・診断を説明できる。
2) 歯周病の治療計画を説明できる。
3) 歯周基本治療を説明できる。
4) プラークコントロールの意義を説明できる。
5) スケーリング・ルートプレーニングの意義を説明できる。
6) 咬合性外傷について説明できる。
7) 歯周外科手術の種類と適応症、ならびに再生治療を説明できる。
8) 根分岐部病変・歯内-歯周病変の治療を説明できる。
9) 歯周治療における薬物療法を説明できる。
10) 歯周治療のメインテナンスを説明できる。
11) 歯周病と全身疾患との関係について説明できる。
12) 歯周治療における矯正治療の意義を説明できる。
13) 歯周治療におけるインプラント治療の意義を説明できる。
14) 症例を通じた包括的な歯周治療の意義を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	11/22	12:50-14:40	遠隔授業(同期型)	歯周病の検査・診断・治療計画	歯周疾患の症状、診断、治療方針の立案、歯周治療の進め方	青木 章	Zoom(後日発表)
3	11/22	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	歯周基本治療1	歯周基本治療について、プラークコントロール、習癖	池田 裕一	Zoom(後日発表)
4	11/30	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	歯周基本治療2	咬合性外傷の原因と臨床症状、診査、咬合調整、ブラキシズムに対する対応	竹内 康雄	Zoom(後日発表) Webclass((後日発表)小テスト)
5-6	11/30	10:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	歯周基本治療3	スケーリング・ルートプレーニング、スケーラーの種類、シャープニング	水谷 幸嗣	Webclass((後日発表)講義動画、小テスト)
7	12/6	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	歯周治療における薬物療法	薬物療法の目的と効果、局所薬物伝達療法	芝 多佳彦	Zoom(後日発表)
8	12/6	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	ペリオドンタルメディシン	歯周病と全身疾患の関わり	片桐 さやか	Zoom(後日発表)
9-11	12/7	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	歯周外科手術・歯周組織再生療法	歯周外科の目的、種類、器具、手順、外科的療法と非外科的療法との比較。再生療法、形成外科手術について	岩田 隆紀	Zoom(後日発表)
12	12/10	13:50-14:40	遠隔授業	根分岐部病変・歯内ー	根分岐部病変・歯内ー歯周病変の	竹内 康雄	Zoom(後日発表)

			(同期型)	歯周病変	分類、治療法		Webclass((後日発表)小テスト)
13	12/10	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	歯周光線治療	歯周炎およびインプラント周囲炎におけるレーザー・LED の応用	青木 章	Zoom(後日発表)
14	12/10	15:50-16:40	遠隔授業(同期型)	メインテナンス	メインテナンスと SPT、治癒と病状安定	池田 裕一	Zoom(後日発表)
15	12/14	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	歯周治療とインプラント治療	歯周治療とインプラント治療の関わり	黒田 真司	Zoom(後日発表)
16-17	12/14	10:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	症例供覧	症例供覧	二階堂 雅彦	Zoom(後日発表)
18	1/7	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	歯周治療と矯正治療	歯周治療と矯正治療の関わり	森山 啓司	Zoom(後日発表)
19-20	1/7	14:50-16:40	遠隔授業(同期型)	歯周治療のまとめ(問題演習)	(AL)歯周病・歯周治療に関する問題演習	池田 裕一	Zoom(後日発表) Webclass((後日発表)問題演習)
21	2/17	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	筆記試験	筆記試験	池田 裕一	Webclass(後日発表)

成績評価の方法

出席、形成的評価(小テスト)と総括的評価(webclass でのオンライン試験)で評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

これまで基礎科目(生化学、組織学、病理学、生理学、薬理学、細菌学等)、臨床科目で学んだこと、また歯周病基礎編で学んだことを復習し講義に臨むこと。

各回の授業に関し、事前に予習をして講義に臨むこと。

試験の受験資格

遠隔授業については授業への出席状況は成績付与の参考とするが、受験要件には用いない。

構成ユニット

歯周病

モジュールの単位判定

・適宜、形成的評価(小テスト)を行う。

・授業の最後に総括的評価(Webclass 上でのオンライン試験)を行う。

教科書

ザ・ペリオドントロジー 第3版／沼部幸博, 梅田誠, 齋藤淳, 山本松男 編集主幹:永末書店, 2019

歯周治療の指針／日本歯周病学会 編:医歯薬出版, 2016

歯周病およびインプラント周囲組織の疾患と状態に関する新分類 : アメリカ歯周病学会〈AAP〉/ヨーロッパ歯周病連盟〈EFP〉共催 2017 ワールドワークショップ会議録／Kenneth S.Kornman, Maurizio S.Tonetti 共編,村上伸也 監訳,日本歯周病学会, 日本臨床歯周病学会 共訳,Kornman, Kenneth S,Tonetti, Maurizio S,村上, 伸也, 1959-,日本歯周病学会,日本臨床歯周病学会,:クインテッセンス出版, 2020

歯界展望別冊 歯周外科の基本テクニック 術前検査からメインテナンスまで／和泉雄一, 小田茂, 菊池重成, 秋月達也編:医歯薬出版, 2017

歯科用レーザー120%活用術 : よく・わかる／青木章, 和泉雄一 編著:デンタルダイヤモンド社, 2012

参考書

Clinical Periodontology and Implant Dentistry, 6th Edition／Niklaus P. Lang, Jan Lindhe:Wiley-Blackwell, 2015

歯周外科のハプニング&リカバリー : 早わかり Q&A 96／和泉雄一 監著:クインテッセンス出版, 2016

PMI ペリオドンタルモチベーショナルインタビューイング : 患者さんのやる気が変わる！ スタッフも楽しくなる！歯周治療を成功に導く世界標準のコミュニケーション技法／新田 浩、礪波健一 、土岡弘明 監著:クインテッセンス出版, 2020

非外科治療による歯周病コントロール : 歯科医師・歯科衛生士のための Clinical Handbook／Paul A.Levi,Jr., Robert J.Rudy, Y.Natalie Jeong, Daniel K.Coleman 著,和泉雄一, 木下淳博, 長澤敏行, 青木章 監訳:医歯薬出版, 2018

非外科的歯周治療 : 歯科衛生士の力でここまでできる／Marisa Roncati 著,和泉雄一, 浦野智 監訳:クインテッセンス出版, 2018

糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン／日本歯周病学会 編:医歯薬出版, 2015
歯周病と全身の健康／日本歯周病学会 編:医歯薬出版, 2016
歯周病患者における抗菌薬適正使用のガイドライン 2020／日本歯周病学会 編:医歯薬出版, 2020
歯周病患者における口腔インプラント治療指針およびエビデンス 2018／日本歯周病学会 編:医歯薬出版, 2019
歯周病患者における再生治療のガイドライン／日本歯周病学会 編日本歯周病学会:医歯薬出版, 2014

履修上の注意事項

毎回授業終了後に形成的評価(小テスト)を行うので、予め授業内容に関する予習が必要である。

備考

ユニット授業においては AL(問題演習)を行う。

時間割番号	021163			
科目名	歯周病・歯周治療実習		**科目ID**	DD-452303-E
担当教員	岩田 隆紀, 青木 章, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 水谷 幸嗣, 池田 裕一, 芝 多佳彦[IWATA Takanori, AOKI AKIRA, KATAGIRI SAYAKA, TAKEUCHI YASUO, MIZUTANI KOJI, IKEDA Yuuichi, SHIBA Takahiko]			
開講時期	2021 年度後期	**対象年次**	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:歯周病

コマ数:33＋3(必要自習時間 12 時間)

授業形態:講義・実習

ユニット番号:03

主な講義場所

保存矯正示説室・実習室, 補綴実習室

授業の目的、概要等

歯周治療に必要な基本的な知識を理解し、その技能および態度を習得する。

授業の到達目標

1) 歯周組織の構造・機能を説明できる。
2) 診察、検査、診断および治療に必要な器材を説明できる。
3) プロービングを含む歯周病の各種検査を行うことができる。
4) プラークコントロールの重要性を説明でき、必要な器具操作ができる。
5) スケーリングに必要な器具操作ができる。
6) 歯周外科手術に必要な器具操作ができる。
7) 咬合調整に必要な器具操作ができる。
8) 固定法に必要な器具操作ができる。
9) ナイトガード製作に必要な器具操作ができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	11/16	13:50-16:40	ノイシュタットジャパンルーム	歯周組織の構造・歯周病の検査(プロービング)	AL 歯周組織の構造・機能を学び、歯周病の検査(プロービング)を習得する	岩田 隆紀, 青木 章, 木下 淳博, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 芝 多佳彦, 池田 裕一, 水谷 幸嗣, 須永 昌代, 妻沼 有香	教育メディア開発学分野の協力により、歯周炎モデルのプロービング検査用顎模型を用いて実践形式で行う
4-6	11/30	13:50-16:40	ノイシュタットジャパンルーム	歯周組織観察・精密検査・プラークコントロール	AL 歯周病の検査を習得する。プラークコントロールの重要性を学び、必要な器具操作を習得する	岩田 隆紀, 青木 章, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 芝 多佳彦, 池田 裕一, 水谷 幸嗣, 菊池 重成, 工藤 求, 松浦 孝典	歯周病の精密検査は二人一組の相互実習にて行う

7-9	12/7	13:50-16:40	ノイシュタットジャパンルーム	スケーリング・ルートプレーニング（SRP）-1	AL　スケーリング・ルートプレーニングに必要な器具操作を習得する	岩田 隆紀, 青木 章, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 芝 多佳彦, 池田 裕一, 水谷 幸嗣, 小林 宏明, 酒井 和人, 岩田 光弘	顎模型および抜去歯を持参する
10-12	12/14	13:50-16:40	ノイシュタットジャパンルーム	スケーリング・ルートプレーニング（SRP）-2	AL　スケーリング・ルートプレーニングに必要な器具操作を習得する	岩田 隆紀, 青木 章, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 芝 多佳彦, 池田 裕一, 水谷 幸嗣, 土岡 弘明, 杉山 榮一, 桑原 俊也	顎模型および抜去歯を持参する
13-15	1/11	09:00-11:50	ノイシュタットジャパンルーム	咬合調整-1	AL　咬合調整に必要な器具操作を習得する	岩田 隆紀, 青木 章, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 芝 多佳彦, 池田 裕一, 水谷 幸嗣, 土岡 弘明, 古瀬 大治, 高井 康博	顎模型を持参する
16-18	1/11	12:50-15:40	ノイシュタットジャパンルーム	咬合調整-2	AL　咬合調整に必要な器具操作を習得する	岩田 隆紀, 青木 章, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 芝 多佳彦, 池田 裕一, 水谷 幸嗣, 赤澤 恵子, 吉野 宏幸, 小野 彌	顎模型を持参する
19-21	1/18	13:50-16:40	補綴実習室, 保存矯正実習室	石膏模型の咬合器装着（ナイトガード実習用） 歯周外科-1（顎模型）	AL　石膏模型の咬合器装着を行う　歯肉切除術について、顎模型を用いてその器具操作を習得する	岩田 隆紀, 青木 章, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 芝 多佳彦, 池田 裕一, 水谷 幸嗣, 小柳 達郎, 井川 貴博	はじめに補綴実習室にて石膏模型の咬合器装着を行った後, 保存実習室に移動する　顎模型を持参する
22-24	1/25	13:50-16:40	ノイシュ	ナイトガード	AL　ナイトガードに必要な器具操	岩田 隆紀,	補綴実習室にて

			タットジャパンルーム		作を習得する	青木 章, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 芝 多佳彦, 池田 裕一, 水谷 幸嗣, 川村 利恵, 髙木 徹	行う
25-27	2/1	12:50-15:40	ノイシュタットジャパンルーム	固定	AL　固定法に必要な器具操作を習得する	岩田 隆紀, 青木 章, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 芝 多佳彦, 池田 裕一, 水谷 幸嗣, 坪川 正樹, 秋本 健	顎模型を持参する
28-30	2/8	09:00-11:50	ノイシュタットジャパンルーム	歯周外科-2	AL　フラップ手術について、模型および豚顎を用いてその器具操作を習得する。	岩田 隆紀, 青木 章, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 芝 多佳彦, 池田 裕一, 水谷 幸嗣, 石川 聡, 臼井 通彦	顎模型を持参する
31-33	2/8	12:50-15:40	ノイシュタットジャパンルーム	歯周外科-3	AL　フラップ手術について、模型および豚顎を用いてその器具操作を習得する。	岩田 隆紀, 青木 章, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 芝 多佳彦, 池田 裕一, 水谷 幸嗣, 和泉 雄一, 神山 剛史	顎模型を持参する
34-36	2/15	13:50-16:40	歯学科第3講義室, 保存矯正実習室	実習試験	AL　OSCE 形式で2題の実習試験を行う	岩田 隆紀, 青木 章, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 芝 多佳彦, 池田 裕一, 水谷 幸嗣, 秋月 達也, 平井 亮	試験前に第3講義室に集合する

成績評価の方法

・各回、形成的評価（小テストあるいは製作物提出）を行う。

・2022 年 2 月 15 日に、総括的評価として OSCE 試験を行う。

準備学習等についての具体的な指示

日本歯周病学会監修の歯周病学基礎実習動画（http://www.perio.jp/news/basic_practice.shtml）を見て，実習の内容を予習する.

試験の受験資格

全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

モジュールの単位判定

・各回、形成的評価(小テストあるいは製作物提出)を行う。

・2020 年 2 月 18 日に、総括的評価として OSCE 試験を行う。

教科書

ザ・ペリオドントロジー第3版／沼部幸博、梅田誠、齋藤淳、山本松男:永末書店, 2019

臨床歯周病学第 3 版／村上伸也, 申 基喆, 齋藤 淳, 山田 聡編:医歯薬出版, 2020

Lindhe 臨床歯周病学とインプラント／Jan Lindhe, Thorkild Karring, Niklaus P.Lang 編著,岡本浩 監訳:クインテッセンス出版, 2005

Carranza's クリニカルペリオドントロジー／M. G. Newman, H. H. Takei, F. A. Carranza 編著,申基哲, 河津寛, 嶋田淳, 安井利一, 上村恭弘 監訳:クインテッセンス出版, 2005

参考書

カラーアトラス歯周病学／Herbert F. Wolf, Edith M. Rateitschak, Klaus H. Rateitschak 著; 日本臨床歯周病学会 翻訳・監修:永末書店, 2008

インプラント周囲炎／Stefan Revert, Jean-Louis Giovannoli 著; 山本松男, 弘岡秀明, 和泉雄一 監訳:クインテッセンス出版, 2013

歯周治療の指針 = JSP Clinical Practice Guideline for the Periodontal Treatment／日本歯周病学会 編:医歯薬出版, 2016

歯周病患者における再生治療のガイドライン／日本歯周病学会 編:医歯薬出版, 2014

歯周治療・インプラント治療における Er:YAG レーザーの使い方／和泉雄一, 青木章, 石川烈 編著:医学情報社, 2011

非外科治療による歯周病コントロール : 歯科医師・歯科衛生士のための Clinical Handbook／Paul A.Levi,Jr., Robert J.Rudy, Y.Natalie Jeong, Daniel K.Coleman 著,和泉雄一, 木下淳博, 長澤敏行, 青木章 監訳,Levi, Paul A,Rudy, Robert J,Jeong, Y.Natalie,和泉, 雄一,木下, 淳博, 歯学,長澤, 敏行,:医歯薬出版, 2018

非外科的歯周治療 : 歯科衛生士の力でここまでできる／Marisa Roncati 著,和泉雄一, 浦野智 監訳,Roncati, Marisa,和泉, 雄一,浦野, 智,:クインテッセンス出版, 2018

備考

全回とも実習あるいは試験によるアクティブラーニングを行う

責任教員: 青木 章 担当教授 aoperi@tmd.ac.jp

オフィスアワー:月～木 17:00-18:00 10 号館 7 階歯周病学分野第 5 研究室

参照ホームページ

http://www.perio.jp/news/basic_practice.shtml

歯周病学基礎実習動画(日本歯周病学会監修)

時間割番号	021164			
科目名	歯周病のトピックス		科目ID	DD-452304-L
担当教員	岩田 隆紀, 青木 章, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 水谷 幸嗣, 池田 裕一, 芝 多佳彦[IWATA Takanori, AOKI AKIRA, KATAGIRI SAYAKA, TAKEUCHI YASUO, MIZUTANI KOJI, IKEDA Yuuichi, SHIBA Takahiko]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

歯周病のトピックス 11 コマ 必要自習時間 5 時間 遠隔授業(同期型)

主な講義場所

遠隔授業(同期型)

授業の目的、概要等

歯周病の検査・診断、その予防、ならびに歯周治療に必要な基本的な知識を理解する。

授業の到達目標

1) 歯周病の検査・診断を説明できる。
2) 歯周病の治療計画を説明できる。
3) 症例を通じた包括的な歯周治療の意義を説明できる。
4) 診療ガイドラインの適切な活用ができる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	1/18	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	PBL 実習の説明		水谷 幸嗣	
2	1/18	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	PBL 実習の発表準備	AL グループワーク	水谷 幸嗣	
3	1/18	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	特別講義	「歯周治療への診療ガイドラインの活用」	水谷 幸嗣	
4-6	1/25	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	PBL 実習の発表準備	AL グループワーク 中間報告発表とそのフィードバック	水谷 幸嗣	
7-8	2/14	10:00-11:50	遠隔授業(同期型)	特別講義	「歯周治療の基本と考え方」	水谷 幸嗣 佐々木 猛	
9	2/15	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	PBL 実習の発表準備	AL グループワーク	水谷 幸嗣	
10-11	2/15	10:00-11:50	遠隔授業(同期型)	グループ発表・討議	AL グループディスカッション 最終プロダクト発表 プロダクト提出	水谷 幸嗣	

成績評価の方法

グループ発表のプロダクト内容、およびプレゼンテーションへの評価

準備学習等についての具体的な指示

これまで基礎科目(生化学、組織学、病理学、生理学、薬理学、細菌学等)、臨床科目で学んだこと、また歯周病基礎編・臨床編で学んだことを復習し講義に臨むこと。

各回の授業に関し、積極的なグループディスカッションができるよう事前に予習をして臨むこと。

構成ユニット

歯周病

モジュールの単位判定

グループ発表のプロダクト内容、およびプレゼンテーションへの評価

教科書

ザ・ペリオドントロジー = The periodontology／沼部幸博 [ほか] 編著,沼部, 幸博,梅田, 誠,齋藤, 淳,山本, 松男,小方, 頼昌,:永末書店, 2019

時間割番号	021176				
科目名	咬合育成・発達			**科目ID**	DD-552400-L
担当教員					
開講時期	2021年度前期	**対象年次**	5	**単位数**	4
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:98＋3 （必要自習時間 22時間）
授業形態:講義・実習・演習
モジュール番号:24

主な講義場所

保存・矯正実習室(7号館5階)
5F 示説室(7号館5階)
詳細はユニット毎に指示する。

授業の目的、概要等

健全な咬合育成・発達に向けた予防・診断および治療に関する知識と基本的技能を修得する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に教科書ならびに参考図書を熟読の上、授業に臨むこと。実習に際しては、実習内容に対応する講義を復習して臨むこと。

試験の受験資格

ユニットごとに授業コマ数のうち、3分の2以上出席し、かつ実習部分の全コマ数の4分の3以上に出席していなければならない。
受験資格を得られなかった学生は、ユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。
詳細はユニット毎に指示する。

構成ユニット

01 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断
02 小児の成長発育と咬合育成
03 歯科矯正・顎顔面矯正の治療

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数ならびに平常学習態度等が評価に加味される。

時間割番号	021177				
科目名	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断			科目ID	DD-552401-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:咬合育成・発達

コマ数:33＋1 （必修自習時間 7時間）

授業形態:講義・実習・演習

ユニット番号:01

主な講義場所

保存・矯正実習室(7 号館 5 階)

5F 示説室(7 号館 5 階)

授業の目的、概要等

顎顔面頭蓋の成長発育様相とその異常、正常咬合の成立に必要な要件と不正咬合の原因および矯正力や顎整形力に対する歯、骨、軟組織の生体応答性など、矯正歯科治療のメカニズムを習得する上で必要な生体の構造と機能について理解を深める。

授業の到達目標

1)顎顔面頭蓋の正常な成長発育様相について説明できる。

2)矯正歯科治療の目的と意義を説明できる。

3)正常咬合の概念と成立・保持条件を説明できる。

4)不正咬合によって生じる障害を列挙できる。

5)不正咬合の分類・原因を列挙しそれに起因する障害と予防法を説明できる。

6)不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。

7)矯正力、顎整形力(矯正歯科治療)によって起こる生体の反応を細胞あるいは分子生物学的に説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/2	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	イントロダクション	講義 WebClass: FDS21064 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	森山 啓司	
2	4/2	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	成長発育概論	講義 WebClass: FDS21064 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	森山 啓司	
3	4/2	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	頭蓋の発生および成長発育	講義 WebClass: FDS21064 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	小川 卓也	
4	4/6	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	顎顔面の発生および成長発育・歯列と咬合の成長発育	AL、講義・総論演習 1 WebClass: FDS21064 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	小川 卓也	
5	4/6	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	咬合概論・正常咬合	AL、講義・総論演習 2 WebClass: FDS21064 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	小川 卓也	
6	4/6	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	顎運動と生理機能	AL、講義・総論演習 3 WebClass: FDS21064 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	門田 千穂	

7-9	4/13	13:50-16:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	基礎実習	AL, 矯正線屈曲1　WebClass: FDS21064　D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	渡 一平, 米満 郁男, 石田 雄之, 石田 宝義, 細道 純, 小野 卓史, 辻 美千子, 上園 将慶, 小林 起穂, 東堀 紀尚, 小川 卓也, 森山 啓司, 門田 千穂, 臼見 莉沙, 松本 芳郎, 小笠原 毅	実習
10	4/14	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	不正咬合とその分類	講義　WebClass: FDS21064 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	小川 卓也	
11	4/14	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	不正咬合の原因（先天的・後天的原因）	AL, 講義・総論演習 4 WebClass: FDS21064　D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	小川 卓也	
12	4/14	11:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	診断・医療面接・形態的検査1（X 線診査まで）	AL, 講義・診断学演習 1 WebClass: FDS21064　D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	米満 郁男	
13	4/16	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）, 遠隔授業（非同期型）	診断学（検査1）・形態的検査 2（セファロ分析）	AL, 講義・診断学演習 2 WebClass: FDS21064　D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	石田 雄之	同期・非同期ハイブリッド
14	4/16	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	診断学（検査2）・機能検査（含呼吸・脳機能等）	AL, 講義・診断学演習 3 WebClass: FDS21064　D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	石田 宝義	
15	4/16	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）, 遠隔授業（非同期型）	予防、診断学（治療方針立案1）・抜歯	AL, 講義・診断学演習 4 WebClass: FDS21064　D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	松本 芳郎	同期・非同期ハイブリッド
16-17	4/16	13:50-15:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	基礎実習	AL, 矯正線屈曲2・自在鑞着 WebClass: FDS21064　D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	渡 一平, 米満 郁男, 石田 雄之, 石田 宝義, 細道 純, 小野 卓史, 辻 美千子, 上園	実習

						将慶, 小林 起穂, 東堀 紀尚, 小川 卓也, 森山 啓司, 臼見 莉沙, 松本 芳郎, 門田 千穂, 小笠原 毅	
18-20	4/20	09:00-11:50	5F 示説室, 保存矯正実習室	診断学実習	AL, セファロ分析　WebClass: FDS21064　D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	渡 一平, 米満 郁男, 石田 雄之, 石田 宝義, 細道 純, 小野 卓史, 辻 美千子, 上園 将慶, 小林 起穂, 東堀 紀尚, 小川 卓也, 森山 啓司, 臼見 莉沙, 松本 芳郎, 門田 千穂, 小笠原 毅	グループワーク
21-23	4/21	09:00-11:50	5F 示説室, 保存矯正実習室	診断学実習	AL, 矯正装置　WebClass: FDS21064　D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	渡 一平, 米満 郁男, 石田 雄之, 石田 宝義, 細道 純, 小野 卓史, 辻 美千子, 上園 将慶, 小林 起穂, 東堀 紀尚, 小川 卓也, 森山 啓司, 臼見 莉沙, 松本 芳郎, 門田 千穂, 小笠原 毅	グループワーク
24	4/21	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	診断学（治療方針立案2）・立案	AL, 講義・診断学演習 5 WebClass: FDS21064　D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	細道 純	
25	4/21	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	矯正装置	AL, 講義・診断学演習 6 WebClass: FDS21064　D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	臼見 莉沙	

26	4/21	15:50-16:40	遠隔授業（同期型）	生体反応（1）歯・歯周組織	AL, 講義・診断学演習 7 WebClass: FDS21064 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	松本 芳郎	
27-29	4/23	09:00-11:50	5F 示説室, 保存矯正実習室	基礎実習	AL, 舌側弧線装置1 WebClass: FDS21064 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	渡 一平, 米満 郁男, 石田 雄之, 石田 宝義, 細道 純, 小野 卓史, 辻 美千子, 上園 将慶, 小林 起穂, 東堀 紀尚, 小川 卓也, 森山 啓司, 臼見 莉沙, 松本 芳郎, 門田 千穂, 小笠原 毅	実習
30-32	4/27	09:00-11:50	5F 示説室, 保存矯正実習室	基礎実習	AL, 舌側弧線装置2 WebClass: FDS21064 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	渡 一平, 米満 郁男, 石田 雄之, 石田 宝義, 細道 純, 小野 卓史, 辻 美千子, 上園 将慶, 小林 起穂, 東堀 紀尚, 小川 卓也, 森山 啓司, 臼見 莉沙, 松本 芳郎, 門田 千穂, 小笠原 毅	実習
33	5/7	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	生体反応（2）顎骨・顎関節・拡大等	AL, 講義・診断学演習 8 WebClass: FDS21064 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2021	渡 一平	
34	5/13	11:00-11:50	歯学科第1講義室	ユニット 01 筆記試験		森山 啓司	

成績評価の方法

授業題目ごとに、講義においては観察記録および演習により、実習においては実地試験、観察記録および口頭試験、ならびにレポートにより形成的評価を行う。さらに、客観的試験、論述試験（2021年5月13日）により総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

事前に教科書ならびに参考図書を熟読の上、授業に臨むこと。実習に際しては、実習内容に対応する講義を復習して臨むこと。

試験の受験資格

ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席し、かつ実習部分の全コマ数の4分の3以上に出席していなければならない。
受験資格を得られなかった学生は、ユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

Orthodontics Current Principles & Techniques 6th Ed.／T. M. Graber 他：ELSEVIER/MOSBY, 2017

Handbook of Orthodontics 4th Ed.／R. E. Moyers：YEAR BOOK MEDICAL PUBLISHERS, 1988

Gorlin's Syndromes of the Head and Neck, 5th edition／Hennekam/Krantz/Allanson：Oxford University Press, 2010

歯科矯正学 第6版／飯田順一郎 編集代表／葛西一貴・後藤滋巳・末石研二・槇宏太郎・山城隆 編著：医歯薬出版, 2019

Contemporary Orthodontics 6th Ed.／W.R.Proffit：ELSEVIER/MOSBY, 2018

参考書

アトラス顎顔面矯正 : 顎変形症と口唇口蓋裂の矯正治療／黒田敬之 監修,大山紀美栄, 本橋信義, 鈴木聖一 編,：医歯薬出版, 2002

Atlas of Orthodontic Treatment for Patients with Birth Defects／Takayuki Kuroda, Kimie Ohyama, Nobuyoshi Motohashi, Keiji Moriyama：Needham Press,Inc., 2012

プロフィトの現代歯科矯正学／William R.Proffit 著,高田健治 訳：クインテッセンス出版, 2004

歯科矯正治療と顎顔面矯正治療／McNamara JA Jr., Brudon WL, 黒田敬之(監訳)：東京臨床出版, 2006

Contemporary Treatment of Dentofacial Deformity／Proffit WR, White RP, Sarver DM：Mosby, 2002

Ten Cate 口腔組織学／Ten Cate [原著],Antonio Nanci 編著,川崎堅三 監訳：医歯薬出版, 2006

ムーア人体発生学／Moore and Persaud 著,瀬口春道 監訳：医歯薬出版, 2001

カラーアトラス X 線解剖学とセファロ分析法／宮下邦彦 著：クインテッセンス出版, 2009

時間割番号	021178				
科目名	小児の成長発育と咬合育成			**科目ID**	DD-552402-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

主な講義場所

Zoom による遠隔授業, 5階保存系実習室

授業の目的、概要等

胎児期から成人に至るまでの定型発達児, 障害児, 有病児の身体的成長, 精神的・心理的発達について理解し, 健全な顎口腔を育成することの臨床的意義と方法を理解する.

授業の到達目標

成長発達期にある小児の顎口腔領域の健全な育成が生涯に亘る QOL を支えることを認識し, 顎口腔領域の疾患や異常の予防, 診察・検査, 診断, 治療の方法ならびに口腔健康管理の方法について理解する。

1)小児の精神発達と身体発育の特徴を述べ, 発育の評価法を説明できる。

2)小児の口腔・頭蓋・顎顔面領域の形態的・機能的特徴を説明できる。

3)小児の歯, 歯列および咬合の発育と異常を説明できる。

4)乳歯と幼若永久歯の特徴を説明できる。

5)小児のう蝕と歯髄・歯周疾患の特徴を列挙し, それらの予防・診断・治療の方法を説明し実践できる。

6)小児の歯の外傷・粘膜疾患の診査・検査と診断および処置と術後経過を説明できる。

7)小児の口腔外科的処置を説明できる。

8)咬合誘導の概念を説明し, 保隙装置を製作できる。

9)小児患者の対応法を説明できる。

10)小児の歯科疾患の簡単な症例を処置できる。

11)小児の虐待の兆候と対応について説明できる

12)小児の継続的口腔健康管理の意義を説明しそのための計画を立案できる。

13)心身障害児の口腔健康管理の問題点を指摘し, 歯科診療の方法を説明できる。

14)フッ化物の歯面塗布を実践できる。

15)予防填塞を実施できる。

16)適切な口腔清掃法を指導できる。

17)適切な食事指導(間食指導)を実施できる。

18)適切な生活習慣を指導できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/5	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	小児歯科学	小児歯科概論	岩本 勉	
2	4/5	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	小児歯科学	小児の全身の成長・発達	岩本 勉	教科書 小児歯科学 第2, 4章参照
3	4/5	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	小児歯科学	頭蓋, 顎顔面の発育	岩本 勉	教科書 小児歯科学 第3章参照
4	4/5	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	小児歯科学	歯の発育と萌出, 異常	岩本 勉	教科書 小児歯科学 第5章参照
5	4/5	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	小児歯科学	乳歯, 幼若永久歯の特徴とう蝕	岩本 勉	教科書 小児歯科学 第7章参

							照
6	4/5	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	小児歯科学	う蝕の予防法，為害作用と病因論	岩本 勉	教科書　小児歯科学　第11章参照
7	4/12	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	小児歯科学	乳歯の治療前処置と歯冠修復	岩本 勉	教科書　小児歯科学　第9，11章参照
8	4/12	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	小児歯科学	乳歯および幼若永久歯の歯内療法	岩本 勉	教科書　小児歯科学　第11章参照
9	4/12	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	小児歯科学	小児の歯周疾患の特徴	岩本 勉	教科書　小児歯科学　第12章参照
10	4/12	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	小児歯科学	小児歯科における外科的対応と軟組織疾患	岩本 勉	教科書　小児歯科学　第14，15章参照
11	4/12	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	小児歯科学	咬合誘導	岩本 勉	教科書　小児歯科学　第16章参照
12	4/12	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	小児歯科学	口腔習癖と口腔機能の発育	岩本 勉	教科書　小児歯科学　第4，16章参照
13	4/19	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	小児歯科学	歯科治療上注意すべき全身疾患	岩本 勉	教科書　小児歯科学　第19章参照
14	4/19	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	小児歯科学	歯の外傷の状況と治療法	岩本 勉	教科書　小児歯科学　第13章参照
15	4/19	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	小児歯科学	小児の歯科的対応法	岩本 勉	教科書　小児歯科学　第8章参照
16	4/19	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	小児歯科学	障害児の歯科治療	岩本 勉	教科書　小児歯科学　第18章参照
17	4/19	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	小児歯科学	医療事故防止	岩本 勉	教科書　小児歯科学　第10章参照
18	4/19	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	小児歯科学	子供虐待	岩本 勉	教科書　小児歯科学　第17章参照
19-21	4/26	09:00-11:50	ノイシュタットジャパンルーム	小児歯科学 実習	ラバー・断髄／乳歯冠①	岩本 勉，和田 奏絵	
22-24	4/30	13:50-16:40	ノイシュタットジャパンルーム	小児歯科学 実習	乳歯冠②／クラウンループ、人工歯作成	岩本 勉，和田 奏絵	
25-27	5/10	12:50-15:40	ノイシュ	小児歯科学 実習	RSM①	岩本 勉，和	

			タットジャパンルーム			田 奏絵	
28-30	5/12	09:00-11:50	ノイシュタットジャパンルーム	小児歯科学 実習	RSM②	岩本 勉, 和田 奏絵	
31-33	5/28	09:00-11:50	ノイシュタットジャパンルーム	小児歯科学 実習	F、ラバー、シーラント、模型提出	岩本 勉, 柿野 聡子, 和田 奏絵	
34-36	6/4	13:50-16:40	ノイシュタットジャパンルーム	小児歯科学 実習	ロールプレイ	岩本 勉, 柿野 聡子, 和田 奏絵, 大石 敦之	
37	6/10	09:00-09:50	歯学科第1講義室	小児の成長発育と咬合育成	試験	岩本 勉	

成績評価の方法

授業題目ごとに講義においては観察記録および適宜小テスト等により，また，実習においては観察記録および口頭試験，ならびにレポートにより形成的評価を行う。さらに，モジュール最終回の客観試験，論述試験により総括的評価を行う。

成績評価の基準

「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合は B より上とする。

準備学習等についての具体的な指示

講義が行われる範囲の教科書を熟読の上で授業に臨むこと。実習に際しては，実習書を読み，Web 上にアップロードされた内容をあらかじめ学習し実習内容に対応する講義も復習して臨むこと。

試験の受験資格

1）ユニット授業コマ数のうち，3 分の 2 以上出席し，かつ実習部分の全コマ数の 4 分の 3 以上に出席していなければならない。

2）受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし，次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

咬合育成・発達

教科書

小児歯科学／白川哲夫, 飯沼光生, 福本敏編 ; 白川哲夫 [ほか] 執筆,白川, 哲夫,飯沼, 光生,福本, 敏.:医歯薬出版, 2017

参考書

小児歯科マニュアル／前田隆秀編集,前田, 隆秀,:南山堂, 2005

Pediatric dentistry : a clinical approach／editors, Göran Koch and Sven Poulsen,Koch, Göran,Poulsen, Sven,:Wiley-Blackwell, 2009

Pediatric dentistry : infancy through adolescence／[edited by] Jimmy R. Pinkham ...[et al.],Pinkham, J. R.,:Elsevier Saunders, 2005

McDonald and Avery's dentistry for the child and adolescent／[edited by] Jeffrey A. Dean, David R. Avery, Ralph E. McDonald,McDonald, Ralph E.,Avery, David R.,Dean, Jeffrey A.,:Mosby Elsevier, 2011

時間割番号	021179				
科目名	歯科矯正・顎顔面矯正の治療			科目ID	DD-552403-L
担当教員					
開講時期	2021年度前期	対象年次	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:咬合育成・発達

コマ数:29＋1 （必修自習時間 7時間）

授業形態:講義・実習・演習

ユニット番号:03

主な講義場所

歯学科第4講義室(7号館4階)

保存・矯正実習室(7号館5階)

ロールプレイ実習(2021年5月31日)は当日別に指示する

授業の目的、概要等

不正咬合の病因と随伴する顎口腔領域の形態・機能異常を理解し、予防と治療の意義を踏まえた上で歯科矯正・外科的矯正治療の理論と方法を修得する。

授業の到達目標

1)歯科矯正治療・外科的矯正治療の目的と意義を説明できる。

2)不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。

3)矯正歯科治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。

4)矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。

5)矯正歯科治療に必要な力学を説明できる。

6)後戻りと保定について説明できる。

7)先天異常および顎変形症患者における外科的矯正治療の診断・治療法を説明できる。

8)歯科矯正治療・外科的矯正治療の治療計画を立案できる。

9)顎変形症、口唇口蓋裂患者を含む先天異常患者に対する咬合改善のための包括治療の流れを説明できる。

10)矯正歯科治療によって生じうる医原性障害を挙げ、その予防法と処置を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/7	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	イントロ:治療学概論・矯正力・固定	AL, 講義・治療学演習 1-1 WebClass: FDS21050 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2021	細道 純	
2	5/7	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	矯正用材料の特性	AL, 講義・治療学演習 1-2 WebClass: FDS21050 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2021	米満 郁男	
3	5/10	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	乳歯列期・混合歯列期の治療:下顎前突	AL, 講義・治療学演習 1-3 WebClass: FDS21050 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2021	細道 純	
4	5/10	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	混合歯列期の治療:上顎前突・習癖・歯根吸収他	AL, 講義・治療学演習 1-4 WebClass: FDS21050 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2021	石田 雄之	
5	5/14	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	永久歯列期の治療:上顎前突・下顎前突	AL, 講義・治療学演習 1-5 WebClass: FDS21050 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2021	松本 芳郎	
6	5/14	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	永久歯列期の治療:開咬・過蓋咬合	AL, 講義・治療学演習 1-6 WebClass: FDS21050 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2021	米満 郁男	

7	5/14	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	永久歯列期の治療：叢生・空隙・埋伏他	AL, 講義・治療学演習 1-7 WebClass: FDS21050 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2021	渡 一平	
8-10	5/14	13:50-16:40	保存矯正実習室	治療シミュレーション実習（タイポドント1）	AL, 実習: 上顎リンガルアーチ合着 補助弾線鑞着 前歯部被蓋改善	渡 一平, 米満 郁男, 石田 雄之, 石田 宝義, 細道 純, 小野 卓史, 辻 美千子, 松本 力, 上園 将慶, 小林 起穂, 東堀 紀尚, 小川 卓也, 森山 啓司, 臼見 莉沙, 松本 芳郎, 門田 千穂, 小笠原 毅	模型実習
11-13	5/17	09:00-11:50	保存矯正実習室	治療シミュレーション実習（タイポドント2）	上顎前歯部マルチブラケット装置接着 レベリング	渡 一平, 米満 郁男, 石田 雄之, 石田 宝義, 細道 純, 小野 卓史, 辻 美千子, 松本 力, 上園 将慶, 小林 起穂, 東堀 紀尚, 小川 卓也, 森山 啓司, 臼見 莉沙, 松本 芳郎, 門田 千穂, 小笠原 毅	模型実習
14	5/18	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	顎変形症総論	講義 WebClass: FDS21050 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2021	東堀 紀尚	
15	5/18	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	顎変形症の外科的矯正治療、TADs	AL, 講義・治療学演習 2-1 WebClass: FDS21050 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2021	東堀 紀尚	
16	5/18	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	保定	AL, 講義・治療学演習 2-2 WebClass: FDS21050 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2021	上園 将慶	
17	5/19	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	先天異常総論	講義 WebClass: FDS21050 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2021	辻 美千子	
18	5/19	13:50-14:40	遠隔授業	先天異常患者の矯正治	AL, 講義・治療学演習 2-3	辻 美千子	

			(同期型)	療	WebClass: FDS21050 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2021		
19	5/19	14:50-15:40	歯学科第4講義室	口唇口蓋裂患者の矯正治療	AL, 講義・治療学演習 2-4 WebClass: FDS21050 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2021	小川 卓也	
20-22	5/25	09:00-11:50	保存矯正実習室	矯正治療統合実習1	AL, 実習	渡 一平, 米満 郁男, 石田 雄之, 石田 宝義, 細道 純, 小野 卓史, 辻 美千子, 松本 力, 上園 将慶, 小林 起穂, 東堀 紀尚, 小川 卓也, 森山 啓司, 臼見 莉沙, 松本 芳郎, 門田 千穂, 小笠原 毅	グループワーク、討論、ディベート
23-25	5/26	13:50-16:40	歯学部演習室, 歯学部基礎実習室	矯正治療統合実習2	AL, 実習	渡 一平, 米満 郁男, 石田 雄之, 石田 宝義, 細道 純, 小野 卓史, 辻 美千子, 松本 力, 上園 将慶, 小林 起穂, 東堀 紀尚, 小川 卓也, 森山 啓司, 臼見 莉沙, 松本 芳郎, 門田 千穂, 小笠原 毅	グループワーク、討論、ディベート
26-28	5/31	09:00-11:50	歯学部演習室, 歯学部基礎実習室, 保存矯正実習室	医療面接実習(ロールプレイ)	AL, 実習	渡 一平, 米満 郁男, 石田 雄之, 石田 宝義, 細道 純, 小野 卓史, 辻 美千子, 松本 力, 上園 将慶, 小林 起穂, 東堀 紀尚, 小川 卓	面接実習

						也, 森山 啓司, 臼見 莉沙, 松本 芳郎, 門田 千穂, 小笠原 毅	
29	6/11	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	口腔衛生管理、矯正歯科治療に伴う偶発症	AL, 講義・治療学演習 2-5	小林 起穂	
30	6/23	11:00-11:50	特別講堂	ユニット 03 筆記試験	客観的試験、論述試験による総括的評価	小野 卓史, 森山 啓司	

成績評価の方法

授業題目ごとに、講義においては観察記録および演習により、実習においては実地試験、観察記録および口頭試験、ならびにレポートにより形成的評価を行う。さらに、モジュールの最終回の客観的試験、論述試験（2021 年 6 月 23 日）により総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

事前に教科書、WebClass 配布資料ならびに参考図書を熟読の上、授業に臨むこと。実習に際しては、実習帳および実習内容に対応する講義を復習して臨むこと。

試験の受験資格

ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席し、かつ実習部分の全コマ数の4分の3以上に出席していなければならない。
受験資格を得られなかった学生は、ユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

Contemporary Orthodontics 6th Ed.／W.R.Proffit：ELSEVIER/MOSBY, 2019
Orthodontics Current Principles & Techniques 6th Ed.／L.W. Graber 他：ELSEVER/MOSBY, 2016
Handbook of Orthodontics 4th Ed.／R. E. Moyers：YEAR BOOK MEDICAL PUBLISHERS, 1988
歯科矯正学／飯田順一郎, 葛西一貴, 後藤滋巳, 末石研二, 槇宏太郎, 山城隆 編集,飯田, 順一郎,葛西, 一貴, 1955-,後藤, 滋巳, 1952-,：医歯薬出版, 2019
Gorlin's Syndromes of the Head and Neck, 5th edition／Hennekam/Krantz/Allanson：Oxford University Press, 2010

参考書

アトラス顎顔面矯正 -顎変形症と口唇口蓋裂の矯正治療-／黒田敬之監修：医歯薬出版, 2002
Atlas of Orthodontic Treatment for Patients with Birth Defects／Takayuki Kuroda, Kimie Ohyama, Nobuyoshi Motohashi, Keiji Moriyama：Needham Press,Inc., 2012
Contemporary Treatment of Dentofacial Deformity／Proffit WR, White RP, Sarver DM：Mosby, 2002
矯正歯科治療 : この症例にこの装置 第 2 版／後藤滋巳, 清水典佳, 槇宏太郎, 森山啓司, 石川博之 編著,：医歯薬出版, 2017
プロフィトの現代歯科矯正学／William R.Proffit 著,高田健治 訳：クインテッセンス出版, 2004
安心・安全歯科矯正用アンカースクリューこの症例にこの方法／後藤滋巳, 清水典佳, 森山啓司, 宮澤健, 槇宏太郎, 石川博之 編著,後藤滋巳 編集代表,：医歯薬出版, 2013
歯科矯正治療と顎顔面矯正治療／McNamara JA Jr., Brudon WL, 黒田敬之(監訳)：東京臨床出版, 2006
口唇裂・口蓋裂の基礎と臨床／高橋庄二郎 著,：日本歯科評論社, 1996
Dentfacial Deformities／Epker BN, Wolford LM：Mosby, 1981

備考

1 日欠席しただけで 6 コマ欠席になる日もあるので、試験の受験資格を喪失しないように、体調管理に十分留意するとともに、出欠には余裕をもって講義・実習に臨むこと

参照ホームページ

http://lib02.tmd.ac.jp/webclass/login.php?rmd=b43ef&language=JAPANESE

時間割番号	021180				
科目名	顎口腔医療			科目ID	DD-552500-L
担当教員					
開講時期	2021年度前期	対象年次	5	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:顎口腔医療

コマ数:53＋3(必要自習時間31時間)
授業形態:講義、ケースディスカッション(遠隔)および実習(対面)
ユニット番号:01

主な講義場所

講義:遠隔
実習:歯学科演習室1～4

授業の目的、概要等

外科的治療を要する口腔・頭蓋・顎顔面領域における疾患の原因，病態を理解し，その予防，診断および治療のための知識と基本的技能を修得する。

授業の到達目標

1） 顔面・顎・口腔・口唇の構造と機能を説明できる。
2） 顔面・顎・口腔・口唇に発生する先天異常および後天性異常の病態，診断，治療と予後を説明できる。
3） 顔面・顎・口腔・口唇に発生する変形症の病態，診断，治療と予後を説明できる。
4） 顔面・顎・口腔・口唇に発生する炎症の病態，診断，治療と予後を説明できる。
5） 顔面・顎・口腔・口唇に発生する外傷の病態，診断，治療と予後を説明できる。
6） 口腔領域に発生する粘膜疾患の病態，診断，治療と予後を説明できる。
7） 顔面・顎・口腔・口唇に発生する血液疾患の病態，診断，治療と予後を説明できる。
8） 顔面・顎・口腔領域に症状を現す感染症の種類と症状を列挙できる。
9） ヒト免疫不全ウィルス(HIV)感染症の検査法とその口腔症状と検査法を列挙できる。
10） 顔面・顎・口腔・口唇に発生する神経疾患の病態，診断，治療と予後を説明できる。
11） 顔面・顎・口腔・口唇に発生する嚢胞性疾患の種類と特徴を列挙できる。
12） 顔面・顎・口腔・口唇に発生する嚢胞性疾患の診断、治療、予後を説明できる。
13） 顎関節疾患の病態，診断，治療と予後を説明できる。
14） 前癌病変の特徴、症状、治療法を説明できる。
15） 前癌状態の種類と特徴を列挙できる。
16） 顔面・顎・口腔・口唇に発生する良性腫瘍の病態，診断(組織診、画像診断)，治療と予後を概説できる。
17） エナメル上皮腫の特徴、症状および治療法を概説できる。
18） 顔面・顎・口腔・口唇に発生する悪性腫瘍の病態，診断(組織診、画像診断)，治療と予後を概説できる。
19） 顔面・顎・口腔・口唇に発生する肉腫を列挙できる。
20） 唾液腺疾患の病態，診断，治療と予後を説明できる。
21） がん薬物療法についてその概要を説明できる。
22） 外科処置が必要な薬物療法中の患者管理についてその概要を説明できる。
23） 薬物関連顎骨疾患の病態、診断、治療と予後を説明できる。
24） 顔面・顎・口腔領域に発生する疾患に対して，基本的検査とカルテ記載ができる。
25） 顔面・顎・口腔領域に発生する主な疾患に対して，基本的な外科処置ができる。

成績評価の方法

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。
・受講態度，筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

各講義・演習の日時・場所・内容を事前に確認の上、準備学習をし、積極的に討論に参加する。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

01 顔面・顎・口腔疾患

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、ユニットの試験に合格していなければならない。なお、ユニットの合否判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、レポート提出内容、および平常学習態度等が評価に加味される。

教科書

最新口腔外科学 = Oral and Maxillofacial Surgery／榎本昭二, 道健一, 天笠光雄, 小村健 監修,榎本, 昭二, 1936-,道, 健一, 1936-,天笠, 光雄, 1946-,：医歯薬出版, 2017

外科研修マニュアル／京都大学大学院医学研究科外科学講座編集,京都大学大学院医学研究科外科学講座,：南江堂, 2009

口腔科学 = Stomatology／戸塚靖則, 高戸毅 監修,飯田順一郎, 伊藤公一, 岡野友宏, 木村博人, 小谷順一郎, 齊藤力, 佐々木啓一, 白砂兼光, 須田英明, 丹沢秀樹, 前田健康, 山根源之, 山本浩嗣 編集,戸塚, 靖則,高戸, 毅, 1953-,飯田, 順一郎,伊藤, 公一, 1947-,岡野, 友宏, 1947-,：朝倉書店, 2019

Oral and maxillofacial surgery／edited by Raymond J. Fonseca,Fonseca, Raymond J.,：Saunders, 2000

参考書

一からわかる口腔外科疾患の診断と治療／角保徳, 樋口勝規, 梅村長生 編,角, 保徳, 1956-,樋口, 勝規,梅村, 長生,：医歯薬出版, 2006

Clinical review of oral and maxillofacial surgery : a case-based approach／Shahrokh C. Bagheri,Bagheri, Shahrokh C.,：Elsevier Mosby, 2014

一般臨床家, 口腔外科医のための口腔外科ハンドマニュアル = Hand manual of oral & maxillofacial surgery : 口腔外科 year book／日本口腔外科学会 編,日本口腔外科学会,：クインテッセンス出版, 2020

参照ホームページ

モジュール責任者:

原田浩之 オフィスアワー 火曜日 16:00－17:00

E-mail:hiro-harada.osur@tmd.ac.jp

島本裕彰 オフィスアワー 月曜日午後 16:00-17:00

E-mail:hiroaki.osur@tmd.ac.jp

時間割番号	021181				
科目名	顔面・顎・口腔疾患			科目ID	DD-552501-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:顎口腔医療

コマ数:53＋3(必要自習時間31時間)

授業形態:講義、ケースディスカッションおよび実習(対面)

ユニット番号:01

主な講義場所

講義:遠隔

実習:歯学科演習室 1～4

授業の目的、概要等

顔面・顎・口腔の構造と機能を理解し，顔面・顎口腔疾患の原因，症候，病態，診断と治療を学ぶとともに，基本的な技能を修得する。

授業の到達目標

1) 顔面・顎・口腔・口唇の構造と機能を説明できる。
2) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する先天異常および後天性異常の病態，診断，治療と予後を説明できる。
3) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する変形症の病態，診断，治療と予後を説明できる。
4) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する炎症の病態，診断，治療と予後を説明できる。
5) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する外傷の病態，診断，治療と予後を説明できる。
6) 口腔領域に発生する粘膜疾患の病態，診断，治療と予後を説明できる。
7) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する血液疾患の病態，診断，治療と予後を説明できる。
8) 顔面・顎・口腔領域に症状を現す感染症の種類と症状を列挙できる。
9) ヒト免疫不全ウィルス(HIV)感染症の検査法とその口腔症状と検査法を列挙できる。
10) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する神経疾患の病態，診断，治療と予後を説明できる。
11) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する嚢胞性疾患の種類と特徴を列挙できる。
12) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する嚢胞性疾患の診断、治療、予後を説明できる。
13) 顎関節疾患の病態，診断，治療と予後を説明できる。
14) 前癌病変の特徴、症状、治療法を説明できる。
15) 前癌状態の種類と特徴を列挙できる。
16) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する良性腫瘍の病態，診断(組織診、画像診断)，治療と予後を概説できる。
17) エナメル上皮腫の特徴、症状および治療法を概説できる。
18) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する悪性腫瘍の病態，診断(組織診、画像診断)，治療と予後を概説できる。
19) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する肉腫を列挙できる。
20) 唾液腺疾患の病態，診断，治療と予後を説明できる。
21) がん薬物療法についてその概要を説明できる。
22) 外科処置が必要な薬物療法中の患者管理についてその概要を説明できる。
23) 薬物関連顎骨疾患の病態、診断、治療と予後を説明できる。

24) 顔面・顎・口腔領域に発生する疾患に対して，基本的検査とカルテ記載ができる。
25) 顔面・顎・口腔領域に発生する主な疾患に対して，基本的な外科処置ができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/6	12:50-13:40	歯学科第4講義室	口腔外科学総論	SBO 1	原田 浩之

2-3	4/6	13:50-15:40	歯学科第4講義室	基本手術(抜歯)	SBO 25	黒嶋 雄志
4-5	4/7	09:00-10:50	歯学科第4講義室	顎関節疾患	SBO 13	儀武 啓幸
6-7	4/13	09:00-10:50	歯学科第4講義室	骨系統疾患	SBO 2	原園 陽介
8-9	4/20	13:50-15:40	歯学科第4講義室	炎症	SBO 4,8	平井 秀明
10-11	4/23	13:50-15:40	歯学科第4講義室	外傷	SBO 5	高原 楠旻
12-13	4/28	13:50-15:40	歯学科第4講義室	先天異常	SBO 2	森田 圭一
14-16	4/30	09:00-11:50	歯学科第4講義室	顎変形症	SBO 3	友松 伸允
17-19	5/7	12:50-15:40	歯学科第4講義室	嚢胞(顎骨内、軟組織)	SBO 11,12	友松 伸允
20-22	5/11	12:50-15:40	歯学科第4講義室	粘膜疾患	SBO 6,9	津島 文彦
23	5/18	12:50-13:40	歯学科第4講義室	前癌病変	SBO 14,15	津島 文彦
24-25	5/18	13:50-15:40	歯学科第4講義室	悪性腫瘍(診断法・治療法)	SBO 18,21	富岡 寛文
26-28	5/19	09:00-11:50	歯学科第4講義室	歯原性腫瘍	SBO 16,17	富岡 寛文
29-30	5/24	13:50-15:40	歯学科第4講義室	悪性腫瘍(癌腫)	SBO 18	原田 浩之
31	5/28	13:50-14:40	歯学科第4講義室	悪性腫瘍(肉腫・黒色腫・悪性リンパ腫)	SBO 18,19	道 泰之
32	5/28	14:50-15:40	歯学科第4講義室	悪性腫瘍(薬物療法)	SBO 21,22	道 泰之
33-35	6/2	12:50-15:40	歯学科第4講義室	基本手術(根切、骨整形、歯の移植)	SBO 25	丸川 恵理子
36-37	6/4	09:00-10:50	歯学科第4講義室	唾液腺疾患	SBO 20	島本 裕彰
38-40	6/9	13:50-16:40	歯学科第4講義室	実習(消毒)	SBO 25	平井 秀明, 坂本 一郎, 佐藤 昌
41-43	6/14	13:50-16:40	歯学科第4講義室	実習(抜歯の基本手技)	SBO 25	黒嶋 雄志, 森 正次
44-46	6/16	13:50-16:40	歯学科第4講義室	実習(切開・縫合)	SBO 25	高原 楠旻, 八木原 一博
47-49	6/28	12:50-15:40	歯学科第4講義室	実習(臨床検査)	SBO 24	友松 伸允, 黒原 一人
50-51	7/2	09:00-10:50	歯学科第4講義室	血液疾患	SBO 7,9	島本 裕彰
52	7/9	09:00-09:50	歯学科第4講義室	良性腫瘍	SBO 10,16	黒嶋 雄志
53	7/9	10:00-10:50	歯学科第4講義室	薬剤関連顎骨疾患	SBO 23	道 泰之
54-56	7/13	09:00-11:50	特別講堂	顔面・顎口腔疾患試験		島本 裕彰

成績評価の方法

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。

・受講態度，筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

各講義・演習の日時・場所・内容を事前に確認の上、準備学習をし、積極的に討論に参加する。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

最新口腔外科学 = Oral and Maxillofacial Surgery／榎本昭二，道健一，天笠光雄，小村健 監修,榎本，昭二，1936-,道，健一，1936-,天笠，光雄，1946-,：医歯薬出版，2017

外科研修マニュアル／京都大学大学院医学研究科外科学講座編集,京都大学大学院医学研究科外科学講座,：南江堂，2009

口腔科学 = Stomatology／戸塚靖則，高戸毅 監修,飯田順一郎，伊藤公一，岡野友宏，木村博人，小谷順一郎，齊藤力，佐々木啓一，白砂兼光，須田英明，丹沢秀樹，前田健康，山根源之，山本浩嗣 編集,戸塚，靖則,高戸，毅，1953-,飯田，順一郎,伊藤，公一，1947-,岡野，友宏，1947-,：朝倉書店，2019

Oral and maxillofacial surgery／edited by Raymond J. Fonseca,Fonseca, Raymond J.,：Saunders，2000

参考書

一からわかる口腔外科疾患の診断と治療／角保徳，樋口勝規，梅村長生 編,角，保徳，1956-,樋口，勝規,梅村，長生,：医歯薬出版，2006

Clinical review of oral and maxillofacial surgery : a case-based approach／Shahrokh C. Bagheri,Bagheri, Shahrokh C.,：Elsevier Mosby，2014

一般臨床家，口腔外科医のための口腔外科ハンドマニュアル = Hand manual of oral & maxillofacial surgery : 口腔外科 year book／日本口腔外科学会 編,日本口腔外科学会,：クインテッセンス出版，2020

備考

ユニット講義内では適宜ケースディスカッションなど AL を行う。

時間割番号	021182				
科目名	全身と歯科医療			**科目ID**	DD-552600-L
担当教員					
開講時期	2021年度前期	**対象年次**	5	**単位数**	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:104＋12

授業形態:講義・実習

モジュール番号:26

授業の目的、概要等

1. 歯科医療に必要な臨床医学の基本的知識を身につける。
2. 特別なケアを必要とする患者の全身状態の評価法を学び、それに対する歯科医療の知識と基本的な技能を修得する。
3. 歯科医療に必要な全身管理ならびに麻酔に関する知識と技能を身につける。

準備学習等についての具体的な指示

構成ユニット

01 有病高齢者の歯科治療

02 障害と歯科医療

03 歯科医療と麻酔

04 歯科医療と救急医療

05 歯科医療と内科診断学

モジュールの単位判定

すべてのユニットに合格していなければならない. なお, ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては, 出席日数, 提出レポート内容及び平常の学習態度などが評価に加味される.

教科書

歯科麻酔学／福島和昭, 原田純, 嶋田昌彦, 一戸達也, 丹羽均 編,金子譲 監修,:医歯薬出版, 2019

スタンダード全身管理・歯科麻酔学／小谷順一郎 編,:学建書院, 2011

臨床歯科麻酔学／丹羽均, 澁谷徹, 城茂治, 椙山加綱, 深山治久 編著,:永末書店, 2011

参考書

TEXT 麻酔・蘇生学 = ANESTHESIOLOGY AND REANIMATOLOGY／土肥修司, 澄川耕二 編集,土肥, 修司, 1945-,澄川, 耕二,:南山堂, 2014

時間割番号	021183				
科目名	有病高齢者の歯科治療			科目ID	DD-552601-L
担当教員					
開講時期	2021年度前期	対象年次	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

超高齢社会における有病高齢者の歯科治療について考える。
高齢者がどのような疾患に罹患しているか理解する。

主な講義場所

ZOOMによる遠隔授業および筆記試験。演習。

授業の目的、概要等

有病高齢者の全身状態を知る。歯科治療で留意すべき点を把握する。

授業の到達目標

有病高齢者と健常者の対応の違いを理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/8	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	有病高齢者の歯科治療総論-1 web class FDS 20057の有病高齢者の歯科治療2020を参考にしてください。（少し見つけづらい）	1.リスクとリスクマネジメント 2.高齢歯科患者の実態 3.高齢者の特徴 4.リスクマネジメントの基本 5.治療前のリスクマネジメント 全身状態評価	久保田 一政	全部通して行いますので時限ごとの範囲は明確ではありません。
2	4/8	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	有病高齢者の歯科治療総論-2	バイタルサイン とは 6.治療中のリスクマネジメント 局所麻酔薬 抗凝固薬 モニタリング 抗菌薬 鎮痛剤	久保田 一政	Zoom 同上
3	4/8	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	有病高齢者の歯科治療循環器疾患-1	8.循環器疾患総論 9.血圧異常 高血圧 低血圧 10.虚血性心疾患 狭心症 心筋梗塞	久保田 一政	Zoom 同上
4	4/9	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	有病高齢者の歯科治療循環器疾患-2	11.不整脈 頻脈性不整脈 徐脈性不整脈 12.心不全 13.心臓弁膜症と感染性心内膜炎 歯科治療との関連 最近の動向	久保田 一政	
5	4/9	14:50-16:30	遠隔授業（同期型）	有病高齢者の歯科治療 有病高齢者の歯科治療 神経疾患 呼吸器疾患 代謝疾患	15.神経疾患 脳血管障害 神経変性疾患 16.呼吸器疾患 COPD 喘息 17.代謝疾患 糖尿病 骨粗鬆症(骨修飾薬)	久保田 一政	Zoom 同上
6	4/9	14:50-16:30	遠隔授業（同期型）	有病高齢者の歯科治療 その他の全身疾患		久保田 一政	Zoom 同上
7	4/15	09:00-09:50	歯学科第1講義室	試験	記述問題2問 選択問題18問の予定 授業の内容から出題	久保田 一政	テストpaper 座学

成績評価の方法

筆記試験60点以上で合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

webclassのよる事前演習を行い授業を行う。

試験の受験資格

3分の2以上の出席。

教科書

病気がみえる／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2017

病気がみえる／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2018

神経系の疾患と薬；循環器系の疾患と薬；腎・泌尿器系の疾患と薬／医療情報科学研究所編集,医療情報科学研究所,:Medic Media, 2014

時間割番号	021184				
科目名	障害と歯科医療			科目ID	DD-552602-L
担当教員	岩本 勉 楠本 康香[IWAMOTO Tsutomu, KUSUMOTO YASUKA]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

主な講義場所

Online: Zoom Meeting, WebClass

授業の目的、概要等

障害と障害者について社会的視点から理解するとともに、障害の種類、概要を学び障害者歯科医療に必要な知識を習得する。

授業の到達目標

1）障害の概念を理解できる。

2）障害者の医療、福祉制度について理解できる。

3）発達障害、身体障害の概要と口腔の特徴を説明できる。

4）行動調整法の種類と適応を説明できる。

5）障害者の歯科治療と口腔保健指導を説明できる。

6）有病者への歯科治療時の対応を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/2	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	障害者歯科概論	障害者と医療・福祉　障害と定義、国際生活機能分類、ノーマライゼーション、バリアフリー、障害者基本法	楠本 康香	
2	4/2	10:00-10:50	遠隔授業（非同期型）	障害者歯科各論	発達障害・身体障害　知的能力障害、脳性麻痺	篠塚 修	
3-5	4/7	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	障害者歯科各論	発達障害・身体障害　自閉スペクトラム症、てんかん、筋ジストロフィー、Down 症候群、視覚障害、聴覚障害	楠本 康香	
6	4/14	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	有病者の歯科治療	循環器疾患、糖尿病、膠原病、血液疾患	楠本 康香	
7	4/14	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	行動調整法	行動療法、体動コントロール	楠本 康香	
8	4/14	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	行動調整法	障害者歯科における全身麻酔、精神鎮静法	脇田 亮	
9	4/22	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	障害者の歯科治療と口腔保健指導	医療面接、行動観察、事故防止、口腔保健指導	楠本 康香	
10	5/13	10:00-10:50	歯学科第1講義室	試験		楠本 康香	

授業方法

Online: Zoom Meeting, WebClass

成績評価の方法

ユニット最終日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。

成績評価の基準

「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合は B より上とする。

準備学習等についての具体的な指示 参考書を読んでおくことが望ましい。
試験の受験資格 試験は全講義数の 2/3 以上の出席を満たしている者に対して行う
構成ユニット 全身と歯科治療
参考書 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科／日本障害者歯科学会 編集.:医歯薬出版, 2017
履修上の注意事項 遠隔授業に関して、周知されている注意事項に留意すること。
備考 担当教員の Office hour 特に設けていないが事前連絡相談が望ましい

時間割番号	021185				
科目名	歯科医療と麻酔			**科目ID**	DD-552603-L
担当教員					
開講時期	2021年度前期	**対象年次**	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:全身と歯科医療

コマ数:33＋1

授業形態:講義・実習

ユニット番号:02

授業の目的、概要等

歯科医療に必要な麻酔学の知識を修得する。 歯科医療との関連性を理解する。

授業の到達目標

1） 歯科医療における麻酔学の役割を理解できる。全身状態評価の概要を理解できる。

2） 全身状態評価の概要を理解できる。

3） 全身麻酔法が理解できる。

4） 日帰り全身麻酔法の概念を理解できる。

5） 局所麻酔の方法・種類について理解できる。

6） 局所麻酔が実施できる。

7） 精神鎮静法について理解できる。

8） 歯科治療中の呼吸・循環管理の概要が理解できる。

9） 歯科治療中の全身異常の診断と処置が理解できる。

10） 障害者歯科治療における麻酔の役割を理解できる。

11） ペインクリニックにおける病態と治療法を理解できる。

12） 歯科における東洋医学について理解できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/22	11:00-11:50	歯学科第4講義室	歯科麻酔学総論	脇田 亮	
2-4	4/26	13:50-16:40	歯学科第4講義室	全身状態評価1	松村 朋香	
5-6	4/28	09:00-10:50	歯学科第4講義室	モニタリング	松村 朋香	
7	4/28	11:00-11:50	歯学科第4講義室	局所麻酔概論	脇田 亮	
8-10	5/6	09:00-11:50	歯学科第4講義室	局所麻酔薬	脇田 亮	
11	5/10	09:00-09:50		局所麻酔法	馬場 有希子	
12-13	5/11	09:00-10:50	歯学科第4講義室	局所麻酔法	馬場 有希子	
14	5/11	11:00-11:50	歯学科第4講義室	局所麻酔の合併症	船山 拓也	
15-16	5/12	13:50-15:40	歯学科第4講義室	局所麻酔の合併症	船山 拓也	
17	5/12	15:50-16:40	歯学科第4講義室	精神鎮静法	深山 治久	

18	5/13	13:50-14:40	歯学科第4講義室	精神鎮静法	深山 治久	
19	5/13	15:50-16:40	歯学科第4講義室	全身麻酔法概論		
20-22	5/17	13:50-16:40	歯学科第4講義室	全身麻酔法　全身麻酔の合併症		
23	5/20	09:00-09:50	歯学科第4講義室	ペインクリニック	嶋田 昌彦	
24-25	5/20	10:00-11:50	歯学科第4講義室	東洋(漢方)医学療法	室賀 一宏	
26-28	5/21	09:00-11:50		実習(浸潤麻酔・伝達麻酔)	脇田 亮, 松村 朋香, 馬場 有希子, 船山 拓也	
29-31	5/21	12:50-15:40		実習(浸潤麻酔・伝達麻酔)	脇田 亮, 松村 朋香, 馬場 有希子, 船山 拓也	
32	5/24	09:00-09:50	特別講堂	試験	脇田 亮	

成績評価の方法

・ユニット最終日(H29 年 6 月 5 日)に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。

・適宜レポートによる形成的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

歯科麻酔学／福島和昭, 原田純, 嶋田昌彦, 一戸達也, 丹羽均 編,金子譲 監修,:医歯薬出版, 2011

BLS プロバイダーマニュアル／American Heart Association／著,American Heart Association,アメリカ心臓協会,:シナジー, 2016-09

臨床歯科麻酔学／丹羽均 [ほか] 編著,丹羽, 均,:永末書店, 2011

参考書

・Miller's Anesthesia, 6th ed, ミラーの麻酔科学(Medical science international)

時間割番号	021186				
科目名	歯科医療と救急医療			科目ID	DD-552604-L
担当教員					
開講時期	2021年度前期	対象年次	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:全身と歯科医療

コマ数:10＋1

授業形態:講義・実習

ユニット番号:03

主な講義場所

第4講義室

授業の目的、概要等

歯科医療に必要な救急医学の基本的知識を修得する。 歯科医療との関連性を理解する。

授業の到達目標

1） 歯科治療に際しての全身的ならびに局所的な偶発症を理解できる。

2） 歯科治療に際しての全身的ならびに局所的な偶発症に対処できる。

3） 心肺蘇生法が行える。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	5/31	13:50-16:40	歯学科第4講義室	一次救命処置	脇田 亮
4-6	6/18	09:00-11:50	歯学科第4講義室	二次救命処置	脇田 亮
7	6/25	09:00-09:50	歯学科第1講義室	試験	脇田 亮

成績評価の方法

最終日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。

適宜レポートによる形成的評価を行う。

実習の習熟度による定性的評価も併せて行う。

準備学習等についての具体的な指示

歯科治療時の救急医療に必要な、生理学・薬理学・解剖学等の知識を事前に整理しておく。

試験の受験資格

全授業時間数のうち4分の3以上出席していなければならない。

教科書

BLS ヘルスケアプロバイダー受講者マニュアル　AHA ガイドライン 2015 準拠

参考書

歯科麻酔学 = Dental Anesthesiology／福島和昭 監修,一戸達也, 北畑洋, 嶋田昌彦, 丹羽均, 宮脇卓也 編,福島, 和昭,一戸, 達也, 1956-, 北畑, 洋,嶋田, 昌彦,:医歯薬出版, 2019

臨床歯科麻酔学／丹羽均, 入舩正浩, 小長谷光, 澁谷徹, 深山治久 編,丹羽, 均,入舩, 正浩,小長谷, 光,:永末書店, 2019

BLS プロバイダーマニュアル／American Heart Association／著,American Heart Association,アメリカ心臓協会,:シナジー, 2016-09

ACLS プロバイダーマニュアル／American Heart Association 著,アメリカ心理学会,:シナジー, 2017

時間割番号	021187				
科目名	歯科医療と内科診断学			科目ID	DD-552605-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:全身と歯科医療

コマ数:5＋1

授業形態:講義・実習

ユニット番号:04

授業の目的、概要等

歯科医療に携わるうえで必要な内科診断学の基本的知識および臨床検査について修得する。

実習では、主にバイタルサインの基本的な測定方法について学ぶ。

授業の到達目標

1） 患者の身体所見を正確に把握できる。

2） 意識, 血圧, 脈拍, 呼吸数, 体温などのバイタルサインを測定し, 評価できる。

3） 基本的な臨床検査の目的と検査法が説明できる。

成績評価の方法

・最終日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。

・出欠も評価の対象とする場合がある。

準備学習等についての具体的な指示

本講義受講前に「歯科医療と麻酔」の授業内容についての復習が必要である。教科書を参考に、基本的事項の再確認をしておくこと。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

・レポート提出により受験資格を認めることがある。

教科書

内科診断学／武内重五郎著,谷口, 興一,武内, 重五郎,:南江堂, 2011

参考書

歯科麻酔学 第7版／福島和昭, 原田純, 嶋田昌彦, 一戸達也, 丹羽均 編,金子譲 監修,:医歯薬出版, 2011

異常値の出るメカニズム : LABORATORY MEDICINE／河合忠, 屋形稔, 伊藤喜久, 山田俊幸 編集,河合忠, 伊藤喜久, 山田俊幸, 櫻林郁之介, 櫻井晃洋 執筆,:医学書院, 2013

内科学書 = Standard Textbook of Internal Medicine／小川聡 総編集,:中山書店, 2013

検査値を読むトレーニング : ルーチン検査でここまでわかる／本田孝行著,本田, 孝行,:医学書院, 2019

備考

このユニットの実習は歯科医療と救急医療実習と同時期に行う。

実習日程およびグループ分けについては、直前に教務係を通して連絡する。

実習では白衣・院内履きを着用し、患者診療に携わるのに相応しい服装で臨むこと。

時間割番号	021188				
科目名	発展歯科臨床			**科目ID**	DD-552700-L
担当教員	三浦 雅彦, 豊福 明[MIURA MASAHIKO, TOYOFUKU AKIRA]				
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	5	**単位数**	4
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール総コマ数:授業 66 コマ＋試験 6 コマ

モジュール番号:27

主な講義場所

ZOOM による遠隔講義・演習

授業の目的、概要等

発展的な専門歯科領域における診断・治療法の基本を習得する。

授業の到達目標

各ユニットの到達目標を確認し受講すること。

成績評価の方法

各ユニットの評価法を確認すること。

準備学習等についての具体的な指示

各ユニットの指示に従うこと。

試験の受験資格

各ユニットの受験資格による。

構成ユニット

01:臨床歯科放射線診断

02:臨床歯科放射線治療

03:スポーツ歯科臨床

04:顎機能障害

05:こころの病と歯科臨床

06:ケーススタディ

07:口腔顔面痛

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

備考

モジュール責任者:三浦雅彦

オフィスアワー:月・水・金、16:00～18:00、M&D タワー7 階 S755

メールアドレス:masa.mdth@tmd.ac.jp

時間割番号	021189				
科目名	臨床歯科放射線診断			科目ID	DD-552701-L
担当教員					
開講時期	2021年度前期	対象年次	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:発展歯科臨床

コマ数:8＋1 (必要自習時間3時間)

授業形態:講義　ユニット番号:01

授業の目的、概要等

発展的な専門歯科領域における診断・治療法の基本を習得する。

授業の到達目標

1) 口腔顎顔面領域の嚢胞、良性腫瘍や炎症の画像所見を理解し、診断できる。

2) 口腔顎顔面領域の悪性腫瘍の画像所見を理解し、診断できる。

3) 顎関節疾患の画像所見を理解し、診断できる。

4) 唾液腺疾患の画像所見を理解し、診断できる。

5) 全身疾患や先天異常と関連する口腔顎顔面領域の特徴的画像所見を理解し、診断できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	5/20	12:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	顎骨疾患の画像診断	AL 画像診断の基本についての説明を聴いた後、症例の読影および診断を自ら行う。	倉林 亨
3-4	5/27	12:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	顎骨疾患の画像診断	AL 画像診断の基本についての説明を聴いた後、症例の読影および診断を自ら行う。	倉林 亨
5-6	6/8	12:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	顎骨/軟組織疾患の画像診断	AL 画像診断の基本についての説明を聴いた後、症例の読影および診断を自ら行う。	倉林 亨
7-8	6/10	12:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	軟組織疾患の画像診断	AL 画像診断の基本についての説明を聴いた後、症例の読影および診断を自ら行う。	倉林 亨
9	6/23	09:00-09:50	特別講堂	筆記試験		倉林 亨

成績評価の方法

・6月23日の筆記試験を総括的評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・3分の2以上の出席を必要とする。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

歯科臨床における画像診断アトラス 第2版／日本歯科放射線学会 編.:医歯薬出版, 2020

歯科放射線診断 teaching file 第4版／金田隆, 倉林亨, 佐野司 編著,金田, 隆, 1959-,倉林, 亨, 1957-,佐野, 司,:砂書房, 2019

基本臨床画像診断／佐野司, 倉林亨 編著:医歯薬出版, 2014

DIAGNOSTIC IMAGING: ORAL AND MAXILLOFACIAL／Koenig LJ ed.:ELSEVIER, 2017

歯科放射線学 第6版／岡野友宏, 小林馨, 有地榮一郎 編集,岡野, 友宏, 1947-,小林, 馨, 1955-,有地, 榮一郎,:医歯薬出版, 2018

顎・口腔の CT・MRI = CT and MRI of the Jaw and Oral Cavity／酒井修, 金田隆 編集.:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016

備考

ケース演習を行う

時間割番号	021190				
科目名	臨床歯科放射線治療			科目ID	DD-552702-L
担当教員	三浦 雅彦, 渡邊 裕, 吉村 亮一[MIURA MASAHIKO, WATANABE HIROSHI, YOSHIMURA RYOICHI]				
開講時期	2021年度前期	対象年次	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:発展歯科臨床

ユニットコマ数(授業コマ数+試験コマ数):6+1

授業形態:講義(討論あり)

ユニット番号:02

主な講義場所

ZOOMによる遠隔講義

授業の目的、概要等

種々の腫瘍に対する従来の放射線療法、高精度放射線治療、粒子線治療がどのように行われているかを、その診断・治療法の変遷とともに物理的、生物学的な要素を含めて理解する。口腔・顎顔面領域がんに対する放射線療法、特に小線源治療の有効性について理解する。症例も提示し、どのような放射線治療が適応となるかについて討論する。

授業の到達目標

1)放射線の物理学的特性を説明できる。

2)放射線の生物学的効果を説明できる。

3)治療可能比を説明できる。

4)種々の腫瘍に対する外照射と小線源治療の特徴を説明できる。

5)放射線治療の適応を診断できる。

5)分割照射の特徴を説明できる。

6)口腔がんに対する放射線治療の特徴を説明できる。

7)口腔がんの放射線治療成績を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/27	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	放射線物理学	(AL) 放射線腫瘍学に必要な物理学	渡邊 裕	Zoom情報は後で連絡
2	5/27	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	放射線生物学・腫瘍学	(AL) 放射線腫瘍学に必要な生物学	戒田 篤志	Zoom情報は後で連絡
3	6/3	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	放射線腫瘍学概論	(AL) 口腔がん以外の他領域に対する外照射・小線源治療	吉村 亮一	Zoom情報は後で連絡
4	6/3	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	放射線腫瘍学概論	(AL) 口腔がん以外の他領域に対する外照射・小線源治療	吉村 亮一	Zoom情報は後で連絡
5	6/11	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	口腔がんの放射線腫瘍学	(AL) 口腔がんに対する外照射・小線源治療	三浦 雅彦	Zoom情報は後で連絡
6	6/11	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	口腔がんの放射線腫瘍学	(AL) 口腔がんに対する外照射・小線源治療	三浦 雅彦	Zoom情報は後で連絡
7	6/23	10:00-10:50	特別講堂	筆記試験		三浦 雅彦	

授業方法

講義

成績評価の方法

2021年6月23日(ユニット最終日)の筆記試験を統括的評価とする。

適宜レポートによる評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

D3 で学んだ放射線物理と放射線生物学の復習をしておくこと。

試験の受験資格

・3分の2以上の出席を必要とする。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

02 臨床歯科放射線治療

参考書

歯科放射線学 第 6 版／岡野友宏, 小林馨, 有地榮一郎 編集.:医歯薬出版, 2018

Radiobiology for the radiologist, 8th ed／Eric J. Hall, Amato J. Giaccia,:Wolters Kluwer Health/Lippincott Williams & Wilkins, 2019

臨床放射線腫瘍学 = Clinical Radiation Oncology : 最新知見に基づいた放射線治療の実践／日本放射線腫瘍学会, 日本放射線腫瘍学研究機構 編集.:南江堂, 2012

放射線医科学 : 生体と放射線・電磁波・超音波／大西武雄 監修,松本英樹 副監修,近藤隆, 島田義也, 田内広, 平岡真寛, 三浦雅彦, 宮川清, 宮越順二 編集.:医療科学社, 2016

備考

討論あり

連絡先(メールアドレス)

三浦 雅彦:masa.mdth@tmd.ac.jp

吉村 亮一:ysmrmrad@tmd.ac.jp

渡邊 裕:hiro.orad@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三浦 雅彦:月、水、金 16:00－18:00 M&D タワー7 階 S755

吉村 亮一:設けていません。メールでお問い合わせ下さい。

渡邊 裕:毎週金曜日 P.M.0:00-16:00

時間割番号	021191				
科目名	スポーツ歯科臨床			科目ID	DD-552703-L
担当教員	上野 俊明[UENO TOSHIAKI]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:発展歯科臨床

授業形態:遠隔講義＋WebClass 学習

時間数:6 コマ

必修

主な講義場所

遠隔講義

授業の目的、概要等

スポーツ医歯学の基本的知識を習得し，スポーツ医歯科学サポートの在り方を理解する。

授業の到達目標

1） 歯科領域のスポーツ傷害の診断・治療および予防(安全対策)について説明できる。

2） マウスガードおよびフェイスガードの調製法について説明できる。

3） 咬合と運動機能の関わりについて説明できる。

4） スポーツのためのデンタルチェックについて説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/3	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	スポーツ歯学とスポーツ医・科学サポート	遠隔講義	上野 俊明
2	6/3	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	スポーツ歯科外傷の診断・治療と予防	遠隔講義	上野 俊明
3	6/17	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	マウスガードの調製法	遠隔講義	上野 俊明
4	6/17	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	咬合と全身の関わり	遠隔講義	上野 俊明
5	6/24	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	スポーツのためのデンタルチェック	遠隔講義	上野 俊明
6	6/24	10:00-10:50	遠隔授業（非同期型）	WebClass コース学習	CAL 教材学習（当該時間でなくても、自分の都合の良い時間に実施してもよい）	上野 俊明
7	7/12	09:00-09:50	特別講堂	筆記試験		上野 俊明

成績評価の方法

・ユニット最終日の筆記試験による総括的評価を行い，合否を判定する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料が配布または WebClass にアップされた場合は予習してから講義に出席すること。

試験の受験資格

・3分の2以上出席を必要とする。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判 定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

教科書

要説スポーツ歯科医学／石上惠一, 上野俊明, 川良美佐雄, 前田芳信, 安井利一 編集,石上, 惠一, 1950-,上野, 俊明, 1967-,川良, 美佐雄,:医学情報社, 2015

実践スポーツマウスガード : 製作・調整と競技別サポート／大山喬史 監修,上野俊明 編集,大山, 喬史, 1939-,上野, 俊明, 1967-,:医学情報社, 2014

スポーツ歯科臨床マニュアル／日本スポーツ歯科医学会編集,日本スポーツ歯科医学会,:医学情報社, 2007

参考書

要説スポーツ歯科医学／石上惠一, 上野俊明, 川良美佐雄, 前田芳信, 安井利一 編集,石上, 惠一, 1950-,上野, 俊明, 1967-,川良, 美佐雄,:医学情報社, 2015

実践スポーツマウスガード : 製作・調整と競技別サポート／大山喬史 監修,上野俊明 編集,大山, 喬史, 1939-,上野, 俊明, 1967-,:医学情報社, 2014

スポーツ歯科入門ハンドブック : 健康スポーツ歯科をめざして／安井利一, 杉山義祥 編著,姫野かつよ [ほか]著,:医学情報社, 2009

スポーツ歯科臨床マニュアル／日本スポーツ歯科医学会 編,:医学情報社, 2007

医師・歯科医師のための口腔診療必携 : 困ったときのマニュアル・ヒント集 202／青木茂樹 [ほか]編,高戸毅 監修,:金原出版, 2010

口と歯の事典／高戸毅, 天笠光雄, 葛西一貴, 古郷幹彦, 須佐美隆史, 鈴木茂彦, 谷口尚, 新美成二 編,:朝倉書店, 2008

スポーツ指導者のためのスポーツ医学／小出清一, 福林徹, 河野一郎 編,:南江堂, 2009

新スポーツのためのメディカルチェック／村山正博 監修,武者春樹 編,:南江堂, 2002

Textbook and Color Atlas of Traumatic Injuries to the Teeth, 4th Edition／Jens O. Andreasen (Editor), Frances M. Andreasen (Editor), Lars Andersson (Editor):Wiley-Blackwell, 2007

スポーツ医科学／中野昭一 編,:杏林書院, 1999

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

連絡先(メールアドレス)

上野 俊明:t.ueno.spmd@tmd.ac.jp

オフィスアワー

上野 俊明:月木 16:00-17:00 10 号館 3 階スポーツ医歯学准教授室

時間割番号	021192				
科目名	顎機能障害			科目ID	DD-552704-L
担当教員					
開講時期	2021年度前期	対象年次	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

本授業は，日本学各関節学会が出している「顎関節症治療の指針 2020」(http://kokuhoken.net/jstmj/publication/file/guideline/guideline_treatment_tmj_2020.pdf)をテキストとして用い，この内容を事前学習していることを前提に実施します.

主な講義場所

遠隔授業

授業の目的、概要等

顎機能障害(顎関節症)について，疫学，病態，診査法，診断，治療法の基礎的知識を習得する．また，顎関節症に関する診査結果から，実際に病態診断を行う.

授業の到達目標

1. 顎機能障害(顎関節症)の定義を理解する.
2. 顎機能障害(顎関節症)と鑑別すべき疾患を理解する.
3. 顎機能障害(顎関節症)の病態分類を理解する.
4. 顎機能障害(顎関節症)の診査法を理解する.
5. 顎機能障害(顎関節症)の診断方法を理解する.
6. 顎機能障害(顎関節症)の診断をすることができる.
7. 顎機能障害(顎関節症)の治療概念を理解する.
8. 顎機能障害(顎関節症)の治療方法を理解する.
9. 顎機能障害(顎関節症)の病因について理解する.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/25	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	顎関節症の定義と病態	AL 講義	西山 暁 梁 珊珊	
2	5/25	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	顎関節症の疫学と病因論	AL 講義	西山 暁 梁 珊珊	
3	5/25	15:50-16:40	遠隔授業(同期型)	顎関節症の治療計画と検査	AL 講義	西山 暁 梁 珊珊	
4	6/1	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	顎関節症の診断	AL 講義	西山 暁 梁 珊珊	
5-6	6/1	13:50-15:40	遠隔授業(同期型)	診断演習/発表	グループワーク/発表	西山 暁 梁 珊珊	
7	6/7	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	顎関節症の治療	AL 講義	西山 暁 梁 珊珊	
8	6/7	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	ブラキシズム	AL 講義	西山 暁 梁 珊珊	
9	6/10	10:00-10:50	歯学科第1講義室	筆記試験		西山 暁	

成績評価の方法

試験日の筆記試験の結果で判定

準備学習等についての具体的な指示

本授業は，日本学顎関節学会が出している「顎関節症治療の指針 2020」(http://kokuhoken.net/jstmj/publication/file/guideline/guideline_treatment_tmj_2020.pdf)をテキストとして用い，この内容を事前学習していることを前提に実施します．※本PDFファイルは無料でダウンロード可能です

教科書

「顎関節症治療の指針 2020」(http://kokuhoken.net/jstmj/publication/file/guideline/guideline_treatment_tmj_2020.pdf)

参考書

新編顎関節症／日本顎関節学会編 ; 覚道健治 [ほか] 編集委員,日本顎関節学会,覚道, 健治,久保田, 英朗,小林, 馨,古谷野, 潔,柴田, 考典,杉崎, 正志,:永末書店, 2013

TMD を知る : 最新顎関節症治療の実際／井川雅子 [ほか] 著,井川, 雅子,村岡, 渡,大久保, 昌和,Goddard, Greg, D.D.S,:クインテッセンス出版, 2011

口腔顎顔面痛の最新ガイドライン : 米国 AAOP 学会による評価,診断,管理の指針／Reny de Leeuw 編,杉崎正志, 今村佳樹 監訳,Leeuw, Reny de,杉崎, 正志,今村, 佳樹,:クインテッセンス出版, 2009

他科目との関連

オクルージョン「顎関節症と咬合」, 口腔顔面痛の内容と一部関連します

履修上の注意事項

本授業では, Zoom による双方向授業を予定しています. 講義中に知識確認テストや, グループディスカッションを行ってもらう予定です.

時間割番号	021193				
科目名	こころの病と歯科臨床			科目ID	DD-552705-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:発展歯科臨床

コマ数:14＋1

授業形態:講義および演習

ユニット番号:05

主な講義場所

zoom による遠隔講義

授業の目的、概要等

歯科医療に必要な精神医学および歯科心身医学の基本的知識を修得する。

精神医学と歯科医療との関連性について討論し、理解を深める。

歯科医療に必要な歯科心身医学的対応について演習し、理解を深める。

授業の到達目標

1） 代表的 な精神疾患の概念を説明できる。

2） 精神疾患の代表的 な治療薬を説明できる。

3） 精神疾患患者の歯科治療上の問題を説明できる。

4） 歯科を受診する精神疾患患者への適切な対応を説明できる。

5） 歯科心身症の病態を 説明できる。

6） 代表的な歯科心身症の 診断と治療法を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	6/1	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	歯科心身症(総論)	豊福 明	討論あり
2	6/1	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	舌痛症	豊福 明, 加藤 雄一	討論あり
3	6/1	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	非定型歯痛	豊福 明, 三浦 杏奈	討論あり
4	6/17	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	口腔異常感症(セネストパチー)口臭恐怖症	豊福 明	討論あり
5-6	6/17	13:50-15:40	遠隔授業（同期型）	開業医における歯科心身医療	吉川 達也	討論あり
7	6/24	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	双極性障害と睡眠障害	髙木 俊輔	討論あり
8	6/24	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	認知症	竹内 崇	討論あり
9	6/24	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	てんかん	宮島 美穂	討論あり
10	6/29	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	歯科における精神疾患患者の見極め方	竹之下 美穂	演習あり
11	6/29	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	他学における歯科心身医療 口腔異常感症(セ	梅崎 陽二朗	演習あり

				ネストパチー)		
12	6/29	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	精神疾患を合併した患者の歯科治療　まとめ	豊福 明	討論あり
13	7/8	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	パーソナリティ障害	治徳 大介	討論あり
14	7/8	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	不安障害	藤野 純也	討論あり
15	7/8	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	統合失調症	田村 赳紘	討論あり
16	7/12	13:50-14:40	特別講堂	試験	豊福 明, 竹之下 美穂	演習

成績評価の方法

・ユニット最終日(2021 年 7 月 12 日)に、筆記試験を行い、形成的評価を行う。

・適宜レポートによる形成的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

精神疾患患者が歯科受診した場合の対処法、および歯科心身症の診断や治療について理解するため、教科書・参考書やインターネットなどを用いて疾患概念や病態および治療法などに関する予習をしておく。

試験の受験資格

・ユニット後tに、全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

・レポート提出により受験資格を認めることがある。

教科書

歯科心身医学／日本歯科心身医学会 編:日本歯科心身医学会, 2003

ACP 内科医のための「こころの診かた」: ここから始める!あなたの心療／Robert K.Schneider, James L.Levenson [著],井出広幸, 内藤宏監訳,PIPC 研究会 訳:丸善, 2009

精神科専門医のためのプラクティカル精神医学／山内俊雄 総編集,岡崎祐士, 神庭重信, 小山司, 武田雅俊 編:中山書店, 2009

心身医療と歯科医療 : 歯・口腔・顎と心と健康科学／都温彦 編著,:新興医学出版社, 2005

DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル／American Psychiatric Association [編],日本精神神経学会 日本語版用語監修,高橋三郎, 大野裕監訳,染矢俊幸, 神庭重信, 尾崎紀夫, 三村將, 村井俊哉 訳:医学書院, 2014

参考書

ヒーリー精神科治療薬ガイド／デイヴィッド・ヒーリー [著],田島治, 江口重幸 監訳,冬樹純子 訳:みすず書房, 2009

カプラン臨床精神医学ハンドブック : DSM-Ⅴ診断基準による診療の手引／ベンジャミン・J.サドック, バージニア・A.サドック 編,融道男, 岩脇淳 監訳:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2020

プライマリ・ケア医による自殺予防と危機管理／杉山直也/河西千秋/井出広幸/宮崎 仁:南山堂

口腔内科学／山根源之/草間幹夫/久保田英朗:永末書店

参照ホームページ

http://www.tmd.ac.jp/grad/ompm/ompm-J.htm

時間割番号	021194				
科目名	ケーススタディ			科目ID	DD-552706-L
担当教員					
開講時期	2021年度前期	対象年次	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

ユニット:ケーススタディ

ユニット責任者:笛木賢治

ユニット番号:06

解説時期:5年 前期

ユニットコマ数(授業コマ数+試験コマ数):18 + 0

授業形態:講義, グループ学習

主な講義場所

遠隔(Zoom)にて実施します.

授業の目的、概要等

複数の臨床科目の実践を必要とする症例に対する治療計画の立案法を理解する.

授業の到達目標

1)与えられた症例の情報から個々の患者の問題点を抽出できる。

2)NBM(主訴)を考慮した治療計画の立案方法を説明できる。

3)EBMに基づいた治療計画の立案方法を説明できる。

4)複数の臨床科目の方法論を必要とする症例の治療計画を説明できる。

5)複数の臨床科目の中から症例に適した治療方法を選択する考え方を説明できる。

6)有病高齢者の口腔機能回復とその維持に対する方策を立案できる。

7)患者の社会的な背景を考慮した治療計画の立案方法を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	6/21	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	ケーススタディ	症例1 前半 グループワーク(課題の探索)	笛木 賢治, 和田 淳一郎, 濵 洋平, 橋本 健太郎	Zoomミーティング情報は後日お知らせします.
4-6	6/22	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	ケーススタディ	症例1 後半 グループワーク(課題の発表)	笛木 賢治, 濵 洋平, 橋本 健太郎	Zoomミーティング情報は後日お知らせします.
7-9	6/25	13:50-16:40	遠隔授業(同期型)	ケーススタディ	症例2 前半 グループワーク(課題の探索)	笛木 賢治, 和田 淳一郎, 稲用 友佳, 奈良 圭介	Zoomミーティング情報は後日お知らせします.
10-12	6/30	13:50-16:40	遠隔授業(同期型)	ケーススタディ	症例2 後半 グループワーク(課題の発表)	笛木 賢治, 稲用 友佳, 奈良 圭介	Zoomミーティング情報は後日お知らせします.
13-15	7/5	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	ケーススタディ	症例3 前半 グループワーク(課題の探索)	笛木 賢治, 進 千春, 佐藤 美穂	Zoomミーティング情報は後日お知らせします.
16-18	7/6	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	ケーススタディ	症例3 後半 グループワーク(課題の発表)	笛木 賢治, 進 千春, 佐藤 美穂	Zoomミーティング情報は後日お知らせします.

成績評価の方法

ユニットの合格判定には，グループ学習の成績を基にして，出席日数及び平常学習態度等が評価に加味される.

準備学習等についての具体的な指示

事前学習として必要な資料は，授業2日前までにWeb Class 上に掲示するので，必ず閲覧し，指示に従うこと.

試験の受験資格

・3分の2以上の授業，4分の3以上のグループ学習の出席を必要とする。

・合格判定を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

06　ケーススタディ

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判 定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

教科書

患者の診かたと歯科診療／黒崎紀正 [ほか]編,:医歯薬出版，2001

参考書

Behavioral Dentistry. Mostofsky (著), Fortune (著) Wiley-Blackwell; 2 版 (2013/12/31) ISBN-13: 978-1118272060

備考

ZOOM 開催情報は，WebClass に掲示します.

時間割番号	021212				
科目名	口腔顔面痛			科目ID	DD-552707-L
担当教員					
開講時期	2021年度前期	対象年次	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業の目的、概要等

口腔顔面痛の概念を理解し，診断，治療法について理解する。新たに受け取った口腔顔面領域の疼痛に関する情報と、過去に構築した口腔顔面に関する疼痛の知識体系、具体的には基礎の生理学（侵害受容性疼痛、神経障害性疼痛など）、病態科学演習（疼痛）ならびに口腔外科での神経疾患講義との関連を考える。さらに症例提示による討論、PBL を通じ、新たに受け取った講義での情報を用いて具体的事例（臨床症例）において応用する問題解決能力を養う。

授業の到達目標

1）口腔顔面痛を分類できる。
2）口腔顔面痛の発生機序を理解する。
3）口腔顔面痛の診断基準を説明できる。
4）有効な治療法を選択できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/28	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	口腔顔面痛総論	AL 講義（担当は新任教授に変更予定）	西山 暁	
2	6/28	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	歯原性歯痛	AL 講義	興地 隆史	
3	7/9	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	非歯原性歯痛/神経障害性疼痛	AL 講義	山﨑 陽子	
4	7/9	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	顎関節症の痛み（筋筋膜痛含む）	AL 講義	西山 暁	
5	7/9	15:50-16:40	遠隔授業（同期型）	診断演習	グループディスカッション	西山 暁, 山﨑 陽子, 梁 珊珊	
6	7/12	12:50-13:40	特別講堂	筆記試験		西山 暁, 山﨑 陽子	

成績評価の方法

ユニット最終日に筆記試験を行い，総括的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

生理学で学んだ侵害受容性疼痛、3年次での病態科学演習の疼痛、5年次のモジュール名：顎口腔医療、ユニット名：顔面・顎・口腔疾患の神経疾患（神経障害性疼痛）の内容を再度復習しておいてください。

教科書

口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック／日本口腔顔面痛学会 編,日本口腔顔面痛学会,：医歯薬出版, 2016
ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス／Neil S.Norton 著,前田健康 監訳,Norton, Neil Scott,前田, 健康, 1959-,：エルゼビア・ジャパン, 2018
歯科麻酔学／福島和昭 [ほか] 編集 ; 金子譲 [ほか] 執筆,金子, 譲,福島, 和昭,：医歯薬出版, 2011

参考書

神経障害性疼痛診療ガイドブック／小川節郎編集,小川, 節郎,：南山堂, 2010

時間割番号	021195				
科目名	臨床情報処理			科目ID	DD-552800-L
担当教員					
開講時期	2021年度前期	対象年次	5	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:13(1)(＋包括臨床実習内の3コマ)(必要自習時間数8時間)
授業形態:演習
モジュール番号:28

主な講義場所
各ユニットの講義場所を参照のこと

授業の目的、概要等
根拠に基づいた歯科医療を実践するために、情報を適切に処理・活用する能力を修得する。

授業の到達目標
各ユニットの到達目標を参照のこと

成績評価の方法
各ユニットの成績評価の方法を参照のこと

準備学習等についての具体的な指示
各ユニットの指示を参照のこと。

試験の受験資格
ユニットごとに時間数合計の3分の2以上の出席を必要とする。

構成ユニット
1 根拠に基づく歯科医療
2 歯科医療情報システム
3 歯科診療文書

モジュールの単位判定
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

備考
モジュール責任者:佐々木 好幸
オフィスアワー:随時(事前にメールでアポイントを取ること)
メールアドレス:sasaki.prev@tmd.ac.jp

時間割番号	021196				
科目名	根拠に基づく歯科医療			**科目ID**	DD-552801-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:臨床情報処理

コマ数:6＋1／3(必要自習時間5時間)

授業形態:演習

ユニット番号:1

授業の目的、概要等

EBM(Evidence-based Medicine)の重要性を理解し、歯科医療に必要な情報を検索・収集・吟味し, 歯科医療に応用する能力を修得する。

授業の到達目標

1） EBM の概念を説明できる.

2） 歯科治療に関する根拠を説明できる.

3） 根拠(Evidence)の信頼性について具体的に説明できる.

4） いくつかの症例における患者の問題を定式化できる.

5） 情報を自ら収集, 分析して問題点を探し出すことができる.

6） 問題解決のための情報収集と絞込みができ, その評価の方法を説明できる.

7） 情報の批判的吟味ができる.

8） リスク比, オッズ比, 感度, 特異度, NNT を説明できる.

9） 統合された情報(二次情報)を解釈でき, いくつかの症例に適用できる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	6/23	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	EBM・EBD Evidenced-based medicine EBMの実践 EBM の 5 ステップ EBM の実践演習	(AL) 講義・演習 WebClass: FDS21040 D5 臨床情報処理 2021	佐々木 好幸	
4-6	6/29	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	EBM・EBD 論文の吟味グループワーク 論文の吟味結果の発表	(AL) 演習・グループワーク WebClass: FDS21040 D5 臨床情報処理 2021	佐々木 好幸	

成績評価の方法

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。

・筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

2 回目の演習までに指定の英論文を解釈し、ワークシートにまとめること。

試験の受験資格

・モジュール全体として、ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

Evidence-based medicine : EBM の実践と教育／David L.Sackett [ほか]著,:エルゼビア・サイエンス, 2003

EBM の道具箱／カール・ヘネガン, ダグラス・バデノック 著,斉尾武郎 監訳,Heneghan, Carl,Badenoch, Douglas,斉尾, 武郎,:中山書店, 2007

EBM 楽しい演習帳／ポール・グラシュー, クリス・デルマー, ジャネット・ソールズベリー 著,斉尾武郎 訳,:金芳堂, 2004

Evidence-based medicine : how to practice and teach EBM 5thED／Straus, Sharon E,Glasziou, Paul P.,Richardson, W. Scott,Haynes, R. Brian,: Elsevier, 2019
履修上の注意事項 1 回目の演習に欠席した者は、速やかに担当教員に連絡すること。
備考 グループワーク、討論、発表を行う。

時間割番号	021197				
科目名	歯科医療情報システム			科目ID	DD-552802-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:臨床情報処理

コマ数:3＋1／3(＋包括臨床実習の 3 コマ)(必要自習時間 1 時間)

授業形態:演習

ユニット番号:2

授業の目的、概要等

歯科医療における情報の特性を理解し、歯科医療情報を適切に処理・活用する能力を修得する。

授業の到達目標

1) 医療情報の特性を説明できる。
2) 医療情報における歯科の特性を説明できる。
3) 診療録が具備すべき要件を説明できる。
4) POMR の概念を説明できる。
5) 患者情報からプロブレムを発見し、プロブレムリストを作成できる。
6) 医療情報をプロブレムごとに SOAP にまとめることができる。
7) 患者情報から的確な治療方針を立案し説明できる。
8) 歯学部附属病院医療情報システムを操作できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	7/1	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	医療情報学総論 医療情報、医療情報システム、電子カルテ、標準化 POS Problem list プログレスノート SOAP	(AL) 講義・演習 WebClass: FDS21040 D5 臨床情報処理 2021	佐々木 好幸	

成績評価の方法

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。
・筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

シラバスを参照して、参考書のいずれかを予習しておくことが望ましい。誤った記載の情報が多いので、情報の信頼性に注意して予習すること。

試験の受験資格

・モジュール全体として、ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

電子カルテってどんなもの?／電子カルテ研究会 編,開原成允 [ほか]著,:中山書店, 2002
POS医療と医学教育の革新のための新しいシステム／日野原重明 著,:医学書院, 1993
あすかちゃんの POS : ナースのための POS 入門／中木高夫 原作,キリ光乗 作画,:照林社, 1993
POS をナースに／中木高夫 著,:医学書院, 1998

電子カルテ時代の POS : 患者指向の連携医療を推進するために／日野原重明 監修,渡辺直 著,:医学書院, 2012
履修上の注意事項 このユニットは歯学科第 5 学年前期の 3 時間の講義・演習と、歯学科第 5 学年の包括臨床実習内の電子総合診療録操作実習の両方の出席を要する。
備考 CBL を行う。 包括臨床実習中の 3 コマで、医療情報システム操作練習(実習)を行う。

時間割番号	021198				
科目名	歯科診療文書			**科目ID**	DD-552803-L
担当教員					
開講時期	2021年度前期	**対象年次**	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:臨床情報処理

コマ数:3＋1/3(必要自習時間2時間)

授業形態:演習

ユニット番号:03

授業の目的、概要等

日本における歯科医療保険制度の概要を理解し、適切な診療を実施するための基本的業務を理解する。

授業の到達目標

1) 保健、医療制度を説明できる。
2) 医療保険制度を説明できる。
3) 守秘義務、医療情報のセキュリティー管理の重要性を説明できる。
4) 個人情報の適切な保護について説明できる。
5) プライバシーと個人情報の違いを説明できる。
6) 医療情報の開示に関する注意点を説明できる。
7) 歯科医療における処方箋、依頼書、報告書、紹介状、照会状などの文書を記述できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	7/6	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	医療情報の取り扱い 情報漏洩の実例 個人情報の保護、プライバシー OECD8原則 個人情報とプライバシーの違い 診療文書の作成 処方箋、紹介状、照会状	(AL) 講義・演習 WebClass: FDS21040 D5 臨床情報処理 2021	佐々木 好幸	

成績評価の方法

・筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

シラバスを参照して、参考図書や類似情報を予習しておくことが望ましい。

試験の受験資格

・モジュール全体として、ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

カルテ改ざん／石川寛俊 監修,医療情報の公開・開示を求める市民の会 編著,:さいろ社, 2004
歯科医療過誤訴訟の課題と展望 : 新しい医療の指針を求めて／若松陽子 編,:世界思想社, 2005
カルテ改ざん part2／石川寛俊 監修,医療情報の公開・開示を求める市民の会 編,:さいろ社, 2006
カルテ改ざんはなぜ起きる : 検証:日本と海外／石川寛俊, カルテ改ざん問題研究会 著,:日本評論社, 2006

備考

診療文書作成の演習を行う。

時間割番号	021199				
科目名	包括臨床実習			科目ID	DD-572900-E
担当教員					
開講時期	2021 年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	5～6	単位数	41
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業の目的、概要等

診療参加型臨床実習を円滑に実践、遂行するための準備段階として必要な基本的態度・知識・技能は何であるのかを理解する。患者本位の歯科医療を実践するために、必要な態度・知識・技能を修得する。

準備学習等についての具体的な指示

包括的臨床実習は、5年前期までに修得してきた全ての知識、態度、技能の集大成の場でもある。将来歯科医師になるためには、包括的臨床実習を円滑に進めるとともに有意義なものにしなければならない。そのためにも臨床実習の準備学習は必須である。詳細は各ユニットに具体的に示してある。

構成ユニット

01 包括臨床実習 Phase Ⅰ
02 頭頸部解剖
03 包括臨床実習 Phase Ⅱ(A)
04 包括臨床実習 Phase Ⅱ(B)
05 包括臨床実習 Phase Ⅲ

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

参考書

PMI ペリオドンタルモチベーショナルインタビューイング : 患者さんのやる気が変わる！ スタッフも楽しくなる！歯周治療を成功に導く世界標準のコミュニケーション技法／新田 浩 著・文・その他,新田 浩 監修,礪波健一 著・文・その他,礪波健一 監修,土岡弘明 著・文・その他,土岡弘明 監修,斎田寛之 著・文・その他,酒井和人 著・文・その他,関根 聡 著・文・その他,竹内祥吾 著・文・その他,武田浩平 著・文・その他,中村一寿 著・文・その他,奈良嘉峰 著・文・その他,福場駿介 著・文・その他,新田 浩,礪波健一,土岡弘明,斎田寛之,酒井和人,関根 聡,竹内祥吾,武田浩平,中村一寿,奈良嘉峰,福場駿介,:クインテッセンス出版, 2020-02-10

時間割番号	021200				
科目名	Phase Ⅰ			科目ID	DD-572901-E
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

主な講義場所

各診療科により集合場所は異なる。包括臨床実習 Phase Ⅰ オリエンテーション時に配布する「歯学部包括臨床実習 Phase Ⅰ の手引き」に記載してあるので確認すること。

授業の目的、概要等

診療参加型臨床実習を円滑に実践、遂行するための準備段階として必要な基本的態度、知識、技能は何であるのかを理解する。あわせて、治療計画の立案方法、チーム医療、医療安全、診療報酬算定、病院電子カルテ入力方法についても学習する。

6 年次学生が担当していた学生用患者の引き継ぎ（オーバーラップ）を行い、包括臨床実習 PhaseⅡ が実施できる環境を整える。

授業の到達目標

1） 主訴をよく聞き取るとともに、患者の病気に対する考えや治療に対する希望を把握できる。
2） 患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。
3） 患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。
4） 歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。
5） 診察、検査、診断および治療に必要な器材を説明できる。
6） 診療室への患者の誘導を適切にできる。
7） 患者に挨拶して自己紹介できる。
8） 救急処置に用いられる薬物を列挙し、その作用機序を説明できる。
9） 患者との信頼関係を築くことができる。
10） 個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。
11） 患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。
12） 患者に最も適した医療を説明できる。
13） 必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。
14） 説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。
15） 説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。
16） 患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。
17） 患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。

成績評価の方法

基本的に Phase Ⅰ 全実習日数の 4 分の 3 以上の出席で成績評価を行う。さらに以下の項目を加味する。

1）各診療科における指導教員のチェックリスト
2）オーバーラップ時の引き継ぎ予定患者に対する医療面接時の観察
3）各科実習、オーバーラップ時の平常実習態度
4）必要に応じて臨床指導教員が適宜口頭試問を行う。また、適宜レポートを課す。

準備学習等についての具体的な指示

必要自習時間45時間：各科実習は、包括臨床実習 PhaseⅡ への準備である。講義だけでなく、相互実習、治療見学・介助等、侵襲性の低い患者への歯科治療を行うので十分な予習が必要である。教科書・参考書などで知識の再確認をするだけでなく、基礎模型実習で習得した基本的な歯科技術練習をスキルスラボで復習することが望ましい。

試験の受験資格

試験はないが、Phase Ⅰ 全実習日数の 4 分の 3 以上の出席が履修判定に必要である。

参考書

口腔科学 = Stomatology／戸塚靖則, 高戸毅 監修,飯田順一郎, 伊藤公一, 岡野友宏, 木村博人, 小谷順一郎, 齊藤力, 佐々木啓一, 白砂兼光, 須田英明, 丹沢秀樹, 前田健康, 山根源之, 山本浩嗣 編集.：朝倉書店, 2013

実践!クリティカル・シンキングのすすめ : 探究・臨床力をアップする EBM の学び方と活用ポイント／八重垣健 監著,:クインテッセンス出版, 2009

人間学入門 : 医療のプロをめざすあなたに／日本医学教育学会倫理・行動科学小委員会/準備教育小委員会 編,:南山堂, 2009

PMI ペリオドンタルモチベーショナルインタビューイング : 患者さんのやる気が変わる！ スタッフも楽しくなる！歯周治療を成功に導く世界標準のコミュニケーション技法／新田 浩 著・文・その他,新田 浩 監修,礪波健一 著・文・その他,礪波健一 監修,土岡弘明 著・文・その他,土岡弘明 監修,斎田寛之 著・文・その他,酒井和人 著・文・その他,関根 聡 著・文・その他,竹内祥吾 著・文・その他,武田浩平 著・文・その他,中村一寿 著・文・その他,奈良嘉峰 著・文・その他,福場駿介 著・文・その他,新田 浩,礪波健一,土岡弘明,斎田寛之,酒井和人,関根 聡,竹内祥吾,武田浩平,中村一寿,奈良嘉峰,福場駿介,:クインテッセンス出版, 2020-02-10

履修上の注意事項

なお、診療系によっては欠席者に対して補習を行うことがある。補習を課せられた学生は、出席日数にかかわらず補習を受講しない限りPahseⅡに進めない。

備考

具体的な班分け、詳細な日程は包括臨床実習 Phase Ⅰ オリエンテーション時に示す。

時間割番号	021201				
科目名	Phase Ⅱ (A)			科目 ID	DD-572902-E
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業の目的、概要等

患者本位の歯科医療を実践するために、必要な態度・知識・技能を修得する。

授業の到達目標

1) 患者との信頼関係を築くことができる。
2) 個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。
3) 患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。
4) 患者に最も適した医療を説明できる。
5) 必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。
6) 説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。
7) 説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。
8) 患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。
9) 医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。
10) 患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。
11) 的確な診察と検査から得られた所見を適切に診療録に記載できる。
12) インフォームドコンセントを行うことができる。
13) 処方と処方箋の書き方を説明できる。
14) 研究用模型を作製するための印象を適切に採得できる。
15) 基礎実習で習得した基本的治療技術を実施できる。
16) 自ら行った処置の予後について予測ができる。
17) 歯科診療上の偶発的な事態に適切に対処できる。
18) 歯科保健の維持・増進に適切な助言・援助ができる。
19) 症例報告の準備ができる。
20) 症例報告ができる。

成績評価の方法

1)ポートフォリオによる自己チェック(形成評価)
2)エッセンシャルリクワイヤメント達成度(参考)
3)平常点(包括臨床実習ライター、専門(特殊)診療外来実習担当指導者、看護師等からの観察記録)

準備学習等についての具体的な指示

必要自習時間70時間:基本的に毎日午前・午後のどちらかで患者治療を行うので、治療予定内容についての予習は必須である。教科書・参考書などで知識の再確認をするだけでなく、治療内容についての技術練習をスキルスラボで行うことが望ましい。

試験の受験資格

特に試験は行わない。

モジュールの単位判定

5年後期の包括臨床実習 Phase Ⅱ (A)の全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければ第6学年に進級できない。

参考書

1 からわかるコンポジットレジン修復 : レジンが簡単にとれないためのテクニック／猪越重久 著,:クインテッセンス出版, 2012
歯科臨床イヤーノート = Year note of dental practice／住友雅人, 木下淳博, 沼部幸博, 松村英雄 編,:クインテッセンス出版, 2013
インレー修復 = inlay restoration : たしかな手技・臨床のかんどころ／笹崎弘己 著,笹崎, 弘己,:クインテッセンス出版, 2015
口腔機能の維持・向上による全身状態改善のためのオーラルケア・マネジメント実践マニュアル : 病院・施設・在宅における多職種協働を目指して／奥田聖介, 武井典子 編著,赤木重典 [ほか]著,別所和久 監修,奥田, 聖介,武井, 典子,赤木, 重典, 1952-,別所, 和久,:医歯薬出版, 2010

PMI ペリオドンタルモチベーショナルインタビューイング : 患者さんのやる気が変わる！ スタッフも楽しくなる！歯周治療を成功に導く世界標準のコミュニケーション技法／新田 浩 著・文・その他,新田 浩 監修,礪波健一 著・文・その他,礪波健一 監修,土岡弘明 著・文・その他,土岡弘明 監修,斎田寛之 著・文・その他,酒井和人 著・文・その他,関根 聡 著・文・その他,竹内祥吾 著・文・その他,武田浩平 著・文・その他,中村一寿 著・文・その他,奈良嘉峰 著・文・その他,福場駿介 著・文・その他,新田 浩,礪波健一,土岡弘明,斎田寛之,酒井和人,関根 聡,竹内祥吾,武田浩平,中村一寿,奈良嘉峰,福場駿介,:クインテッセンス出版, 2020-02-10

・「失敗しない歯髄保存療法」 須田英明 他 ｸｲﾝﾃｯｾﾝｽ出版

・「歯科領域における偶発症の予防とその対策」 藤井彰(編) ｸｲﾝﾃｯｾﾝｽ出版

・「チェアサイドにおける＜アトラス＞義歯修理の押さえどころ」 小林賢一 医歯薬出版

・「印象採得・精密印象を知る―適合のよい補綴物製作のために」 中村公雄、西川 徹 他 ｸｲﾝﾃｯｾﾝｽ出版

・「クラウンブリッジの臨床」 Stephen F. Rosenstiel ほか著、藤本順平共著・監訳 医歯薬出版

・「楽しく分かるクリニカルエンドドントロジー」 小林千尋 医歯薬出版

・「若手歯科医のための臨床の技 50 保存修復」 安田 登 ﾃﾞﾝﾀﾙﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞ社

備考

・具体的な班分け、詳細な包括臨床実習 PhaseⅡ(A)の日程は別に定める

・エッセンシャルリクワイヤメントの詳細は別に定める

・本ユニットは患者実習、各科配属実習、病院外実習、臨床セミナー講義を行う。

時間割番号	021213			
科目名	頭頸部臨床解剖		科目ID	DD-532905-E
担当教員	武智　正樹[TAKECHI MASAKI]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:包括臨床実習 (Phase 1)

ユニット名:頭頸部臨床解剖

ユニット番号:01

開設時期:5 年　後期

コマ数(授業コマ数):30＋3(必要自習時間20時間)

授業形態:講義・実習

主な講義場所

第3講義室　解剖実習室

授業の目的、概要等

歯科臨床における器官としての顎顔面領域の役割を理解するために、臨床症例を参考とした局所解剖学的構造と機能を人体解剖実習と連結させて統合的に修得する。

授業の到達目標

1) 咀嚼筋、表情筋の構成と機能を説明できる。

2) 舌と口蓋の形態学的特徴と機能を説明できる。

3) 唾液腺の形態学的特徴と機能を説明できる。

3) 頭頸部の脈管系を説明できる。

4) 三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、舌下神経の走向と分布および線維構成を説明できる。

5) 頭頸部の筋膜と筋間隙について説明できる。

6) 顔面神経麻痺に関連する解剖学的構造を説明できる。

7)義歯設計・筋圧形成に関連する筋を説明できる。

8) インプラン ト治療と関連する上・下顎骨の形態学的特徴を説明できる。

9) 顎関節疾患と関連する顎関節の構造と機能を説明できる。

10) 嚥下に関連する咽頭・喉頭の解剖学的構造を説明できる。

11)発声に関連する喉頭の解剖学的構造を説明できる。

12) 国家試験出題範囲に含まれる構造物を確認する

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/8	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	口腔外科講義	耳下腺疾患、顔面神経麻痺	大山　厳雄	
2	9/8	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	臨床解剖講義	表情筋、顔面神経、耳下腺等	秋田　恵一	
3	9/8	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	実習課題説明		武智　正樹	
4-6	9/8	13:50-16:40	解剖学実習室	頭頸部解剖実習 1	表情筋、耳下腺	武智　正樹	状況次第で Zoom 実習の可能性あり
7	9/17	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	義歯補綴講義	義歯設計と筋圧形成	水口　俊介	
8	9/17	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	臨床解剖学講義	咀嚼筋、口腔の諸器官	秋田　恵一	

9	9/17	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	実習課題説明		武智 正樹	
10-12	9/17	13:50-16:40	解剖学実習室	頭頸部解剖実習 2	咀嚼筋、口腔	武智 正樹	状況次第で Zoom 実習の可能性あり
13	9/24	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	インプラント講義	インプラントの臨床	黒田 真司	
14	9/24	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	臨床解剖講義	側頭下窩、上下顎骨	秋田 恵一	
15	9/24	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	実習課題説明		武智 正樹	
16-18	9/24	13:50-16:40	解剖学実習室	頭頸部解剖実習 3	側頭下窩、下顎骨	武智 正樹	状況次第で Zoom 実習の可能性あり
19	10/1	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	顎関節治療部講義	顎関節疾患の臨床	西山 暁	
20	10/1	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	臨床解剖学講義	顎関節の構造	武智 正樹	
21	10/1	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	実習課題説明		武智 正樹	
22-24	10/1	13:50-16:40	解剖学実習室	頭頸部解剖実習 4	顎関節	武智 正樹	状況次第で Zoom 実習の可能性あり
25	10/8	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	摂食嚥下講義	口腔ケアの臨床	戸原 玄	
26	10/8	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	臨床解剖学講義	咽頭、喉頭	武智 正樹	
27	10/8	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	実習課題説明		武智 正樹	
28-30	10/8	13:50-16:40	解剖学実習室	頭頸部解剖実習 5	咽頭、喉頭および上顎骨	武智 正樹	状況次第で Zoom 実習の可能性あり

成績評価の方法

・解剖実習態度、口頭試問による形成的評価とともに、課題レポート提出による総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

グレイ解剖学／Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell 原著,塩田浩平, 瀬口春道, 大谷浩, 杉本哲夫 訳,:エルゼビア・ジャパン, 2011

プロメテウス解剖学アトラス : 口腔・頭頸部／Eric W.Baker 著,坂井建雄, 天野修 監訳,:医学書院, 2012

口腔解剖学／井出吉信, 前田健康, 天野修 編,脇田稔, 山下靖雄 監修,:医歯薬出版, 2009

ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス／Neil S. Norton 著,前田健康 監訳,:医歯薬出版, 2012

「口腔解剖学 1-5」（／上條雍彦:アナトーム社

履修上の注意事項

人体解剖実習用具ならびに実習着等が必要となる。　（詳細については担当教員から指示ある予定）

備考

本講義においては実習時にアクティブラーニングを行う。

担当教員の Office Hour
武智正樹　講師　随時（ただし必ず事前に連絡の事）takechi.emb@tmd.ac.jp
秋田恵一　教授
水口俊介　教授
黒田真司　講師
西山　暁　講師
戸原　玄　教授
大山巌雄　非常勤講師

連絡先（メールアドレス）
武智　正樹:takechi.emb@tmd.ac.jp

オフィスアワー
武智　正樹:随時（事前に連絡すること）

時間割番号	021571				
科目名	Phase Ⅱ (B)			**科目 ID**	DD-672903-E
担当教員					
開講時期	2021 年度通年	**対象年次**	6		
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業の目的、概要等

患者本位の歯科医療を実践するために、必要な態度・知識・技能を修得する。

授業の到達目標

1） 患者との信頼関係を築くことができる。
2） 個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。
3） 患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。
4） 患者に最も適した医療を説明できる。
5） 必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。
6） 説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。
7） 説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。
8） 患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。
9） 医療事故や潜在的医療事故（ニアミス）に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。
10） 患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。
11） 的確な診察と検査から得られた所見を適切に診療録に記載できる。
12） インフォームドコンセントを行うことができる。
13） 処方と処方箋の書き方を説明できる。
14） 研究用模型を作製するための印象を適切に採得できる。
15） 基礎実習で習得した基本的治療技術を実施できる。
16） 自ら行った処置の予後について予測ができる。
17） 歯科診療上の偶発的な事態に適切に対処できる。
18） 歯科保健の維持・増進に適切な助言・援助ができる。
19） 症例報告の準備ができる。
20） 症例報告ができる。

成績評価の方法

・エッセンシャルリクワイヤメント達成度
・共用試験臨床実地試験＋一斉技能試験
・臨床能力判定試験（終了時技能到達度確認試験＋OSCE、症例発表）
・ポートフォリオの提出状況
・平常点（包括臨床実習ライター、専門（特殊）診療外来実習担当指導者、看護師等からの観察記録）

準備学習等についての具体的な指示

必要自習時間150時間：基本的に毎日午前・午後のどちらかで患者治療を行うので、治療予定内容についての予習は必須である。教科書・参考書などで知識の再確認をするだけでなく、治療内容についての技術練習をスキルスラボで行うことが望ましい。

試験の受験資格

6年の包括臨床実習 Phase Ⅱ (B) の全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければ臨床能力判定試験（終了時技能到達度確認試験＋OSCE、症例発表）を受験することができない。

構成ユニット

本ユニットは患者実習、各科配属実習、学外実習、臨床セミナー（D6-OH4 症例検討合同授業を含む）からなる。
詳細な授業日程は 2020 年度 D5 ガイダンス時（2020 年 4 月 2 日）に説明する。

モジュールの単位判定

・エッセンシャルリクワイヤメントを達成していること。
・共用試験臨床実地試験と一斉技能試験に合格すること。
・臨床能力判定試験（終了時技能到達度確認試験＋OSCE、症例発表）に合格すること
・ポートフォリオを全日程で提出すること。
・平常点（包括臨床実習ライター、専門（特殊）診療外来実習担当指導者、看護師等からの観察記録）。

参考書

歯内療法のケースアセスメントと臨床 : 根管形態からみる・ストラテジーを選ぶ／興地隆史 著,:医歯薬出版, 2013
66 症例に学ぶ歯科臨床の問題解決 : 診断・治療方針の決定・トラブルへの対応 : こんな患者が来たらどうする?／Edward W.Odell 原著,古賀剛人 監訳,柳献作, 鈴木弥佐士 訳,Odell, E. W,古賀, 剛人, 1960-,柳, 献作,鈴木, 弥佐士,:医歯薬出版, 2018
垂直歯根破折歯を救え! : いざという時使いたいサイエンス&テクニック／二階堂徹 監修,菅谷勉, 海老原新 執筆,:クインテッセンス出版, 2013
感染根管治療 Retreatment : 感染制御の要点を知る／木ノ本喜史 編著,木ノ本, 喜史,:ヒョーロン・パブリッシャーズ, 2019
エンド由来歯痛 : 非歯原性歯痛への歯内療法からの挑戦／長谷川誠実 著,福西一浩 監修,長谷川, 誠実,福西, 一浩,:医歯薬出版, 2019
エンドの基本／吉岡隆知 編著,吉岡, 隆知, 1965-,:医歯薬出版, 2019
プロフェッショナルな実践のための Q&A55／藤本篤士 [ほか] 編著,藤本, 篤士,武井, 典子,東森, 秀年,糸田, 昌隆,大野, 友久,永田, 俊彦,:医歯薬出版, 2016
新解釈コンポジットレジン修復 : 「MI」と「ESTHETIC」の両立を目指して／田代浩史 編著,田代, 浩史,:医歯薬出版, 2018
コンポジットレジン修復のベーシック&トレンド : 診査・診断からメインテナンスまで／宮崎真至編集委員,宮崎, 真至,:デンタルダイヤモンド社, 2015
歯周外科のハプニング&リカバリー : 早わかり Q&A96／和泉雄一監著 ; 小田茂, 竹内康雄, 水谷幸嗣編著,和泉, 雄一,小田, 茂,竹内, 康雄(歯科学),水谷, 幸嗣,:クインテッセンス出版, 2016

備考

・具体的な班分け、詳細な包括臨床実習 PhaseⅡ（B）の日程は別に定める。
・エッセンシャルリクワイヤメントの詳細は別に定める。
・共用試験臨床実地試験＋一斉技能試験の実施方法、合格基準等は別に定める。
・臨床能力判定試験（終了時技能到達度確認試験＋OSCE、症例発表）の実施方法、合格基準等は別に定める。

時間割番号	021572				
科目名	PhaseⅢ			**科目ID**	DD-672904-E
担当教員					
開講時期	2021年度後期	**対象年次**	6		
実務経験のある教員による授業	該当する				

実施期間は2021年2月3日～3月5日(予定)である。詳細は別途連絡する。

授業の目的、概要等

卒後臨床研修の現場を体験するとともに、卒後臨床研修へ円滑に進めるために必要な態度・知識・技能を修得する。

授業の到達目標

1) 卒後臨床研修の意義を説明できる。
2) 卒後臨床研修の現場を体験する。
3) 診療の補助・介助が円滑にできる。
4) 症例報告に対して適切な質疑応答ができる。
5) 包括臨床実習PhaseⅡで習得した基本的治療技術を実施できる。
6) 個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。
7) 患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。
8) 患者に最も適した医療を説明できる。
9) 必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。
10) 説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。
11) 患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。
12) 患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。

成績評価の方法

詳細はPhaseⅢオリエンテーション時に示す。

準備学習等についての具体的な指示

必要自習時間20時間:既にPhaseⅡ終了時までに、最低限の基本的な歯科治療内容の理解と実践は達成されているが、これだけでは卒後臨床研修を行うに当たり決して十分な準備が出来ているとは言い難い。そこでPhaseⅡで修得した知識・技術の再確認とさらなる向上を目指すためにPhaseⅢを履修するのであるが、時間の許す限り、スキスルラボなどでの歯科技術の訓練を行うことが望ましい。

試験の受験資格

ユニット試験は行わない。

モジュールの単位判定

各診療科が提示するアドバンス選択実習科目(半日1コース:1 クレジット)を選択し、12クレジット以上出席していなければユニット履修を認めない。また、12クレジット中4クレジット以上はスキルスラボⅡでの実習を必修とする。

参考書

歯科臨床イヤーノート = Year note of dental practice／住友雅人, 木下淳博, 沼部幸博, 松村英雄 編.:クインテッセンス出版, 2013
1からわかるコンポジットレジン修復 : レジンが簡単にとれないためのテクニック／猪越重久 著,:クインテッセンス出版, 2012
チェアサイド・介護で役立つ口腔粘膜疾患アトラス : どこで見わけて、どう対応?／中川洋一 著,中川, 洋一, 1955-,:クインテッセンス出版, 2018
完全攻略スーパーボンド : 接着の悩み即解決／二階堂徹, 清村正弥 監著,二階堂, 徹,清村, 正弥,:クインテッセンス出版, 2018
研修医・歯科衛生士にこそ読んでもらいたい！学校では習わなかった義歯と義歯ケアの話 : オーラルフレイルの時代:患者さんに説明できますか？ 義歯と全身・食事・栄養のこと／水口俊介 監著 ; 古屋純一 監著,水口, 俊介,古屋, 純一,:クインテッセンス出版, 2018
象牙質知覚過敏症 : 目からウロコのパーフェクト治療ガイド／冨士谷盛興, 千田彰編,冨士谷, 盛興,千田, 彰,:医歯薬出版, 2017
写真でマスターする寒天アルジネート連合印象による誰でもできる簡単精密印象／新井俊樹, 山崎隼著,新井, 俊樹,山崎, 隼,:ヒョーロン・パブリッシャーズ, 2017
歯内療法成功のためのコーンビーム CT 活用術／Shanon Patel, Simon Harvey, Hagay Shemesh, Conor Durack, 月星光博 編著,興地隆史監訳,Patel, Shanon,Harvey, Simon C,Shemesh, Hagay, 1966-,興地, 隆史,:クインテッセンス出版, 2018
治る歯髄治らない歯髄 : 歯髄保存の科学と臨床／泉英之 著,泉, 英之, 1974-,:クインテッセンス出版, 2018

世界基準の臨床歯内療法 = Global Standard in Clinical Endodontics／石井宏 著,石井, 宏,:医歯薬出版, 2015
備考 詳細な包括臨床実習 PhaseⅢの内容・実施日程は別に定める 本ユニットは、包括臨床実習 PhaseⅡ 終了までに習得した知識・技能・態度についての再確認を行うとおもに、歯科医師臨床研修開始に円滑な連携ができるように、患者実習、治療見学+介助、模型実習、講義を行う。

時間割番号	021612				
科目名	デンタルエクスターンシップ（2021 年度）			**科目 ID**	
担当教員					
開講時期	2021 年度通年	**対象年次**	2～6	**単位数**	1
実務経験のある教員による授業					

授業内容

〇単位認定条件

1）タイ拠点における海外研修プログラム

(1) 語学能力(英語)

語学検定における所定の点数の取得（TOEFL(iBT) 79 以上、TOEIC 730 点以上）、もしくは事前の海外派遣英語準備コース（歯科英語）を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の 3 つの中から、いずれかの基準をクリアすること。

(2) 海外派遣英語準備コース（歯科英語）の履修

語学検定における所定の点数を取得している学生も、事前の英語準備コースは必修とする。

(3) 健康教育等に関する準備コースの履修

(4) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修（講義）の履修

(5) 研修報告書の提出

日本語および英語（詳細は別に定める）

(6) 研修報告会における発表

研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。

(7) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績

2）短期海外歯科研修プログラム

(1) 語学能力(英語)

語学検定における所定の点数の取得（TOEFL(iBT) 79 以上、TOEIC 730 点以上）、もしくは事前の海外派遣英語準備コース（歯科英語）を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の 3 つの中から、いずれかの基準をクリアすること。

(2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修（講義）の履修

(3) 研修報告書の提出

日本語および英語（詳細は別に定める）

(4) 研修報告会における発表

研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。

(5) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績

3）その他の海外研修プログラム（歯学科教育委員会が認めたもの）

(1) 語学能力(英語)

語学検定における所定の点数の取得（TOEFL(iBT) 79 以上、TOEIC 730 点以上）、もしくは事前の海外派遣英語準備コース（歯科英語）を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の 3 つの中から、いずれかの基準をクリアすること。

(2) 研修特別コースの履修

研修内容によって、特別に提供されるコースの履修（詳細は別に定める）

(3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修（講義）の履修

(4) 研修報告書の提出

日本語および英語（詳細は別に定める）

(5) 研修報告会における発表

研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う.

(6) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績

※なお、COVID-19 等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申

請することができる。
・3 回以上のオンライン交流会等への参加
※あるいは各交流プログラムにポイントを付し、総計が〇ポイント以上とすることも考え
られる。
・上記(3)以外のすべての要件を満たすこと
根拠となる考え方:これまでの海外派遣英語準備コース(歯科英語)に関わる授業を数時間と
みなし、文化・国事情の授業を数時間、学生共同作業、相手大学・国に関する分析課題実施数時
間と、オンライン交流会参加で、合計 15 時間とみなして1プログラムとして成績評価を行う。

成績評価の方法

〇単位認定条件

1)タイ拠点における海外研修プログラム

(1) 語学能力(英語)

語学検定における所定の点数の取得(TOEFL(iBT) 79 以上、TOEIC 730 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の 3 つの中から、いずれかの基準をクリアすること。

(2) 海外派遣英語準備コース(歯科英語)の履修

語学検定における所定の点数を取得している学生も、事前の英語準備コースは必修とする。

(3) 健康教育等に関する準備コースの履修

(4) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修

(5) 研修報告書の提出

日本語および英語(詳細は別に定める)

(6) 研修報告会における発表

研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。

(7) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績

2)短期海外歯科研修プログラム

(1) 語学能力(英語)

語学検定における所定の点数の取得(TOEFL(iBT) 79 以上、TOEIC 730 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の 3 つの中から、いずれかの基準をクリアすること。

(2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修

(3) 研修報告書の提出

日本語および英語(詳細は別に定める)

(4) 研修報告会における発表

研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。

(5) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績

3)その他の海外研修プログラム(歯学科教育委員会が認めたもの)

(1) 語学能力(英語)

語学検定における所定の点数の取得(TOEFL(iBT) 79 以上、TOEIC 730 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の 3 つの中から、いずれかの基準をクリアすること。

(2) 研修特別コースの履修

研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める)

(3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修

(4) 研修報告書の提出

日本語および英語(詳細は別に定める)

(5) 研修報告会における発表

研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う.

(6) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績

※なお、COVID-19 等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。

・オンライン交流プログラムポイントの総計が 15 以上あること
（各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。）
・上記(3)以外のすべての要件を満たすこと

準備学習等についての具体的な指示

モジュールの単位判定

それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、歯学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。

単位の取扱いについては『歯学科専門科目「デンタルエクスターンシップ」に関する単位認定の取り扱い』を参照のこと。

履修上の注意事項

1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目（卒業要件以外）の単位として　1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラム　とする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1)タイ拠点における海外　研修プログラム（事前研修を含む。） 2)短期海外歯科研修プログラム（事前研修を含む。） 3)その他の海外研修プログラム（歯学科教育委員会が認めたもの） 3. 所定の　プログラムを修了した学生に対し、歯学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を　認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。

時間割番号	021202				
科目名	長寿口腔健康科学コース			科目ID	DD-553600-L
担当教員	水口 俊介, 濵 洋平[MINAKUCHI SHIYUNSUKE, HAMA YOHEI]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	5	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:31コマ
10 回×3 コマ、試験(講義4回、e-learning4回、演習2回、試験)
授業形態:講義・演習
モジュール番号:36　　ユニット番号:01
必要自習時間 5 時間

主な講義場所

WebClass, Zoom を利用した遠隔授業

授業の目的、概要等

＜授業全体＞

健康長寿に対する先進的研究開発、教育の面からのアプローチができる人材及び地域医療の中で多職種連携を主導することができる人材養成を目標とし、他大学講義を含む全 10 回の講義で、健康長寿に関連する多岐に渡る領域について学ぶ。

以下、全 10 回の授業で構成される。
長寿を支える硬組織バイオロジー(同期型講義)
地域包括ケアシステム論(同期型講義)
健康長寿の医療政策学・経済学(同期型講義)
在宅における摂食嚥下評価 1(同期型講義)
在宅における摂食嚥下評価 2(同期型演習)
アドバンス病態科学(同期型演習)
テイラード・コミュニケーション概論(非同期型講義)
地域連携と摂食支援(非同期型講義)
異分野融合型先端歯学・歯科医療(非同期型講義)
摂食嚥下のメカニズム(非同期型講義)
試験(WebClass)

＜長寿を支える硬組織バイオロジー＞

硬組織バイオロジーに関する知識を統合整理し、長寿社会における歯科医療の位置付けを確認する。

＜地域包括ケアシステム論＞

未曽有の超高齢化を目の前にして、今後わが国は後期高齢者が激増する。同時に認知症患者や独居高齢者、老夫婦のみの世帯も激増するとも推測される中、我が国の医療政策がまさに今問い直されている。すなわち、幅広い視点から医療・介護提供体制を大きく進化させていく時期に来ている。

高齢者の健康寿命を延ばすため、自助・共助・互助の精神の下、健康増進を普段から心掛け、経済活動・地域活動への参加を促すことによって高齢者自身も社会の支え手とする社会システムが求められる。さらに、たとえ自立度レベルが低下し要介助になった後でも、心を委ねられた医療人が横に寄り添う姿が必要であり、同時に医療介護の円滑なシステムと療養生活環境システムの両面サポートが存在することにより、はじめて「Aging in Place/ Aging in Community(できる限り元気で、住み慣れた街で弱っても安心して暮らす)」が達成される。よって、今後の医療制度改革は医療関係者の「意識改革」そのものと言っても過言ではない。今後、全国の様々な地域において目に見えるこれらの活動が実際に生まれ、そしてその地域に根付き、最終的には次の世代へ引き継がれることになって初めて意味のあるものになる。そのために、真の『地域包括ケアシステム』とは何かを理解する必要がある。それを達成するために、それまでの背景、その意義、今後の動向などを十分踏まえた上で、改めて若い歯科医療専門職として何を見据え、何をすべきかを熟慮し、視野の広い歯科医療人を目指して欲しい。

＜健康長寿の医療政策学・経済学＞
口腔健康科学は統合科学であり、その社会的応用として歯科医療が位置づけられる。しかし、その歯科医療の基礎となる背景に医療政策・制度・経済がある。そこで本授業では歯科医学・医療と制度の橋渡しを目指して、医療政策・経済について、その基礎を理解することを目的とする。具体的には、「健康寿命の延伸」、「国民医療費の構造」、「医療保険制度の仕組み」、「地域包括ケアシステム」、「医科歯科連携」など今日的なテーマを医療政策・経済学の視点から学習する。

＜在宅における摂食嚥下評価＞
摂食嚥下障害の診察や評価、対応、更には在宅訪問診療のあり方を考えることを目的とする。

＜アドバンス病態科学＞
超高齢社会を迎え、わが国の医療はさまざまな問題に直面している。チーム医療(多職種連携)は、この複雑な問題解決のための有用な方策であり、医療の質的向上とサービスの効率的提供を目的としている。我々歯科医療従事者が多職種連携を主導する key player のひとりになるためには、(歯科以外の)医師を始めとする医療従事者と共通の臨床医学的知識を基盤として、(歯科医療の)専門家としての議論が可能でなければならない。
本授業では、多彩な全身疾患を合併する患者のシナリオを、TBL に準拠した形式で議論することにより、病態の理解、ならびに臨床検査データの理解と評価を可能にし、有病高齢者の観血的処置における合理的なリスク管理方法を立案できるようにするのが目的である。なかでも、今後の歯科臨床あるいは医歯学融合教育を行う上で必須の臨床検査データの理解に重点を置く。

＜テイラード・コミュニケーション概論＞
臨床実習の場では、患者の訴えを漏れなく汲み取り、診断と実施すべき診療方法を患者に伝えて理解を得、そして治療に協力をしてもらうとともに、患者に必要な保健行動を実践してもらわねばならない。そこで、診療参加型臨床実習で適切な患者対応を行うために、コミュニケーションに関する知識、技能、態度を修得することを目的とする。

＜地域連携と摂食支援＞
要介護高齢者に対する歯科訪問診療と摂食嚥下支援を行うために必要な知識を習得する。

＜異分野融合型先端歯学・歯科医療＞
将来の歯学・歯科医療の方向性の一つとして、異分野融合型の歯学およびそれに基づいた歯科医療のあり方について考察し、理解を深める。

＜摂食嚥下のメカニズム＞
正常な咀嚼・嚥下運動の遂行を担う生体機能を知る。
種々の疾患が引き金となって生じる摂食嚥下障害に対する臨床への興味につなげる。

授業の到達目標
＜授業全体＞
1） 今後、歯科医師として健康長寿社会の達成に貢献することの必要性を理解する。
2）健康長寿社会の達成に、歯科医師が貢献できることについて理解する。
3）健康長寿社会の達成には歯科領域だけでなく、多面的なアプローチが必要であることを理解する。

＜長寿を支える硬組織バイオロジー＞
1）骨構成細胞（破骨細胞、骨芽細胞、骨細胞）の役割と機能を説明できる。
2）ロコモティブ症候群と治療法を説明できる。
3）骨発生と遺伝子疾患の分子メカニズムが説明できる。

＜地域包括ケアシステム論＞
1）我が国の高齢者医療を取り巻く背景と、国の推し進める『地域包括ケアシステム』を理解する
2）従来の「治す医療」から『治し支える医療』という原点の理解： その象徴的存在である在宅医療の意義と歯科の関わりを理解する
3）「病人である前に『生活者』なのである」という理念の下に、住み慣れた街全体で生から死までを地域全体で支え、みて（診て・看て）いくという地域完結型の医療への進化を理解する

4)新たな大学ー地域間連携を構築しながら、地域医療にも視野を広げられる若手医療人の養成・早期医学教育にも触れる
5)より早期からの虚弱予防戦略を早期の段階から学ぶ:特に『オーラルフレイル(口腔機能の虚弱化)』から再考する

＜在宅における摂食嚥下評価＞
1)摂食嚥下障害のアセスメントを覚える
2)摂食嚥下障害のスクリーニングテストができる
3)摂食嚥下障害患者への対応を考えることができる

＜健康長寿の医療政策学・経済学＞
1)超高齢社会の問題点を概説できる。
2)平均寿命と健康寿命との差が拡大していることを説明できる。
3)国家財政の圧迫と国力の低下について概説できる。
4)医療費や介護給付費等の社会保障負担の増大を説明できる。
5)長寿社会における解決策を政策提言できる。

＜アドバンス病態科学＞
1)歯科医療における(歯科領域以外の)臨床医学的知識の必要性を説明できる。
2)臨床的重要性が高い全身疾患の病態について説明できる。
3)臨床検査データの意味を理解し、その結果から各全身疾患の個体レベルでの評価ができる。
4)有病高齢者の安全な観血的歯科治療を行うためのリスク管理について正確な医学的知識を背景に立案できる。

＜テイラード・コミュニケーション概論＞
1)医療面接を説明する。
2)コミュニケーション技法･カウンセリング技法を説明する。
3)ラポール形成に必要な態度を説明する。

＜地域連携と摂食支援＞
1)在宅療養患者における特徴を述べる。
2)在宅診療の留意点を記述する。
3)摂食支援の実際を知る。
4)摂食嚥下機能の評価方法を説明する。
5)摂食嚥下機能の精密検査法を述べる。
6)摂食機能療法の計画・立案を説明する。

＜異分野融合型先端歯学・歯科医療＞
1)異分野融合型の歯学について説明できる。
2)先端歯科医療について説明できる。
3)将来の歯学・歯科医療のあり方について、自ら具体的に考察できる。
4)将来の歯学・歯科医療の変革や改善について、積極的に取り組む姿勢を持つ

＜摂食嚥下のメカニズム＞
1)摂食運動に関わる諸器官の構造と機能を説明する。
2)咀嚼と嚥下運動の機能意義を説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	11/19	14:30-17:20	遠隔授業(同期型)	長寿を支える硬組織バイオロジー	AL　硬組織バイオロジーに関する知識を統合整理し、長寿社会における歯科医療の位置付けを確認する。	小野　岳人, 中島　友紀, 濵　洋平	WebClass: FDS21039 D5 長寿口腔健康科学コース 2021 Zoom:

2	11/26	14:30-17:20	遠隔授業（非同期型）	テイラード・コミュニケーション概論（東京歯科大学　）	診療参加型臨床実習で適切な患者対応を行うために、コミュニケーションに関する知識、技能、態度を修得することを目的とする。	濵　洋平	WebClass: FDS21039 D5 長寿口腔健康科学コース 2021
3	12/3	14:30-17:20	遠隔授業（同期型）	健康長寿の医療政策学・経済学	AL　今日的なテーマを医療政策・経済学の視点から学習する。	川渕　孝一, 濵　洋平	WebClass: FDS21039 D5 長寿口腔健康科学コース 2021 Zoom:
4	12/10	14:30-17:20	遠隔授業（非同期型）	異分野融合型先端歯学・歯科医療（東北大学）	将来の歯学・歯科医療の方向性の一つとして、異分野融合型の歯学およびそれに基づいた歯科医療のあり方について考察し、理解を深め　る。	濵　洋平	WebClass: FDS21039 D5 長寿口腔健康科学コース 2021
5	12/17	14:30-17:20	遠隔授業（非同期型）	地域連携と摂食支援（日本歯科大学）	要介護高齢者に対する歯科訪問診療と摂食嚥下支援を行うために必要な知識を習得する。	濵　洋平	WebClass: FDS21039 D5 長寿口腔健康科学コース 2021
6	1/7	14:30-17:20	遠隔授業（同期型）	地域包括ケアシステム論	超高齢社会における歯科医師の役割について考えるために、地域包括ケアを中心として、現代の問題点を概説する。	飯島　勝矢（東大高齢総研）, 濵　洋平	WebClass: FDS21039 D5 長寿口腔健康科学コース 2021 Zoom:
7	1/14	14:30-17:20	遠隔授業（非同期型）	摂食嚥下のメカニズム（新潟大学）	正常な咀嚼・嚥下運動の遂行を担う生体機能を知る。 種々の疾患が引き金となって生じる摂食嚥下障害に対する臨床への興味につなげる。	濵　洋平	WebClass: FDS21039 D5 長寿口腔健康科学コース 2021
8	1/21	14:30-17:20	遠隔授業（同期型）	在宅における摂食嚥下評価1	AL　摂食嚥下障害の診察や評価、対応、更には在宅訪問診療のあり方を考えることを目的とする。（講義）	戸原　玄, 濵　洋平	WebClass: FDS21039 D5 長寿口腔健康科学コース 2021 Zoom:
9	1/28	14:30-17:20	遠隔授業（同期型）	在宅における摂食嚥下評価2	AL　摂食嚥下障害の診察や評価、対応、更には在宅訪問診療のあり方を考えることを目的とする。（ロールプレイ、症例検討）	戸原　玄, 濵　洋平	WebClass: FDS21039 D5 長寿口腔健康科学コース 2021 Zoom:
10	2/4	14:30-17:20	遠隔授業（同期型）	アドバンス病態科学	AL　多彩な全身疾患を合併する患者のシナリオを、TBL 形式で議論することにより、病態の理解、臨床検査データの理解と評価を可能にし、有病高齢者の観血的処置における合理的なリスク管理方法を立案できるようにするのが目的である。	大渡　凡人, 濵　洋平	WebClass: FDS21039 D5 長寿口腔健康科学コース 2021 Zoom:

11	2/18	15:30-16:20	遠隔授業 （同期型）	試験	WebClass にて実施	濵 洋平	WebClass: FDS21039 D5 長寿口腔健康科学コース 2021

成績評価の方法

非同期型講義時の小テストおよび試験の結果により判定する。

準備学習等についての具体的な指示

＜健康長寿の医療政策学・経済学＞

健康長寿社会に向けて、社会保障制度改革国民会議が公表した報告書の意義について考える。そこで、医療のみならず介護・福祉分野も含めて社会保障の意義及び政策についても事前に学習しておくことが望まれる。特に社会保障と国民経済、医療保険制度・介護保険制度・公費負担医療制度、社会福祉制度の基本的な枠組みと制度改革の課題について予習して欲しい。

試験の受験資格

全授業時間数の4分の3以上出席していること

構成ユニット

01 長寿口腔健康科学コース

モジュールの単位判定

出席、小テストおよび試験の結果により判定する。

備考

「在宅における摂食嚥下評価」、「アドバンス病態科学」では数名ごとの班に分かれ、グループディカッションやロールプレイを行う。

モジュールコーディネーター：水口俊介

問い合わせ先：濵 洋平

y.hama.gerd@tmd.ac.jp

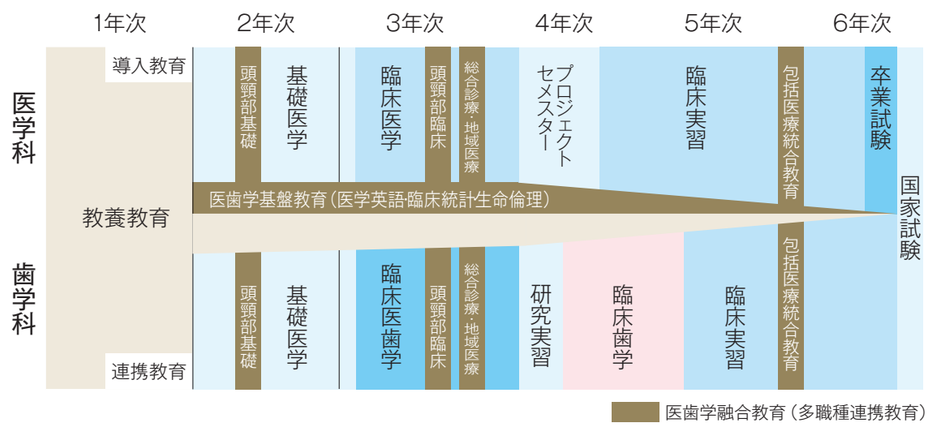
オフィスアワー メールで問い合わせお願いします

医歯学融合教育
医歯学基盤教育

医歯学融合教育

ますます進む高齢化社会や医療の進歩、複雑化により、これからの医療には医師、歯科医師をはじめとした多職種間での連携・協調のとれた包括的医療の提供が不可欠です。そこで、本学では、医療系総合大学の特性を生かし、他大学に先駆けて、包括的な視野を持つ医療人の育成を目的に、医学科、歯学科の学生が共通して学ぶべき科目を合同で行う医歯学融合教育を2011年度より開始しています。

本学でしか学べない教育



■ 医歯学基盤教育 ■

2年次から4年次までの週1日に医学、歯学を学ぶ上で基盤となる「グローバルコミュニケーション」「臨床統計」「生命倫理」を学ぶ医歯学基盤教育を行っています。

このカリキュラムでは、医学／医療の分野において、地球規模で問題となっているトピックや倫理的問題に精通し、世界標準言語である英語で論理的に考え議論／協働できることが重要と考え、臨床統計の概念と背景理論を理解し、臨床データ・情報の厳密な吟味のもとに科学的根拠に基づく患者主体の最良の医療・歯科医療を提供できる医師・歯科医師に不可欠な基盤を学ぶことができます。

■ 頭頸部ブロック ■

2年次に「頭頸部基礎ブロック」、3年次に「頭頸部臨床ブロック」をそれぞれ3～4週間集中して受講します。

この「頭頸部基礎ブロック」では、両学科の学生が脳を除く首から上の部位に関する正常な構造・機能に関して、両学科の解剖学や生理学の教員の講義を受講し、並行して2学科合同の実習を行い、頭頸部への理解を深めています。

また、「頭頸部臨床ブロック」では、頭頸部領域の疾患を理解する上で必要となる眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、形成外科、口腔外科の講義を主に受講します。講義の形態として、患者参加型講義等も行われます。

■ 総合診療・地域医療ブロック ■

こちらは「頭頸部臨床ブロック」と同様に3年次に2週間集中して行うブロックです。

このブロックでは、実際に地域で展開されている医療・歯科医療などを知り、地域住民のニーズに合致した医療や多職種連携を理解し、全人的医療を実現させる総合診療、地域包括ケア、そして地域共生社会の重要性を認識できるようにすることを目的としています。

■ 包括医療統合教育 ■

包括医療統合教育は、5年次から6年次にいたる臨床実習の途中で行われるコースです。ここでは医療機関のなかで行われる診断治療に限らず、社会と医療の関わりについても学びます。このうち、いくつかの授業は医学科と歯学科合同で行われます。また、臨床実習のなかにも、両学科の学生が共に学ぶ機会があります。

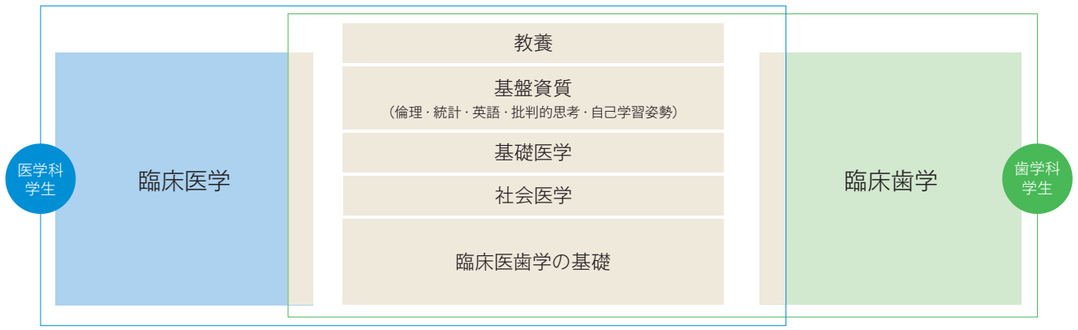
このコースのなかに、本学学士課程全学科（専攻）の最終学年学生が全員参加して行う専門職連携教育ワークショップ「チーム医療入門」があります。こちらは2012年度から患者さんの立場で最良な包括的ケアを提供する人材の育成を目的として導入されており、参加した学生は症例に沿った問題解決のために、自身の職種の専門性を発揮しながら、患者中心の最良な医療のために議論・協働を行います。2日間という短い期間ですが、最初は緊張していた学生も次第に打ち解けて、後半には、白熱した議論を展開し、他職種への理解、チーム医療の構成員として自分が果たすべき役割と連携する必要性を認識しています。





本学全学科・専攻の最終学年学生よりなる混成小グループでの包括医療ケーススタディ（左）と、緩和ケア病棟における医歯合同の臨床実習（右）

卒業時に習得しておくべき知識・技能・態度



科目を履修して得られる能力
歯学系コンピテンシーより

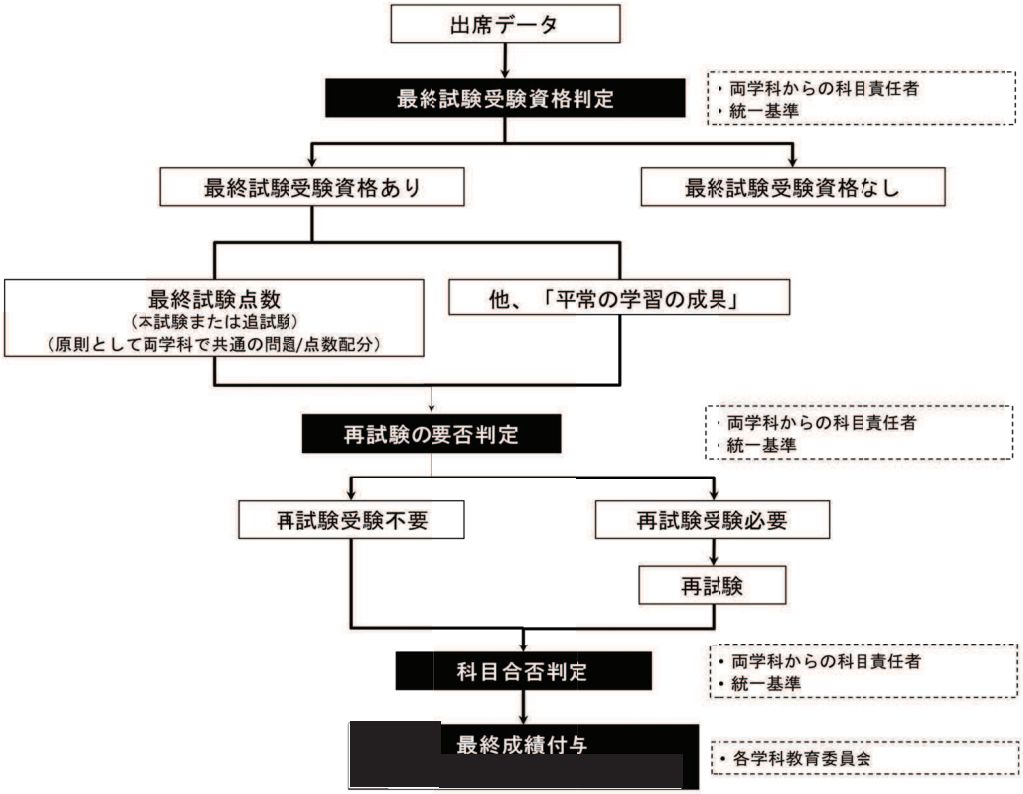
大領域	小領域	要点	細目(Level A)	細目(Level B)	細目(Level C)	細目(Level D)	2,3,4年次 医歯学基盤教育 生命倫理	2,3,4年次 医歯学基盤教育 臨床統計	2,3,4年次 医歯学基盤教育 グローバル・コミュニケーション	2年次 頭頸部基礎	3年次 頭頸部臨床	3年次 老年医学
国際人としての基盤	国際感覚／国際的視点	国際感覚／国際的視点	世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて精通するよう情報収集する習慣を有し、議論できる	世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて議論できる	世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて説明できる		B	B	B	B	B	B
	国際言語の運用力	国際言語（英語）の運用力	世界中から発信される医学/歯学における最新の情報につき常に自己アップデートする習慣を可能にする国際言語（英語）能力を有する	科学/医学/歯学の専門用語/表現の理解/表記/発音ができる	非専門用語/表現の理解/表記/発音ができる		B	B	B	B	B	B
科学的探究心とEBD	情報収集・管理	守秘義務	患者情報の守秘義務を果たすことができる	守秘義務の実行方法について理解する	患者情報の守秘義務に必要性を理解する		C			C		
		情報のアップデート	常に新たな情報を探し求めることができる	必要な情報を新たに得る方法を習得する			B	B	B	B	B	B
	科学的探求への姿勢	問題発見・解決能力	臨床的あるいは科学的問題を認識し、その問題点を説明できる。	臨床的あるいは科学的問題を解決するための方法を理解する	臨床的あるいは科学的問題を知る		B	B	B	C	C	C
		研究活動の実践	指導教員のもとで研究を実践できる。	指導教員のもとで研究計画を立案できる。	研究の目的や手技を理解できる		B	B				
		研究発表	研究で明らかにした新知見を明確に説明できる	科学論文を読んで、その内容を理解し、紹介できる	科学論文を読んで、その内容を理解する				C			
		研究倫理の理解	研究倫理を理解して動物、ヒトもしくはヒト由来の標本を扱うことができる	実験動物、ヒトに関する研究の倫理的事項を概説できる			B					
プロフェッショナリズム	医療人としての姿勢・行動	対人関係	患者・家族に共感、敬意、思いやりをもって接することができる	医療における接遇の重要性を説明できる	コミュニケーションの重要性を理解している						A	
		対人関係	歯科医療チーム、他の専門職に対して、敬意、共感、責任感、誠実さを持って協働できる	チーム医療の必要性を理解している							B,A	B,A
		品位	医療人として適切な服装、言葉遣い、立ち振る舞いを実践できる	医療人として適切な服装、言葉遣い、立ち振る舞いを説明できる	医療人としての立場を理解している						A	
		リーダーシップ	歯科医療チームを管理する立場として行動できる	歯科医療チームを管理する立場を理解できる								B
		勤労習慣	医療人としての基本的行動規範を順守できる				A	A	A	A	A	A
	倫理	良識を伴った行動	常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる	物事の健全な考え方・正しい判断とは何かを身につける。			B	B	B	B	B	B
		患者中心医療の実践	患者中心の医療を理解し，行動することができる	模擬患者等に対して患者中心の医療に基いた対応ができる。	患者中心の医療に基づいた行動を具体的に説明できる。		C		C		BA	
		プライバシー尊重	患者のプライバシーを尊重できる	患者のプライバシーの尊重について説明できる。	患者のプライバシーの尊重について学習する。		B				A	
		患者権利の尊重	患者の権利を理解し、インフォームドコンセントを適切に取得することができる	模擬患者を使ってインフォームドコンセントを取得することができる。	インフォームドコンセントについてを説明できる。		C		C		C	
		インシデントへの対応	医療事故やインシデントに関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる	:医療事故やインシデントに関する情報を共有、重要性を理解し、再発防止に役立てることができることを理解する					B			
		著作権への対応	臨床記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる	臨床・研究に関する学術発表や論文記述などの際に必要な著作権に関して説明できる。			A	A	A	A	A	A
		不正への対応	職務上の不正を認識し、倫理的に適切な対応を取る必要性を認識している	職務上の不正が社会に及ぼす影響を説明できる.					B			
		自己能力の認識	自分の能力の限界を認識し、行動すること必要性があることを理解している	自己能力を認識した行動ができる。	自己能力を認識する。		B	B	B	A	B	B
	法令、機関内規、規範等	法令、機関内規、規範等の遵守	大学の学則等の所属機関の内規、法令、規範等を遵守できる				A	A	A	A	A	A
	倫理	利益相反	利益相反が生じる可能性を認識し、適切に対処できる	利益相反および回避するための行動を説明できる			B		B			
		企業との倫理的な関係	企業と倫理的に適切な関係を保つことができる	企業と倫理的に適切な関係を保つ必要性を説明できる			B		B			
	職業人としての生涯学習	生涯学習の必要性の理解	高度な歯科医療を提供するために、生涯にわたり研鑽を積むことの重要性を理解する								A	A
対人コミュニケーション	医師患者関係	医師患者関係	診療において、患者とのラポール構築のために必要な行動をとることができる	患者とのラポール構築のための知識を持っている							B	B
			患者の心理状態や社会的背景に配慮できる	患者の心理状態や社会的背景を理解できる							B	B
	患者および家族とのコミュニケーションと情報共有	患者・家族の文化背景への対応	様々な背景や文化を持つ患者や患者家族と、効果的に意思疎通をとることができる	患者や患者家族の様々な背景や文化を認識することができる。							B	B
		患者中心の診療	患者の要望や懸念を認識し、診療計画策定を行い、診療することができる	患者の要望や懸念を認識することができる。							B	B
		患者との情報共有	患者や患者家族に、口頭および書面にて、臨床所見/情報およびその後の計画を提示することができる	患者や患者家族にしめすための、口頭および書面にて、臨床所見/情報およびその後の計画を作成しまとめることができる。							B	B
	医療チームにおける意思疎通	医療チームにおける情報共有	歯科医療チームおよび他医療者に対して、口頭および書面にて、患者に関する全ての臨床情報を、わかりやすく提供することができる	歯科医療チームおよび他医療者に対して提示する患者に関する全ての臨床情報を、わかりやすくまとめることができる。							B	B
		多職種連携への基礎	多職種チームのすべてのメンバーと敬意を払いつつ効果的な議論ができる								A	A
		教育現場におけるコミュニケーション	指導教員、上級生、同級生、下級生と、良好な意思疎通を図ることができる								A	A
知識とその応用	基礎歯学（人体の構造・機能と病態科学）	頭頸部臨床	頭頸部領域の基礎医学および臨床医学知識を、頭頸部領域の診療に適用できる	頭頸部領域の基礎医学および臨床医学知識を持っている						B	B	
		解剖、生理、生化学	歯科医学に関連する解剖、生理、生化学の知識を歯科臨床における現象の理解に適用できる	歯科医学に関連する解剖、生理、生化学の知識を持っている	人体の構造と機能および生命現象を司る物質的基盤を理解する					B	A	A
		病態科学	口腔病変の病因と病理学的発生過程に関する知識を病態の理解に適用できる	口腔病変の病因と病理学的発生過程に関する知識を持っている	口腔・頭蓋・顎顔面領域の正常構造を理解する					B	B	A
		感染と生体防御	感染とその予防・治療に関する基礎的知識を歯科臨床において適用できる	感染とその予防・治療に関する基礎的知識を持っている							A	A
		薬理	歯科臨床に関連する薬とその使用方法に関する知識を歯科臨床に適用できる	歯科臨床に関連する薬とその使用方法に関する知識を持っている								A

科目を履修して得られる能力
歯学系コンピテンシーより

大領域	小領域	要点	細目(Level A)	細目(Level B)	細目(Level C)	細目(Level D)	2,3,4年次 医歯学基盤教育 生命倫理	2,3,4年次 医歯学基盤教育 臨床統計	2,3,4年次 医歯学基盤教育 グローバル・コミュニケーション	2年次 頭頸部基礎	3年次 頭頸部臨床	3年次 老年医学
知識とその応用	臨床医学（口腔病態と全身病態）	老年医学:臨床の基礎	老年医学の知識を、高齢者の診療/歯科診療に適用できる	老年医学の知識を持っている	身体の構造と機能の加齢変化（常態）を理解する）							B
		内科・外科	薬とその使用方法に関する知識を歯科臨床に適用できる	薬とその使用方法に関する知識を持っている								B
		口腔病態と全身病態の関連	全身/口腔疾患の関連についての知識を、歯科医療に適用できる	全身/口腔疾患の関連についての知識を持っている								B
	臨床歯学（高度専門知識の応用）	口腔外科・矯正歯科	外科的治療・矯正歯科治療を要する口腔顎顔面領域に生じる疾患に関する専門的知識を、個々の症例に適用し、適切に説明できる	外科的治療・矯正歯科治療を要する口腔顎顔面領域に生じる疾患に関する専門的知識を有する	外科的治療・矯正歯科治療を要する口腔顎顔面領域に生じる疾患の概略を知っている	口腔・頭蓋・顎顔面領域の諸構造とそれらの解剖学的相互関係を理解する				D		
		放射線治療	人体に対する放射線の影響を基礎としながら、放射線治療による治療効果や正常組織障害を適切に説明できる	人体に対する放射線の影響ならびに放射線治療による治療効果や正常組織障害に関する専門的知識を有する。							B	
診療の実践	科学的根拠に基づいた医療の展開	科学的根拠に基づいた医療の展開	臨床上の疑問を定義し、これらの疑問を解決するために適切な情報源にアクセスし、得られた知見を診療に適用できる	臨床上の疑問を定義し、これらの疑問を解決するために適切な情報源にアクセスし、情報を得ることができる	臨床上の疑問を定義できる			C			B	B
		科学的根拠に基づいた医療の展開	臨床判断に際し、関連する質の高いエビデンスを、十分吟味した上で適用できる	質の高いエビデンスを、十分吟味できる	エビデンスに関する知識を身につける			C				
		科学的根拠に基づいた医療の展開	患者の疾患可能性にもとづく診断的検査の意義について、適切な疫学用語と疾病パターンの知識を適用し、検討できる	患者の疾患可能性にもとづく診断的検査の意義について、適切な疫学用語と疾病パターンの知識を身につける							B	B
		診療ガイドラインの利用	必要な診療ガイドラインを入手し内容を理解できる	診療ガイドラインに関する知識を身につける				B				
	診査診断と治療計画	診査と検査	症例に応じた診査と検査ができる	症例に応じた診査法と検査法を列挙できる	診査と検査に関する知識を身につける						B	B
		画像診断	適切な画像検査法を選択し、結果を解釈できる	各種画像検査法の種類と適応を説明できる	放射線に関する知識を身につける	人体の正常解剖および病態に関する知識を身につける				D		
	治療とその技能	歯冠修復・欠損補綴	基本的な歯冠修復・欠損補綴処置ができる	基本的な歯冠修復・欠損補綴処置を説明できる	基本的な歯冠修復・欠損補綴処置に関する知識を身につける	歯の形態と歯列、咬合に関する知識を身につける				D		
		歯周病	歯周病の基本的な治療ができる	歯周病の予防・診断および治療を説明できる	歯周病の病因・病態を理解できる	歯周組織の構造と発生の仕組み、加齢変化を理解する	D			D	D	D
		歯髄疾患と根尖歯周組織疾患	歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の基本的な治療ができる	歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の予防・診断および治療を説明できる	歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の病因・病態を理解できる	歯髄と歯周組織の構造と相互関係を理解する				D		
		外科処置	基本的な外科処置ができ、粘膜疾患への適切な対応ができる	基本的な外科処置が説明でき，粘膜疾患を理解できる	口腔・頭蓋・顎顔面領域に関する基礎的な知識を身につける					C	B	
		放射線	適切な画像検査を実施し、結果を解釈できる。	画像検査について説明できる	画像検査に関する知識を身につける	人体の正常解剖および病態に関する知識を身につける					D	
		小児歯科	小児の口腔領域の基本的な疾患について、治療計画を説明でき、簡単な治療ができる	小児の口腔領域の基本的な疾患について、治療計画を説明できる	小児の口腔領域の基本的な疾患を理解できる	小児の口腔領域に関する知識を身につける	D			D		
		矯正歯科	基本的な歯科矯正・外科的矯正治療について、治療計画を説明できる	基本的な歯科矯正・外科的矯正治療について理解できる	顎口腔領域の形態・機能及びそれらの成長変化に関する知識を身につける					C	B	
		顎関節症	顎関節症の基本的な治療計画を説明できる	顎関節症の予防・診断および治療を説明できる	顎関節症の病因・病態および付随する機能障害を理解できる	顎関節と咀嚼筋に関する知識を身につける				D	B	
		全身管理と麻酔	歯科治療に必要な全身管理方法の立案ができ、麻酔手技について説明できる	歯科治療に必要な全身管理について説明できる	歯科治療に必要な全身管理に関する知識を身につける							B
		スペシャルケア	特別なケアを必要とする患者の全身状態の評価をし、治療計画について説明できる	特別なケアを必要とする患者の全身状態の評価法を説明できる	特別なケアを必要とする患者の全身状態に関する知識を身につける							B
		インプラント	インプラント治療の基礎的知識を治療計画立案に適用できる	インプラント治療の基礎的知識を身につける	口腔・頭蓋・顎顔面領域の諸構造とそれらの解剖学的相互関係を理解する					C	C	
	予防と口腔衛生の維持	予防と健康管理	すべての年齢層での口腔疾患の予防と健康管理を実践できる	すべての年齢層での口腔疾患の予防と健康管理を説明できる	すべての年齢層での口腔疾患の予防と健康管理に関する知識を身につける		C	C			C	B
社会における予防と健康増進	地域における個人・家族・集団の口腔保健増進	病院・診療所運営システムの理解と応用	学生、指導教員、多職種医療従事者により構成されるチーム医療に参加する際に、チーム医療を成立させる基盤システムを活用できる	学生、指導教員、多職種医療従事者により構成されるチーム医療に参加する際に、チーム医療を成立させる基盤システムを説明できる	学生、指導教員、多職種医療従事者により構成されるチーム医療に参加する際に、チーム医療を成立させる基盤システムに関する知識を身につける		B				B	B
		医療保険・費用等の知識	医療保険、コスト、医療の質、そして医療アクセスに関する知識を、個々の患者の診療に適用できる	医療保険、コスト、医療の質、そして医療アクセスに関する知識を身につける							B	B
		医療システムの理解と応用	地域・病院における医療展開およびそれに関わる組織（患者団体、病院、保険団体、行政機関、歯科材料会社等）について理解する	地域・病院における医療展開およびそれに関わる組織（患者団体、病院、保険団体、行政機関、歯科材料会社等）について関する知識を身につける								A
		医療政策との関わり	医療政策の立案過程、および歯科医師が医療政策立案に関われる機会について、説明できる	医療政策に関する知識を身につける								B
		社会・文化・環境要因と疾病との関連	健康・疾病に影響を与える社会的、文化的、環境的要因を説明できる	健康・疾病に影響を与える社会的、文化的、環境的要因に関する知識を身につける								B
		他医療の発展と口腔保健活動の関わりの重要性を理解し、歯科医療チームの基本的能力を向上する必要性を理解する	各種医療サービスと口腔保健活動の関する知識を身につける									B

医歯学融合教育科目における成績評価判定について

- 医歯学融合教育科目の受験資格判定、採点および合否判定は科目責任者が行う。
- 原則として、試験問題、採点および合否判定は両学科共通とする。
- 医学科・歯学科の各教育委員会で成績の判定をする。



時間割番号	021043			
科目名	医歯学基盤教育(臨床統計Ⅰ)		科目ID	DD-223001-L
担当教員	能登 洋, 水口 俊介, 徳永 伸一, 木下 淳博[NOTO HIROSHI, MINAKUCHI SHIYUNSUKE, TOKUNAGA SHINICHI, KINOSHITA ATSUHIRO]			
開講時期	2021年度通年	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業	該当する			

主な講義場所

オンラインによる遠隔講義

授業の目的、概要等

医療・研究において必要とされる統計学の基礎と臨床的意義を学ぶ。基本的な概念や手法や臨床での活用を習得するほか統計学の思想や数学的原理の理解にも触れる。さらに、問題解決において必須となる情報収集を適切に効果的に行う能力を習得するほか、情報セキュリティと著作権にも触れる。

授業の到達目標

エビデンスを正しく読解できる統計学的知識と臨床的技能を習得する。具体的には、医療論文の批判的吟味・検定の選択と実践・適正な情報管理ができることを最低限の到達目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅰ－1	統計学と医療(総論)	能登 洋	同期型講義中に, 質問に対する回答をリアルタイムで投票する. 授業最後にまとめテストを行い, Webclassに回答する. (以下, 同様)
2	4/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅰ－2	統計学と医療(統計の種類)	能登 洋	
3	5/20	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅰ－3	統計学と医療(相関)	能登 洋	
4	6/3	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅰ－4	統計学と医療(因果)	能登 洋	
5	6/10	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅰ－5	統計学と医療(検査特性)	能登 洋	
6	6/17	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅰ－6	統計学と医療(検査前後確率)	能登 洋	
7	7/1	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅰ－7	統計学と医療(演習)	能登 洋	
8	9/9	09:00-09:50	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ－8(試験日)	応用演習(能登担当分)	能登 洋	
9	9/16	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅰ－9	統計学と医療(事象と確率)	徳永 伸一	
10	10/7	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅰ－10	統計学と医療(確率変数と確率分布)	徳永 伸一	
11	10/7	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅰ－11	統計学と医療(分布1)	徳永 伸一	
12	10/14	11:10-12:00	遠隔授業	臨床統計Ⅰ－12	統計学と医療(分布2)	徳永 伸一	

			（同期型）				
13	10/21	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅰ－13	統計学と医療（検定1）	徳永 伸一	
14	10/21	11:10-12:00	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅰ－14	統計学と医療（検定2）	徳永 伸一	
15	10/28	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅰ－15	統計学と医療（検定3）	徳永 伸一	
16	10/28	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅰ－16	統計学と医療（検定4）	徳永 伸一	
17	11/4	11:10-12:00	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅰ－17	情報セキュリティと情報倫理1	木下 淳博	
18	11/11	11:10-12:00	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅰ－18	情報セキュリティと情報倫理2	木下 淳博	
19	11/18	11:10-12:00	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ－19（試験日）	応用演習（徳永担当分）	徳永 伸一	
20	12/2	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅰ－20	統計学と医療（治療・予防 1）	能登 洋	
21	12/9	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅰ－21	統計学と医療（治療・予防2）	能登 洋	
22	12/9	11:10-12:00	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅰ－22	統計学と医療（治療・予防3）	能登 洋	
23	12/16	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅰ－23	統計学と医療（治療・予防4）	能登 洋	
24	12/23	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅰ－24	統計学と医療（治療・予防5）	能登 洋	
25	1/13	11:10-12:00	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ－25（試験日）	応用演習（能登担当分予定）	能登 洋	

授業方法

医歯学融合の講義・演習による。

Zoom を使用したオンラインによる遠隔講義(同期型または非同期型)を行い、出席はその視聴記録で確認する。
ただし，非同期型の講義については、講義動画を WebClass にアップし、視聴可能時間を設定する。 期間内の視聴が確認できたら出席とする。
授業中にクイズやアンケートを Zoom の投票機能を利用して行う。
授業中の質疑応答は Zoom チャット機能を利用する。授業後の質疑応答はメールを利用して行う。
Webclass にはオンラインリアクションペーパーとして講義の小テストの解答や感想・質問・コメント等を記入するページを用意する。質問は匿名で扱い、次回授業や Webclass にて回答する。授業内容以外のことを記載してもよく、有効活用して欲しい。

授業内容

下記内容に関して，メールによる回答やリアクションペーパー/小テストを多用して学習・復習する（授業スケジュール参照）
・Evidence-Based Medicine
・統計の種類と研究の種類 ・相関・検査特性・治療/予防に関する統計学の基礎と応用法 ・統計学の思想や確率と確率分布を含む数学的原理
・情報セキュリティと情報倫理

成績評価の方法

応用演習（テスト）とレポートを主として評価する（約 90%）。小テスト回答や積極性や出席数についても適宜勘案する（約 10%）。

成績評価の基準

成績評価・追試・再試については原則として東京医科歯科大学試験規則に従う.

準備学習等についての具体的な指示

教科書および Web Class 上にアップロードされる資料等を活用して予習・復習に役立てること.

試験の受験資格

医学部・歯学部第 2 学年 （履修上の注意事項参照）

本学規定のとおり、ブロック全体で 2/3 以上の出席と試験での合格評価を履修要件とする。出席数の計算に関しては、オンライ ンによる遠隔講義の視聴を確認し、従来と同じ規定に基づいて出欠席を判定する。

教科書

スッキリわかる臨床統計はじめの一歩 : 統計のイロハからエビデンスの読み解き方・活かし方まで／能登洋 著,能登, 洋,:羊土社, 2018

参考書

日常診療にすぐに使える臨床統計学 : ベストな診断と治療ができる!／能登洋 著,能登, 洋,:羊土社, 2011

数学/統計学／井川俊彦 [ほか] 著,井川, 俊彦,:医歯薬出版, 2005

やさしい医療系の統計学／佐藤敏雄, 村松宰著,佐藤, 敏雄,村松, 宰,:医歯薬出版, 2002

入門統計解析／松原望著,松原, 望(1942-),:東京図書, 2007-10

誰でも分かる著作権 : 情報化・コンテンツ・教育関係者のために : この 1 冊で／岡本薫 著,岡本, 薫, 1955-,:全日本社会教育連合会, 2005

他科目との関連

グローバルコミュニケーション・生命倫理と相互関連した講義内容である.

履修上の注意事項

・予習課題について事前連絡することがあるため, Web Class を受講前に確認すること ・遠隔授業法(同期型/非同期型)が変更になることがあるため, Web Class を受講前に確認すること ・「応用演習」の回では到達度を測る目的で試験を実施する ・進級条件は原則として東京医科歯科大学試験規則に従う ・各講義の遅刻・早退は原則的に認めない. また, 出席手続きなどの不正に対しては厳正に対処する. ・講義動画. 講義資料・参考資料などは著作権の問題があるため, 受講登録者以外に公開することを禁ずる.

備考

オンライン形式に変わったため, 授業中の Zoom 投票機能やオンラインリアクションペーパー/小テストなども多用する.

昨年のアンケートよりの改善点:オンライン方式により適した質疑応答・テスト形式を採用する.

連絡先(メールアドレス)

能登 洋:hironoto@luke.ac.jp（メール投票に使用するアドレスには連絡しないこと）

時間割番号	021044			
科目名	医歯学基盤教育(グローバル・コミュニケーションⅠ)		科目ID	DD-223002-L
担当教員	森尾 郁子, JANELLE RENEE MOROSS[MORIO IKUKO, JANELLE RENEE MOROSS]			
開講時期	2021年度通年	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業	該当する			

主な講義場所

クラス分け A-H: 遠隔授業(同期型),Zoom ID/Passcode はクラスによって異なる。(WebClass 参照)

授業の目的、概要等

本学は、基本理念の一つに「国際性と指導力を備えた人材の育成」を掲げている。グローバル化が進む昨今、世界の共通言語である英語は、医学・歯学研究の最先端におけるコミュニケーションおよび情報発信ツールにとどまらず、国家・地域レベルでの健康向上のために医療をリードし、そして世界標準に沿った質の高い医療・歯科医療を提供するための情報収集・意見交換ツールとして、必要不可欠である。したがって、本学の基本理念達成には、世界規模で注目されている医療・健康問題に精通し、論理的な思考のもとに意見を持ち、国際舞台で世界共通言語である英語で議論を行うのに必要な「適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考」、いわゆる「クリティカルシンキング」ができなくてはならない。そこで、本科目においては、到達目標を以下のように設定する。そして、並行して進む医歯学専門教育、生命倫理教育、臨床統計教育と本科目での学習内容を可能な範囲でリンクさせることにより、双方に対しての更なる学習動機づけおよび学習効果向上を図り、21世紀の医療を担い、リードする医師、歯科医師に共通して必要とされる基盤資質の修得のための学習機会を提供する。

授業の到達目標

1) 適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考(クリティカルシンキング)ができる。

2) 世界共通言語である英語により発信される医学関連情報に対して、1)にもとづく吟味・口頭または文書での効果的な情報発信・議論ができる。

3) 世界の医療・健康事情の把握とそれによる広い視野を持つ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/22	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	Introduction to Critical Thinking and Group Dynamics, Vocabulary List #1 (WebClass に資料がある)	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE MOROSS	グループ討論、個人の予習(小テストは WebClass で行う)
2	5/6	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	Masks, Vocabulary List #2 (WebClass に資料がある)	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE MOROSS	グループ討論、個人の予習(小テストは WebClass で行う)
3	5/13	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	Hand Washing/ Gloves, Vocabulary List #3 (WebClass に資料がある)	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE MOROSS	グループ討論、個人の予習(小テストは WebClass で行う)
4	5/27	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	Healthcare Associated Infections, Vocabulary List #4 (WebClass に資料がある)	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE MOROSS	グループ討論、個人の予習(小テストは WebClass で行う)
5	6/24	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	Oral Health, Vocabulary List #5 (WebClass に資料がある)	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE MOROSS	グループ討論、個人の予習(小テストは WebClass で行う)
6	7/8	11:10-12:00	遠隔授業	Obesity, Vocabulary	Vocabulary and reading	JANELLE	グループ討論、

			（同期型）	Review Lists #1-5 (WebClass に資料がある)	comprehension quiz, group discussion.	RENEE M OROSS	個人の予習（小テストは WebClass で行う）
7	7/15	11:10-12:00	遠隔授業（同期型）	Patient Compliance, Vocabulary List #6 (WebClass に資料がある)	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	グループ討論、個人の予習（小テストは WebClass で行う）
8	9/30	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	Cadaver, Vocabulary List #7 (WebClass に資料がある)	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	グループ討論、個人の予習（小テストは WebClass で行う）
9	10/14	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	Telomeres, Vocabulary List #8 (WebClass に資料がある)	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	グループ討論、個人の予習（小テストは WebClass で行う）
10	11/4	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	Orthodontia, Vocabulary List #9 (WebClass に資料がある)	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	グループ討論、個人の予習（小テストは WebClass で行う）
11	11/11	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	In Vitro Fertilization, Vocabulary List #10 (WebClass に資料がある)	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	グループ討論、個人の予習（小テストは WebClass で行う）
12	11/25	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	Health Supplements, Vocabulary List Review #6-10 (WebClass に資料がある)	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	グループ討論、個人の予習（小テストは WebClass で行う）
13	12/2	11:10-12:00	遠隔授業（同期型）	Bacteria, Vocabulary List #11 (WebClass に資料がある)	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	グループ討論、個人の予習（小テストは WebClass で行う）
14	12/16	11:10-12:00	遠隔授業（同期型）	Genetics, Vocabulary List #12 (WebClass に資料がある)	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	グループ討論、個人の予習（小テストは WebClass で行う）
15	12/23	11:10-12:00	遠隔授業（同期型）	Aging Society, Vocabulary List #13 (WebClass に資料がある)	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	グループ討論、個人の予習（小テストは WebClass で行う）
16	1/20	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	8020 Promotion, Vocabulary List Review #1-7 (WebClass に資料がある)	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	グループ討論、個人の予習（小テストは WebClass で行う）
17	1/27	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	Medical Tourism, Vocabulary List Review #8-13 (WebClass に資料がある)	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	グループ討論、個人の予習（小テストは WebClass で行う）

授業方法

授業における全ての学習活動は英語で行われる。

1. 少人数グループ討論
医歯学専門知識修得ステージ／生命倫理および臨床統計学習内容に合わせたトピック・論点を選定し、2 から 4 人ずつの小グループにて議論を行う。毎回 Native level speaker(s)を講師兼 Moderator/facilitator として配する。議論のプロダクトを、文書または口頭にて発表する機会も用意する。クリティカルシンキングのための導入および振返り機会を適宜用意する。※注: 生徒は TOEFL スコアと学習意欲の証明に基づいてクラス分けされる。 学生が授業のレベルを上下に変えたいという希望がある場合は、その理由を明記したメッセージをこのコースのディレクターに送ることで調整される場合もある。

2. 医学関連英語語彙・フレーズの習得
医歯学専門知識習得ステージに合わせたスケジュールを組み、発音も重視した学習を行う。毎回あらかじめ学習内容を指定し、授業において Vocabulary quiz という形で学習度の確認を行う。

授業内容
授業スケジュール参照

成績評価の方法
最終成績は以下にもとづき判定される。
・ Vocabulary quiz performance
・ Class participation (discussion/ homework)
・ Optional essays

成績評価の基準
最終成績は下記比重による。
・ Vocabulary quiz performance (30%)
・ Class participation (discussion/ homework) (70%)
※ 注:グループディスカッションの準備と参加に基づいて、各セッションの成績が与えられる。
・ Optional essays (bonus)

準備学習等についての具体的な指示
指示に従い Vocabulary quiz のための学習およびグループ議論、ディベート、口頭プレゼンテーションの準備をしてくること。その際、科目担当者からの指示(文書・口頭)に従うと共に、指定される資料だけでなく、インターネットなどを用いて議論を深めるために役立つ他資料や情報を主体的に収集し、準備に努めること。

試験の受験資格
本科目においては最終試験は行わないが、成績評価は「出席」、「討論の参加」、「毎週の小テスト」によって評価される。なお、本科目は「出席」を非常に重視しており、出席が以下に定める条件に足らず、不合格となった場合、留年となる。合格/進級のための出席関連必要条件、出欠確認方法および出欠ルール、最終警告通知を以下の通りとする。

【合格/進級のための出席関連必要条件】
・「欠席」が全セッションの 3 分の 1 以下であることを必要条件とする(十分条件ではない)。
・病気等による欠席は、診断書が提出されたとしても欠席として扱われる。

【出欠確認方法】
・本科目ではカードリーダーによる出欠管理は行わず、授業を通して担当講師が出欠を確認する。出欠状況は毎セッション終了後にデータ整理後 DreamCampus と WebClass に掲示する。
・出欠状況について授業責任者側から個別に連絡・注意することはしないため、各自で確認し適切に行動すること。確固たる証拠にもとづく事実相違がある場合は、授業責任者に相談すること。

【出欠ルール】
・授業開始時より授業終了時まで在室した場合を「出席」とする。
・授業開始時に在室していなかったが授業開始後 10 分以内に来室し、授業終了時まで在室した場合を「遅刻」とし、「遅刻」3 回を「欠席」1 回とカウントする。
・授業開始後 10 分経過時以降の来室(または授業終了時まで来室なし)、または、来室時間に限らず授業終了の前に退室した場合は、

「欠席」とする。

【欠席過多による「最終警告通知」】
·あと1回の欠席で不合格となる場合、TMDU メールに「最終警告通知」が送付される。
·「最終警告通知」には必ず返信し、通知される内容に従い、必ず担当教員と面談すること。
※注:「最終警告通知」に返答がない場合、保護者に通知がいくので注意すること。

※本学より学生各自に割り当てられたメールアドレス(学籍番号下6桁に ds@tmd.ac.jp)宛に送られる連絡を速やかに確実に確認し対応することは、本学学生の義務です。指示を守れなかった場合に、「メールをみていなかった」は理由になりませんので、短い間隔で定期的に確実にチェックし、対応するようにしてください。

教科書

WebClass 参照

履修上の注意事項

本科目は「出席」を非常に重視しており、出席が条件に足りない場合、不合格(留年)となる。 遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱う。

備考

前期・後期の授業終了後、科目についてのアンケートを webclass で実施する。
アンケートに回答しない場合は、定期試験の合否を含む成績が webclass に表示されない。

昨年のアンケートよりの改善点:
前年のアンケートに基づき、改善点を都度検討し、今後の運用に生かしている。

連絡先(メールアドレス)

森尾 郁子:imorio.edev@tmd.ac.jp
JANELLE RENEE MOROSS:jmoross.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

森尾 郁子:木 PM 4:30– PM 7:00 M&D タワー7 階 歯学教育開発学分野教授室
JANELLE RENEE MOROSS:毎週金曜日 PM 12:00–14:00 1 号館―4 階 教授室

時間割番号	021045			
科目名	医歯学基盤教育(生命倫理Ⅰ)		科目ID	DD-223003-L
担当教員				
開講時期	2021年度2年通年	対象年次	2～3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

授業の目的、概要等

なぜ人は後で倫理的問題になるとは気付かずに、行動をおこなってしまうのか、あるいはするべき事に気付かず(あるいは気付いても)おこなわないままにしてしまうのか。

医学生、歯学生、医師、歯科医師をはじめとした医療者には、医療を担うにふさわしい倫理感覚を持つことが期待される。医療現場では、倫理的問題に対して組織的に対処するシステムがある程度構築されており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は減っている。しかし、わが国の医療関連法は基本的には性善説で成り立っており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は大きく残されている。また、システム自体が暴走した場合には、最後の砦になるのは個人の倫理感覚のみである。したがって、生命倫理においてはシステムについて学ぶだけでなく、これまでに培った自らの個別的倫理感覚をシステムとの関係の中で、どのように生かすのか、あるいは抑えるのかを考察・構築する必要がある。

第2学年においては、医療者としての視点および倫理観について導入と総論的事項について学習する。第3学年および第4学年において、医療および研究における具体的事例とともにその倫理的問題点とシステム的対応について学習し、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点とそれにふさわしい倫理的思考を構築する。

授業の到達目標

医学生、歯学生、医師あるいは歯科医師として求められる実践的倫理判断の養成を図る。これまでに培った個別的文献型倫理学から発展させ、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点を構築する。すなわち、将来実際に経験することになる医療や研究の現場の具体的事例について、単に批評するだけでは済まされず、実際に判断し、指示を出し、さらにその責任を取らなければならない立場にある医師および歯科医師の持つべき倫理的思考過程について学習し、応用し自ら考えることでそれを構築・実践する。

文部科学省HP　医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版)
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

A-1-1)①②③
A-1-2)①②③④
A-1-3)①②③④⑤
A-3-1)⑥⑦⑧
A-4-1)③
A-4-2)①③④⑥⑦
A-5-1)①②③
A-6-1)①③④⑤
A-6-2)③
A-8-1)①②③④

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目
1-3	6/15	09:00-11:50		チーム医療導入

授業方法

動画教材・講義・グループワーク

同期授業と非同期授業を組み合わせて実施する。事前に配布した資料(スライドや動画など)をもとに学習し、同期授業では非同期授業で得た知識を用いて、積極的に問題解決に取り組む形式で実施する。

またアクティブラーニングとしては、自分が実際に考えることが重要であるため、グループワーク、討論、発表といった、単なる座学ではなく、参加型の講義形式も予定している。諸君の積極的な参加を期待している。

授業内容

詳細は別授業日程表のとおり

臨床の課題はより現実的に考えることが重要であるため、できる限り当該臨床科目の履修時期にあわせて講義予定を組んでいる。
担当講師は、医療のさまざまな領域で活動する専門医、専門職の講師をはじめとして、医療以外の分野で活動している実務者にもそれぞれの立場からみた医療や研究について、すなわち他職種や医療者以外の倫理観を含めて問題提起あるいは情報提供を得て、医療者・研究者の倫理について実践的な講義を展開する。

成績評価の方法

講義への出席を単位取得の必要条件とし、第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙(60-70%)、適宜実施する小テストおよび小レポート、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加、素行等(30-40%)をもとにあわせて総合的に評価する。

成績評価の基準

第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙の点数、適宜実施する小テストおよび小レポートの点数(医師および歯科医師の持つべき視点と倫理的思考過程について習得し、応用し自ら考えることができているかどうか)が 70 点以上の場合に合格(A+、A, B)とする。プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加の教員評価(積極的に参加しているか、適切な関与をおこなっているか)等を合計し、尚、試験を受けない場合や反プロフェッショナル行為(不正なコピペ、試験の不正、出席の不正)がみられた場合は成績に関わらず不合格とする(F)。

準備学習等についての具体的な指示

あらかじめ講義のトピックスについて配布資料や動画、参考図書、インターネット等で調べて、そのトピックスに関連する倫理的問題に対して自分なりの見解をもって講義に臨むことが好ましい。

試験の受験資格

講義への出席が、講義時間数の3分の2以上であること。(第3学年前期の到達度評価甲については、第2学年から第3学年前期の到達度評価甲前までの全 9 回の講義のうち、6 回以上の出席であること。第4学年前期の到達度評価乙については、第3学年前期の到達度評価甲後から第4学年前期の到達度評価乙までの全 12 回(予定)(同一日の連続する時限についてはそれぞれ1時限で1回とみなす)のうち、8 回以上の出席であること。各回の講義についての出席の要件は、下記の履修上の注意を参照のこと)

教科書

教科書は使用せず、レジュメ・資料等をそのつど配布する。

参考書

The Oxford textbook of clinical research ethics／edited by Ezekiel J. Emanuel ... [et al.],Emanuel, Ezekiel J.,:Oxford University Press, 2008

Principles and practice of clinical research／edited by John I. Gallin, Frederick P. Ognibene,Gallin, John I.,Ognibene, Frederick P.,:Elsevier/AP, 2012

履修上の注意事項

授業責任者からの連絡は、WebClass で行うので確認すること。 「到達度評価甲」「到達度評価乙」の回では、到達度を測る。 定期試験は実施しないが、進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2／3以上の出席が必要であり、到達度評価は必須である。 医師、歯科医師といった医療者に期待される倫理観を培うために、それぞれの講義時に自ら系統的に考えることが最も重要である。各回の講義について遅刻、早退は系統的に問題に対処する趣旨に反するため、原則的に認めない。また、出席等の手続きについての不正に対しては、医療者に期待される倫理観から著しく外れることから、厳正に対処する。

備考

〇問い合わせ先(講義担当教員)

(教員名) (診療科・分野)

吉田 雅幸: オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

水口 俊介: 随時

江花 有亮: ebnysk.bec@tmd.ac.jp

時間割番号	021046			
科目名	医歯学基盤教育(生命倫理Ⅰ)		**科目ID**	DD-323004-L
担当教員				
開講時期	2021年度2年通年	**対象年次**	2～3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

授業の目的、概要等

なぜ人は後で倫理的問題になるとは気付かずに、行動をおこなってしまうのか、あるいはするべき事に気付かず(あるいは気付いても)おこなわないままにしてしまうのか。

医学生、歯学生、医師、歯科医師をはじめとした医療者には、医療を担うにふさわしい倫理感覚を持つことが期待される。医療現場では、倫理的問題に対して組織的に対処するシステムがある程度構築されており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は減っている。しかし、わが国の医療関連法は基本的には性善説で成り立っており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は大きく残されている。また、システム自体が暴走した場合には、最後の砦になるのは個人の倫理感覚のみである。したがって、生命倫理においてはシステムについて学ぶだけでなく、これまでに培った自らの個別的倫理感覚をシステムとの関係の中で、どのように生かすのか、あるいは抑えるのかを考察・構築する必要がある。

第2学年においては、医療者としての視点および倫理観について導入と総論的事項について学習する。第3学年および第4学年において、医療および研究における具体的事例とともにその倫理的問題点とシステム的対応について学習し、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点とそれにふさわしい倫理的思考を構築する。

授業の到達目標

医学生、歯学生、医師あるいは歯科医師として求められる実践的倫理判断の養成を図る。これまでに培った個別的文献型倫理学から発展させ、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点を構築する。すなわち、将来実際に経験することになる医療や研究の現場の具体的事例について、単に批評するだけでは済まされず、実際に判断し、指示を出し、さらにその責任を取らなければならない立場にある医師および歯科医師の持つべき倫理的思考過程について学習し、応用し自ら考えることでそれを構築・実践する。

文部科学省HP　医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版)
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

A-1-1)①②③
A-1-2)①②③④
A-1-3)①②③④⑤
A-3-1)⑥⑦⑧
A-4-1)③
A-4-2)①③④⑥⑦
A-5-1)①②③
A-6-1)①③④⑤
A-6-2)③
A-8-1)①②③④

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/8	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	生命倫理Ⅰ－3	医の倫理「医科診療に潜む倫理的問題」	石井　秀人	
2	4/15	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	生命倫理Ⅰ－4	医の倫理「歯科診療に関わる倫理的事項」	水口　俊介	
3	4/22	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	生命倫理Ⅰ－5	医の倫理「医療事故と法的問題」	高瀬　浩造	
4	5/6	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	生命倫理Ⅰ－6	医の倫理「医療事故と法的問題」	梶原　道子	
5	5/13	09:00-09:50	遠隔授業	生命倫理Ⅰ－7	医の倫理「生殖医療に関わる倫理	江川　真希子	

			(同期型)		的問題」		
6	5/27	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	生命倫理Ⅰ－8	「医療経済を考える」	井伊 雅子	
7	6/10	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	生命倫理Ⅰ－9	医の倫理「保険診療・診療報酬と倫理的問題」	藍 真澄	
8-10	6/15	09:00-12:00	遠隔授業 (同期型)	チーム医療導入	M3D3N2 を対象とした患者中心の医療を考えるワークショップ		変更の可能性あり
11	6/17	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	生命倫理Ⅰ－10	「到達度評価・甲」	江花 有亮	
12	1/20	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	生命倫理Ⅰ－11	医の倫理「救命救急と医療倫理(トリアージ等)」	大友 康裕	
13	1/27	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	生命倫理Ⅰ－12	医の倫理「終末期医療と倫理(亜急性型の終末期、がん等)」	三宅 智	
14	2/3	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	生命倫理Ⅰ－13	医の倫理「終末期医療と倫理(慢性型の終末期)」	阿部 庸子	
15	2/10	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	生命倫理Ⅰ－14	医の倫理「脳死判定と臓器移植」	坂下 千瑞子	
16	2/10	11:10-12:00	遠隔授業 (同期型)	生命倫理Ⅰ－15	研究倫理「医学系研究デザイン・実際」	江花 有亮	
17	2/17	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	生命倫理Ⅰ－16	「宗教と倫理」	小川 有閑	
18	2/17	11:10-12:00	遠隔授業 (同期型)	生命倫理Ⅰ－17	「宗教と倫理」	小川 有閑	

授業方法

動画教材・講義・グループワーク

同期授業と非同期授業を組み合わせて実施する。事前に配布した資料(スライドや動画など)をもとに学習し、同期授業では非同期授業で得た知識を用いて、積極的に問題解決に取り組む形式で実施する。

またアクティブラーニングとしては、自分が実際に考えることが重要であるため、グループワーク、討論、発表といった、単なる座学ではなく、参加型の講義形式も予定している。諸君の積極的な参加を期待している。

授業内容

詳細は別授業日程表のとおり

臨床の課題はより現実的に考えることが重要であるため、できる限り当該臨床科目の履修時期にあわせて講義予定を組んでいる。

担当講師は、医療のさまざまな領域で活動する専門医、専門職の講師をはじめとして、医療以外の分野で活動している実務者にもそれぞれの立場からみた医療や研究について、すなわち他職種や医療者以外の倫理観を含めて問題提起あるいは情報提供を得て、医療者・研究者の倫理について実践的な講義を展開する。

成績評価の方法

講義への出席を単位取得の必要条件とし、第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙(60-70%)、適宜実施する小テストおよび小レポート、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加、素行等(30-40%)をもとにあわせて総合的に評価する。

成績評価の基準

第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙の点数、適宜実施する小テストおよび小レポートの点数(医師および歯科医師の持つべき視点と倫理的思考過程について習得し、応用し自ら考えることができているかどうか)が 70 点以上の場合に合格(A+、A、B)とする。プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加の教員評価(積極的に参加しているか、適切な関与をおこなっているか)等を合計し、尚、試験を受けない場合や反プロフェッショナル行為(不正なコピペ、試験の不正、出席の不正)がみられた場合は成績に関わらず不合格とする(F)。

準備学習等についての具体的な指示

あらかじめ講義のトピックスについて配布資料や動画、参考図書、インターネット等で調べて、そのトピックスに関連する倫理的問題に対して自分なりの見解をもって講義に臨むことが好ましい。

試験の受験資格

講義への出席が、講義時間数の3分の2以上であること。(第3学年前期の到達度評価甲については、第2学年から第3学年前期の到達

度評価甲前までの全 9 回の講義のうち、6 回以上の出席であること。第4学年前期の到達度評価乙については、第3学年前期の到達度評価甲後から第4学年前期の到達度評価乙までの全 12 回（予定）（同一日の連続する時限についてはそれぞれ1時限で1回とみなす）のうち、8 回以上の出席であること。各回の講義についての出席の要件は、下記の履修上の注意を参照のこと）

教科書

教科書は使用せず、レジュメ・資料等をそのつど配布する。

参考書

The Oxford textbook of clinical research ethics／edited by Ezekiel J. Emanuel ... [et al.],Emanuel, Ezekiel J.,：Oxford University Press, 2008

Principles and practice of clinical research／edited by John I. Gallin, Frederick P. Ognibene,Gallin, John I.,Ognibene, Frederick P.,：Elsevier/AP, 2012

履修上の注意事項

授業責任者からの連絡は、WebClass で行うので確認すること。 「到達度評価甲」「到達度評価乙」の回では、到達度を測る。 定期試験は実施しないが、進級のためには全授業回数（2限連続は2回）の2／3以上の出席が必要であり、到達度評価は必須である。 医師、歯科医師といった医療者に期待される倫理観を培うために、それぞれの講義時に自ら系統的に考えることが最も重要である。各回の講義について遅刻、早退は系統的に問題に対処する趣旨に反するため、原則的に認めない。また、出席等の手続きについての不正に対しては、医療者に期待される倫理観から著しく外れることから、厳正に対処する。

備考

〇問い合わせ先（講義担当教員）

（教員名）（診療科・分野）

吉田 雅幸: オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

水口 俊介: 随時

江花 有亮: ebnysk.bec@tmd.ac.jp

時間割番号	021120				
科目名	医歯学基盤教育(臨床統計Ⅱ)			科目ID	DD-323004-L
担当教員	能登 洋, 水口 俊介[NOTO HIROSHI, MINAKUCHI SHIYUNSUKE]				
開講時期	2021 年度通年	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

主な講義場所

オンラインによる遠隔講義

授業の目的、概要等

医学・歯学の診療・研究において必要とされる統計学の臨床的意義と応用法(問題定式化・問題解決)を学ぶ

授業の到達目標

エビデンスを正しく読解・活用できる実践技能を習得する.具体的には, 実際の英文論文の批判的吟味ができ, 具体的な臨床研究の作り方の理解ができることを最低限の到達目標とする.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/9	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅱ－1	エビデンスの読解・活用	能登 洋	同期型講義中に質問に対する回答をリアルタイムで投票する. 授業最後にまとめテストを行い, Webclass に回答する.(以下, 同様)
2	9/9	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅱ－2	エビデンスの読解・活用	能登 洋	
3	9/16	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅱ－3	エビデンスの読解・活用	能登 洋	
4	9/16	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅱ－4	エビデンスの読解・活用	能登 洋	
5	9/30	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅱ－5	エビデンスの読解・活用	能登 洋	
6	10/7	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅱ－6	エビデンスの読解・活用	能登 洋	
7	10/14	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅱ－7	エビデンスの読解・活用	能登 洋	
8	10/21	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅱ－8	臨床研究 1	水口 俊介	
9	10/21	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅱ－9	臨床研究 2	水口 俊介	
10	11/4	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅱ－10	EBM の実践	能登 洋	
11	11/11	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅱ－11	診療ガイドライン・メタアナリシス	能登 洋	

12	11/25	10:05-10:55	医学科講義室1, 医学科講義室2	臨床統計Ⅱ－12(試験日)	応用演習	能登 洋, 水口 俊介	

授業方法

医歯学融合の講義・演習による.

Zoom を使用したオンラインによる遠隔講義を行い, 出席はその視聴記録で確認する.

ただし, 非同期型の講義については, 講義動画を WebClass にアップし, 視聴可能時間を設定する. 期間内の視聴が確認できたら出席とする.

授業中にクイズやアンケートを Zoom の投票機能を利用して行う.

授業中の質疑応答は Zoom チャット機能を利用する. 授業後の質疑応答はメールを利用して行う.

Webclass にはオンラインリアクションペーパーとして講義の小テストの解答や感想・質問・コメント等を記入するページを用意する. 質問は匿名で扱い, 次回授業や Webclass にて回答する. 授業内容以外のことを記載してもよく, 有効活用して欲しい.

授業内容

相関・診断・治療/予防に関する EBM(論文実践)を, 授業中の Zoom 投票機能やオンラインリアクションペーパー/小テストも多用して学習・復習する(授業スケジュール参照)

成績評価の方法

応用演習(テスト)を主として評価する(約 90%). 小テスト回答や積極性や出席数についても適宜勘案する(約 10%).

成績評価の基準

成績評価・追試・再試については原則として東京医科歯科大学試験規則に従う.

準備学習等についての具体的な指示

教科書および Web Class 上にアップロードされる資料等を活用して予習・復習に役立てること.

試験の受験資格

臨床統計Ⅰ単位取得済みであること. (履修上の注意事項参照)

本学規定のとおり, ブロック全体で 2/3 以上の出席と試験での合格評価を履修要件とする. 出席数の計算に関しては, オンラインによる遠隔講義の視聴を確認し, 従来と同じ規定に基づいて出欠席を判定する.

教科書

スッキリわかる臨床統計はじめの一歩 : 統計のイロハからエビデンスの読み解き方・活かし方まで／能登洋 著,能登, 洋,:羊土社, 2018

参考書

日常診療にすぐに使える臨床統計学 : ベストな診断と治療ができる!／能登洋 著,能登, 洋,:羊土社, 2011

他科目との関連

グローバルコミュニケーション・生命倫理と相互関連した講義内容である.

履修上の注意事項

・予習課題について事前連絡することがあるため, Web Class を受講前に確認すること ・遠隔授業法(同期型/非同期型)が変更になることがあるため, Web Class を受講前に確認すること ・「応用演習」の回では到達度を測る目的で試験を実施する. ・進級条件は原則として東京医科歯科大学試験規則に従う. ・各講義の遅刻・早退は原則的に認めない. また, 出席手続きなどの不正に対しては厳正に対処する. ・講義動画. 講義資料・参考資料などは著作権の問題があるため, 受講登録者以外に公開することを禁ずる.

備考

オンライン形式に変わったため, 授業中の Zoom 投票機能やオンラインリアクションペーパー/小テストなども多用する.

昨年のアンケートよりの改善点:オンライン方式により適した質疑応答・テスト形式を採用する.

連絡先(メールアドレス)

能登 洋:hironoto@luke.ac.jp(授業中のメール投票に使用するアドレスには連絡しないこと)

時間割番号	021121			
科目名	医歯学基盤教育(グローバル・コミュニケーションⅡ)		科目ID	DD-323005-L
担当教員	森尾 郁子, JANELLE RENEE MOROSS[MORIO IKUKO, JANELLE RENEE MOROSS]			
開講時期	2021 年度通年	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

主な講義場所

クラス分け A－H: 遠隔授業(同期型)、 Zoom ID/Passcode はクラスによって異なる。(WebClass 参照)

授業の目的、概要等

本学は、基本理念の一つに「国際性と指導力を備えた人材の育成」を掲げている。グローバル化が進む昨今、世界の共通言語である英語は、医学・歯学研究の最先端におけるコミュニケーションおよび情報発信ツールにとどまらず、国家・地域レベルでの健康向上のために医療をリードし、そして世界標準に沿った質の高い医療・歯科医療を提供するための情報収集・意見交換ツールとして、必要不可欠である。したがって、本学の基本理念達成には、世界規模で注目されている医療・健康問題に精通し、論理的な思考のもとに意見を持ち、国際舞台で世界共通言語である英語で議論を行うのに必要な「適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考」、いわゆる「クリティカルシンキング」ができなくてはならない。そこで、本科目においては、到達目標を以下のように設定する。そして、並行して進む医歯学専門教育、生命倫理教育、臨床統計教育と本科目での学習内容を可能な範囲でリンクさせることにより、双方に対しての更なる学習動機づけおよび学習効果向上を図り、21 世紀の医療を担い、リードする医師、歯科医師に共通して必要とされる基盤資質の修得のための学習機会を提供する。

授業の到達目標

1) 適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考(クリティカルシンキング)ができる。

2) 世界共通言語である英語により発信される医学関連情報に対して、1)にもとづく吟味・口頭または文書での効果的な情報発信・議論ができる。

3) 世界の医療・健康事情の把握とそれによる広い視野を持つ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/20	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	Debate Basics-ORE practice, Med. Term. quiz: Introduction (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	(小テストは WebClass で行う。)
2	6/3	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	Free Dental Care: Pros & Cons Practice, Med. Term. quiz: Prefixes (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	(小テストは WebClass で行う。)
3	6/24	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	Upper GI: Barium vs endoscopy, Med. Term. quiz: Suffixes (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	(小テストは WebClass で行う。)
4	7/1	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	Percutaneous Endogastric Tube (PEG), Med. Term. quiz: Suffixes (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	(小テストは WebClass で行う。)
5	7/8	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	Chewing and Cognitive Function, Med. Term. quiz: Cardiovascular System (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	(小テストは WebClass で行う。)

6	7/15	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Electronic Cigarettes, Med. Term. quiz: Gastrointestinal System (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	（小テストは WebClass で行う。）
7	8/26	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	COPD, Med. Term. quiz: Respiratory System (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	（小テストは WebClass で行う。）
8	9/2	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Autonomy, Med. Term. quiz: Hematology (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	（小テストは WebClass で行う。）
9	9/9	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Oral Cancer, Med. Term. quiz: Oncology (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	（小テストは WebClass で行う。）
10	9/16	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	IV Drips Quick Fix, Med. Term. quiz: Neurology (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	（小テストは WebClass で行う。）
11	9/30	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Gender Identity Dysphoria, Med. Term. quiz: Review (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	（小テストは WebClass で行う。）
12	10/7	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Baby farming/ genetic design, Med. Term. quiz: Nephrology (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	（小テストは WebClass で行う。）
13	10/14	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Prostate Cancer, Med. Term. quiz: Urology (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	（小テストは WebClass で行う。）
14	10/21	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Hypo vs Hyperthyroidism, Med. Term. quiz: M Reproductive (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	（小テストは WebClass で行う。）
15	10/28	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Presentation/ Q&A Practice (all groups) (WebClass に資料がある)	Presentations by all groups (1-6). Feedback from classmates and instructors.	JANELLE RENEE MOROSS	
16	10/28	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	Presentation/ Q&A Practice (all groups)	Presentations by all groups (1-6). Feedback from classmates and instructors.	JANELLE RENEE MOROSS	
17	11/4	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Genetic testing and abortion, Med. Term. quiz: F Reproductive (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	（小テストは WebClass で行う。）

18	11/11	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Atopic Dermatitis, Med. Term quiz: Integumentary (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	（小テストは WebClass で行う。）
19	11/18	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Presentation Group 1: Types of Diabetes, Med. Term. quiz: Endocrine	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	（小テストは WebClass で行う。）
20	11/18	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	Diabetes Testing (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	
21	12/2	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Presentation Group 2: Treatments for Hay fever, Med. Term quiz: ENT	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	（小テストは WebClass で行う。）
22	12/2	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	Hay Fever (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	
23	12/9	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Presentation Group 3: How flu vaccine is made, Med. Term quiz: Review	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	（小テストは WebClass で行う。）
24	12/9	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	Flu Shots (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	
25	12/16	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Presentation Group 4: HIV testing in Japan, Med. Term quiz: Size	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	（小テストは WebClass で行う。）
26	12/16	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	HIV (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	
27	12/23	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Presentation Group 5: Types of cosmetic surgery, Med. Term quiz: Surgery	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	（小テストは WebClass で行う。）
28	12/23	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	Popularity of Cosmetic Surgery (WebClass に資料がある)		JANELLE RENEE MOROSS	
29	1/13	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Presentation Group 6: What is LGBT?, Med. Term quiz: Axis	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE MOROSS	（小テストは WebClass で行う。）
30	1/13	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	Providing Quality Care to LGBT patients	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and	JANELLE RENEE M	

				(WebClass に資料がある)	Comprehension quiz at beginning of sessions.	OROSS	
31	1/20	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Bedridden, Med. Term quiz: Musculoskeletal 1 (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	（小テストは WebClass で行う。）
32	1/27	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Physician Assisted Suicide (PAS), Med. Term quiz: Musculoskeletal 2 (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	（小テストは WebClass で行う。）
33	2/3	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Foreign Medical Professionals, Med. Term quiz: Head (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	（小テストは WebClass で行う。）
34	2/10	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Routine Testing, Med. Term quiz: Med. Specialties (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	（小テストは WebClass で行う。）
35	2/17	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Giving Bad News, Med. Term quiz: Review (WebClass に資料がある)	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	（小テストは WebClass で行う。）

授業方法

授業における全ての学習活動は英語で行われる。

1. 少人数グループ討論

医歯学専門知識修得ステージ／生命倫理および臨床統計学習内容に合わせたトピック・論点を選定し、2 から 4 人ずつの小グループにて議論を行う。毎回 Native level speaker(s)を講師兼 Moderator/facilitator として配する。議論のプロダクトを、文書または口頭にて発表する機会も用意する。クリティカルシンキングのための導入および振返り機会を適宜用意する。※注： 生徒は TOEFL スコアと学習意欲の証明に基づいてクラス分けされる。 学生が授業のレベルを上下に変えたいという希望がある場合は、その理由を明記したメッセージをこのコースのディレクターに送ることで調整される場合もある。

2. 医学関連英語語彙・フレーズの習得

医歯学専門知識習得ステージに合わせたスケジュールを組み、発音も重視した学習を行う。毎回あらかじめ学習内容を指定し、授業において Vocabulary quiz という形で学習度の確認を行う。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

最終成績は以下にもとづき判定される。

・ Vocabulary quiz performance

・ Class participation (discussion/ homework)

・ Optional essays

成績評価の基準

最終成績は下記比重による。

・ Vocabulary quiz performance（30%）

・ Class participation (discussion/ homework) （70%）

※ 注:グループディスカッションの準備と参加に基づいて、各セッションの成績が与えられる。

・ Optional essays（bonus）

準備学習等についての具体的な指示

指示に従い Vocabulary quiz のための学習およびグループ議論、ディベート、口頭プレゼンテーションの準備をしてくること。その際、科目

担当者からの指示(文書・口頭)に従うと共に、指定される資料だけでなく、インターネットなどを用いて議論を深めるために役立つ他資料や情報を主体的に収集し、準備に努めること。

試験の受験資格

本科目においては最終試験は行わないが、成績評価は「出席」、「討論の参加」、「毎週の小テスト」によって評価される。なお、本科目は「出席」を非常に重視しており、出席が以下に定める条件に足らず、不合格となった場合、留年となる。合格/進級のための出席関連必要条件、出欠確認方法および出欠ルール、最終警告通知を以下の通りとする。

【合格/進級のための出席関連必要条件】
·「欠席」が全セッションの 3 分の 1 以下であることを必要条件とする(十分条件ではない)。
·病気等による欠席は、診断書が提出されたとしても欠席として扱われる。

【出欠確認方法】
·本科目ではカードリーダーによる出欠管理は行わず、授業を通して担当講師が出欠を確認する。出欠状況は毎セッション終了後にデータ整理後 DreamCampus と WebClass に掲示する。
·出欠状況について授業責任者側から個別に連絡・注意することはしないため、各自で確認し適切に行動すること。確固たる証拠にもとづく事実相違がある場合は、授業責任者に相談すること。

【出欠ルール】
·授業開始時より授業終了時まで在室した場合を「出席」とする。
·授業開始時に在室していなかったが授業開始後 10 分以内に来室し、授業終了時まで在室した場合を「遅刻」とし、「遅刻」3 回を「欠席」1 回とカウントする。
・授業開始後 10 分経過時以降の来室(または授業終了時まで来室なし)、または、来室時間に限らず授業終了の前に退室した場合は、「欠席」とする。

【欠席過多による「最終警告通知」】
·あと1回の欠席で不合格となる場合、TMDU メールに「最終警告通知」が送付される。
·「最終警告通知」には必ず返信し、通知される内容に従い、必ず担当教員と面談すること。
※注:「最終警告通知」に返答がない場合、保護者に通知がいくので注意すること。

※本学より学生各自に割り当てられたメールアドレス(学籍番号下6桁に ds@tmd.ac.jp)宛に送られる連絡を速やかに確実に確認し対応することは、本学学生の義務です。指示を守れなかった場合に、「メールをみていなかった」は理由になりませんので、短い間隔で定期的に確実にチェックし、対応するようにしてください。

教科書

WebClass 参照

履修上の注意事項

本科目は「出席」を非常に重視しており、出席が条件に足りない場合、不合格(留年)となる。　遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱う。

備考

前期・後期の授業終了後、科目についてのアンケートを webclass で実施する。
アンケートに回答しない場合は、定期試験の合否を含む成績が webclass に表示されない。

昨年のアンケートよりの改善点:
前年のアンケートに基づき、改善点を都度検討し、今後の運用に生かしている。

連絡先(メールアドレス)

森尾　郁子:imorio.edev@tmd.ac.jp
JANELLE　RENEE　MOROSS:jmoross.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

森尾　郁子:木　PM 4:30- PM 7:00　M&D タワー7 階　歯学教育開発学分野教授室
JANELLE　RENEE　MOROSS:毎週金曜日 PM 12:00-14:00 1 号館ー4 階　教授室

時間割番号	021165				
科目名	医歯学基盤教育(生命倫理Ⅱ)			科目ID	DD-423006-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業の目的、概要等

なぜ人は目につくことを過大評価してしまうのか、あるいは、先々のことを考えるのが難しく、現状維持をしてしまうのか。

医学生、歯学生、医師、歯科医師をはじめとした医療者には、医療を担うにふさわしい倫理感覚を持つことが期待される。医療現場では、倫理的問題に対して組織的に対処するシステムがある程度構築されており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は減っている。しかし、わが国の医療関連法は基本的には性善説で成り立っており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は大きく残されている。また、システム自体が暴走した場合には、最後の砦になるのは個人の倫理感覚のみである。したがって、生命倫理においてはシステムについて学ぶだけでなく、これまでに培った自らの個別的倫理感覚をシステムとの関係の中で、どのように生かすのか、あるいは抑えるのかを考察・構築する必要がある。

第4学年においては、医療および研究における具体的事例とともにその倫理的問題点とシステム的対応について学習し、プロジェクトセメスターやクリニカルクラークシップなどの際に医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点とそれにふさわしい倫理的思考を構築する。

授業の到達目標

医学生、歯学生、医師あるいは歯科医師として求められる実践的倫理判断の養成を図る。これまでに培った個別的文献型倫理学から発展させ、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点を構築する。すなわち、将来実際に経験することになる医療や研究の現場の具体的事例について、単に批評するだけでは済まされず、実際に判断し、指示を出し、さらにその責任を取らなければならない立場にある医師および歯科医師の持つべき倫理的思考過程について学習し、応用し自ら考えることでそれを構築・実践する。

文部科学省 HP　医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

A-1-1)①②③

A-1-2)①②③④

A-1-3)①②③④⑤

A-3-1)⑥⑦⑧

A-4-1)③

A-4-2)①③④⑥⑦

A-5-1)①②③

A-6-1)①③④⑤

A-6-2)③

A-8-1)①②③④

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	生命倫理Ⅱ－1	研究倫理「臨床治験と倫理的問題」	小池　竜司	
2	4/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	生命倫理Ⅱ－2	研究倫理「ゲノム研究に関する倫理的問題」	江花　有亮	
3	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	生命倫理Ⅱ－3	研究倫理「再生医療と倫理的問題」	片野　尚子	
4	4/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	生命倫理Ⅱ－4	研究倫理「研究不正」	江花　有亮	
5	5/20	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	生命倫理Ⅱ－5	到達度評価・乙	江花　有亮	
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	生命倫理Ⅱ－6生命倫理Ⅱ－7	研究倫理「倫理審査ワークショップ(説明)」	江花　有亮	アクティブ・ラーニング

授業方法

動画教材・講義・グループワーク

同期授業と非同期授業を組み合わせて実施する。事前に配布した資料、スライドやこれまでに作成された講義動画などをWebClassを通して配信する。これらをもとに学習し、同期授業では非同期授業で得た知識を用いて、積極的に問題解決に取り組む形式で実施する。

またアクティブラーニングとしては、自分が実際に考えることが重要であるため、グループワーク、討論、発表といった、単なる座学ではなく、参加型の講義形式も予定している。諸君の積極的な参加を期待している。

授業内容

詳細は別授業日程表のとおり

臨床の課題はより現実的に考えることが重要であるため、できる限り当該臨床科目の履修時期にあわせて講義予定を組んでいる。

担当講師は、医療のさまざまな領域で活動する専門医、専門職の講師をはじめとして、医療以外の分野で活動している実務者にもそれぞれの立場からみた医療や研究について、すなわち他職種や医療者以外の倫理観を含めて問題提起あるいは情報提供を得て、医療者・研究者の倫理について実践的な講義を展開する。

成績評価の方法

講義への出席を単位取得の必要条件とし、第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙(60-70%)、適宜実施する小テストおよび小レポート、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加、素行等(30-40%)をもとにあわせて総合的に評価する。

成績評価の基準

第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙の点数、適宜実施する小テストおよび小レポートの点数(医師および歯科医師の持つべき視点と倫理的思考過程について習得し、応用し自ら考えることができているかどうか)が 70 点以上の場合に合格(A+、A、B)とする。プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加の教員評価(積極的に参加しているか、適切な関与をおこなっているか)等を合計し、尚、試験を受けない場合や反プロフェッショナル行為(不正なコピペ、試験の不正、出席の不正)がみられた場合は成績に関わらず不合格とする(F)。

準備学習等についての具体的な指示

あらかじめ講義のトピックスについて配布資料や動画、参考図書、インターネット等で調べて、そのトピックスに関連する倫理的問題に対して自分なりの見解をもって講義に臨むことが好ましい。

試験の受験資格

講義はZOOM配信、あるいは昨年度の講義をWebClassの中で配信して実施する。ZOOM配信の講義については出欠を取る。WebClassについては視聴履歴から出欠を取る。いずれも小レポートを提出していただく。講義への出席が、講義時間数の 3 分の 2 以上であること。(第4学年前期の到達度評価乙については、第3学年前期の応用演習後から 第4学年前期の到達度評価乙までの全13回(同一日の連続する時限についてはそれぞれ 1 時限で 1 回とみなす)のうち、9 回以上の出席であること。各回の講義についての出席の要件は、下記の履修上の注意を参照のこと)

教科書

教科書は使用せず、レジュメ・資料等をそのつど配布する。

参考書

The Oxford textbook of clinical research ethics／edited by Ezekiel J. Emanuel ... [et al.],Emanuel, Ezekiel J.,:Oxford University Press, 2008

Principles and practice of clinical research／edited by John I. Gallin, Frederick P. Ognibene,Gallin, John I.,Ognibene, Frederick P.,:Elsevier/AP, 2012

履修上の注意事項

授業責任者からの連絡は、WebClass で行うので確認すること。 「到達度評価甲」「到達度評価乙」の回では、到達度を測る。 定期試験は実施しないが、進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2／3以上の出席が必要であり、到達度評価は必須である。 医師、歯科医師といった医療者に期待される倫理観を培うために、それぞれの講義時に自ら系統的に考えることが最も重要である。各回の講義について遅刻、早退は系統的に問題に対処する趣旨に反するため、原則的に認めない。また、出席等の手続きについての不正に対しては、医療者に期待される倫理観から著しく外れることから、厳正に対処する。

備考

〇問い合わせ先(講義担当教員)

(教員名) (診療科・分野)

吉田 雅幸: オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

水口 俊介: 随時

江花 有亮: ebnysk.bec@tmd.ac.jp

時間割番号	021166				
科目名	医歯学基盤教育(臨床統計Ⅲ)			科目ID	DD-423007-L
担当教員	能登 洋, 水口 俊介[NOTO HIROSHI, MINAKUCHI SHIYUNSUKE]				
開講時期	2021年度前期	対象年次	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

主な講義場所

オンラインによる遠隔講義

授業の目的、概要等

臨床統計Ⅰ･Ⅱで学習した統計学の臨床的意義と応用法をもとに実臨床･臨床研究につながる発展学習を行う.具体的には, 実データを解析して統計学的･臨床的解釈をする演習を行う.

授業の到達目標

臨床的データを適切に解析･活用できる実践技能を習得する.具体的な臨床研究の作り方の理解ができ, 数理･データサイエンス･AI教育の応用基礎レベルの習得を最低限の到達目標とする.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/15	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅲ－1	臨床研究法･EZRの使い方	能登 洋	講義中に質問に対する回答をリアルタイムで投票する. 授業最後にまとめテストを行い, Webclassに回答する.
2	4/22	09:00-12:00	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅲ－2～4	データ解析･解釈演習1～3	能登 洋	
3	5/6	09:00-12:00	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅲ－5～7	データ解析･解釈演習4～6	能登 洋	
4	5/13	09:00-12:00	遠隔授業(同期型)	臨床統計Ⅲ－8～10	データ解析･解釈演習7～9	能登 洋	

授業方法

医歯学融合の講義･演習(実習または遠隔学習)による

Zoomを使用したオンラインによる遠隔講義(同期型)を行い, 視聴確認とともに演習課題レポート提出によって出席と見なす.

授業中にクイズやアンケートをZoomの投票機能を利用して行う.

授業中の質疑応答はZoomチャット機能を利用する. 授業後の質疑応答はメールを利用したりZoomによる相談窓口を設置したりして行う.

Webclassにはオンラインリアクションペーパーとして講義の小テストの解答や感想･質問･コメント等を記入するページを用意する. 質問は匿名で扱い, 次回授業やWebclassにて回答する. 授業内容以外のことを記載してもよく, 有効活用して欲しい.

授業内容

臨床研究法について

オープンデータを利用したデータ管理･データ処理･データ加工･モデリングと評価･統計学的および臨床的解釈の仕方(TBL)

希望者を対象に, 少人数ゼミも授業時間の一部を利用して開催する. AI･機械学習･多変量解析応用などのhands-on学習とディスカッションを行う.

成績評価の方法

科目責任者がレポートを主として評価する(約90%). 小テスト回答や積極性についても適宜勘案する(約10%).

成績評価の基準

統計学的解析・解釈のみならず，臨床的解釈・評価についても判定する.

準備学習等についての具体的な指示

教科書および Web Class 上にアップロードされる資料等を活用して予習・復習に役立てること.

試験の受験資格

臨床統計Ⅰ・Ⅱ単位取得済みであること.（履修上の注意事項参照）

本学規定のとおり、ブロック全体で 2/3 以上の出席と試験での合格評価を履修要件とする。出席数の計算に関しては、Zoom の視聴履歴とともに小テスト小テストの回答数を確認することによって行う。

教科書

スッキリわかる臨床統計はじめの一歩 : 統計のイロハからエビデンスの読み解き方・活かし方まで／能登洋 著,能登, 洋,:羊土社, 2018

参考書

みんなの医療統計 : 12 日間で基礎理論とEZR を完全マスター!／新谷歩 著,新谷, 歩, 1968–,:講談社, 2016

みんなの医療統計／新谷歩 著,新谷, 歩, 1968–,:講談社, 2017

日常診療にすぐに使える臨床統計学 : ベストな診断と治療ができる!／能登洋 著,能登, 洋,:羊土社, 2011

:全日本社会教育連合会

他科目との関連

グローバルコミュニケーション・生命倫理と相互関連した講義内容である.

履修上の注意事項

・予習課題について事前連絡することがあるため，Web Class を受講前に確認すること　・遠隔授業法（同期型/非同期型）が変更になることがあるため，Web Class を受講前に確認すること　・進級条件は原則として東京医科歯科大学試験規則に従う.　・各講義の遅刻・早退は原則的に認めない.また，出席手続きやレポート内容などの不正に対しては厳正に対処する.　・講義動画. 講義資料・参考資料などは著作権の問題があるため，受講登録者以外に公開することを禁ずる.

備考

講義聴講だけでなく演習も行って欲しいとのコメントが増えてきたため，昨年度から演習プログラムを導入した. 今年度からは授業中の投票やオンラインリアクションペーパーも導入する.

オンライン形式になったため，全員実習対象とした. また，発展セミナー（有志）を増枠する.

連絡先(メールアドレス)

能登 洋: hironoto@luke.ac.jp

時間割番号	021167				
科目名	医歯学基盤教育(グローバル・コミュニケーションⅢ)			**科目ID**	DD-423008-L
担当教員					
開講時期	2021 年度前期	**対象年次**	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

Class A
Class B
Class C
Class D
Class E
Class F
Class G
Class H
Class I
Class J
Class K
Class L

主な講義場所

教室について WebClass のファイルを確認してください。
Please check the Class Division file on WebClass.

授業の目的、概要等

本学は、基本理念の一つに「国際性と指導力を備えた人材の育成」を掲げている。グローバル化が進む昨今、世界の共通言語である英語は、医学・歯学研究の最先端におけるコミュニケーションおよび情報発信ツールにとどまらず、国家・地域レベルでの健康向上のために医療をリードし、そして世界標準に沿った質の高い医療・歯科医療を提供するための情報収集・意見交換ツールとして、必要不可欠である。したがって、本学の基本理念達成には、世界規模で注目されている医療・健康問題に精通し、論理的な思考のもとに意見を持ち、国際舞台で世界共通言語である英語で議論を行うのに必要な「適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考」、いわゆる「クリティカルシンキング」ができなくてはならない。そこで、本科目においては、到達目標を以下のように設定する。そして、並行して進む医歯学専門教育、生命倫理教育、臨床統計教育と本科目での学習内容を可能な範囲でリンクさせることにより、双方に対しての更なる学習動機づけおよび学習効果向上を図り、21 世紀の医療を担い、リードする医師、歯科医師に共通して必要とされる基盤資質の修得のための学習機会を提供する。

General Course Information: This University has set "Training human resources with an excellent international sense and an awareness of international competitiveness" as their educational philosophy. With the recent progress of globalization, English proficiency is essential as a common world language; not limited to communication and information dissemination in state-of-the-art medicine and dentistry research, or to lead medical health improvement at the national and regional levels, but also important for information collection and exchange of opinions in order to provide high-quality medical and dental care along the lines of world standards.

In order to achieve this goal, this course aims to use English not as a mere language, but for students to become familiar with the medical and health issues that have been attracting attention on a global scale. Also, through these topics students will learn to state an opinion on the basis of logical thinking, which is necessary to carry out discussions in the international arena. This so-called "critical thinking" method is based on the use of appropriate criteria and rationale for logical, bias-free thinking.

In order for professional education to advance in medical and dental faculties and with an aim to further the learning motivation and learning effect, the content has been linked to clinical statistics and bioethics education. This course provides a learning opportunity for acquisition of the common basic skills required in the 21 Century for medical and dental leaders.

授業の到達目標

1) 適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考（クリティカルシンキング）ができる

2) 世界共通言語である英語により発信される医学関連情報に対して、1）にもとづく吟味・口頭または文書での効果的な情報発信・議論ができる

3) 世界の医療・健康事情の把握とそれによる広い視野を持つ

Course Learning Objectives:

At the end of the course, students will have:

1) Logical, unbalanced thinking (critical thinking) based on appropriate standards and grounds

2) Scrutiny based on 1) on medically relevant information transmitted in English, which is a universal language in the world · Efficient dissemination and discussion of information on verbal or written documents

3) Grasp the medical and health circumstances of the world and have a broad perspective based on it

授業方法

授業における全ての学習活動は英語で行われる。

1. Small group discussion

医歯学専門知識修得ステージ／生命倫理および臨床統計学習内容に合わせたトピック・論点を選定し、2 から 4 人ずつの小グループにて議論を行う。毎回 Native level speaker(s)を講師兼 Moderator/facilitator として配する。議論のプロダクトを、文書または口頭にて発表する機会も用意する。クリティカルシンキングのための導入および振返り機会を適宜用意する。※注： 生徒は TOEFL スコアと学習意欲の証明に基づいてクラス分けされる。 学生が授業のレベルを上下に変えたいという希望がある場合は、その理由を明記したメッセージをこのコースのディレクターに送ることで調整される場合もある。

2. 医学関連英語語彙・フレーズの習得

医歯学専門知識習得ステージに合わせたスケジュールを組み、発音も重視した学習を行う。毎回あらかじめ学習内容を指定し、授業において Vocabulary quiz という形で学習度の確認を行う。

Learning Methods:

All learning activities in class are conducted in English.

1. Small group discussion

Discussion on the selected topic, relevant to the acquisition of medical and dental expertise in bioethics and clinical statistics, learning is carried out in small groups of 2 to 4 students. Native level English speakers are employed in the role of lecturer, moderator/ facilitator. Opportunites to present outcomes of discussion are made available in either written or verbal form. Appropriate introduction to topic and opportunities for reflection of critical thinking are given. ※Note: Students are divided into classes based on TOEFL scores and proof of willingness to learn. If students have a desire to change class levels, either up or down, they should send a message to the directors of this course stating their reasons and positive action will be taken.

2. Medically Relevant English Vocabulary and Phrases

Selected specialized medical and dental vocabulary is given based on students' learning stage, the learning of correct pronunciation is also emphasized. The content is specified in advance and level of achievement is confirmed in the form of a vocabulary quiz in class.

授業内容

詳細は別表のとおり

Course Content: See course outline.

成績評価の方法

最終成績は以下にもとづき判定される。Final grade is determined based on the following:

・ Class participation (discussion/presentation/homework)

・ Optional essays

成績評価の基準

最終成績は下記比重による。Final grade is calculated as follows:

・ Class participation (discussion/presentation/ homework) (100%)注:グループディスカッションの準備と参加に基づいて、各セッションの成績が与えられる。

・ Optional essays(bonus)

準備学習等についての具体的な指示

指示に従いグループ議論、ディベート、口頭プレゼンテーションの準備をしてくること。その際、科目担当者からの指示(文書・口頭)に従うと共に、指定される資料だけでなく、インターネットなどを用いて議論を深めるために役立つ他資料や情報を主体的に収集し、準備に努めること。

Session Preparation: Prelearning and preparation, as per instructions, are necessary for group discussions, debates, and oral presentations. Also, following the verbal or written instruction of the course planner, students should strive to prepare information in addition to the assigned materials to assist in deepening class discussion, either through the Internet or other sources.

試験の受験資格

本科目においては最終試験は行わないが、進級のためには「欠席」が全セッションの 3 分の 1 以下であることを必要条件とする(十分条件ではない)。なお、本科目における出欠確認方法および出欠ルールを以下の通りとする。病気等による欠席は、診断書が提出されたとしても欠席として扱われる。

【出欠確認方法】

本科目ではカードリーダーによる出欠管理は行わず、授業を通して担当講師が出欠を確認する。出欠状況は毎セッション終了後にデータ整理後 WebClass に掲示する。出欠状況について授業責任者側から個別に連絡・注意することはしないため、各自で確認し適切に行動すること。確固たる証拠にもとづく事実相違がある場合は、授業責任者に相談すること。

【出欠ルール】

・ 授業開始時より授業終了時まで在室した場合を「出席」とする。

・ 授業開始時に在室していなかったが授業開始後10 分以内に来室し、授業終了時まで在室した場合を「遅刻」とし、「遅刻」3 回を「欠席」1回とカウントする。

・授業開始後 10 分経過時以降の来室(または授業終了時まで来室なし)、または、来室時間に限らず授業終了の前に退室した場合は、「欠席」とする。

Final Exam: Although there is no final exam in this course, absence of less than one third of all sessions is required in order to pass.

Attendance: Absences due to illness, etc. are not excused, but treated as an absence. (Even if you have a medical certificate from the doctor.) Attendance will be taken by the instructor, and posted on WebClass after the end of each session for students to keep track. If a discrepancy occurs, please provide evidence of attendance and talk with the instructor in charge of the class.

Rules: Tardiness is taken seriously in this course as it hinders the learning of the entire group as well as the person who is late. Attendance means present from the start of the lesson until the end. If students arrive after the start of class up until 10 minutes after, they will be marked tardy. If students arrive after 10 minutes, they will be marked absent. (3 tardys = 1 absence)

参考書

最強のクリティカルシンキング・マップ : あなたに合った考え方を見つけよう : critical thinking map／道田泰司 著,:日本経済新聞出版社, 2012

クリティカルシンキング : あなたの思考をガイドする40の原則入門編／E. B. ゼックミスタ 著,宮元 博章 訳:北大路書房

クリティカルシンキング : あなたの思考をガイドする 40 の原則／Zechmeister, Eugene B.,Johnson, James E.,宮元, 博章,道田, 泰司,谷口, 高士,菊池, 聡,:北大路書房, 1996

Please see WebClass

履修上の注意事項

遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱う。 Caution: Tardiness causes a major nuisance to other members of your group and is handled in a strict manner. Please come to class on time.

時間割番号	021047				
科目名	頭頸部基礎			科目ID	DD-223100-Z
担当教員	井関 祥子, 秋田 恵一, 太田 正人[ISEKI SACHIKO, AKITA KEIICHI, Masato Ohta]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	4
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Head and Neck Basic Medical Sciences

授業の目的、概要等

高齢化社会となり、疾病の多様性が認められる日本の医療現場では、口腔内疾患、身体的疾患を総合的に治療する必要がある。そのため、歯学を理解した医師、医学を理解した歯科医師の養成は、社会が求めるものである。医療系総合大学である本学が先進的な医歯学融合教育を実践することで、医科・歯科両学科の学生が将来の基盤となる頭頸部に関する基礎的な知識をともに学び、共有することは肝要である。

2 年次に行われる本ブロックにおいては、頭頸部領域に関する組織学、解剖学、生理学、発生学の講義・実習の多くを医歯共通授業として行う。本ブロックが基礎・専門科目領域における医歯相互の関連を確認する機会となることで、3 年次以降の医歯学融合教育の礎となることを目標とする。

授業の到達目標

頭頸部領域の構造と機能を理解する。具体的な項目については授業内容の項を参照すること。

コアカリ番号

D-7-1) ⑬⑭

D-13-1) ①②③④

D-14-1) ①②③④⑤⑥

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/28	09:00-10:20	遠隔授業（非同期型）	脳神経概論	『グレイ解剖学 P735-746』『ラングマン人体発生学 P342』	秋田 恵一	
2	6/28	10:30-11:50	遠隔授業（非同期型）	中枢神経系神経概論	『ラングマン人体発生学 P315-337』	原田 理代	
3	6/28	12:50-14:10	遠隔授業（同期型）	集合セッション1		秋田 恵一, 山口 久美子	グループワークを含む双方向性講義
4	6/28	14:20-15:40	遠隔授業（非同期型）	人体解剖学(顔面皮下・浅層)	『人体解剖学実習手順 頭頸部 1』グレイ解剖学 P734-751 人体解剖学カラーアトラス P38	秋田 恵一	
5	6/28	15:50-17:10	遠隔授業（非同期型）	人体解剖学(咀嚼筋浅層、顔面中層、側頭下窩)	『人体解剖学実習手順 頭頸部 2』グレイ解剖学 P787-809 人体解剖学カラーアトラス P40-44	秋田 恵一	
6-7	6/29	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	組織学(口腔)	『口腔の発生と組織 4 版 pp41-105, 116-129』	田畑 純	学生を指名し、回答を求める双方向性講義
8	6/29	15:50-17:10	遠隔授業（同期型）	感覚器の生理1(体性感覚)	『標準生理学第 9 版 P234-257』	杉内 友理子	双方向性講義
9	6/30	09:00-10:20	情報検索室	単語テスト B1		山口 久美子, 原田 理代	
10-15	6/30	10:30-17:10	解剖学実習室	人体解剖学実習 B1	『人体解剖学実習手順 頭頸部 1』グレイ解剖学 P734-751、	秋田 恵一, 柴田 俊一,	A 人体解剖学（顔面(深層)舌）

					P787-809　人体解剖学カラーアトラス P38-44	武智 正樹, 山口 久美子, 坂本 裕次郎, 原田 理代, 室生 暁, 藤代 瞳, 二村 昭元, 中澤正孝, 太田 正人	秋田恵一 『人体解剖学実習手順 頭頸部 2』 歯の総論1・2 柴田俊一 『グレイ解剖学 P1056-1057』『ネッター頭頸部解剖学アトラス P355-365』
16	7/1	12:50-14:10	遠隔授業（同期型）	集合セッション2		秋田 恵一, 山口 久美子	グループワークを含む双方向性講義
17	7/1	14:20-15:40	遠隔授業（非同期型）	運動器の生理	『基礎歯科生理学第 5 版 P.332-P.396』	上阪 直史	
18	7/1	15:50-17:10	遠隔授業（非同期型）	感覚器の解剖と生理 嗅細胞・味蕾など	『標準組織学各論 P461-471』	星 治	
19	7/2	09:00-10:20	情報検索室	解剖学用語試験（A グループ）		山口 久美子, 原田 理代	
20-26	7/2	09:00-17:10	解剖学実習室	人体解剖学実習（A1）	『人体解剖学実習手順 頭頸部 1』 グレイ解剖学 P734-751、 P787-809　人体解剖学カラーアトラス P38-44	秋田 恵一, 柴田 俊一, 武智 正樹, 山口 久美子, 坂本 裕次郎, 室生 暁, 原田 理代, 太田 正人, 藤代 瞳, 二村 昭元	B　人体解剖学（顔面（深層）舌） 秋田恵一 『人体解剖学実習手順 頭頸部 2』 歯の総論1・2 柴田俊一 『グレイ解剖学 P1056-1057』『ネッター頭頸部解剖学アトラス P355-365』
27	7/5	09:00-10:20	情報検索室			山口 久美子, 原田 理代	
28-34	7/5	09:00-17:10	解剖学実習室	解剖学用語試験（B グループ） 人体解剖学実習（B2）	『人体解剖学実習手順 頭頸部 2』 グレイ解剖学 P878-905　人体解剖学カラーアトラス P36	秋田 恵一, 柴田 俊一, 武智 正樹, 山口 久美子, 坂本 裕次郎, 室生 暁, 原田 理代, 太田 正人, 藤代 瞳, 二村 昭元	A　人体解剖学（眼、耳） 秋田恵一 『人体解剖学実習手順 頭頸部 3』 分子発生生物学 1　武智正樹 『ラングマン人体発生学 P351-370』 分子発生生物学 2/3 井関祥子
35	7/6	12:50-14:10	遠隔授業（非同期型）	組織学 （眼）	『標準組織学各論 P401-P433』	石井 智浩	

36	7/6	14:20-15:40	遠隔授業（非同期型）	組織学（耳）	『標準組織学各論 P434-P460』	石井 智浩	
37	7/6	15:50-17:10	その他	自習・補講			
38	7/7	09:00-10:20	情報検索室			山口 久美子, 原田 理代	
39-45	7/7	09:00-17:10	解剖学実習室	解剖学用語試験（A グループ） 人体解剖学実習（A2）	『人体解剖学実習手順 頭頸部 2』 グレイ解剖学 P878-905 人体解剖学カラーアトラス P36	秋田 恵一, 柴田 俊一, 武智 正樹, 山口 久美子, 坂本 裕次郎, 室生 暁, 原田 理代, 太田 正人, 藤代 瞳	A 人体解剖学（眼、耳） 秋田恵一 『人体解剖学実習手順 頭頸部 3』 分子発生生物学 1 武智正樹 『ラングマン人体発生学 P351-370』 分子発生生物学 2/3 井関祥子
46	7/8	12:50-14:10	遠隔授業（同期型）	集合セッション3		秋田 恵一, 山口 久美子	グループワークを含む双方向性講義
47	7/8	14:20-15:40	遠隔授業（同期型）	感覚器の生理2 視覚1	カンデル神経科学 P548-629 事前学習としてカンデル神経科学の P335-354、P388-407、P443-467 を読んでおくこと。上記の難易度が高すぎる場合は参考書イラストレクチャー認知神経科学 P54-70 を推奨する。	伊藤 南	イマキクを用いた双方向性講義
48	7/8	15:50-17:10	遠隔授業（同期型）	感覚器の生理3 視覚2	カンデル神経科学 P548-629 事前学習としてカンデル神経科学の P335-354、P388-407、P443-467 を読んでおくこと。上記の難易度が高すぎる場合は参考書イラストレクチャー認知神経科学 P54-70 を推奨する。	伊藤 南	イマキクを用いた双方向性講義
49-55	7/9	09:00-17:10	解剖学実習室	人体解剖学実習（B3）	『人体解剖学実習手順 頭頸部 3』 グレイ解剖学 P751-787 人体解剖学カラーアトラス P51-54、57-58	秋田 恵一, 柴田 俊一, 武智 正樹, 山口 久美子, 坂本 裕次郎, 室生 暁, 原田 理代, 太田 正人, 藤代 瞳, 二村 昭元	A グループは組織学実習（眼）、（耳） 石井智浩 浅野豪文 稲葉弘哲 『標準組織学各論 P401-P460』
56	7/12	09:00-10:20	情報検索室			山口 久美子, 原田 理代	
57-62	7/12	09:00-15:00	解剖学実習室	解剖学用語試験（A グループ） 人体解剖学実習（A3） 教務に時間変	『人体解剖学実習手順 頭頸部 3』 グレイ解剖学 P751-787 人体解剖学カラーアトラス P51-54、57-58	秋田 恵一, 柴田 俊一, 武智 正樹,	B グループは組織学実習（眼）、（耳） 石

				更依頼、17 時 10 分まで		山口 久美子, 坂本 裕次郎, 室生 暁, 原田 理代, 太田 正人, 藤代 瞳, 二村 昭元	井智浩 浅野豪文 稲葉弘哲『標準組織学各論 P401-P460』
63	7/13	12:50-14:10	遠隔授業（非同期型）	人体解剖学 （鼻腔・副鼻腔・口蓋）	『人体解剖学実習手順 頭頸部 4』グレイ解剖学 P863-877、P893-899 人体解剖学カラーアトラス P55-56	柴田 俊一	
64	7/13	14:20-15:40	遠隔授業（非同期型）	人体解剖学 （咽頭・喉頭）	『人体解剖学実習手順 頭頸部 4』グレイ解剖学 P839-863 人体解剖学カラーアトラス P 45-50	柴田 俊一	
65	7/13	15:50-17:10	遠隔授業（非同期型）	感覚器の生理 4（聴覚）	『参考書として人体の正常構造と機能第 3 版 P718-725』	杉原 泉	
66	7/14	09:00-10:20	情報検索室			山口 久美子, 原田 理代	
67-73	7/14	09:00-17:10	解剖学実習室	解剖学用語試験（B グループ） 人体解剖学実習（B4）	『人体解剖学実習手順 頭頸部 4』グレイ解剖学 P839-877、P893-899 人体解剖学カラーアトラス P 45-50、P55-56	秋田 恵一, 柴田 俊一, 武智 正樹, 山口 久美子, 坂本 裕次郎, 室生 暁, 原田 理代, 太田 正人, 藤代 瞳, 二村 昭元	
74	7/15	12:50-14:10	遠隔授業（同期型）	感覚器の生理5 平衡覚	『標準生理学第 9 版 P281-289』	杉内 友理子	双方向性講義
75	7/15	14:20-15:40	遠隔授業（同期型）	集合セッション4		秋田 恵一, 山口 久美子	グループワークを含む双方向性講義
76	7/15	15:50-17:10	その他	自習・補講			
77-83	7/16	09:00-17:10	解剖学実習室	人体解剖学実習（A4）	『人体解剖学実習手順 頭頸部 4』グレイ解剖学 P839-877、P893-899 人体解剖学カラーアトラス P 45-50、P55-56	秋田 恵一, 柴田 俊一, 武智 正樹, 山口 久美子, 坂本 裕次郎, 室生 暁, 原田 理代, 太田 正人, 藤代 瞳, 二村 昭元	
84-85	7/19	09:00-11:50	医学科講義室 1	筆記試験		秋田 恵一, 山口 久美子, 武智 正樹	
86-87	7/19	12:50-15:40	医学科講	実習総括		秋田 恵一,	

			義室1			柴田 俊一, 武智 正樹, 山口 久美子, 原田 理代, 室生 暁	

授業方法

● 非同期授業

指定された動画ならびに講義資料、参考資料を閲覧し、指示にあるように課題に回答する。4 回の集合セッションでは、それぞれ割り当てられた授業の内容ならびにそれまでに行われた人体解剖学実習での内容を含むため、集合セッション前に当該授業の動画は閲覧し、指示された問題に答えておくこと。

WebClass 上にリアクションペーパーを用意する。これは、感想や質問、コメントを自由に記述してもらうためのものであり、出席管理に使うものではない。また、コミュニケーションツールの側面もあることから、講義と直接関係がない質問を記載することを妨げない。重要な質問やコメントについては集合セッションやWebClass上で答えるが、内容によっては全員に対してでなく、個人的に答える。優れた質問が授業内容を深める助けとなることが多く、講義資料や教科書の誤りの指摘が授業の質を高めることにつながるので、十分活用していただきたい。

● 同期授業

一部の講義はアクティブラーニングスタイルとなるため、Zoom による同期授業で行う。

● 集合セッション

集合セッションではそれまでに行われた講義や実習のなかから寄せられた質問や、非同期授業中の課題について答える。次に、グループに分かれて、提示した症例や課題について討論し、まとめたものを提出する。さらに最後に出された症例や課題については、個別に期限までに提出する。提出方法については、各セクションで説明する。

動画は復習に使用できるよう、一定期間、WebClass 上に閲覧可能な状態に置いておくので、活用していただきたい。ただし、ブレイクアウトルームの内容は録画されない。

授業内容

以下を目標とした授業内容である。

①骨格・軟骨・関節・靭帯・筋 を理解する。
②脳神経と主要な血管・リンパ管走行 を理解する。
③口腔内構造:顎骨および歯, 舌, 口蓋, 唾液腺 を理解する。
④頭頸部における内分泌腺の位置を理解し、分泌されるホルモンを列挙できる。
⑤視覚, 聴覚, 平衡覚, 体性感覚, (嗅覚, 味覚)の感覚刺激受容の概要を理解する。
⑥(平衡感覚機構を眼球運動、姿勢制御と関連させて説明できる。)
⑦眼球と付属器の構造と機能、眼球運動を理解する。
⑧(対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能について説明できる。)
⑨外耳・中耳・内耳の構造 を理解する。
⑩口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造と神経支配を理解する。
⑪咀嚼と嚥下 を理解する。
⑫鰓弓・鰓嚢の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程 を理解する。
⑬神経系・感覚器の形成過程を理解する。

成績評価の方法

頭頸部基礎の評価は、提出課題並びに 7 月 19 日に実施される筆記試験(120 分)によって行う。

1)提出課題
6 月 28 日、7 月 1 日、8 日、15 日の集合セッションのグループ課題 5 点×4 回
6 月 28 日、7 月 1 日、8 日、15 日の集合セッション後の個人課題 5 点×4 回
＊実習の提出課題による加点はない。

2)筆記試験
筆記試験は 7 月 19 日に行う。

頭頸部基礎は 23 コマの MD 共通講義と、2 コマずつ計 4 コマの MD 別講義（組織学）がある。
共通講義 23 コマは、講義担当者は 1 コマ当たり 5 分で回答することを想定した 4 点相当の問題を出題し、92 点分となる。
MD 別講義 4 コマは、講義担当者は 1 コマ当たり 3 分で回答することを想定した 2 点分の問題を出題する。8 点分となる。

期間中に行われる解剖学用語テストは、頭頸部基礎ではなく各学科の人体解剖学の成績の一部となる。組織学実習の課題の点数も、各学科の組織学の成績の一部となる。

成績評価の基準

1）提出された課題：40 点
2）筆記試験：100 点

のうち、それぞれが 60%を超えることを合格の条件とする。
1）2）の点数の合計点が 140 点中何パーセントかによって成績が決まる。

準備学習等についての具体的な指示

・講義の前には授業内容を確認し、該当範囲の教科書を読んで参加すること。
各学科の関連講義（人体発生学、人体解剖学、組織学、生理学導入等）の内容は知っていることを前提として講義を行う。
・集合セッションには指定された講義の内容を理解したうえで臨むこと。
・実習の前には手順に目を通し、予習してくること。
解剖学用語試験について解答できるように、十分に自習すること。また、実習に臨むにあたり、必要に応じて参考資料、補助教材を用い実習手順により予習をおこなうこと。予習が不完全であるとそれだけ実習に時間がかかり遅くなるという悪循環になる。

試験の受験資格

頭頸部基礎の最終日に行われる試験は授業の 1 つであるため、すべての受講生が試験を受ける権利がある。しかし、以下の条件を満たす学生だけが成績評価資格があるものとみなす。

1）集合セッション 4 回（6 月 28 日、7 月 1 日、8 日、15 日）に参加し、その中で課される課題を指示された期限までに提出した。
2）4 回の解剖実習、1 回（医学科）または 2 回（歯学科）の組織実習に参加し、所定の条件を満たす課題を提出した。
＊提出課題の内容が不十分である場合は出席と認めない。

特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合には、その事情とともに締め切り期日/集合セッションの開始前に科目責任者・教務係・授業担当者のいずれかにメールのように日時の記録が残る形で連絡することを必須とする。なお、緊急の場合には電話でもよいが、その後メールはすること。連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合にはその限りではない。これらの十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情に応じてレポート等をもって成績評価資格とする。

教科書

グレイ解剖学／Richard L.Drake：エルゼビア・ジャパン, 2019
ラングマン人体発生学／T.W.サドラー 著：メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016
カンデル神経科学／Eric R. Kandel [ほか] 編：メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2014-04
標準組織学各論／藤田尚男, 藤田恒夫 原著：医学書院, 2017
口腔の発生と組織 = Oral Embryology and Histology／田畑純 著：南山堂, 2019
ISBN：9784263458266
書名：ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス
著者名：Neil S.Norton 著,前田健康 監訳
出版社：エルゼビア・ジャパン
出版年：2018

ISBN：9784263456118
書名：基礎歯科生理学第 5 版
著者名：森本俊文
出版社：医歯薬出版
出版年：2008

参考書

標準生理学 第9版／本間 研一 著:医学書院, 2019-03-18
カラー図解人体の正常構造と機能 = STRUCTURE,FUNCTION AND MATERIALS OF THE HUMAN BODY／坂井建雄, 河原克雅 総編集.: 日本医事新報社, 2017
人体解剖カラーアトラス(電子書籍付)(原書第8版)／佐藤 達夫 翻訳秋田 恵一 翻訳:南江堂, 2021-01-19
イラストレクチャー認知神経科学 : 心理学と脳科学が解くこころの仕組み／村上郁也編:オーム社, 2010
組織学／阿部和厚, 牛木辰男著:南山堂, 2019

履修上の注意事項

実習や集合セッションへの遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱う。実習に際しては、あらかじめ配布された手順を十分に予習して臨むこと。

備考

〇問い合わせ先(講義担当教員、＊ブロックコーディネーター)

(教員名)	(分野)	(E メールアドレス@tmd.ac.jp の前)
秋田恵一	臨床解剖学分野	akita.fana
井関祥子	分子発生学分野	s.iseki.emb
上阪直史	認知神経生物学分野	uesaka.cnb
柴田俊一	顎顔面解剖学分野	sshibata.mfa
杉内友理子	システム神経生理学分野	ysugiuchi.phy1
杉原 泉	システム神経生理学分野	isugihara.phy1
武智正樹	顎顔面解剖学分野	takechi.emb
田畑 純	硬組織構造生物学分野	tabatamj.bss
石井 智浩	細胞生物学分野	ishii.cbio
山口久美子＊	統合教育機構	yamaguchi.fana

2020年度のコース評価を受けて改善した事項

「講義終了から試験までの時間が短すぎる」という発言が多く見られたため、試験日を金曜にせず、週明けの月曜日に設定した。

時間割番号	021122				
科目名	頭頸部臨床			科目 ID	DD-323200-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	4
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業科目名英訳: Head and Neck Clinical Medicine

主な講義場所

COVID-19 の感染状況により、オンラインで行う場合がある。

授業の目的、概要等

頭頸部にはいわゆる五感と総称される視覚、嗅覚、聴平衡覚、味覚、触覚や、呼吸、構音、咀嚼、嚥下、発声などの重要な機能を持つ臓器が多数存在している。これらの機能は複雑に絡み合っており、ひとつが障害をきたすとその他の機能も影響を受け、日常生活の質に重大な影響を及ぼす。そういった複雑な頭頸部領域に生ずる疾患について理解するためには、ブロック形式で一括して当該領域について集中的に学ぶ事が非常に効率的で、かつその理解や習得の程度も深まると考えられる。3 年次に行われる当ブロックにおいては、医歯学両学部を有する東京医科歯科大学の特徴を生かし、医学部と歯学部の学生が共に学習し、議論し、隣接領域の理解を深める事を目的とする。

授業の到達目標

①頭頸部領域の構造と機能の理解
②頭頸部領域の疾患の基本的な知識の理解
③頭頸部領域の疾患の診断と治療の理解
④これらを利用した臨床推論が可能となること

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	1/11	10:00-11:50	遠隔授業（同期型）	オリエンテーション　基礎医学復習テスト		堤 剛, 山口 久美子	Zoom、WebClass で実施
3	1/11	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	耳鼻咽喉科学総論　手術解剖		堤 剛	
4	1/11	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	耳科学 1（解剖・生理）		堤 剛	
5	1/11	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	Prep.Time（めまい・平衡障害）	翌日の AL 耳科学 2 へむけての自習	堤 剛	項目集を参照
6	1/12	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	AL 耳科学 2（めまい・平衡障害）		堤 剛	Active Learning（TBL 班に分かれてのケーススタディ）
7	1/12	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	耳科学 4（聴覚障害）		藤川 太郎	
8	1/12	11:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	耳科学 3（外耳・中耳・顔面神経）		伊藤 卓	WebClass で実施
9	1/12	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	Prep.Time（嚥下・救急・気道管理）	翌日の AL 嚥下・救急・気道管理へむけての自習	堤 剛	項目集を参照
10	1/12	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	Prep.Time（口腔・咽頭・唾液腺）	翌日の AL 口腔・咽頭・唾液腺へむけての自習	本田 圭司	項目集を参照
11	1/12	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	Prep.Time（喉頭）	翌日の AL 喉頭へむけての自習	川島 慶之	項目集を参照
12	1/13	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	AL 嚥下・救急・気道管理		堤 剛	Active Learning（TBL 班に分かれ

							てのケーススタディ）
13	1/13	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	AL 口腔・咽頭・唾液腺		本田 圭司	Active Learning（TBL 班に分かれてのケーススタディ）
14	1/13	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	AL 喉頭		川島 慶之	Active Learning（TBL 班に分かれてのケーススタディ）
15	1/14	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Prep.Time（鼻科学）	次の AL 鼻科学へむけての自習	鈴木 康弘	項目集を参照
16	1/14	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	AL 鼻科学		鈴木 康弘	Active Learning（TBL 班に分かれてのケーススタディ）
17	1/14	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	耳鼻咽喉科ミニケース		伊藤 卓	
18-20	1/14	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	耳鼻咽喉科 TBL		堤 剛, 川島 慶之, 鈴木 康弘, 藤川 太郎, 伊藤 卓, 本田 圭司	Zoom、WebClass で実施
21	1/17	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	頭頸部領域の臨床解剖 1（頸部）		秋田 恵一	
22	1/17	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	頭頸部領域の臨床解剖 2（頭蓋底）		秋田 恵一	
23	1/17	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	上・中咽頭の腫瘍		野村 文敬	
24	1/17	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	頭頸部外科学総論		朝蔭 孝宏	
25	1/17	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	鼻副鼻腔・頭蓋底の腫瘍		朝蔭 孝宏	
26	1/17	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	唾液腺の腫瘍		清川 佑介	
27	1/18	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	頭蓋底腫瘍・脳神経		菅原 貴志	
28	1/18	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	予備枠			
29	1/18	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	甲状腺腫瘍		田崎 彰久	
30	1/18	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	形成外科総論		森 弘樹	
31	1/18	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	頭頸部癌の放射線治療		吉村 亮一	
32	1/18	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	顔面領域の構造と外傷		井上 牧子	
33	1/18	14:50-15:40	遠隔授業	組織再建の考え方と臨		森 弘樹	

			（同期型）	床例			
34	1/19	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	頭頸部・頭蓋底再建の現状と課題		田中 顕太郎	
35	1/19	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	口腔の腫瘍		朝蔭 孝宏	
36	1/19	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	下咽頭・喉頭の腫瘍		大野 十央	
37	1/19	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	頭頸部外科ミニケース 1		有泉 陽介	
38-40	1/20	11:00-13:40	遠隔授業（同期型）	頭頸部病理実習		竹本 暁, 栢森 高, 山本浩平	
41-42	1/21	11:00-12:50	遠隔授業（同期型）	頭頸部外科TBL		有泉 陽介, 大野 十央, 田崎 彰久	Zoom、WebClassで実施
43	1/24	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	口腔外科総論		依田 哲也	
44	1/24	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	顎口腔の外傷		依田 哲也	
45	1/24	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	顎口腔の悪性腫瘍		原田 浩之	
46	1/24	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	皮膚・軟部腫瘍の診断と治療		田中 顕太郎	
47	1/24	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	難治性潰瘍		田中 顕太郎	
48	1/24	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	手足・体幹の先天異常と外傷		井上 牧子	
49	1/25	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	熱傷の局所治療と瘢痕ケロイド		植村 法子	
50	1/25	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	顔面・頭部領域の先天異常		植村 法子	
51	1/25	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	乳房再建・美容外科		森 弘樹	
52	1/25	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	歯科矯正治療		石田 雄之	
53	1/25	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	口腔顎顔面の先天性疾患と顎顔面変形症		中久木 康一	
54	1/25	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	口腔粘膜疾患		津島 文彦	
55	1/26	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	顎関節疾患		儀武 啓幸	
56	1/26	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	歯・歯周疾患と炎症性疾患		荒木 孝二	
57	1/26	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	顎口腔の良性腫瘍および嚢胞		黒嶋 雄志	
58	1/26	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	口腔外科ミニケース		島本 裕彰	
59	1/26	12:00-12:50	遠隔授業（同期型）	患者参加型講義		島本 裕彰	

60	1/27	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	形成外科ミニケース		森　弘樹	
61	1/27	12:00-12:50	遠隔授業（同期型）	形成外科ミニケース		井上　牧子	
62-64	1/28	09:00-11:50	医学科講義室1，医学科講義室2	形成外科　試験		植村　法子	
65-67	1/28	12:50-15:40	医学科講義室1，医学科講義室2	口腔外科・歯科　試験		原田　浩之，津島　文彦	
68	1/31	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	予備枠			
69	1/31	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	予備枠			
70	1/31	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	眼科序論		大野　京子	
71	1/31	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	予備枠			
72	1/31	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	網膜剥離・糖尿病網膜症		堀江　真太郎	
73	1/31	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	予備枠			
74	2/1	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	眼科検査方法・色覚		五十嵐　多恵	
75	2/1	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	ぶどう膜炎		鴨居　功樹	
76	2/1	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	眼症候学		長岡　奈都子	
77	2/1	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	救急疾患		高橋　洋如	
78	2/1	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	屈折異常・調節障害		岩﨑　優子	
79	2/1	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	小児眼科・未熟児眼		東　範行	
80	2/2	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	白内障		髙瀬　博	
81	2/2	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	斜視・弱視		大野　明子	
82	2/2	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	神経眼科		清澤　源弘	
83	2/2	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	角膜		佐野　研二	
84	2/2	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	緑内障		吉田　武史	
85	2/2	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	網膜疾患		浦本　賢吾	
86	2/3	11:00-11:50	遠隔授業	眼科ミニケース		大野　京子	

			(同期型)				
87	2/3	12:00-12:50	遠隔授業(同期型)	眼科ミニケース		鴨居 功樹	
88-90	2/4	09:00-11:50	医学科講義室 1, 医学科講義室 2	眼科 試験		髙瀬 博	

授業方法

講義 68 回(基礎医学復習テスト、ミニケース、患者参加型講義、active learning 含む)

病理実習 1 回

試験 5 回(TBL5 回)

耳鼻咽喉科の AL(active learning)とある講義については、あらかじめ提示した query を予習し、講義はすべて TBL 班ごとの case study と discussion 形式で行う。query に対するレポート提出を受け付ける(任意だが TBL 後の救済に使用する)。

授業内容

ブロック開始時に頭頸部領域全般についての基礎医学の復習テストを行い、これまで学んできた基礎的事項の理解度を再評価する。当ブロックの講義を行う主たる診療科は、耳鼻咽喉科(第 1 週)、頭頸部外科(第 2 週)、形成外科(第 2～3 週)、口腔外科・歯科(第 3 週)、眼科(第 4 週)であるが、適宜関連する他科、即ち、臨床解剖(第 1・2 週)、放射線科(第 2 週)、脳外科(第 2 週)といった他科の協力も得てこれらの領域の講義も複合的に取り入れ、理解を深める手助けとする。なお、形成外科については、その診療範囲は全身であるため、講義、試験とも、頭頸部領域のみでなく全身を対象としたものになる。また、第 2 週には医科歯科合同の病理実習を行い、各週の後半には主たる診療科のミニケースや患者参加型講義を行い、臨床推論の基礎と実際を学んで行く。第2～4週の最終日(金曜日)には医歯学融合教育支援センターの協力を得て TBL を行って学習内容の理解の確認を行うと共に、知識の統合的な理解を深める。

成績評価の方法

講義や実習の態度、基礎腹中テストおよび 5 回の TBL・試験による総合成績で評価する。

耳鼻咽喉科の AL 講義については、レポート提出は任意だが成績判定に加味する場合がある。

成績評価の基準

5 回の TBL・試験の配点は均等とし、個々の TBL・試験において合格基準(60 点以上)を満たす事がブロック合格の条件となる。不合格の科に関して再試験を行う。不合格の場合の再試験は、当ブロック終了翌月の 3 月に行われる「頭頸部・臨床」再試験によって行う。「基礎医学復習テスト」についても成績判定に利用することがある。

準備学習等についての具体的な指示

・頭頸部基礎の知識がある前提で講義を行う。頭頸部臨床ブロックの開始前には必ず頭頸部基礎の復習をすること。

・直前に講義に関する情報を追加することがあるので、教務課からのメールおよび WebClass 上の連絡事項を確認すること。

・時間割表で授業内容を確認し、教科書の関連項目に目を通して授業に出席すること

試験の受験資格

出席は確認しない。

教科書

新耳鼻咽喉科学／切替一郎 原著,野村恭也 監修,加我君孝 編集,:南山堂, 2013

標準形成外科学／平林慎一 監修,鈴木茂彦, 岡崎睦 編集,平林, 慎一, 1951-,鈴木, 茂彦,岡崎, 睦,:医学書院, 2019

最新口腔外科学 第 5 版／榎本昭二他:医歯薬出版, 2017

現代の眼科学／吉田晃敏, 谷原秀信 編,所敬 監修,:金原出版, 2012

参考書

イラスト手術手技のコツ耳鼻咽喉科・頭頸部外科／村上泰, 久育男 監修,小川郁, 河田了, 岸本誠司, 春名眞一 編集,村上, 泰, 1935-,久, 育男, 1949-,小川, 郁, 1955-,河田, 了,岸本, 誠司, 1948-,:東京医学社, 2017

がんを見逃さない : 頭頸部癌診療の最前線／岸本誠司 専門編集,:中山書店, 2013

Essentials of Plastic Surgery, Second Edition／Jeffrey E. Janis:CRC Press, 2014

Operative Oral and Maxillofacial Surgery／John D. Langdon, Peter A. Brennan:Hodder Education, 2011

動画でみるみるわかる眼科検査テクニック : 基本手順から疾患の捉え方まで、検査のすべてが、みえる、わかる、できる／松本長太 監修,前田裕子 編著,:メディカ出版, 2013

Clinical ophthalmology／Jack J. Kanski, Bradley Bowling:Elsevier Saunders, 2011

ENG アトラス = Atlas of Electronystagmography : めまい・平衡機能障害診断のために／小松崎篤 著,小松崎, 篤, 1933-,:医学書院, 2017

履修上の注意事項

講義、実習、試験はすべてオンラインで実施する。大人数での講義・実習となるので、これらを円滑に進めるため、時間厳守とし、担当教員の業務遂行にも協力していただきたい。特に患者参加型講義においては遅刻、私語、写真撮影や音声の記録は厳禁とする。

備考

【科目責任者】堤　剛(耳鼻咽喉科学)、原田　浩之(顎口腔外科学分野)

問い合わせ先(担当教員)を以下に記載します。

耳鼻咽喉科:川島 慶之:kawashima.oto@tmd.ac.jp

頭頸部外科:大野　十央:ohno.hns@tmd.ac.jp

形成外科:植村 法子:noriplas@tmd.ac.jp

口腔外科:島本裕彰:hiroaki.osur@tmd.ac.jp

眼科:高瀬 博:h.takase.oph@tmd.ac.jp

人体病理:竹本暁:takepth1@tmd.ac.jp

口腔病理:栢森高:kayamori.mpa@tmd.ac.jp

〇運営補助:医歯学融合教育支援センター教員

参照ホームページ

日本耳鼻咽喉科学会ホームページ http://www.jibika.or.jp/

日本頭頸部癌学会ホームページ http://www.jshnc.umin.ne.jp/

日本形成外科学会ホームページ http://www.jsprs.or.jp/

日本口腔外科学会ホームページ http://www.jsoms.or.jp/

日本眼科学会ホームページ http://www.nichigan.or.jp/index.jsp

http://lib.tmd.ac.jp/e-service/e-books.html

時間割番号	021123A				
科目名	総合診療・地域医療			科目ID	DD-323300-L
担当教員					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

主な講義場所

講義:教場において対面、または ZOOM による授業(同期型)

実習:大学内、その他

実習(early exposure):地域の医療機関に訪問、またはZOOMによるインターラクティブな会話

授業の目的、概要等

実際に地域で展開されている医療などを知り、地域住民のニーズに合致した医療や多職種連携(医科歯科連携を含む)を理解し、全人的医療を実現させる総合診療、地域包括ケア、そして地域共生社会の重要性を認識できるようにする。

授業の到達目標

・日本の医療の問題とその対策について説明できる。
・総合診療やプライマリ・ケアの機能とその重要性を説明できる。
・よく遭遇する医科疾患、歯科疾患について説明できる。
・高齢者へのケア、終末期ケアについて説明できる。
・患者中心の医療を説明できる。
・地域医療を実施するのに必要とされる態度を身に着ける。
・家族志向のアプローチを説明できる。
・地域志向のプライマリ・ケアを説明できる。
・効果的な患者教育を説明できる。
・地域共生社会など、予防や健康増進について説明できる。
・在宅医療について説明できる。
・地域包括ケアについて説明できる。
・多職種連携の重要性と備えるべき技能を説明できる。
・特に医科歯科連携を認識できる。
・地域住民が求めている医療を認識できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	2/7	09:00-10:50	遠隔授業(同期型)	なぜ総合診療か？＋シネメディケーション	竹村 洋典
3	2/7	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	医療と経済	川渕 孝一
4-6	2/7	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	口腔ケア実習	鈴木 瞳, 吉田 直美, 品田 佳世子
7-9	2/7	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	高齢者疑似体験実習	猪越 正直
10	2/8	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	在宅歯科医からみた要介護高齢者の状況	猪原 健
11	2/8	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	摂食嚥下リハビリテーション	中根 綾子
12	2/8	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	患者中心の医療	竹村 洋典
13	2/8	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	家族志向のアプローチ	竹村 洋典
14	2/8	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	精神疾患	竹村 洋典
15	2/8	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	地域包括ケア	酒井 和久
16-17	2/9	09:00-10:50	遠隔授業(同期型)	高齢者歯科	水口 俊介
18	2/9	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	高齢者ケア＋実習オリエンテーション	馬渕 卓
19	2/9	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	栄養	豊島 瑞枝
20	2/9	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	市中感染症	羽田野 義郎
21	2/9	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	身体疾患	吉田 尚子
22	2/10	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	地域医療で求められるスキル	山田 徹
23	2/10	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	病院総合医・Hospitalist	山田 徹

24	2/10	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	多職種連携	後藤 夕輝
25-28	2/11	09:00-17:10	遠隔授業(同期型)	学外実習(1 回目)	馬渕 卓
29	2/14	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	在宅医療	鈴木 里彩
30	2/14	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	倫理の 4 分割法	山田 徹
31	2/14	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	予防と健康増進	吉田 尚子
32-34	2/14	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	高齢者疑似体験実習	猪越 正直
35-37	2/14	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	口腔ケア実習	鈴木 瞳, 吉田 直美, 品田 佳世子
38-41	2/15	09:00-17:10	遠隔授業(同期型)	学外実習(2 回目)	馬渕 卓
42	2/16	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	地域共生社会	長嶺 由衣子
43	2/16	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	臨床的問題解決手法	赤石 雄
44	2/16	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	患者教育	馬渕 卓
45-47	2/16	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	病理実習	木脇 祐子
48	2/18	12:50-13:40	医学科講義室 1, 医学科講義室 2	筆記試験	山田 徹

授業方法

大教室における講義形式で知識を伝える。適宜、ブレインストーミング的に学生と対話する。一部、シネメディケーションを使う。また、実習によってその知識を技能として具備させる。さらに学外実習によってそれらの知識や技能を態度面にまで昇華させる。
状況によりZOOMを使用する可能性あり。その場合も、アクティブラーニングに配慮し、原則、同期授業形式とする。

授業内容

Ⅰ. 講 義
(1) 日本の医療の問題とその対策
(2) プライマリ・ケアの機能とその重要性
(3) プライマリ・ケアにおける臨床診断学
(4) よく遭遇する医科疾患
(5) よく遭遇する歯科疾患
(6) 高齢者へのケア、終末期ケア
(7) 患者中心の医療
(8) 地域医療を行うにあたっての態度(シネメディケーションによる)
(9) 家族志向のアプローチ
(10) 地域志向のプライマリ・ケア
(11) 効果的な患者教育方法
(12) 地域共生社会など、予防や健康増進
(13) 在宅医療
(14) 地域包括ケア
(15) 多職種連携の重要性、および多職種連携を実施するために必要な技術
(16) 医科歯科連携の基盤の構築
(17) その他
Ⅱ. 実 習
(1) 口腔ケア実習
(2) 高齢者体験実習
(3) 学外実習

成績評価の方法

知識の確かめるための筆記試験を実施する。

成績評価の基準

B 基準は、知識レベルで75%を習得している必要がある。A 基準以上は知識レベルで最低限85%が必要である。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

すべての授業・実習に出席していること。すべての動画を視聴していること。

教科書

一般社団法人日本専門医機構. 総合診療専門研修公式テキストブック. 日経 BP（東京）

ISBN 938-4-296-10866-4

履修上の注意事項

1. 事前学習　Web Class（授業までには掲載予定）に収録されている動画を必ず視聴し、また資料を理解してくること。 2. 服装　各施設において適切と考えられる服装。

備考

本カリキュラムは2020年の学生からのカリキュラム評価を反映している。また、アクティブラーニングを配慮し、講義はすべて同期型とし、また実習もできる限り参加型としている。

参照ホームページ

下記のホームページのうち、特に教育資料などを参照のこと。

http://www.tmd.ac.jp/grad/fmed/

時間割番号	021214				
科目名	包括医療統合教育			科目ID	DD-623400-Z
担当教員					
開講時期	2021年度前期	対象年次	5～6	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

本モジュールは、職種間連携に基づく症例検討を主に扱うモジュールであるため、各学生は、歯科的な知識、歯科医療人としての責任を十分に自覚して、授業に望むことが期待される。
必要情報については、WebClassを利用しての情報提供となるため、情報の確認を授業前後では必ず行うこと。

主な講義場所

遠隔授業(同期・非同期型)とする。

授業の目的、概要等

口腔医療、全身医療それぞれの進歩・複雑化により、高齢者や合併症や複雑な背景を抱える患者の医療には医、歯をはじめとした多職種間で連携性・協調性のとれた包括的医療が必要とされる。そのような観点から、本学では医療系総合大学の特性を生かし、学科横断、講座横断、および学年縦断的な医歯学融合教育の礎をつくる以下の6つの目的をかかげる。

授業の到達目標

①診療において、他の専門職、患者および患者家族に配慮し良好な関係を築くとともに、専門職種にふさわしい振る舞いができる。
②基礎医学の知識をもとに疾患の病因・病態臨床徴候などを十分理解し、頻度の高い疾患や重篤な病態に関しては、適切な評価法を算定し所見を解釈すると同時に、診断および治療法に関する知識を診療に応用できる。
③全身疾患と口腔疾患の関連を考慮した診療ができる。
④高齢者包括的評価をおこなうことができる。
⑤医療機関内の制度、資源や社会における医療福祉制度を理解する。
⑥医学の様々な分野でフロンティアを切り開く創造能力を養う。
⑦メンタルストレスに直面した際の適切な自己管理、通常時の自己研鑽、自己学習ができる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/21	16:00-16:50	遠隔授業(同期型)	D6-OH4 合同症例検討①	(AL)演習　D6/OH4 混成班において、患者症例検討を行う。	鶴田 潤, 則武 加奈子	
2	5/28	15:30-16:20	遠隔授業(同期型)	D6-OH4 合同症例検討②	(AL)演習　D6/OH4 混成班において、患者症例検討を行う。	鶴田 潤, 則武 加奈子	
3	6/4	15:30-16:20	遠隔授業(同期型)	D6-OH4 合同症例検討③	(AL)演習　D6/OH4 混成班において、患者症例検討を行う。。	鶴田 潤, 則武 加奈子	
4	6/11	15:30-16:20	遠隔授業(同期型)	D6-OH4 合同症例検討④	(AL)演習　D6/OH4 混成班において、患者症例検討を行う。	鶴田 潤, 則武 加奈子	
5	6/18	15:30-16:20	遠隔授業(同期型)	D6-OH4 合同症例検討⑤	(AL)演習　D6/OH4 混成班において、患者症例検討を行う。	鶴田 潤, 則武 加奈子	
6	6/25	15:30-16:20	遠隔授業(同期型)	D6-OH4 合同症例検討⑥	(AL)演習　D6/OH4 混成班において、患者症例検討を行う。	鶴田 潤, 則武 加奈子	
7-14	6/29	09:00-16:40	遠隔授業(同期型)	チーム医療入門1日目	(AL)演習　全学科最終学年・他大学学生にようる混成班において、患者症例検討を行う。	鶴田 潤, 則武 加奈子, 戸原 玄, 水谷 幸嗣, 樺沢 勇司	ZoomID: 直近で提示予定 WebClass:
15-22	6/30	09:00-16:40	遠隔授業(同期型)	チーム医療入門2日目	(AL)演習　全学科最終学年・他大学学生にようる混成班において、患者症例検討を行う。	鶴田 潤, 則武 加奈子, 戸原 玄, 水谷 幸嗣, 樺沢 勇司	ZoomID: 直近で提示予定 WebClass:

23	7/2	12:50-14:20	遠隔授業 (同期型)	医歯学科合同講義 ～薬害被害について～	薬害による被害について、患者家族の講話をもとに学びを深める。	鶴田 潤, 山口 久美子, 中川 美奈	ZoomID: 直近で提示予定 WebClass:

授業方法

講義・グループ討論・自己学習とプレゼンテーションほか

成績評価の方法

それぞれの授業(講義・演習)への出席状況・個人およびグループ課題・レポートの評価を総合的に扱い成績評価を行い、単位判定を行う。

特に、「提出物」については、提出期限の遵守を含む提出状況を評価に用いるため、必ず、提出を行うこと。

準備学習等についての具体的な指示

・講義の前には授業内容を確認し、予習してくること。

・実習の前には要項に目を通し、予習してくること。また、実習に臨むにあたり、必要に応じて参考資料、補助教材を用い予習をおこなうこと。

試験の受験資格

①演習:D6-OH4合同症例セミナー 6回(6コマ)(毎週金曜日:5月21日～6月25日)

②演習:チーム医療入門 (6月29日(火)、30日(水)終日8コマ計16コマ)

③講義:薬害被害者について(医科との合同講義:2コマ)(7月2日(金))

試験評価は、授業への出席状況・個人およびグループ課題・レポートの評価を総合的に扱うため、原則、

①については4分の3以上の出席、

②については、原則全コマ出席、

③については、全コマ出席を 評価対象への条件とする。

モジュールの単位判定

授業への出席状況・個人およびグループ課題・レポートの評価を総合的に扱い成績評価を行い、単位判定を行う。

履修上の注意事項

出席は、「講義:実習開始時の WebClass の出席ボタンへの登録」をもって確認する。ほか、出席状況がわかる資料については、「参考」としてのみ用いる。 早退や遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱われ、事前に申請の正当な理由のない早退や遅刻は欠席とみなす。 実習に際しては、あらかじめ配布された手順を十分に予習して臨むこと。 また、他実習同様に、守秘義務は徹底し、ツイッター等への投稿も厳に慎むこと。

2021 年度歯学科 2 年次学生

連携教育（教養教育）

時間割番号	000402				
科目名	教養英語			科目ID	LA-210600-Z
担当教員	畔柳 和代, 猪熊 恵子, CORLISS JONATHAN[KUROYANAGI KAZUYO, INOKUMA KEIKO, Corliss Jonathan]				
開講時期	2021 年度通年	対象年次	2	単位数	4
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：火曜1～2限

・対象学科：歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

主な講義場所

前期：「Corliss クラス」は病院演習室、「畔柳クラス」は第4ゼミナール室。

後期：「Corliss クラス」は歯学科第 1 講義室、「猪熊クラス」は大学院講義室2。

授業の目的、概要等

This is a two-part course. Depending on the instructor and the semester, students will study speaking and listening skills through conversations and presentations or concentrate on reading and writing particularly via summarizing, paraphrasing, or other techniques. New vocabulary will be introduced and tested in both sections of the course.

The primary goal of this course is to improve the overall reading, writing, speaking, and listening skills of students majoring in dentistry.

授業の到達目標

Objectives for particular classes will depend on the semester and instructor. The following are objectives for particular classes:

Kuroyanagi:

To improve the ability to write concise reports and responses in English.

Inokuma:

To develop skills in recognizing various styles of writing and to consider how those rhetorical techniques function to make written texts convincing and persuasive.

Corliss:

To improve the ability to speak with and in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/6	10:30-12:00		Both: Guidance	Both: Course Introduction	畔柳 和代, CORLISS JONATHAN
2	4/13	10:30-12:00		Kuroyanagi: Reading Material 1 Corliss: Topic 1	Kuroyanagi: Reading and Writing Practice Corliss: Listening and Speaking Activities	畔柳 和代, CORLISS JONATHAN
3	4/20	10:30-12:00		Kuroyanagi: Reading Material 2 Corliss: Topic 2	Kuroyanagi: Reading and Writing Practice Corliss: Listening and Speaking Activities	畔柳 和代, CORLISS JONATHAN
4	4/27	10:30-12:00		Kuroyanagi: Reading	Kuroyanagi: Reading and Writing	畔柳 和代, C

				Material 3　Corliss: Topic 3	Practice　Corliss: Listening and Speaking Activities	ORLISS JO NATHAN
5	6/8	10:30-12:00		Kuroyanagi: Reading Material 4　Corliss: Topic 4	Kuroyanagi: Reading and Writing Practice　Corliss: Listening and Speaking Activities	畔柳 和代, C ORLISS JO NATHAN
6	6/15	10:30-12:00		Kuroyanagi: Reading Material 5　Corliss: Topic 5	Kuroyanagi: Reading and Writing Practice　Corliss: Listening and Speaking Activities	畔柳 和代, C ORLISS JO NATHAN
7	6/22	10:30-12:00		Kuroyanagi: Reading Material 6　Corliss: Topic 6	Kuroyanagi: Reading and Writing Practice　Corliss: Listening and Speaking Activities	畔柳 和代, C ORLISS JO NATHAN
8-9	6/29	08:50-12:00		Kuroyanagi: Reading Material 7, 8　Corliss: Topic 7, 8	Kuroyanagi: Reading and Writing Practice　Corliss: Listening and Speaking Activities	畔柳 和代, C ORLISS JO NATHAN
10-11	7/6	08:50-12:00		Kuroyanagi: Reading Material 9, 10　Corliss: Topic 9, 10	Kuroyanagi: Reading and Writing Practice　Kuro: Listening and Speaking Activities	畔柳 和代, C ORLISS JO NATHAN
12-13	7/13	08:50-12:00		Kuroyanagi: Reading Material 11, 12　Corliss: Topic 11,12	Kuroyanagi: Reading and Writing Practice　Corliss: Listening and Speaking Activities	畔柳 和代, C ORLISS JO NATHAN
14-15	7/20	08:50-12:00		Kuroyanagi: Reading Material 13　Corliss: Topic 13　Both: Review	Kuroyanagi: Reading and Writing Practice　Corliss: Listening and Speaking Activities	畔柳 和代, C ORLISS JO NATHAN
16	9/28	08:50-10:20		Both: Guidance	Both: Course Introduction	猪熊 恵子, C ORLISS JO NATHAN
17	10/5	08:50-10:20		Inokuma: Reading Material 1　Corliss: Topic 1	Inokuma: Reading and Writing Practice　Corliss: Listening and Speaking Activities	猪熊 恵子, C ORLISS JO NATHAN
18	10/19	08:50-10:20		Inokuma: Reading Material 2　Corliss: Topic 2	Inokuma: Reading and Writing Practice　Corliss: Listening and Speaking Activities	猪熊 恵子, C ORLISS JO NATHAN
19	10/26	08:50-10:20		Inokuma: Reading Material 3　Corliss: Topic 3	Inokuma: Reading and Writing Practice　Corliss: Listening and Speaking Activities	猪熊 恵子, C ORLISS JO NATHAN
20	11/2	08:50-10:20		Inokuma: Reading Material 4　Corliss: Topic 4	Inokuma: Reading and Writing Practice　Corliss: Listening and Speaking Activities	猪熊 恵子, C ORLISS JO NATHAN
21	11/9	08:50-10:20		Inokuma: Reading Material 5　Corliss: Topic 5	Inokuma: Reading and Writing Practice　Corliss: Listening and Speaking Activities	猪熊 恵子, C ORLISS JO NATHAN
22	11/16	08:50-10:20		Inokuma: Reading Material 6　Corliss: Topic 6	Inokuma: Reading and Writing Practice　Corliss: Listening and Speaking Activities	猪熊 恵子, C ORLISS JO NATHAN
23	11/30	08:50-10:20		Inokuma: Reading Material 7　Corliss: Topic 7	Inokuma: Reading and Writing Practice　Corliss: Listening and Speaking Activities	猪熊 恵子, C ORLISS JO NATHAN
24	12/7	08:50-10:20		Inokuma: Reading Material 8　Corliss: Topic	Inokuma: Reading and Writing Practice　Corliss: Listening and	猪熊 恵子, C ORLISS JO

				8	Speaking Activities	NATHAN
25	12/14	08:50-10:20		Inokuma: Reading Material 9 Corliss: Topic 9	Inokuma: Reading and Writing Practice Corliss: Listening and Speaking Activities	猪熊 恵子, CORLISS JO NATHAN
26	12/21	08:50-10:20		Inokuma: Reading Material 10 Corliss: Topic 10	Inokuma: Reading and Writing Practice Corliss: Listening and Speaking Activities	猪熊 恵子, CORLISS JO NATHAN
27	1/4	08:50-10:20		Inokuma: Reading Material 11 Corliss: Topic 11	Inokuma: Reading and Writing Practice Corliss: Listening and Speaking Activities	猪熊 恵子, CORLISS JO NATHAN
28	1/11	08:50-10:20		Inokuma: Reading Material 12 Corliss: Topic 12	Inokuma: Reading and Writing Practice Corliss: Listening and Speaking Activities	猪熊 恵子, CORLISS JO NATHAN
29	1/18	08:50-10:20		Inokuma: Reading Material 12 Corliss: Topic 13	Inokuma: Reading and Writing Practice Corliss: Listening and Speaking Activities	猪熊 恵子, CORLISS JO NATHAN
30	1/25	08:50-10:20		Both: Review	Inokuma: Comments and Suggestions Corliss: Listening and Speaking Activities	猪熊 恵子, CORLISS JO NATHAN

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:

Kuroyanagi (Spring): Participation:30%, In-class Tasks:40%, Assignments: 30%

Corliss (Spring and Fall): Quizzes and Homework 10%, Midterm Speaking Test 30%,
Final Presentation 30%, Participation 30%

Inokuma (Fall): In-class Writing Assignments 50%, Participation 30%, Final Assignment 20%

再評価: 有(再評価方法 「教養英語」としての学年末課題)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「教養英語」は前期と後期の2クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先(メールアドレス)

畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
畔柳　和代:毎週木曜日 12:30–13:20　管理研究棟3階畔柳研究室
猪熊　恵子:水曜日　12時30分～13時
木曜日　　12時30分～13時20分
管理研究棟　3階　猪熊研究室

時間割番号	000403				
科目名	情報科学演習			科目ID	LA-210700-Z
担当教員	中林　潤[NAKABAYASHI Junn]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

授業の目的、概要等

歯科・歯科技工の分野においても，コンピュータを利用したデータ解析、研究開発が行われている。その内容は電子カルテや統計解析、3D プリンタや CAD/CAM の利用による義歯・歯冠等技工物の設計・製造、義歯・歯冠等を含む咬合解析、薬物動態や歯垢形成など非線形現象の数理解析など、多岐にわたる。この演習ではコンピュータ利用技術へのより深い理解と、プログラミングを通した論理的思考力の向上を目的として、プログラム言語 python を使って基礎的なデータ解析を実行する。

授業の到達目標

プログラム言語 python を使ってデータを整理、集計し、統計解析を実行する技能を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/25	12:50-16:00		中林 潤
3-4	12/2	12:50-16:00		中林 潤
5-6	12/9	12:50-16:00		中林 潤
7-8	12/16	12:50-16:00		中林 潤
9-10	12/23	12:50-16:00		中林 潤
11-12	1/13	12:50-16:00		中林 潤
13-14	1/20	12:50-16:00		中林 潤

授業方法

講義と演習による。スライドで講義→データ解析方法を提示→手元の PC で実行という手順で進める。

授業内容

初回はデータ解析の基礎理論、プログラミングについて概説し、各自の PC で python の実行環境を整備する。2 回目から実際のデータを使ってデータ解析を実行する。

・データの処理、集計
・データの可視化
・二群間比較
・相関分析
・回帰分析
・分散分析

成績評価の方法

出席、各回の提出物、期末レポート、筆記試験を参考に総合的に判断する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習は特に不要。各回の復習をしっかり行う。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに，すべての演習課題の提出。

連絡先（メールアドレス）

nakab.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月曜～金曜
A.M.10:00 - P.M. 05:00
国府台キャンパス 4 階　教官研究室―9

時間割番号	000404				
科目名	サイエンスPBL			科目ID	LA-210800-Z
担当教員	服部 淳彦, 奈良 雅之, 中林 潤, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 本田 陽子[HATSUTORI ATSUHIKO, NARA MASAYUKI, NAKABAYASHI Junn, ITO MASANORI, SAWANO YORIKO, MATSUMOTO YUKIHISA, KATSUMATA TOSHIYUKI, HONNDA Youko]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

2－2)自然現象を探究するための手法を知る。

2－4)自己問題提起・解決型の学習方法を

身につける。

4－3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける。

主な講義場所

後日掲示する。

授業の目的、概要等

具体的な問題点を抽出し、「正確な知識」と「知識を根拠とした正確な論理展開」によって問題点を解決する技術を習得する。学生間での話し合いと教員によるアドバイスによって、問題点を解決する方法と正解は必ずしも 1 つでは無いことを理解するのと同時に、自身の学習方法の欠点を理解し、改善する。加えて、簡潔かつ解り易い言葉で説明する技術と建設的な話し合いを行ううえで必要なコミュニケーション技術を習得する。

授業の到達目標

1. 具体的な問題点を抽出し、「正確な知識」と「知識を根拠とした正確な論理展開」によって問題点を解決することができる。
2. 簡潔かつ解り易い言葉で説明することができる。
3. 建設的な話し合いを行うことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/28	12:50-16:00		服部 淳彦, 奈良 雅之, 中林 潤, 伊藤 正則, 澤野 頼子
3-4	10/5	12:50-16:00		服部 淳彦, 奈良 雅之, 中林 潤, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 本田 陽子
5-6	10/19	12:50-16:00		服部 淳彦, 奈良 雅之, 中林 潤, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 本田 陽子
7	10/26	12:50-14:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 中林 潤, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 本田 陽子
8-9	11/2	12:50-16:00		服部 淳彦, 奈良 雅之, 中林 潤, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 本田 陽子
10-11	11/9	12:50-16:00		服部 淳彦, 奈良 雅之, 中林 潤, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 本田 陽子
12-13	11/16	12:50-16:00		服部 淳彦, 奈良 雅之, 中林 潤, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 本田 陽子
14-15	11/30	12:50-16:00		服部 淳彦, 奈良 雅之, 中林 潤, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 本田 陽子

授業方法

problem-based learning (PBL)

授業内容

6 あるいは 7 名から成るグループによる学習で、配布資料(課題シートなど)から問題点を抽出し、自然科学の知識を活用して、問題点を解決することを試みる。具体的には次の 1－3 の順に行う。

1. 配布資料の内容を理解し、学生間での話し合い、具体的な問題点を抽出する。

2. 各自が問題点を解決するために必要な情報を得た後、情報を整理する。
3. 整理した情報を発表し、議論する。発表と議論した内容をまとめることによって、
問題点に対する答えを導き出す。

この授業では学生間での話し合いが中心となり、話合いに参加するためには、明確な目的意識をもった学習が必要である。

成績評価の方法

評価は、授業への参加度、グループによる話し合いへの参加、グループごとでの発表会での発表内容、発表会での質問・返答内容、ノートの記述内容による。詳細は第 1 回目のガイダンスで説明する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表 2」による。

準備学習等についての具体的な指示

各自が問題点を解決するために必要な情報を集め、整理しておくこと。情報を集める過程でさらに問題点をみつけること。論理的方法によって問題を解決させる。

試験の受験資格

試験を行わない。

教科書

課題シートなどの配布資料。

参考書

必要に応じて紹介する。

時間割番号	000405				
科目名	生命科学(人体の生物学)			科目ID	LA-210900-Z
担当教員	伊藤　正則[ITO MASANORI]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:火・木曜日3・4限

・対象学科・専攻:歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎

学力・思考力を身につける。

主な講義場所

歯学科第 1 講義室

授業の目的、概要等

歯学の基盤となる生物学を能動的に、広く、深く学習し、専門教育へスムーズにつなげることを目的とする。加えて、論理的思考力を向上させる。

授業の到達目標

生命現象の発現・制御機構を個体、器官、組織、細胞、分子レベルで説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/6	12:50-16:00		伊藤　正則
3-4	4/8	12:50-16:00		伊藤　正則
5-6	4/13	12:50-16:00		伊藤　正則
7-8	4/15	12:50-16:00		伊藤　正則
9-10	4/20	12:50-16:00		伊藤　正則
11-12	4/22	12:50-16:00		伊藤　正則
13-14	4/27	12:50-16:00		伊藤　正則
15	5/6	12:50-14:20		伊藤　正則

授業方法

基本的には講義形式で行う。アクティブラーニングとして、毎回コメントシートに疑問点などを書き、提出する。次の講義においてこの疑問点に対する答えを述べる。また、課題を出す。その課題に対する答えをレポートにまとめ提出する。数名の学生を指名し、指名された学生は板書などの方法を用いて答を導いた過程を含めて発表する。

授業内容

代表的な生命現象とその制御メカニズムと系統発生的・進化学的な観点を学ぶ。

成績評価の方法

評価:試験 100%

再評価:有(再評価での成績は 60 点を上限とする)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。

準備学習等についての具体的な指示

アクティブラーニングとして、予め授業で使用するプリントを配布するので、予習を行うこと。授業内容について質問、意見があれば、リアクションペーパーに書くこと。次回の授業でこの質問と意見に答える。復習では、知識が体系的になるようにノートを整理する。

試験の受験資格

2/3 以上出席したものに試験の受験資格を与える。

教科書

からだの構造と機能／A. シェフラー, S. シュミット編,Schäffler, Arne,Roeckl-Schmidt, Sabine,三木, 明徳,井上, 貴央,:西村書店, 1998

はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学 : 生物学を学んでいない人でもわかる目で見る教科書／前野正夫, 磯川桂太郎 著,:羊土社, 2008
必要に応じて参考資料を配布する。

参考書

Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt,:Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015
Essential 細胞生物学／Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著,中村桂子, 松原謙一 監訳:南江堂, 2011
からだの構造と機能／A.シェフラー, S.シュミット 著,三木明徳, 井上貴央 監訳:西村書店, 1998
診療・研究にダイレクトにつながる遺伝医学／渡邉淳:羊土社, 2017
よくわかるゲノム医学 : ヒトゲノムの基本から個別化医療まで／服部成介, 水島-菅野純子 著,菅野純夫 監修,服部, 成介, 1952-,水島-菅野, 純子,菅野, 純夫, 1952-,:羊土社, 2016
必要に応じて紹介する。

連絡先(メールアドレス)

itohmt.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000406				
科目名	生命科学(生物物理化学)			科目ID	LA-211000-Z
担当教員	奈良 雅之, 宇尾 基弘[NARA MASAYUKI, UO MOTOHIRO]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:火曜日1時限(または1, 2時限)

・対象学科:歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

1年生の化学(一般化学)で勉強した原子・分子の構造論、化学熱力学をさらに深めることにより、生命現象を物理化学の理論に基づいて理解します。構造化学、化学熱力学全般を奈良が、歯科材料学入門を宇尾が担当することにより、教養部教育から学部教育への「円滑な橋渡し」を心掛けています。講義内容はかなり高度になりますので、受講者は授業にしっかり取り組まないと「大きなギャップ」とも受け止められるかもしれません。

授業の到達目標

①量子論の基礎を理解できる。

②相平衡、化学平衡、酸化還元平衡を熱力学の原理に基づいて理解できる。

③歯科材料学を具体例として、学部で詳しく学ぶ内容と教養部で習う自然科学が深く関わっていることを理解できる。

④講義内容に関する演習問題や参考文献を自学自習で取り組むことができる。

授業に関連した演習問題で7割理解できるレベルが GPA における「B」に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/6	08:50-10:20		奈良 雅之
2	4/13	08:50-10:20		奈良 雅之
3	4/20	08:50-10:20		奈良 雅之
4	4/27	08:50-10:20		奈良 雅之
5-6	5/11	08:50-12:00		奈良 雅之
7-8	5/18	08:50-12:00		奈良 雅之
9-10	5/25	08:50-12:00		奈良 雅之
11-12	6/1	08:50-12:00		宇尾 基弘
13	6/8	08:50-10:20		奈良 雅之
14	6/15	08:50-10:20		奈良 雅之
15	6/22	08:50-10:20		奈良 雅之

授業方法

授業は基本的に講義形式で進めますが、適宜、課題問題の演習、答案の発表などアクティブラーニングを取り入れます。

授業内容

①ガイダンス 熱力学の原理(復習)

②熱力学の原理 開放系の熱力学:化学ポテンシャル

③相平衡①:相律、溶液の熱力学

④相平衡②:二成分系の状態図の見方、使い方

⑤化学平衡:ギブスエネルギーと平衡定数、平衡定数の温度変化

⑥原子・分子の構造論① 量子論の原理

⑦電気化学①:電解質、酸化還元反応、電池

⑧原子・分子の構造論② 量子論の原理

⑨電気化学②:ネルンストの式、標準電極電位、濃淡電池

⑩原子・分子の構造論③ 量子論の応用

⑪電気化学③：電気化学ポテンシャル、膜電位・膜平衡
⑫原子・分子の構造論④　量子論の応用
⑬化学熱力学のまとめ
⑭化学熱力学のまとめ
⑮歯科材料学入門②

成績評価の方法

評価：試験（定期試験）100%・レポート 0%
その他 10%（授業中の演習、出席カードの回答状況を考慮することがある）
再評価：有　（再評価方法　再試験）
生命科学の基礎となる化学を理解しているかが評価の対象となるので、試験による評価を重視する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習：資料・参考書などで該当する箇所に目を通しておく。
復習：講義に関連した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

試験の受験資格

定期試験・再試験の受験資格：原則3分の2以上の出席

教科書

一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein　共著,一国雅巳　訳：オーム社, 1995

参考書

量子化学 ： 基礎からのアプローチ／真船文隆　著,：化学同人, 2008
化学熱力学（修正版）／原田義也　著,：裳華房, 2002

他科目との関連

1 年生の一般化学Dで勉強した化学熱力学を理解していることを前提で、授業は進みます。

連絡先（メールアドレス）

奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000407				
科目名	人文社会科学総合講義			科目ID	LA-211100-Z
担当教員	木谷　真紀子, BAO　MIN[KITANI Makiko, BAO Min]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

授業の目的、概要等

歯科医師は歯学・歯科医療の「専門家」であるが、もちろんそれだけではない。患者がたんなる「病人」ではないのと同じである。歯科医師はひとりの「人間」として、やはりひとりの「人間」である患者と出会う。そしてその出会いの時と場所は、たとえそれが診察室の中であり、またそうとは意識されていなくとも、「文化」や「歴史」「社会」によって彩られている。それゆえに、よき歯科医師になる／であるためには、患部・患者を見る／診る目だけでなく、人間・文化・歴史・社会を見る／観る目も、併せ持っていなければならないとされるのである。

この授業はそうした人間・文化・歴史・社会を見る／観る目を養うためにある。2 名の担当教員がそれぞれに、人間や文化、歴史、また社会について問い、考える視点を提示してゆく。それを受けて自らもまた問い、考えることで、よき歯科医師になる／であるためには欠かせない「もう一つの目」を、自分の中に育んでもらいたい。

授業の到達目標

(1)人間・文化・歴史・社会にあらためて関心をもち、自ら問うべきこと、考えるべきことを見つけ出す。

(2)人間・文化・歴史・社会の観点も加えて、自らが目指す「歯科医師」像をより具体的に描き出す

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/28	10:30-12:00		木谷　真紀子
2	10/5	10:30-12:00		木谷　真紀子, BAO　MIN
3	10/19	10:30-12:00		木谷　真紀子, BAO　MIN
4	10/26	10:30-12:00		木谷　真紀子, BAO　MIN
5	11/2	10:30-12:00		木谷　真紀子, BAO　MIN
6	11/9	10:30-12:00		木谷　真紀子, BAO　MIN
7	11/16	10:30-12:00		木谷　真紀子, BAO　MIN
8	11/30	10:30-12:00		木谷　真紀子, BAO　MIN
9	12/7	10:30-12:00		木谷　真紀子, BAO　MIN
10	12/14	10:30-12:00		木谷　真紀子, BAO　MIN
11	12/21	10:30-12:00		木谷　真紀子, BAO　MIN
12	1/4	10:30-12:00		木谷　真紀子, BAO　MIN
13	1/11	10:30-12:00		木谷　真紀子, BAO　MIN
14	1/18	10:30-12:00		木谷　真紀子, BAO　MIN
15	1/25	10:30-12:00		木谷　真紀子, BAO　MIN

授業方法

授業はアクティブラーニングの形式を取り入れた講義形式で進め、折々にドキュメンタリー等の視聴覚資料も用いる。

全体は文学と社会学の教員によるリレー方式をとる。

授業内容

第 1 回　ガイダンス

第 2 回　震災と文学について(担当:木谷真紀子)

第 3 回　関東大震災と文学①(木谷真紀子)

第 4 回　関東大震災と文学②(木谷真紀子)

第 5 回　東日本大震災と文学①(木谷真紀子)

第 6 回　東日本大震災と歯科医①(木谷真紀子)

第 7 回　東日本大震災と歯科医②(木谷真紀子)

第 8 回　震災と医療従事者について(木谷真紀子)

第 9 回　中国における医療保障制度の変遷①中国の概要(担当:包　敏)

第 10 回　中国における医療保障制度の変遷②計画経済時代における医療保障制度、改革開放政策以降の医療保障制度(包　敏)

第 11 回　中国の公的医療保険制度の体系(包　敏)
第 12 回　事例:北京市都市職工(従業員)基本医療保険制度(包　敏)
第 13 回「病院大行列」視聴(包　敏)
第 14 回　中国における病院等級管理制度(包　敏)
第 15 回　まとめ(包　敏)

成績評価の方法

◇評価:レポート　60%　授業内課題、その他課題、授業への参加度　40%
再評価:有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

専門課程のただ中で行われる授業であるが、そうであるからこそ受講者には、ともすれば今からすでに「専門」へと閉じてゆきかねない自らの視野を、再び開かれたものにするようこの機会を活用してもらいたい。そのためにも、授業に能動的に参加し、そこで提示される問いや視点についてじっくりと考え、それを専門課程で学ぶことと自ら結びつけてゆく姿勢が望まれる。

試験の受験資格

◇レポートの提出資格:担当教員 2 名の授業それぞれにつき 3 分の 2 以上の出席

教科書

必要な文献・資料はコピーして配布する。その他、授業内で指示。

参考書

参考書等は授業の中で随時紹介する。

履修上の注意事項

1. レポートを提出するには、担当教員 2 名の授業それぞれにつき 3 分の 2 以上の出席が必要となる。　2. 単位を取得するには、2 名の教員のレポート課題に両方とも合格することが必要となる。

連絡先(メールアドレス)

木谷　真紀子:makiko.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

木谷　真紀子:月、金曜 12:20～13:30　管理研究棟 2 階
※原則的に上記の曜日時間としますが、事前に連絡のある学生には、上記時間外でも対応します。